LP-S6500/LP-S4500

ユーザーズガイド

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

本書は LP-S6500 および LP-S4500 の共通マニュアルです。

LP-S6500およびLP-S4500はモノクロ印刷を行うモノクロモデルとカラー印刷を行うカラーモデルを切り替えることができますが、機種名の表記は変わりません。モノクロまたはカラー印刷時の専用機能や仕様には、それぞれ「モノクロモデルのみ」または「カラーモデルのみ」のようにモデル限定の説明を記載しています。

NPD1719-00

商標およびご注意

EPSON ESC/Page はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
Apple の名称、AppleTalk、TrueType、Mac、Mac OS、OpenTransport、Bonjour、QuickTime は Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
② 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④ 運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤ 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥ エプソン純正品以外およびエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

Mac OS X をお使いの方へ 216

プリンタのメンテナンス........ 462

困ったときは....................... 489

付録 532

本書中のマーク、画面、表記について

マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
!注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
用語 *1	用語の説明を記載していることを示しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.3 の画面を使用しています。

ハガキの表記

本書では、日本郵政公社製のハガキを郵便ハガキと記載しています。

■ Windows の表記

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® Server 2003, Standard Edition（32 ビットバージョン）

Microsoft® Windows® Server 2003, Enterprise Edition（32 ビットバージョン）

Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。

■ Mac OS の表記

Mac OS 9.1 ～ 9.2.x

Mac OS X v10.2、v10.3、v10.4v

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac OS」と表記します。

1 Windowsをお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Windowsでお使いの際に関係する情報の説明をしています。

印刷を始める前に

「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。また、プリンタ接続先の設定は正しいですか。ご利用の接続方法によって、設定が異なります。以下の説明をお読みください。

■ USB ケーブルで接続している場合

プリンタとコンピュータを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従ってください。EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアが正しくインストールされていれば（できていれば）、問題なく印刷を始めることができます。
☞ 本書 12 ページ「印刷の手順」

万一印刷できないときは、以下のページを参照してください。
☞ 本書 526 ページ「USB 接続時のトラブル」

■ ネットワークケーブルで接続している場合

本機のネットワークインターフェイスを介して TCP/IP を使用してネットワークに接続している場合は、「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従ってください。EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアが正しくインストールされていれば（できていれば）、問題なく印刷を始めることができます。
☞ 本書 12 ページ「印刷の手順」

オプションの無線プリントアダプタを介してプリンタをネットワークに接続している場合は、「ネットワーク設定ガイド」(PDF) に従ってネットワークプリンタのセットアップを行ってください。

印刷できないときは以下のページを参照してください。
☞ 本書 111 ページ「プリンタ接続先の変更」

- TCP/IP 以外のプロトコルを使用する場合は「ネットワーク設定ガイド（PDF)] をご覧ください。
- ネットワーク上のプリンタを共有する場合は、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 97 ページ「プリンタを共有するには」

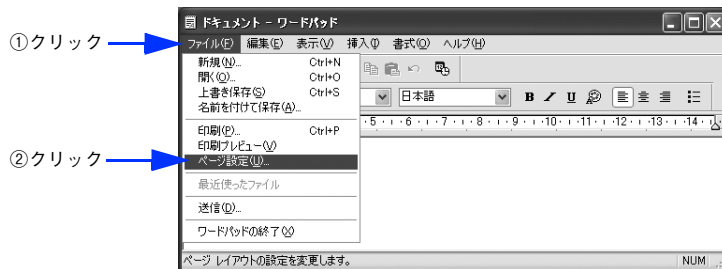
印刷の手順

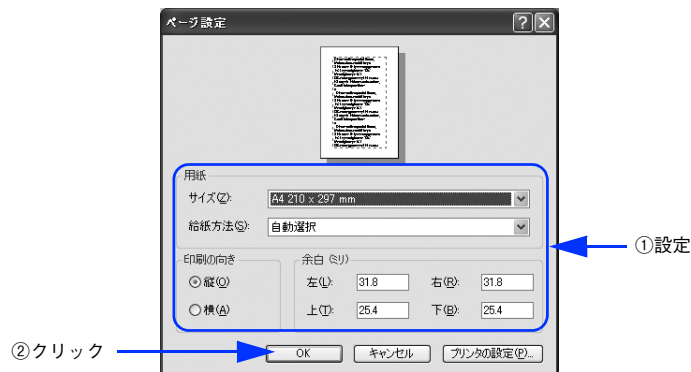
ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」を例に、基本的な印刷手順を説明します。印刷手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

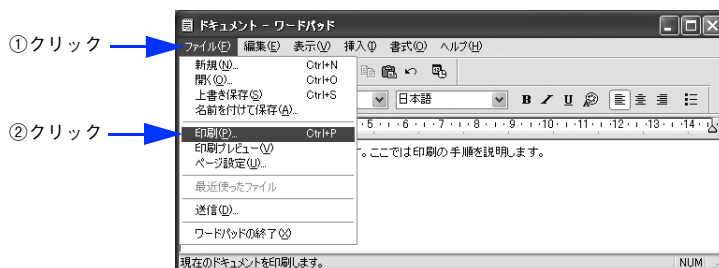
1 ［ワードパッド］を起動します。

- Windows の［スタート］－［すべてのプログラム］（Windows XP 以外は［プログラム］）－［アクセサリ］－［ワードパッド］をクリックするとワードパッドが起動します。
- すでに存在するファイルを印刷する場合は、そのファイルをダブルクリックして 5 に進みます。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。

このダイアログで印刷する用紙のサイズや余白などを設定します。

3 印刷する用紙サイズや余白、印刷の向きなどを設定して、［OK］をクリックします。

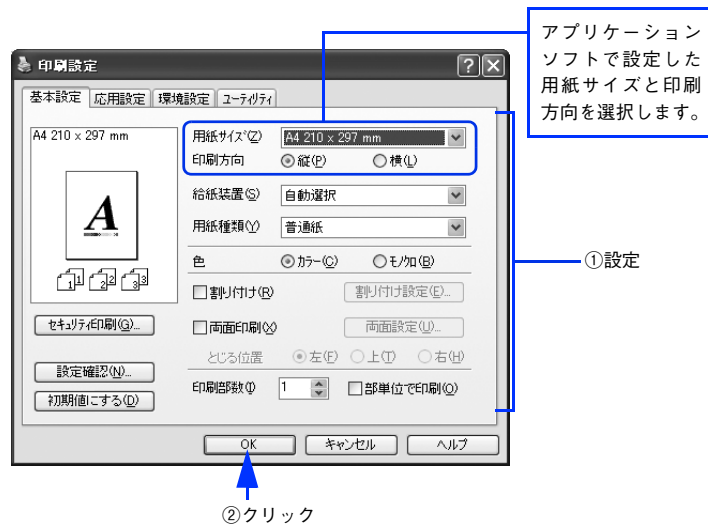
余白の最小値は、本機の印刷可能領域である上下左右 5mm まで設定することができます。

4 印刷するファイルを作成します。

5 ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

6 LP-S6500/LP-S4500 が選択されていることを確認します。プリンタドライバの設定を確認または変更するときは、[詳細設定]（Windows XP/Server 2003 以外は［プロパティ］）をクリックし、7 に進みます。プリンタドライバの設定を確認しないときは、8 に進みます。

Windows 2000 の「ワードパッド」のように、[印刷] ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

7 各項目を設定して［OK］をクリックします。

通常は、[基本設定] ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

☞ 本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」

8 ［印刷］をクリックします。

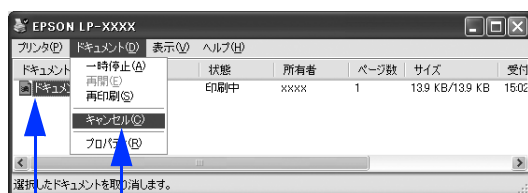
印刷データがプリンタに送られて印刷が始まります。

印刷の中止

印刷処理を中止するときは、次のいずれかの方法でコンピュータ上の印刷データ、またはプリンタ上の印刷データを削除します。

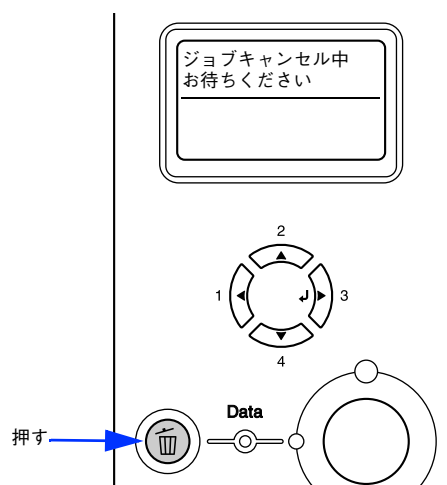
コンピュータから中止する

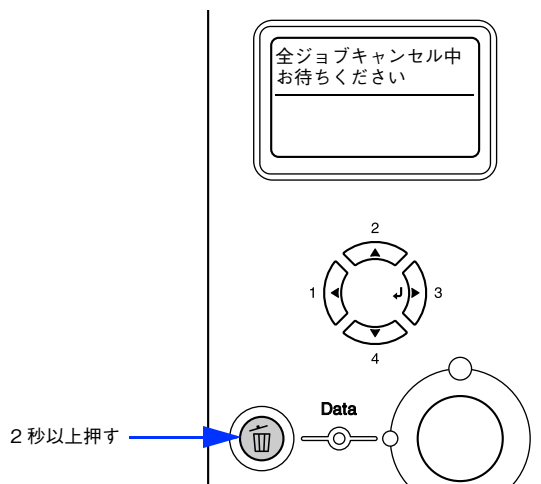
1 **画面右下のタスクトレイ上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

2 **中止したい印刷データをクリックして選択し、[ドキュメント] メニューの [印刷中止] または [キャンセル] をクリックします。**

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

操作パネルから中止する

● **印刷中のデータを削除するには[ジョブキャンセル]ボタンを押します。**

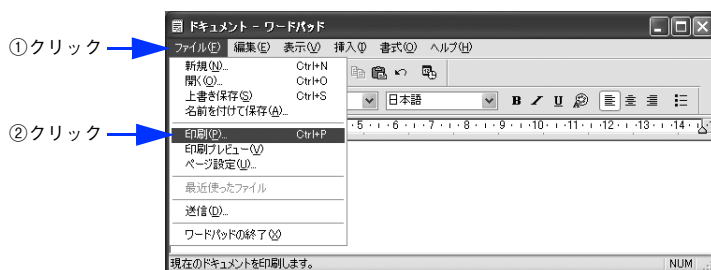
印刷中のデータ（ジョブ単位）が削除されます。

● **プリンタが受信したすべての印刷データを削除するには[ジョブキャンセル]ボタンを約 2 秒以上押し続けます。**

プリンタが受信したすべての印刷データが消去されます。

設定画面の開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて2通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」の場合を説明します。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させます。**

2 **［プリンタの選択］でプリンタ名に EPSON LP-S6500/LP-S4500 が選択されていることを確認して［詳細設定］（Windows XP/Server 2003 以外の場合は［プロパティ］）をクリックします。**

Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

[スタート]メニューから開く

Windows の［スタート］メニューから開くことができる［プリンタと FAX］（Windows XP/Server 2003 以外は［プリンタ］）フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と、新しいプリンタの追加が実行できます。

［プリンタと FAX］/［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合の設定値は、アプリケーションソフトから開いた際の初期値になります。日常的に使う設定値は以下の手順であらかじめ設定しておいてください。

［プリンタと FAX］/［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いて、プリンタドライバを設定する方法はいくつもあります。ここでは代表的な手順を説明します。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

- Windows XP の場合

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックします。

- Windows Server 2003 の場合

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

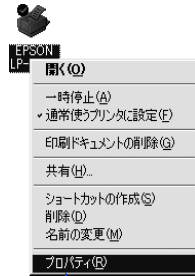
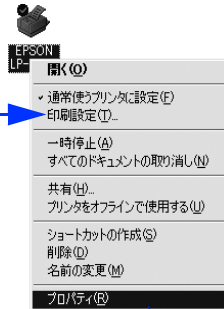
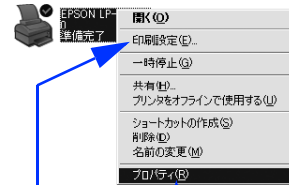
- Windows 98/Me/2000 の場合

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 LP-S6500/LP-S4500 のプリンタアイコンを右クリックして、 表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。

Windows 2000/XP/Server 2003 では［印刷設定］または［プロパティ］で設定できる機能が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

Windows XP の場合

プリンタに対するタスクリストから［印刷設定の選択］または［プリンタのプロパティの設定］をクリックして実行することもできます。

- プリンタを選択して、［ファイル］メニューから操作することもできます。
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー（Power Users）以上の権限が必要です。
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［印刷設定］を設定するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。

プリンタドライバで設定できる項目

プリンタドライバで設定できる項目の概要は以下の通りです。詳細は参照先のページをご覧ください。

<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

①印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷にかかわる基本的な設定を行います。また、セキュリティ印刷も設定できます。

☞ 本書 30 ページ「[基本設定]ダイアログ」

②印刷の応用設定

拡大 / 縮小印刷、印刷品質などの設定と、[ページ装飾]ダイアログを開きます。

☞ 本書 59 ページ「[応用設定]ダイアログ」

③プリンタの環境設定

プリンタの動作環境を設定したり、ステータスシートを印刷します。

☞ 本書 73 ページ「[環境設定]ダイアログ」

④ユーティリティの起動

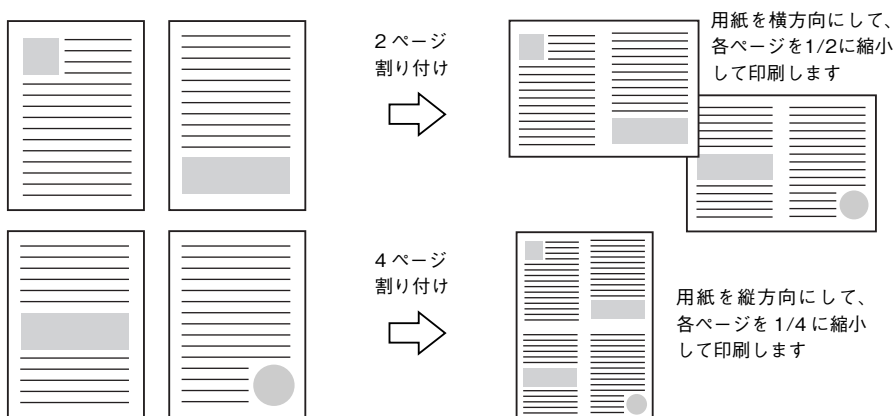
プリンタの状態を監視する EPSON ステータスモニタを起動します。

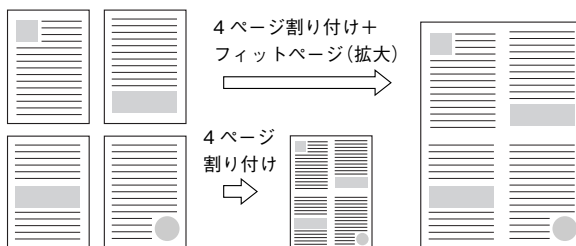
☞ 本書 80 ページ「[ユーティリティ]ダイアログ」

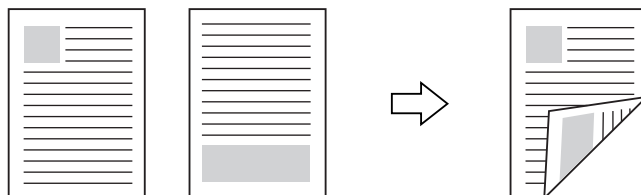
便利な印刷機能

ここでは、本機に搭載されているさまざまな機能のうち、便利な印刷機能の概略をまとめて紹介します。

割り付け印刷で用紙を節約

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総用紙枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

割り付け印刷は、連続した 2 ページまたは 4 ページ分のデータを縮小して元の指定サイズの用紙に割り付けて印刷します。例えばハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とは言えません。こんなときは、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用して、大きな A4 サイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

☞ 本書 24 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 71 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

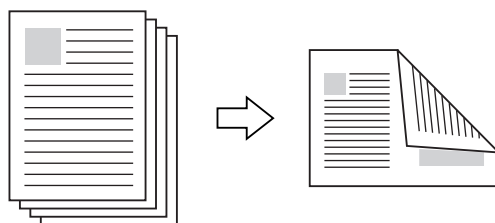
割り付け印刷は[基本設定]ダイアログの[割り付け]をチェックし、[割り付け設定]ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」/ 本書 32 ページ「⑥ 割り付け」
☞ 本書 35 ページ「1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには」

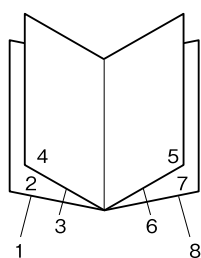
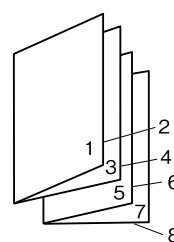
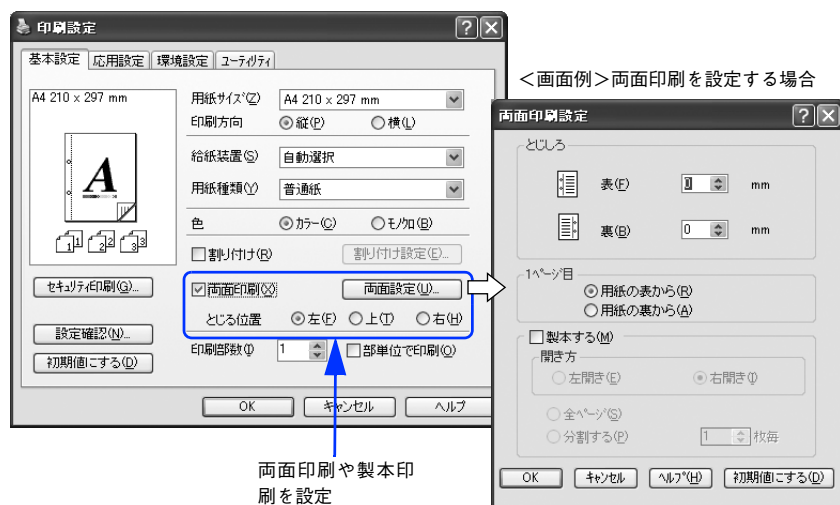
両面印刷で用紙を節約

用紙の片面に印刷するだけでは「紙がもったいない」と思うことはありませんか。本機には自動両面印刷機能が標準搭載されています。用紙を 1 枚ずつ自動的に裏返して両面印刷を行いますので、片面を印刷した後で文書をセットし直して裏面に印刷する手間が省けます。また、総用紙枚数を 1/2 に減らすことができます。

さらに、用紙の両面に 2 ページまたは 4 ページ割り付け印刷を行えば、総用紙枚数を 1/4 または 1/8 まで減らすことができます。

＜例＞両面それぞれに2ページ分の割り付け印刷した場合、
4ページの文書なら用紙１枚で済みます

☞ 本書 20 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ 本書 35 ページ「1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには」

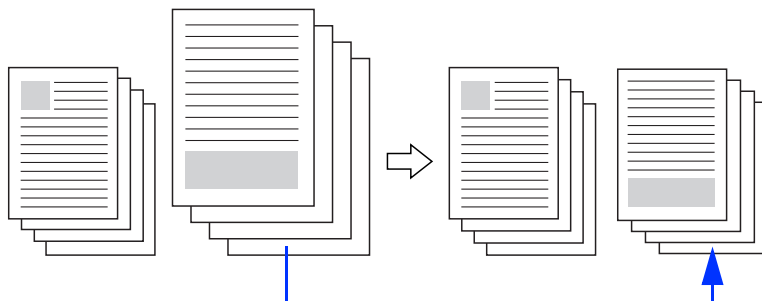
両面に印刷するなら「本のようにページを順番にめくりたい」と思いませんか。読む順番にページを自動的に並べ替えてから両面に 2 ページ分ずつ印刷（製本印刷）することができますので、用紙を 1 枚ずつ半分に折り畳んで揃えてとじれば、そのまま製本することができます。2 通りのとじ方に合わせて、ページの印刷順序を選択できます。

内側に重ねてとじる場合

外側へ並べてとじる場合

両面・製本印刷は［基本設定］ダイアログの［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックして［両面印刷設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」/ 本書 32 ページ「⑦ 両面印刷」

☞ 本書 37 ページ「両面印刷 / 製本印刷するには」

ページを拡大または縮小して印刷

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

＜例＞縮小して文書のサイズを合わせる

本機の拡大 / 縮小印刷には以下 2 つの方法があります。

サイズを選択（フィットページ印刷）

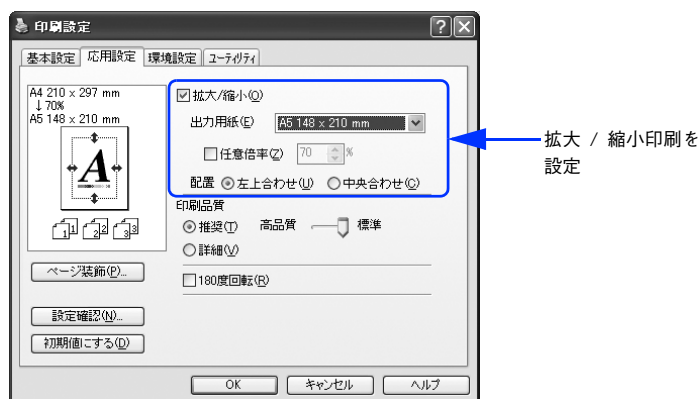
元のページサイズと拡大 / 縮小したい用紙サイズをメニューから選択するだけで、自動的にページサイズを用紙サイズに合わせて（フィットさせて）印刷できます。例えば、A4 サイズで作った原稿をハガキに印刷したいときは、元のページサイズを［A4］に設定して、出力（印刷）に使用する用紙サイズを［ハガキ］に設定するだけで、あとはプリンタドライバが自動的に縮小率を計算して縮小印刷を行います。

☞ 本書 71 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

拡大 / 縮小率を設定（任意倍率印刷）

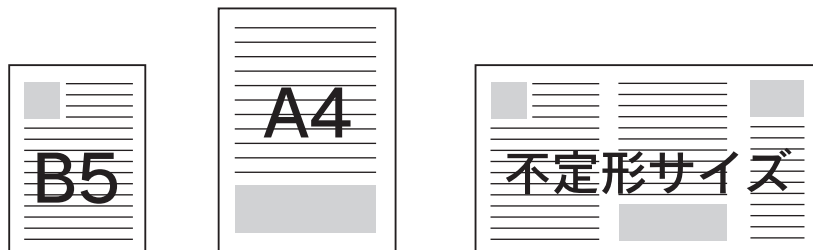
拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷することもできます。まず拡大 / 縮小したい用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小率を計算し、その値を入力して印刷します。

☞ 本書 72 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷」

拡大 / 縮小印刷は［応用設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 59 ページ「［応用設定］ダイアログ」/ 本書 59 ページ「① 拡大 / 縮小」
☞ 本書 70 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

定形サイズ以外の用紙に印刷

B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したい場合も心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（ユーザー定義サイズ）として登録しておくことができます。

不定形紙サイズは、［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから［ユーザー定義サイズ］を選択して設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」/ 本書 30 ページ「① 用紙サイズ」
☞ 本書 34 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

定義した不定形紙サイズは［用紙サイズ］メニューから選択できます。

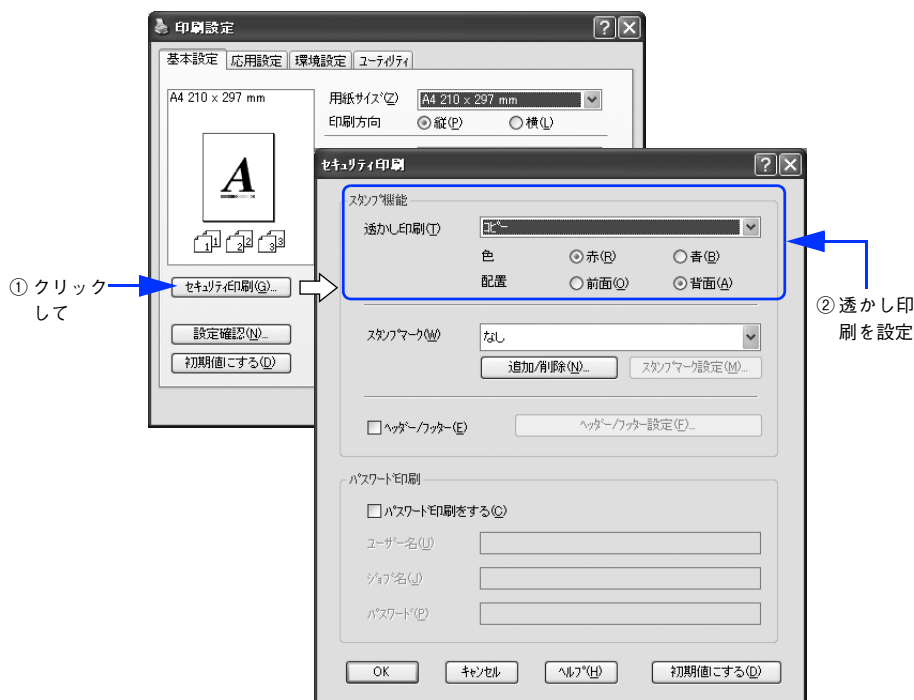
！注 意

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。

☞ 本書 409 ページ「不定形紙への印刷」

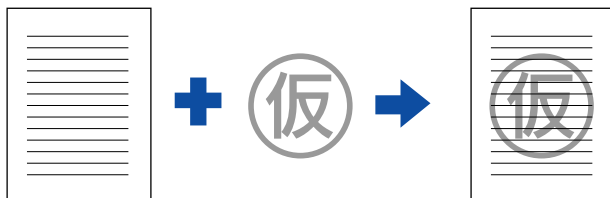
コピー時に透かし文字が浮き上がる印刷

本機で印刷した文書原本とコピー機でコピーした複製書類を区別して、セキュリティを高めたいと思いませんか。プリンタドライバの透かし印刷機能を使えば、用紙全体に透かし文字を印刷することができます。文書原本には背景に透かし文字が埋め込まれていて、用紙全体に色が付いています。印刷された文書原本をコピーすると、選択したパターンの文字が浮き上がります。

透かし印刷は［基本設定］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」/ 本書 33 ページ「⑩ ［セキュリティ印刷］ボタン」
☞ 本書 41 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」
☞ 本書 43 ページ「透かし印刷するには」

「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷した文書を管理するときに、「㊙」、「重要」、「㈷」などのスタンプを押していませんか。また、誰がどのコンピュータで印刷したかわからないので、管理が面倒と感じることはありませんか。プリンタドライバのスタンプマーク機能を使えば、文書自体にこうしたスタンプマークや、ユーザー名、コンピュータ名を重ねて印刷できますので手間が省けます。大量の文書にスタンプを押す必要がある場合でも、一度設定すれば手作業で何度もスタンプを押す必要がなく、しかも押し間違いもありません。

スタンプマーク印刷は［基本設定］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

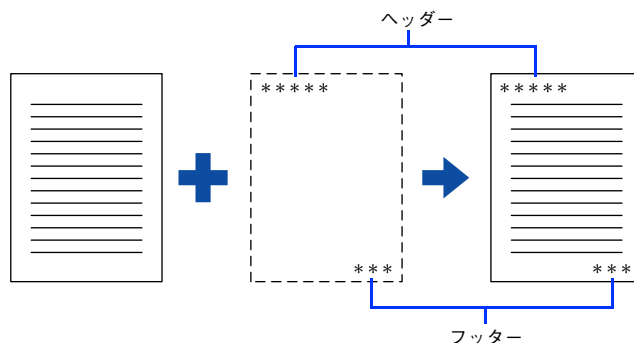
☞ 本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」/ 本書 33 ページ「⑩ ［セキュリティ印刷］ボタン」
☞ 本書 41 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」
☞ 本書 45 ページ「スタンプマークを印刷するには」

オリジナルスタンプマークの作成

あらかじめ登録されているスタンプマークだけでなく、オリジナルのスタンプマークをユーザーが作成して登録できます。どのようなマークが必要になっても、新たにスタンプを購入する必要がありません。

☞ 本書 48 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

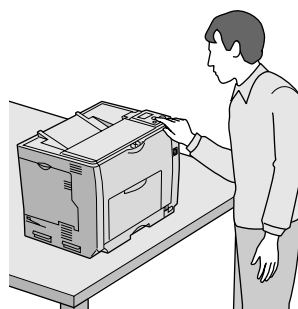
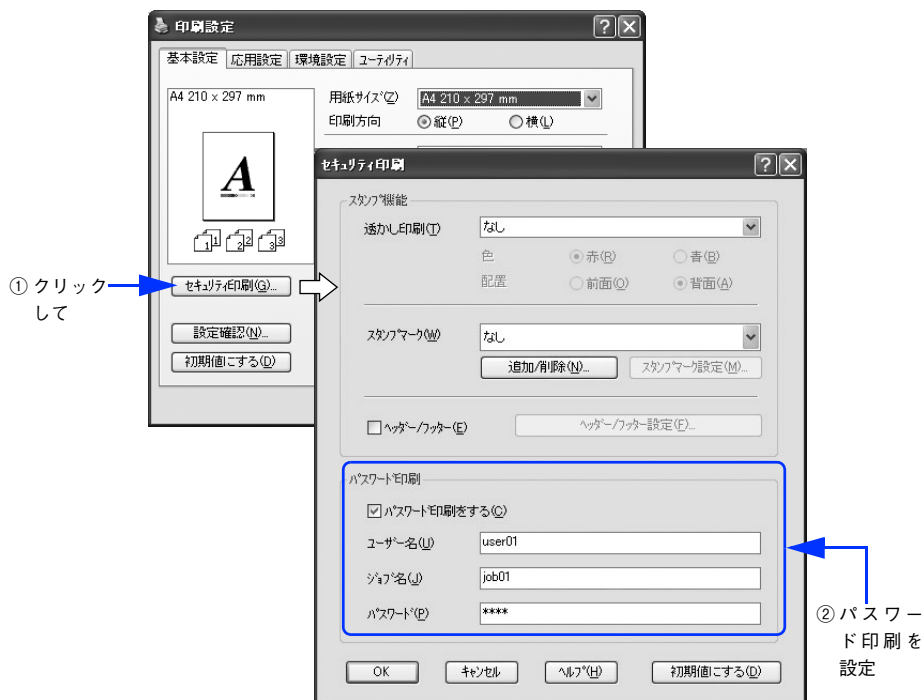
ヘッダー/ フッターにファイル名や日付を印刷

「この書類は誰がどのコンピュータから印刷したのか」など、文書の管理に困ることはありませんか。文書の上部ヘッダーと下部フッターに、ユーザー名、コンピュータ名、印刷日時などの文書情報を印刷すると、文書の管理がしやすくなります。アプリケーションソフトで文書情報を入力せず、プリンタドライバのヘッダー / フッター印刷機能で印刷実行時に処理できるので、印刷書類としての正確な情報を管理しやすくなります。

ヘッダー / フッター印刷は［基本設定］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」/ 本書 33 ページ「⑩ ［セキュリティ印刷］ボタン」
☞ 本書 41 ページ「[セキュリティ印刷] ダイアログ」
☞ 本書 51 ページ「ヘッダー / フッターを印刷するには」

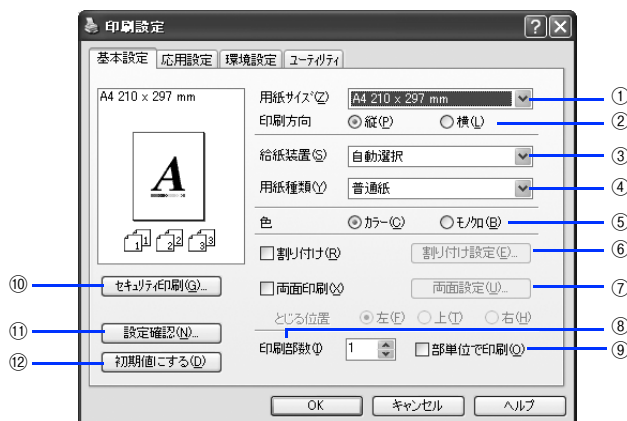
印刷データにセキュリティを設定して印刷

ご自身がプリンタにパスワードを入力してその場で書類を印刷できれば、他人の目に触れることなくセキュリティを高められると思いませんか。オプションのハードディスクユニットを取り付ければ、パスワード印刷ができます。通常プリンタに送られた印刷データは何もしなくても印刷されますが、印刷データを一旦ハードディスクに保存し、操作パネルからパスワードを入力すると印刷されます。

パスワード印刷は［基本設定］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」/ 本書 33 ページ「⑩ ［セキュリティ印刷］ボタン」
本書 41 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」
本書 53 ページ「パスワード印刷をするには」

［基本設定］ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷にかかわる基本的な設定を行います。

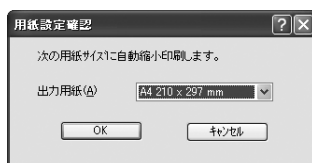
<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

①用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印（ / ）をクリックして表示させてください。

！注意

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［動作環境設定］ダイアログの［プリントサーバー用紙サイズを使用する］をチェックしている場合は、本機がサポートしないサイズが表示されます。本機がサポートしないサイズを選択すると、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。
  本書 78 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」
  本書 385 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

自動縮小印刷：

プリンタがサポートするサイズより大きい A2 などを選択すると、以下の画面が表示されます。［出力用紙］のリストボックスで選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

ユーザー定義サイズ：

任意の用紙サイズを設定するには、リスト内の［ユーザー定義サイズ］を選択します。

設定できるサイズは以下の通りです。

- 用紙幅：98.5 ～ 297.0mm（3.88 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：148.0 ～ 431.9mm（5.83 ～ 17.00 インチ）

☞ 本書 25 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」
☞ 本書 34 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

② 印刷方向

印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。アプリケーションソフトで設定した印刷の向きに合わせます。

③ 給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	MP トレイから給紙します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセットから給紙します。
用紙カセット 2/3/4*	オプションの増設カセットユニットの用紙カセットから給紙します。

* オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示されます。

- 給紙装置にセットした用紙のサイズは、操作パネルから［給紙装置設定］を選択して［MP トレイサイズ］と［カセットサイズ］で設定します。
☞ 本書 335 ページ「［給紙装置設定］メニュー」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されない場合は、エラーが発生します（［用紙サイズのチェックをしない］をオフに設定している場合）。
☞ 本書 76 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［応用設定］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して給紙します。
☞ 本書 59 ページ「［応用設定］ダイアログ」

④ **用紙種類**

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
指定しない	• 普通紙タイプの用紙に印刷する場合で、操作パネルの「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。 ☞本書 411 ページ「用紙タイプ選択機能」 • ［給紙装置］は手動で選択する必要があります。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	• 紙厚が64～90g/m^{2}の左記普通紙タイプの用紙に印刷する場合で操作パネルの「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。 ☞本書 411 ページ「用紙タイプ選択機能」 • ［給紙装置］には［自動選択］が自動選択されます。
OHP シート	• EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ラベル	• ラベル紙に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙	• 紙厚が 91 ～ 163g/ ㎡の厚紙に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙（裏面）	• 厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ハガキ（裏面）	• 郵便ハガキ、往復郵便ハガキを両面印刷する場合で、片面の印刷後もう一方の面を印刷するときに選択します。 片面だけ印刷する場合は、［用紙サイズ］で［ハガキ］または［往復ハガキ］を選択してください。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、または封筒サイズにすると、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑤ **色（カラーモデルのみ）**

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

⑥ **割り付け**

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け］をチェックして［割り付け設定］をクリックします。

☞ 本書 20 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ 本書 35 ページ「1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには」

⑦ **両面印刷**

両面印刷を行います。製本印刷の設定も行えます。

☞ 本書 22 ページ「両面印刷で用紙を節約」
☞ 本書 37 ページ「両面印刷 / 製本印刷するには」

両面印刷できる用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 399 ページ「両面印刷について」

！注意 両面印刷の製本機能と割り付け機能を同時に設定することはできません。

⑧ 印刷部数
印刷する部数（1 ～ 999）を指定します。

⑨ 部単位で印刷
2 部以上印刷するときに 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑧の［印刷部数］で指定します。

> **!注意** アプリケーションソフトで部単位印刷を設定できる場合は、通常アプリケーション側で設定してください（アプリケーションソフトで設定できない場合は、プリンタドライバで［部単位で印刷］を設定します）。ただし、［拡張設定］ダイアログの［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効にした場合は、必ずプリンタドライバで［部単位で印刷］を設定してください。
> ☞ 本書 77 ページ「⑨ アプリケーションの部単位印刷を優先」

⑩［セキュリティ印刷］ボタン
［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて、セキュリティ印刷が行えます。
☞ 本書 41 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」

⑪［設定確認］ボタン
プリンタドライバの設定一覧を表示します。また、設定の一覧を印刷することができます。

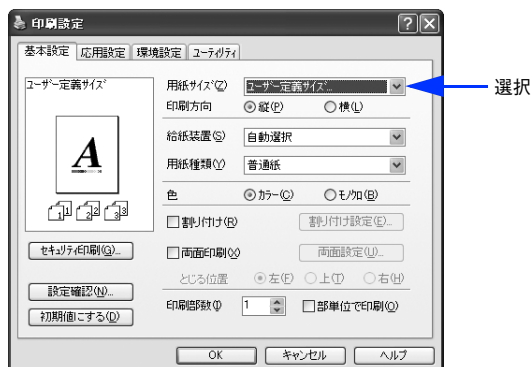
⑫［初期値にする］ボタン
［基本設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

任意の用紙サイズを登録するには

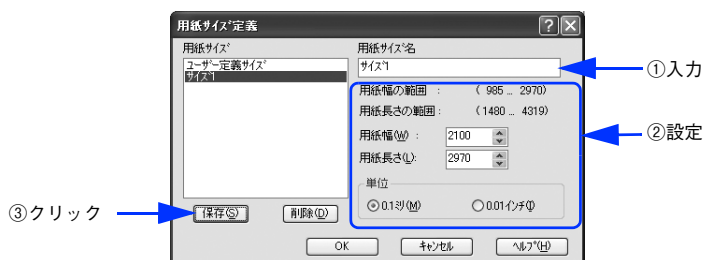
［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として設定して 20 件まで登録することができます。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 409 ページ「不定形紙への印刷」

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
本書 16 ページ「設定画面の開き方」

2 **プリンタドライバの［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

3 **［用紙サイズ名］に登録名を入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［保存］をクリックします。**

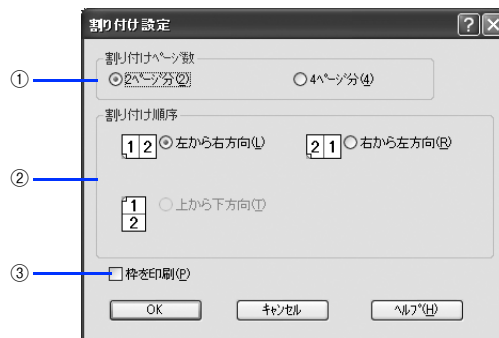
数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。設定できるサイズの範囲は次の通りです。

- 用紙幅：98.5 ～ 297.0mm（3.88 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：148.0 ～ 431.9mm（5.83 ～ 17.00 インチ）

- すでに登録されている用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズをクリックして選択し、保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストから削除したい用紙サイズをクリックして選択し、［削除］をクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録された用紙サイズは保持されます。

4 ［OK］をクリックします。

これで、定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。
この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには

［基本設定］ダイアログで［割り付け］をチェックして［割り付け設定］をクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数
1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

③枠を印刷
割り付けたページの周りに枠線を印刷します。

■ 割り付け印刷の手順

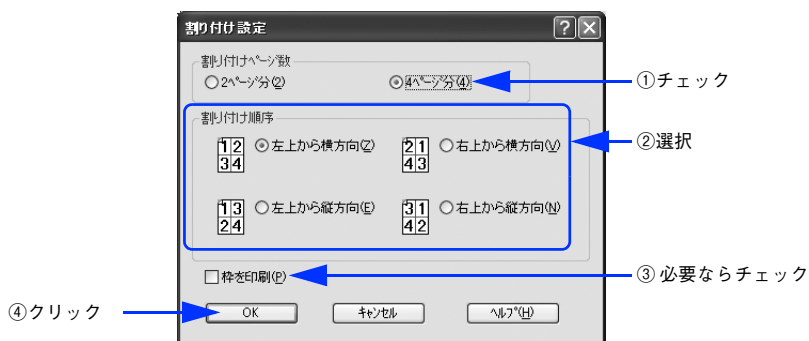
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する手順は以下の通りです。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

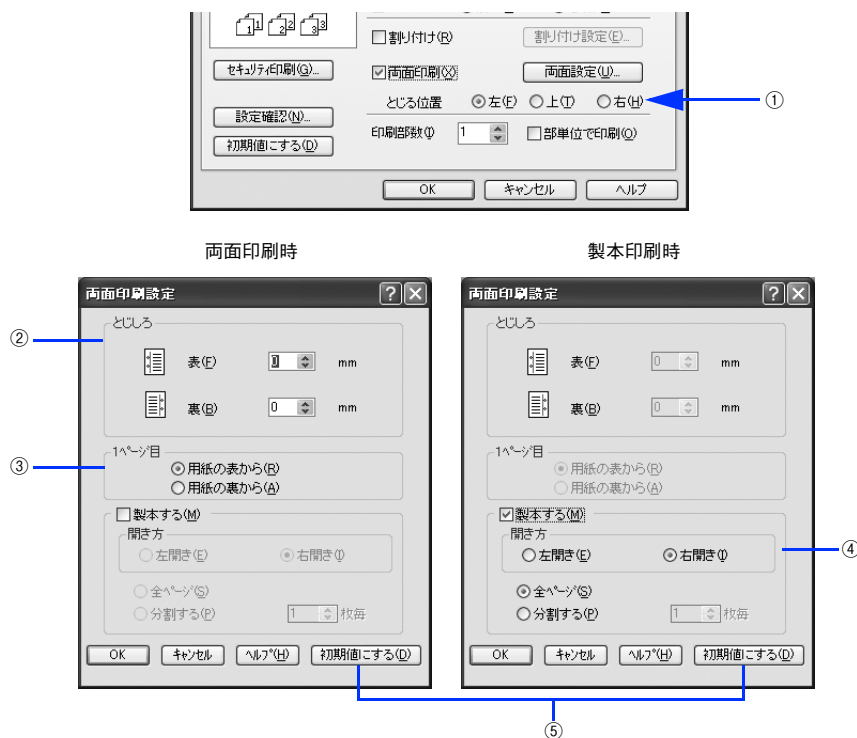
本書 16 ページ「設定画面の開き方」

2 **［割り付け設定］ダイアログを開きます。**

3 **［4 ページ分］を選択して、［割り付け設定］ダイアログの各項目を設定し、［OK］をクリックします。**

割り付けたページの周りに枠線を入れたいときは［枠を印刷］をチェックします。

4 **［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

両面印刷 / 製本印刷するには

［基本設定］ダイアログの［両面印刷］をチェックして［両面設定］をクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

①とじる位置
両面印刷するときのとじる位置を選択します。

②とじしろ
両面印刷するときのとじしろ幅（余白）を、0 ～ 30mm の範囲で用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

③1 ページ目
両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

④製本する
［基本設定］ダイアログの［印刷方向］に応じて製本した場合の開き方を選択できます。

- ［印刷方向］が［縦］の場合は、［左開き］か［右開き］かを選択できます。
- ［印刷方向］が［横］の場合は、［下開き］のみ設定できます。

さらに、製本するページの単位を設定できます。

- ［全ページ］を選択すると、すべてのページをまとめて製本します。
- ［分割する］を選択して用紙枚数を指定すると、指定枚数ごとに製本します。最大10枚ごとまで分割することができます。

- ［製本する］をチェックすると、両面印刷の［とじる位置］と［とじしろ］の設定は無効になります。
- 部単位での印刷になります。

⑤［初期値にする］ボタン
両面印刷の設定を初期状態に戻します。

両面印刷の手順

A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する手順は以下の通りです。

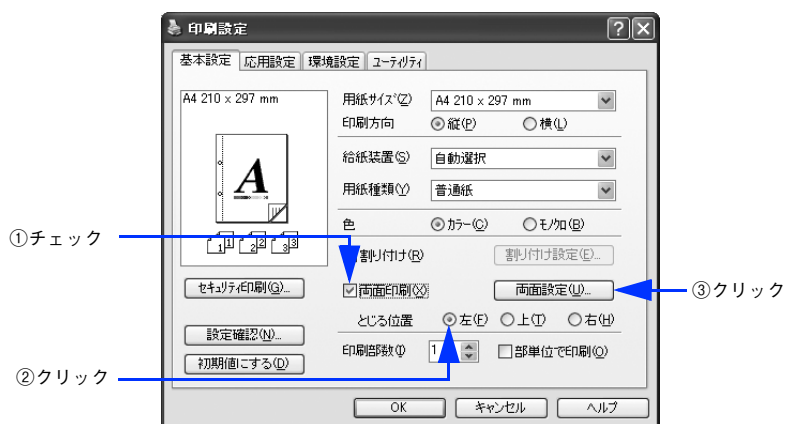
1 **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここでは A4）がセットされていることを確認します。**

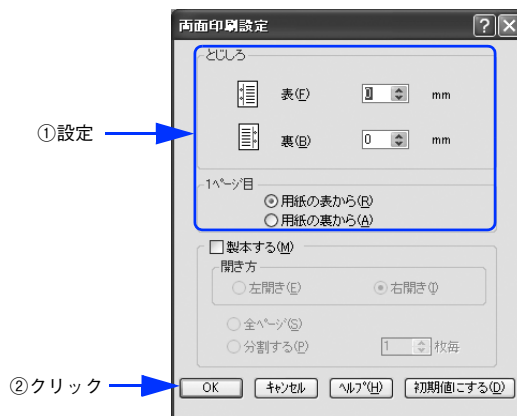
本書 399 ページ「両面印刷について」

2 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 16 ページ「設定画面の開き方」

3 **［基本設定］ダイアログで、以下の項目を設定します。**

［両面印刷］をチェックし、［とじる位置］の［左］をクリックして、［両面設定］をクリックします。

4 **［両面印刷設定］ダイアログの各項目を設定します。**

各項目を設定してから、［OK］をクリックします。

5 **［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

製本印刷の手順

8 ページの印刷データ（縦長）を右開きになるように製本印刷する手順は以下の通りです。

1 **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

本書 399 ページ「両面印刷について」

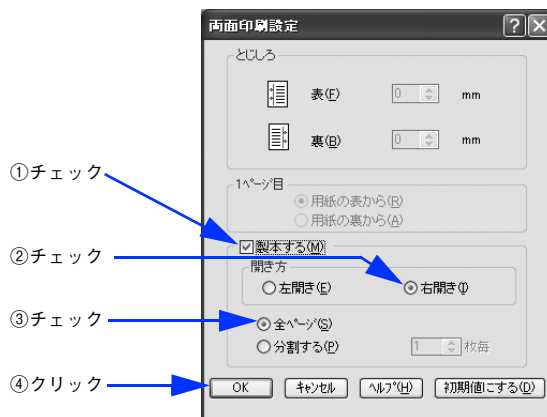
2 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 16 ページ「設定画面の開き方」

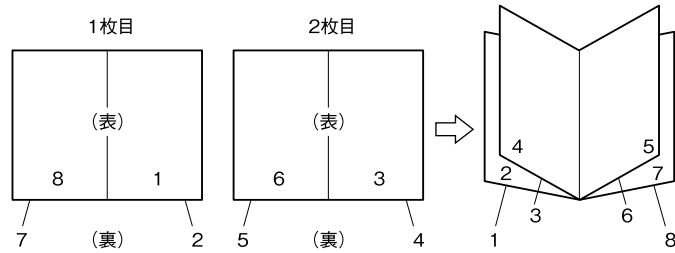
3 **［基本設定］ダイアログで、以下の項目を設定します。**

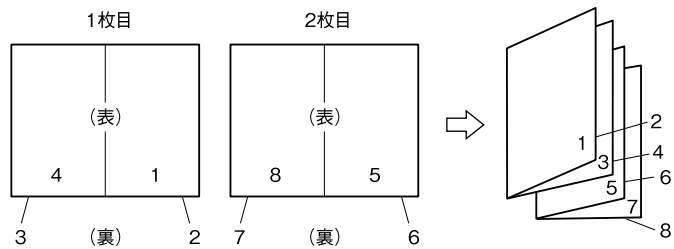
［両面印刷］をチェックして、［両面設定］をクリックします。

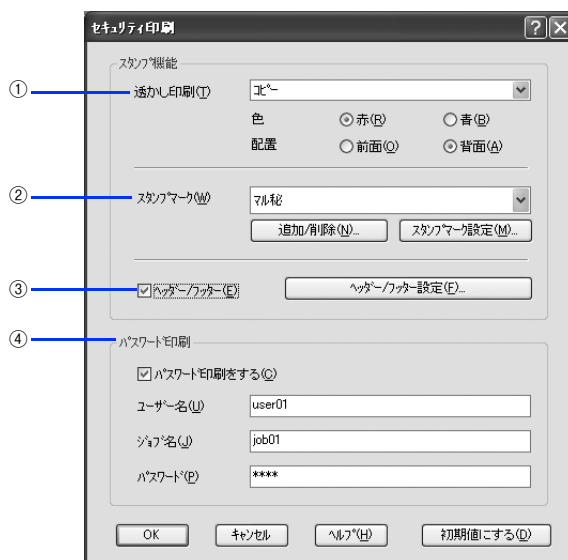
4 **［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。**

［製本する］と［開き方］の［右開き］、［全ページ］をチェックして、［OK］をクリックします。

- ［製本する］をチェックすると、両面印刷の［とじる位置］と［とじしろ］の設定は無効になります。
- 部単位での印刷になります。

5 ［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

以下のように印刷されますので、2 枚の用紙をまとめて 2 つ折りにしてとじてください。

参考

［製本する］の［分割する］を選択する（例：分割数 =1 枚毎）と、以下のように印刷されます。この場合は、1 枚ずつ 2 つ折りにしてからまとめてとじます。

[セキュリティ印刷]ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［セキュリティ印刷］をクリックすると、［セキュリティ印刷］ダイアログが開きます。［セキュリティ印刷］ダイアログは、透かし印刷、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷、パスワード印刷を行うときに設定するダイアログです。

プリンタドライバの［プロパティ］から［基本設定］－［セキュリティ印刷］を開いた場合は、［動作環境設定］ダイアログで許可された機能のみ利用できます。
☞ 本書 78 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

①透かし印刷

用紙全体に透かし文字を印刷することができます。原本書類は背景に網を掛けたように見え、コピーすると文字が浮き上がります。詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 43 ページ「透かし印刷するには」

②スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。印刷するスタンプマークは、［スタンプマーク］リストから選択します。詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 27 ページ「「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷」
☞ 本書 45 ページ「スタンプマークを印刷するには」
☞ 本書 48 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

③ヘッダー/ フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。
☞ 本書 51 ページ「ヘッダー / フッターを印刷するには」

④パスワード印刷

本機にオプションのハードディスクユニットを取り付ければ、パスワード印刷ができます。プリンタからそのまま印刷しないで印刷データとしてハードディスクに一旦保存し、操作パネルからパスワードを入力してその場で印刷することができます。
☞ 本書 53 ページ「パスワード印刷をするには」

本製品使用時のご注意

送信したデータについて

以下の状態にあるデータについては保護されません。

- 通信経路上にあるデータ
- プリンタのメモリ、ハードディスクなどに一時的に保存されているデータ

透かし印刷について

透かし印刷は、プリンタから出力した印刷物（原本）の不正コピーを抑制する機能であり、情報漏えいの防止や、コピーしたときに必ず透かし文字が浮き上がるという保証はできません。

下記のような条件によって、透かし文字が濃過ぎたり、印刷物の全面に透かし印刷されなかったり、コピーしたときに文字が浮き上がらないことがあります。

- 複写機、ファックス機、コピーに使用する入力機器（デジタルカメラやスキャナなど）と出力機器（プリンタなど）の機種や設定、組み合わせ
- 本製品のプリンタドライバの設定、消耗品（トナーなど）の状態や出力する用紙種類

透かし印刷するには

［基本設定］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログで任意の透かし印刷パターンを選択できます。

①透かし印刷

透かしパターンをメニューから選択します。

②色

カラー印刷するときは、透かし印刷の色（赤または青）を選択します。

モノクロ印刷するときは、常に黒になります。

③配置

透かしを［前面］に置くか、［背面］に置くかを選択します。［前面］と［背面］にて出力される印刷結果は、使用するアプリケーションソフトによって異なります。また、使用する用紙の種類などによっても、透かしの印刷状態は異なります。

- 通常は［背面］を選択します。
- 用紙の全面にデータを印刷するときや、アプリケーションソフトによって透かしが隠れてしまうときは、［前面］を選択します。ただし、印刷データにより透かし模様が浮き出ることがあるなど透かしの印刷状態が異なります。

- 透かし印刷と同時に割り付け印刷や拡大・縮小印刷を行うと、印刷される透かしパターンはその用紙の通常印刷時と同じ大きさのパターンで同じ範囲に印刷されます（たとえば、A3 の用紙に A4 の 2 面割り付け印刷を行うと、A4 サイズの透かしパターンが 2 つ印刷されるのではなく、A3 用紙の印刷可能領域内に A3 印刷時と同じ大きさの透かしパターンが印刷されます）。
- 透かし印刷実行時に［詳細設定］ダイアログの設定で反映されるのは［色］のみです。［印刷品質］は［高品質］に、［色補正方法］は「鮮やかな色合い」に設定され、そのほかの項目はデフォルト設定になります。
- スタンプマークを［背面］に配置したときは、スタンプマークは透かしの下に隠れます。
- データに白紙ページがあるときは、［拡張設定］ダイアログの［白紙節約する］が有効になっていても、白紙ページに透かし印刷をして出力します。
- ［拡張設定］ダイアログの［カラー / モノクロの自動判別を行う］をチェックした状態で、透かし印刷の色を設定してモノクロデータを印刷したときは、すべてカラーで印刷します。
- フォームオーバーレイデータが透かしの下に隠れるときは、透かしつきでオーバーレイ印刷データを作成すれば、フォームオーバーレイでも透かし印刷ができます。
- オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールを使ってフォームオーバーレイを印刷すると、透かしがフォームオーバーレイの下に隠れるので、［前面］を選択します。

透かし印刷の手順

透かしを印刷する手順は以下の通りです。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 16 ページ「設定画面の開き方」

2 **［基本設定］ダイアログを開いて、［セキュリティ印刷］をクリックします。**

3 **［セキュリティ印刷］ダイアログの［透かし印刷］メニューから印刷する透かしパターンを選択し、［色］* と［配置］を選択して、［OK］をクリックします。**

透かし印刷実行時に［詳細設定］ダイアログの設定で反映されるのは［色］のみです。［印刷品質］は［高品質］に、［色補正方法］は「鮮やかな色合い」に設定され、そのほかの項目はデフォルト設定になります。透かし印刷を有効にするかどうかの警告ダイアログが表示されたら、［はい］をクリックします。

* ［基本設定］ダイアログの［色］で［カラー］を選択した場合は透かしの色も選択します。

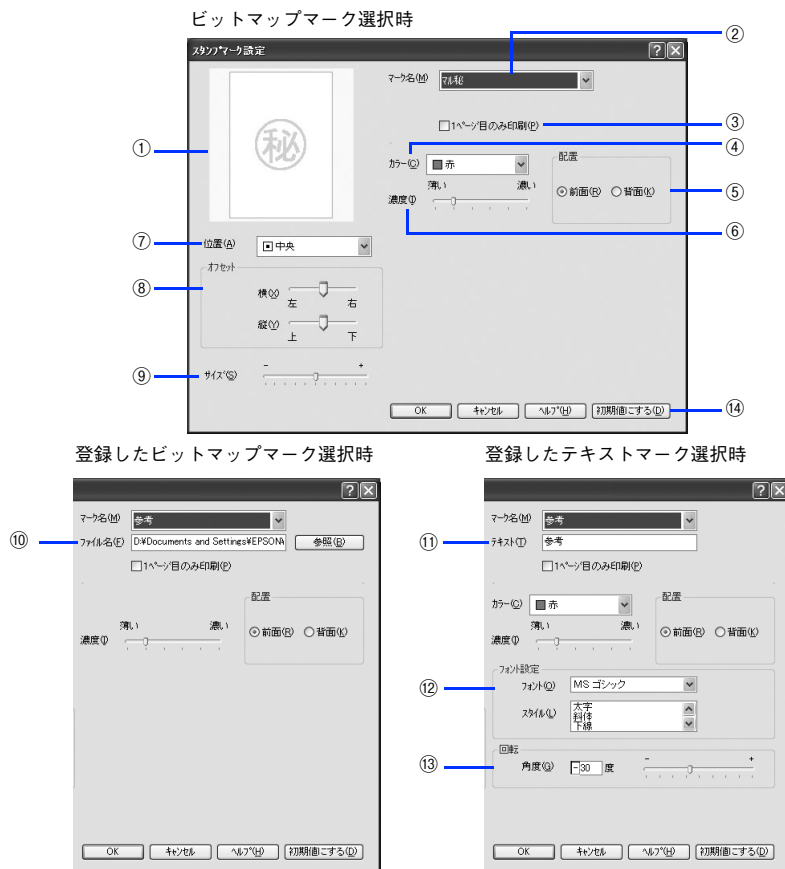
4 **［OK］をクリックして［セキュリティ印刷］ダイアログを閉じます。**

5 **［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［基本設定］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログで任意のスタンプマークを選択して［スタンプマーク設定］をクリックすると、［スタンプマーク設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

ビットマップマーク選択時

登録したビットマップマーク選択時　　登録したテキストマーク選択時

①プレビュー部
選択しているスタンプマークが表示されます。

②マーク名
印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③1 ページ目のみ印刷
用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

④カラー（カラーモデルのみ）
スタンプマークの色を選択します。

⑤配置
スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合があります。

⑥濃度
スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦位置
スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します（スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください）。

⑧ オフセット
スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます（スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください）。

⑨ サイズ
印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます（スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください）。

［位置］、［オフセット］、［サイズ］を設定する場合、スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください。

⑩ ファイル名（登録したビットマップマーク選択時のみ）
登録したビットマップマークを［マーク名］で選択すると、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］をクリックしてファイルを選択し直してください。

⑪ テキスト（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを［マーク名］で選択すると、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加 / 削除］をクリックして同一マーク名で上書きしてください。

⑫ フォント設定（登録したテキストマーク選択時のみ）
テキストマークを選択すると、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑬ 回転（登録したテキストマーク選択時のみ）
テキストマークを選択すると、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーで設定してください。

⑭［初期値にする］ボタン
［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する手順は以下の通りです。

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。
本書 16 ページ「設定画面の開き方」

2 ［基本設定］ダイアログを開いて、［セキュリティ印刷］をクリックします。

3 ［セキュリティ印刷］ダイアログの［スタンプマーク］リストボックスから印刷するスタンプを選択して、［OK］をクリックします。

- そのまま印刷する場合は、［OK］をクリックして 6 へ進みます。
- スタンプマークの設定を変更する場合は、［スタンプマーク設定］をクリックして 4 へ進みます。

4 スタンプマークの設定を変更してから、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックして［セキュリティ印刷］ダイアログを閉じます。

6 ［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

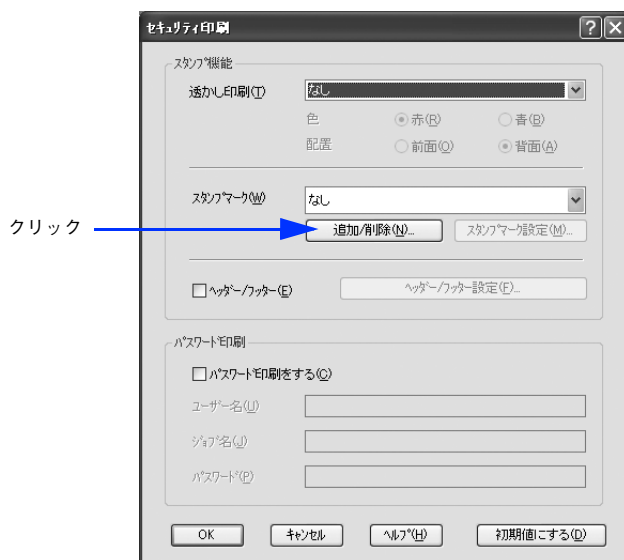
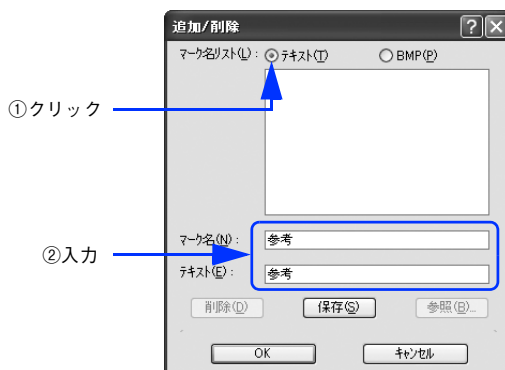
すでに登録されているスタンプマークのほかに、任意のテキスト（文字）やお好みの画像（BMP[*] 画像）を登録して印刷することができます。

＊ BMP（ビットマップ）：画像ファイルを保存する際のファイル形式の 1 つ。

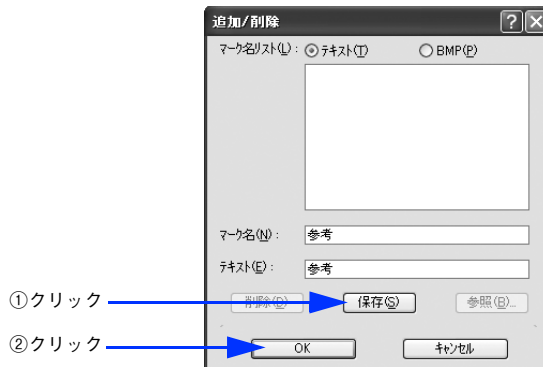
- 画像を登録するには、以下の操作を始める前に、画像を準備しておいてください。なお、登録できる画像のファイル形式は BMP だけです。
- 画像と単語を合計 10 個まで登録できます。

テキストマークの登録方法

1 ［基本設定］ダイアログを開いて、［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］ダイアログの［追加 / 削除］をクリックします。

3 ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を、［テキスト］に登録したい文字を入力します。

参考

先に［テキスト］に文字を直接入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたいときは便利です。なお、［マーク名］に直接入力すれば、［テキスト］内容とは別の名称で登録できます。

4 ［保存］をクリックして、［OK］をクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいマーク名を［マーク名リスト］から選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、［ページ装飾］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログの［OK］をクリックして必ず一旦閉じてください。

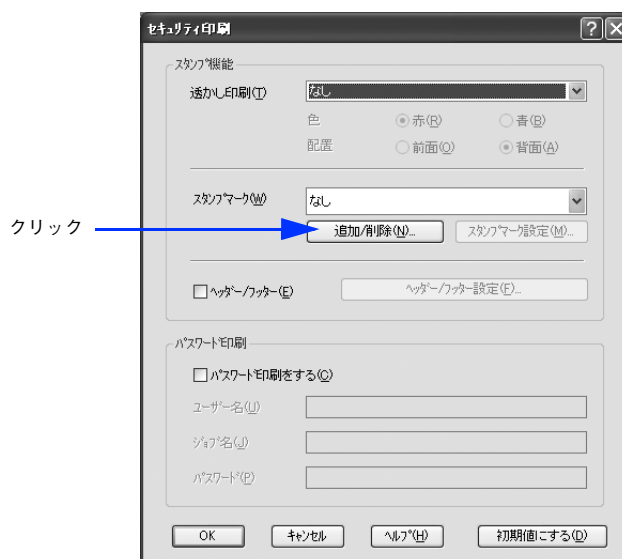
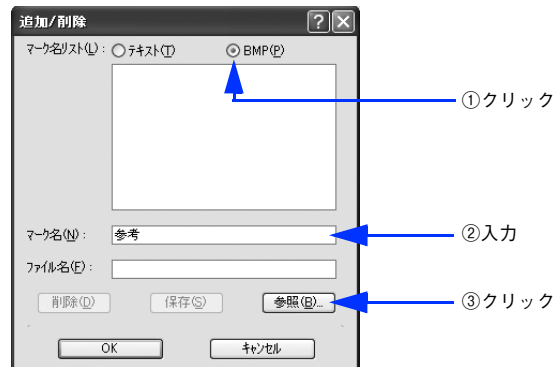
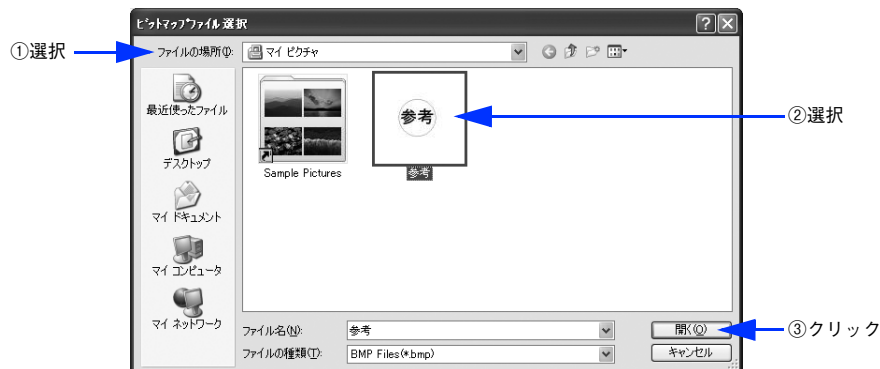
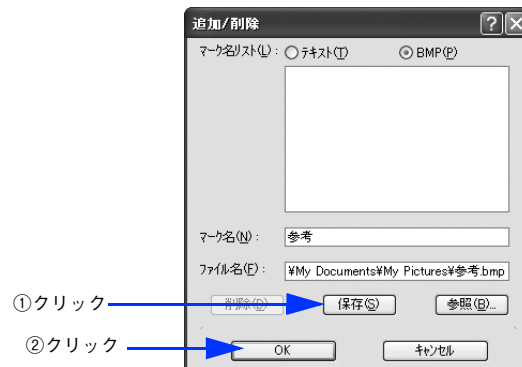
5 ［セキュリティ印刷］ダイアログで［OK］をクリックします。

以上で登録は終了です。登録したスタンプマークは、［スタンプマーク設定］ダイアログ左側のプレビュー部で確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。

2 ［基本設定］ダイアログを開いて、［セキュリティ印刷］をクリックします。

3 ［ページ装飾］ダイアログの［追加 / 削除］をクリックします。

4 ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］をクリックします。

5 1 でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、［OK］をクリックします。

6 ［保存］をクリックして、［OK］をクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、［マーク名リスト］から削除したいマーク名を選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、［ページ装飾］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログの［OK］をクリックして必ず一旦閉じてください。

7 ［セキュリティ印刷］ダイアログで［OK］をクリックします。

以上で登録は終了です。登録したスタンプマークは、［スタンプマーク設定］ダイアログ左側のプレビュー部で確認できます。

ヘッダー/ フッターを印刷するには

［基本設定］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログで［ヘッダー / フッター］をクリックすると、［ヘッダー / フッター設定］をクリックして以下の項目が設定できます。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号 *）を選択して、［OK］をクリックします。

＊　部単位で印刷するときに何部目であるかを示す番号

Windows 2000/XP/Server 2003 での、［ヘッダー / フッター］の設定は［動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の影響を受けます。
本書 78 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

ヘッダー/ フッター印刷の手順

透かしを印刷する手順は以下の通りです。

1　プリンタドライバの設定画面を表示します。

本書 16 ページ「設定画面の開き方」

2　［基本設定］ダイアログを開いて、［セキュリティ印刷］をクリックします。

3　［セキュリティ印刷］ダイアログの［ヘッダー / フッター］をクリックし、［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。

4 リストボックスから印刷するヘッダー / フッターを選択して、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックして［セキュリティ印刷］ダイアログを閉じます。

6 ［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

パスワード印刷をするには

［基本設定］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログでパスワード印刷ジョブを設定できます。パスワード印刷ジョブは、操作パネルからパスワードを入力して印刷してください。

- パスワード印刷は、オプションのハードディスクユニットを本機に取り付けないと利用できません。
- 印刷されないパスワード印刷ジョブは、本機の電源再投入やリセットオールでハードディスクから削除されます。

①パスワード印刷をする

パスワード印刷を行うときにチェックマークを付けます。パスワード印刷を行わない場合は、チェックマークを外します。

②ユーザー名

パスワード印刷ジョブに設定するユーザー名（英数字などの 1 バイト文字 14 文字、または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで）を入力します。

③ジョブ名

パスワード印刷ジョブに設定するジョブ名（英数字などの 1 バイト文字 14 文字、または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで）を入力します。

④パスワード

パスワード印刷ジョブのパスワード（0 ～ 9 の半角数字を 4 桁）を入力します。

パスワード印刷ジョブの設定手順

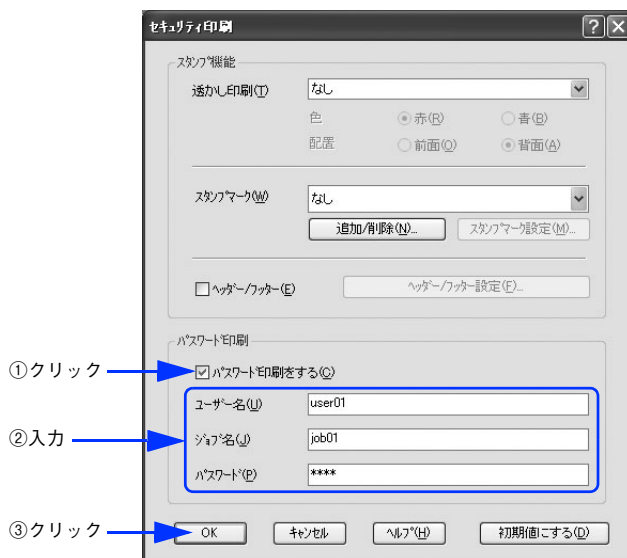
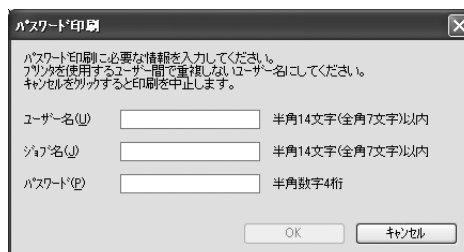
パスワード印刷ジョブの設定手順は以下の通りです。

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

本書 16 ページ「設定画面の開き方」

2 ［基本設定］ダイアログを開いて、［セキュリティ印刷］をクリックします。

3 ［セキュリティ印刷］ダイアログの［パスワード印刷をする］にチェックマークを付け、［ユーザー名］、［ジョブ名］、［パスワード］を各欄に入力して、［OK］をクリックします。

- ［ユーザー名］は英数字などの 1 バイト文字 14 文字または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで、任意のユーザー名を入力します。
- ［ジョブ名］は英数字などの 1 バイト文字 14 文字または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで、任意のジョブ名を入力します。
- ［パスワード］は 0 ～ 9 の半角数字を 4 桁入力します。

［セキュリティ印刷］ダイアログの［ユーザー名］、［ジョブ名］、［パスワード］を 1 項目でも未入力のまま印刷を実行すると、以下のダイアログが表示されて入力を促します。1 回の印刷で複数ジョブを作成するようなとき（Excel のブック印刷など）は、ジョブ数分このダイアログが表示されます。

なお、ダイアログが正常に表示される環境は以下のプリンタ接続環境のときのみです。

- ローカル接続時（Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003）
- EpsonNet Print 接続時（Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003）
- Standard TCP/IP 接続時（Windows 2000/XP）
- LPR 接続時（Windows 2000/XP）
- 追加ドライバ機能によるプリンタ共有接続時（Windows 2000/XP 同士、Windows 98/Me 同士、Windows 2000/XP/Server2003 サーバと Windows 98/Me クライアント、Windows Server 2003 サーバと Windows XP/2000 クライアント）

上記以外の接続環境ではダイアログを表示しないことがありますので、［セキュリティ印刷］ダイアログの［ユーザー名］、［ジョブ名］、［パスワード］すべての項目を入力してから［OK］をクリックしてください。

4 ［OK］をクリックして印刷を実行します。

印刷ジョブは印刷されずに、オプションのハードディスクに保存されます。保存されたパスワード印刷ジョブは、操作パネルからユーザー名を選択してパスワードを入力し、ジョブ名を選択して印刷します。

本書 55 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷手順」

■ パスワード印刷ジョブの印刷手順

パスワード印刷ジョブは、操作パネルに［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態から、以下の手順で印刷できます。

1 操作パネルの［ ↲▶（3）］ボタンを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、操作パネルに［プリンタ情報］などの設定メニューが表示されます。

- ［印刷可］ボタンを押すと、設定の途中でも［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態へ戻ることができます。
- ［ ◀（1）］ボタンを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。

2 ［パスワード印刷］メニューを選択します。

①［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して、ハイライト表示を［パスワード印刷］に切り替えます。

②［ ↲▶（3）］ボタンを押して次の手順へ進みます。

3 ［ユーザー名］を選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して、［ユーザー名］を切り替えます。

②［ ↲▶ (3)］ボタンを押します。［ユーザー名］が有効になり、次へ進みます。

4 ［パスワード］を入力します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の 1 桁目の数字を選択し、［ ↲▶ (3)］ボタンを押して 1 桁目を確定します。

②［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の 2 桁目の数字を選択し、［ ↲▶ (3)］ボタンを押して 2 桁目を確定します。

③［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の 3 桁目の数字を選択し、［ ↲▶ (3)］ボタンを押して 3 桁目を確定します。

④［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の 4 桁目の数字を選択し、［ ↲▶ (3)］ボタンを押して 4 桁目を確定します。
入力した［パスワード］と一致する印刷ジョブが登録されていると次に進みます。

- ［ ◀ (1)］ボタンを押しても、確定した桁へは戻れません。
- 確定した桁は表示が＊に変わります。
- 確定した数字の間違いに途中で気付いたときは、［印刷可］または［ジョブキャンセル］ボタンを押して一旦設定モードから抜けて、最初からやり直します。
- 入力したパスワードと一致するユーザーの印刷ジョブがない場合は、「パスワードが違います」を表示して設定モードから通常の印刷モードに抜け出します。

5 ［ジョブ名］を選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して、［ジョブ名］を切り替えます。

②［↲▶(3)］ボタンを押します。［ジョブ名］が有効になり、次へ進みます。

6 ［印刷部数］を設定して印刷を実行します。

設定項目の選択

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押してハイライト表示を［印刷部数］に切り替えます。

②［↲▶(3)］ボタンを押します。設定値の階層へ進みます。

設定値を選択します。

③［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して［印刷部数］（1 ～ 999）を設定します。

④［ ↲▶（3）］ボタンを押します。設定値が有効になり、印刷が始まります。

印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。印刷が終了すると、［印刷できます］状態に戻ります。

■ パスワード印刷ジョブの削除

パスワード印刷ジョブはプリンタのハードディスクユニットに一旦保存され、以下の条件で削除されます。

- 印刷したとき
- 印刷しないで本機の電源をオフにしたとき（未印刷のすべてのパスワード印刷ジョブを削除）
- 操作パネルで［データ消去］を実行したとき
- 操作パネルで［リセットオール］を実行したとき（未印刷のすべてのパスワード印刷ジョブを削除）

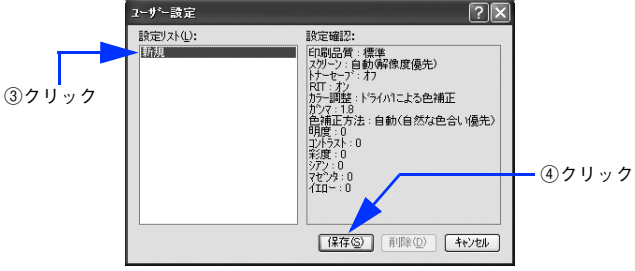
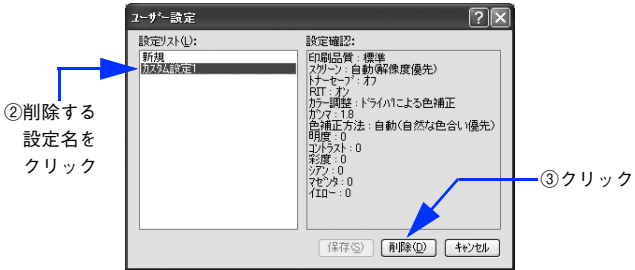
プリンタのハードディスクユニット内のデータを完全に消去するときや廃棄するときは、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表に記載されています。

［応用設定］ダイアログ

プリンタドライバの［応用設定］ダイアログでは、印刷品質などの設定を行います。

<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

①拡大 / 縮小

拡大または縮小して印刷することができます。

☞ 本書 24 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 70 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

②印刷品質

印刷の品質を決定するさまざまな機能を設定します。

項目	説明
推奨	一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この［推奨］で良い印刷結果が得られます。印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。通常は［標準］の設定で十分な印刷品質が得られます。［高品質］は、印刷品質を最優先にして印刷を行うときに選択してください。
詳細	［詳細］をクリックすると、プリセットメニューのリストボックス、［詳細設定］、［保存 / 削除］が有効になり、詳細な設定ができます。 ☞本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

項目	説明
［保存 / 削除］	**保存するには** ①あらかじめ［詳細設定］ダイアログで設定しておきます。 　☞本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 ②［応用設定］ダイアログの［保存 / 削除］をクリックします。 ③クリック ④クリック ［カスタム設定 1 ～ 10］として 10 組まで保存できます。 **削除するには** ①［応用設定］ダイアログの［詳細］－［保存 / 削除］を順番にクリックします。 ②削除する設定名をクリック ③クリック ④確認ダイアログで［はい］をクリックします。

印刷できなかったりメモリ関連のエラーメッセージが表示されるようなときは、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  ☞ 本書 344 ページ「［USB I/F 設定］メニュー」
  ☞ 本書 346 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できないときは、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

カラー印刷時に［詳細］をクリックすると、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷するときに選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷するときに選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷するときに選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン !5	EPSON 独自の画像補正技術オートフォトファイン !5 を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ICM	Windows の ICM(Image Color Matching) 機能を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタの印刷結果の色合いを合わせて印刷します。
sRGB	スキャナやディスプレイなどの機器が sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチングを行って印刷します。お使いの機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷するときに選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷するときに選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷するときに選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

③ 180 度回転

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④［ページ装飾］ボタン

フォームオーバーレイの設定をするダイアログを表示します。

☞ 本書 68 ページ「［ページ装飾］ダイアログ」

⑤［設定確認］ボタン

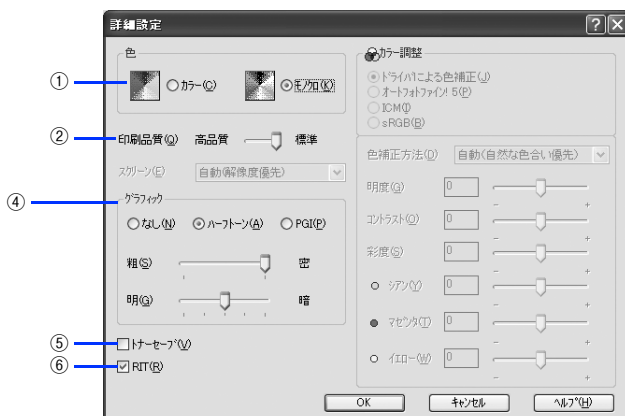
プリンタドライバの設定一覧を表示します。また、設定の一覧を印刷することができます。

⑥［初期値にする］ボタン

［応用設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

[詳細設定]ダイアログ

[応用設定] ダイアログで [印刷品質] の [詳細] をクリックして、さらに [詳細設定] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログが開いて印刷条件の詳細な設定ができます。

カラー設定時（カラーモデルのみ）

モノクロ設定時（カラー / モノクロモデル）

透かし印刷実行時に [詳細設定] ダイアログの設定で反映されるのは [色] のみです。[印刷品質] は [高品質] に、[色補正方法] は「鮮やかな色合い」に設定され、そのほかの項目はデフォルト設定になります。

①色（カラーモデルのみ）

カラー印刷を行うときは、[カラー] を、モノクロ印刷を行うときは [モノクロ] を選択します。

②印刷品質

印刷の解像度を [標準]（300dpi）または [高品質]（600dpi）から選択できます。[高品質] を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、[標準] を選択してください。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

印刷できなかったりメモリ関連のエラーメッセージが表示されるようなときは、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  本書 344 ページ「［USB I/F 設定］メニュー」
  本書 346 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できないときは、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

③スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。

項目	説明
自動（階調優先）	文字や写真、グラデーションのあるデータに対して最適なスクリーン線数を自動的に設定します。
自動（解像度優先）	文字や写真、グラフなどの図形に対して最適なスクリーン線数を自動的に設定します。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。文字や細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

［基本設定］ダイアログの［用紙種類］で［OHP シート］が選択されていると、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

④グラフィック（モノクロ印刷のみ）

カラーモデルでは①「色」で［モノクロ］を選択すると設定できます。モノクロモデルでは常に設定できます。

項目	説明
なし	グラフィックの印刷処理を行いません。グレースケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。
PGI	PGI*(Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を PGI 処理してきれいに印刷できます。
粗密	［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷粗密度をスライドバーで調整できます。［密］側にスライドするとより細かく、［粗］側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。
明暗	［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［明］側にスライドするとより明るく、［暗］側にスライドするとより暗くグラフィックを印刷します。

＊　PGI：階調表現力を 3 倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

- ［PGI］で印刷できない場合は、メモリを増設するか、［印刷品質］を［標準］に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、［PGI］を選択すると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は［PGI］以外の設定にして印刷してください。
- 粗密を［密］にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれて真っ黒になります。コピーをする場合は、［密］にしないで印刷することをお勧めします。

⑤トナーセーブ

［詳細設定］を選択すると、トナーセーブ機能を設定できます。カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。

トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑥RIT

RIT*（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

＊ RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の印刷機能。

- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、③の［スクリーン］の設定またはデータ上の色によって RIT 機能が有効にならない場合があります。

⑦ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）

プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択すると、以下の設定でカラーを調整できます。

ガンマ：

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。

項目	説明
1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷することができます。
1.8	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べて立体感があり、メリハリのある画像を印刷することができます。
2.2	sRGB 対応製品と色合わせして印刷するときに選択してください。⑨の［sRGB］を選択しても同様の結果が得られます。

色補正方法:
色の補正方法を選択できます。

項目	説明
自動（自然な色合い優先）	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自動（鮮やかさ優先）	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自然な色合い	より自然な発色になるようにカラー調整します。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
色補正なし	カラー調整しません。ICM 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度:
画像全体の明るさを調整します。

コントラスト:
画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度:
画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー:
各色の強さを調整します。

	-25	← 0 →	+25
シアン	赤みが強くなります。 ←	→	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。 ←	→	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。 ←	→	黄色（イエロー）が強くなります。

［明度］と［コントラスト］は、［実装オプション］ダイアログの［カラートナーカトリッジ］がチェックされている（カラーモデルで使用）ときに有効になります。

⑧ オートフォトファイン !5（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン !5 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン !5］を選択すると、以下の設定でカラーを調整します。

☞ 本書 543 ページ「オートフォトファイン !5」

項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［セピア］［鮮やか］［モノクロ］［色調補正なし］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［なし］［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンパス］［和紙］の中から選択することができます。リスト下のスライドバーは、加える効果の強弱（［ハード］、［ソフト］）を調整することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !5 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色（8bit）などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !5 は使用しないでください。

⑨ ICM（カラー印刷のみ）

Windows の ICM（Image Color Matching）機能を使用して、スキャナから取り込んだ画像とプリンタの印刷結果の色合いを合わせるときに選択します。

⑩ sRGB（カラー印刷のみ）

スキャナやディスプレイなどが sRGB* に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。

＊ sRGB：Microsoft 社とヒューレットパッカード社が共同で制定した RGB の色の規格。

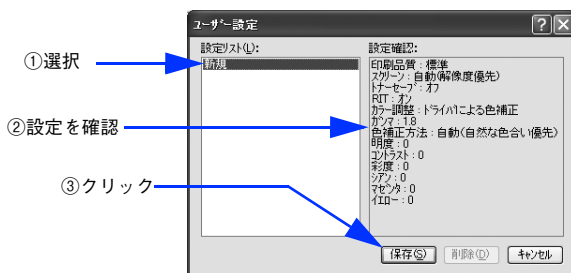
ユーザー設定の保存方法

ここでは、［詳細設定］ダイアログの設定を保存する方法、また、以前に保存した設定を削除する方法を説明します。

1 ［詳細設定］ダイアログで各項目を設定し、［OK］をクリックします。

<画面例：カラー印刷の場合>

2 ［保存 / 削除］をクリックします。

3 設定リストから［新規］を選択し、［保存］をクリックします。

これで、［応用設定］ダイアログのプリセットメニューから選択できるようになります。

- 設定を削除するには、［設定リスト］から削除する設定名をクリックして選択し、［削除］をクリックします。
- 10 件まで登録することができます。
- 設定名として任意の名前を付けることはできません。
- 一度保存した設定を上書き保存することはできません。
- 透かし印刷実行時に［詳細設定］ダイアログの設定で反映されるのは［色］のみです。［印刷品質］は［高品質］に、［色補正方法］は「鮮やかな色合い」に設定され、そのほかの項目はデフォルト設定になります。

[ページ装飾]ダイアログ

［応用設定］ダイアログで［ページ装飾］をクリックすると、［ページ装飾］ダイアログが開きます。［ページ装飾］ダイアログは、フォームオーバーレイ印刷を行うときに設定するダイアログです。

① フォームオーバーレイ

フォームデータを重ね合わせて印刷します。

- フォームオーバーレイとは、一定のフォーム（書式）データとアプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能のことです。この機能を利用することにより、あらかじめ印刷された帳票などを用意する必要がなくなり、また、フォームの変更などに迅速に対応することができるようになります。
- 本ドライバにはフォームデータは添付されておりません。フォームデータを作成・編集するには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）が必要です（オーバーレイユーティリティをインストールすると、［オーバーレイ設定］ダイアログの機能が拡張されます）。詳細はフォームオーバーレイユーティリティソフトに添付の取扱説明書を参照してください。
- ［環境設定］ダイアログの［拡張設定］-［印刷モード］で［標準（PC）］を選択している場合は、フォームオーバーレイ印刷はできません。
  本書 73 ページ「［環境設定］ダイアログ」

重ね合わせるフォームデータを選択するには、［フォームオーバーレイ］をチェックして［オーバーレイ設定］ボタンをクリックして［オーバーレイ設定］ダイアログを開きます。

［フォーム］リスト：

フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）であらかじめ作成して登録しておいたフォーム名を、リストから選択します。選択したフォームデータを重ね合わせて印刷します。フォームを登録していない場合は、フォーム名は表示されません。

［詳細］ボタン：

- ［フォーム］リストでフォーム名を選択して［詳細］ボタンをクリックすると、［フォーム詳細］ダイアログが開きます。印刷するフォームをこのダイアログで選択できます。
- ［フォーム］リストで［フォーム名称なし］を選択して［詳細］ボタンをクリックした場合は、［フォーム指定］ダイアログが開きます。フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）で作成したフォームファイルや、本機に装着したオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールに登録したフォームを指定できます。

ファイル指定：

コンピュータのハードディスクに保存しているファイルを指定する場合は、［ファイル指定］をクリックして、ファイル名（保存場所のパスを含む）を入力します。［参照］ボタンをクリックしてファイルを探し、直接指定することもできます。

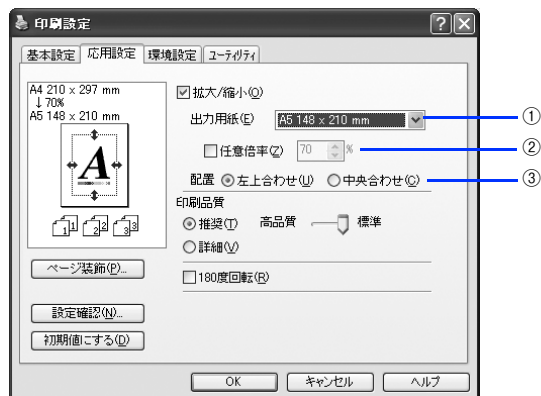
ROM モジュール指定：（モノクロ印刷設定時のみ）

本機に装着したオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールにフォームを登録している場合は、［ROM モジュール指定］を選択できます。［ROM モジュール指定］をクリックしてから、使用するフォームの登録番号をリストから選択してください。ROM モジュールの情報を登録している場合は、［情報印刷］ボタンをクリックして、ROM モジュールに登録しているフォームの情報を印刷して確かめることができます。

オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）をインストールすると、オーバーレイデータが作成できるように標準の［オーバーレイ］ダイアログの機能が拡張されます。詳細は、フォームオーバーレイユーティリティソフトに添付の取扱説明書を参照してください。

拡大 / 縮小して印刷するには

［応用設定］ダイアログの［拡大 / 縮小］をチェックすると、以下の項目が設定できます。

<例> Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①出力用紙

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。設定した情報が画面左側に表示されます。

［出力用紙］は［基本設定］ダイアログで設定した［用紙サイズ］に対して設定されます。

本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」

②任意倍率

50 ～ 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます（ただし、フィットページ印刷は行われません）。

③配置

ページのどこにフィットページ印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

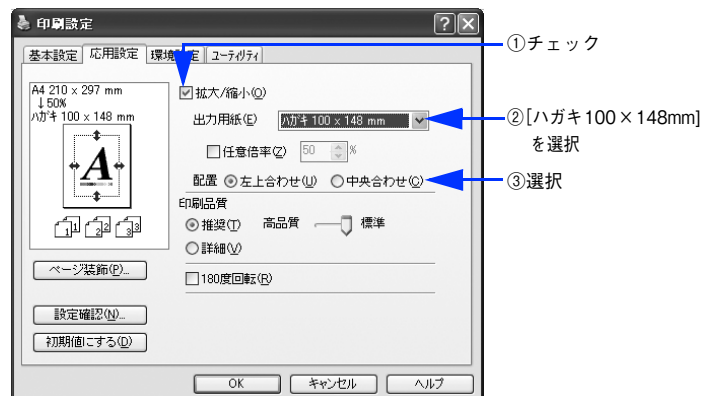
拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷

本機にセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。ここではフィットページ機能を使って用紙サイズ A4 の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順を説明します。

1. **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
本書 16 ページ「設定画面の開き方」

3. **［基本設定］ダイアログを開いて、［用紙サイズ］が［A4］になっていることを確認します。**

4. **［応用設定］ダイアログを開いて［拡大 / 縮小］チェックして、［出力用紙］から［ハガキ 100 × 148mm］を選択して、［配置］を任意に選択します。**

5. **［OK］をクリックして［応用設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

1 拡大 / 縮小率を計算します。

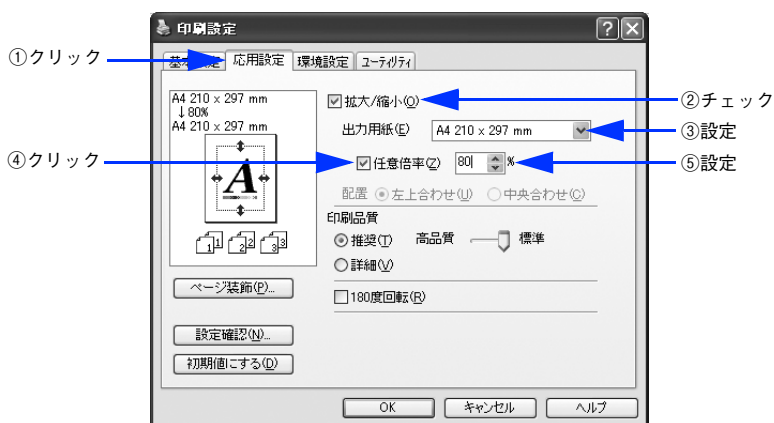
- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大 / 縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの設定画面を表示します。

本書 16 ページ「設定画面の開き方」

3 ［基本設定］ダイアログを開いて、アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを［用紙サイズ］から選択します。

4 ［応用設定］ダイアログを開いて［拡大 / 縮小］をチェックし、プリンタから出力される用紙サイズを［出力用紙］で選択して、さらに［任意倍率］をチェックして［倍率］を設定します。

倍率は、数値を直接入力するか、入力ボックス右側の三角マーク（ / ）をクリックして設定してください。50 ～ 200% の間で倍率を指定できます。

以下のような場合は、［出力用紙］が［任意倍率］に合っていません。

- 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
- 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

5 ［OK］をクリックしてダイアログを閉じてから、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

[環境設定]ダイアログ

[環境設定]ダイアログは、お使いの OS や開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。

[プリンタ]フォルダから開いた場合

		Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003			
			印刷設定		プロパティ	
			管理者	管理者以外	管理者	管理者以外
設定項目	プリンタ（オプション情報）	○	—	—	○	△
	ステータスシート印刷	○	○	○	○	○
	拡張設定	○	○	○	—	—
	動作環境設定	○	△	△	○	△

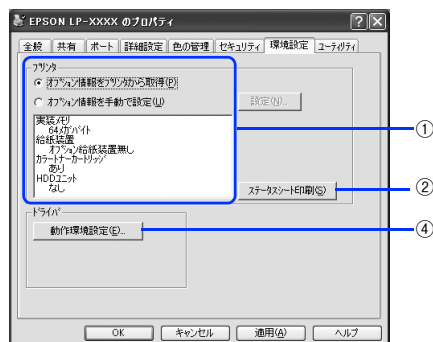
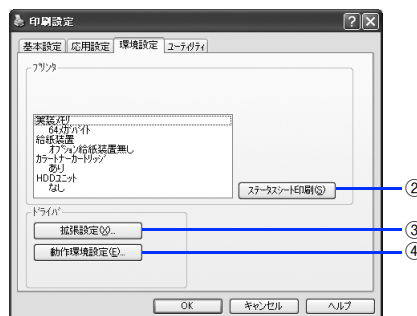
アプリケーションソフトから開いた場合

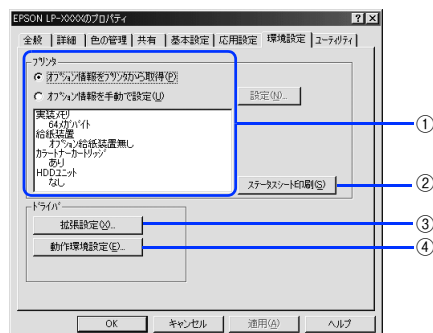
		Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003	
			管理者	管理者以外
設定項目	プリンタ（オプション情報）	—	—	—
	ステータスシート印刷	○	○	○
	拡張設定	○	○	○
	動作環境設定	△	△	△

○ :選択可（ダイアログを開いて設定できます）
△ :確認のみ（選択できますが、設定できません）
ー :非表示（選択・設定できません）

Windows 2000/Server 2003 では管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザーまたはアクセス許可を与えられた Users のみが、Windows XP では「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーが設定を変更でき、[プロパティ] または [印刷設定] のどちらで [環境設定] ダイアログを開くかによって、設定できる項目（[拡張設定] または [動作環境設定]）が異なります。ダイアログの開き方は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 16 ページ「設定画面の開き方」

以下に代表的な画面を掲載して項目の説明をします。

<例> Windows 2000/XP/Server 2003

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

［プリンタ］フォルダから［印刷設定］を選択して開いた場合
（アプリケーションソフトから開いた場合）

<例> Windows 98/Me

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

アプリケーションソフトから開いた場合

①プリンタ（オプション情報）

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開くと、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置など）の有無を表示します。オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

項目	説明
オプション情報をプリンタから取得	［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択してプリンタドライバを開いたときに、オプション情報を自動的に取得します。 * EPSON ステータスモニタがインストールされていて、かつ双方向通信が可能な場合のみ有効になります。
オプション情報を手動で設定	［設定］をクリックして［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。 本書 75 ページ「［実装オプション設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いたとき（Windows 2000 /XP/ Server 2003 で［印刷設定］を選択したとき）は、最新のオプション情報は表示されません。［設定］も表示されません。

②［ステータスシート印刷］ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

本書 461 ページ「ステータスシートでの確認」

③［拡張設定］ボタン

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能などの設定を行うときにクリックします。

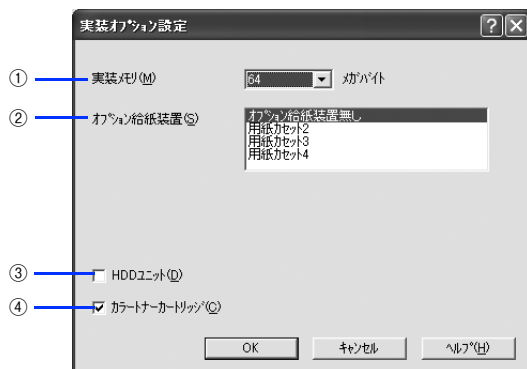
本書 76 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

④［動作環境設定］ボタン

印刷データを一時的に保存するためのフォルダを指定し、透かし印刷、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷、パスワード印刷を許可するかしないかを設定します。

本書 78 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

［実装オプション設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を開き、［環境設定］ダイアログを開いて、［オプション情報を手動で設定］をクリックして［設定］をクリックすると、［実装オプション設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

変更した設定値は［OK］をクリックすることで有効になります。

①実装メモリ

装着しているメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイト（MB）です。標準搭載のメモリの容量は 64MB です。

②オプション給紙装置

オプションの給紙装置を装着していない場合は、［オプション給紙装置無し］をクリックして選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。選択を解除するには、再度クリックします。

③HDD ユニット

オプションのハードディスクユニットを給紙装置をを装着している場合は、チェックマークを付けます。装着していない場合は、チェックマークを外します。

④カラートナーカートリッジ

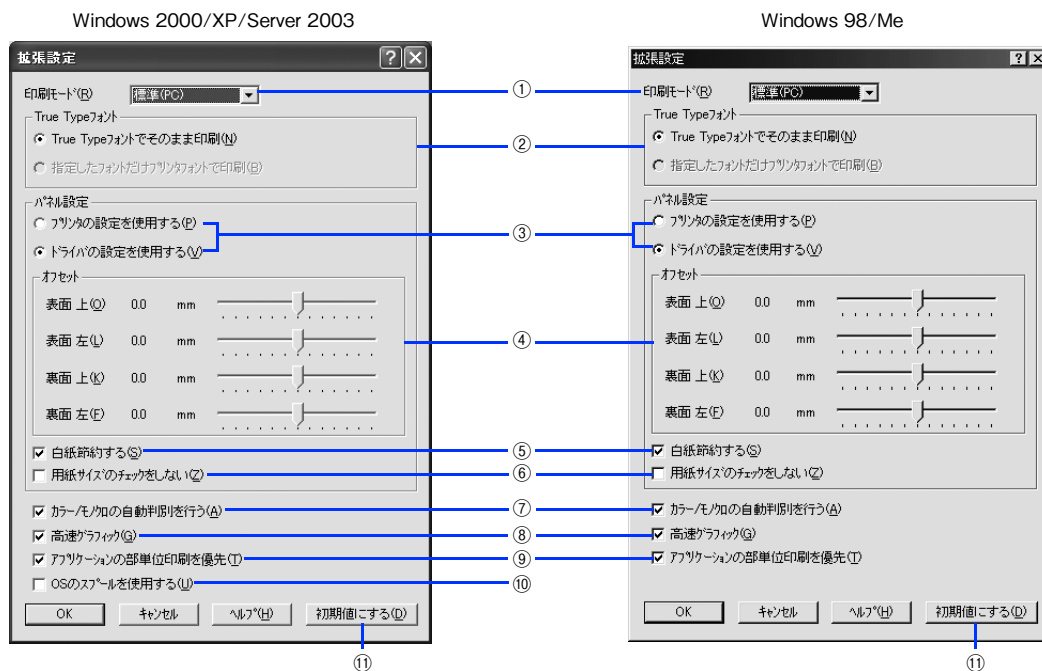
カラーモデルとして使用するときにチェックを付けると、カラー印刷に関連する機能が利用できます（モノクロ印刷も可能です）。モノクロモデルとして使用するときにチェックを外すと、カラー印刷に関連する機能を無効にしてモノクロ印刷だけの機能が有効となります。カラー / モノクロ専用機種として切り替えるときに設定してください。

本書 533 ページ「カラー / モノクロモデルの変更方法」

[拡張設定]ダイアログ

[環境設定] ダイアログで [拡張設定] をクリックすると、[拡張設定] ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

Windows 2000/XP/Server 2003 で、[プリンタ] フォルダ（Windows XP/Server 2003 では [プリンタと FAX] フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを開いて、[環境設定] タブを選択した場合は表示されません。表示するためには、下記のいずれかの方法を選択してください。

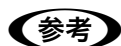
- プリンタドライバのプロパティを開いて [詳細設定] タブを選択し、[標準の設定] をクリックする。
- [プリンタ] フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は [プリンタと FAX] フォルダ）の [ファイル] メニューから [印刷設定] を選択する。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く。

① 印刷モード

印刷モードを選択します。

項目	説明
標準（PC）	印刷データをコンピュータで主に処理します。
標準（プリンタ）	印刷データをプリンタで主に処理します。

- お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は、[標準（PC)] を選択してください。プリンタの負荷を軽くすることができます。
- お使いのコンピュータの処理能力が低い場合は、[標準（プリンタ）] を選択してください。コンピュータの負荷を軽くすることができます。
- [標準（PC）] を選択した場合、[フォームオーバーレイ] と [指定したフォントだけプリンタフォントで印刷] は使用できません。

②TrueType フォント
TrueType フォントをそのまま印刷するか、プリンタのフォントに置き換えて印刷するかを選択します。

項目	説明
TrueType フォントでそのまま印刷	TrueType フォントをそのまま印刷します。
指定したフォントだけプリンタフォントで印刷	TrueTypeフォントを、プリンタフォントに置き換えることにより高速に印刷できます。

［印刷モード］が［標準（PC)］の場合、フォントの置き換えはできません。

③プリンタの設定を使用する / ドライバの設定を使用する
以下の④［オフセット］、⑤［白紙節約する］、⑥［用紙サイズのチェックをしない］の項目は、操作パネルとプリンタドライバのどちらの設定を使用して印刷するかを選択できます。

項目	説明
プリンタの設定を使用する	操作パネルの設定を使用して印刷します（プリンタドライバでは設定できません）。 本書 323 ページ「設定項目の説明」
ドライバの設定を使用する	プリンタドライバでの設定を使用して印刷します（操作パネルの設定を無視します）。

④オフセット
印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）: -30mm（上方向）～ 30mm（下方向）
左（水平位置）: -30mm（左方向）～ 30mm（右方向）

⑤白紙節約する
白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑥用紙サイズのチェックをしない
プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

⑦カラー/ モノクロの自動判別を行う
印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

⑧高速グラフィック
グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷します。グラフィックが正常に印刷できないときは、チェックを外してください。

⑨アプリケーションの部単位印刷を優先
アプリケーションで設定した部単位印刷の設定を優先します。

!注意

- ［アプリケーションの部単位印刷を優先］の設定を切り替えるには、［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 では［プリンタと FAX］フォルダ）のプリンタアイコンを右クリックして［印刷設定］－［拡張設定］ダイアログを開いてください。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて［拡張設定］ダイアログを開いて［アプリケーションの部単位印刷を優先］を変更しても有効になりません。
- ［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効にした（チェックを外す）場合は、アプリケーションソフトではなく、必ずプリンタドライバで［部単位で印刷］を設定してください。
本書 33 ページ「⑨ 部単位で印刷」

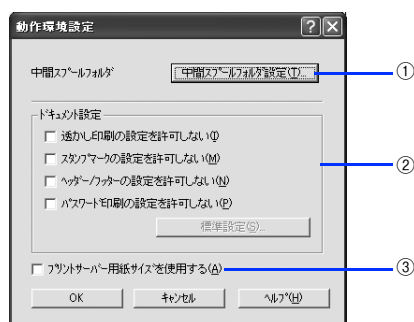
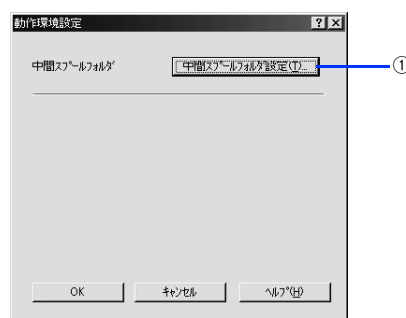
⑩ **OS のスプールを使用する（Windows 2000/XP/Server 2003）**
Windows のスプール機能を使用します。アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になる、印刷時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。このようなときは、チェックを外してください。

⑪ **［初期値にする］ボタン**
［拡張設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

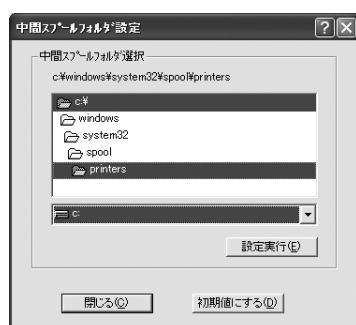
［動作環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［動作環境設定］をクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開くと、設定を変更できません。設定を変更するには、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタのプロパティを開き、［環境設定］タブ内の［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- 管理者権限のあるユーザー（Windows 2000/Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）のみ設定できます。

Windows 2000/XP/Server 2003

Windows 98/Me

① **［中間スプールフォルダ設定］ボタン**
スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定する［中間スプールフォルダ選択］ダイアログを開きます。通常は、設定を変更する必要はありません（以下の画面は例で、実際の中間スプールフォルダとは異なります）。

Windows 2000/XP/Server 2003

Windows 98/Me

項目	説明
中間スプールフォルダ選択	中間スプールフォルダを選択します。
設定実行	変更した中間スプールフォルダを有効にします。
初期値にする	中間スプールフォルダを初期設定フォルダに戻します。
閉じる	［中間スプールフォルダ設定］ダイアログを閉じます。

- Windows 2000/XP/Server 2003 で中間スプールフォルダを選択する場合は、選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定がすべてのユーザーで「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
- 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択すると印刷できるようになります。

②ドキュメント設定（Windows 2000/XP/Server 2003）

透かし印刷、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷、パスワード印刷の許可・不許可を設定できます。［印刷設定］から開いた［セキュリティ印刷］ダイアログの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

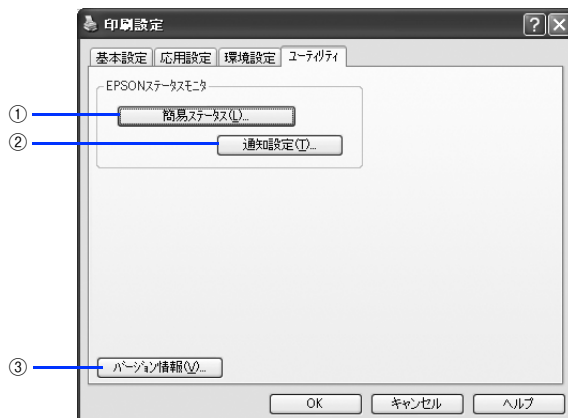
	［ドキュメント設定］ダイアログボックスでの設定： ［透かし印刷の設定を許可しない］ ［スタンプマークの設定を設定しない］ ［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］ ［パスワード印刷の設定を許可しない］	
	チェックなし	チェックあり
透かし印刷	設定を変更できます。	［色］と［配置］以外の設定は変更できません。
スタンプマーク	設定を変更できます。	設定は変更できません。
ヘッダー / フッター	設定を変更できます。	設定は変更できません。
パスワード印刷	設定を変更できます。	設定は変更できません。
説明	透かし印刷、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷、パスワード印刷は［セキュリティ印刷］ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザー（Windows 2000/Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントではないユーザー（Windows XP）でも自由に設定できます。	透かし印刷、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷、パスワード印刷は［動作環境設定］ダイアログで設定します。［標準設定］をクリックして［セキュリティ印刷］ダイアログを開き設定してください。ここでの設定が優先されて設定を変更できなくなります。なお、パスワード印刷の［ユーザー名］、［ジョブ名］、［パスワード］は、印刷実行時にユーザー自身が入力する必要があります。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更するには、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタのプロパティを開き、［環境設定］タブ内の［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- 透かし印刷、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷、パスワード印刷を管理する必要があるときは、管理者権限のあるユーザー（Windows 2000/Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）で設定してください。

③プリントサーバー用紙サイズを使用する（Windows 2000/XP/Server 2003）

プリンタドライバにあらかじめ登録されている用紙サイズの他に、OS に登録されている独自の用紙サイズが［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］リストから選択可能になります。ただし、本機がサポートしない用紙サイズは使用しないでください。

[ユーティリティ]ダイアログ

［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトの EPSON ステータスモニタにかかわる設定を行います。

①[簡易ステータス]ボタン

クリックすると、プリンタの状態が監視できる［簡易ステータス］ダイアログが開きます。

☞ 本書 81 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」

②[通知設定]ボタン

クリックすると、［通知設定］ダイアログが表示され、EPSON ステータスモニタの動作環境を設定することができます。

☞ 本書 90 ページ「［通知設定］ダイアログ」

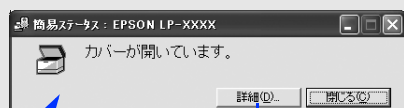
③バージョン情報

プリンタドライバや EPSON ステータスモニタのバージョン情報を表示します。

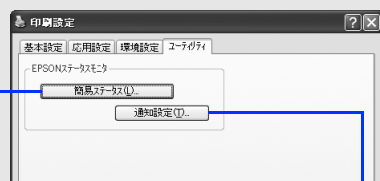
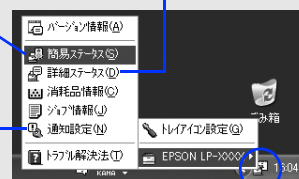
プリンタの状態をコンピュータで監視するには

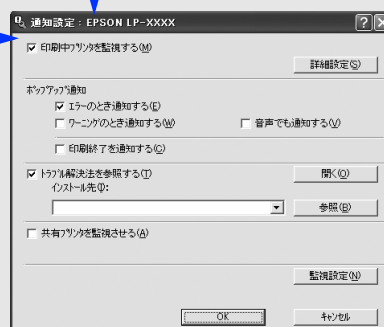
EPSON ステータスモニタは、プリンタの状態をコンピュータ上で監視できるユーティリティです。

プリンタエラーを表示します

［簡易ステータス］ダイアログ
印刷を実行すると、プリンタの監視を開始し、エラー発生時や消耗品残量が少なくなったときなどのプリンタの状態を表示します。

［詳細ステータス］ダイアログなど
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で確認することができます。

EPSON ステータスモニタの画面を開くには

［ユーティリティ］ダイアログから

タスクトレイのEPSONステータスモニタのアイコンから

動作環境を設定するには

［通知設定］ダイアログ
どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON ステータスモニタの動作環境を設定することができます。

EPSON ステータスモニタをお使いいただく前に

EPSON ステータスモニタでプリンタを監視するための条件

EPSON ステータスモニタは、次の接続形態において使用できます。

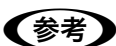
- ローカル接続
- TCP/IP 直接接続
- Windows 共有プリンタ

- NetBEUI を使用した直接印刷と IPP 印刷では、ネットワークプリンタの監視はできません。
- USB メモリに印刷データを保存するための［EPSON USB メモリプリンタ］（接続ポートに EPSON USB Memory Port を割り当てた仮想プリンタ）の監視はできません。

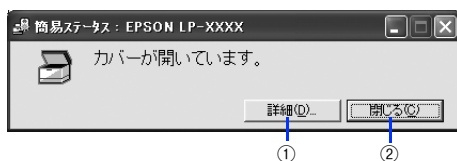
Windows XP をご使用時の制限事項

- Windows XP のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

＊ 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

- Standard TCP/IP または LPR 接続したプリンタを共有設定し、クライアントからその共有プリンタを使用する場合は、EPSON ステータスモニタのジョブ管理機能は使用できません。

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/

対処が必要な場合は

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生すると、EPSON ステータスモニタの［簡易ステータス］ダイアログがコンピュータの画面上に現れ、メッセージを表示します。［詳細］をクリックして［詳細ステータス］ダイアログのメッセージに従って対処してください。エラーが解消されると自動的に閉じます。

①［詳細］ボタン

［詳細ステータス］ダイアログを表示します。
☞ 本書 84 ページ「［詳細ステータス］ダイアログ」

②［閉じる］ボタン

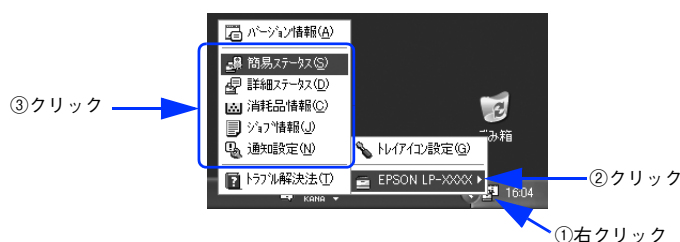
［簡易ステータス］ダイアログを閉じます。

- Windows のタスクトレイ上にある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、［EPSON LP-S6500］/［EPSON LP-S4500］－［簡易ステータス］をクリックして［簡易ステータス］ダイアログを直接開くことができます。また、印刷中に EPSON ステータスモニタのアイコンをダブルクリックしても開くことができます。
- Windows のタスクトレイ上にある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、［EPSON LP-S6500］/［EPSON LP-S4500］－［トラブル解決法］をクリックしても対処法を確認できます。

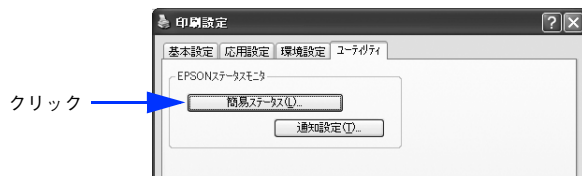
プリンタの状態を確かめるには

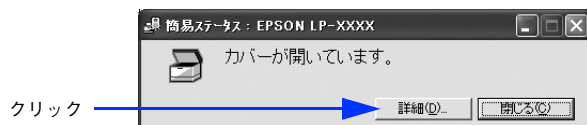
EPSON ステータスモニタでプリンタの状態を確かめるために、次の 2 通りの方法で［簡易ステータス］や［詳細ステータス］ダイアログなどの各項目を開くことができます。

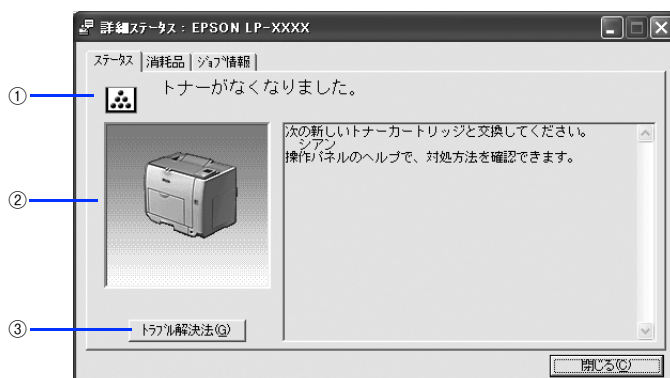
［方法 1］
タスクトレイ上にある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、［EPSON LP-S6500］/［EPSON LP-S4500］－［簡易ステータス］や［詳細ステータス］など表示させたい画面の名前をクリックします。

本書 82 ページ「対処が必要な場合は」
本書 84 ページ「［詳細ステータス］ダイアログ」
本書 85 ページ「［消耗品情報］ダイアログ」
本書 86 ページ「［ジョブ情報］ダイアログ」
本書 90 ページ「［通知設定］ダイアログ」

- ［バージョン情報］をクリックすると、EPSON ステータスモニタのバージョン情報を表示します。
- ［トラブル解決法］をクリックすると、解決法を説明するファイルの先頭ページを開きます。

［方法 2］
プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログを開き、［簡易ステータス］をクリックします。

<例> Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

開いた［簡易ステータス］ダイアログで［詳細］をクリックすると、［詳細ステータス］ダイアログが開きます。

本書 84 ページ「［詳細ステータス］ダイアログ」

■ [詳細ステータス]ダイアログ

Windowsのタスクトレイ上にあるEPSONステータスモニタのアイコンを右クリックし、[EPSON LP-S6500]/[EPSON LP-S4500] − [詳細ステータス] をクリックすると [詳細ステータス] ダイアログが開き、プリンタの状態を表示します。

① アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

② プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生したときにその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

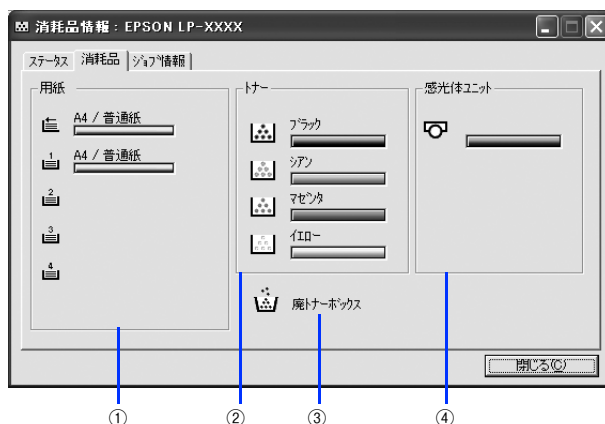
③ [トラブル解決法]ボタン

ユーザーズガイド（PDF）がインストールされている環境下で、用紙詰まりなどのエラーが発生したときに該当する解決法の説明があると、[トラブル解決法] ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、解決法が表示されます。[通知設定] ダイアログの [トラブル解決法を参照する] のチェックが外れているときは表示されません。

☞ 本書 90 ページ「[通知設定] ダイアログ」

ユーザーズガイド（PDF）は、通常プリンタドライバと一緒にインストールされます。インストールしなかった場合は、「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」からインストールしてください。

■ [消耗品情報]ダイアログ

Windowsのタスクトレイ上にあるEPSONステータスモニタのアイコンを右クリックし、[EPSON LP-S6500]/[EPSON LP-S4500] ー [消耗品情報] をクリックすると [消耗品情報] ダイアログが開き、消耗品の状態を表示します。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。

②トナー

セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニング発生時に該当色のアイコンが点滅します。

トナーがなくなると、回収のお知らせダイアログを表示します。[はい] をクリックすると、ブラウザが起動して使用済みカートリッジ回収案内のホームページを表示します。

③廃トナーボックス

廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

④感光体ユニット

セットされている感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニング発生時にアイコンが点滅します。

[ジョブ情報]ダイアログ

ジョブ管理機能が使用できる接続環境下で表示され、ネットワークプリンタに印刷した情報を見ることができます。ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下のネットワーク形態で接続されている必要があります。

接続環境	必須条件
プリントサーバを設定していて、かつ共有プリンタ接続をしている環境	Windows 2000/Server 2003 での EpsonNet Print を使った TCP/IP 接続（ネットワークプリンタを Windows XP/2000/98/Me クライアントから利用する場合）
	Windows 2000/Server 2003 での Standard TCP/IP または LPR 接続（ネットワークプリンタを Windows XP/2000/98/Me クライアントから利用する場合）
プリントサーバを介さないネットワーク接続環境	Windows XP/2000 での LPR 接続
	Windows XP/2000 での Standard TCP/IP 接続
	Windows XP/2000/98/Me での EpsonNet Print を使った TCP/IP 接続

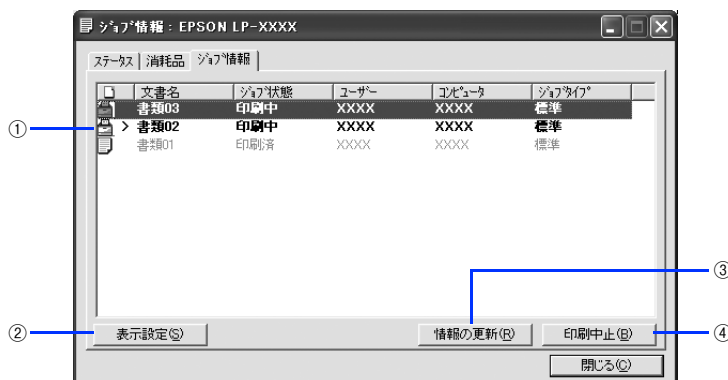
以下の環境下では使用できません。

- NetBEUI、EpsonNet Internet Print を利用してネットワーク印刷を行う場合
- Windows 2000/Server 2003 での Standard TCP/IP、LPR 接続、あるいは EpsonNet Print 接続の共有プリンタを、Windows 2000/XP クライアントから利用する際に、クライアントへのログオンユーザーとサーバへの接続ユーザーが異なる場合
- プリンタとプリントサーバがローカル接続された共有プリンタを利用してネットワーク印刷を行う場合
- プリントサーバの OS が Windows XP の場合

また、NetWare 接続環境下では、ジョブ管理機能が有効であるかのように表示されてしまいますが、使用することはできません。

Windows 98/Me クライアントから下記の接続で共有プリンタを利用している場合、印刷したスプール中のジョブは削除できません。

- Windows 2000/Server 2003 での LPR 接続
- Windows 2000/Server 2003 での Standard TCP/IP 接続
- Windows 2000/Server 2003 での EpsonNet Print を使った TCP/IP 接続

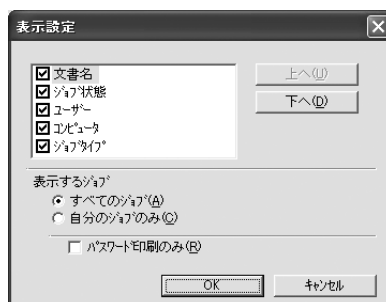
Windowsのタスクトレイ上にあるEPSONステータスモニタのアイコンを右クリックし、[EPSON LP-S6500]/[EPSON LP-S4500]－[ジョブ情報]をクリックすると[ジョブ情報]ダイアログが開き、ジョブ情報を表示します。

① ジョブリスト

コンピュータでスプール中またはプリンタで処理中のジョブの文書名、状態（送信中、待機中、印刷中、印刷済、削除中、削除済、保持）、ユーザー名、コンピュータ名、ジョブタイプを、ジョブごとに表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

列のタイトルをクリックすると、ジョブの表示順を切り替えます。最初の状態では、古いジョブほど上に表示され、新しいジョブほど下に追加されます。最初の状態から列のタイトルを1回クリックすると、新しいジョブほど上に追加され、古いジョブほど下に表示されます。以降、クリックするたびにジョブの表示順を切り替えます。

② [表示設定]ボタン

ジョブリストの表示を設定します。

- 表示する項目名にチェックを付けると表示し、チェックを外すと表示しません。また、項目を選択して[上へ]/[下へ]をクリックするとジョブリスト内での表示順序が変わります。
- [すべてのジョブ]をクリックすると処理中のすべてのジョブ情報をジョブリストに表示します。[自分のジョブのみ]をクリックすると、そのコンピュータで処理中のジョブのみ表示します。
- [パスワード印刷のみ]にチェックマークを付けると、パスワード印刷ジョブのみ表示します。

③ [情報の更新]ボタン

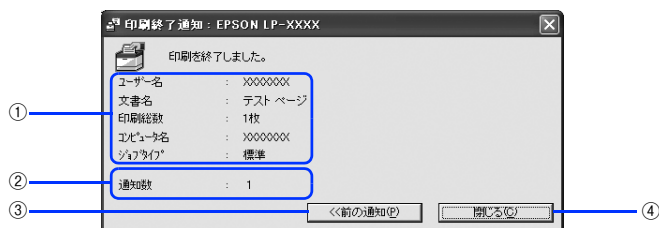
最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

④ [印刷中止]ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブをクリックして選択し、[印刷中止]をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

[印刷終了通知]ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されていると、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法は、以下のページを参照してください。

本書 89 ページ「通知設定」

① 印刷終了したジョブ情報
印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名、ジョブタイプを表示します。

② 通知数
印刷終了通知の通知数を表示します。

③ [前の通知]ボタン
クリックすると、1 つ前の終了通知を表示します。通知数が 0 になった場合（終了通知がすべてなくなった場合）はグレーアウトされます。

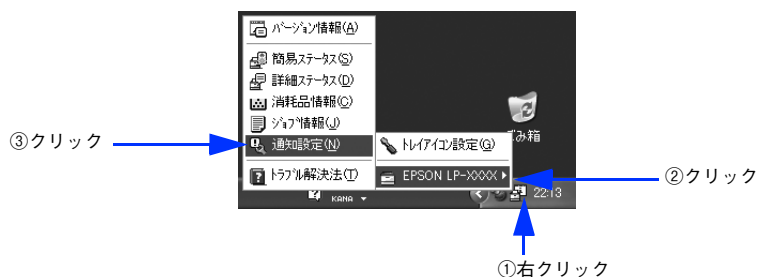
④ [閉じる]ボタン
ダイアログを閉じます。

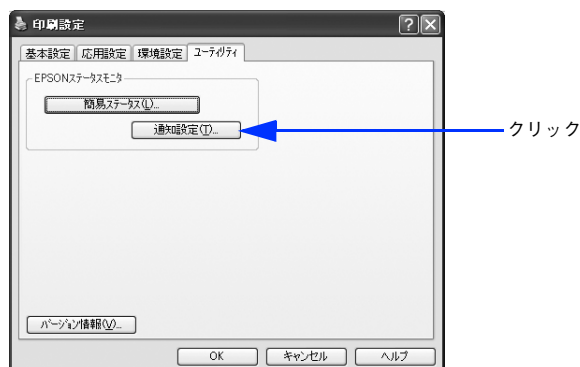
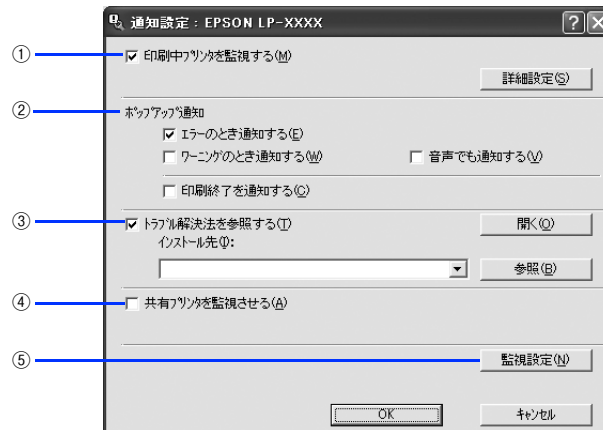
［通知設定］ダイアログの［印刷中プリンタを監視する］がチェックされていないと、印刷終了通知は行われません。

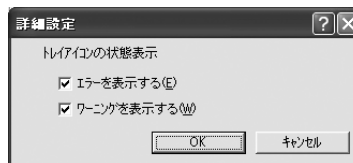
本書 89 ページ「通知設定」

通知設定

EPSON ステータスモニタの監視機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタを監視するかなどを設定します。［通知設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］
タスクトレイにある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックして、メニューから［EPSON LP-S6500］/［EPSON LP-S4500］－［通知設定］をクリックします。

［方法 2］
プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログを開き、［通知設定］をクリックします。

<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

■ [通知設定]ダイアログ

①印刷中プリンタを監視する

印刷中にプリンタを監視します。［詳細設定］をクリックすると、［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで選択した状態をタスクトレイアイコンに表示します。

②ポップアップ通知

エラーやワーニング発生時に［簡易ステータス］で知らせるかどうかを設定します。

項目	内容
エラーのとき通知する	エラー発生時に通知します。
ワーニングのとき通知する	ワーニング発生時に通知します。
音声でも通知する	お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）ときに、エラーやワーニングを音声でも通知します。
印刷終了を通知する	印刷が終了すると通知します（ジョブ管理機能でサポートしていない環境ではグレーアウトして設定できません）。NetWare 接続環境下では、ジョブ管理機能が有効であるかのように表示されてしまいますが、使用することはできません。 本書 88 ページ「［印刷終了通知］ダイアログ」

③トラブル解決法を参照する

トラブル発生時に解決法を説明するファイルを設定します。このチェックボックスがオン、かつ、トラブル解決法のインストール先が正しく設定されていると、紙詰まりなどのエラーが発生したときに該当する解決法の説明があると、［詳細ステータス］ダイアログに［トラブル解決法］ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、解決法が表示されます。このチェックボックスがオフになっていると、［トラブル解決法］ボタンは表示されません。

項目	説明
［開く］	クリックすると、解決法の先頭ページを表示します。
［インストール先：］	トラブル解決法がインストールされている場所を表示します。［参照］をクリックしてトラブル解決法のインストール先を変更した場合は、変更先が表示されます。
［参照］	トラブル解決法を保存したフォルダを選択できます。ネットワーク環境でトラブル解決法のファイルをサーバだけに置く場合など、トラブル解決法のインストール先を変更したときにクリックしてください。

④共有プリンタを監視させる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタを監視させることができます。

☞ 本書 97 ページ「プリンタを共有するには」

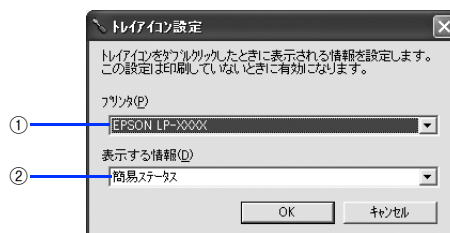
⑤［監視設定］ボタン

［監視設定］をクリックすると、監視する間隔（ローカル接続時6～60秒/ネットワーク接続時15～60秒）を設定できます。

項目	説明
ローカル設定	コンピュータと直接接続している場合の監視間隔を設定します（ネットワーク接続時はグレーアウトして設定できません）。
ネットワーク設定	ネットワークに接続している場合の監視間隔を設定します（ローカル接続時はグレーアウトして設定できません）。
初期値に戻す	監視間隔を初期値に戻します。

トレイアイコンの設定

タスクトレイにある EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックして、メニューから［トレイアイコン設定］をクリックすると、どのプリンタのどのステータスダイアログを表示するかを設定します。プリンタが印刷していないときにトレイアイコンをダブルクリックすると、設定したダイアログを表示します。

［トレイアイコン設定］ダイアログでは、トレイアイコンをダブルクリックしたときに表示される、プリンタとダイアログを選択します。

①プリンタ

複数のプリンタをインストールしている環境において、どのプリンタの情報を表示するかを選択します。

②表示する情報

［簡易ステータス］や［詳細ステータス］など、どのダイアログを開くかを選択します。

共有プリンタを監視できない場合は

Windows 共有プリンタを監視できないときは、以下の設定がされているかを確認してください。

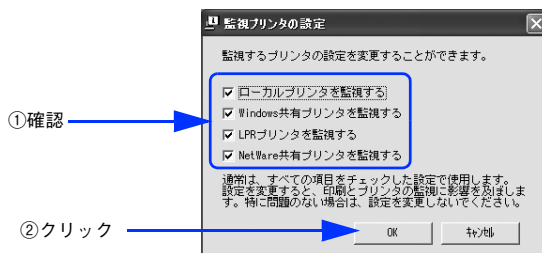
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、タスクトレイの［通知設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていること。
- Windows 98/Me で共有プリンタを監視する際の注意事項
  サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、TCP/IP プロトコルが設定されていること。

監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON ステータスモニタで監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON ステータスモニタとともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

1 監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。

Windows の［スタート］－［プログラム］または［すべてのプログラム］－［EPSON］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。

2 監視しないプリンタのチェックを外し、［OK］をクリックして、ダイアログを閉じます。

以上で設定は終了です。

EPSON ステータスモニタのみのインストール手順

通常のインストール手順では、プリンタドライバのインストールと同時に EPSON ステータスモニタもインストールされます。もしプリンタドライバとは別々にインストールする場合は、以下の手順に従ってください。

プリンタドライバをインストールしていない状態でEPSONステータスモニタだけをインストールすることはできません。

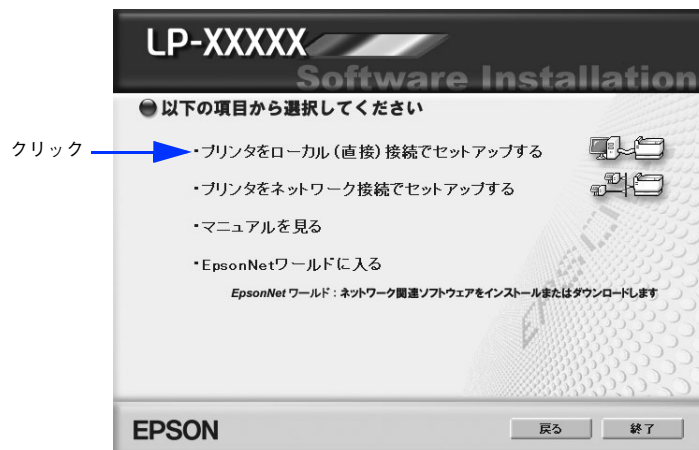
1 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

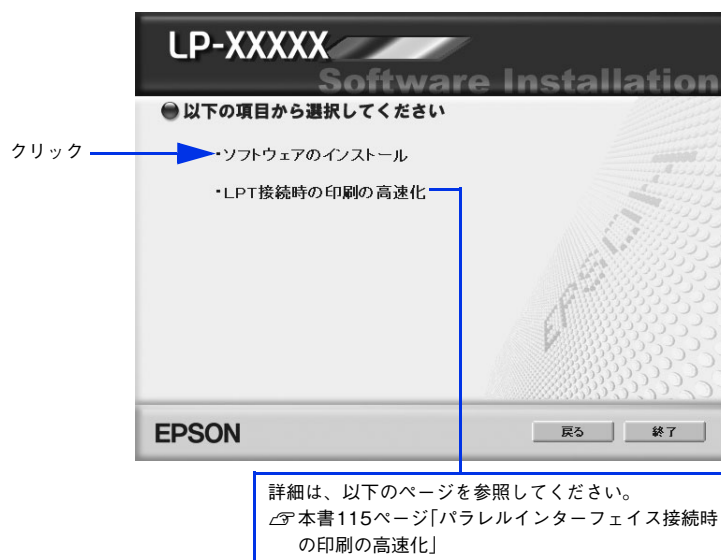
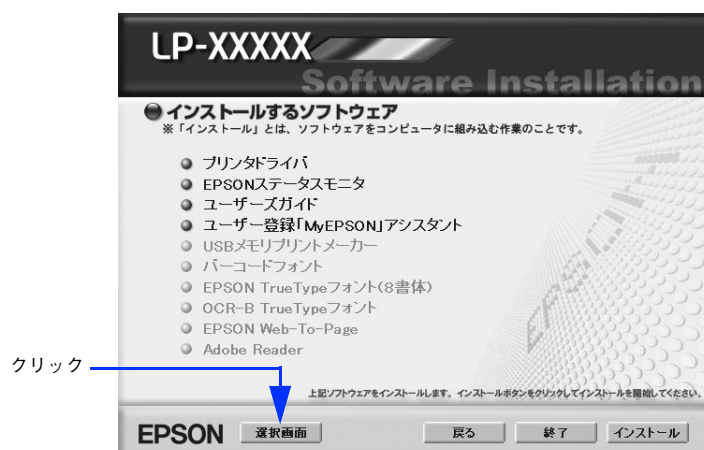
ウィルスチェックプログラムを起動しているときは、［インストール中止］をクリックし、ウィルスチェックプログラムを終了して 1 からやり直します。

3 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

4 **プリンタの機種名を選択します。**

5 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］を選択して次に進みます。

- Windows 2000/XP をお使いの場合は、5 へ進みます。
- Windows 98/Me/NT4.0/Server 2003 をお使いの場合は 6 へ進みます。

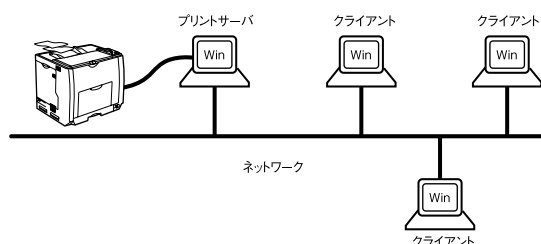
6 ［ソフトウェアのインストール］を選択して次に進みます。

以下の画面は Windows 2000/XP をお使いの場合のみ表示されます。

7 ［選択画面］をクリックします。

8 ［EPSON ステータスモニタ］のみをチェックして、［インストール］をクリックします。

その他の項目（プリンタドライバなど）がインストールされているときは、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

9 この後は、画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

プリンタを共有するには

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ここでは、プリントサーバとクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows のバージョンに応じた設定手順に従ってください。なお、Windows の追加ドライバ機能 * を使って本機を共有できるプリントサーバとクライアントの組み合わせは以下の通りです。

＊ 追加ドライバ機能：プリントサーバにクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておき、クライアントがネットワークプリンタに接続したときにプリントサーバからプリンタドライバをコピー（インストール）する機能。

プリントサーバ OS	クライアント OS
Windows 2000/XP/Server 2003	Windows 98/Me/2000/XP

- 本章の説明は、プリントサーバにはすでに本機のプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。
- 本章の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

- プリントサーバ側の設定
  本書 98 ページ「Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバの設定と追加ドライバのインストール」
  本書 102 ページ「Windows 98/Me プリントサーバの設定」
- クライアント側の設定
  本書 105 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」
  本書 109 ページ「Windows 98/Me クライアントでの設定」

プリントサーバの設定

最初にプリントサーバにプリンタドライバがインストールされていることを確認してから、以下の設定を行ってください。プリンタドライバがインストールされていないときは、「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照して添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からインストーラを起動してインストールしてください。

EPSON ステータスモニタを使用するには、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタを監視できるように EPSON ステータスモニタを設定してください。
☞ 本書 89 ページ「通知設定」

Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバの設定と追加ドライバのインストール

Windows 2000/XP/Server 2003 が稼働するコンピュータをプリントサーバとして設定する手順を説明します。また、追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。

- 追加ドライバ機能は、プリントサーバ（Windows 2000/XP/Server 2003）にクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておくことができる機能です。これにより、クライアントがネットワークプリンタに接続したときに、プリントサーバからプリンタドライバをコピー（インストール）することができ、クライアントのインストール手順を簡略化することができます。
- Windows 2000/Server 2003の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- サーバとクライアントが同じ OS の場合は、追加ドライバをサーバにインストールする必要はありません。
- EPSON ステータスモニタをクライアントにインストールする場合や、追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってプリンタソフトウェアをローカルプリンタとしてクライアントにインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更します。
☞ 本書 111 ページ「プリンタ接続先の変更」
- Windows XP Home Edition がプリントサーバの場合、クライアントからスタンプマークやヘッダー / フッターのユーザー名を印刷すると常に Guest となります。
- Windows XP Professional がサーバの場合も同様にユーザー名がGuestになりますが, 以下の手順で設定を変更するとログインユーザー名にすることができます。
  ①［スタート］から［コントロールパネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［管理ツール］－［ローカルセキュリティポリシー］をダブルクリックして［ローカルセキュリティ設定］画面を開きます。
  ②［ローカルポリシー］から［セキュリティオプション］を開き［ネットワークアクセス：ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル］を［Guest のみ - ローカルユーザーが Guest として認証する］から［クラッシック - ローカルユーザーがローカルユーザーとして認証する］に変更します。
- Windows XP/Server 2003 がプリントサーバの場合，クライアントからの印刷でスタンプマークおよびヘッダーフッターのコンピュータ名が IP アドレスで印刷されることがあります。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

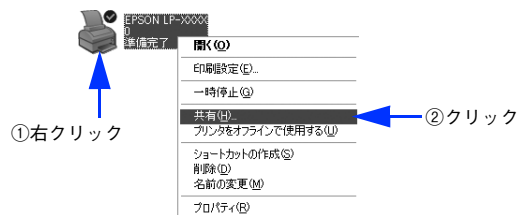
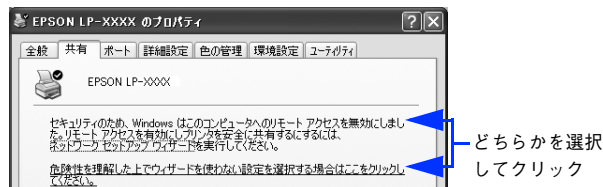
- Windows XP の場合

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

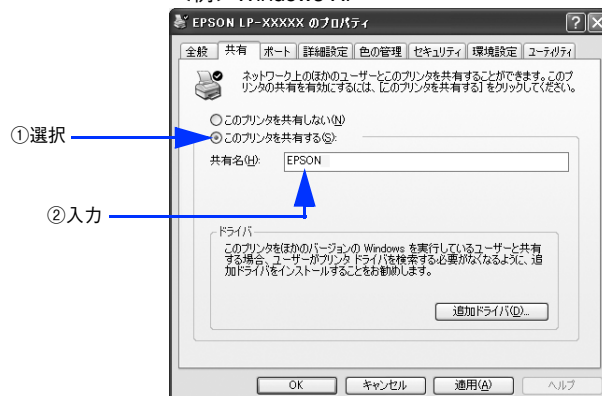
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

- Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
- Windows 2000 の場合
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 LP-S6500/LP-S4500 のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

Windows XP で以下のダイアログが表示されたら、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

3 ［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。

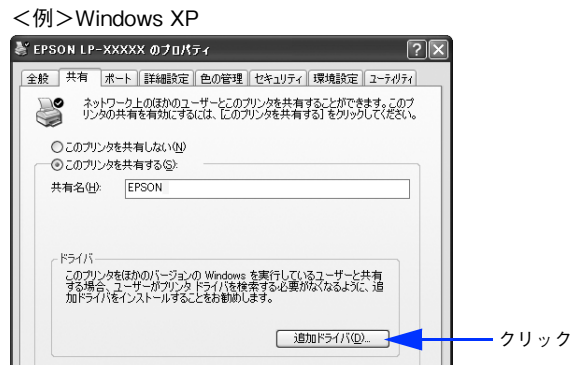
Windows XP/Server 2003 では、［このプリンタを共有する］を選択して［共有名］を入力します。

＜例＞Windows XP

参考 エラーの原因となりますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

- 追加ドライバをインストールする場合は、次の 4 へ進んでください。
- 追加ドライバをインストールしない場合は、［OK］をクリックして、以下のページへ進んで各クライアント側の設定を行ってください。
☞ 本書 109 ページ「Windows 98/Me クライアントでの設定」
☞ 本書 105 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」

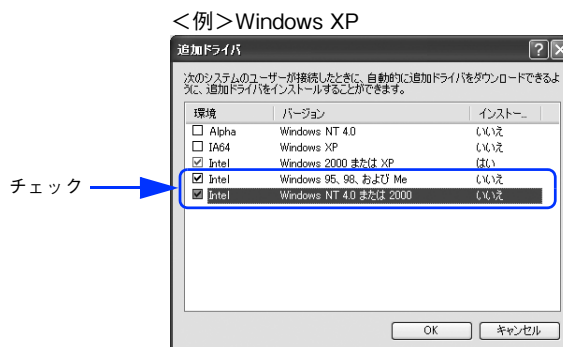
4 クライアント用にインストールする追加ドライバを選択します。

- Windows 2000/XP/Server 2003 サーバの場合：

①［追加ドライバ］をクリックします。

＜例＞Windows XP

② クライアントの Windows バージョンを選択します（チェックします）。

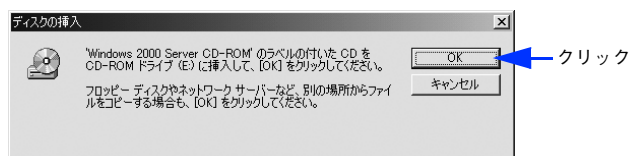
サーバ OS	クライアント OS	選択項目
Windows 2000	Windows 98/Me	Intel Windows 95 または 98
Windows XP	Windows 98/Me	Intel Windows 95、98、および Me
Windows Server 2003	Windows 98/Me	X86 Windows 95、Windows 98、または Windows Me

＜例＞Windows XP

- Windows 2000/XP/Server 2003 専用のプリンタドライバ［Intel Windows 2000］/［Intel Windows 2000 または XP］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- 指定以外の追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の追加ドライバはインストールできません。

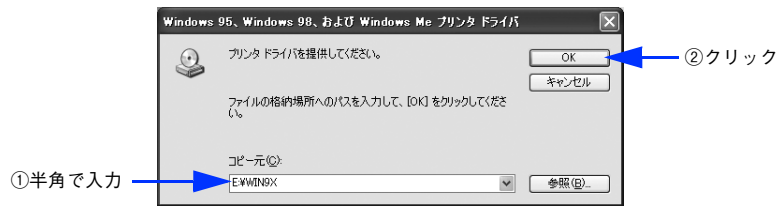
③［OK］をクリックします。

5 以下のメッセージが表示されたら、本機の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットして［OK］をクリックします。

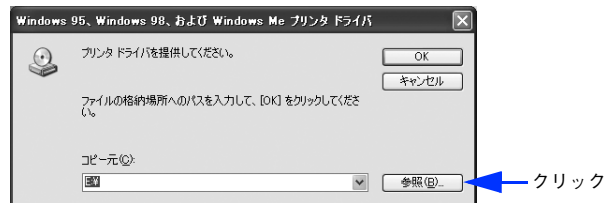
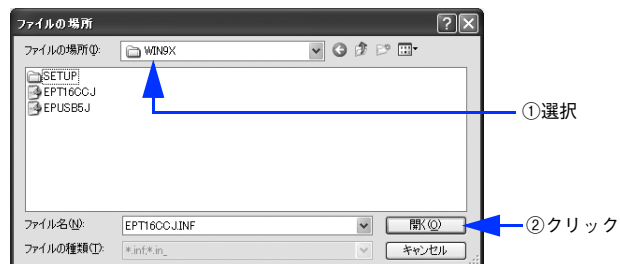
メッセージが表示されない場合は、そのまま 6 へ進みます。

＜例＞ Windows 2000 の場合

*CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

6 メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］をクリックします。

4 で複数のクライアントを選択した場合は、5 へ戻ります。

* クライアント OS によってメッセージは多少異なります。

セット先ドライブ例	D ドライブ	E ドライブ
入力例	D:¥WIN9X	E:¥WIN9X

- 入力方法がわからないときの指定手順は以下の通りです。
① ［参照］をクリックします。

② 入力例に記載されているご利用の OS フォルダを［ファイルの場所］から選択します。

- Windows 2000/XP/Server 2003 では［デジタル署名が見つかりませんでした］といったメッセージのダイアログが表示されることがあります。［はい］または［続行］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

7 Windows 2000/XP/Server 2003 では、［閉じる］をクリックしてプロパティを閉じます。

ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳細は、Windows のヘルプを参照してください。

8 EPSON ステータスモニタの［通知設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。

☞ 本書 89 ページ「通知設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

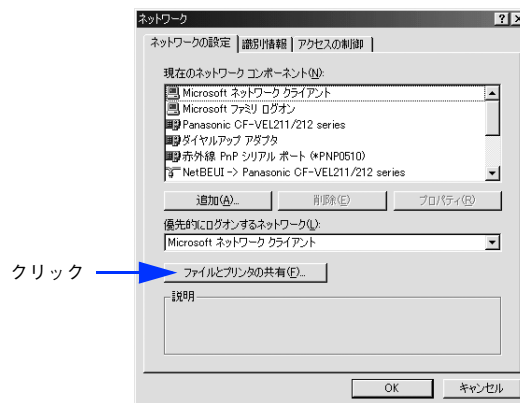
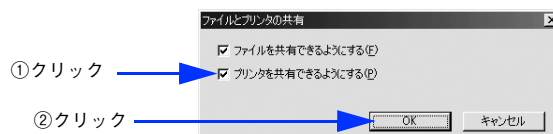
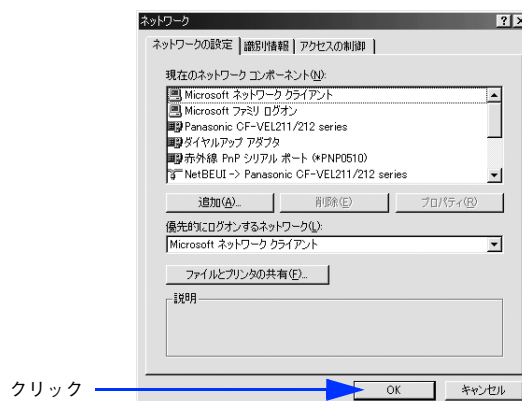
☞ 本書 104 ページ「クライアントの設定」

■ Windows 98/Me プリントサーバの設定

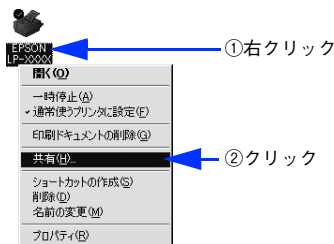
Windows 98/Me が稼働するプリントサーバを設定する手順は以下の通りです。

1 Windows の［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

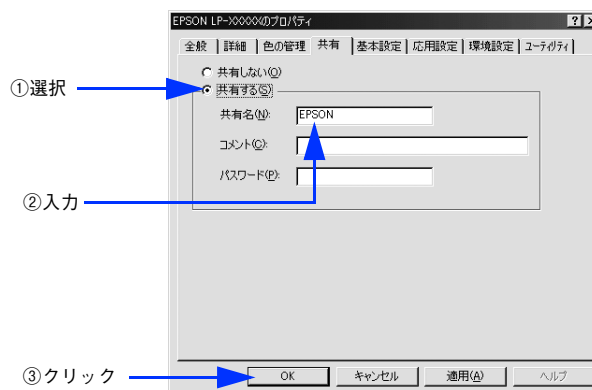
2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3 ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

4 ［プリンタを共有できるようにする］チェックを付け、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示されたら、Windows 98/Me の CD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］をクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示されたときは、再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 LP-S6500/LP-S4500 のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］をクリックします。

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

<例>

参考 エラーの原因になりますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

9 EPSON ステータスモニタを使用している場合は、EPSON ステータスモニタの［通知設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。

☞ 本書 89 ページ「通知設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

☞ 本書 104 ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、プリントサーバからプリンタドライバをクライアントにコピーしてインストールする方法を説明します。

プリントサーバ OS が Windows 2000/XP の一般的なネットワーク環境では、この追加ドライバ機能でクライアントにプリンタドライバをインストールできます。以下のページを参照してください。
本書 105 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」
本書 109 ページ「Windows 98/Me クライアントでの設定」

- 追加ドライバ機能は、プリントサーバ（Windows Windows 2000/XP/Server 2003）にクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておくことができる機能です。これにより、クライアントがネットワークプリンタに接続したときに、プリントサーバからプリンタドライバをコピー（インストール）することができ、クライアントのインストール手順を簡略化することができます。
- Windows 2000 Server、Windows Server 2003 はサーバ OS であるため、クライアントとしての設定は行わないでください。

追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをクライアントにインストールすると、EPSON ステータスモニタはクライアントにインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけます。ただし、共有しているプリンタの状態をクライアント側から確認するには、EPSON ステータスモニタをクライアントにインストールしてください。
本書 94 ページ「EPSON ステータスモニタのみのインストール手順」

EPSON ステータスモニタをインストールしたり、追加ドライバ機能が使用できないときは、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってローカルプリンタとしてインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更してください。
本書 111 ページ「プリンタ接続先の変更」

- Windows でプリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。プリントサーバ側の設定は、以下のページを参照してください。
  本書 98 ページ「プリントサーバの設定」
- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法を説明します。ただし、ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合がありますので、このようなときはネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］からネットワークプリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。
- EPSON ステータスモニタを使用する場合は、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタを監視できるように EPSON ステータスモニタを設定してください。
  本書 89 ページ「通知設定」

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する手順は以下の通りです。

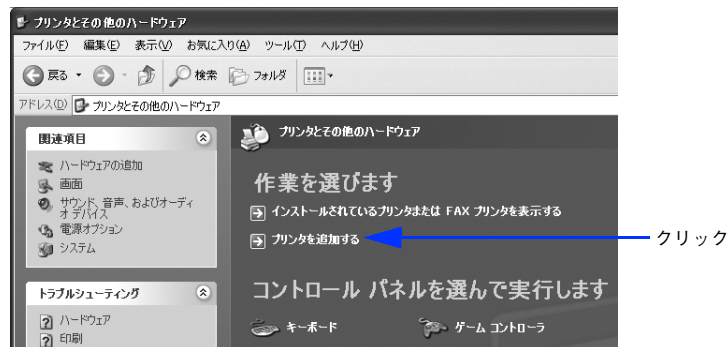
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

Windows XP の場合

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

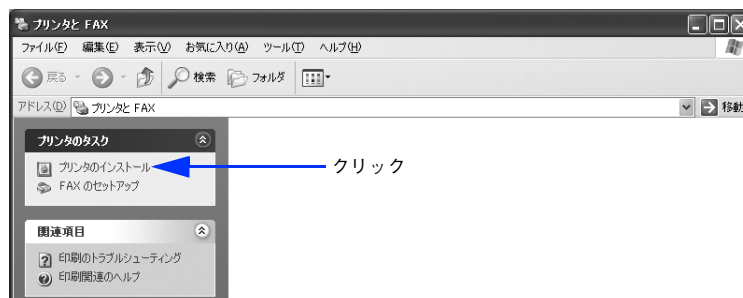
③［プリンタと FAX］をクリックします。

参考　Windows XP では［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、3 へ進んでください。

Windows 2000 の場合

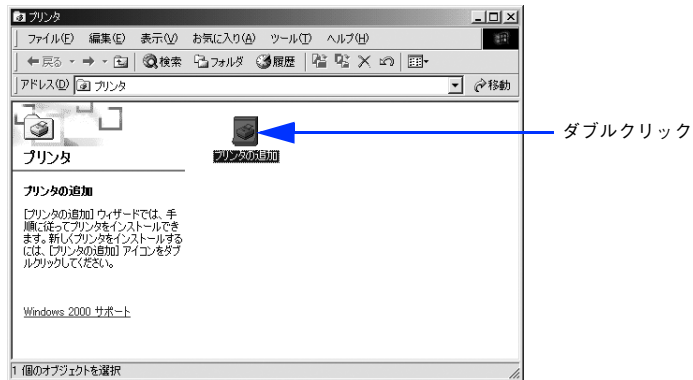
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 プリンタの追加ウィザードを起動します。

Windows XP の場合

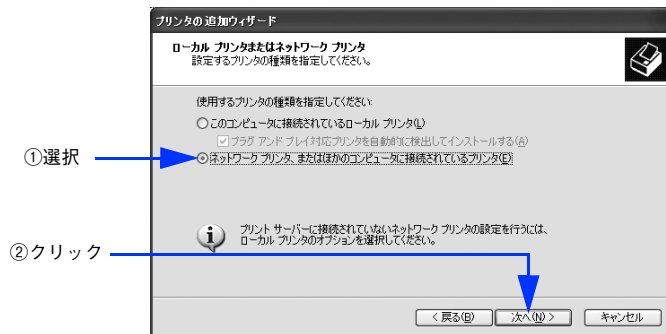
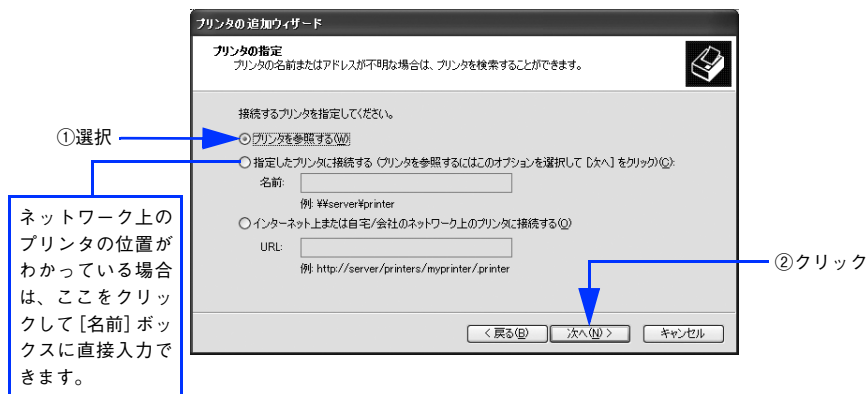
①［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］をクリックします。

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックします。

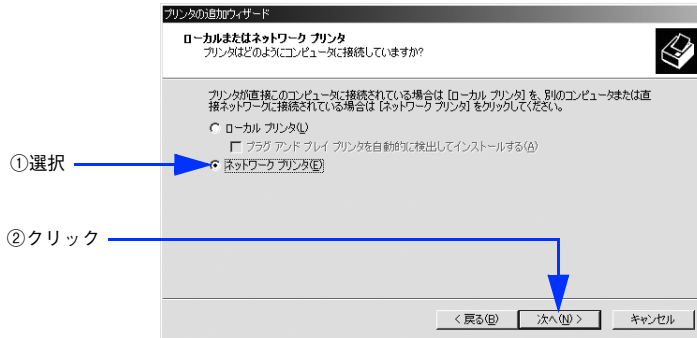
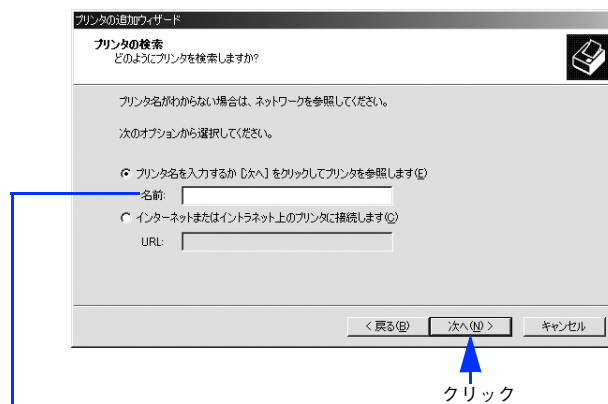
Windows 2000 の場合

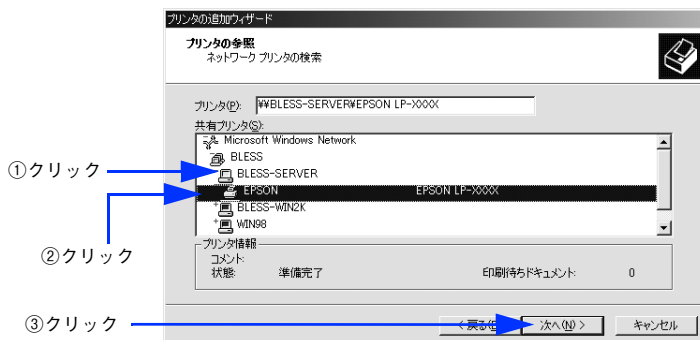
①［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックします。

3 使用する共有プリンタを探します。

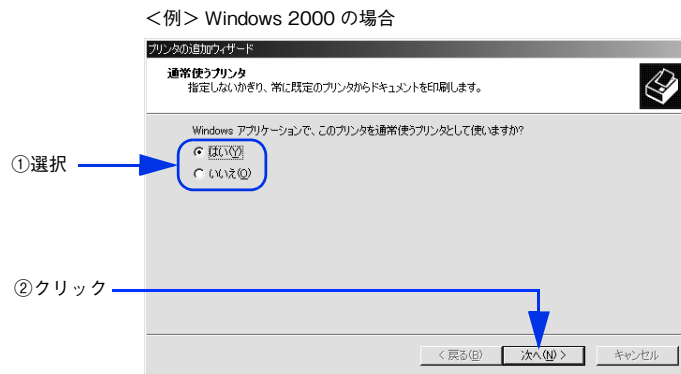
Windows XP の場合

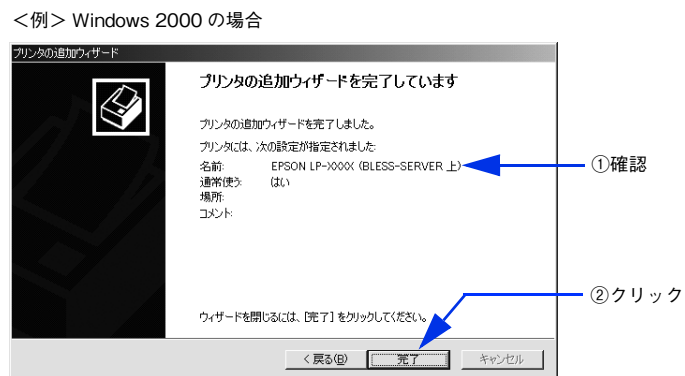
①［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

②［プリンタを参照する］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 2000 の場合

①［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］をクリックします。

②［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］が選択されていることを確認して、［次へ］をクリックします。

ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、この入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］をクリックします。

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

5 Windows 2000/XP では、通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、[次へ] をクリックします。

＜例＞ Windows 2000 の場合

6 設定内容を確認して［完了］をクリックします。

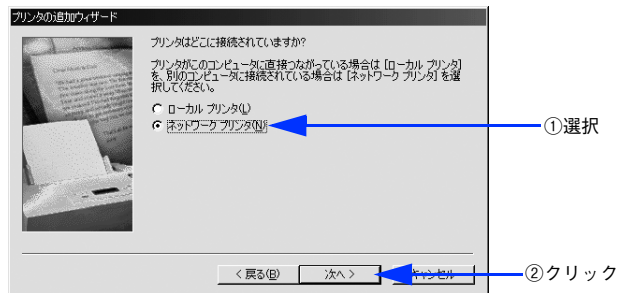
＜例＞ Windows 2000 の場合

以上でクライアントの設定は終了です。

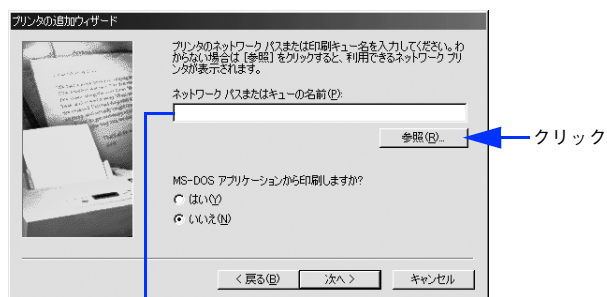
Windows 98/Me クライアントでの設定

Windows 98/Me が稼働するクライアントを設定する手順は以下の通りです。

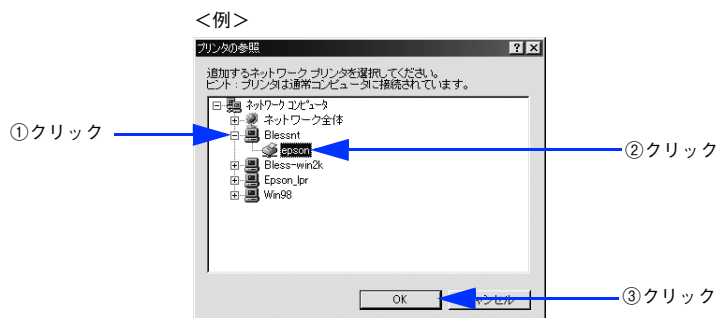
1 **Windows の［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。**

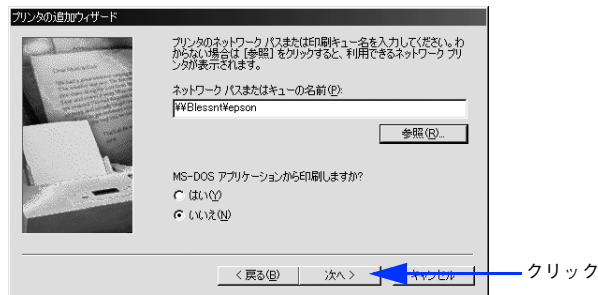
2 **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］をクリックします。**

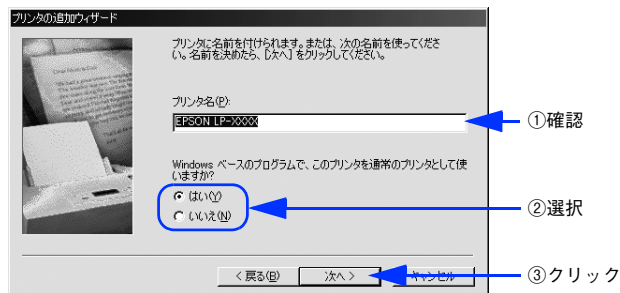
3 **［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］をクリックします。**

4 **［参照］をクリックします。**

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

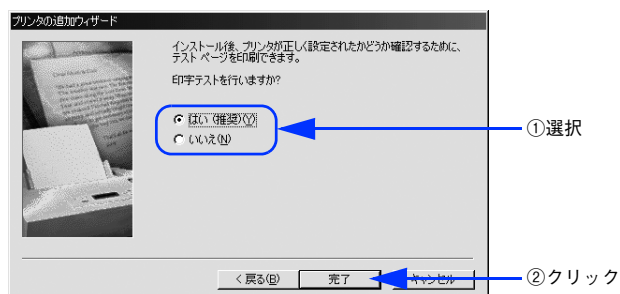
5 **プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］をクリックします。**

<例>

参考	プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

6 ［次へ］をクリックします。

参考 すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

7 接続するネットワークプリンタ名を確認し、通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］をクリックします。

参考 プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。

8 テストページを印刷するかどうかを選択して［完了］をクリックします。

印字テストを行う場合は、プリンタドライバのインストールが終了すると自動的に印字テストを行います。印字テストの終了ダイアログが表示されたら、正しくテストページが印刷されたかどうか確認して、［はい］または［いいえ］をクリックして対処してください。

以上でクライアントの設定は終了です。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。

Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバに追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 98/Me プリントサーバと Windows 2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントにプリンタドライバをインストールしてから以下の手順を続けてください。

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更したときは、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- Windows XP の場合

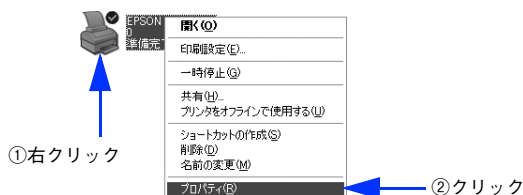
①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されているときは、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

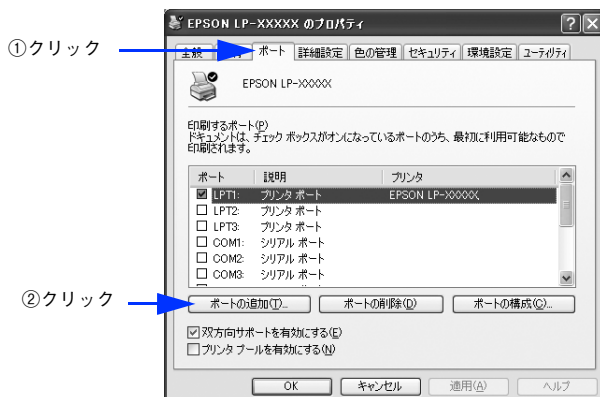
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

- Windows 2000/Server 2003 の場合

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 LP-S6500/LP-S4500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］をクリックします。

すでに登録されているポートを指定する場合は、リスト内から選択してチェックを付けます。

［印刷するポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］をクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- USBx：USB ポートです。Windows 2000/XP/Server 2003 をご利用で本機を USB ケーブルで接続したときに選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］をクリックします。

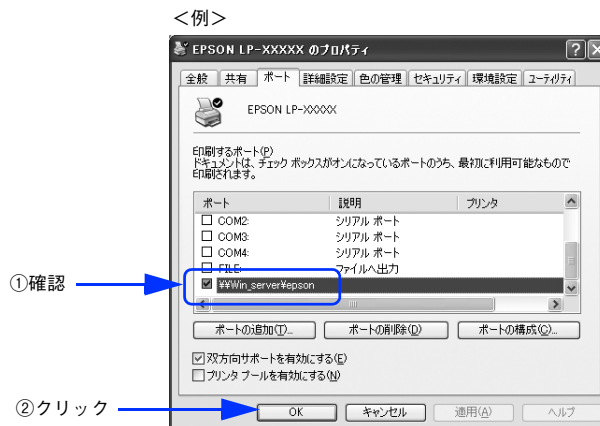
5 ポート名を入力して［OK］をクリックします。

ポート名は以下のように入力します。
¥¥目的のプリンタが接続されたコンピュータ名¥共有プリンタ名

＜例＞

6 ［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］をクリックします。

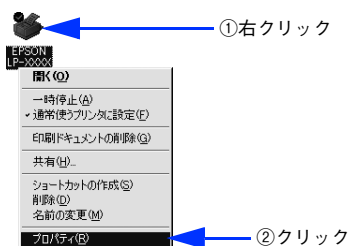
7 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］をクリックします。

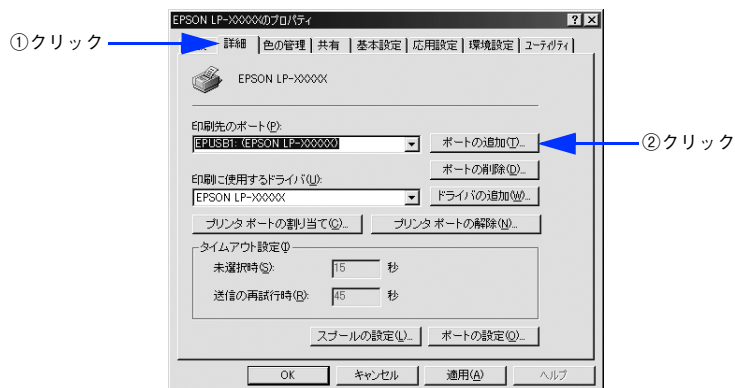
＜例＞

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

Windows 98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

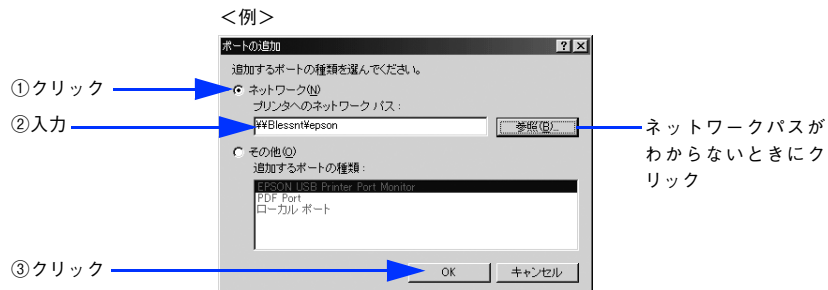
2 LP-S6500/LP-S4500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］をクリックします。

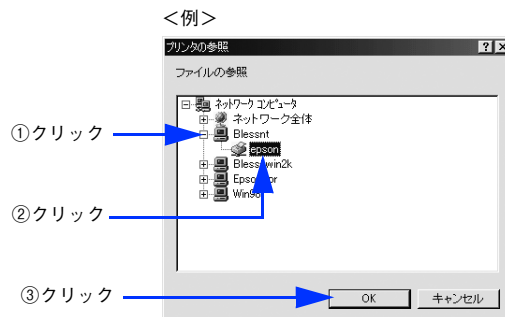
- すでに登録されているポートを指定する場合は、［印刷先のポート］から選択します。
  USB 接続の場合は［EPUSBx］を選択して、［OK］をクリックします。
- ネットワークプリンタのポートを追加する場合は 4 に進みます。

［印刷先のポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］をクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- PRN：EPSON PC シリーズ/NEC PC シリーズ標準の 14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されないときは「LPT1」を選択します。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続したときに選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］をクリックします。

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥目的のプリンタが接続されたコンピュータ名¥共有プリンタ名

<例>

ネットワークプリンタへのパスがわからないときは、［参照］をクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］をクリックします。

<例>

5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］をクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

パラレルインターフェイス接続時の印刷の高速化

本機をパラレル接続している場合、印刷データの転送方法として DMA 転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA 転送とは

通常、印刷データはコンピュータの CPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPU は同時にいくつもの処理をこなしているため、この方法では CPU に負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP* コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで、CPU を経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法を DMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

＊　ECP：Extended Capability Port の略。パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA 転送を設定する前に

プリンタドライバで DMA 転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

- ご利用のコンピュータは DOS/V 機で ECP コントローラチップが搭載されていますか？
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターメーカーにお問い合わせください。
- ご利用のコンピュータで DMA 転送が可能ですか？
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピューターメーカーにお問い合わせください。
- BIOS* セットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき、BIOS を設定してください。

＊　BIOS：Basic Input/Output System の略。パソコンを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

この BIOS の設定は、本機のプリンタソフトウェアを一旦削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS 設定後、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってプリンタソフトウェアを再度インストールしてください。

本書 122 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

- エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？

以上の確認と設定が済みましたら、お使いの OS ごとの説明に進んでください。

Windows 2000/XP の場合

Windows 2000/XP では BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタポートをインストールする必要があります。

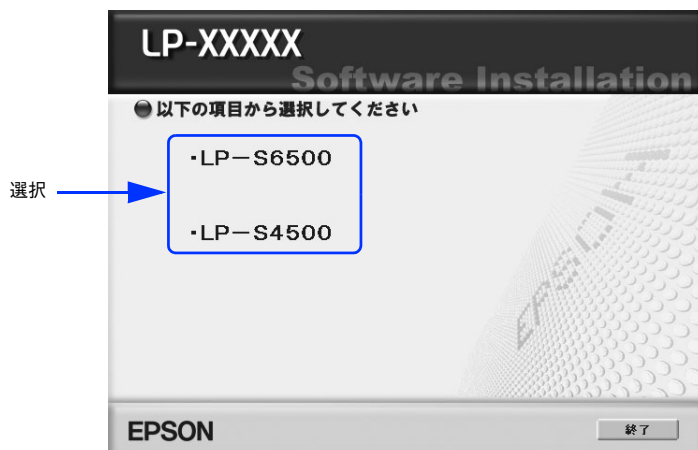
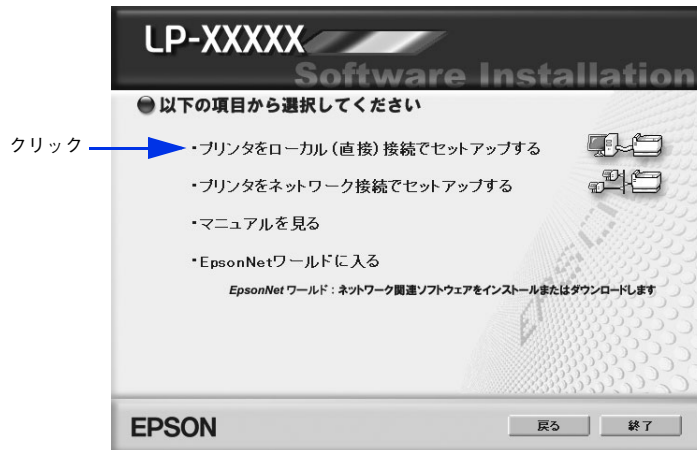
- BIOS の設定方法は、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOSのパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- EPSON プリンタポートをインストールおよび設定するには、Windows 2000 では管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP では「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- Windows Server 2003 では使用できません。

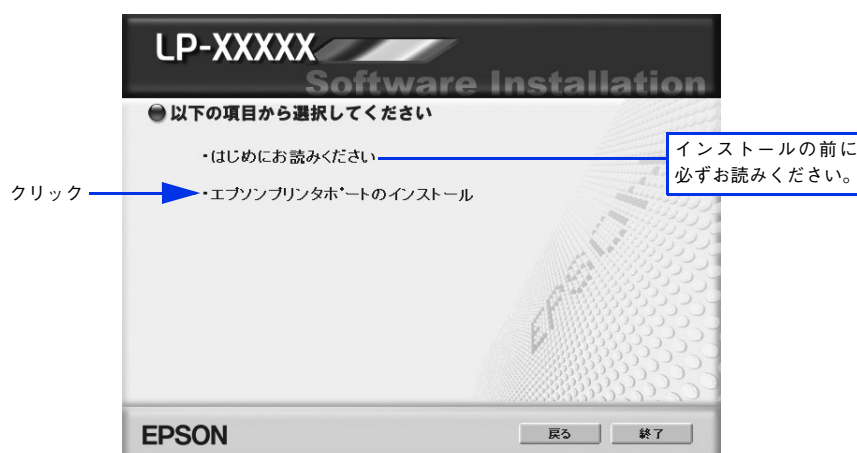
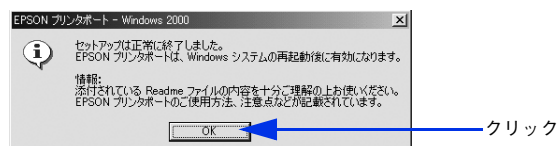
1 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。

ウィルスチェックプログラムを起動している場合は、［インストール中止］をクリックし、ウィルスチェックプログラムを終了して 1 からやり直します。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

4 プリンタの機種名を選択します。

5 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックして次に進みます。

6 ［LPT 接続時の印刷の高速化］をクリックします。

7 ［はじめにお読みください］をクリックして参考情報をお読みいただいてから、［エプソンプリンタポートのインストール］をクリックしてインストールを実行します。

8 インストールが終了したら［OK］をクリックします。

9 Windowsを再起動します。

> **!注意** 必ずWindowsを再起動させてから以降の作業に進んでください。再起動させずに以降の作業を行うと、印刷ができなくなったり、動作が不安定になります。

10 LP-S6500/LP-S4500プリンタドライバのプロパティ画面を表示します。

- Windows XPの場合

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されているときは、［プリンタとFAX］をクリックして、④へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタとFAX］をクリックします。

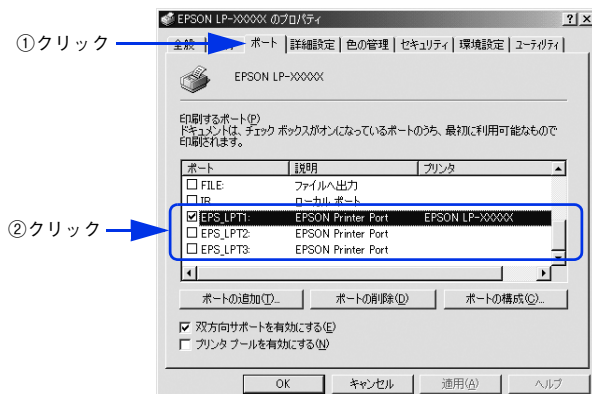
④ LP-S6500/LP-S4500のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

- Windows 2000の場合

①［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

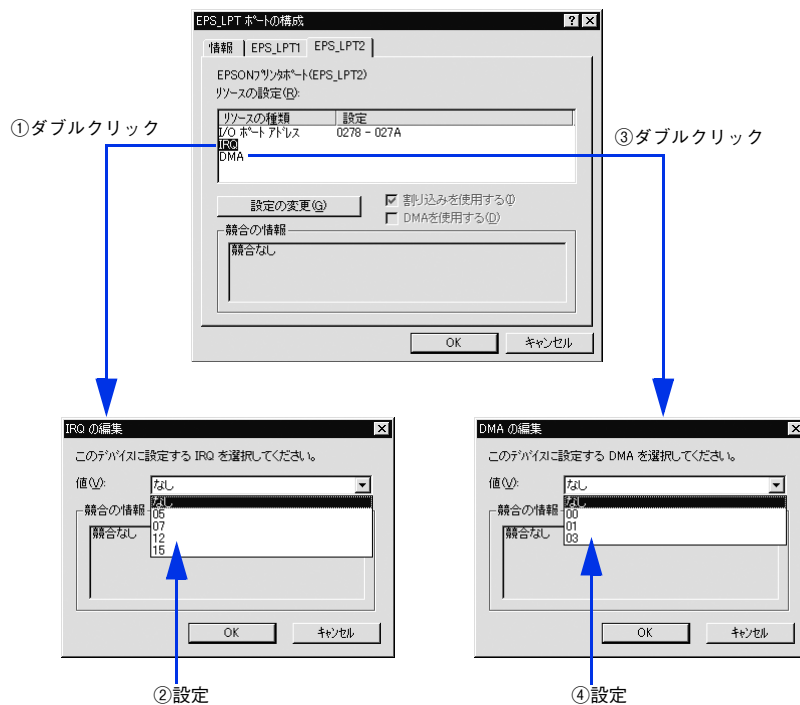
② LP-S6500/LP-S4500のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

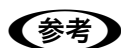
11 ［ポート］タブをクリックし、使用するパラレルポートを選択します。

［印刷するポート］の中から、使用する［EPS_LPTx:］のチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

- EPS_LPT1：コンピュータ内蔵のパラレルポート専用
［EPS_LPT1］を使用する場合は、以上でEPSONプリンタポートの設定は終了です。［閉じる］をクリックして、［プロパティ］画面を閉じます。
- EPS_LPT2：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 12 へ進みます。
- EPS_LPT3：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 12 へ進みます。

12 EPS_LPT2/3 を使用するには、以下の手順で IRQ、DMA の設定を行ってからコンピュータを再起動させます。

① [ポートの構成] ボタンをクリックし、使用する EPS_LPT2 または EPS_LPT3 のタブをクリックします（拡張ボードが装着されている場合のみ EPS_LPT2、EPS_LPT3 が表示されます)。

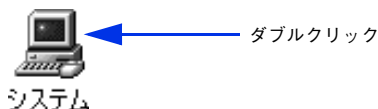
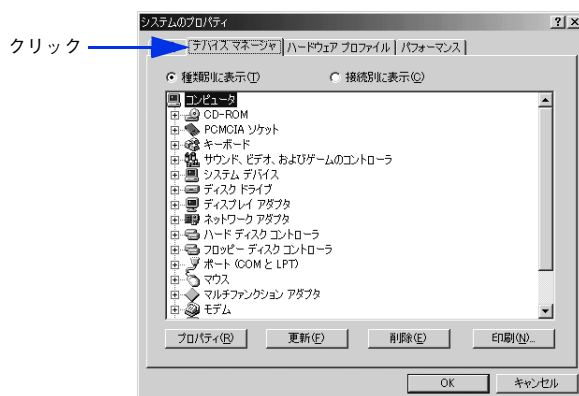
② [IRQ]、[DMA] の設定を行います。[リソースの設定] から [IRQ]、[DMA] をダブルクリックし、拡張ボードで設定した値を設定します。

③ [OK] をクリックして [ダイアログ] 画面を閉じます。設定が変更されると、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。[プロパティ] 画面を閉じてから再起動してください。

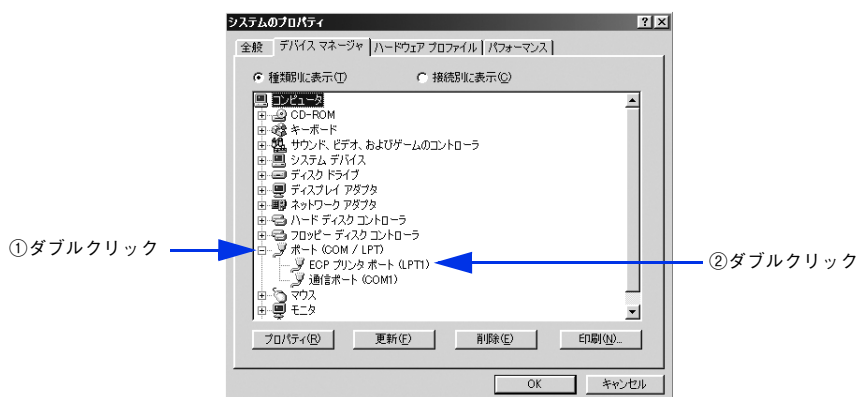
これで EPS_LPT2/3 の設定が完了し、接続されているプリンタへの EPS_LPTx ポートの割り当てができるようになります。

プリンタドライバを再インストールしたときは、10 ～ 12 に従って EPSON プリンタポートの再設定を行ってください。

Windows 98/Me の設定確認

1 **Windows の［コントロールパネル］を開きます。**

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2 **［システム］アイコンをダブルクリックします。**

3 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

4 **［ポート（COM/LPT）］をダブルクリックして開き、本機が接続されているポートをダブルクリックします。**

プリンタの接続先を変更していない場合は［ECP プリンタポート（LPT1）］を選択します。

5 ［リソース］タブをクリックし、［自動設定］にチェックが付いていること、［競合するデバイス］に競合がないことを確認します。

競合するデバイスが表示されたら、以下の手順で設定を変更してください。

① すべての I/O ポートアドレスをメモ用紙に控えて、［自動設定］のチェックボックスをクリックして外します。

② ［基にする設定］または［設定の登録名］リストでメモに控えた I/O ポートアドレスと［DMA］、［IRQ］（割り込み要求）の設定が表示される基本設定を探して選択します。

競合デバイスが解消しない場合は、お使いのコンピュータメーカーにお問い合わせください。

6 ［OK］をクリックします。

以上で設定の確認は終了です。

一部のコンピュータでは、上記の設定をしたにもかかわらず、DMA 転送がご利用になれない場合があります。お使いのコンピュータのメーカーに DMA 転送が可能かどうかお問い合わせください。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタドライバを再インストールしたりバージョンアップするときは、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

プリンタソフトウェアを削除するには

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /EPSON ステータスモニタ /USB プリンタデバイスドライバ）を削除する手順を説明します。

USB プリンタデバイスドライバは、Windows 98/Me で本機を USB 接続しているときにインストールされるデバイスドライバです。

■ プリンタドライバと EPSON ステータスモニタの削除

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了し、コンピュータを再起動します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

Windows XP
［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。

Windows Server 2003
［スタート］－［コントロールパネル］にカーソルを合わせます。

Windows 98/Me/2000
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

Windows XP/Server 2003 の場合
［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 98/Me/2000 の場合

［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 削除するソフトウェアを選択して［変更と削除］または［追加と削除］をクリックします。

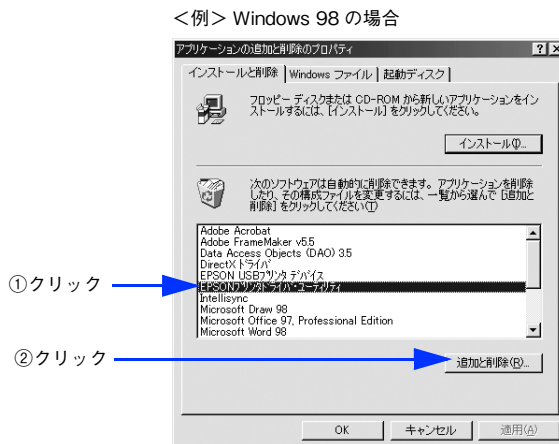
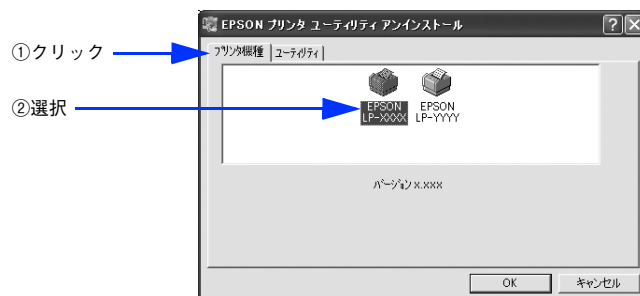
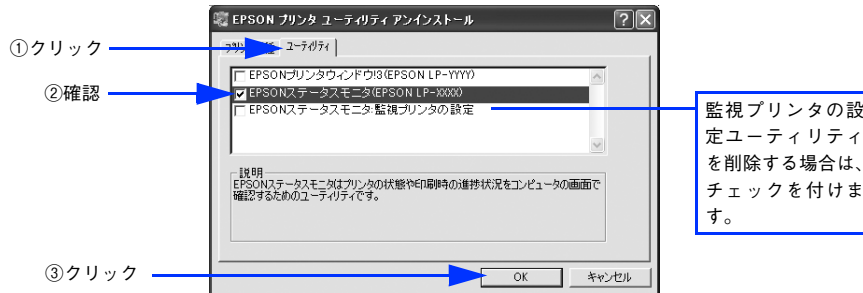
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［変更と削除］をクリックします。

<例> Windows XP の場合

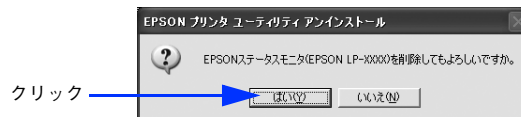
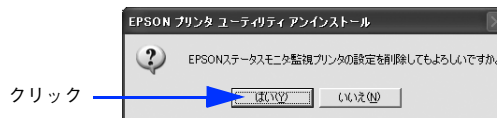
Windows 98/Me の場合

［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［追加と削除］をクリックします。

<例> Windows 98 の場合

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、LP-S6500/LP-S4500 のアイコンを選択します。

6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSON ステータスモニタ（LP-S6500/LP-S4500用）にチェックが付いていることを確認して［OK］をクリックします。

監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON ステータスモニタに対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

7 EPSON ステータスモニタの削除確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

EPSON ステータスモニタ（LP-S6500/LP-S4500 用）の削除が始まります。

参考

監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、次のメッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 プリンタドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

プリンタドライバの削除が始まります。

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら［はい］をクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

9 終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

以上でプリンタドライバと EPSON ステータスモニタの削除（アンインストール）は終了です。

参考

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

USB プリンタデバイスドライバの削除（Windows 98/Me のみ）

Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なデバイスドライバです。

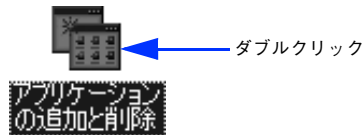
- USB プリンタデバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
- USB プリンタデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

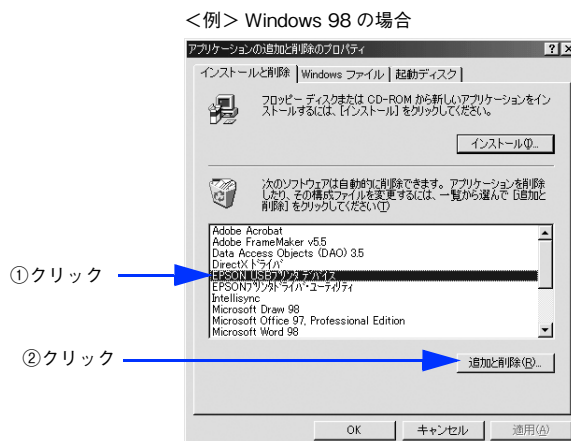
2 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］を開きます。

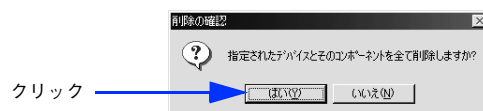
［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 ［EPSON USB プリンタデバイス］をクリックして、［追加と削除］をクリックします。

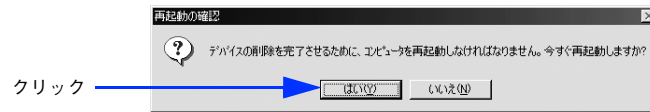
［EPSON USB プリンタデバイス］は、USB 接続をご利用のときにのみ表示されます。

<例> Windows 98 の場合

インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。このようなときは、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行します。

① コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
② ［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。
③ ［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。
④ ［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

5 ［はい］をクリックします。

USB プリンタデバイスドライバの削除が始まります。

6 ［はい］をクリックします。

コンピュータが再起動します。

以上で USB プリンタデバイスドライバの削除は終了です。

EPSON ステータスモニタのみの削除

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

Windows XP
［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。

Windows Server 2003
［スタート］－［コントロールパネル］にカーソルを合わせます。

Windows 98/Me/2000
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

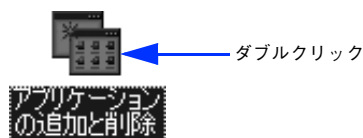
3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

Windows XP/Server 2003 の場合
［プログラムの追加と削除］をクリックします。

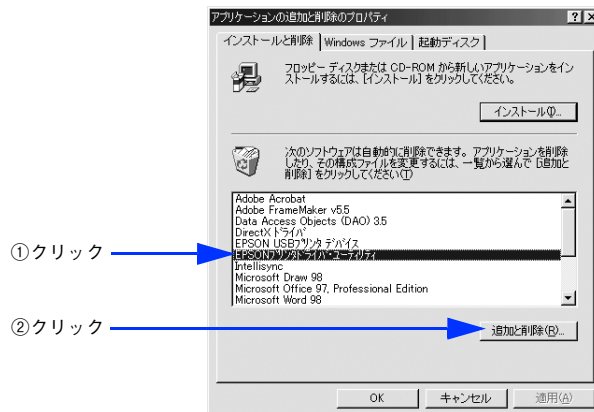
Windows 98/Me/2000 の場合
［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

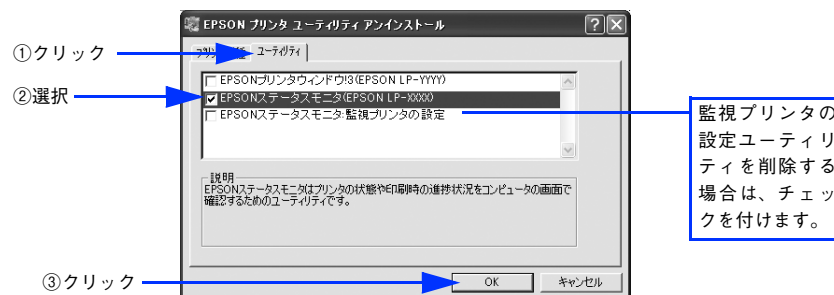
4 削除するソフトウェアを選択して［変更と削除］または［追加と削除］をクリックします。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合
［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［変更と削除］をクリックします。

<例> Windows XP の場合

Windows 98/Me の場合

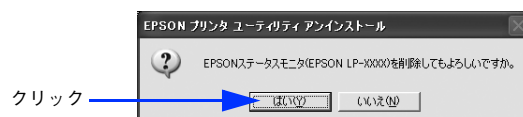
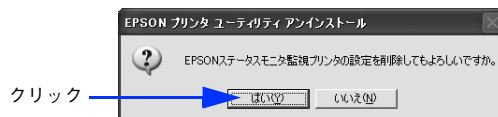
［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［追加と削除］をクリックします。

＜例＞ Windows 98 の場合

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。

6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSON ステータスモニタ（LP-S6500/LP-S4500用）］を選択して、［OK］をクリックします。

参考　監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON ステータスモニタに対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

7 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

EPSON ステータスモニタ（LP-S6500/LP-S4500 用）の削除が始まります。

参考

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次のメッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

以上で EPSON ステータスモニタ（LP-S6500/LP-S4500 用）の削除（アンインストール）は終了です。

プリンタドライバや EPSON ステータスモニタを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

追加ドライバを削除するには

Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバにクライアント用の追加ドライバをインストールしている場合は、以下の手順で追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

Windows XP の場合

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、3 へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows Server 2003 の場合

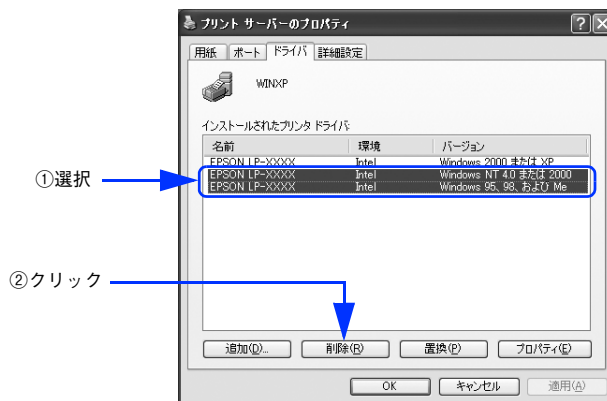
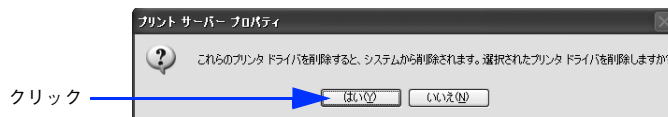
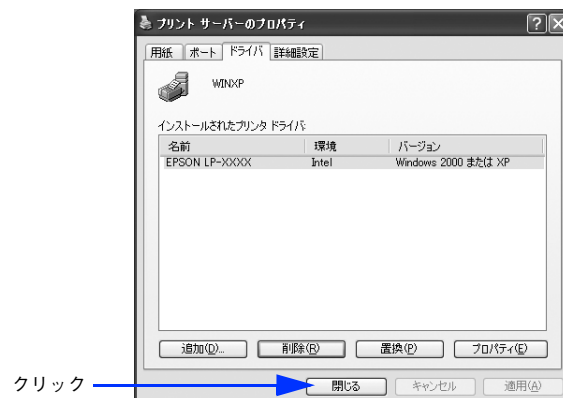
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせてマウスを右クリックし、［開く］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして 3 へ進みます。

Windows 2000 の場合

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。

4 ［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタドライバ］リストを開きます。

5 削除したい追加ドライバをクリックして選択し、［削除］をクリックします。

6 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

7 ［閉じる］をクリックしてプロパティを閉じます。

以上で追加ドライバの削除は終了です。

EPSON プリンタポートの削除

Windows 2000/XP で EPSON プリンタポートを削除するには、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了し、Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］/［プログラム］－［EPSON］－［EPSON プリンタポートアンインストール］をクリックして画面の指示に従い、Windows を再起動してください。

ソフトウェアのバージョンアップ

添付のソフトウェアをバージョンアップすることによって、今まで起こっていた現象が解消されることがあります。できるだけ最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。

1 **旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）します。**

本書 122 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

2 **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

最新のソフトウェアは、エプソンのホームページからダウンロードしてください。

http://www.i-love-epson.co.jp/

CD-ROM での郵送をご希望されるお客様へ

「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。詳しくは FAX インフォメーションでご確認ください。

「使い方ガイド」（紙マニュアル）巻末

3 **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**

手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮 *1 ファイルとなっていますので、ホームページ上の説明に従ってファイルをダウンロードし、解凍 *2 してからインストールしてください。

*1　圧縮：1 つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2　解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソンのホームページへ接続した場合です。

ソフトウェアの再インストール

ソフトウェアを一旦削除した後、再びインストールしたいときは以下の手順に従ってインストールしてください。また、使用しているうちにソフトウェアに不具合が生じたときなどは、一旦削除して再起動してから以下の手順に従って再インストールしてください。

本書 122 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

1 **本機の電源をオフにします。**

2 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

3 **コンピュータに「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

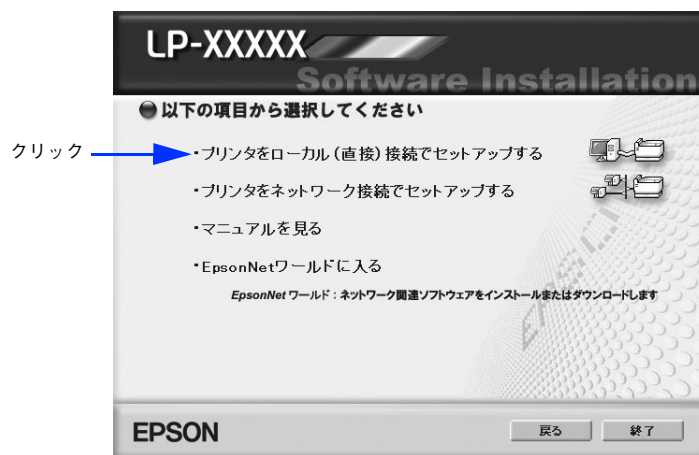
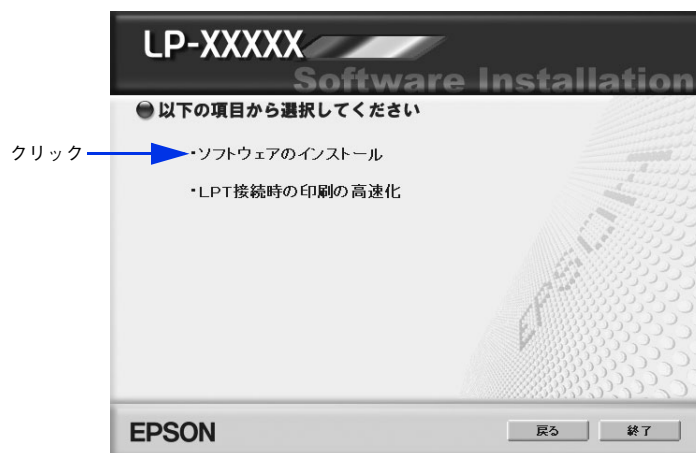
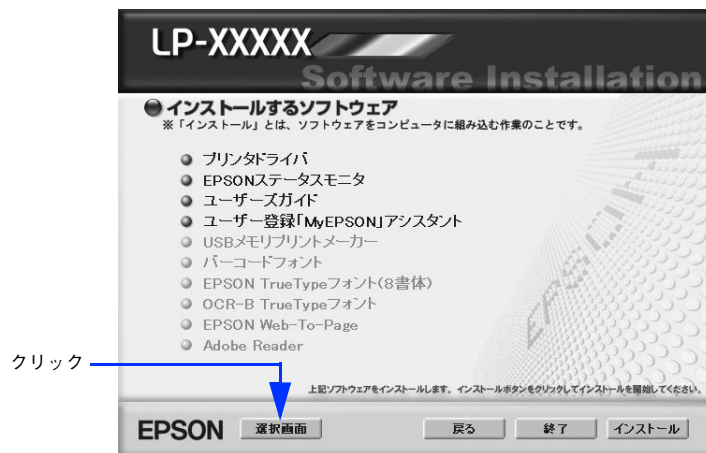
4 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

ウィルスチェックプログラムを起動している場合は［インストール中止］をクリックして、2 からやり直します。

上の画面が自動的に表示されないときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

5 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

6 プリンタの機種名を選択します。

7 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］を選択して次に進みます。

8 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

9 ［選択画面］をクリックします。

10 ［プリンタドライバ］と［EPSON ステータスモニタ］のみをチェックして、［インストール］をクリックします。

参考	その他の項目がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

11 この後は、画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

以上でプリンタドライバと EPSON ステータスモニタがインストールされます。

2 Mac OS 9 をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Mac OS 9 でお使いの際に関係する情報の説明をしています。

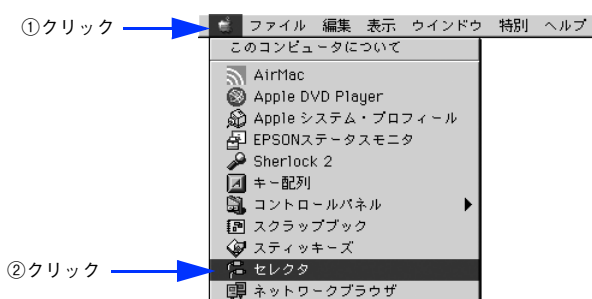
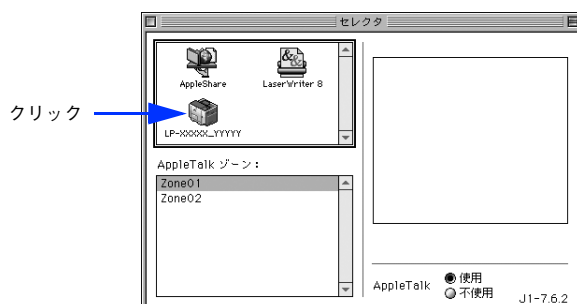
印刷を始める前に

「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。ここでは、［セレクタ］でプリンタを選択する手順を詳しく説明します。なお、以下の場合は必ず［セレクタ］でプリンタを再選択してください。

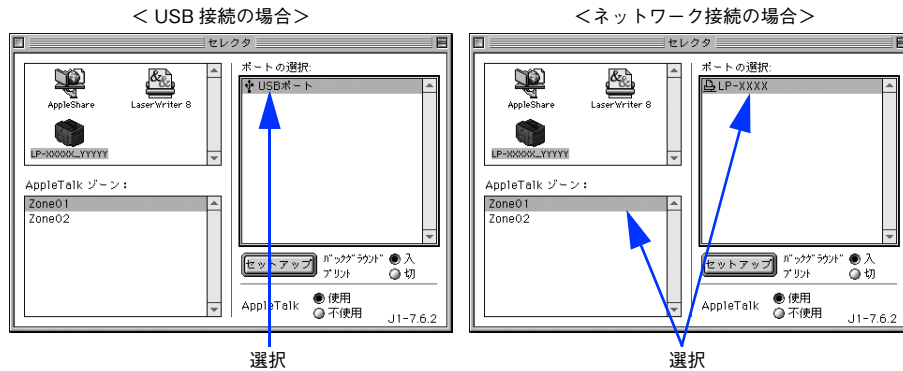
- カラーモデルとモノクロモデルを切り替えた場合
- オプション製品をプリンタに装着した場合

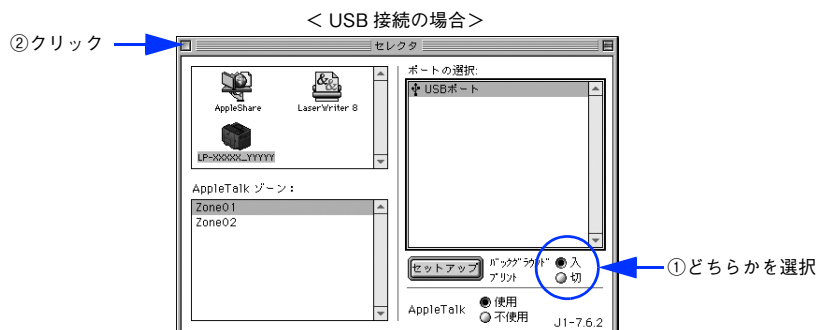
- すでに本機が選択されていれば、再度選択する必要はありません。
- 他のプリンタを選択しない限り、印刷のたびに選択する必要はありません。
- 本機を接続したコンピュータ がネットワーク環境に接続されていれば、ネットワーク上のほかのコンピュータから本機を共有することができます。設定の詳細は、以下のページを参照してください。
  本書 192 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
  本書 195 ページ「プリンタを共有するには」

1 **プリンタの電源をオン（ I ）にします。**

2 **アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3 **プリンタドライバ［LP-S6500_S4500］を選択します。**

- ネットワーク環境に接続している場合は、ネットワークプリンタとして共有できます。
- AppleTalk ゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定しているときに表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。
- QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されないときは、QuickDraw GX を使用停止にしてください。

4 USB ポートまたはプリンタを選択します。

- USB 接続の場合：USB ポートを選択します。同機種のプリンタが複数接続されているときは［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。
- AppleTalk 接続の場合：AppleTalk ゾーンとプリンタを選択します。

- AppleTalk 接続の場合は、プリンタ名が変更されていることがあります。ネットワーク管理者にご確認ください。
- ネットワーク環境で AppleTalk ゾーンが設定されていない場合は、[AppleTalk ゾーン] は表示されませんので選択する必要はありません。
- USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］の［入 / 切］を設定して、ダイアログ左上のクローズボックスをクリックします。

- ［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながらコンピュータでほかの作業ができます。ただし、ご使用のコンピュータによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。
- ［セットアップ］をクリックすると、プリンタの基本動作が設定できます。
☞ 本書 192 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

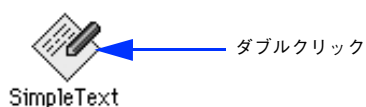
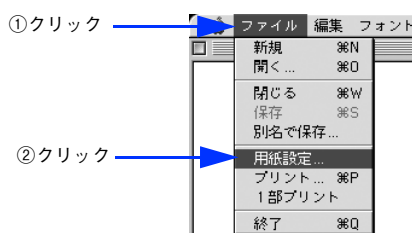
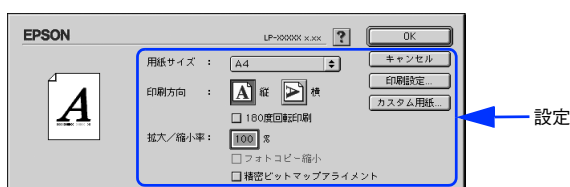
以上でプリンタの選択は終了です。
☞ 本書 139 ページ「印刷の手順」

印刷の手順

用紙設定

実際に印刷データを作成する前に、用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText での手順を例に説明します。印刷手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

用紙設定をする前にセレクタでプリンタドライバ（LP-S6500_S4500）を選択してください。
本書 137 ページ「印刷を始める前に」

1 ［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。

2 ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）をクリックします。

3 必要な項目を設定します。

設定項目やボタンの詳細は、以下のページを参照してください。
本書 152 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
本書 153 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

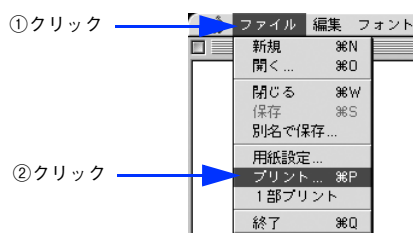
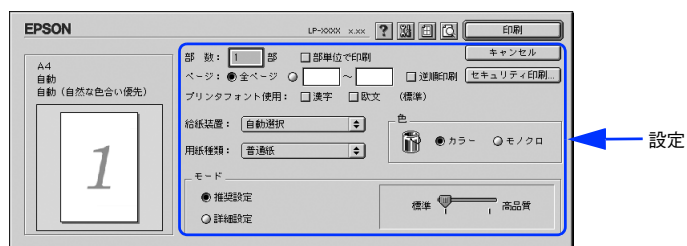
4 ［OK］をクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

印刷設定の手順

作成した印刷データを印刷する際に、印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合がありますすので、このようなときはアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

2 印刷に必要な項目を設定します。

通常は、［プリント］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンの詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」

3 ［印刷］をクリックして、印刷を実行します。

印刷の中止

印刷処理を中止するときは、以下の方法で印刷データを削除します。

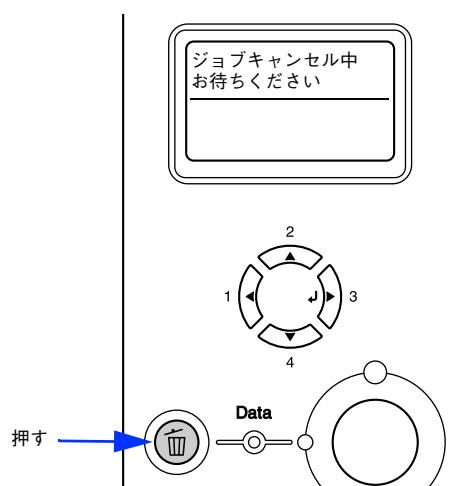
コンピュータから中止する

- コマンド（⌘）キーを押したままピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（［キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。
- バックグラウンドプリントを行っているときは、EPSON プリンタモニタ !3 から印刷を中止します。

① EPSON プリントモニタ !3 を開いて、印刷状況を確かめます。
本書 208 ページ「印刷状況を表示する」

② EPSON プリントモニタ !3 で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。
本書 208 ページ「印刷状況を表示する」

プリンタの操作パネルから中止する

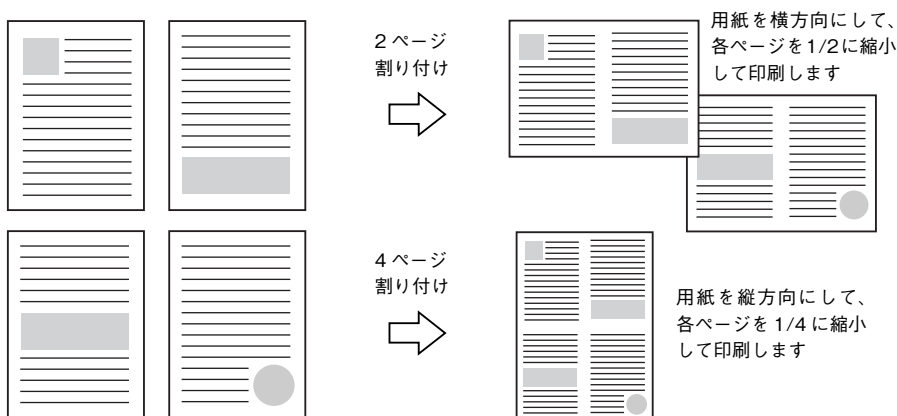
● 印刷中のデータを削除するには［ジョブキャンセル］ボタンを押します。
印刷中のデータ（ジョブ単位）が削除されます。

● **プリンタが受信したすべての印刷データを削除するには[ジョブキャンセル]ボタンを約 2 秒以上押し続けます。**

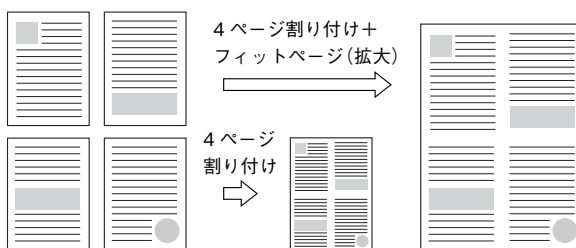
プリンタが受信したすべての印刷データが消去されます。

便利な印刷機能

ここでは、本機に搭載されているさまざまな機能のうち、便利な印刷機能の概略をまとめて紹介します。

割り付け印刷で用紙を節約

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総用紙枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

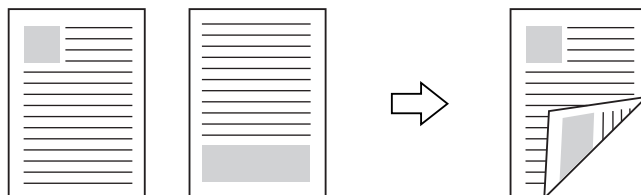
割り付け印刷は、連続した 2 ページまたは 4 ページ分のデータを縮小して元の指定サイズの用紙に割り付けて印刷します。例えばハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とは言えません。こんなときは、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用して、大きな A4 サイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

本書 146 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
本書 186 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

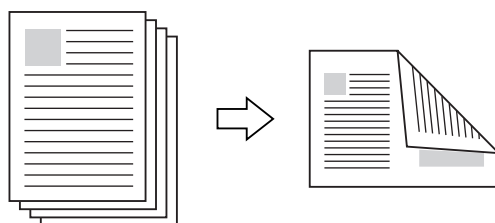
割り付け印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］/［割り付け設定］ダイアログを開いて設定してください。

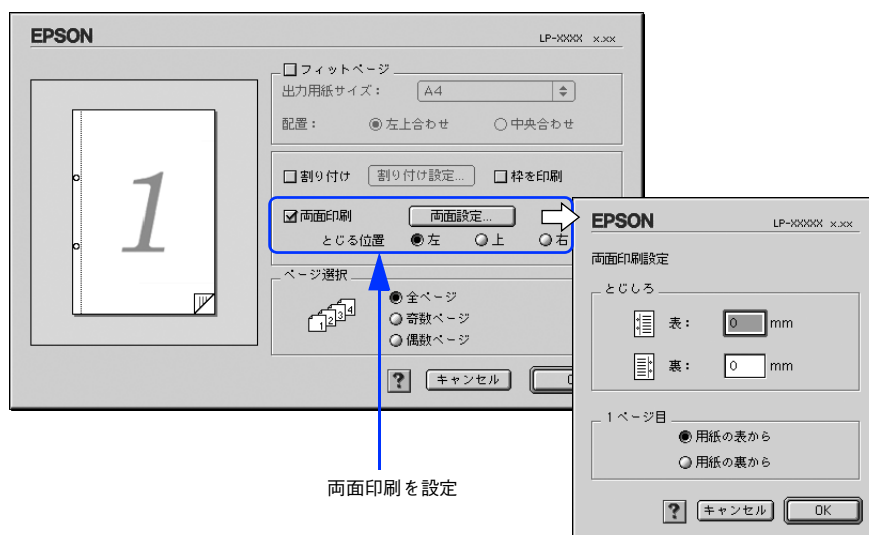
機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」/159 ページ「⑫（［レイアウト］アイコン）」
☞ 本書 185 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
☞ 本書 188 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

両面印刷で用紙を節約

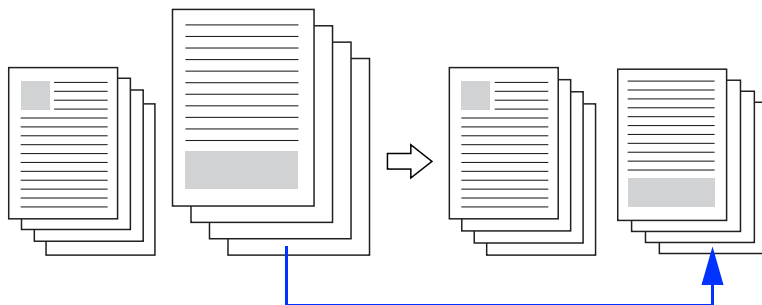
用紙の片面に印刷するだけでは「紙がもったいない」と思うことはありませんか。本機には自動両面印刷機能が標準搭載されています。用紙を 1 枚ずつ自動的に裏返して両面印刷を行いますので、片面を印刷した後で文書をセットし直して裏面に印刷する手間が省けます。また、総用紙枚数を 1/2 に減らすことができます。

さらに、用紙の両面に 2 ページまたは 4 ページ割り付け印刷を行えば、総用紙枚数を 1/4 または 1/8 まで減らすことができます。

<例>両面それぞれに2ページ分の割り付け印刷した場合、
4ページの文書なら用紙1枚で済みます

☞ 本書 143 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ 本書 188 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

両面印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］/［両面印刷設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

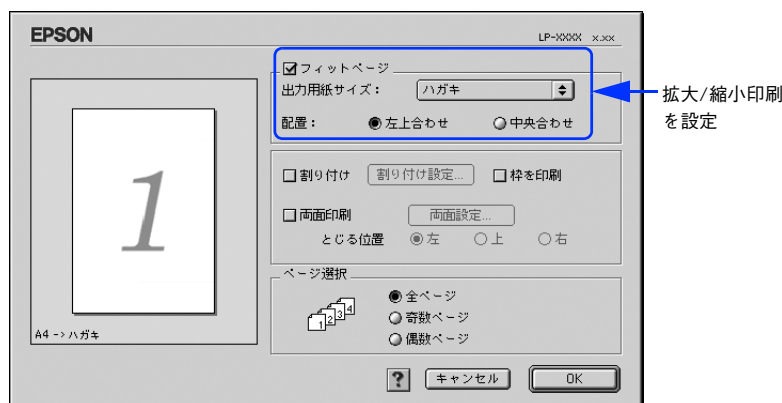
☞ 本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」/159 ページ「⑫（［レイアウト］アイコン）」
☞ 本書 185 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
☞ 本書 190 ページ「両面印刷するには」

ページを拡大または縮小して印刷

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

本機の拡大 / 縮小印刷には以下 2 つの方法があります。

サイズを選択(フィットページ印刷)

元のページサイズと拡大 / 縮小したい用紙サイズをメニューから選択するだけで、自動的にページサイズを用紙サイズに合わせて(フィットさせて)印刷できます。例えば、A4 サイズで作った原稿をハガキに印刷したいときは、元のページサイズを[A4]に設定して、出力(印刷)に使用する用紙サイズを[ハガキ]に設定するだけで、あとはプリンタドライバが自動的に縮小率を計算して縮小印刷を行います。

拡大 / 縮小印刷は[プリント]ダイアログから[レイアウト]ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 155 ページ「[プリント]ダイアログ」/159 ページ「⑫ ([レイアウト]アイコン)」
☞ 本書 185 ページ「[レイアウト]ダイアログ」
☞ 本書 186 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

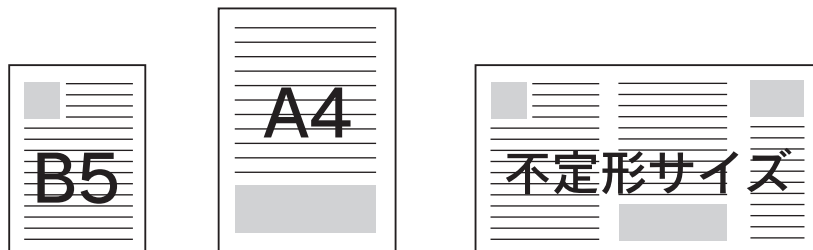
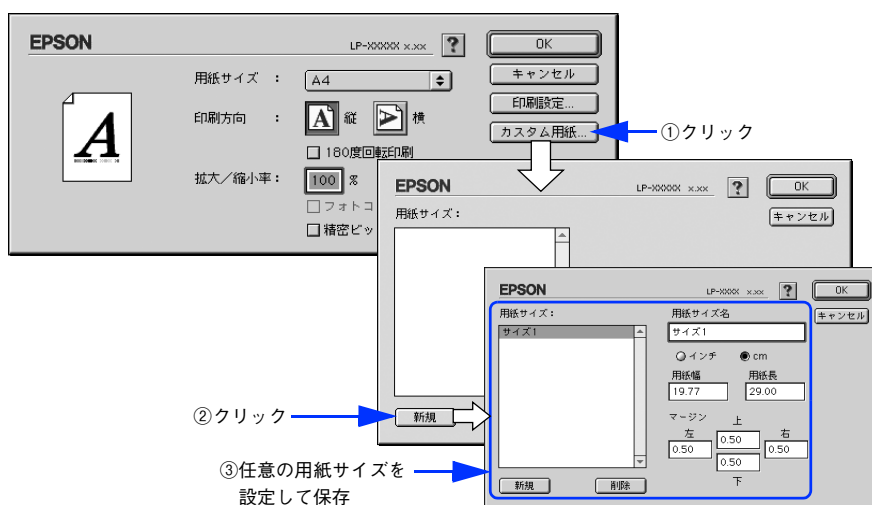
拡大 / 縮小率を設定(任意倍率印刷)

拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷することもできます。まず拡大 / 縮小したい用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小率を計算し、その値を入力して印刷します。[ページ設定]ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 152 ページ「[用紙設定]ダイアログ」
☞ 本書 154 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷」

定形サイズ以外の用紙に印刷

B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したいときも心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（カスタム用紙サイズ）として登録しておくことができます。

不定形紙サイズは［用紙設定］ダイアログの［カスタム用紙］から設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

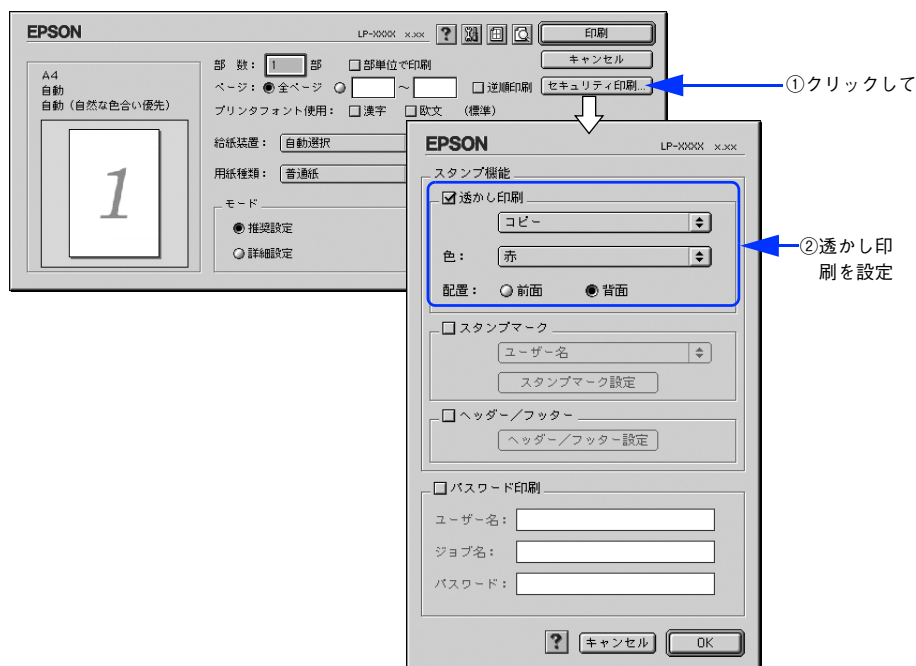
☞ 本書 152 ページ「［用紙設定］ダイアログ」/152 ページ「⑧ ［カスタム用紙］ボタン」
☞ 本書 153 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

定義した不定形紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

！注意 不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
☞ 本書 409 ページ「不定形紙への印刷」

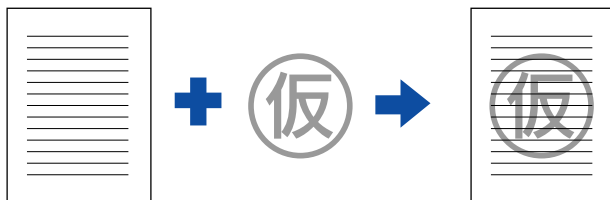
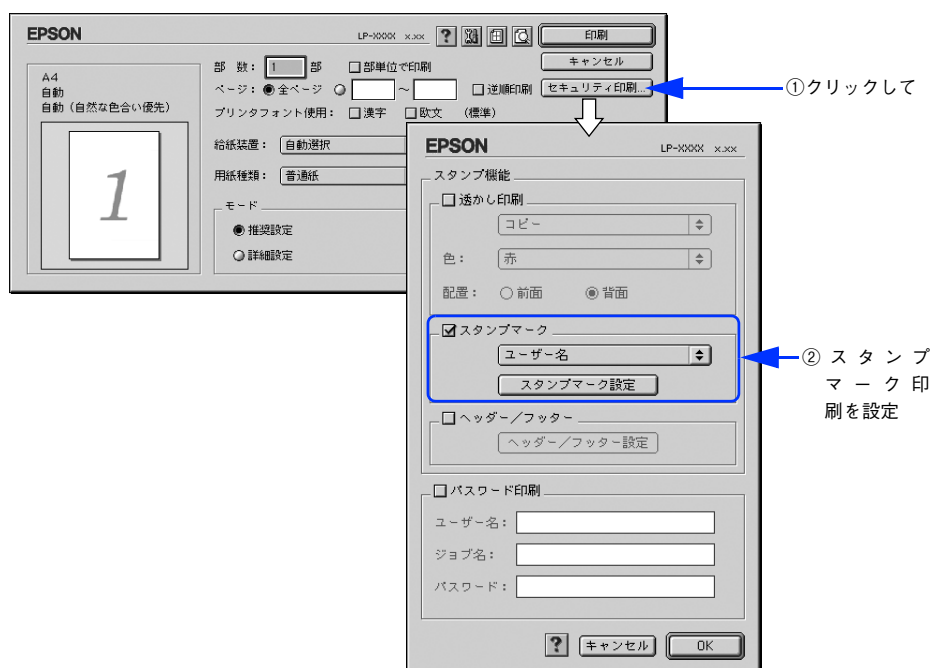
コピー時に透かし文字が浮き上がる印刷

本機で印刷した文書原本とコピー機でコピーした複製書類を区別して、セキュリティを高めたいと思いませんか。プリンタドライバの透かし印刷機能を使えば、用紙全体に透かし文字を印刷することができます。文書原本には背景に透かし文字が埋め込まれていて、用紙全体に色が付いています。印刷された文書原本をコピーすると、選択したパターンの文字が浮き上がります。

透かし印刷は［プリント］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」/ 本書 160 ページ「⑭ ［セキュリティ印刷］ボタン」
☞ 本書 161 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」
☞ 本書 163 ページ「透かし印刷するには」

「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷した文書を管理するときに、「㊙」、「重要」、「仮」などのスタンプを押していませんか。プリンタドライバのスタンプマーク機能を使えば、文書自体にこうしたスタンプマークを重ねて印刷できますので手間が省けます。大量の文書にスタンプを押す必要がある場合でも、一度設定すれば手作業で何度もスタンプを押す必要がなく、しかも押し間違いもありません。

スタンプマーク印刷は［プリント］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

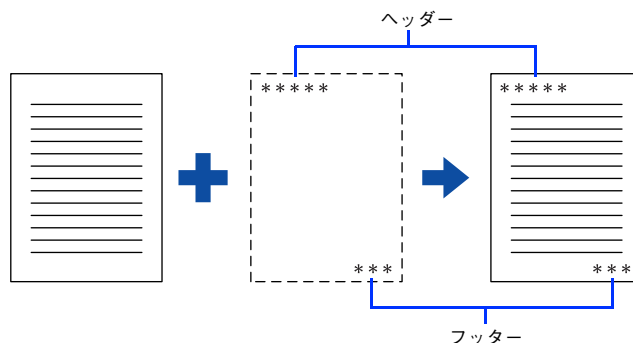
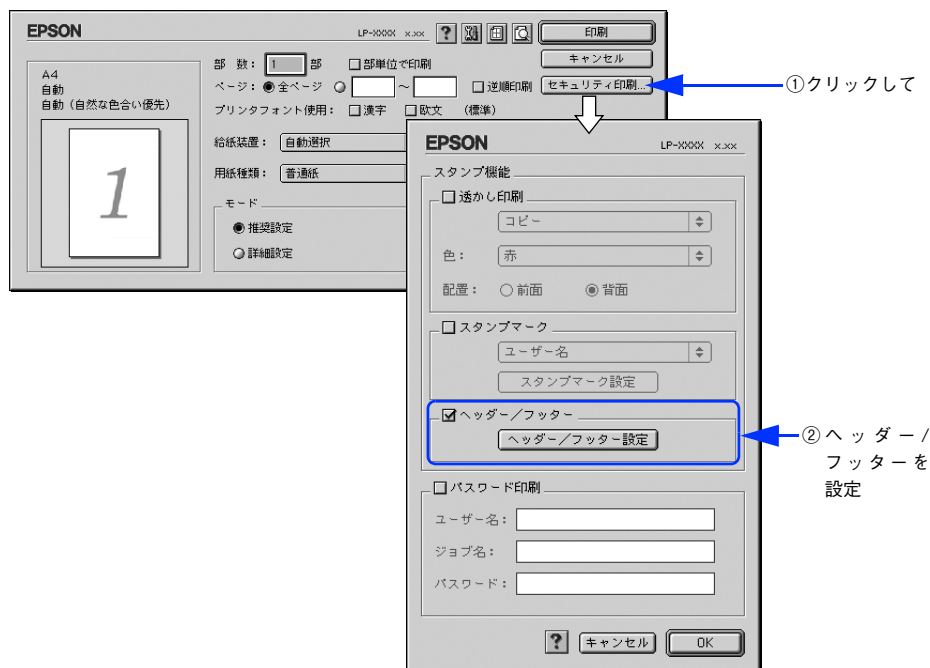
☞ 本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」/ 本書 160 ページ「⑭ ［セキュリティ印刷］ボタン」
☞ 本書 161 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」
☞ 本書 165 ページ「スタンプマークを印刷するには」

オリジナルスタンプマークの作成

あらかじめ登録されているスタンプマークだけでなく、オリジナルのスタンプマークをユーザーが作成して登録できます。どのようなマークが必要になっても、新たにスタンプを購入する必要がありません。

☞ 本書 167 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

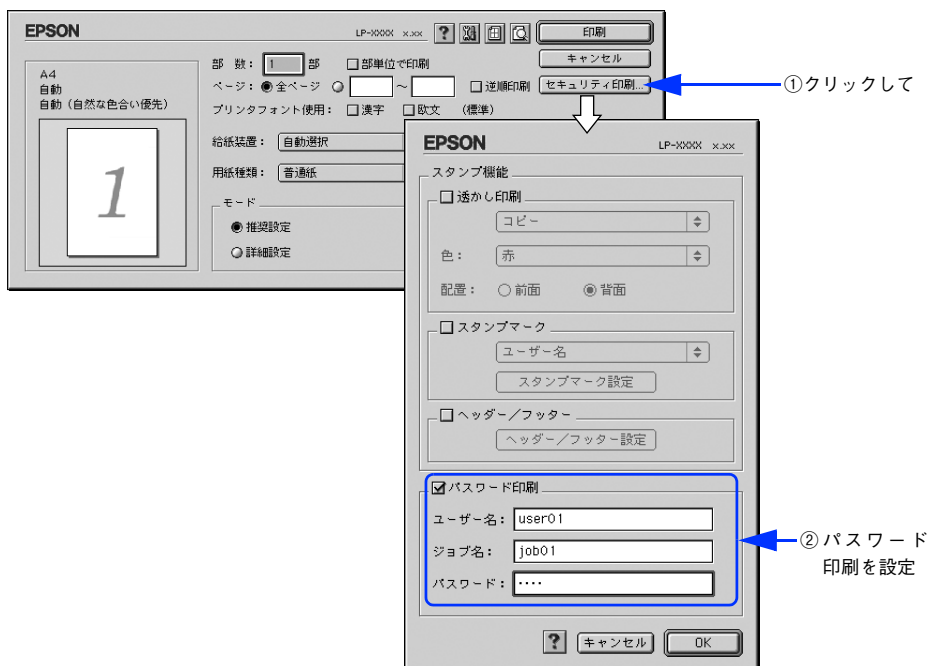
ヘッダー/ フッターにファイル名や日付を印刷

「この書類は誰がどのコンピュータから印刷したのか」など、文書の管理に困ることはありませんか。文書の上部ヘッダーと下部フッターに、ユーザー名、コンピュータ名、印刷日時などの文書情報を印刷すると、文書の管理がしやすくなります。アプリケーションソフトで文書情報を入力せず、プリンタドライバのヘッダー / フッター印刷機能で印刷実行時に処理できるので、印刷書類としての正確な情報を管理しやすくなります。

ヘッダー / フッター印刷は［プリント］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」/ 本書 160 ページ「⑭ ［セキュリティ印刷］ボタン」
☞ 本書 161 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」
☞ 本書 170 ページ「ヘッダー / フッターを印刷するには」

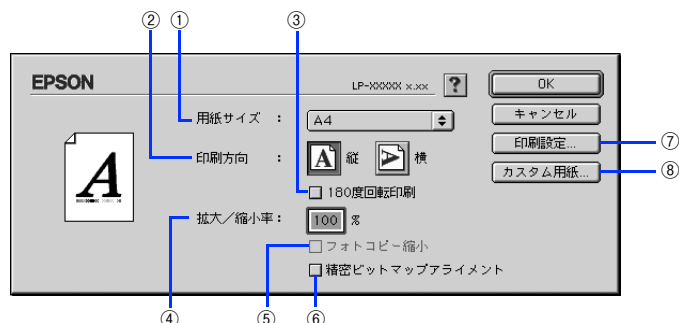
印刷データにセキュリティを設定して印刷

ご自身がプリンタにパスワードを入力してその場で書類を印刷できれば、他人の目に触れることなくセキュリティを高められると思いませんか。オプションのハードディスクユニットを取り付ければ、パスワード印刷ができます。通常プリンタに送られた印刷データは何もしなくても印刷されますが、印刷データを一旦ハードディスクに保存し、操作パネルからパスワードを入力すると印刷されます。

パスワード印刷は［プリント］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」/ 本書 160 ページ「⑭ ［セキュリティ印刷］ボタン」
☞ 本書 161 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」
☞ 本書 172 ページ「パスワード印刷をするには」

[用紙設定]ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをポップアップメニューから選択します。

本機で印刷できない用紙サイズを選択すると、A4 サイズの用紙に自動的に拡大 / 縮小して印刷（フィットページ印刷）を行います。A4 サイズ以外の用紙にフィットページ印刷を行う場合は、［レイアウト］ダイアログで［フィットページ］を設定してください。
本書 186 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、［縦］・［横］のいずれかをクリックして選択します。

③180 度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④拡大 / 縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。
本書 146 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
本書 154 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷」

- 拡大 / 縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。
- フィットページ印刷を行うと、簡単に拡大 / 縮小印刷が行えます。
  本書 186 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

⑤フォトコピー縮小

［拡大 / 縮小率］が 100% 未満のときに有効になります。指定した縮小率で用紙中央に印刷します。このとき、［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

印刷領域を約 4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。印刷位置は用紙の中央になります。［フォトコピー縮小］を選択しているときは、選択できません。

⑦[印刷設定]ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目は、以下のページを参照してください。
本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」

⑧[カスタム用紙]ボタン

用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。
本書 147 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」
本書 153 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙］として 64 件まで登録して印刷することができます。

1 **プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログを開きます。**

☞ 本書 139 ページ「用紙設定」

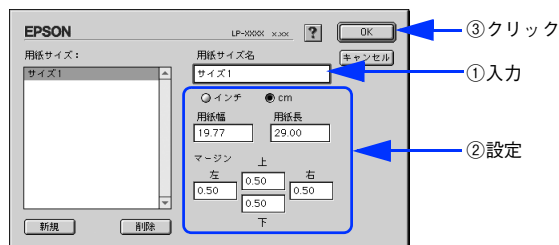
2 **［カスタム用紙］をクリックします。**

3 **［新規］をクリックします。**

- 登録されている用紙サイズを変更するときは、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズをクリックしてから変更します。
- 登録されている用紙サイズを削除するときは、［用紙サイズ］リストから削除したい用紙サイズをクリックしてから［削除］をクリックします。
- プリンタドライバを再インストールしても、登録した用紙サイズは保持されます。

4 **用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、［OK］をクリックします。**

設定できるサイズの範囲は次の通りです。

- 用紙幅：9.85 ～ 29.70cm（3.88 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：14.80 ～ 43.20cm（5.83 ～ 17.00 インチ）

これで設定した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。

☞ 本書 409 ページ「不定形紙への印刷」

拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

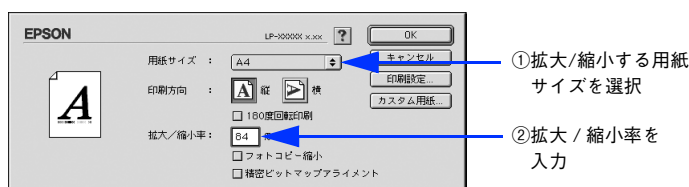
1 拡大 / 縮小率を計算します。

- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大 / 縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログを表示します。

本書 139 ページ「用紙設定」

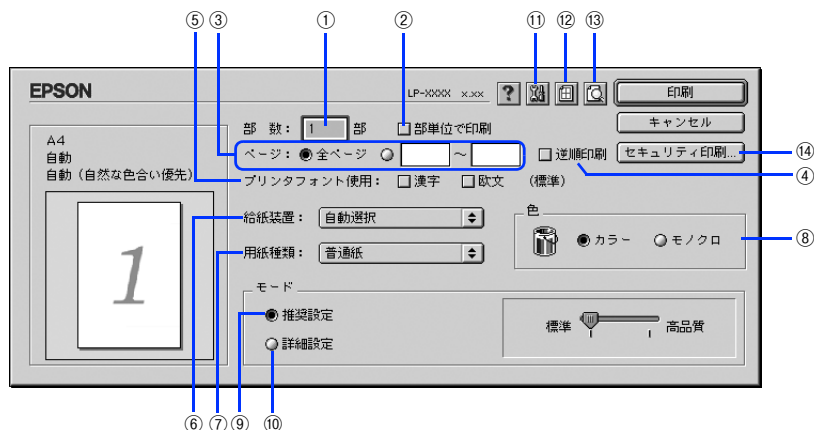
3 拡大 / 縮小印刷に使用する［用紙サイズ］を選択して、［拡大 / 縮小率］に 1 で求めた値を入力します。

25 ～ 400% の間で倍率を指定できます。

［拡大 / 縮小率］に合った［用紙サイズ］を選択してください。以下のような場合は、［用紙サイズ］が［拡大 / 縮小率］に合っていません。

- 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
- 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

4 その他の設定を確認し、［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。

[プリント]ダイアログ

印刷する際、[プリント]ダイアログで印刷にかかわる各種の設定を行います。

①部数
1 ～ 999 の範囲で印刷部数を選択します。通常は 1 ページごとに指定した部数を印刷しますが、②の［部単位で印刷］を選択すると 1 部ごとにまとめて印刷します。

②部単位で印刷
2 部以上印刷するときに 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

③ページ
すべてのページを印刷するときは［全ページ］を選択します。一部のページを指定して印刷するときは、開始ページと終了ページを 1 ～ 9999 の範囲で入力します。

④逆順印刷
先頭ページからではなく、最後のページから逆に印刷します。

⑤プリンタフォント使用
印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。

フォント	説　明
漢字	文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文	文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

- ［印刷モード］を［標準（Mac）］に設定したときは、フォントの置き換えはできません。
- カラー印刷で［印刷モード］を［CRT］に設定したときは、フォントの置き換えはできません。
- モノクロ印刷で［印刷モード］を［CRT］に設定して［180 度回転印刷］をするときは、フォントの置き換えはできません。

⑥給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	標準の MP トレイから給紙します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセットから給紙します。
用紙カセット 2/3/4*	オプションの増設カセットユニットから給紙します。

＊　オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示されます。

- 給紙装置にセットした用紙のサイズは、操作パネルから［給紙装置設定］を選択して［MP トレイサイズ］と［カセットサイズ］で設定します。
  本書 335 ページ「［給紙装置設定］メニュー」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されないとエラーになります（［用紙サイズのチェックをしない］をオフに設定している場合）。
  本書 183 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙サイズ］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  本書 185 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑦用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
指定しない	• 普通紙タイプの用紙に印刷する場合で操作パネルの「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。 本書 411 ページ「用紙タイプ選択機能」 • ［給紙装置］は手動で選択する必要があります。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	• 紙厚が64～90g/m²の左記普通紙タイプの用紙に印刷する場合で操作パネルの「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。 本書 411 ページ「用紙タイプ選択機能」 • ［給紙装置］には［自動選択］が自動選択されます。
OHP シート	• EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ラベル	• ラベル紙に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙	• 紙厚が 91 ～ 163g/ ㎡の厚紙に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙（裏面）	• 厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ハガキ（裏面）	• 郵便ハガキ、往復郵便ハガキを両面印刷する場合で、片面の印刷後もう一方の面を印刷するときに選択します。 片面だけ印刷する場合は、［ 用紙サイズ ］で［ ハガキ ］または［ 往復ハガキ」を選択してください。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、または封筒サイズに設定すると、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑧色(カラーモデルのみ)

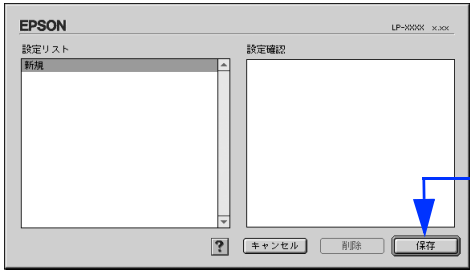
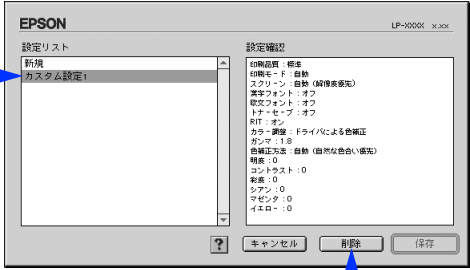
カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

⑨推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。［推奨設定］をクリックすると、印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

印刷できなかったりメモリ関連のエラーメッセージが表示されるようなときは、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  ☞ 本書 344 ページ「［USB I/F 設定］メニュー」
  ☞ 本書 346 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」

上記の方法でもメモリ関連のエラーが解決できないときは、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

⑩詳細設定モード

［詳細設定］をクリックすると、［設定変更］と詳細設定メニューが表示されます。

項目	説明
詳細設定メニュー	プリセットメニューから選択します。
［設定変更］	［詳細設定］ダイアログを開きます。 本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］	［詳細設定］ダイアログの設定を保存したり削除できます。 **保存するには** ①あらかじめ［詳細設定］ダイアログで設定しておきます。 ②［プリンタ］ダイアログの［保存 / 削除］をクリックします。 ③クリック ［カスタム設定 1 ～ 10］として 10 組まで保存できます。 **削除するには** ①［プリンタ］ダイアログの［詳細設定］－［保存 / 削除］を順番にクリックします。 ②削除する設定名をクリック ③クリック ④確認ダイアログで［OK］をクリックします。

カラー印刷時に［詳細設定］をクリックすると、以下のプリセットメニューがご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷するときに選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷するときに選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷するときに選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン !5	EPSON 独自の画像補正技術オートフォトファイン !5 を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ColorSync	ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷するときに選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷するときに選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷するときに選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

⑪ （[拡張設定]アイコン）

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行います。

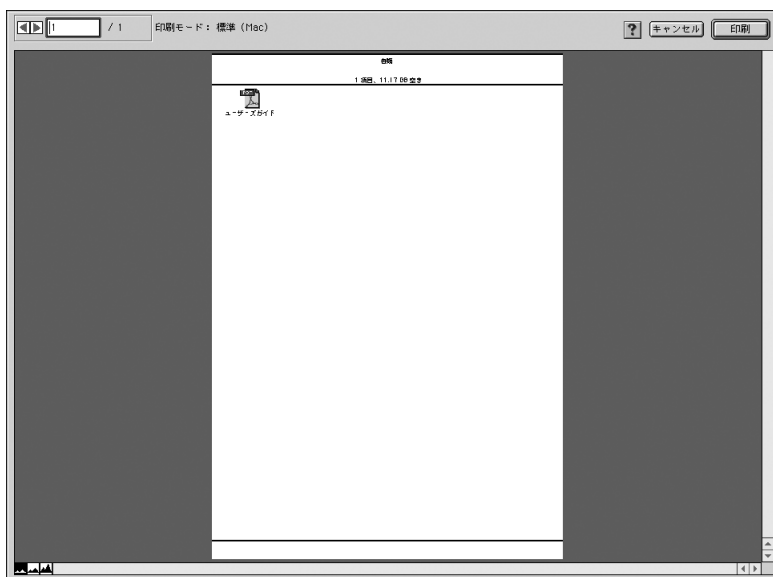
本書 183 ページ「[拡張設定］ダイアログ」

⑫ （[レイアウト]アイコン）

レイアウトに関する設定ができます。

本書 185 ページ「[レイアウト］ダイアログ」

⑬ ([プレビュー]アイコン)

アイコンをクリックすると［印刷］が［プレビュー］に変わります。［プレビュー］をクリックすると、［プレビュー］ウィンドウが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- データや印刷設定によっては、プレビューと印字結果が異なる場合があります。

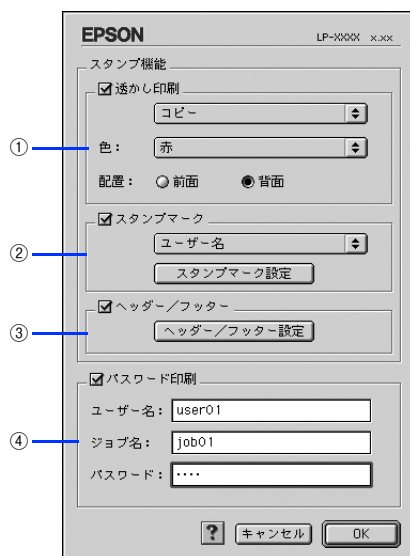
	表示するページを 1 ページごとに切り替えるボタンです。
1 / 3	表示させるページ番号を直接入力します。
キャンセル	［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。
印刷	印刷を開始するボタンです。
	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	印刷データを拡大して表示します。

⑭ ［セキュリティ印刷］ボタン

［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて、セキュリティ印刷が行えます。

☞ 本書 161 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」

[セキュリティ印刷]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［セキュリティ印刷］をクリックすると、［セキュリティ印刷］ダイアログが開きます。［セキュリティ印刷］ダイアログは、透かし印刷、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷、パスワード印刷を行うときに設定するダイアログです。

①透かし印刷

用紙全体に透かし文字を印刷することができます。原本書類は背景に網を掛けたように見え、コピーすると文字が浮き上がります。詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 163 ページ「透かし印刷するには」

②スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

☞ 本書 149 ページ「「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷」
☞ 本書 165 ページ「スタンプマークを印刷するには」
☞ 本書 167 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

③ヘッダー/ フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。

☞ 本書 170 ページ「ヘッダー / フッターを印刷するには」

④パスワード印刷

本機にオプションのハードディスクユニットを取り付ければ、パスワード印刷ができます。プリンタからそのまま印刷しないで印刷データとしてハードディスクに一旦保存し、操作パネルからパスワードを入力してその場で印刷することができます。

☞ 本書 172 ページ「パスワード印刷をするには」

本製品使用時のご注意

送信したデータについて

以下の状態にあるデータについては保護されません。

- 通信経路上にあるデータ
- プリンタのメモリ、ハードディスクなどに一時的に保存されているデータ

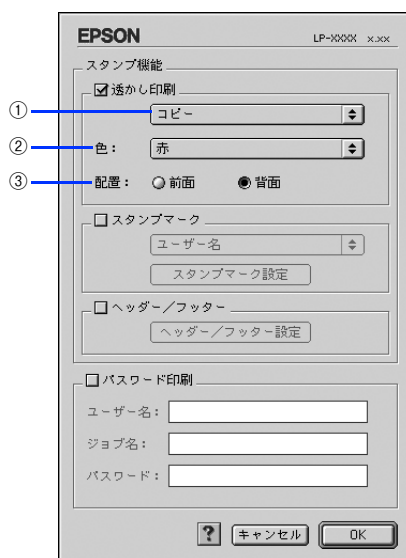
透かし印刷について

透かし印刷は、プリンタから出力した印刷物（原本）の不正コピーを抑制する機能であり、情報漏えいの防止や、コピーしたときに必ず透かし文字が浮き上がるという保証はできません。

下記のような条件によって、透かし文字が濃過ぎたり、印刷物の全面に透かし印刷されなかったり、コピーしたときに文字が浮き上がらないことがあります。

- 複写機、ファックス機、コピーに使用する入力機器（デジタルカメラやスキャナなど）と出力機器（プリンタなど）の機種や設定、組み合わせ
- 本製品のプリンタドライバの設定、消耗品（トナーなど）の状態や出力する用紙種類

透かし印刷するには

［プリント］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログで任意の透かし印刷パターンを選択できます。

①透かし印刷

透かしパターンをメニューから選択します。

②色

カラー印刷するときは、透かし印刷の色（赤または青）を選択します。

モノクロ印刷するときは、常に黒になります。

③配置

透かしを［前面］に置くか、［背面］に置くかを選択します。［前面］と［背面］にて出力される印刷結果は、使用するアプリケーションソフトによって異なります。また、使用する用紙の種類などによっても、透かしの印刷状態は異なります。

- 通常は［背面］を選択します。
- 用紙の全面にデータを印刷するときや、アプリケーションソフトによって透かしが隠れてしまうときは、［前面］を選択します。ただし、印刷データにより透かし模様が浮き出ることがあるなど透かしの印刷状態が異なります。

- 透かし印刷と同時に割り付け印刷や拡大・縮小印刷を行うと、印刷される透かしパターンはその用紙の通常印刷時と同じ大きさのパターンで同じ範囲に印刷されます（たとえば、A3 の用紙に A4 の 2 面割り付け印刷を行うと、A4 サイズの透かしパターンが 2 つ印刷されるのではなく、A3 用紙の印刷可能領域内に A3 印刷時と同じ大きさの透かしパターンが印刷されます）。
- 透かし印刷実行時に［詳細設定］ダイアログの設定で反映されるのは［色］と［印刷モード］（［CRT 優先］を除く）です。また［印刷品質］は常に［高品質］になります。その他の設定は初期設定のまま印刷されます。
- スタンプマークと併用するときは、スタンプマークに配置設定がないため、透かしデータを前面に印刷するか、背面に印刷するか調整します。
- データに白紙ページがあるときは、［拡張設定］ダイアログの［白紙節約する］が有効になっていても、白紙ページに透かし印刷をして出力します。
- ［拡張設定］ダイアログの［カラー / モノクロの自動判別を行う］をチェックした状態で、透かし印刷の色を設定してモノクロデータを印刷したときは、すべてカラーで印刷します。

透かし印刷の手順

透かしを印刷する手順は以下の通りです。

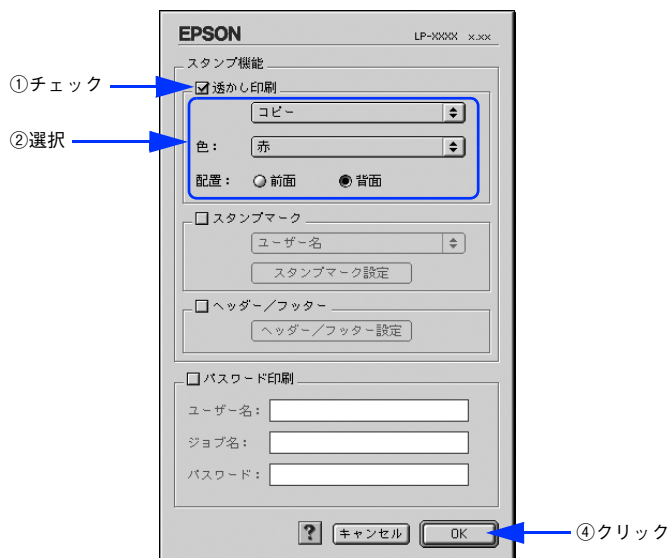
1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 139 ページ「印刷の手順」

2 **［プリント］ダイアログを開いて、［セキュリティ印刷］をクリックします。**

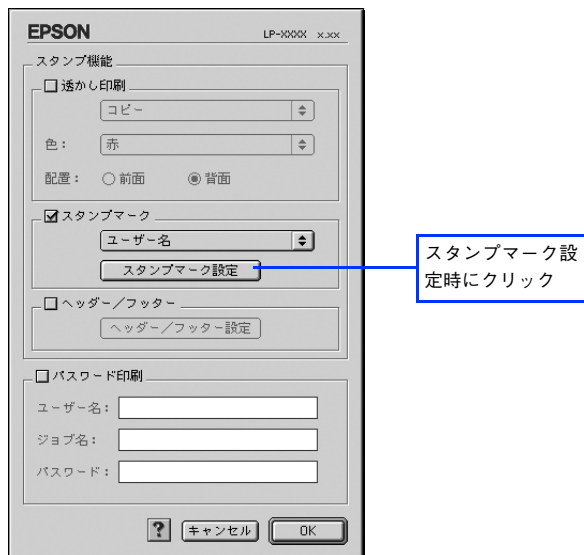
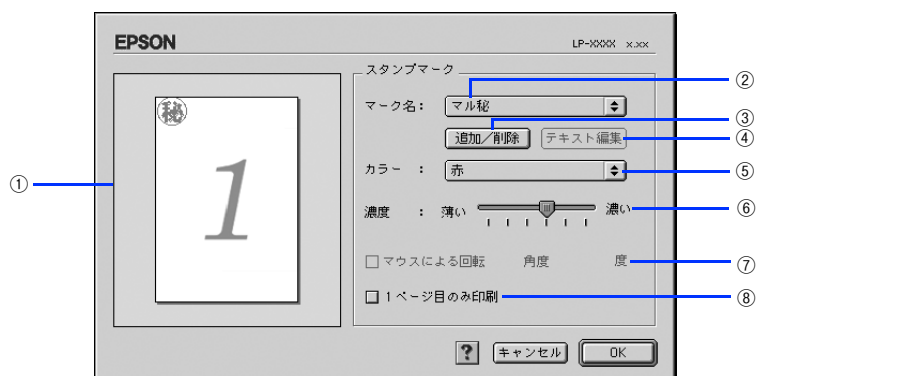
3 **［セキュリティ印刷］ダイアログの［透かし印刷］にチェックを付けてメニューから印刷する透かしパターンを選択し、［色］と［配置］を選択して、［OK］をクリックします。**

［詳細設定］ダイアログの設定で反映されるのは［色］と［印刷モード］（［CRT 優先］は除く）です。また［印刷品質］は［高品質］になります。透かし印刷を有効にするかどうかの警告ダイアログが表示されたら、［はい］をクリックします。

* ［プリント］ダイアログの［色］で［カラー］を選択した場合は透かしの色も選択します。

4 **［OK］をクリックして［セキュリティ印刷］ダイアログを閉じます。**

5 **［OK］をクリックして［プリント］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［プリント］から開いた［セキュリティ印刷］ダイアログで［スタンプマーク］にチェックマークを付け、スタンプマークをメニューから選択します。

［スタンプマーク設定］をクリックしてスタンプマーク機能を設定します。

①プレビュー部

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ（PICT * 画像）マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

* PICT：コンピュータの標準グラフィックファイル形式。

☞ 本書 167 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④［テキスト編集］ボタン

登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］をクリックすると、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤カラー（カラーモデルのみ）

スタンプマークの色を選択します。

⑥濃度

スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑦ マウスによる回転 / 角度
テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてプレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］に回転角度を直接入力します。

⑧ 1 ページ目のみ印刷
用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する手順は以下の通りです。

1 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**
本書 139 ページ「印刷の手順」

2 **［セキュリティ印刷］をクリックします。**
［セキュリティ印刷］ダイアログが表示されます。

3 **［スタンプマーク］をチェックしてメニューからスタンプマークを選択し、［スタンプマーク設定］をクリックします。**

4 **［カラー］、［濃度］などを設定して［OK］をクリックします。**

5 **［OK］をクリックして［セキュリティ印刷］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。**

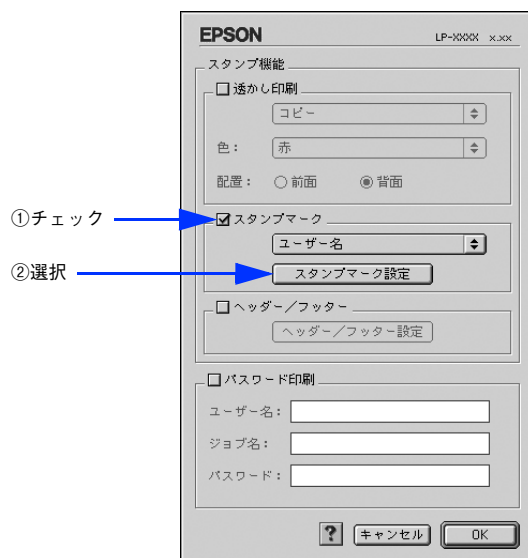
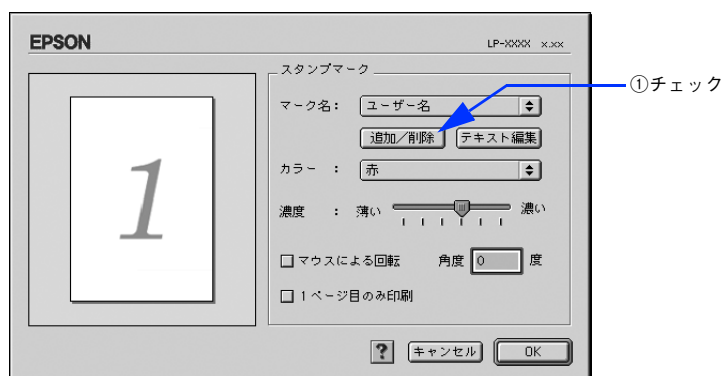
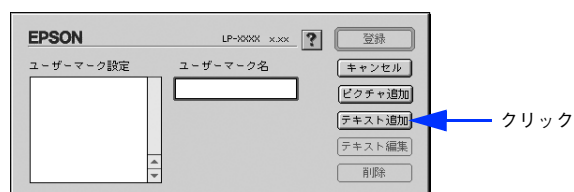
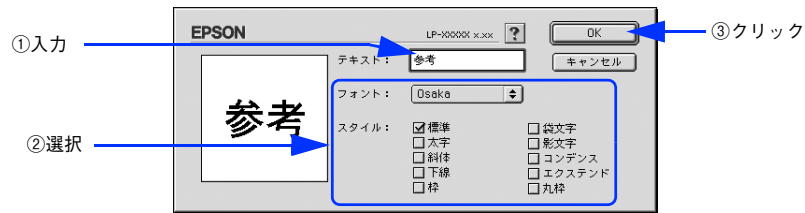
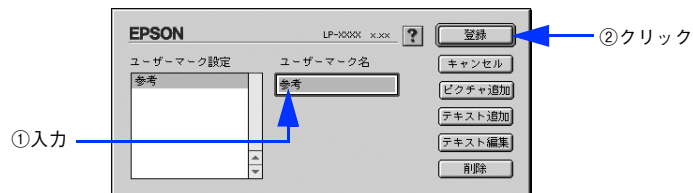
オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、お好みの画像や任意の単語をオリジナルスタンプマークとして 32 個まで登録して印刷することができます。

- 画像を登録したいときは、以下の操作を始める前に、画像を準備しておいてください。なお、登録できる画像のファイル形式は PICT だけです。
- プリンタドライバを再インストールしても、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

1 ［プリント］ダイアログを開いて［セキュリティ印刷］をクリックしてします。

2 ［スタンプマーク］にチェックマークを付けて［スタンプマーク設定］をクリックしてします。

3 ［追加 / 削除］をクリックします。

4 ［テキスト追加］をクリックします。

5 ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］をクリックします。

6 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］をクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

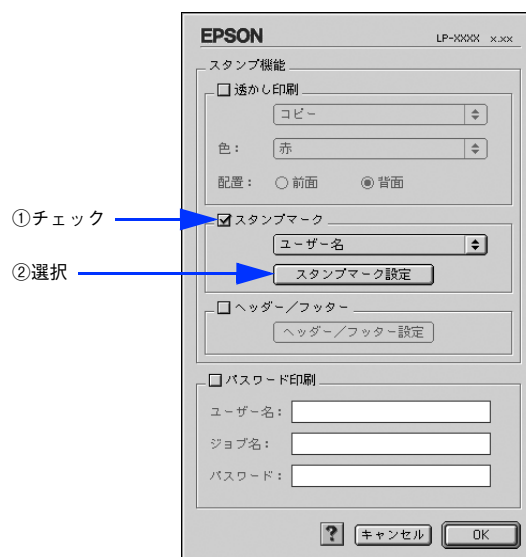
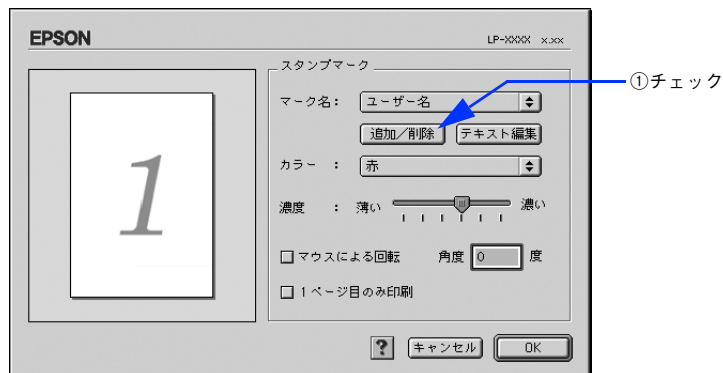
登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］をクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

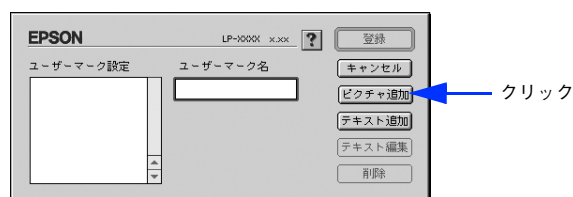
7 ［OK］をクリックしてダイアログをすべて閉じます。

ビットマップマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

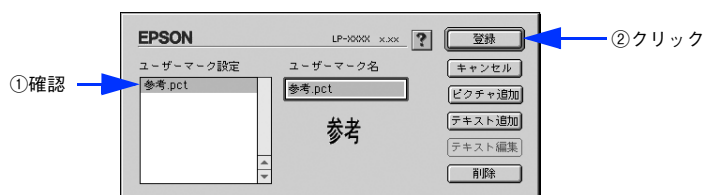
2 ［プリント］ダイアログを開いて［セキュリティ印刷］をクリックしてします。

3 ［スタンプマーク］にチェックマークを付けて［スタンプマーク設定］をクリックしてします。

4 ［追加 / 削除］をクリックします。

5 ［ピクチャ追加］をクリックします。

6 1 で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］をクリックします。

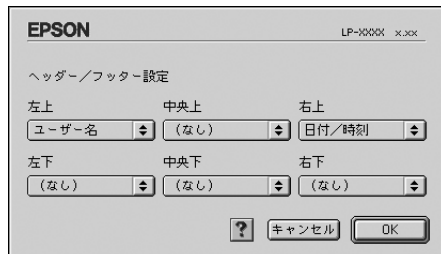
［作成］をクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

7 ファイルを確認して［登録］をクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

> **参考**
> 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

8 ［OK］をクリックしてダイアログをすべて閉じます。

ヘッダー/ フッターを印刷するには

［プリント］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログで［ヘッダー / フッター設定］をクリックすると、［ヘッダー / フッター設定］をクリックして以下の項目が設定できます。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号 *）を選択して、［OK］をクリックします。

＊　部単位で印刷するときに何部目であるかを示す番号

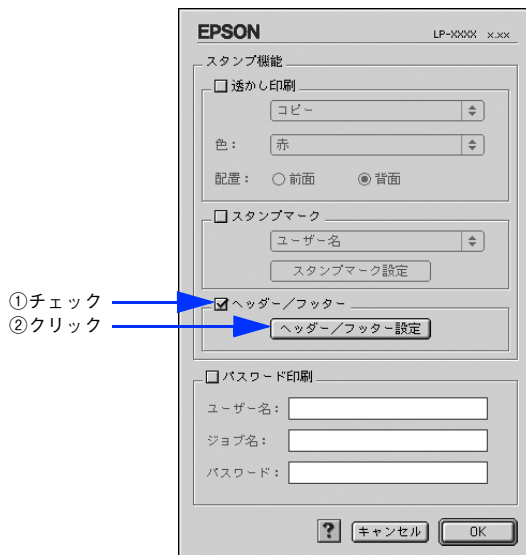
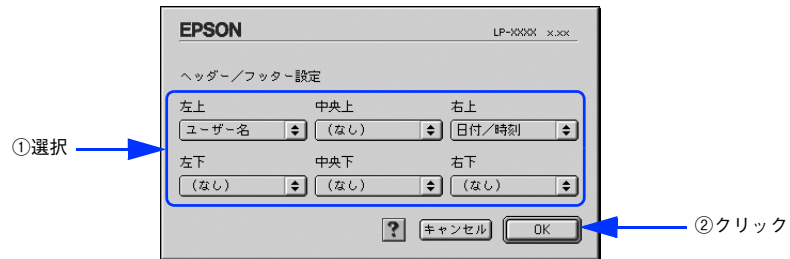
■ ヘッダー/ フッター印刷の手順

ヘッダー / フッター印刷する手順は以下の通りです。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 139 ページ「印刷の手順」

2 **［プリント］ダイアログを開いて、［セキュリティ印刷］をクリックします。**

3 **［セキュリティ印刷］ダイアログの［ヘッダー / フッター］にチェックマークを付け、［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。**

4 リストボックスから印刷するヘッダー / フッターを選択して、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックして［セキュリティ印刷］ダイアログを閉じます。

6 ［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

パスワード印刷をするには

［プリント］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログでパスワード印刷ジョブを設定できます。パスワード印刷ジョブは、操作パネルからパスワードを入力して印刷してください。

- パスワード印刷は、オプションのハードディスクユニットを本機に取り付けないと利用できません。
- 印刷されないパスワード印刷ジョブは、本機の電源再投入やリセットオールでハードディスクから削除されます。

①パスワード印刷をする

パスワード印刷を行うときにチェックマークを付けます。パスワード印刷を行わない場合は、チェックマークを外します。

②ユーザー名

パスワード印刷ジョブに設定するユーザー名（英数字などの 1 バイト文字 14 文字、または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで）を入力します。

③ジョブ名

パスワード印刷ジョブに設定するジョブ名（英数字などの 1 バイト文字 14 文字、または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで）を入力します。

④パスワード

パスワード印刷ジョブのパスワード（0 ～ 9 の半角数字を 4 桁）を入力します。

パスワード印刷ジョブの設定手順

パスワード印刷ジョブの設定手順は以下の通りです。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 139 ページ「印刷の手順」

2 **［プリント］ダイアログを開いて、［セキュリティ印刷］をクリックします。**

3 **［セキュリティ印刷］ダイアログの［パスワード印刷］にチェックマークを付け、［ユーザー名］、［ジョブ名］、［パスワード］を各欄に入力して、［OK］をクリックします。**

- ［ユーザー名］は英数字などの 1 バイト文字 14 文字または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで、任意のユーザー名を入力します。
- ［ジョブ名］は英数字などの 1 バイト文字 14 文字または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで、任意のジョブ名を入力します。
- ［パスワード］は 0 ～ 9 の半角数字を 4 桁入力します。

4 **［OK］をクリックして印刷を実行します。**

印刷ジョブは印刷されずに、オプションのハードディスクに保存されます。保存されたパスワード印刷ジョブは、操作パネルからユーザー名を選択してパスワードを入力し、ジョブ名を選択して印刷します。

☞ 本書 174 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷手順」

■ パスワード印刷ジョブの印刷手順

パスワード印刷ジョブは、操作パネルに［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態から、以下の手順で印刷できます。

1 操作パネルの［↲▶（3）］ボタンを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、操作パネルに［プリンタ情報］などの設定メニューが表示されます。

- ［印刷可］ボタンを押すと、設定の途中でも［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態へ戻ることができます。
- ［◀（1）］ボタンを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。

2 ［パスワード印刷］メニューを選択します。

①［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して、ハイライト表示を［パスワード印刷］に切り替えます。
②［↲▶（3）］ボタンを押して次の手順へ進みます。

3 ［ユーザー名］を選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して、［ユーザー名］を切り替えます。
②［↵▶(3)］ボタンを押します。［ユーザー名］が有効になり、次へ進みます。

4 ［パスワード］を入力します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の1桁目の数字を選択し、［↵▶(3)］ボタンを押して1桁目を確定します。
②［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の2桁目の数字を選択し、［↵▶(3)］ボタンを押して2桁目を確定します。
③［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の3桁目の数字を選択し、［↵▶(3)］ボタンを押して3桁目を確定します。
④［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の4桁目の数字を選択し、［↵▶(3)］ボタンを押して4桁目を確定します。
入力した［パスワード］と一致する印刷ジョブが登録されていると次に進みます。

- ［◀(1)］ボタンを押しても、確定した桁へは戻れません。
- 確定した桁は表示が＊に変わります。
- 確定した数字の間違いに途中で気付いたときは、［印刷可］または［ジョブキャンセル］ボタンを押して一旦設定モードから抜けて、最初からやり直します。
- 入力したパスワードと一致するユーザーの印刷ジョブがない場合は、「パスワードが違います」を表示して設定モードから通常の印刷モードに抜け出します。

5 ［ジョブ名］を選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して、［ジョブ名］を切り替えます。

②［ ↲▶(3)］ボタンを押します。［ジョブ名］が有効になり、次へ進みます。

6 ［印刷部数］を設定して印刷を実行します。

設定項目の選択

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押してハイライト表示を［印刷部数］に切り替えます。

②［ ↲▶(3)］ボタンを押します。設定値の階層へ進みます。

設定値を選択します。

③［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して［印刷部数］（1 〜 999）を設定します。

④［ ↲▶（3）］ボタンを押します。設定値が有効になり、印刷が始まります。

印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。印刷が終了すると、［印刷できます］状態に戻ります。

■ パスワード印刷ジョブの削除

パスワード印刷ジョブはプリンタのハードディスクユニットに一旦保存され、以下の条件で削除されます。

- 印刷したとき
- 印刷しないで本機の電源をオフにしたとき（未印刷のすべてのパスワード印刷ジョブを削除）
- 操作パネルで［データ消去］を実行したとき
- 操作パネルで［リセットオール］を実行したとき（未印刷のすべてのパスワード印刷ジョブを削除）

プリンタのハードディスクユニット内のデータを完全に消去するときや廃棄するときは、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表に記載されています。

[詳細設定]ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード］で［詳細設定］をクリックして［設定変更］をクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷にかかわるさまざまな機能を詳細に設定できます。

カラー設定時（カラーモデルのみ）

モノクロ設定時（カラー / モノクロモデル）

①色（カラーモデルのみ）

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

②印刷品質

印刷の解像度を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）から選択できます。［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先したいときは、［標準］を選択してください。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

印刷できなかったりメモリ関連のエラーメッセージが表示されるようなときは、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。

☞ 本書 344 ページ「［USB I/F 設定］メニュー」
☞ 本書 346 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」

上記の方法でもメモリ関連のエラーが解決できないときは、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

③印刷モード

印刷モードを選択します。

項目	説明
自動 <カラー印刷のみ>	印刷の処理を主に Macintosh 側で行うか、プリンタ側で行うか自動的に判断します。
標準（Mac）	高品質な印刷結果を得ることができます。印刷の処理を主に Macintosh 側で行います。
標準（プリンタ）	高品質な印刷結果を得ることができます。印刷の処理を主にプリンタ側で行います。
CRT 優先	ほかの印刷モードで印刷しても、画面通りの印刷結果が得られないときに使用してください。印刷データをすべてイメージデータとしてプリンタへ送るため、ほかの印刷モードに比べ、印刷に時間がかかります。通常、このモードを選択する必要はありません。

- お使いの Macintosh の処理能力が高い場合は、[標準（Mac）] を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。
- お使いの Macintosh の処理能力が低い場合は、[標準（プリンタ）] を選択してください。Macintosh 側の負荷を軽くすることができます。
- カラー印刷で［印刷モード］を［CRT］に設定したときは、フォントの置き換えはできません。
- モノクロ印刷で［印刷モード］を［CRT］に設定して［180 度回転印刷］をするときは、フォントの置き換えはできません。

④スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。

項目	説明
自動（階調優先）	文字や写真、グラデーションのあるデータに対して最適なスクリーン線数を自動的に設定します。
自動（解像度優先）	文字や写真、グラフなどの図形に対して最適なスクリーン線数を自動的に設定します。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。文字や細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

［プリント］ダイアログの［用紙種類］で［OHP シート］が選択されていると、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

⑤プリンタフォント使用

印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。

項目	説明
漢字	文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文	文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

- ［印刷モード］を［標準（Mac）］に設定したときは、フォントの置き換えはできません。
- カラー印刷で［印刷モード］を［CRT］に設定したときは、フォントの置き換えはできません。
- モノクロ印刷で［印刷モード］を［CRT］に設定して［180 度回転印刷］をするときは、フォントの置き換えはできません。

⑥トナーセーブ

［詳細設定］を選択すると、トナーセーブ機能を設定できます。カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。

トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑦RIT

RIT*（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

* RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の印刷機能。

- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。このようなときは RIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷では、③の［スクリーン］の関係で RIT 機能が有効にならないときがあります。

⑧ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）

プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択すると、以下の設定でカラー調整できます。

ガンマ：

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。

項目	説明
1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷することができます。
1.8	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べて立体感があり、メリハリのある画像を印刷することができます。
2.2	sRGB 対応製品と色合わせして印刷するときに選択してください。

色補正方法：

色の補正方法を選択できます。

項目	説明
自動（自然な色合い優先）	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自動（鮮やかさ優先）	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自然な色合い	より自然な発色になるようにカラー調整します。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
色補正なし	カラー調整しません。ColorSync 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：
画像全体の明るさを調整します。

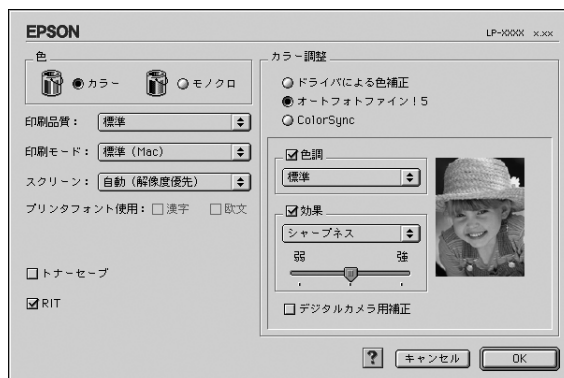
コントラスト：
画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度：
画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー：
各色の強さを調整します

	-25	←0→	+25
シアン	赤みが強くなります。←	→	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。←	→	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。←	→	黄色（イエロー）が強くなります。

［明度］と［コントラスト］は、カラーモデルのときに有効になります。

⑨オートフォトファイン !5（カラー印刷のみ）
EPSON 独自のオートフォトファイン !5 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン !5］を選択すると、以下の設定でカラーを調整します。
☞ 本書 543 ページ「オートフォトファイン !5」

項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。色調を補正しないときは、チェックを外します。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。効果を加えないときは、チェックを外します。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !5 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色（8bit）などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !5 は使用しないでください。

⑩ ColorSync（カラー印刷のみ）

チェックを付けると、ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行います。詳細は、以下のページを参照してください。

本書 209 ページ「ColorSync について」

⑪ グラフィック（モノクロ印刷のみ）

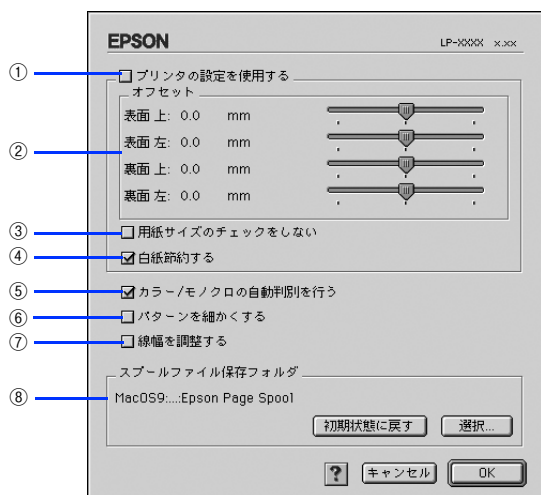
カラーモデルでは① 「色」で［モノクロ］を選択すると設定できます。モノクロモデルでは常に設定できます。

項目	説明
白黒	グラフィックの印刷処理を行いません。グレースケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。
PGI	PGI *1(Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を PGI 処理してきれいに印刷できます。
画質	［PGI］を選択したときのみ、［画質］を調整できます。印刷時間を短くしたい場合は［速度優先］に、印刷品質を上げたい場合は［品質優先］に設定します。
画像調整 *2	［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷粗密度をスライドバーで調整できます。［細かい］側にスライドするとより細かく、［粗い］側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。
明暗調整	［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［薄い］側にスライドするとより明るく、［濃い］側にスライドするとより暗くグラフィックを印刷します。

*1 PGI：階調表現力を 3 倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

*2 ［細かい］にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれて真っ黒になる場合があります。コピーをする場合は、［細かい］にしないで印刷することをお勧めします。

[拡張設定]ダイアログ

［プリント］ダイアログの［拡張設定］アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。

①プリンタの設定を使用する

②［オフセット］、③［用紙サイズのチェックをしない］、④［白紙節約する］の項目は、プリンタ本体とプリンタドライバどちらの設定を使用して印刷するかを選択できます。

- チェックを付けると、プリンタ本体の設定を使用して印刷します（プリンタドライバでは設定できません）。
- チェックを外すと、プリンタドライバでの設定を使用して印刷します（プリンタ本体の設定を無視します）。

②オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）：-30mm（上方向）～ 30mm（下方向）
左（水平位置）：-30mm（左方向）～ 30mm（右方向）

③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なってもエラーを発生することなく印刷します。

④白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑤カラー/ モノクロの自動判別を行う

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

⑥パターンを細かくする

網掛け等のパターンを細かくするときにオンにします。

⑦線幅を調整する

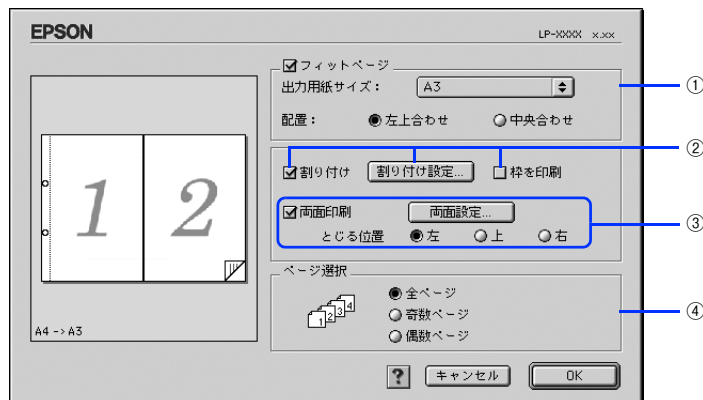
図形の線幅を 1.4 倍にして印刷します。図形を重ね合わせて印刷すると隙間が生じる場合などに隙間を埋めることができます。

⑧スプールファイル保存フォルダ

印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

項目	説明
［選択］	［拡張設定］ダイアログで［選択］をクリックして以下の画面を表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから［選択］をクリックします。
［初期状態に戻す］	スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻します。

[レイアウト]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］アイコンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトにかかわるさまざまな設定ができます。

①フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

本書 146 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」

本書 186 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

本書 152 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

②割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

本書 143 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」

③両面印刷

両面印刷を行います。

本書 145 ページ「両面印刷で用紙を節約」

本書 190 ページ「両面印刷するには」

両面印刷できる用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 399 ページ「両面印刷について」

④ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷

本機にセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。［レイアウト］ダイアログ内のフィットページ機能を使います。

①出力用紙サイズ

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。

②配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。
本書 152 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

■ フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズ A4 の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順を説明します。

1 プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。

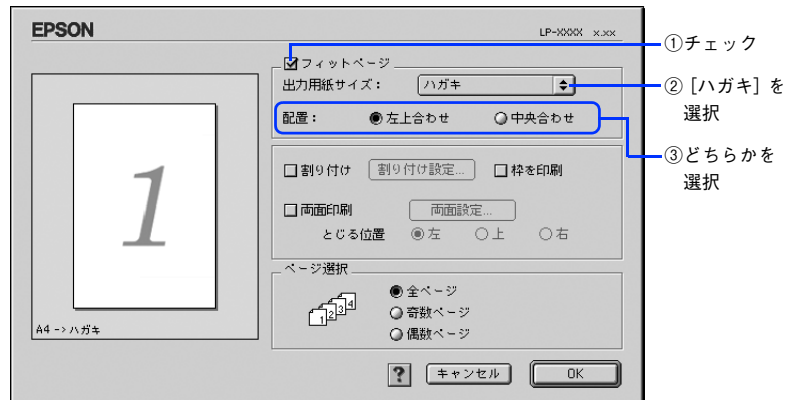
2 プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。

本書 140 ページ「印刷設定の手順」

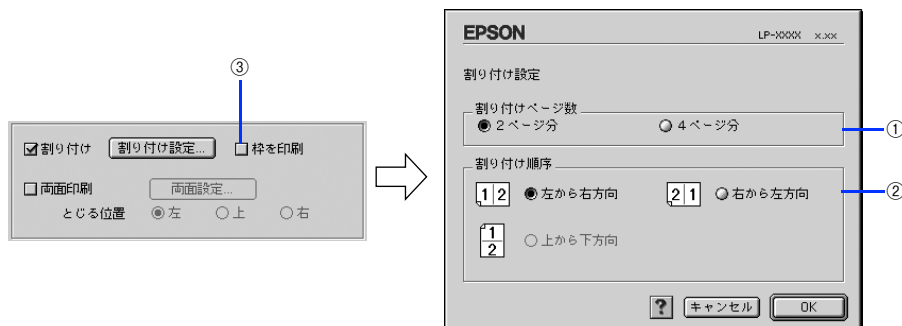
3 をクリックします。

［レイアウト］ダイアログが表示されます。

4 ［フィットページ］をチェックして、各項目を選択します。

このとき［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］は［A4］になります。

5 ［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。

1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］をクリックして［割り付け設定］をクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数
1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

③枠を印刷
割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

割り付け印刷の手順

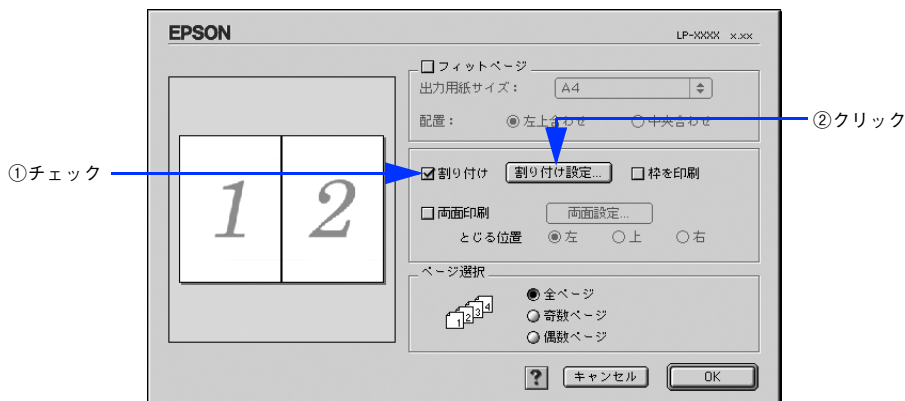
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する手順は以下の通りです。

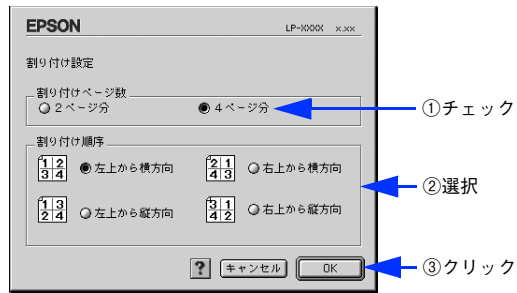
1 プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。

本書 140 ページ「印刷設定の手順」

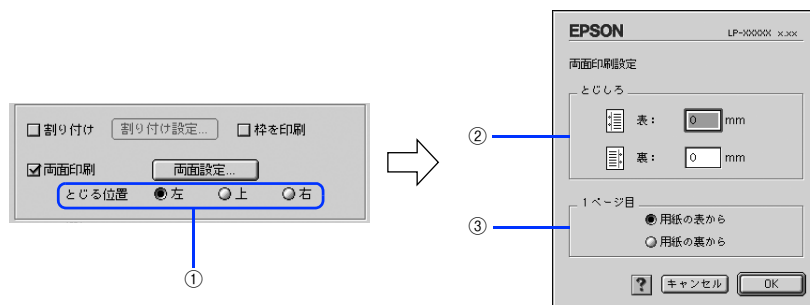
2 をクリックします。

［レイアウト］ダイアログが表示されます。

3 ［割り付け］をチェックして、［割り付け設定］をクリックします。

4 ［割り付け設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

各項目を設定してから、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。

両面印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［両面印刷］をクリックして、［両面設定］をクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

①とじる位置

両面印刷するときのとじる位置を選択します。

②とじしろ

両面印刷するときのとじしろ幅を、0 ～ 30mm の範囲で用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

③1 ページ目

両面印刷時に、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

■ 両面印刷の手順

A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する手順は以下の通りです。

1 プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここでは A4）がセットされていることを確認します。

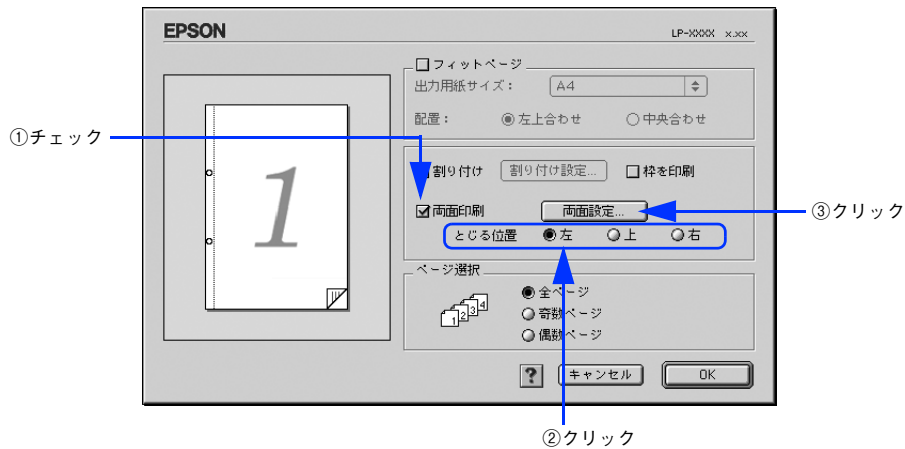
☞ 本書 399 ページ「両面印刷について」

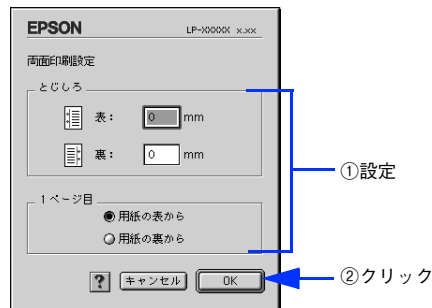
2 プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。

☞ 本書 140 ページ「印刷設定の手順」

3 をクリックします。

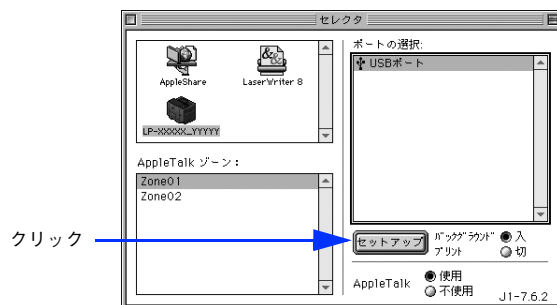
［レイアウト］ダイアログが表示されます。

4 ［両面印刷］をチェックして、［とじる位置］をクリックして選択し、［両面設定］をクリックします。

5 ［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

各項目を設定してから、［OK］をクリックします。

6 ［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。

[プリンタセットアップ]ダイアログ

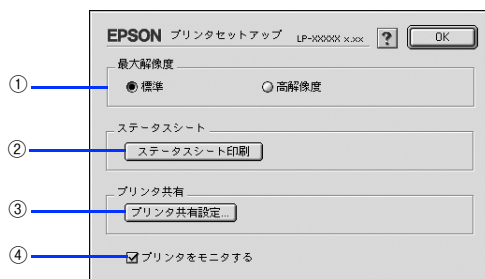
［プリンタセットアップ］ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。以下のページを参照してアップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、［セットアップ］をクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを開いて機能を設定してください。

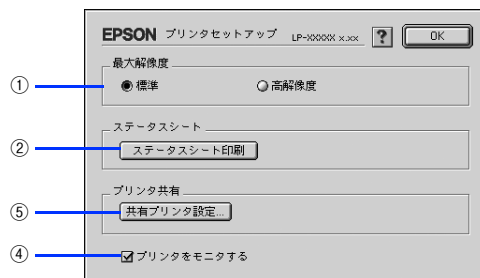
☞ 本書 137 ページ「印刷を始める前に」

印刷中は設定を変更できません。

本機はネットワーク上で共有することができます。共有を許可するコンピュータ側と共有プリンタを使用する側のコンピュータで、表示されるダイアログが以下のように異なります。

Mac OS 9 でプリンタを共有するには、以下のページを参照してください。

☞ 本書 195 ページ「プリンタを共有するには」

共有を許可する側のコンピュータ

本機をネットワークに接続している場合はそのまま本機を共有できるので、ここで［プリンタ共有］機能を設定することはありません（③の［プリンタ共有設定］はクリックできません）。

共有プリンタを使用する側のコンピュータ

本機をネットワークに接続している場合はそのまま本機を共有できるので、上図の画面は表示されません。

①最大解像度

プリンタが対応できる解像度をアプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

項目	説明
標準	本機の解像度を 72dpi/300dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。通常はこの設定で使用してください。
高解像度	本機の解像度を 72dpi/300dpi/600dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。

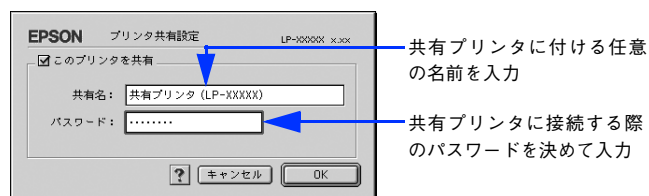
- 本項目は、印刷時の解像度を設定するものではありません。印刷解像度は印刷設定ダイアログの［モード設定］で設定します。
- 本項目は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。
- ［プリント］ダイアログで［高品質］（600dpi）に設定して印刷するとエラーが発生することがあります。本項目を［標準］に設定すると印刷できるようになることがあります。

②［ステータスシート印刷］ボタン

ステータスシートを印刷するときにクリックします。

本書 461 ページ「ステータスシートでの確認」

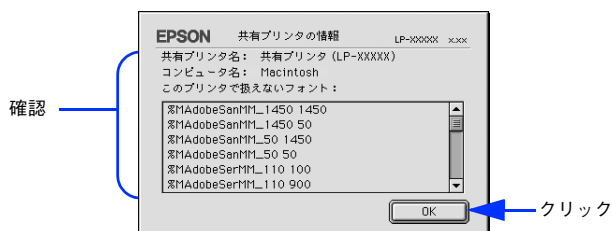
③［プリンタ共有設定］ボタン

ネットワーク環境で本機を複数のコンピュータで共有するときにクリックします。プリンタ共有を許可する側のコンピュータで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［プリンタ共有設定］をクリックして［プリンタ共有設定］ダイアログを表示させます。ネットワーク上のほかのコンピュータのセレクタから選択できるように、共有するプリンタの［共有名］と、接続する際の［パスワード］を設定してください。

④プリンタをモニタする

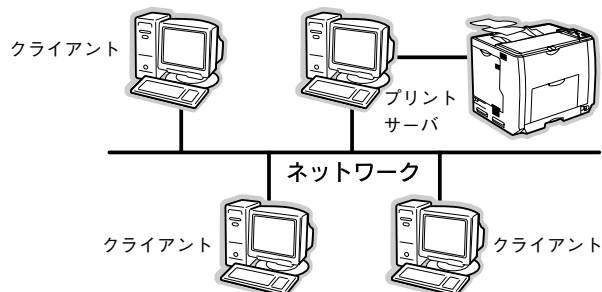
共有プリンタを利用する側の［プリンタセットアップ］ダイアログで表示されます。EPSON ステータスモニタでプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

⑤［共有プリンタ設定］ボタン

ネットワーク環境の共有プリンタを使用するときにクリックできます。ネットワーク上でプリンタの共有を許可される側のコンピュータで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［共有プリンタ設定］をクリックすると［共有プリンタの情報］ダイアログが表示されます。［共有プリンタの情報］ダイアログでは、共有プリンタに関する以下の情報を表示します。情報を確認したら、［OK］をクリックしてダイアログを閉じてください。

項目	説明
共有プリンタ名	共有プリンタの名前です。
コンピュータ名	プリンタが直接接続されている共有を許可する側のコンピュータ名です。
このプリンタで扱えないフォント	共有プリンタで使用できないフォントのリストを表示します。表示されたフォントは本機では使用できません。

リストに表示されているフォントで文書を作成すると、別のフォントで印刷され、印刷結果は画面での表示と異なります。

プリンタを共有するには

プリンタを直接接続したコンピュータがネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかのコンピュータから共有することができます。

ネットワーク環境に接続しているときは、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどのコンピュータからでも直接セレクタからプリンタを選択して印刷することができます。
本書 137 ページ「印刷を始める前に」

プリンタを共有するには

ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続したコンピュータで以下の設定を行ってください。

1 プリンタの電源をオン（ I ）にします。

2 コンピュータを起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。

3 プリンタドライバ［LP-S6500_S4500］を選択します。

参考 QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されないときは、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
本書 551 ページ「Mac OS システム条件」

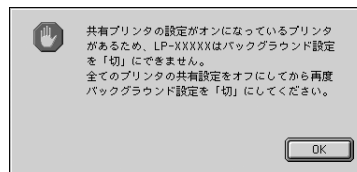
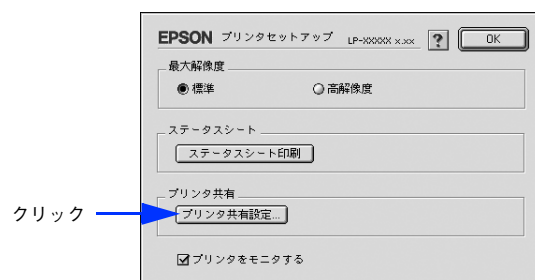
4 USB ポートを選択します。

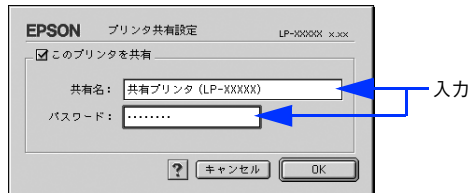
同機種のプリンタが複数接続されていると［USB ポート（1)］、［USB ポート（2)］などと表示します。使用するポート番号を選択します。

USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されないときは、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］を［入］に設定して、［セットアップ］をクリックします。

- ［バックグラウンドプリント］の詳細は、以下のページを参照してください。
  本書 208 ページ「バックグラウンドプリントを行う」
- ［セットアップ］をクリックして開く［プリンタセットアップ］ダイアログの詳細は、以下のページを参照してください。
  本書 192 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。

6 ［プリンタ共有設定］をクリックします。

7 ［このプリンタを共有］をクリックしてチェックを付けます。

8 ［共有名］と［パスワード］を入力して、［OK］をクリックします。

- ここで入力したプリンタの［共有名］が、ネットワーク上のほかのユーザーのセレクタに表示されます。
- 共有プリンタを利用できるユーザーを制限するために、必ず［パスワード］を設定してください。
- 共有プリンタが作成されますので、以下のダイアログが表示されている間はしばらくお待ちください。

「共有プリンタ（LP-XXXXX）」を作成しています。しばらくお待ちください。

9 ［OK］をクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを閉じます。

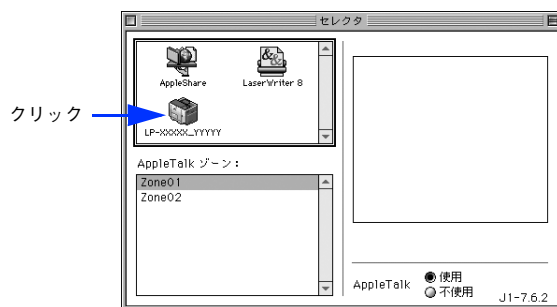
10 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

共有プリンタを使用するには

ネットワーク上の共有プリンタを使用するには、各ユーザーのコンピュータから以下の手順に従って共有プリンタに接続してください。

1 **ネットワーク上の共有プリンタの電源がオン（ I ）になっていることを確認します。**

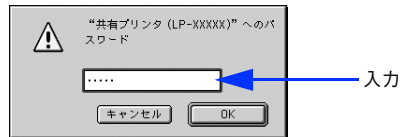
2 **コンピュータを起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3 **プリンタドライバ［LP-S6500_S4500］を選択します。**

QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
☞ 本書 551 ページ「Mac OS システム条件」

4 **共有プリンタをダブルクリックして選択します。**

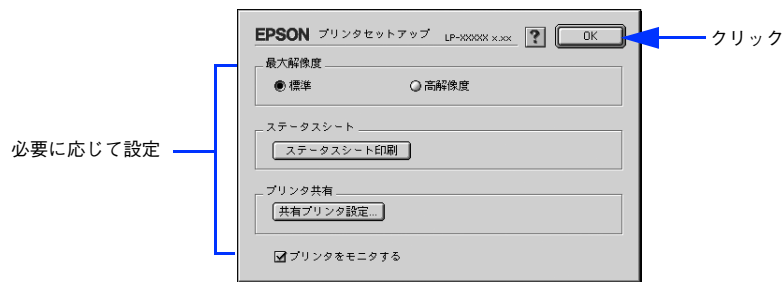
- 共有プリンタのパスワードが変更されている場合は、5 へ進んでください。
- パスワードが変更されていない共有プリンタにすでに一度接続している場合や、共有プリンタにパスワードが設定されていない場合は、6 へ進んでください。

- 共有プリンタの名前は、共有を許可しているコンピュータのユーザーにお尋ねください。
- 共有プリンタの名前が表示されなかったり、共有プリンタの名前をダブルクリックしても何も表示されないときは、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- 共有プリンタのパスワードが変更されていないときに、［セットアップ］を押すと［プリンタセットアップ］ダイアログが表示されます。6 へ進んでください。

5 共有プリンタへ接続するためのパスワードを入力します。

共有プリンタのパスワードは、共有を許可しているコンピュータのユーザーにお尋ねください。

6 ［プリンタセットアップ］ダイアログで必要な設定を行ってから、［OK］をクリックしてダイアログを閉じます。

設定の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 192 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

7 ［バックグラウンドプリント］を設定します。

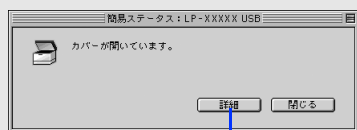
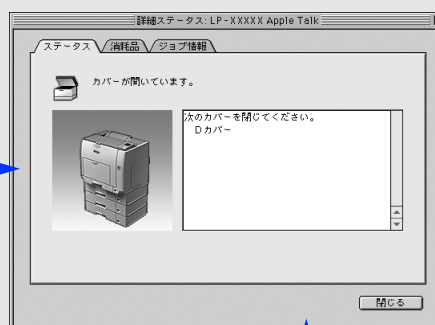
設定の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 208 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながらコンピュータでほかの作業ができます。ただし、ご使用のコンピュータによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先したいときは、［切］を選択してください。

8 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

以上で共有プリンタに接続しました。このあとは、通常のプリンタのように［用紙設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

プリンタの状態をコンピュータで監視するには

EPSON ステータスモニタは、プリンタの状態をコンピュータ上で監視できるユーティリティです。また、ネットワークプリンタを監視してプリントジョブ情報を表示したり、印刷終了のメッセージを表示することもできます。

対処が必要な場合は

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生すると、EPSON ステータスモニタの［簡易ステータス］ダイアログがコンピュータの画面上に現れ、メッセージを表示します。［詳細］をクリックして［詳細ステータス］ダイアログのメッセージに従って対処してください。エラーが解消されると自動的に閉じます。

①［詳細］ボタン
［詳細ステータス］ダイアログを表示します。
本書 202 ページ「［ステータス］タブ」

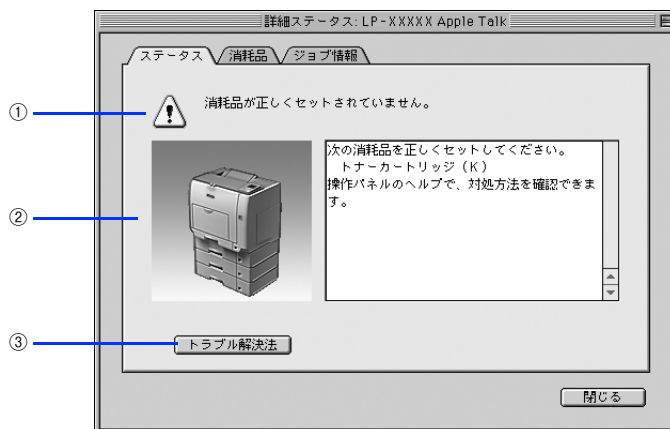
②［閉じる］ボタン
［簡易ステータス］ダイアログを閉じます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON ステータスモニタでプリンタの状態を確かめるには、［アップル］メニューから［EPSON ステータスモニタ］をクリックして［詳細ステータス］ダイアログを開きます。

EPSON ステータスモニタを起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。

■ [ステータス]タブ

EPSON ステータスモニタの［ウィンドウ］メニューから［LP-S6500］/［LP-S4500］－［詳細ステータス］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログの［ステータス］タブが開き、プリンタの状態を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生したときにその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

③[トラブル解決法]ボタン

ユーザーズガイド（PDF）がインストールされている環境下で、用紙詰まりなどのエラーが発生したときに該当する解決法の説明があると、［トラブル解決法］ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、解決法が表示されます。［通知設定］ダイアログの［トラブル解決法の参照］のチェックが外れているときは表示されません。

本書 206 ページ「［通知設定］ダイアログ」

ユーザーズガイド（PDF）は、通常プリンタドライバと一緒にインストールされます。インストールしなかったときは、「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」からインストールしてください。

■ [消耗品]タブ

EPSON ステータスモニタの［ウィンドウ］メニューから［LP-S6500］/［LP-S4500］－［消耗品情報］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログの［消耗品］タブが開き、消耗品の状態を表示します。

①用紙
給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。

②トナー
セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニング発生時に該当色のアイコンが点滅します。

③廃トナーボックス
廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

④感光体ユニット
セットされている感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニング発生時にアイコンが点滅します。

■ [ジョブ情報]タブ

ジョブ管理機能が使用できる接続環境下で表示され、ネットワークプリンタに印刷した情報を見ることができます。EPSON ステータスモニタの［ウィンドウ］メニューから［LP-S6500］/［LP-S4500］－［ジョブ情報］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログの［ジョブ情報］タブが開き、ジョブ情報を表示します。

①ジョブリスト

コンピュータでスプール中またはプリンタで処理中のジョブの文書名、状態（送信中、待機中、印刷中、印刷済、削除中、削除済、保持）、ユーザー名、コンピュータ名、ジョブタイプを、ジョブごとに表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

ジョブ情報リストの項目の境界を左右にドラッグするとコラムの幅を変更することができます。また、項目ごとドラッグすると位置を変更することができます（ただしアイコンのコラムは移動できません）。項目の右端にある三角ボタンを押すとジョブリストの表示を逆にすることができます。デフォルト表示は新しいジョブが上になります。

②[表示設定]ボタン

ジョブリストの表示を設定します。

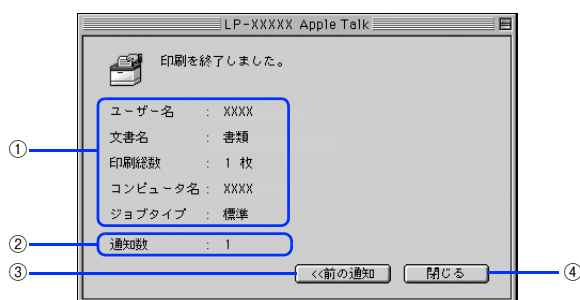
- 表示する項目名にチェックを付けると表示し、チェックを外すと表示しません。
- ［すべてのジョブ］をクリックすると処理中のすべてのジョブ情報をジョブリストに表示します。［自分のジョブのみ］をクリックするとそのコンピュータで処理中のジョブのみ表示します。
- ［パスワード印刷のみ］にチェックマークを付けると、パスワード印刷ジョブを対象に表示します。

③[情報の更新]ボタン

最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

④［印刷中止］ボタン
ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

［印刷終了通知］ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されていると、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法は、以下のページを参照してください。
本書 206 ページ「［通知設定］ダイアログ」

①印刷終了通知
印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名、ジョブタイプを表示します。

②通知数
印刷終了通知の通知数を表示します。

③［前の通知］ボタン
クリックすると、1 つ前の終了通知を表示します。通知数が 0 になった場合（終了通知がすべてなくなった場合）はグレーアウトされます。

④［閉じる］ボタン
印刷の終了を確認したら、クリックしてダイアログを閉じます。

［通知設定］ダイアログの［印刷中プリンタを監視する］がチェックされていないと、印刷終了通知は行われません。
本書 206 ページ「［通知設定］ダイアログ」

[通知設定]ダイアログ

EPSON ステータスモニタを起動して、[ファイル] メニューから [通知設定] をクリックすると、[通知設定] ダイアログが表示されます。どのようなときにエラー表示するか、音声通知するかなど EPSON ステータスモニタの動作環境を設定できます。

①印刷中プリンタを監視する

印刷中にプリンタを監視します。

②ポップアップ通知の設定

エラーやワーニング発生時に [簡易ステータス] ダイアログで知らせるかどうかを設定します。

項目	内容
エラーのとき通知する	エラー発生時に通知します。
ワーニングのとき通知する	ワーニング発生時に通知します。
音声でも通知する	お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）ときに、エラーやワーニングを音声でも通知します。
印刷終了を通知する	印刷が終了すると通知します（ジョブ管理機能でサポートしていない環境ではグレーアウトして設定できません）。 ☞本書 205 ページ「[印刷終了通知] ダイアログ」

③トラブル解決法の参照

トラブル発生時に解決法を説明するファイルを設定します。このチェックボックスがオンになっていると、紙詰まりなどのエラーが発生したときに該当する解決法の説明があると、[詳細ステータス] ダイアログの [ステータス] タブに [トラブル解決法] ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、解決法が表示されます。このチェックボックスがオフになっていると、[トラブル解決法] ボタンは表示されません。

項目	説明
[開く]	クリックすると、解決法の先頭ページを表示します。
[インストール先：]	トラブル解決法がインストールされている場所を表示します。[参照] をクリックしてトラブル解決法のインストール先を変更した場合は、変更先が表示されます。
[参照]	トラブル解決法を保存したフォルダを選択できます。ネットワーク環境でトラブル解決法のファイルをサーバだけに置く場合など、トラブル解決法のインストール先を変更したときにクリックしてください。

④［監視設定］ボタン

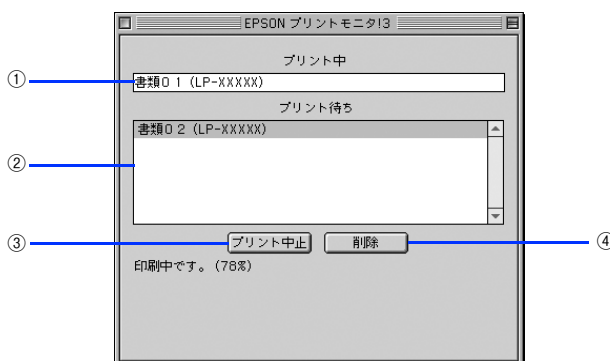
［監視設定］をクリックすると、監視する間隔（ローカル接続時 6 ～ 60 秒 / ネットワーク接続時 15 ～ 60 秒）を設定できます。なお、［初期値に戻す］をクリックすると、監視間隔を初期値に戻します。

バックグラウンドプリントを行う

バックグラウンドプリントとは、コンピュータがほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。バックグラウンドプリントを行うには、コンピュータツールバーの一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中もコンピュータで他の作業ができますが、コンピュータによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先したいときは、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷実行時に EPSON プリントモニタ !3 が起動します。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止します。

印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

④［削除］ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイルをクリックして、［削除］をクリックします。

ColorSync について

ColorSync とは

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。

このような原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるためのカラーマネージメントシステムとしてコンピュータでは ColorSync があります。本機は、この ColorSync 3.0 に対応しています。

この ColorSync によるカラーマッチングを行うには、画像入力機器、画像取り込みアプリケーションソフト、画像出力機器、すべてが ColorSync に対応している必要があります。

ColorSync を使用して印刷するには

ColorSync 3.0 を例に説明します。ほかのバージョンをお使いの方は、Mac OS ヘルプをご覧ください。

1 正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。

ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない ときは、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

2 ColorSyn で使用するディスプレイプロファイルを選択します。

最適なディスプレイプロファイルは、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

① Apple メニューの［コントロールパネル］から［モニタ］コントロールパネルを開きます。

②［カラー］をクリックします。

③ 使用するディスプレイに適したプロファイルを［ColorSync プロファイル］リストから選択します。

ここで選択されたディスプレイプロファイルは、Apple メニューの［コントロールパネル］から［ColorSync］を選択し、［プロファイル］ダイアログの［ディスプレイ］で確認できます（［標準装置のプロファイル］選択時）。そのほかの項目は、設定する必要はありません。

3 アプリケーションソフトで、ColorSync を設定します。

設定方法は、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

4 印刷実行時に、ColorSync を設定します。

［プリント］ダイアログの［モード］を［詳細設定］に設定して、メニューから［ColorSync］を選択します。

☞ 本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

- ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例 EPSON Scan）で ColorSync を選択してから画像を取り込んでください。
- ColorSync を使用する場合は、アプリケーションソフトを RGB モードに設定して作業してください。CMYK や Lab モードでは、正しく色合わせすることができません。
- 一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 6.5J 以降、Photoshop 4.0J 以降、Illustrator 7.0J 以降など）では、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます。プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログ で［ドライバによる色補正］を選択して、［色補正方法］を［色補正なし］に設定してください。

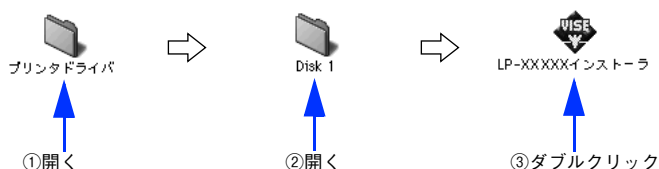
プリンタソフトウェアの削除方法

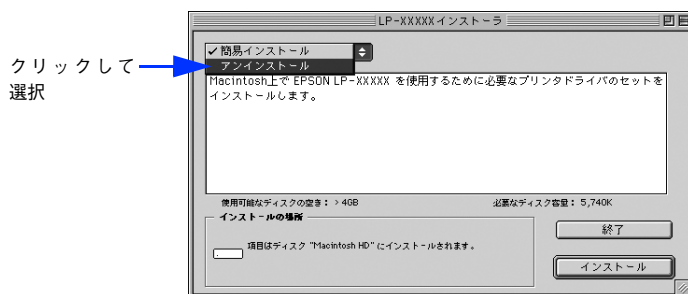
何らかの理由でプリンタドライバを再インストールしたりプリンタソフトウェアをバージョンアップするときは、すでにインストールしているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

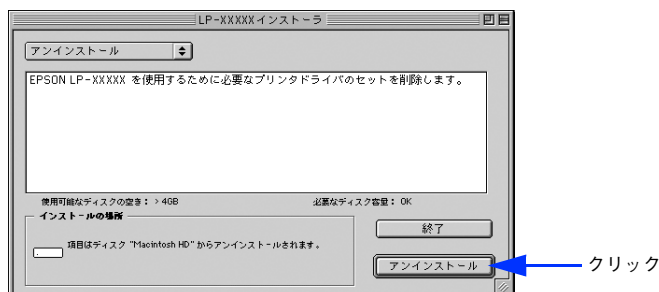
1 **起動しているアプリケーションソフトを終了し、コンピュータを再起動します。**

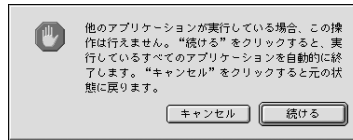
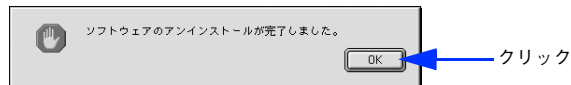
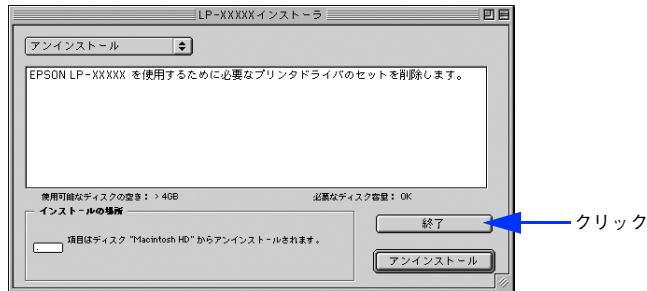
2 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

3 **EPSONプリンタソフトウェアCD-ROM内の[プリンタドライバ]-[Disk1]の順に開き、[LP-S6500_S4500 インストーラ] をダブルクリックします。**

［プリンタドライバ］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。

4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。**

5 **インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。**

6 **［アンインストール］をクリックします。**

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

参考

以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］をクリックします。
アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］をクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［終了］をクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

添付のソフトウェアをバージョンアップすることによって、今まで起こっていた現象が解消されることがあります。できるだけ最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。

1 **旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）します。**

本書 210 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

2 **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

最新のソフトウェアは、エプソンのホームページからダウンロードしてください。

http://www.i-love-epson.co.jp/

CD-ROM での郵送をご希望されるお客様へ

「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。詳しくは FAX インフォメーションでご確認ください。

「使い方ガイド」（紙マニュアル）巻末

3 **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**

手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮 *1 ファイルとなっていますので、ホームページ上の説明に従ってファイルをダウンロードし、解凍 *2 してからインストールしてください。

*1 圧縮：1 つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソンのホームページへ接続した場合です。

ソフトウェアの再インストール

ソフトウェアを一旦削除した後、再びインストールしたいときは以下の手順に従ってインストールしてください。また、使用しているうちにソフトウェアに不具合が生じたときなどは、一旦削除して再起動してから以下の手順に従って再インストールしてください。

本書 210 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

1 **本機の電源をオフにします。**

2 **コンピュータに「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

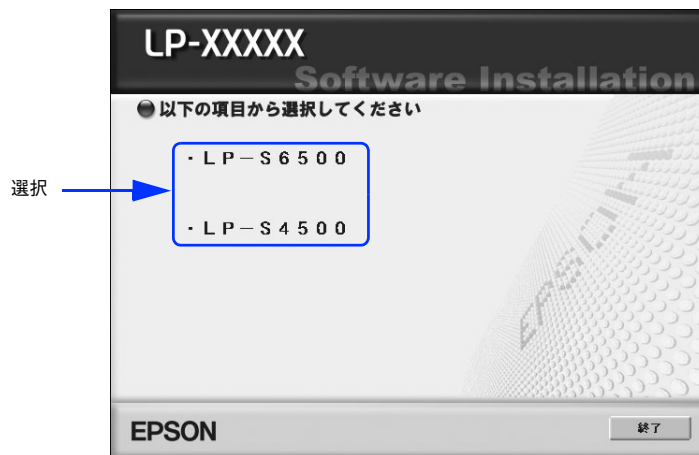
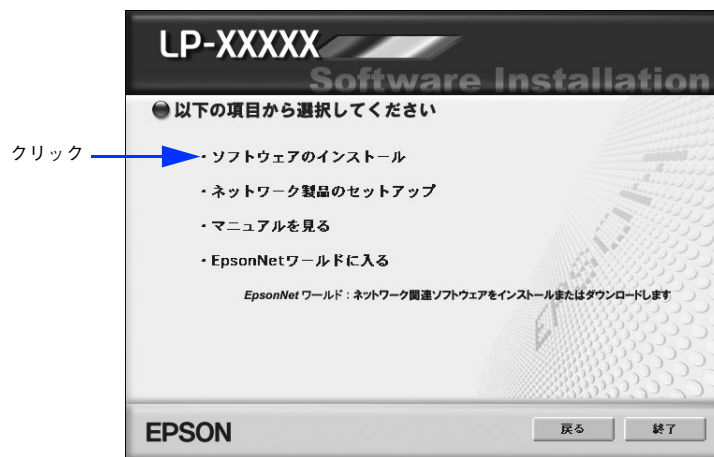
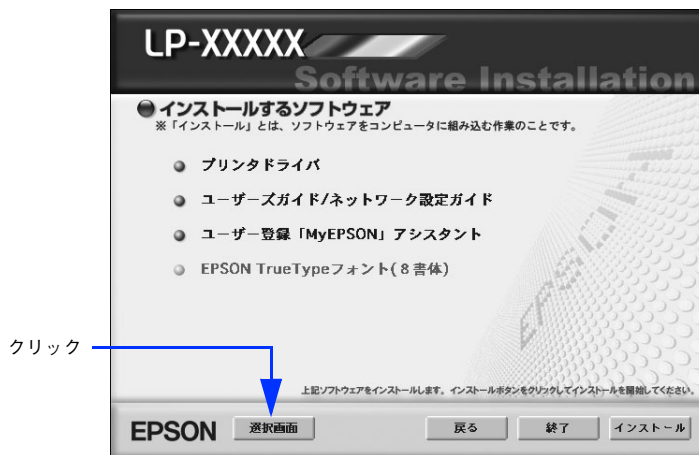
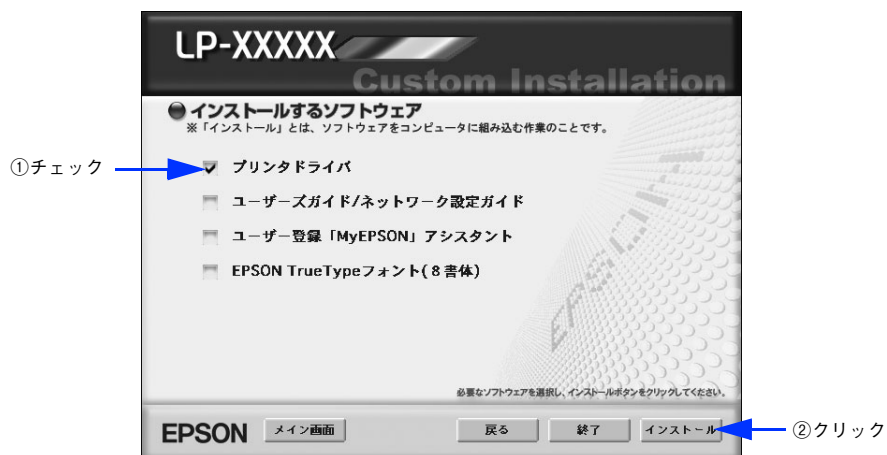
3 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

4 **インストーラを起動します。**

5 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

ウィルスチェックプログラムを起動している場合は［インストール中止］をクリックして、3 からやり直します。

6 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

7 プリンタの機種名を選択します。

8 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

9 ［選択画面］をクリックします。

10 ［プリンタドライバ］のみをチェックして、［インストール］をクリックします。

その他の項目がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

11 この後は、画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

以上でプリンタドライバがインストールされます。

3 Mac OS X をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Mac OS X（v10.2 以降）でお使いの際に関係する情報の説明をしています。

印刷を始める前に

Mac OS X をお使いの方へのお願い

- Mac OS X でのご利用にあたっては、OS あるいはプリンタドライバの制限事項により使用できない機能があります。制限事項の詳細は、下記ホームページにてご確認ください。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support/
- プリンタドライバに依存しない OS の機能の詳細は、Mac OS X の説明書やヘルプも参照してください。なお、ヘルプが表示されない場合は、以下を試してください。
  - ・ヘルプビューアのメニューにある［ライブラリ］より、表示させたい機種のヘルプを表示する。
  - ・Apple ホームページに記載されている手順に従って、キャッシュのトラブルシューティングを行う。または、ヘルプビューアのトラブルシューティングを行う。

[プリンタ設定ユーティリティ]/[プリントセンター]へのプリンタの追加

「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。ここでは、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］にプリンタを追加する手順を詳しく説明します。なお、カラーモデルとモノクロモデルを切り替えた場合や、オプション製品をプリンタに装着した場合は、OS バージョンに応じて以下のように追加してください。

- Mac OS X v10.2：［プリントセンター］にプリンタを再度追加してください（古いプリンタは新しいプリンタに置き換わります）。
- Mac OS X v10.3/v10.4：［プリンタ設定ユーティリティ］から一旦プリンタを消して、再度追加し直してださい。

- すでに本機を追加している場合は、再度追加する必要はありません。
- 追加したプリンタを削除しない限り、印刷のたびに追加する必要はありません。
- 複数のプリンタを追加している場合は、通常（デフォルトで）使うプリンタを選択できます（プリンタはアプリケーションソフトの［プリント］ダイアログからも選択できます）。
- Mac OS X のバージョンによって、［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X v10.3 以降）、［プリントセンター］（Mac OS X v10.2）と名称が異なります。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.3 の画面を使用しています。

Mac OS X v10.2 ～ v10.3 の場合

1 プリンタの電源をオン（ I ）にします。

2 ［アプリケーション］フォルダから［ユーティリティ］フォルダを開いて、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］をダブルクリックします。

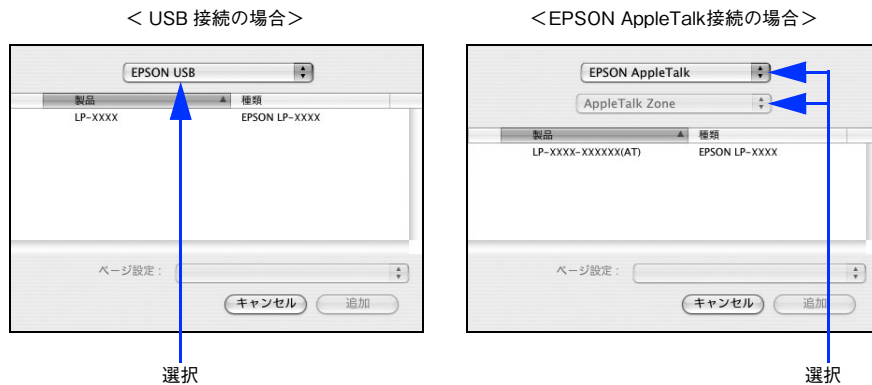
Mac OS X v10.3 では、［システム環境設定］で［プリントとファックス］をクリックして、［プリント］ダイアログの［プリンタを設定 ...］をクリックしても［プリンタ設定ユーティリティ］が開きます。詳細は、Mac OS X のヘルプをご覧ください。

3 ［追加］をクリックします。

- 使用可能なプリンタがないときに、メッセージが表示されることがあります。メッセージ画面の［追加］をクリックして 4 へ進みます。
- USB 接続でプリンタ（LP-S6500 または LP-S4500）が追加されていないときやネットワーク接続の場合は、［追加］をクリックして 4 へ進みます。
- プリンタ（LP-S6500 または LP-S4500）がすでに追加されていれば、［追加］をクリックしないでそのまま 6 へ進みます。

- Mac OS X v10.2 で USB 接続されていると、電源オンで自動的にプリンタは追加されます（プリンタ名が表示されます）。そのまま 6 へ進んでください。
- Mac OS X v10.3 では USB 接続でも自動的にプリンタは追加されません。4 へ進んで手順通りに手動で追加してください。

4 ［EPSON USB］/［USB］、［EPSON AppleTalk］、［EPSON TCP/IP］または［Rendezvous］を選択します。

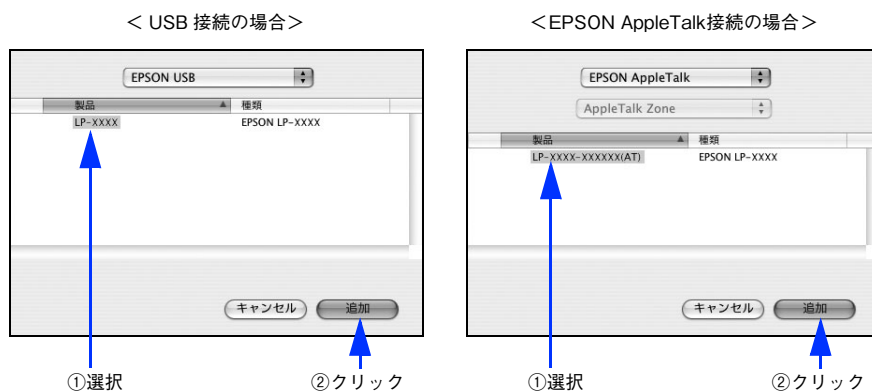
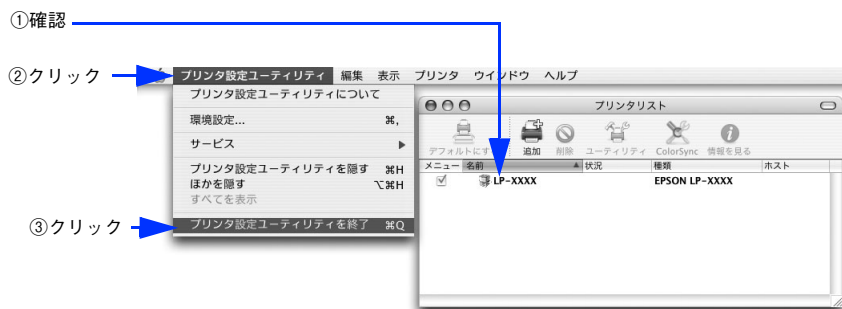
- USB 接続の場合：［EPSON USB］または［USB］を選択します。
- ネットワーク接続の場合：［EPSON AppleTalk］、［EPSON TCP/IP］または［Rendezvous］を選択します。なお、AppleTalk ゾーンを設定しているときは、［AppleTalk Zone］を選択します。

＜ USB 接続の場合＞

＜EPSON AppleTalk接続の場合＞

- プリンタ名がリストに表示されないときは、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- ネットワーク環境に接続しているときは、ネットワークプリンタとして共有できます。
- Mac OS X では AppleTalk はオフ（使用しない）に初期設定されています。AppleTalk が使用できないときは、［システム環境設定］から［ネットワーク］を開き、［ApplTalk］タブで使用可能になっているか確認してください。
- AppleTalk ゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定しているときに表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。
- Rendezvous 接続するには、操作パネルの設定モードで［Rendezvous］を［On］に設定する必要があります。
  ☞ 本書 346 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」
  ☞ 本書 348 ページ「［I/F カード設定］メニュー」

5 お使いのプリンタ名（LP-S6500 または LP-S4500）を選択して、［追加］をクリックします。

＜ USB 接続の場合＞

＜EPSON AppleTalk接続の場合＞

6 プリンタ名（LP-S6500 または LP-S4500）がリストに登録されたことを確認して、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］メニューから［プリンタ設定ユーティリティを終了］/［プリントセンターを終了］をクリックします。

- 複数のプリンタを追加しているときは、通常使うプリンタ（デフォルトプリンタ）として追加されます。
- デフォルトプリンタを変更するには、プリンタの名前をクリックして［デフォルトにする］をクリックします（プリンタ名が太文字で表示されます）。
- 印刷時に［プリント］ダイアログで別のプリンタを選択すると、そのプリンタが新しいデフォルトプリンタになります。
- すでに追加してあるプリンタ名を選択して［削除］をクリックすると、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］からは消えますが、プリンタドライバそのものは削除されずに残っています。

以上でプリンタの追加は終了です。
☞ 本書 224 ページ「印刷の手順」

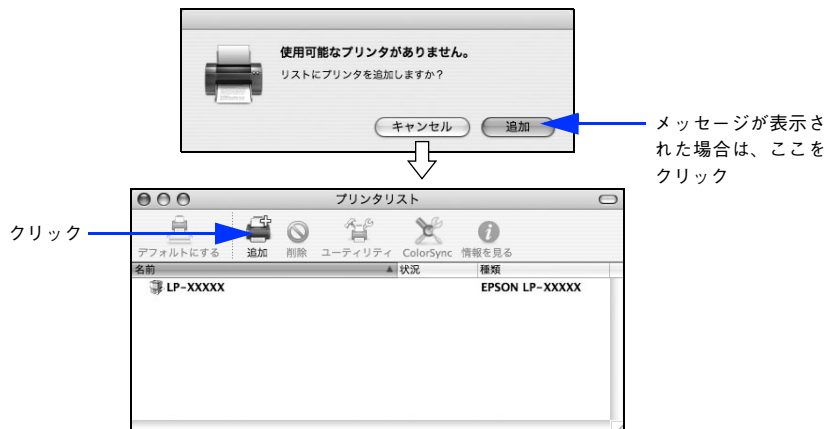
Mac OS X v10.4 の場合

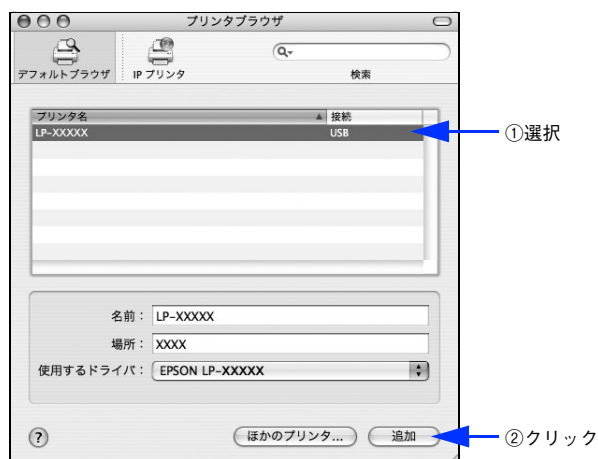
1 プリンタの電源をオン（｜）にします。

2 ［アプリケーション］フォルダから［ユーティリティ］フォルダを開いて、［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

参考 ［システム環境設定］で［プリントとファックス］をクリックして、［プリント］ダイアログの［+］をクリックしても［プリンタ設定ユーティリティ］が開きます。詳細は、Mac OS X のヘルプをご覧ください。

3 ［追加］をクリックします。

- 使用可能なプリンタがないと、メッセージが表示されることがあります。メッセージ画面の［追加］をクリックして 4 へ進みます。
- すでに別のプリンタが追加されているときは、［追加］をクリックして 4 へ進みます。

4 お使いのプリンタ名（LP-S6500 または LP-S4500）を選択して、［追加］をクリックします。

- Mac OS X v10.4 で USB 接続または Bonjour 接続をしていると、電源オンで自動的にプリンタ名が表示されます。プリンタ名を選択して［追加］をクリックしたら、7 へ進みます。
- プリンタ名が表示されないときは、5 へ進みます。

Bonjour 接続するには、操作パネルの設定モードで［Rendezvous］を［On］に設定する必要があります。

☞ 本書 346 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」
☞ 本書 348 ページ「［I/F カード設定］メニュー」

5 プリンタ名が表示されないときは、［ほかのプリンタ］をクリックして、［EPSON　USB］/［USB］、［EPSON AppleTalk］または［EPSON TCP/IP］を選択します。

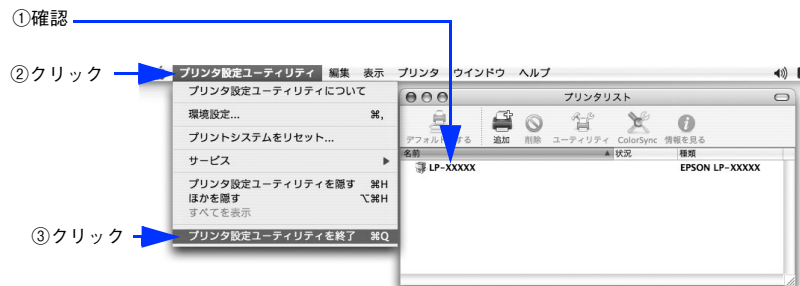
- USB 接続の場合：［EPSON USB］または［USB］を選択します。
- ネットワーク接続の場合：［EPSON AppleTalk］または［EPSON TCP/IP］を選択します。なお、AppleTalk ゾーンを設定している場合は、［AppleTalk Zone］を選択します。

＜EPSON AppleTalk接続の場合＞

- プリンタ名がリストに表示されないときは、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- ネットワーク環境に接続しているときは、ネットワークプリンタとして共有できます。
- Mac OS X では AppleTalk はオフ（使用しない）に初期設定されています。AppleTalk が使用できないときは、［システム環境設定］から［ネットワーク］を開き、［ApplTalk］タブで使用可能になっているか確認してください。
- AppleTalk ゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定しているときに表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。

6 お使いのプリンタ名（LP-S6500 または LP-S4500）を選択して、［追加］をクリックします。

＜EPSON AppleTalk接続の場合＞

7 プリンタ名（LP-S6500 または LP-S4500）がリストに登録されたことを確認して、［プリンタ設定ユーティリティ］メニューから［プリンタ設定ユーティリティを終了］をクリックします。

- 複数のプリンタを追加しているときは、通常使うプリンタ（デフォルトプリンタ）として追加されます。
- デフォルトプリンタを変更するには、プリンタの名前をクリックして［デフォルトにする］をクリックします（プリンタ名が太文字で表示されます）。
- 印刷時に［プリント］ダイアログで別のプリンタを選択すると、そのプリンタが新しいデフォルトプリンタになります。
- すでに追加してあるプリンタ名を選択して［削除］をクリックすると、［プリンタ設定ユーティリティ］からは消えますが、プリンタドライバそのものは削除されずに残っています。

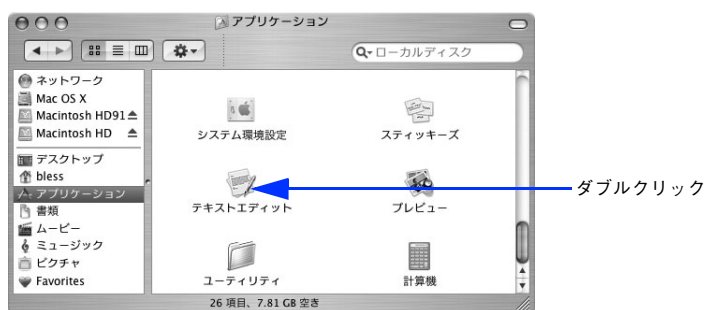
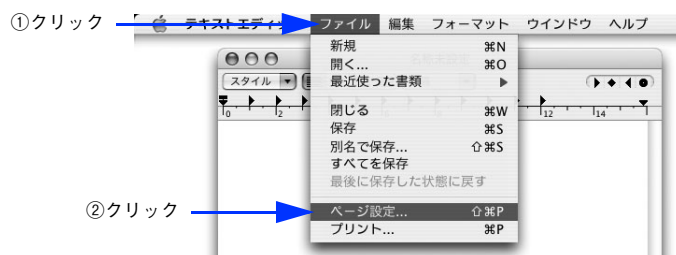
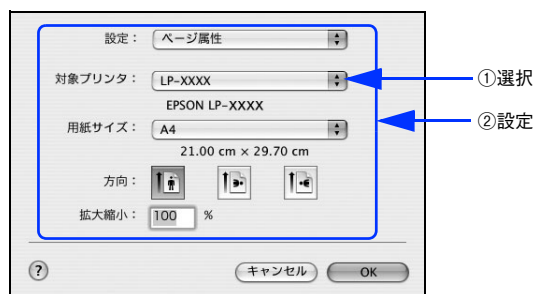
以上でプリンタの追加は終了です。
☞ 本書 224 ページ「印刷の手順」

印刷の手順

ページ設定

実際に印刷データを作成する前に、用紙サイズなどを設定します。ここでは、「テキストエディット」を例に説明します。印刷手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

用紙設定をする前に、お使いのプリンタが［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に登録されているか確認してください。
☞ 本書 217 ページ「印刷を始める前に」

1 ［アプリケーション］フォルダ内の［テキストエディット］アイコンをダブルクリックして起動します。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］をクリックします。

3 ［対象プリンタ］からお使いのプリンタ（LP-S6500 または LP-S4500）を選択して、必要な項目を設定します。

設定項目やボタンの詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 237 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

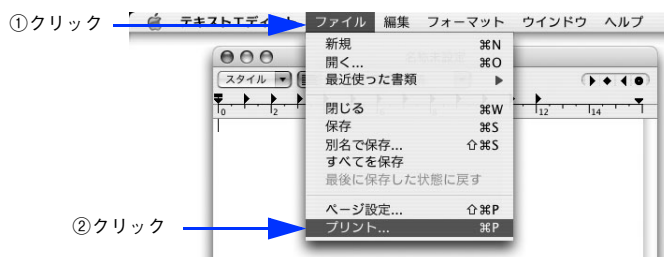
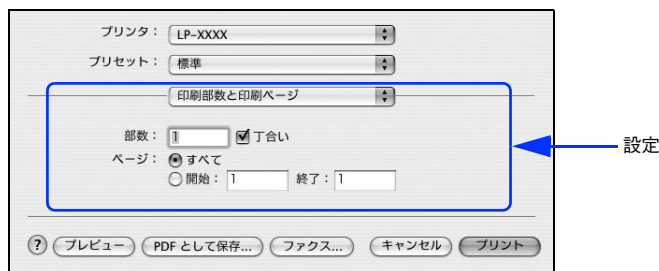
4 ［OK］をクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

プリント設定

作成した印刷データを印刷する際に、印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の［プリント］ダイアログを表示する場合がありますので、このようなときは、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

2 印刷に必要な項目を設定します。

設定項目やボタンの詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 240 ページ「[プリント] ダイアログ」
☞ 本書 241 ページ「[印刷部数と印刷ページ] ダイアログ」
☞ 本書 241 ページ「[レイアウト] ダイアログ」
☞ 本書 243 ページ「[出力オプション] ダイアログ」
☞ 本書 243 ページ「[スケジューラ] ダイアログ」
☞ 本書 244 ページ「[用紙処理] ダイアログ」
☞ 本書 245 ページ「[ColorSync] ダイアログ」
☞ 本書 246 ページ「[プリンタの設定] ダイアログ」
☞ 本書 275 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ 本書 250 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」
☞ 本書 255 ページ「[両面設定] ダイアログ」
☞ 本書 276 ページ「[バージョン情報] ダイアログ」
☞ 本書 276 ページ「[一覧] ダイアログ」

［スケジューラ］、［用紙処理］、［ColorSync］ダイアログなど、Mac OS X が用意するダイアログは、バージョンによって利用できないことがあります。

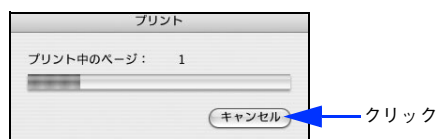
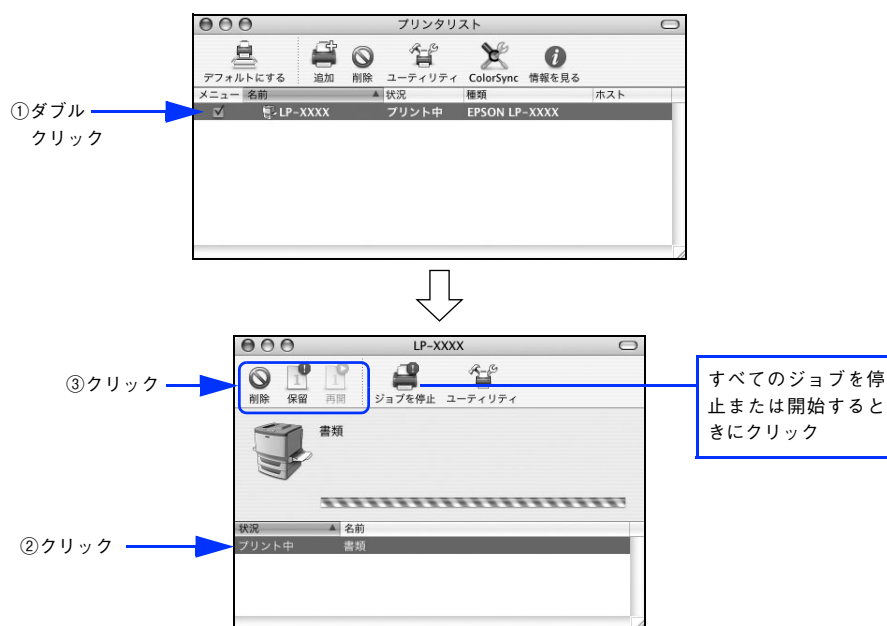
3 ［プリント］をクリックして、印刷を実行します。

印刷の中止

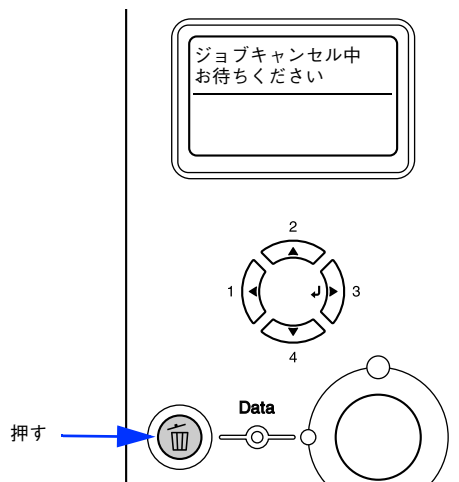
印刷処理を中止するときは、以下の方法でプリンタ上の印刷データを削除します。

コンピュータから中止する

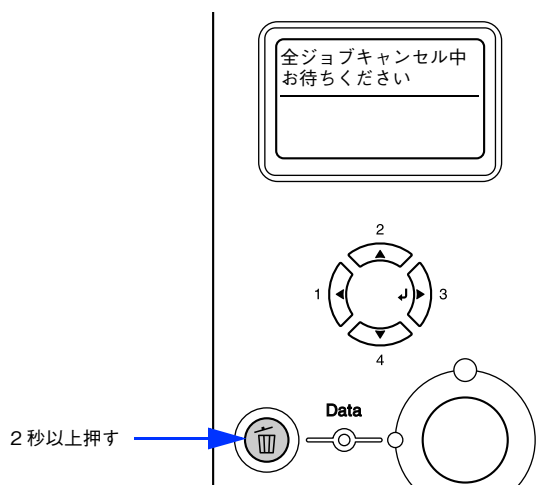
コンピュータ上の処理が続いているときは、以下のいずれかの方法で削除します。

- アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷中のダイアログが表示されているときは、印刷を中止するボタン（［キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

- 印刷中は［Dock］に［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］が現れます。［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開き、印刷中のジョブを選択して削除（または保留 / 再開）できます。

印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

操作パネルから中止する

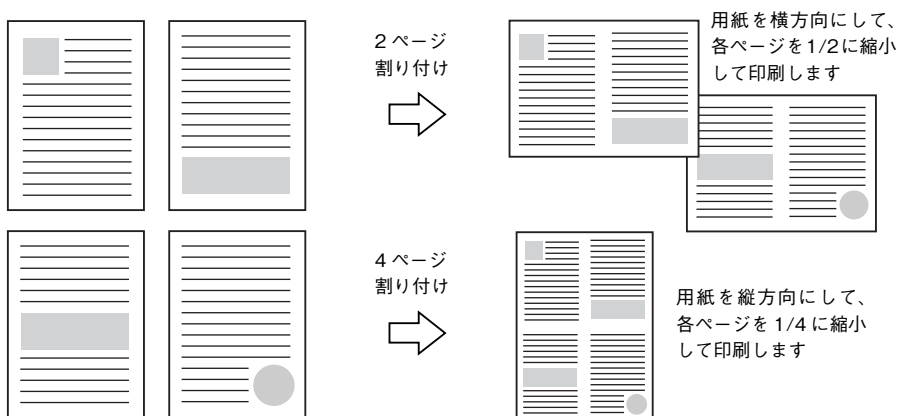
● **印刷中のデータを削除するには［ジョブキャンセル］ボタンを押します。**

印刷中のデータ（ジョブ単位）が削除されます。

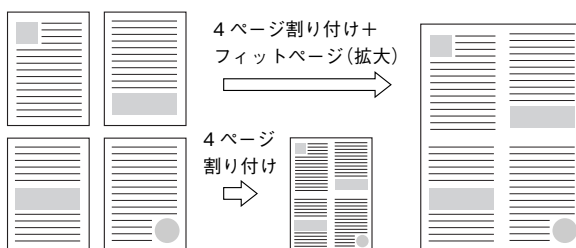
● **プリンタが受信したすべての印刷データを削除するには［ジョブキャンセル］ボタンを約 2 秒以上押し続けます。**

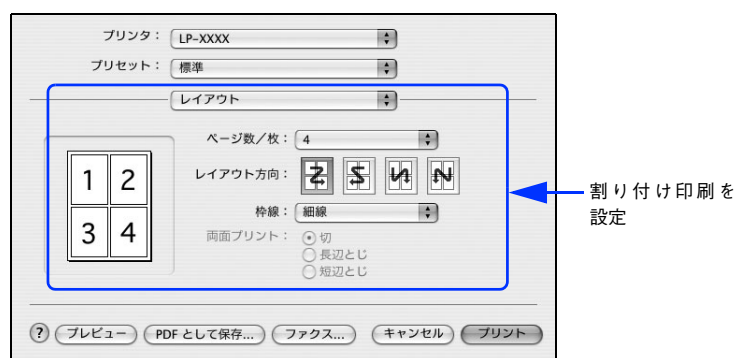
プリンタが受信したすべての印刷データが消去されます。

便利な印刷機能

ここでは、本機で利用できるさまざまな機能のうち、便利な印刷機能の概略をまとめて紹介します。

割り付け印刷で用紙を節約

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総用紙枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

割り付け印刷は、連続した 2 ページまたは 4 ページ分のデータを縮小して元の指定サイズの用紙に割り付けて印刷します。例えばハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とは言えません。こんなときは、拡大 / 縮小機能を同時に使用して、大きな A4 サイズなどの大きなサイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

本書 231 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
本書 239 ページ「拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

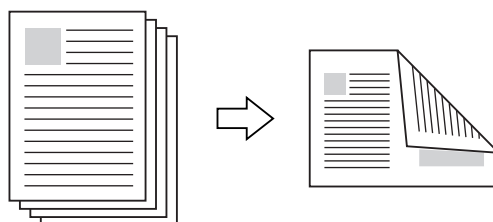
割り付け印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

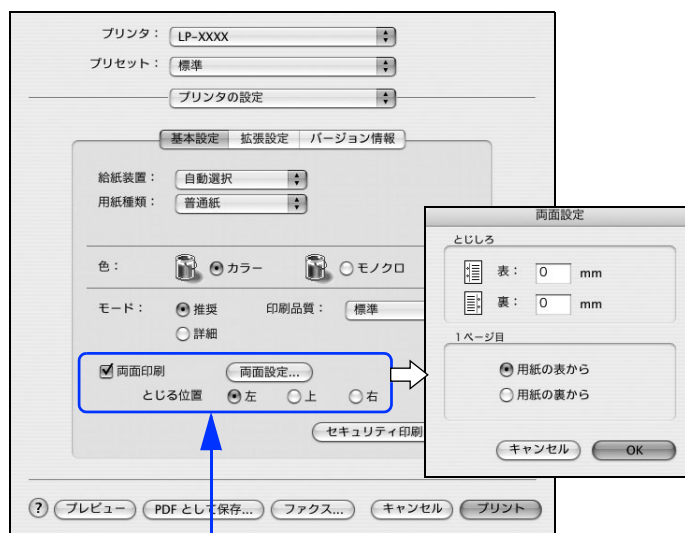
☞ 本書 241 ページ「[レイアウト］ダイアログ」
☞ 本書 242 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

両面印刷で用紙を節約

用紙の片面に印刷するだけでは「紙がもったいない」と思うことはありませんか。本機には自動両面印刷機能が標準搭載されています。用紙を 1 枚ずつ自動的に裏返して両面印刷を行いますので、片面を印刷した後で文書をセットし直して裏面に印刷する手間が省けます。また、総用紙枚数を 1/2 に減らすことができます。

さらに、用紙の両面に 2 ページまたは 4 ページ割り付け印刷を行えば、総用紙枚数を 1/4 または 1/8 まで減らすことができます。

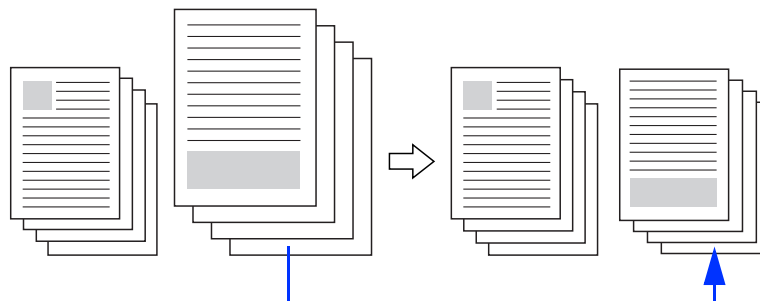
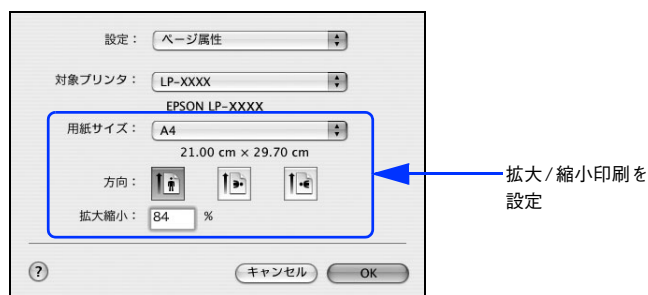
＜例＞両面それぞれに2ページ分の割り付け印刷した場合、
4 ページの文書なら用紙 1 枚で済みます

☞ 本書 228 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ 本書 242 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

［プリント］ダイアログから［プリンタの設定］－［基本設定］ダイアログ開いて、さらに［両面印刷］ダイアログを開いて両面印刷を設定してください。

両面印刷を設定

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

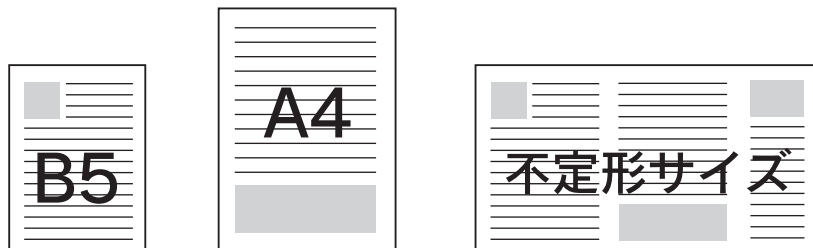
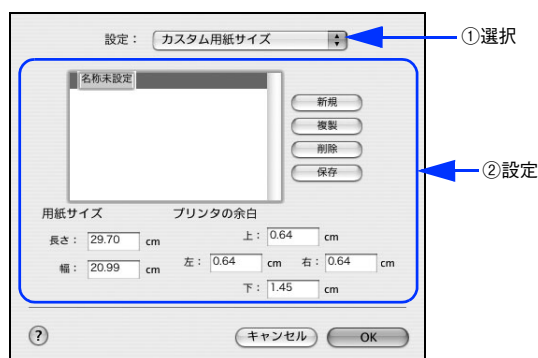
☞ 本書 255 ページ「［両面設定］ダイアログ」
☞ 本書 256 ページ「両面印刷するには」

ページを拡大または縮小して印刷

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

拡大 / 縮小印刷は［ページ設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 237 ページ「［ページ設定］ダイアログ」
☞ 本書 239 ページ「拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

定形サイズ以外の用紙に印刷

B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したいときも心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（カスタム用紙サイズ）として登録しておくことができます。

不定形紙サイズは［ページ設定］ダイアログから［カスタム用紙サイズ］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

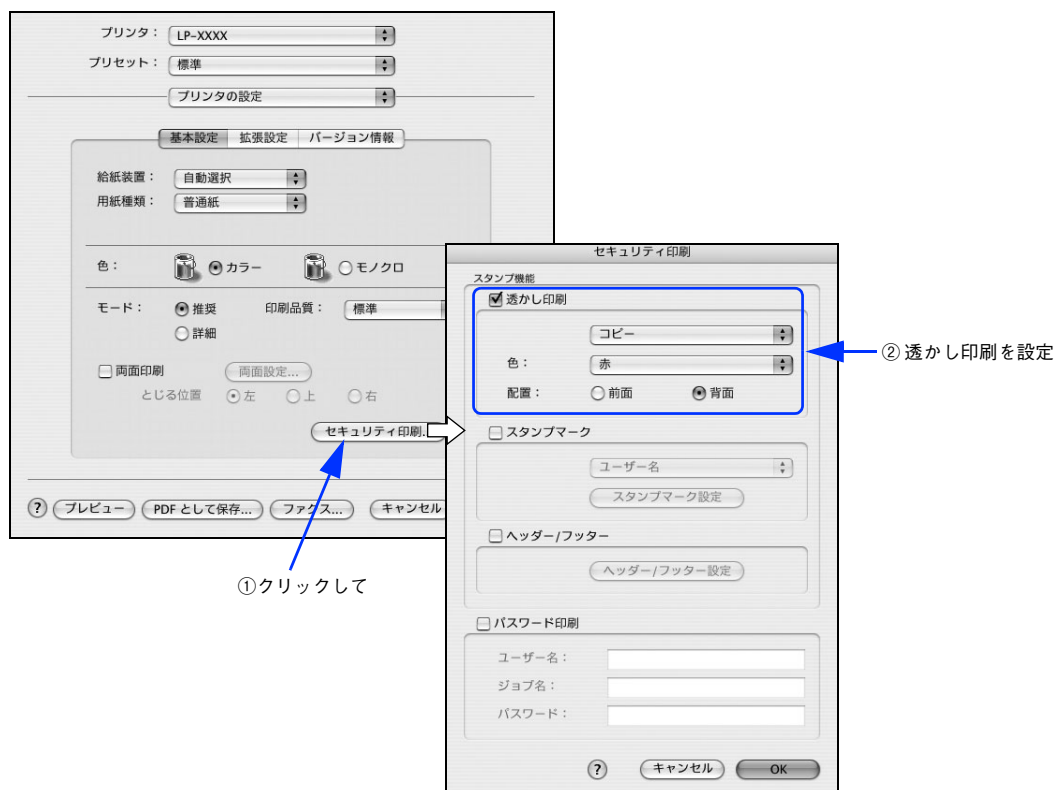
☞ 本書 237 ページ「［ページ設定］ダイアログ」
☞ 本書 238 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

定義した不定形紙サイズは、［ページ設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

!注意 不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
☞ 本書 409 ページ「不定形紙への印刷」

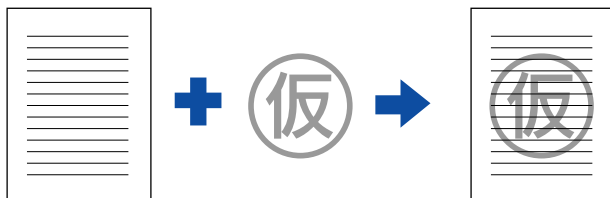
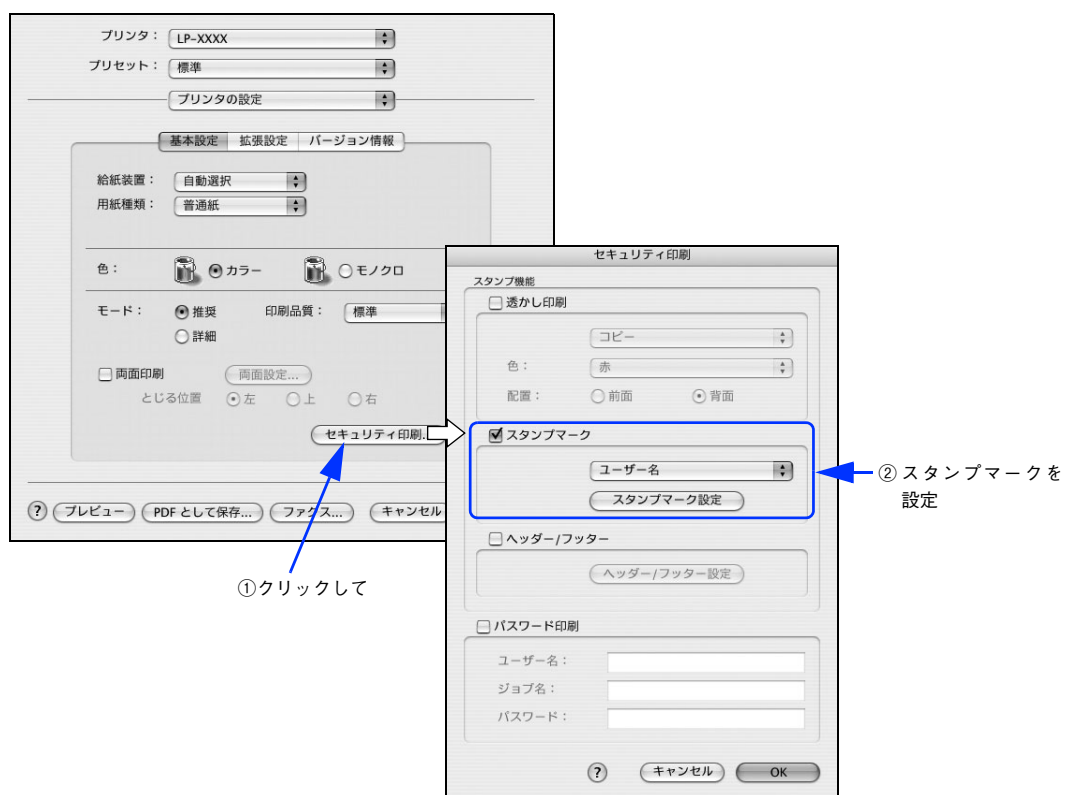
コピー時に透かし文字が浮き上がる印刷

本機で印刷した文書原本とコピー機でコピーした複製書類を区別して、セキュリティを高めたいと思いませんか。プリンタドライバの透かし印刷機能を使えば、用紙全体に透かし文字を印刷することができます。文書原本には背景に透かし文字が埋め込まれていて、用紙全体に色が付いています。印刷された文書原本をコピーすると、選択したパターンの文字が浮き上がります。

透かし印刷は［プリント］ダイアログの［基本設定］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」/ 本書 250 ページ「⑦［セキュリティ印刷］ボタン」
本書 257 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」
本書 259 ページ「透かし印刷するには」

「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷した文書を管理するときに、「㊙」、「重要」、「㊐」などのスタンプを押していませんか。プリンタドライバのスタンプマーク機能を使えば、文書自体にこうしたスタンプマークを重ねて印刷できますので手間が省けます。大量の文書にスタンプを押す必要がある場合でも、一度設定すれば手作業で何度もスタンプを押す必要がなく、しかも押し間違いもありません。

スタンプマーク印刷は［プリント］ダイアログの［基本設定］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

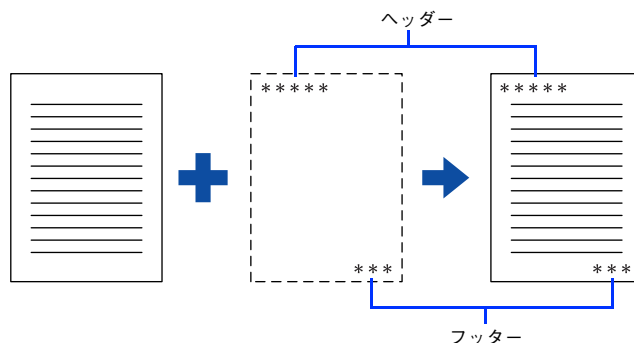
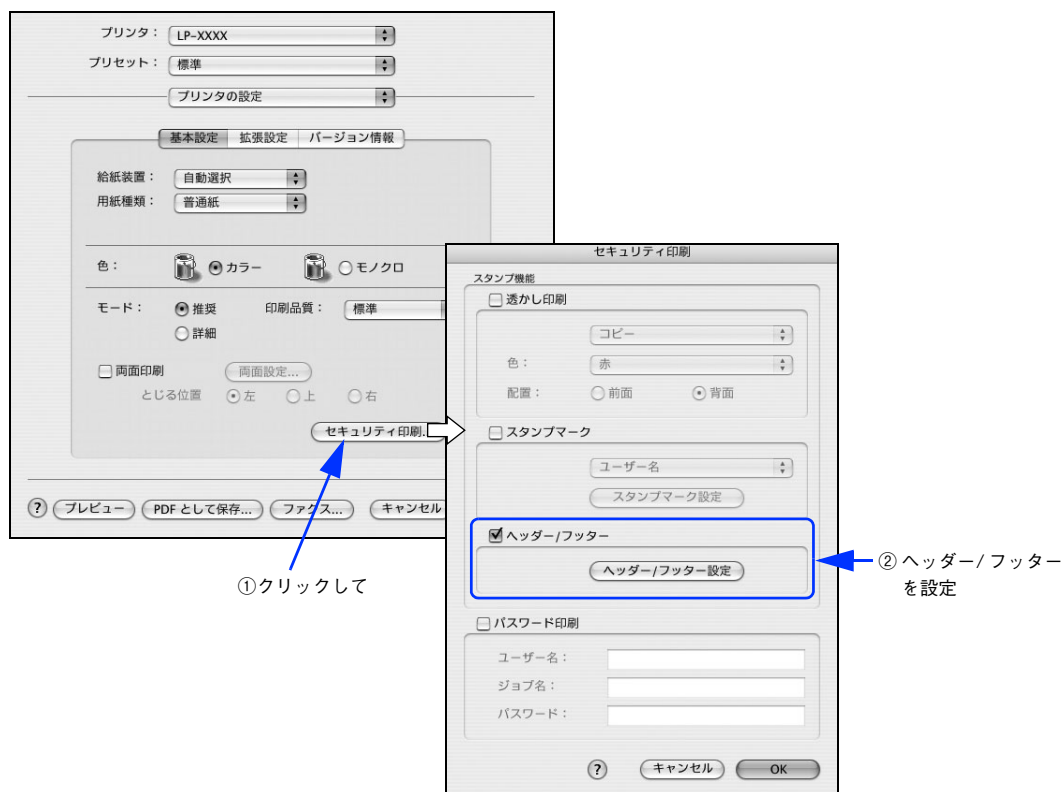
☞ 本書 247 ページ「[基本設定] ダイアログ」/ 本書 250 ページ「⑦ ［セキュリティ印刷］ボタン」
☞ 本書 257 ページ「[セキュリティ印刷] ダイアログ」
☞ 本書 261 ページ「スタンプマークを印刷するには」

オリジナルスタンプマークの作成

あらかじめ登録されているスタンプマークだけでなく、オリジナルのスタンプマークをユーザーが作成して登録できます。どのようなマークが必要になっても、新たにスタンプを購入する必要がありません。

☞ 本書 263 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

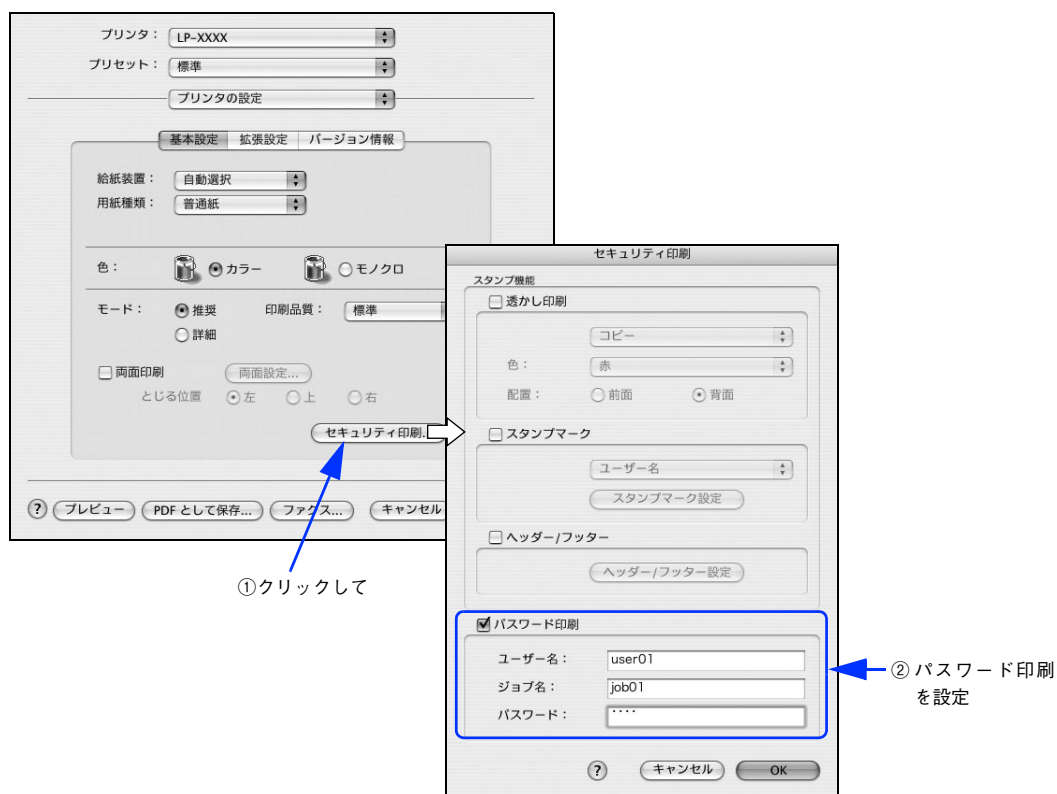
ヘッダー/ フッターにファイル名や日付を印刷

「この書類は誰がどのコンピュータから印刷したのか」など、文書の管理に困ることはありませんか。文書の上部ヘッダーと下部フッターに、ユーザー名、コンピュータ名、印刷日時などの文書情報を印刷すると、文書の管理がしやすくなります。アプリケーションソフトで文書情報を入力せず、プリンタドライバのヘッダー / フッター印刷機能で印刷実行時に処理できるので、印刷書類としての正確な情報を管理しやすくなります。

ヘッダー / フッター印刷は［プリント］ダイアログの［基本設定］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」/ 本書 250 ページ「⑦ ［セキュリティ印刷］ボタン」
☞ 本書 257 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」
☞ 本書 267 ページ「ヘッダー / フッターを印刷するには」

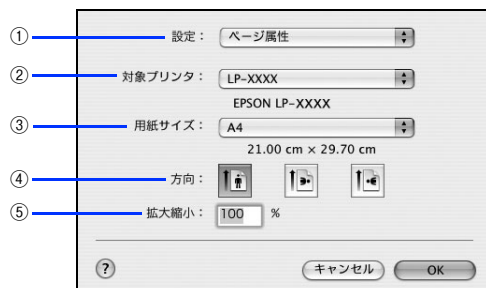
印刷データにセキュリティを設定して印刷

ご自身がプリンタにパスワードを入力してその場で書類を印刷できれば、他人の目に触れることなくセキュリティを高められると思いませんか。オプションのハードディスクユニットを取り付ければ、パスワード印刷ができます。通常プリンタに送られた印刷データは何もしなくても印刷されますが、印刷データを一旦ハードディスクに保存し、操作パネルからパスワードを入力すると印刷されます。

パスワード印刷は［プリント］ダイアログの［基本設定］ダイアログから［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」/ 本書 250 ページ「⑦ ［セキュリティ印刷］ボタン」
本書 257 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」
本書 269 ページ「パスワード印刷をするには」

[ページ設定]ダイアログ

［ページ設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①設定

［ページ属性］、［カスタム用紙サイズ］、［一覧］ダイアログを切り替えます。

項目	説明
ページ属性	用紙サイズ、印刷方向、拡大・縮小率を設定します。
カスタム用紙サイズ	用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙サイズ］メニューから選択できます。 ☞本書 232 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」 ☞本書 238 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
一覧	［ページ設定］ダイアログの設定一覧を確認できます。

②対象プリンタ

どのプリンタを対象にページ属性を設定するか、プリンタ名を選択します。また、［プリンタリストを編集］を選択すると、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［プリンタリスト］を開くことができます。

③用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

④方向

用紙に対する印刷の向きをクリックして選択します。

⑤拡大縮小

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。

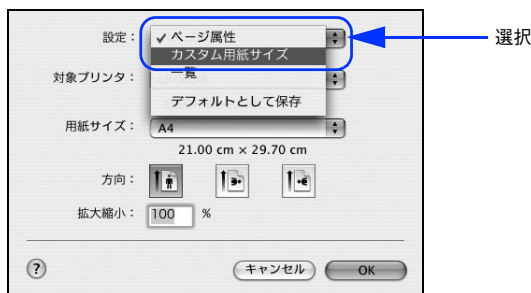
☞ 本書 231 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 239 ページ「拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズをカスタム用紙サイズとして登録することができます。

1 **プリンタドライバの［ページ設定］ダイアログを開きます。**

本書 224 ページ「ページ設定」

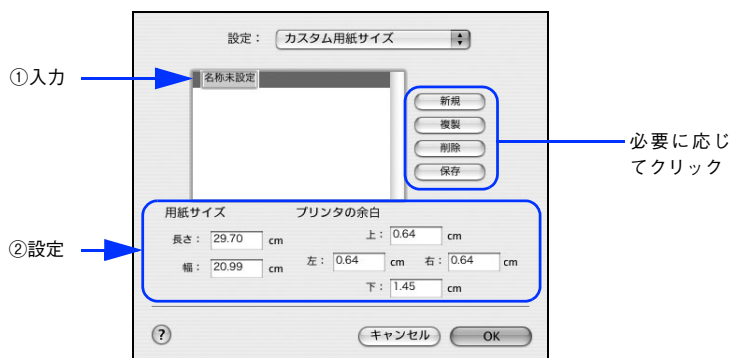
2 **［設定］メニューから［カスタム用紙サイズ］を選択します。**

3 **［新規］をクリックします。**

4 **用紙サイズ名、用紙サイズ（長さ、幅）、プリンタの余白（上下左右）を設定し、［OK］をクリックします。**

本機で使用できる用紙サイズの範囲は以下 *1 の通りです。

- 用紙幅：9.85 ～ 29.70cm（3.88 ～ 11.69 インチ *2）
- 用紙長さ：14.80 ～ 43.20cm（5.83 ～ 17.00 インチ *2）

*1本機で有効な値です。設定を保存した際に、入力した値が OS の計算により変わることがあります。

*2設定の単位をインチにするには、［システム環境設定］から［言語環境］を開き、［数］タブをクリックして［計測単位］を［ヤード・ポンド法］に設定します。

- すでに登録されている用紙サイズを複製するときは、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、[複製]をクリックします。必要に応じて設定を変更してから[保存]をクリックします。
- すでに登録されている用紙サイズを削除するときは、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、[削除]をクリックします。
- すでに登録している用紙サイズを変更するときは、リストから変更したい用紙サイズ名を選択し、設定を変更して[保存]をクリックします。
- カスタム用紙サイズの登録はMac OS Xの機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。また、本機のプリンタドライバを再インストールしたときでも、登録した用紙サイズは保持されます。

5 [OK]をクリックしてダイアログを閉じます。

ここで定義した用紙サイズが[ページ属性]の[用紙サイズ]リストから選択できるようになります。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

不定形紙への印刷は、いくつか注意していただく点がありますので、以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 409 ページ「不定形紙への印刷」

拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷

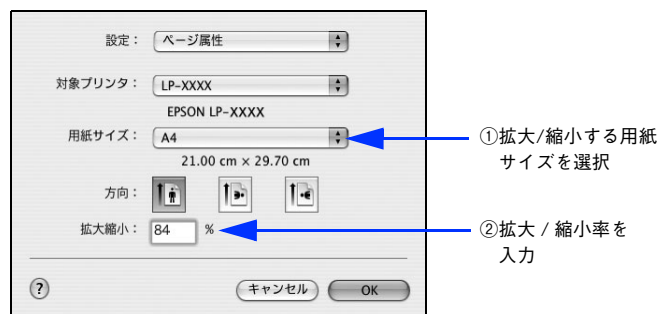
拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

1 拡大 / 縮小率を計算します。

- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大 / 縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの[ページ設定]ダイアログを開きます。

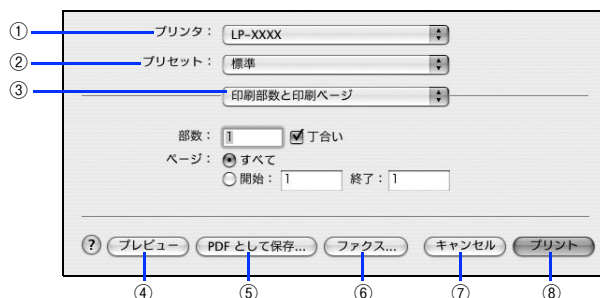
本書 224 ページ「ページ設定」

3 拡大 / 縮小印刷に使用する[用紙サイズ]を選択して、[拡大縮小]に 1 で求めた値を入力します。

[拡大縮小]で設定した拡大 / 縮小率に合った[用紙サイズ]を選択してください。以下のような場合は、[用紙サイズ]が[拡大縮小]に合っていません。
- 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
- 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

4 その他の設定を確認して[ページ設定]ダイアログを閉じ、[プリント]ダイアログを表示して印刷を実行します。

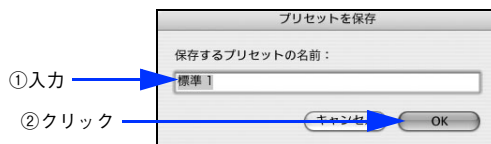
[プリント]ダイアログ

参考　ここでの説明は Mac OS X v10.3 を例にしています。Mac OS X のバージョンによって機能が異なりますので、OS 標準機能の詳細は Mac OS X の説明書やヘルプを参照してください。

印刷する際、[プリント] ダイアログで印刷にかかわる各種の設定を行います。設定を行うダイアログは、メニューから選択してください。

①プリンタ

印刷に使用するプリンタを選択します。また、[プリンタリストを編集] を選択すると、[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] の [プリンタリスト] を開くことができます。

②プリセット

[プリント] ダイアログのすべての設定を保存し、あとでまとめて呼び出すことができます。必要な設定を変更したら、メニューから [別名で保存] を選択して保存名を指定して保存してください。

保存した設定を変更したり、名称変更や削除もできます。対象となる設定名を [プリセット] メニューから選択して、さらに [保存]、[名称変更]、または [削除] をメニュー選択してください。

③設定ダイアログメニュー

[プリント] ダイアログの設定画面を切り替えます。

④プレビュー

印刷されるままの状態を画面で確認できます。

⑤PDF として保存

印刷する代わりに、PDF ファイルとして保存できます。

⑥ファックス

Mac OS X のバージョンによっては、印刷する代わりにファックス送信できます。

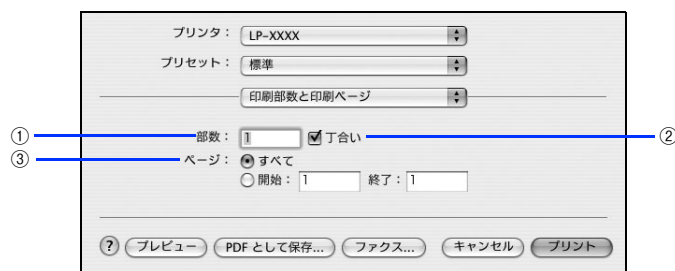
⑦キャンセル

印刷を中止します。

⑧プリント

印刷を実行します。

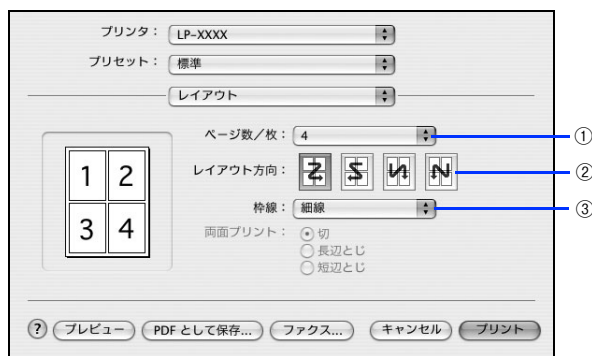
[印刷部数と印刷ページ]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［印刷部数と印刷ページ］を選択すると、印刷部数や印刷範囲を設定できます。

①部数
印刷部数を選択します。通常は 1 ページごとに指定した部数を印刷しますが、②の［丁合い］を選択すると 1 部ごとにまとめて印刷します。

②丁合い
2 部以上印刷するときに 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

③ページ
すべてのページを印刷する場合は［すべて］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを入力します。

[レイアウト]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］を選択すると、連続したページを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷できます。

①ページ数 / 枚
1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

☞ 本書 228 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ 本書 242 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

②レイアウト方向
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。

③枠線
割り付けた各ページの周りに枠線を印刷するときに、線の種類を選択します。

［レイアウト］ダイアログにある［両面プリント］は Mac OS X の標準機能で、本機では使用しません。本機で両面印刷する場合は、［基本設定］ダイアログの［両面印刷］で設定してください。

☞ 本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」

1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには

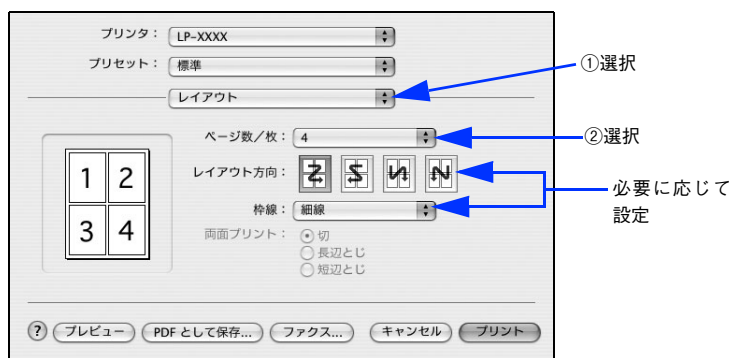
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する手順は以下の通りです。

1　プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。

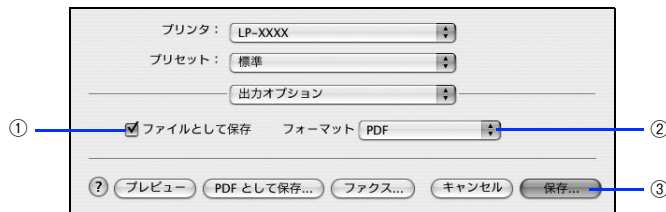
本書 225 ページ「プリント設定」

2　［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

［レイアウト］ダイアログの設定項目の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 241 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

3　［プリント］をクリックして印刷を実行します。

[出力オプション]ダイアログ

［出力オプション］ダイアログの機能は Mac OS X v10.2 ～ v10.3 の標準機能です。［プリント］ダイアログで［出力オプション］を選択すると、印刷する代わりにファイルとして保存できます。

①ファイルとして保存

印刷する代わりにファイルとして保存するときに、チェックを付けます。

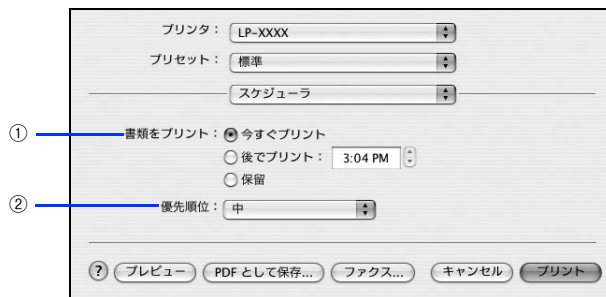
②フォーマット

ファイルとして保存する場合の保存形式（フォーマット）を選択します。

③保存

ファイルとして保存する場合は、［保存］になります。クリックすると保存名と保存先を指定してから、さらに［保存］をクリックしてください。

[スケジューラ]ダイアログ

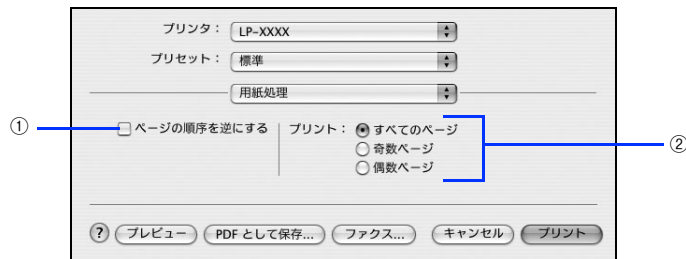
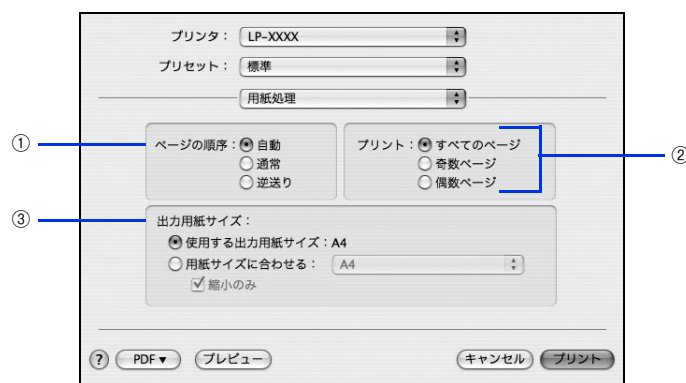
［スケジューラ］ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能です。［プリント］ダイアログで［スケジューラ］を選択すると、印刷を実行するタイミングを設定することができます。詳細は、Mac OS のヘルプを参照してください。

①書類をプリント

通常は［今すぐプリント］のまま、すぐに印刷します。印刷する時間を指定する場合は、［後でプリント］に印刷を開始する時間を入力します。［保留］をクリックすると、印刷を実行しても一時的に保留にできます。

②優先順位

印刷の優先順位を選択します。

[用紙処理]ダイアログ

［用紙処理］ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能です。［プリント］ダイアログで［用紙処理］を選択すると、先頭ページからではなく最後のページから逆に印刷する逆順印刷の設定ができます。

Mac OS X v10.4 の場合

①ページの順序を逆にする / ページの順序

最後のページから最初のページへ逆順所に印刷します。

Mac OS X v10.4 では［ページの順序］となり、［自動］、［通常］、［逆送り］から選択できます。

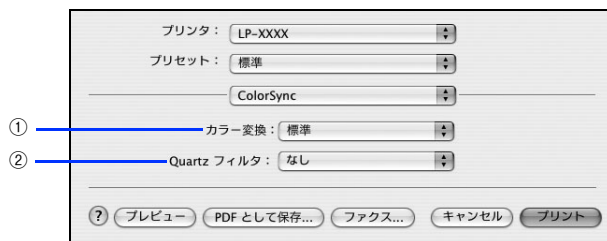
②プリント

すべてのページを印刷するか、奇数または偶数ページだけを印刷するかを選択できます。

③出力用紙サイズ（Mac OS X v10.4 のみ）

レイアウトしたそのままの用紙サイズ（原寸）で印刷するには、［使用する用紙サイズ：xx］を選択します。レイアウトした用紙サイズとは異なる用紙サイズに合わせて拡大・縮小印刷するには［用紙サイズに合わせる］を選択して、メニューから用紙サイズを選択します。なお、［縮小のみ］にチェックマークを付けると縮小印刷のみ行いますので、選択した用紙サイズより小さな用紙サイズにレイアウトしてる場合は拡大印刷せずに、元の用紙サイズのまま印刷します。

[ColorSync]ダイアログ

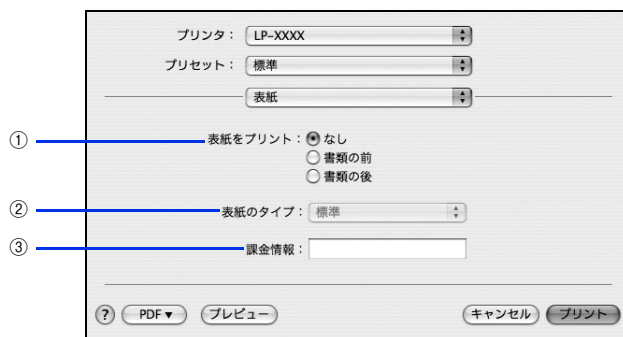
［ColorSync］ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能です。本機能の詳細は Mac OS X の［Mac ヘルプ］を参照してください。［プリント］ダイアログで［ColorSync］を選択すると、カラーマネージメントに関する設定をすることができます。設定の詳細は、Mac OS のヘルプを参照してください。

①カラー変換

［標準］を選択すると、アプリケーションソフトが ColorSync によるカラー変換を行います。本機では［標準］のままお使いください。

②Quartz フィルタ

ColorSync のカラー変換を行うときに、メニューからフィルタを選択して色調を調整できます。

[表紙]ダイアログ

［表紙］ダイアログの機能は Mac OS X v10.4 の標準機能です。［プリント］ダイアログで［表紙］を選択すると、書類の先頭または最後に表紙を印刷できます。

①表紙をプリント

表紙を印刷しないときは［なし］を選択します。表紙を印刷するときは［書類の前］（最初に印刷）または［書類の後］（最後に印刷）を選択します。

②表紙のタイプ

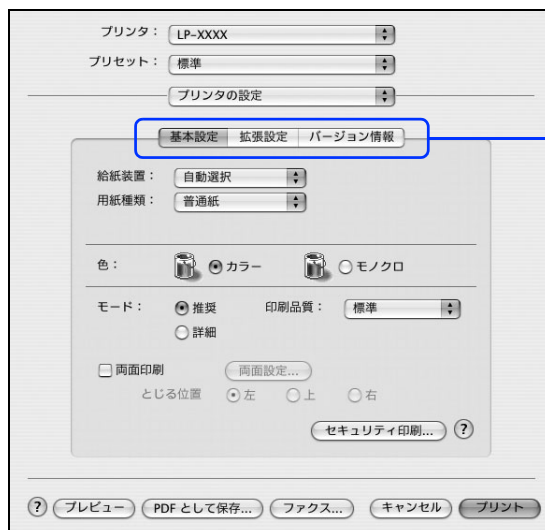
印刷する表紙のタイプを選択します。

③課金情報

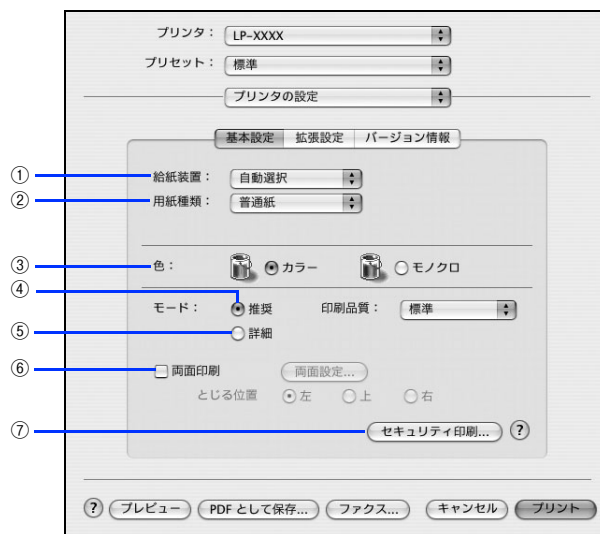
課金情報を入力します。

- 課金情報の入力欄に日本語文字を使用すると、課金情報を表示したときに文字化けが発生することがあります。
- 表紙印刷を選択した場合、印刷結果は全て英語になります。

[プリンタの設定]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［プリンタの設定］を選択すると、［基本設定］、［拡張設定］、または［バージョン］ダイアログが選択できるようになり、印刷にかかわるさまざまな機能が設定できます。

各ダイアログの詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 247 ページ「[基本設定］ダイアログ」
☞ 本書 275 ページ「[拡張設定］ダイアログ」
☞ 本書 276 ページ「[バージョン情報］ダイアログ」

[基本設定]ダイアログ

①給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	MP トレイから給紙します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセットから給紙します。
用紙カセット 2/3/4*	オプションの増設カセットユニットから給紙します。

* オプションの増設カセットユニット装着時のみ選択できます（未装着時はグレーで表示されて選択できません）。

- 給紙装置にセットした用紙のサイズは、操作パネルから［給紙装置設定］を選択して［MP トレイサイズ］と［カセットサイズ］で設定します。
  ☞ 本書 335 ページ「［給紙装置設定］メニュー」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されないと、エラーが発生します（［用紙サイズのチェックをしない］をオフに設定している場合）。
  ☞ 275 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

②用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
指定しない	• 普通紙タイプの用紙に印刷する場合で操作パネルの用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。 本書 411 ページ「用紙タイプ選択機能」 • ［給紙装置］は手動で選択する必要があります。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	• 紙厚が 64 ～ 90g/m^2 の左記普通紙タイプの用紙に印刷する場合で操作パネルの用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。 本書 411 ページ「用紙タイプ選択機能」 • ［給紙装置］には［自動選択］が自動選択されます。
OHP シート	• EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ラベル	• ラベル紙に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙	• 紙厚が 91 ～ 163g/ ㎡の厚紙に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙（裏面）	• 厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷するときに選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ハガキ（裏面）	• 郵便ハガキ、往復郵便ハガキを両面印刷する場合で、片面の印刷後もう一方の面を印刷するときに選択します。 片面だけ印刷する場合は、［ 用紙サイズ ］で［ ハガキ ］または［ 往復ハガキ」を選択してください。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、または封筒サイズに設定すると、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

③色（カラーモデルのみ）

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

④推奨モード

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほとんどの場合、この［推奨］でよい印刷結果が得られます。［推奨］をクリックすると、［印刷品質］（解像度）を［標準］/［はやい］*（300dpi）または［高品質］/［きれい］*（600dpi）のどちらかに設定できます。

項目	説明
標準 / はやい *	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質 / きれい *	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

* カラーモデルでは［標準］/［高品質］と、モノクロモデルでは［はやい］/［きれい］と表示されます。

印刷できなかったりメモリ関連のエラーメッセージが表示されるときは、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］/［はやい］に設定する。
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  ☞ 本書 344 ページ「［USB I/F 設定］メニュー」
  ☞ 本書 346 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」

上記の方法でもメモリ関連のエラーが解決できないときは、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

⑤詳細モード

［詳細］をクリックすると、［設定変更］と詳細設定メニューが表示されます。

項目	説明
詳細設定メニュー	プリセットメニューから選択します。
［設定変更］	［詳細設定変更］ダイアログを開きます。 ☞本書 250 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

カラー印刷時に［詳細］をクリックすると、以下のプリセットメニューがご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷するときに選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷するときに選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷するときに選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ColorSync	ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷するときに選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷するときに選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷するときに選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

⑥両面印刷

両面印刷を行います。

☞ 本書 230 ページ「両面印刷で用紙を節約」
☞ 本書 255 ページ「［両面設定］ダイアログ」

両面印刷できる用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 399 ページ「両面印刷について」

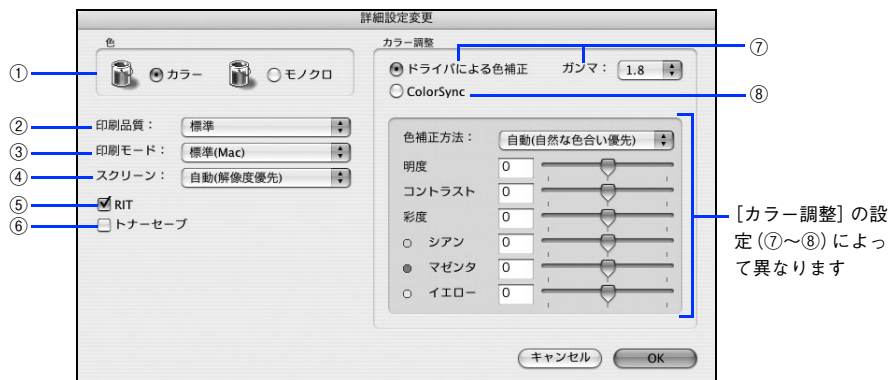
⑦［セキュリティ印刷］ボタン

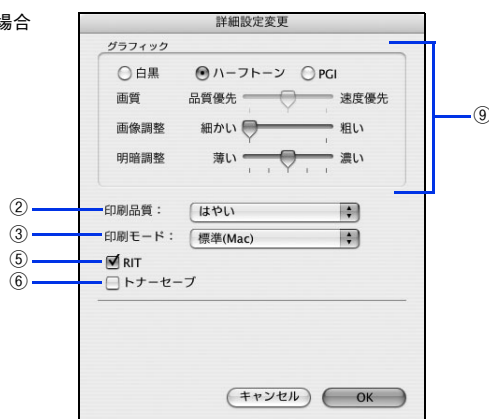
［セキュリティ印刷］ダイアログを開いて、セキュリティ印刷が行えます。

☞ 本書 257 ページ「［セキュリティ印刷］ダイアログ」

［詳細設定変更］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［詳細］をクリックして［設定変更］をクリックすると、［詳細設定変更］ダイアログが表示されます。印刷にかかわるさまざまな機能を詳細に設定できます。

カラーモデルのカラー設定時

カラーモデルのモノクロ設定時

モノクロモデルの場合

①色（カラーモデルのみ）

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

②印刷品質

印刷の解像度を［標準］/［はやい］*（300dpi）または［高品質］/［きれい］*（600dpi）から選択できます。［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先したいときは、［標準］を選択してください。

項目	説明
標準 / はやい *	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質 / きれい *	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

* カラーモデルでは［標準］/［高品質］と、モノクロモデルでは［はやい］/［きれい］と表示されます。

印刷できなかったりメモリ関連のエラーメッセージが表示されるようなときは、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］/［はやい］に設定する。
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  本書 344 ページ「［USB I/F 設定］メニュー」
  本書 346 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」

上記の方法でもメモリ関連のエラーが解決できないときは、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

③印刷モード

印刷モードを選択します。

印刷モード	説　明
標準（Mac）	高品質な印刷結果を得ることができます。印刷の処理を主にコンピュータ側で行います。
標準（プリンタ）	高品質な印刷結果を得ることができます。印刷の処理を主にプリンタ側で行います。
CRT 優先	ほかの印刷モードで印刷しても、画面通りの印刷結果が得られないときに使用してください。印刷データをすべてイメージデータとしてプリンタへ送るため、ほかの印刷モードに比べ、印刷に時間がかかります。通常、このモードを選択する必要はありません。

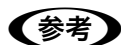
- お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は、［標準（Mac）］を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。
- お使いのコンピュータの処理能力が低い場合は、［標準（プリンタ）］を選択してください。Macintosh側の負荷を軽くすることができます。

④スクリーン（カラー印刷のみ）
スクリーン線数（lpi）を選択します。

項目	説明
自動（階調優先）	写真や図形を印刷する際に階調を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（文字の印刷は解像度を優先します）。
自動（解像度優先）	図形や文字を印刷する際に解像度を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（写真の印刷は階調を優先します）。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

［プリント］ダイアログの［用紙種類］で［OHP シート］が選択されていると、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

⑤RIT
RIT*（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

＊* RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の印刷機能。

- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。このようなときは RIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷では、④の［スクリーン］の関係で RIT 機能が有効にならないときがあります。

⑥トナーセーブ
［詳細設定］を選択すると、トナーセーブ機能を設定できます。カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。

トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑦ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）
プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択すると、以下の設定でカラー調整できます。

ガンマ：
ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。

項目	説明
1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷することができます。
1.8	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べて立体感があり、メリハリのある画像を印刷することができます。
2.2	sRGB 対応製品と色合わせして印刷するときに選択してください。

色補正方法：
色の補正方法を選択できます。

項目	説明
自動（自然な色合い優先）	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自動（鮮やかさ優先）	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自然な色合い	より自然な発色になるようにカラー調整します。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
色補正なし	カラー調整しません。ColorSync 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：
画像全体の明るさを調整します。

コントラスト：
画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度：
画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー：
各色の強さを調整します

	-25	← 0 →	+25
シアン	赤みが強くなります。	← │ →	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	← │ →	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	← │ →	黄色（イエロー）が強くなります。

［明度］と［コントラスト］は、カラーモデルのときに有効になります。

⑧ColorSync（カラー印刷のみ）
クリックしてチェックを付けると、ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行います。詳細は、以下のページを参照してください。
本書 287 ページ「ColorSync について」

⑨グラフィック（モノクロ印刷のみ）

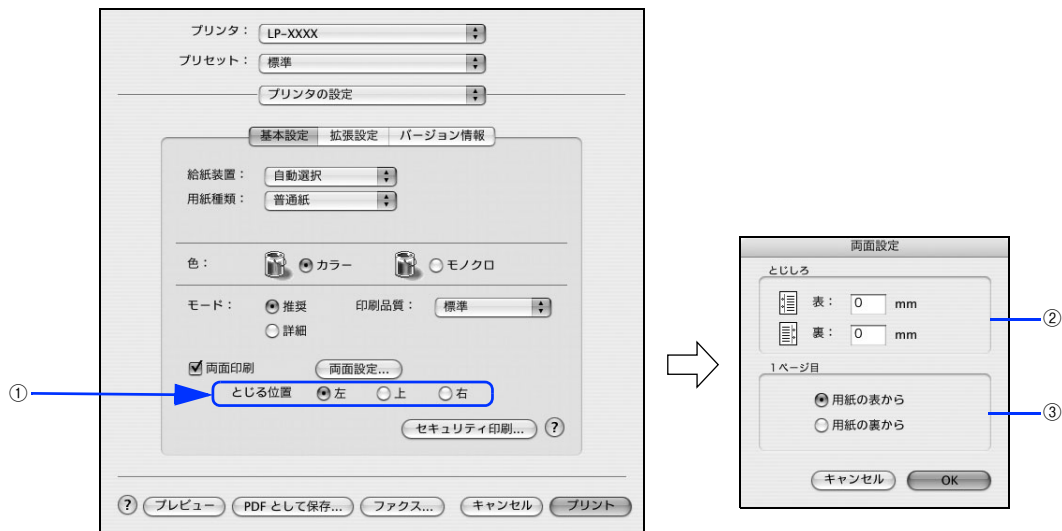
カラーモデルでは①「色」で［モノクロ］を選択すると設定できます。モノクロモデルでは常に設定できます。

項目	説明
白黒	グラフィックの印刷処理を行いません。グレースケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。
PGI	PGI *1(Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を PGI 処理してきれいに印刷できます。
画質	［PGI］を選択したときのみ、［画質］を調整できます。印刷時間を短くしたい場合は［速度優先］に、印刷品質を上げたい場合は［品質優先］に設定します。
画像調整 *2	［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷粗密度をスライドバーで調整できます。［細かい］側にスライドするとより細かく、［粗い］側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。
明暗調整	［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［薄い］側にスライドするとより明るく、［濃い］側にスライドするとより暗くグラフィックを印刷します。

*1 PGI：階調表現力を 3 倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

*2 ［細かい］にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれて真っ黒になる場合があります。コピーをする場合は、［細かい］にしないで印刷することをお勧めします。

[両面設定]ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［両面印刷］をクリックして、［両面設定］をクリックすると、［両面設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

①とじる位置

両面印刷するときのとじる位置を選択します。

②とじしろ

両面印刷するときのとじしろ幅を、0 ～ 30mm の範囲で用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

③1 ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できる用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 399 ページ「両面印刷について」

両面印刷するには

用紙の表裏、両面に印刷することができます。A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する手順は以下の通りです。

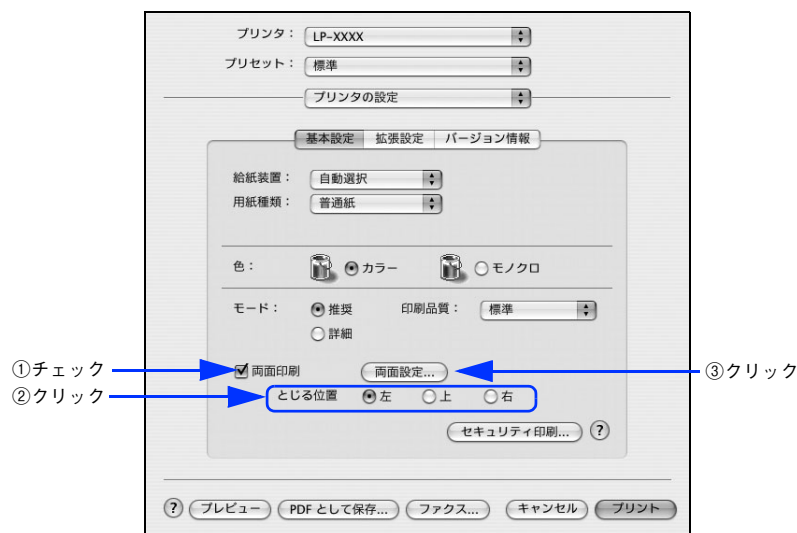
1 **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここでは A4）がセットされていることを確認します。**

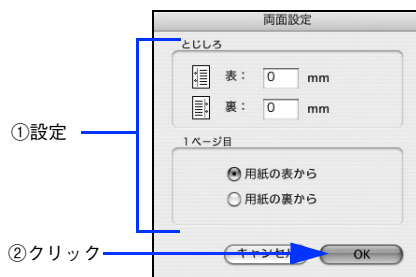
☞ 本書 399 ページ「両面印刷について」

2 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**

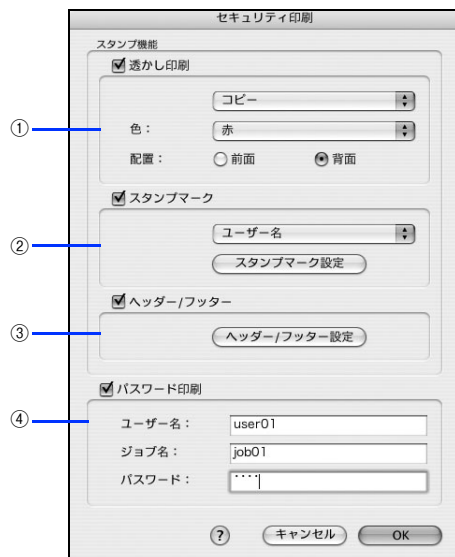
☞ 本書 225 ページ「プリント設定」

3 **［プリンタの設定］から［基本設定］ダイアログを開きます。**

4 **［両面印刷］をチェックして、［とじる位置］をクリックして選択し、［両面設定］をクリックします。**

5 **［両面設定］ダイアログの以下の項目を設定します。**

各項目を設定してから、［OK］をクリックします。

6 **［プリント］をクリックして印刷を実行します。**

[セキュリティ印刷]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［セキュリティ印刷］をクリックすると、［セキュリティ印刷］ダイアログが開きます。［セキュリティ印刷］ダイアログは、透かし印刷、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷、パスワード印刷を行うときに設定するダイアログです。

①透かし印刷

用紙全体に透かし文字を印刷することができます。原本書類は背景に網を掛けたように見え、コピーすると文字が浮き上がります。詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 259 ページ「透かし印刷するには」

②スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

☞ 本書 234 ページ「「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷」
☞ 本書 261 ページ「スタンプマークを印刷するには」
☞ 本書 263 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

③ヘッダー/ フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。

☞ 本書 267 ページ「ヘッダー / フッターを印刷するには」

④パスワード印刷

本機にオプションのハードディスクユニットを取り付ければ、パスワード印刷ができます。プリンタからそのまま印刷しないで印刷データとしてハードディスクに一旦保存し、操作パネルからパスワードを入力してその場で印刷することができます。

☞ 本書 269 ページ「パスワード印刷をするには」

本製品使用時のご注意

送信したデータについて

以下の状態にあるデータについては保護されません。

- 通信経路上にあるデータ
- プリンタのメモリ、ハードディスクなどに一時的に保存されているデータ

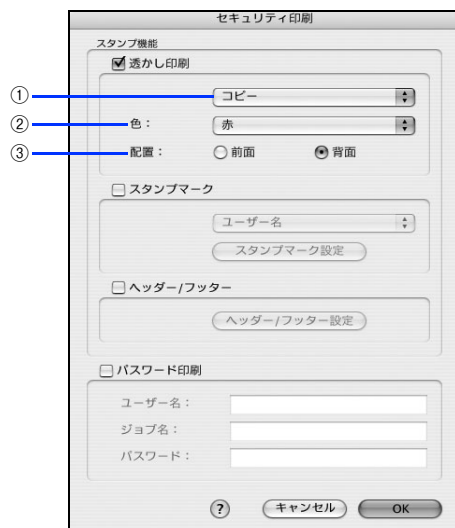
透かし印刷について

透かし印刷は、プリンタから出力した印刷物（原本）の不正コピーを抑制する機能であり、情報漏えいの防止や、コピーしたときに必ず透かし文字が浮き上がるという保証はできません。

下記のような条件によって、透かし文字が濃過ぎたり、印刷物の全面に透かし印刷されなかったり、コピーしたときに文字が浮き上がらないことがあります。

- 複写機、ファックス機、コピーに使用する入力機器（デジタルカメラやスキャナなど）と出力機器（プリンタなど）の機種や設定、組み合わせ
- 本製品のプリンタドライバの設定、消耗品（トナーなど）の状態や出力する用紙種類

透かし印刷するには

［プリント］－［基本設定］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログで任意の透かし印刷パターンを選択できます。

①透かし印刷

透かしパターンをメニューから選択します。

②カラー

カラー印刷するときは、透かし印刷の色（赤または青）を選択します。

モノクロ印刷するときは、常に黒になります。

③配置

透かしを［前面］に置くか、［背面］に置くかを選択します。［前面］と［背面］にて出力される印刷結果は、使用するアプリケーションソフトによって異なります。また、使用する用紙の種類などによっても、透かしの印刷状態は異なります。

- 通常は［背面］を選択します。
- 用紙の全面にデータを印刷するときや、アプリケーションソフトによって透かしが隠れてしまうときは、［前面］を選択します。ただし、印刷データにより透かし模様が浮き出ることがあるなど透かしの印刷状態が異なります。

- 透かし印刷と同時に割り付け印刷や拡大・縮小印刷を行うと、印刷される透かしパターンはその用紙の通常印刷時と同じ大きさのパターンで同じ範囲に印刷されます（たとえば、A3 の用紙に A4 の 2 面割り付け印刷を行うと、A4 サイズの透かしパターンが 2 つ印刷されるのではなく、A3 用紙の印刷可能領域内に A3 印刷時と同じ大きさの透かしパターンが印刷されます）。
- 透かし印刷実行時に［詳細設定］ダイアログの設定で反映されるのは［色］と［印刷モード］（［CRT 優先］を除く）です。また［印刷品質］は常に［高品質］/［きれい］になります。その他の設定は初期設定のまま印刷されます。
- スタンプマークと併用するときは、スタンプマークに配置設定がないため、透かしデータを前面に印刷するか、背面に印刷するか調整します。
- データに白紙ページがあるときは、［拡張設定］ダイアログの［白紙節約する］が有効になっていても、白紙ページに透かし印刷をして出力します。
- ［拡張設定］ダイアログの［カラー / モノクロの自動判別を行う］をチェックした状態で、透かし印刷の色を設定してモノクロデータを印刷したときは、すべてカラーで印刷します。

透かし印刷の手順

透かしを印刷する手順は以下の通りです。

1　［プリント］－［基本設定］ダイアログを開きます。

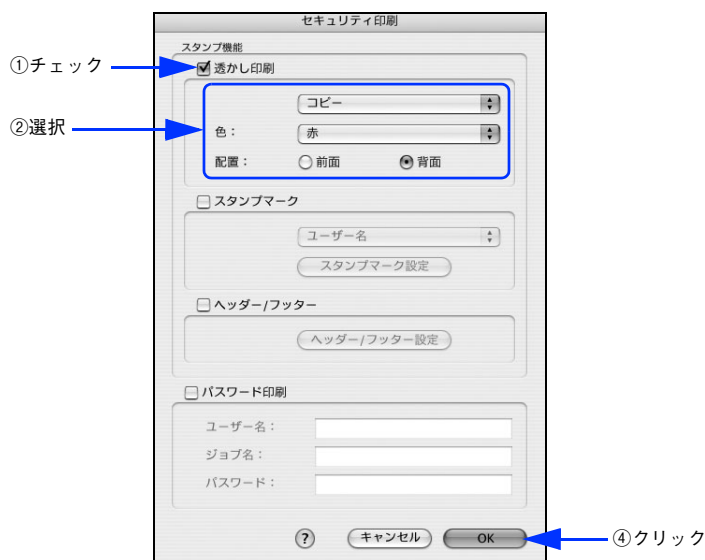
本書 224 ページ「印刷の手順」

2　［セキュリティ印刷］をクリックします。

［セキュリティ印刷］ダイアログが表示されます。

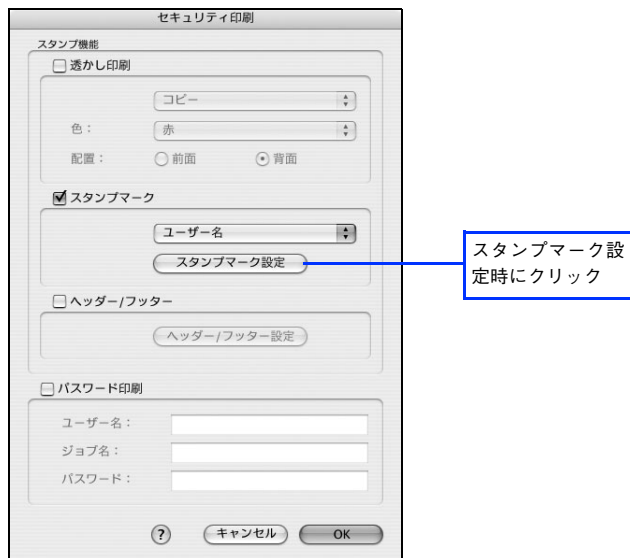
3　［セキュリティ印刷］ダイアログの［透かし印刷］にチェックを付けてメニューから印刷する透かしパターンを選択し、［色］と［配置］を選択して、［OK］をクリックします。

［詳細設定］ダイアログの設定で反映されるのは［色］と［印刷モード］（［CRT 優先］は除く）です。また［印刷品質］は［高品質］/［きれい］になります。透かし印刷を有効にするかどうかの警告ダイアログが表示されたら、［はい］をクリックします。

＊［基本設定］ダイアログの［色］で［カラー］を選択した場合は透かしの色も選択します。

4　［OK］をクリックして［セキュリティ印刷］ダイアログを閉じます。

5　［OK］をクリックして［プリント］ダイアログを閉じ、印刷を実行します。

スタンプマークを印刷するには

［プリント］－［基本設定］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログで［スタンプマーク］にチェックマークを付け、スタンプマークを選択します。

［スタンプマーク設定］をクリックしてスタンプマーク機能を設定します。

①プレビュー部
ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名
印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン
オリジナルのビットマップ（PICT * 画像）マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

＊　PICT：コンピュータの標準グラフィックファイル形式。

本書 263 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④［テキスト編集］ボタン
登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］をクリックすると、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤カラー（カラーモデルのみ）
スタンプマークの色を選択します。

⑥濃度
スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑦ マウスによる回転 / 角度
テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてプレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］に回転角度を直接入力します。

⑧ 1 ページ目のみ印刷
用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する手順は以下の通りです。

1 **［プリント］－［基本設定］ダイアログを開きます。**

本書 224 ページ「印刷の手順」

2 **［セキュリティ印刷］をクリックします。**

［セキュリティ印刷］ダイアログが表示されます。

3 **［スタンプマーク］をチェックしてメニューからスタンプマークを選択し、［スタンプマーク設定］をクリックします。**

4 **［カラー］、［濃度］などを設定して［OK］をクリックします。**

5 **［OK］をクリックして［セキュリティ印刷］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。**

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、お好みの画像や任意の単語をオリジナルスタンプマークとして 32 個まで登録して印刷することができます。

- 画像を登録したい場合は、以下の操作を始める前に、画像を準備しておいてください。なお、登録できる画像のファイル形式は PICT だけです。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

1 ［プリント］－［基本設定］ダイアログを開きます。

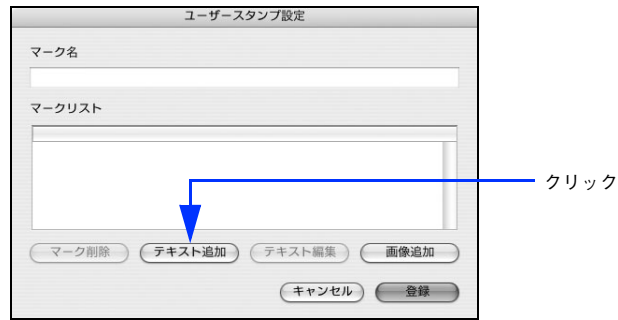
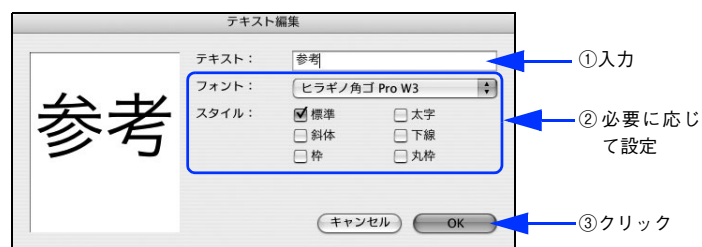
本書 224 ページ「印刷の手順」

2 ［セキュリティ印刷］をクリックします。

［セキュリティ印刷］ダイアログが表示されます。

3 ［スタンプマーク］にチェックマークを付けて［スタンプマーク設定］をクリックしてします。

4 ［追加 / 削除］をクリックします。

5 ［テキスト追加］をクリックします。

6 ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を設定して、［OK］をクリックします。

7 ［マーク名］を入力（確認）して、［登録］をクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

> **参考** 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［マークリスト］から選んで［マーク削除］をクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

8 ［OK］をクリックしてダイアログをすべて閉じます。

画像マークの登録方法

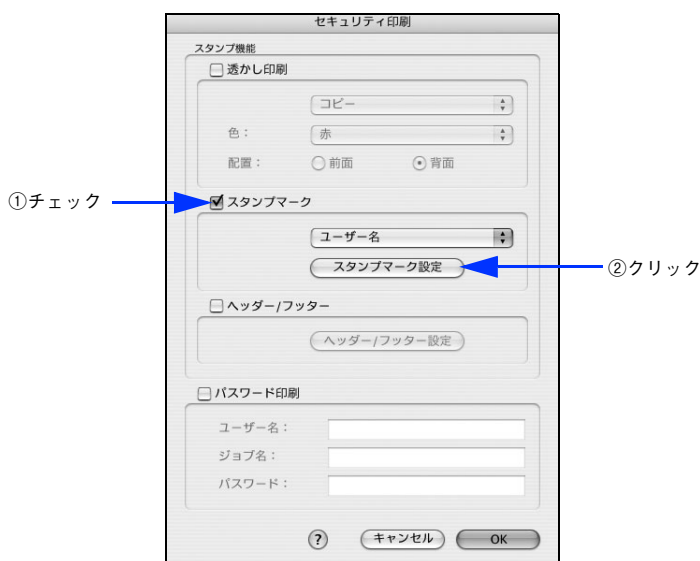
1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマーク（画像）を作成し、PDF、PNG または JPEG 形式で保存します。

2 ［プリント］－［基本設定］ダイアログを開きます。

本書 224 ページ「印刷の手順」

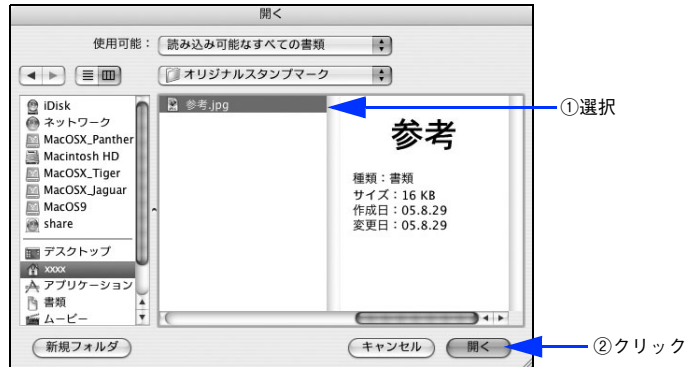
3 ［セキュリティ印刷］をクリックします。

［セキュリティ印刷］ダイアログが表示されます。

4 ［スタンプマーク］にチェックマークを付けて［スタンプマーク設定］をクリックしてします。

5 ［追加 / 削除］をクリックします。

6 ［画像追加］をクリックします。

7 1 で保存した PDF、PNG または JPEG ファイル名を選択し、［開く］をクリックします。

［作成］をクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

8 ［マーク名］を入力（確認）して、［登録］をクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

参考 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

9 ［OK］をクリックしてダイアログをすべて閉じます。

ヘッダー/ フッターを印刷するには

［プリント］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログで［ヘッダー / フッター］をクリックすると、［ヘッダー / フッター設定］をクリックして以下の項目が設定できます。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、［OK］をクリックします。

＊　部単位で印刷するときに何部目であるかを示す番号

■ ヘッダー/ フッター印刷の手順

ヘッダー / フッター印刷する手順は以下の通りです。

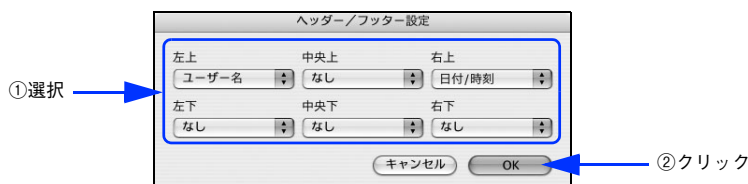
1　［プリント］－［基本設定］ダイアログを開きます。

本書 224 ページ「印刷の手順」

2　［セキュリティ印刷］をクリックします。

［セキュリティ印刷］ダイアログが表示されます。

3　［セキュリティ印刷］ダイアログの［ヘッダー / フッター］をクリックし、［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。

4　リストボックスから印刷するヘッダー / フッターを選択して、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックして［セキュリティ印刷］ダイアログを閉じます。

6 ［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、印刷を実行します。

パスワード印刷をするには

［プリント］－［基本設定］ダイアログから開いた［セキュリティ印刷］ダイアログでパスワード印刷ジョブを設定できます。パスワード印刷ジョブは、操作パネルからパスワードを入力して印刷してください。

- パスワード印刷は、オプションのハードディスクユニットを本機に取り付けないと利用できません。
- 印刷されないパスワード印刷ジョブは、本機の電源再投入やリセットオールでハードディスクから削除されます。

①パスワード印刷をする

パスワード印刷を行うときにチェックマークを付けます。パスワード印刷を行わない場合は、チェックマークを外します。

②ユーザー名

パスワード印刷ジョブに設定するユーザー名（英数字などの 1 バイト文字 14 文字、または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで）を入力します。

③ジョブ名

パスワード印刷ジョブに設定するジョブ名（英数字などの 1 バイト文字 14 文字、または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで）を入力します。

④パスワード

パスワード印刷ジョブのパスワード（0 ～ 9 の半角数字を 4 桁）を入力します。

パスワード印刷ジョブの設定手順

パスワード印刷ジョブの設定手順は以下の通りです。

1 ［プリント］－［基本設定］ダイアログを開きます。

本書 224 ページ「印刷の手順」

2 ［セキュリティ印刷］をクリックします。

［セキュリティ印刷］ダイアログが表示されます。

3 ［セキュリティ印刷］ダイアログの［パスワード印刷］にチェックマークを付け、［ユーザー名］、［ジョブ名］、［パスワード］を各欄に入力して、［OK］をクリックします。

- ［ユーザー名］は英数字などの 1 バイト文字 14 文字または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで、任意のユーザー名を入力します。
- ［ジョブ名］は英数字などの 1 バイト文字 14 文字または漢字などの 2 バイト文字 7 文字まで、任意のジョブ名を入力します。
- ［パスワード］は 0 ～ 9 の半角数字を 4 桁入力します。

4 ［OK］をクリックして印刷を実行します。

印刷ジョブは印刷されずに、オプションのハードディスクに保存されます。保存されたパスワード印刷ジョブは、操作パネルからユーザー名を選択してパスワードを入力し、ジョブ名を選択して印刷します。

本書 271 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷手順」

■ パスワード印刷ジョブの印刷手順

パスワード印刷ジョブは、操作パネルに［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態から、以下の手順で印刷できます。

1　操作パネルの［ ↲▶（3）］ボタンを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、操作パネルに［プリンタ情報］などの設定メニューが表示されます。

- ［印刷可］ボタンを押すと、設定の途中でも［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態へ戻ることができます。
- ［ ◀（1）］ボタンを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。

2　［パスワード印刷］メニューを選択します。

①［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して、ハイライト表示を［パスワード印刷］に切り替えます。

②［ ↲▶（3）］ボタンを押して次の手順へ進みます。

3 ［ユーザー名］を選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して、［ユーザー名］を切り替えます。

②［ ↲▶ (3)］ボタンを押します。［ユーザー名］が有効になり、次へ進みます。

4 ［パスワード］を入力します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の 1 桁目の数字を選択し、［ ↲▶ (3)］ボタンを押して 1 桁目を確定します。

②［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の 2 桁目の数字を選択し、［ ↲▶ (3)］ボタンを押して 2 桁目を確定します。

③［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の 3 桁目の数字を選択し、［ ↲▶ (3)］ボタンを押して 3 桁目を確定します。

④［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［パスワード］の 4 桁目の数字を選択し、［ ↲▶ (3)］ボタンを押して 4 桁目を確定します。
入力した［パスワード］と一致する印刷ジョブが登録されていると次に進みます。

- ［ ◀(1)］ボタンを押しても、確定した桁へは戻れません。
- 確定した桁は表示が＊に変わります。
- 確定した数字の間違いに途中で気付いたときは、［印刷可］または［ジョブキャンセル］ボタンを押して一旦設定モードから抜けて、最初からやり直します。
- 入力したパスワードと一致するユーザーの印刷ジョブがない場合は、「パスワードが違います」を表示して設定モードから通常の印刷モードに抜け出します。

5 ［ジョブ名］を選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して、［ジョブ名］を切り替えます。
②［↲▶(3)］ボタンを押します。［ジョブ名］が有効になり、次へ進みます。

6 ［印刷部数］を設定して印刷を実行します。

設定項目の選択

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押してハイライト表示を［印刷部数］に切り替えます。
②［↲▶(3)］ボタンを押します。設定値の階層へ進みます。

設定値を選択します。

③［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して［印刷部数］（1 ～ 999）を設定します。

④［ ↲▶（3）］ボタンを押します。設定値が有効になり、印刷が始まります。

印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。印刷が終了すると、［印刷できます］状態に戻ります。

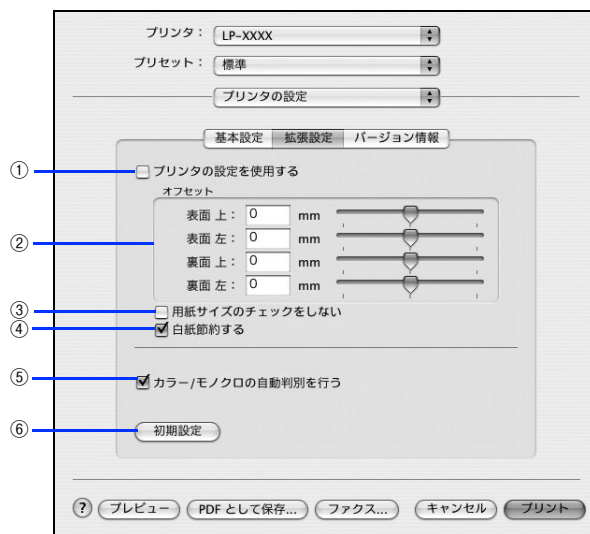
■ パスワード印刷ジョブの削除

パスワード印刷ジョブはプリンタのハードディスクユニットに一旦保存され、以下の条件で削除されます。

- 印刷したとき
- 印刷しないで本機の電源をオフにしたとき（未印刷のすべてのパスワード印刷ジョブを削除）
- 操作パネルで［データ消去］を実行したとき
- 操作パネルで［リセットオール］を実行したとき（未印刷のすべてのパスワード印刷ジョブを削除）

プリンタのハードディスクユニット内のデータを完全に消去するときや廃棄するときは、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表に記載されています。

[拡張設定]ダイアログ

［プリンタの設定］ダイアログで［拡張設定］を選択すると、印刷にかかわるさまざまな拡張機能を設定できます。

①プリンタの設定を使用する

②［オフセット］、③［用紙サイズのチェックをしない］、④［白紙節約する］の項目は、プリンタ本体とプリンタドライバどちらの設定を使用して印刷するかを選択できます。

- チェックを付けると、プリンタ本体の設定を使用して印刷します（プリンタドライバでは設定できません）。
- チェックを外すと、プリンタドライバでの設定を使用して印刷します（プリンタ本体の設定を無視します）。

②オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）：-30mm（上方向）～ 30mm（下方向）

左（水平位置）：-30mm（左方向）～ 30mm（右方向）

③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

④白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

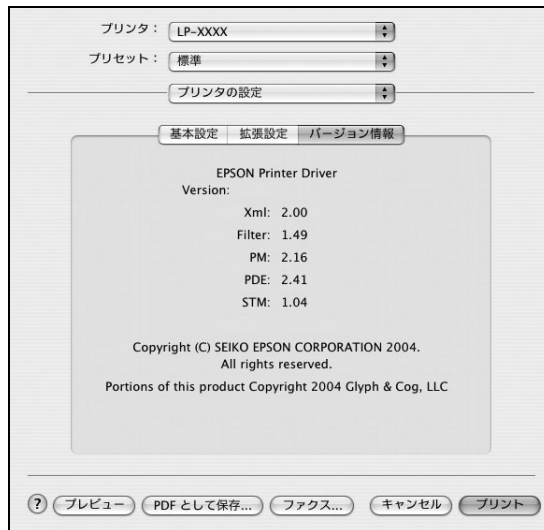
⑤カラー/ モノクロの自動判別を行う

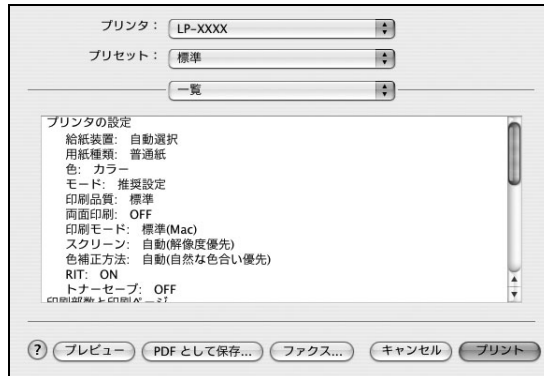
印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

⑥初期設定

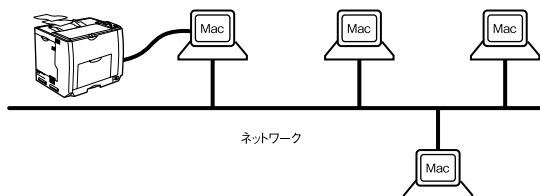
［拡張設定］ダイアログの設定を初期設定に戻します。

[バージョン情報]ダイアログ

［プリンタの設定］ダイアログで［バージョン情報］を選択すると、プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

[一覧]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［一覧］を選択すると、［プリント］ダイアログのすべての設定を一覧で表示しますので、設定を一度に確認できます。

＊　機種によって表示する設定は異なります。また、Mac OS X のバージョンによってダイアログの表示形式が異なります。

プリンタを共有するには

プリンタを直接接続したコンピュータがネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかのコンピュータから共有することができます。

- Mac OS X v10.2 以降のプリンタ共有機能は、各ユーザーのコンピュータが Mac OS X v10.2 以降で起動している場合のみご利用いただけます。
- ネットワーク環境に接続しているときは、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどのコンピュータからでも直接［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］からプリンタを追加して印刷することができます。
  本書 217 ページ「印刷を始める前に」

プリンタを共有するには

ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続したコンピュータで以下の設定を行ってください。

1 **プリンタの電源をオン（ I ）にします。**

2 **［Dock］または［アプリケーション］フォルダから［システム環境設定］を開き［共有］をクリックします。**

3 ［プリンタ共有］をクリックしてチェックを付けます。

- プリンタの共有を停止する場合は、［停止］をクリックします。
- 上記画面の［コンピュータ名］、［Rendezvous 名］、［ネットワークアドレス］は、ネットワーク環境によって異なります。

4 ［システム環境設定］メニューから［システム環境設定を終了］をクリックします。

以上で、共有の設定は終了です。

共有プリンタを使用するには

ネットワーク上の共有プリンタは、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に自動的に追加されます。通常の方法でアプリケーションソフトの［ページ設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

- Mac OS X v10.2 以降のプリンタ共有機能は、各ユーザーのコンピュータが Mac OS X v10.2 以降で起動している場合のみご利用いただけます。
- 共有プリンタの電源がオフ（◯）でも、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に共有プリンタが表示されたままの場合があります。
- 共有プリンタを直接接続しているコンピュータがシステム終了すると、共有プリンタは各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］から自動的に消えます。
- 各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に複数のプリンタが追加されている場合は、共有プリンタをデフォルトプリンタとして選択するか、印刷のたびに共有プリンタを選択してください。

プリンタの状態をコンピュータで監視するには

EPSON ステータスモニタは、プリンタの状態をコンピュータ上で監視できるユーティリティです。また、ネットワークプリンタを監視してプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

EPSON ステータスモニタを初めて起動する場合は、［プリント］ダイアログを一度開いてから起動してください。

対処が必要な場合は

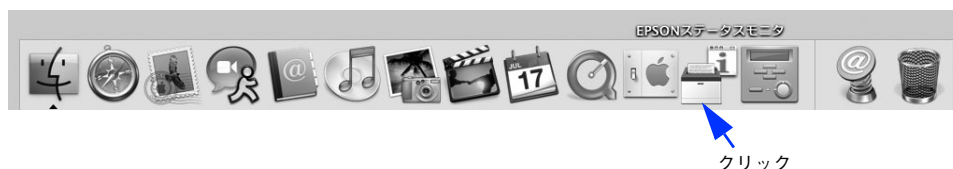
アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生すると、EPSON ステータスモニタの［簡易ステータス］ダイアログがコンピュータの画面上に現れ、メッセージを表示します。［詳細］をクリックして［詳細ステータス］ダイアログのメッセージに従って対処してください。エラーが解消されると自動的に閉じます。

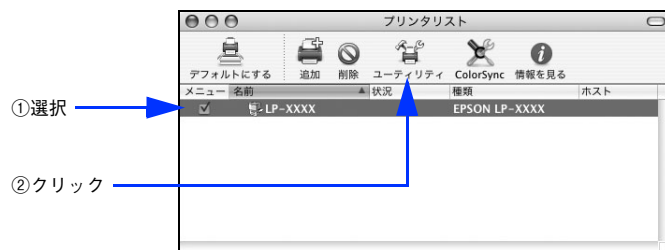
①［詳細］ボタン
［詳細ステータス］ダイアログを表示します。
本書 281 ページ「［ステータス］タブ」

②［閉じる］ボタン
［簡易ステータス］ダイアログを閉じます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON ステータスモニタでプリンタの状態を確かめるために、次の 2 通りの方法で［詳細ステータス］ダイアログの各タブ画面を開くことができます。

［方法 1］
Mac OS X の Dock にある EPSON ステータスモニタのアイコンをクリックして［詳細ステータス］ダイアログを開きます。

EPSON ステータスモニタを起動する前に、監視したいプリンタが［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で追加 / 選択されているか確認してください。

［方法 2］
［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開いて［プリンタリスト］でプリンタを選択し、［ユーティリティ］をクリックして［詳細ステータス］ダイアログを開きます。

本機を Rendezvous/Bonjour 接続している場合は、［プリンタリスト］画面の［ユーティリティ］をクリックしても、EPSON ステータスモニタは起動しません（Mac OS X の仕様により、WEB ブラウザが起動します）。Dock から EPSON ステータスモニタを起動してください。なお、Rendezvous/Bonjour 以外の接続では、［ユーティリティ］から EPSON ステータスモニタを起動できます。

■ [ステータス]タブ

EPSON ステータスモニタの［ウィンドウ］メニューから［LP-S6500］/［LP-S4500］－［詳細ステータス］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログの［ステータス］タブが開き、プリンタの状態を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生したときにその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

③[トラブル解決法]ボタン

ユーザーズガイド（PDF）がインストールされている環境下で、用紙詰まりなどのエラーが発生したときに該当する解決法の説明があると、［トラブル解決法］ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、解決法が表示されます。［通知設定］ダイアログの［トラブル解決法の参照］のチェックが外れているときは表示されません。

☞ 本書 285 ページ「［通知設定］ダイアログ」

ユーザーズガイド（PDF）は、通常プリンタドライバと一緒にインストールされます。インストールしなかったときは、「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」からインストールしてください。

■［消耗品］タブ

EPSON ステータスモニタの［ウィンドウ］メニューから［LP-S6500］/［LP-S4500］－［消耗品情報］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログの［消耗品］タブが開き、消耗品の状態を表示します。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。

②トナー

セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニング発生時に該当色のアイコンが点滅します。

③廃トナーボックス

廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

④感光体ユニット

セットされている感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニング発生時にアイコンが点滅します。

■ [ジョブ情報]タブ

ジョブ管理機能が使用できる接続環境下で表示され、ネットワークプリンタに印刷した情報を見ることができます。ジョブ管理機能を使用するには、以下の条件でプリンタがネットワーク接続されている必要があります。

- プリントサーバなどを介さずにネットワークに直接接続されていること
- プリンタが Rendezvous、TCP/IP、EPSON AppleTalk で登録されていること

EPSON ステータスモニタの［ウィンドウ］メニューから［LP-S6500］/［LP-S4500］－［ジョブ情報］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログの［ジョブ情報］タブが開き、ジョブ情報を表示します。

① ジョブリスト

プリンタで処理中のジョブの文書名、状態（待機中、印刷中、印刷済、削除中、削除済、保持）、ユーザー名、コンピュータ名、ジョブタイプを、ジョブごとに表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

ジョブ情報リストの項目の境界を左右にドラッグするとコラムの幅を変更することができます。また、項目ごとドラッグすると位置を変更することができます（ただしアイコンのコラムは移動できません）。項目の右端にある三角ボタンを押すとジョブリストの表示を逆にすることができます。デフォルト表示は新しいジョブが上になります。

② [表示設定]ボタン

ジョブリストの表示を設定します。

- 表示する項目名にチェックを付けると表示し、チェックを外すと表示しません。
- ［すべてのジョブ］をクリックすると処理中のすべてのジョブ情報をジョブリストに表示します。［自分のジョブのみ］をクリックすると、Mac OS X にログインしているユーザーが処理中のジョブのみ表示します。
- ［パスワード印刷のみ］にチェックマークを付けると、パスワード印刷ジョブを対象に表示します。

③［情報の更新］ボタン

最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

④［印刷中止］ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中、待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

［印刷終了通知］ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されていると、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法は、以下のページを参照してください。

本書 285 ページ「［通知設定］ダイアログ」

①印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名、ジョブタイプを表示します。

②通知数

印刷終了通知の通知数を表示します。

③［前の通知］ボタン

クリックすると、1 つ前の終了通知を表示します。通知数が 0 になった場合（終了通知がすべてなくなった場合）はグレーアウトされます。

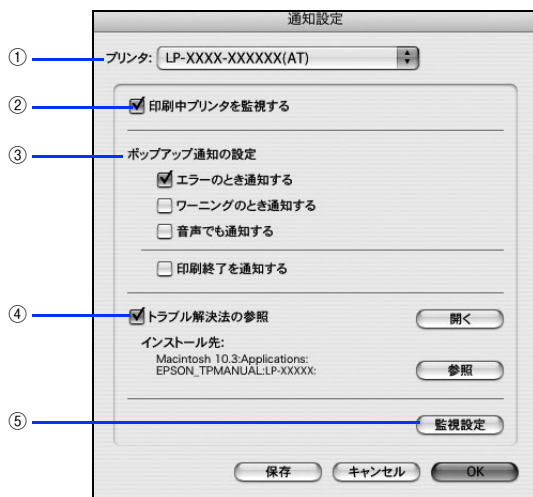
④［閉じる］ボタン

印刷の終了を確認したら、クリックしてダイアログを閉じます。

［通知設定］ダイアログの［印刷中プリンタを監視する］がチェックされていないとは、印刷終了通知は行われません。

本書 285 ページ「［通知設定］ダイアログ」

[通知設定]ダイアログ

EPSON ステータスモニタを起動して、［ファイル］メニューから［設定設定］をクリックすると、［通知設定］ダイアログが表示されます。EPSON ステータスモニタの監視機能を設定します。

①プリンタ

複数プリンタを監視しているときに、設定を行うプリンタを切り替えます。

②印刷中プリンタを監視する

印刷中にプリンタを監視します。

③ポップアップ通知の設定

エラーやワーニング発生時に［簡易ステータス］ダイアログで知らせるかどうかを設定します。

項目	内容
エラーのとき通知する	エラー発生時に通知します。
ワーニングのとき通知する	ワーニング発生時に通知します。
音声でも通知する	お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）ときに、エラーやワーニングを音声でも通知します。
印刷終了を通知する	印刷が終了すると通知します（ジョブ管理機能でサポートしていない環境ではグレーアウトして設定できません）。 ☞本書 284 ページ「［印刷終了通知］ダイアログ」

④トラブル解決法の参照

トラブル発生時に解決法を説明するファイルを設定します。このチェックボックスがオンになっていると、紙詰まりなどのエラーが発生したときに該当する解決法の説明があると、［詳細ステータス］ダイアログの［ステータス］タブに［トラブル解決法］ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、解決法が表示されます。このチェックボックスがオフになっていると、［トラブル解決法］ボタンは表示されません。

項目	説明
［開く］	クリックすると、解決法の先頭ページを表示します。
［インストール先：］	トラブル解決法がインストールされている場所を表示します。［参照］をクリックしてトラブル解決法のインストール先を変更した場合は、変更先が表示されます。
［参照］	トラブル解決法を保存したフォルダを選択できます。ネットワーク環境でトラブル解決法のファイルをサーバだけに置く場合など、トラブル解決法のインストール先を変更したときにクリックしてください。

⑤［監視設定］ボタン

［監視設定］をクリックすると、監視する間隔（ローカル接続時 6 ～ 60 秒 / ネットワーク接続時 15 ～ 60 秒）を設定できます。なお、［初期値に戻す］をクリックすると、監視間隔を初期値に戻します。

ColorSyncについて

ColorSyncとは

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。

このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるためのカラーマネージメントシステムとしてコンピュータでは ColorSync があります。本機は、この ColorSync 3.0 に対応しています。

この ColorSync によるカラーマッチングを行うには、画像入力機器、画像取り込みアプリケーションソフト、画像出力機器、すべてが ColorSync に対応している必要があります。

ColorSyncを使用して印刷するには

本機で ColorSync を使用する場合は、次の基本手順に従ってください。

1 正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。

ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない ときは、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

2 ColorSync で使用するディスプレイプロファイルを選択します。

最適なディスプレイプロファイルは、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

① [アプリケーション] − [ユーティリティ] フォルダを開いて [ColorSync ユーティリティ] アイコンをダブルクリックします。
② [装置] アイコンをクリックします。
③ [登録済みの ColorSync 装置] リストにある [ディスプレイ] の三角マークをクリックして、表示されたディスプレイプロファイルをクリックします。
④ [現在のプロファイル] メニュー（三角マーク）を クリックし、[その他] をクリックします。
⑤ 使用するディスプレイに適したプロファイルをダイアログから選択します。

ディスプレイプロファイルの保存場所は、[ColorSync ユーティリティ] の [プロファイル] アイコンをクリックして探せます。

3 アプリケーションソフトで、ColorSync を設定にします。

設定方法は、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

4 印刷実行時に、ColorSync を設定します。

[詳細設定変更] ダイアログで [ColorSync] を選択します。
☞ 本書 250 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

- ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例 EPSON Scan）で ColorSync を選択してから画像を取り込んでください。
- ColorSync を使用する場合は、アプリケーションソフトを RGB モードに設定して作業してください。CMYK や Lab モードでは、正しく色合わせすることができません。
- 一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 7.0J 以降、Photoshop 6.0J 以降、Illustrator 10.0J 以降など）では、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます。プリンタドライバの［カラー / グラフィック設定］ダイアログで［ドライバによる色補正］を選択して、［色補正方法］を［色補正なし］に設定してください。

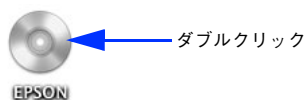
プリンタソフトウェアの削除方法

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールしたりプリンタソフトウェアをバージョンアップするときは、すでにインストールしているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

参考	プリンタソフトウェアのアンインストール（削除）は、管理者権限をお持ちの方が行ってください。

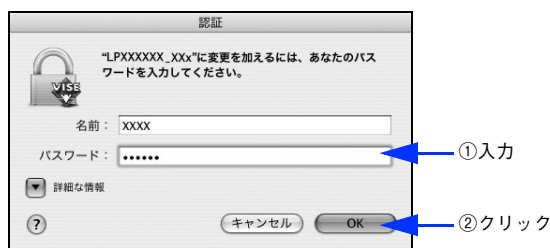
1 **起動しているアプリケーションソフトを終了し、コンピュータを再起動します。**

2 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

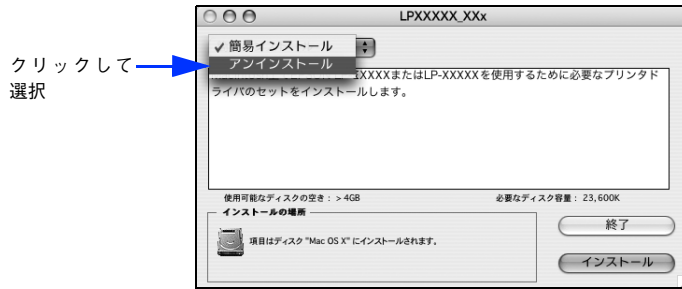
3 **デスクトップ上の［EPSON］CD-ROM アイコンをダブルクリックして開きます。**

4 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Mac OS X 専用ソフトウェア］－［プリンタドライバ］の順に開き、［LPS6500-S4500_xxx*］をダブルクリックします。**

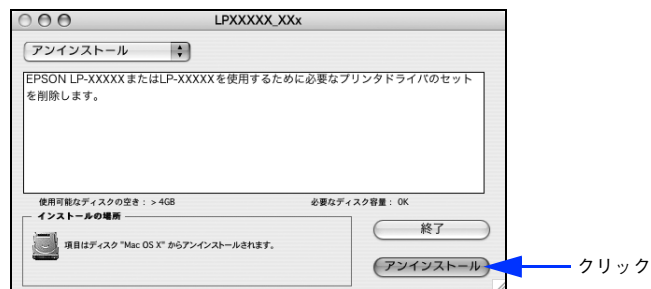
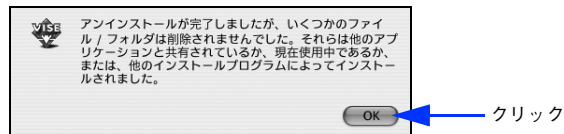
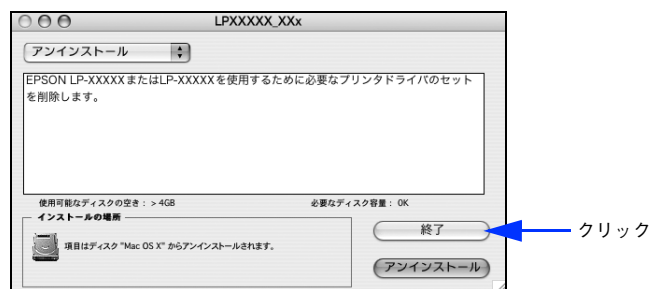
［プリンタドライバ］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。

* 例えば「10a」のようにインストーラのバージョンを表示します。

5 **［パスワード］を入力して［OK］をクリックします。**

6 **使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。**

ライセンス内容を表示する画面を最後までスクロールしてお読みいただいてから［同意］をクリックします。

7 インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。

8 ［アンインストール］をクリックします。

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

9 ［OK］をクリックします。

10 ［終了］をクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

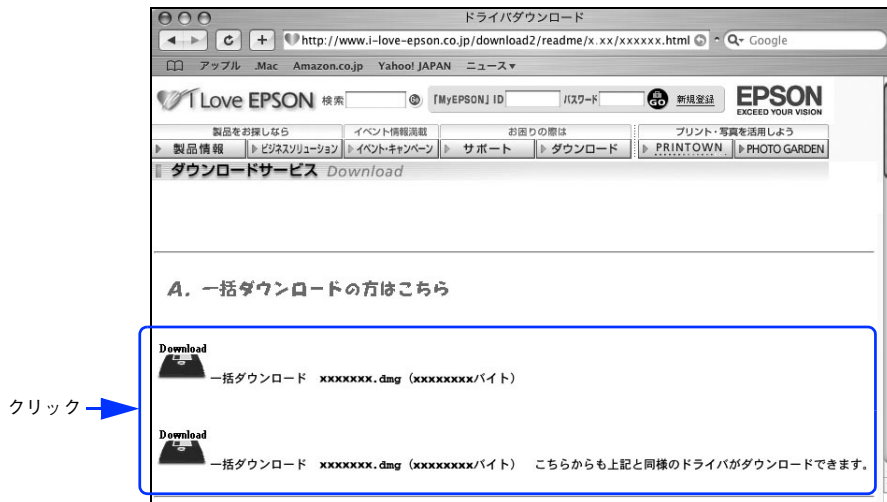
添付のソフトウェアをバージョンアップすることによって、今まで起こっていた現象が解消されることがあります。できるだけ最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。

1 **旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）します。**
☞ 本書 289 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

2 **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**
最新のソフトウェアは、エプソンのホームページからダウンロードしてください。
☞ http://www.i-love-epson.co.jp/

CD-ROM での郵送をご希望されるお客様へ
「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。詳しくは FAX インフォメーションでご確認ください。
☞「使い方ガイド」（紙マニュアル）巻末

3 **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**
ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮 *1 ファイルとなっています。ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍 *2 してからインストールしてください。

*1 圧縮：1 つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。
*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

画面は Safari を使用してエプソンのホームページへ接続した場合です。

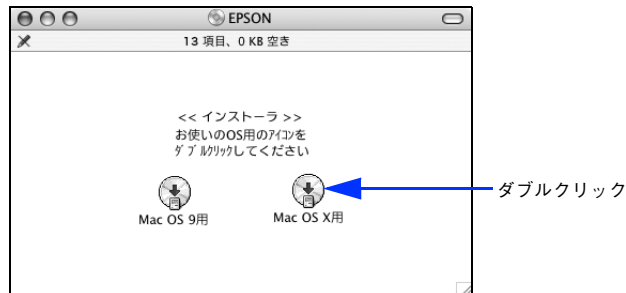
ソフトウェアの再インストール

ソフトウェアを一旦削除した後、再びインストールしたいときは以下の手順に従ってインストールしてください。また、使用しているうちにソフトウェアに不具合が生じたときなどは、一旦削除して再起動してから以下の手順に従って再インストールしてください。

☞ 本書 289 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

1 **本機の電源をオフにします。**

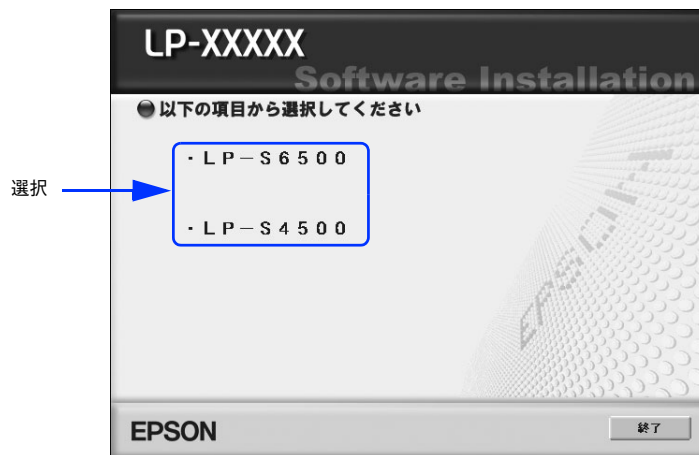
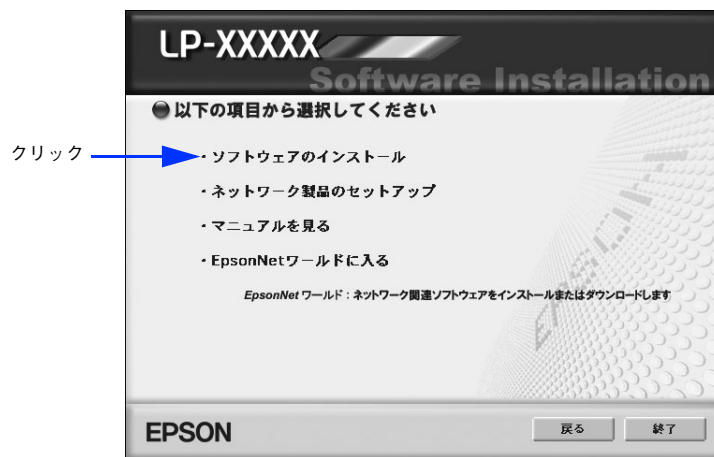
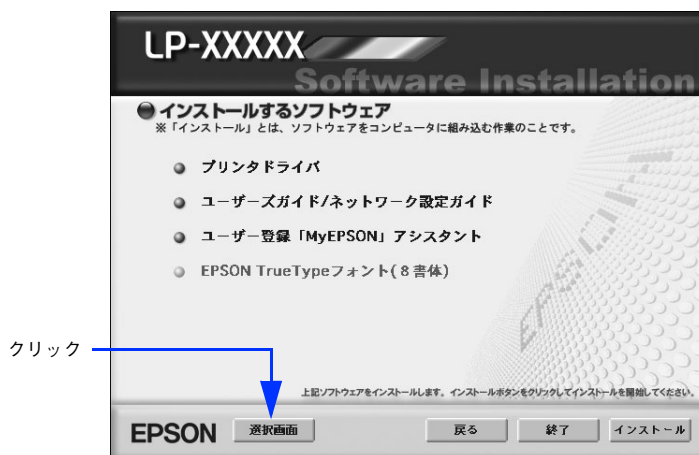
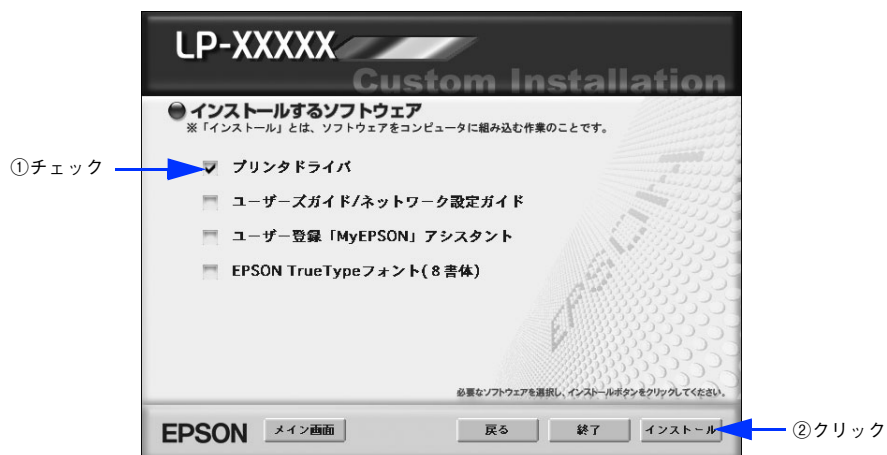
2 **コンピュータに「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**

3 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

4 **インストーラを起動します。**

5 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

ウィルスチェックプログラムを起動している場合は［インストール中止］をクリックして、3 からやり直します。

6 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

7 プリンタの機種名を選択します。

8 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

9 ［選択画面］をクリックします。

10 ［プリンタドライバ］のみをチェックして、［インストール］をクリックします。

その他の項目がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

11 この後は、画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

以上でプリンタドライバがインストールされます。

4 USB メモリから直接印刷

USB メモリ（USB フラッシュメモリなどのデバイス）にファイルを保存して、プリンタから直接印刷する方法を説明しています。

USB メモリ使用時のご注意

本機に USB メモリ（USB フラッシュメモリなどのデバイス）を装着して使用するときは、以下の 3 点も併せてご留意ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピュータ、その他の機器へのデータ転送が正常に行えなかった場合、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等）は、補償致しかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、USB メモリ内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

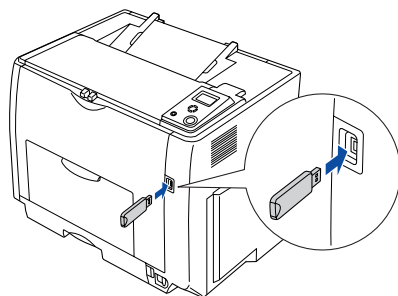
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災による被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

USB メモリを譲渡 / 廃棄するときのご注意

USB メモリを譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、USB メモリ内のデータを完全に消去することをお勧めします。コンピュータ上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。または廃棄時、USB メモリを物理的に破壊することもお勧めします。

USB メモリへのファイル保存

印刷可能なファイル（文書ファイル：EPN、画像ファイル：JPEG、TIFF）を USB メモリ（USB フラッシュメモリなどのデバイス）に保存して本機の USB デバイスコネクタに接続すれば、プリンタの操作パネルから直接印刷することができます。

セキュリティのかかっている USB メモリや、形状（物理）的に本機と接続不可な USB メモリは使用できません。

Mac OS では以下の手順で、USB メモリへファイルをコピーまたは削除してください。本機に添付の Windows 用 USB メモリプリントメーカーは利用できません（文書ファイルは作成できません）。

コンピュータから USB メモリへ画像ファイルをコピー/ 削除する

印刷可能な画像ファイル（JPEG、TIFF）を USB メモリへコピーまたは削除する手順の概略は以下の通りです。

1 USB メモリをコンピュータの USB ポートに接続します。

OS が USB メモリを認識するまでしばらく待ちます。

2 USB メモリに印刷可能な画像ファイルをコピーするか、USB メモリからファイルを削除します。

Windows

［スタート］メニューやデスクトップから、コンピュータに接続した USB メモリに対応するリムーバブルメディアのウィンドウを開き、任意のフォルダに保存してある印刷可能な画像ファイル（JPEG、TIFF）を USB メモリにコピーします。印刷する必要のなくなった画像ファイルは、USB メモリから削除します。

Mac OS

コンピュータに接続した USB メモリに対応するリムーバブルメディアのアイコンがデスクトップに表示されます。そのアイコンを開いて、任意のフォルダに保存してある印刷可能な画像ファイル（JPEG、TIFF）を USB メモリにコピーします。印刷する必要のなくなった画像ファイルは、USB メモリから削除します。

3 USB メモリをコンピュータの USB ポートから取り外します。

！注意 USB メモリをコンピュータから取り外すときは、各 OS が定める所定の手順に従ってください。詳細は、各 OS のヘルプまたは USB メモリの取扱説明書を参照してください。

コピーしたファイルの印刷は、以下のページを参照してください。

本書 303 ページ「インデックス印刷」
本書 310 ページ「画像ファイル印刷」

Windows での文書ファイルの作成と保存

EPSON USB メモリプリントメーカー は、「Microsoft Word」など市販のアプリケーションソフトを使って作成したファイルを EPN ファイルに変換するソフトウェアです。EPN ファイルとは、USB メモリをプリンタへ直接接続して印刷する方法に対応した形式のファイルです。お使いのコンピュータに接続した USB メモリに直接保存します。この USB メモリを本機の USB デバイスコネクタに接続すると、簡単に印刷ができます。EPSON USB メモリプリントメーカーのインストール手順は、以下のページを参照してください。

本書 299 ページ「USB メモリプリントメーカーのインストール手順」

EPN ファイルを作成する方法は、以下の 2 通りあります。

- デスクトップ上の「USB メモリプリントメーカー」アイコンにドラッグ&ドロップする

- 市販のアプリケーションソフトの印刷画面からプリンタに［EPSON USB メモリプリンタ］を選んで印刷

操作手順の詳細は、［スタート］－［すべてのプログラム］/［プログラム］－［EPSON］－［USB メモリプリントメーカー］－［USB メモリプリントメーカーオンラインヘルプ］をクリックして、ヘルプを参照してください。

次のアプリケーションソフトに関連付けられているファイルは、ドラッグ & ドロップで EPN ファイルが作成できます。

- Microsoft Word 2000 以降
- Microsoft Excel 2000 以降
- Microsoft PowerPoint 2000 以降
- 一太郎 Ver.13 以降
- Adobe Acrobat 6.0 以降
- Adobe Reader 6.0 以降

上記以外のアプリケーションソフトに関連付けられたファイルは、各アプリケーションソフトの印刷画面から作成します。

文書ファイルの削除方法

文書ファイルを USB メモリから削除する手順の概略は以下の通りです。

1 USB メモリをコンピュータの USB ポートに接続します。

OS が USB メモリを認識するまでしばらく待ちます。

2 USB メモリからファイルを削除します。

［スタート］メニューやデスクトップから、コンピュータに接続した USB メモリに対応するリムーバブルメディアのウィンドウを開き、保存してある文書ファイルを削除します。

3 USB メモリをコンピュータの USB ポートから取り外します。

!注意 USB メモリをコンピュータから取り外すときは、各 OS が定める所定の手順に従ってください。詳細は、各 OS のヘルプまたは USB メモリの取扱説明書を参照してください。

USB メモリプリントメーカーのインストール手順

USB メモリプリントメーカーをインストールするには、以下の手順に従ってください。

- インストールを行う前に、LP-S6500/LP-S4500 のプリンタドライバから正常に印刷できることを確認してください。
- インストールは、Windows 2000/Server 2003 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。なお、インストール後はすべてのユーザーが USB メモリプリントメーカーを利用できます。

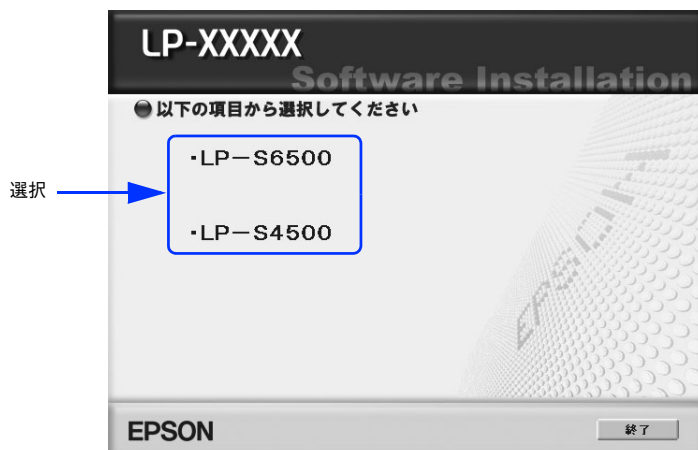
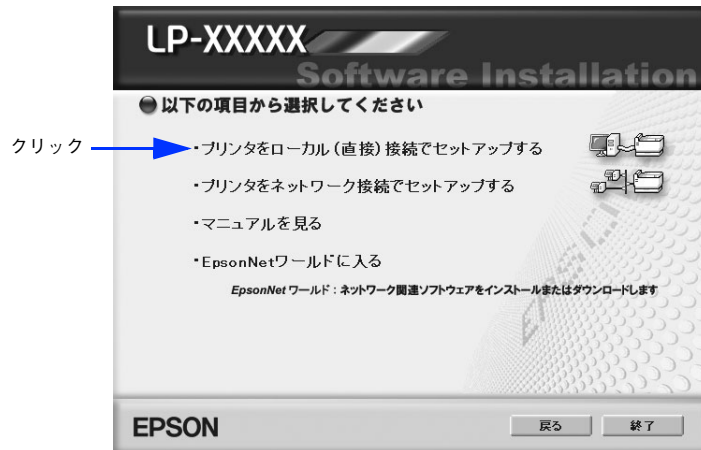
1 **Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。**

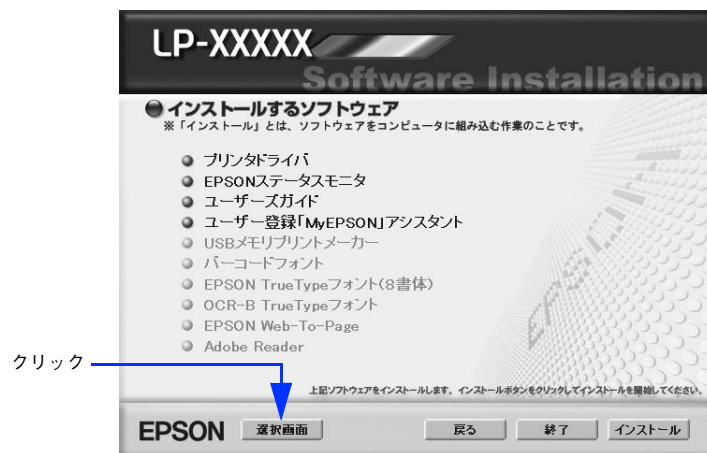
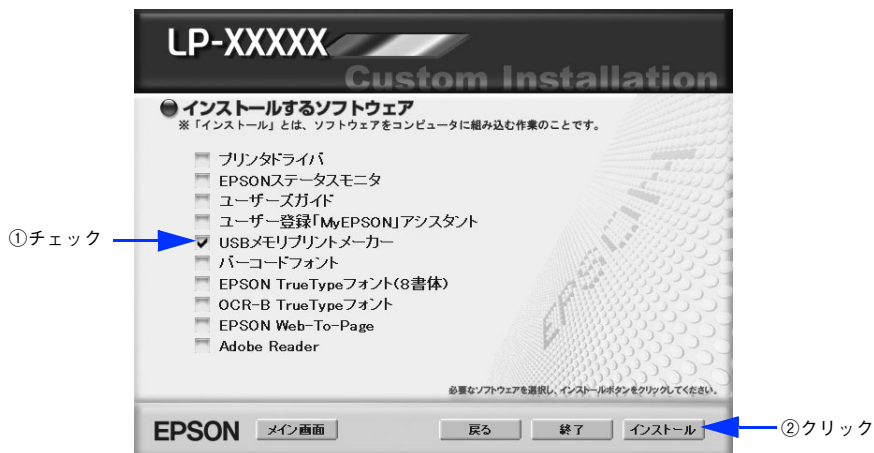
2 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

ウィルスチェックプログラムを起動している場合は、［インストール中止］をクリックし、ウィルスチェックプログラムを終了して 1 からやり直します。

上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［EPSETUP.EXE］をダブルクリックしてください。

3 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

4 **プリンタの機種名を選択します。**

5 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］を選択して次に進みます。

6 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

7 ［選択画面］をクリックします。

8 以下の画面が表示されたら、［USB メモリプリントメーカー］にチェックを付けて［インストール］をクリックします。

9 インストーラの起動画面を確認して［次へ］をクリックします。

10 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［使用許諾契約の全条項に同意します］をクリックして、［次へ］をクリックします。

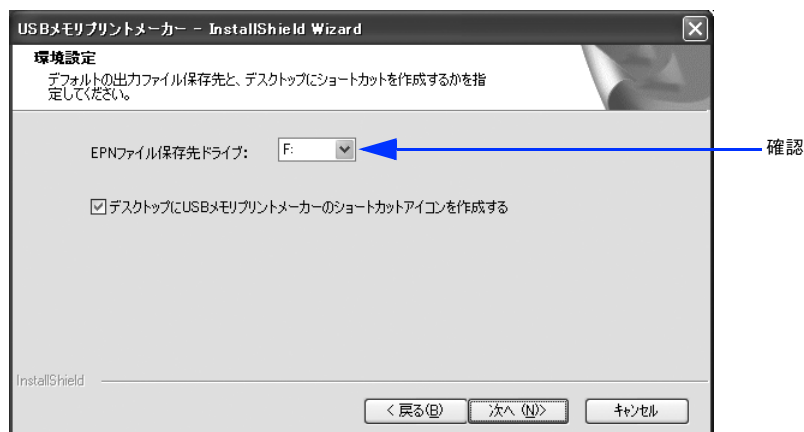
11 インストール先を確認して［次へ］をクリックします。

特に意図しない限り、表示されたフォルダにそのままインストールします。インストール先を変更するときは、［変更］をクリックしてフォルダを指定します。

12 プログラムフォルダの作成を確認して［次へ］をクリックします。

特に意図しない限り、表示されたままにします。

13 ［EPN ファイル保存先ドライブ］を確認して［次へ］をクリックします。

- 選択可能な最初の未使用ドライブをインストーラが自動的に認識して、印刷可能ファイルの保存先ドライブ（USB メモリ）とします。意図して変更しない限り、そのままにしてインストール作業を進めます。なお、この保存先ドライブは後で変更できます。
- ［デスクトップに USB メモリプリントメーカーのショートカットアイコンを作成する］にチェックマークを付けたままインストール作業を進めます。

14 **設定内容を確認して［次へ］をクリックします。**

インストールが終了するまで、しばらく待ちます。

15 **インストールの完了画面が表示されたら［完了］をクリックします。**

16 **インストーラ画面で［終了］をクリックします。**

以上でインストールは終了です。

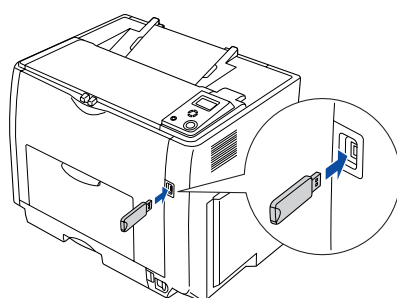
- USB メモリプリントメーカーを削除するには、Windows の［コントロールパネル］から［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開き、［USB メモリプリントメーカー］を選択して削除します。
- プリンタドライバを削除してから USB メモリプリントメーカーを削除するときは、プリンタドライバの削除後に必ず一旦 Windows を再起動してから USB メモリプリントメーカーを削除してください。
- Windows 98/Me で USB メモリプリントメーカーを一旦削除して Windows を再起動しないまま再インストールすると、USB メモリプリントメーカーが正常に動作しません。Windows を再起動すると正常な動作に戻ります。

インデックス印刷

プリンタに接続した USB メモリに保存してある印刷可能なファイル（文書ファイル：EPN、画像ファイル：JPEG、TIFF）の一覧（インデックス）が印刷できます。操作パネルに［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態から、次の手順で［インデックス印刷］メニューから印刷してください。

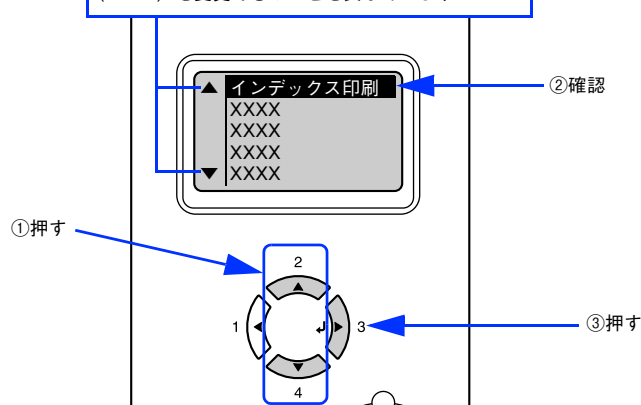
1 印刷可能なファイルを保存したUSBメモリを、本機前面のUSBデバイスコネクタに接続します。

USB メモリへのファイルの保存方法は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 297 ページ「コンピュータから USB メモリへ画像ファイルをコピー / 削除する」
☞ 本書 298 ページ「Windows での文書ファイルの作成と保存」

プリンタが USB メモリを認識すると印刷できるファイルを確認しますので、操作パネルの表示が［USB メモリファイル確認中 xx 個］から［インデックス印刷］メニューが表示されるまで待ちます。

!注意 操作パネルに［USB メモリファイル確認中 xx 個］と表示している最中に、本機から USB メモリを取り外さないでください。

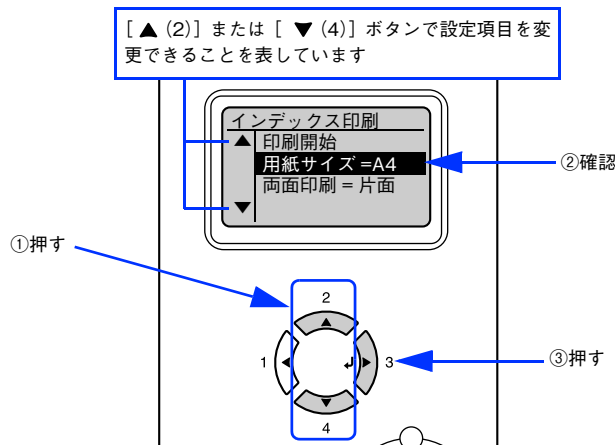
2 ［インデックス印刷］メニューを選択します。

［インデックス印刷］メニューが表示されていることを確認して［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

- ［印刷可］ボタンを押すと、設定の途中でも［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態へ戻ることができます。
- ［ ◀（1）］ボタンを押すと、1 つ前の階層へ戻ります。

3 印刷に必要な設定項目（用紙サイズ、両面印刷）の設定値を選択します。

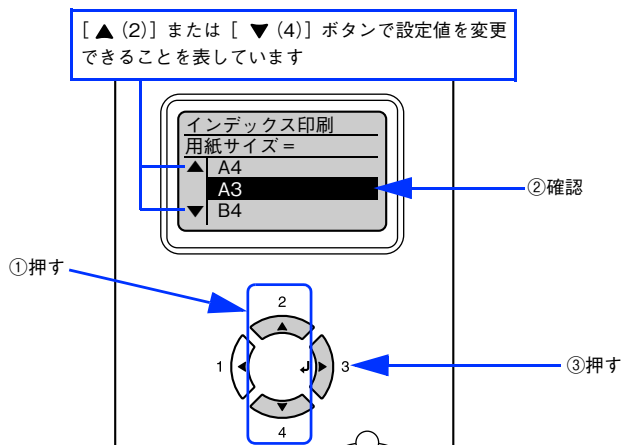
設定項目の選択

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定項目の表示を切り替えます。

②［↲▶(3)］ボタンを押します。
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

設定値を選択します。

③［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定値の表示を切り替えます。

④［↲▶(3)］ボタンを押します。
設定値が有効になり、設定項目の階層へ戻ります。

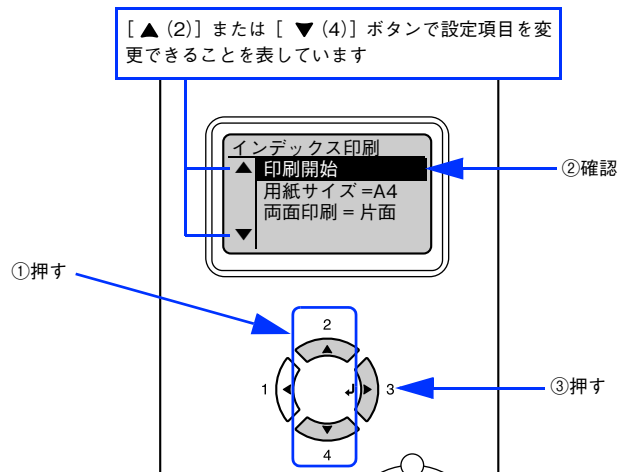
 ［↲▶(3)］ボタンを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。

下表を参照して、［用紙サイズ］と［両面印刷］を設定します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	用紙サイズ	インデックス印刷時の用紙サイズを設定します。なお、操作パネルの［給紙装置設定］メニューや用紙カセットの［用紙サイズ設定］ダイアルで設定した同じ用紙サイズの給紙装置から用紙を給紙します。
設定値	A4（初期設定）、A3、B4、B5	

設定項目	両面印刷	インデックス印刷時に両面印刷するかどうかを設定します。
設定値	片面（初期設定）	片面印刷します。
	両面長辺とじ	長辺をとじるように両面印刷します。
	両面短辺とじ	短辺をとじるように両面印刷します。

4 ［印刷開始］を選択します。

① ［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して設定項目の表示を切り替えます。

② ［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	印刷開始	プリンタに接続した USB メモリに保存されている EPN、JPEG、TIFF ファイルの一覧（インデックスシート）を印刷します。
設定値	−	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して印刷します。

印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。印刷が終了すると、［印刷できます］の状態に戻ります。

！注意 ［印刷開始］を実行後は、印刷が終了するまで、本機から USB メモリを取り外さないでください。

参考 画像ファイルは画像のサムネイルが印刷され、EPN ファイルはファイルアイコンが印刷されます。

5 印刷が終了したら、USB メモリを本機から取り外します。

USB メモリを本機から取り外してもいい状態なのかの判断は、USB メモリのランプ状態などを取扱説明書で確認してください。

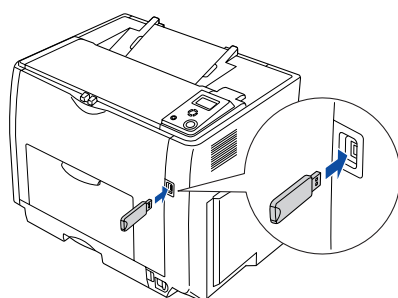
参考 印刷する必要のなくなったファイルは、USB メモリから削除してください。
☞ 本書 297 ページ「コンピュータから USB メモリへ画像ファイルをコピー / 削除する」

文書ファイル印刷（Windows）

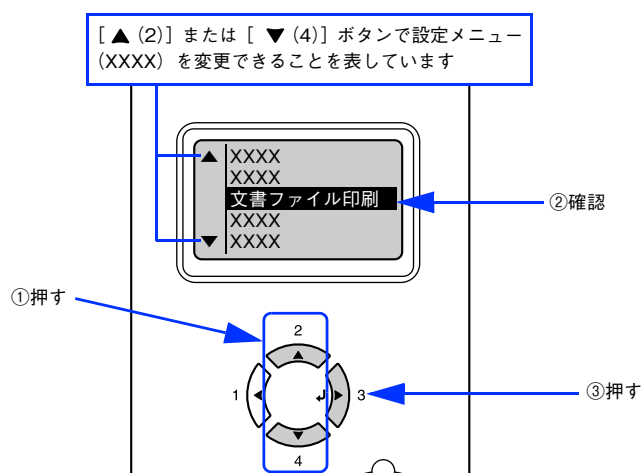
プリンタに接続した USB メモリに保存してある印刷ジョブファイル（EPN ファイル）が印刷できます。操作パネルに［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態から、次の手順で［文書ファイル印刷］メニューから印刷してください。なお、EPN ファイルは Windows 用 EPSON USB メモリプリントメーカー で作成する印刷ジョブファイルですので、Mac OS では作成できません。

1　印刷ジョブファイルを保存したUSBメモリを、本機前面のUSBデバイスコネクタに接続します。

USB メモリへのファイルの保存方法は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 298 ページ「Windows での文書ファイルの作成と保存」

プリンタが USB メモリを認識すると印刷できるファイルを確認しますので、操作パネルの表示が［USB メモリファイル確認中 xx 個］から［インデックス印刷］メニューが表示されるまで待ちます。

！注意　操作パネルに［USB メモリファイル確認中 xx 個］と表示している最中に、本機から USB メモリを取り外さないでください。

2　［文書ファイル印刷］メニューを選択します。

①［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して設定メニューのハイライト表示を切り替えます。

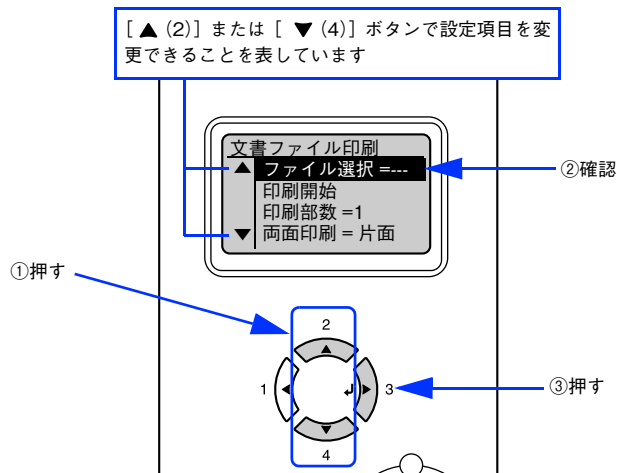
②［↲▶（3）］ボタンを押します。

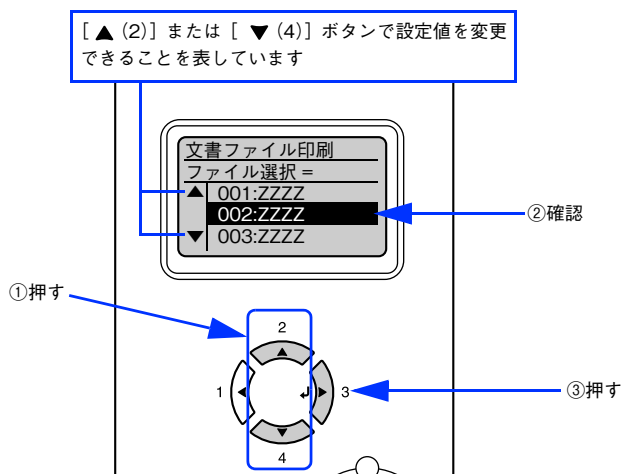
- ［印刷可］ボタンを押すと、設定の途中でも［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態へ戻ることができます。
- ［◀（1）］ボタンを押すと、1 つ前の階層へ戻ります。

3 印刷するファイルを選択します。

設定項目の選択

① ［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定項目の表示を［ファイル選択］に切り替えます。

② ［ ↲▶(3)］ボタンを押します。
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

設定値を選択します。

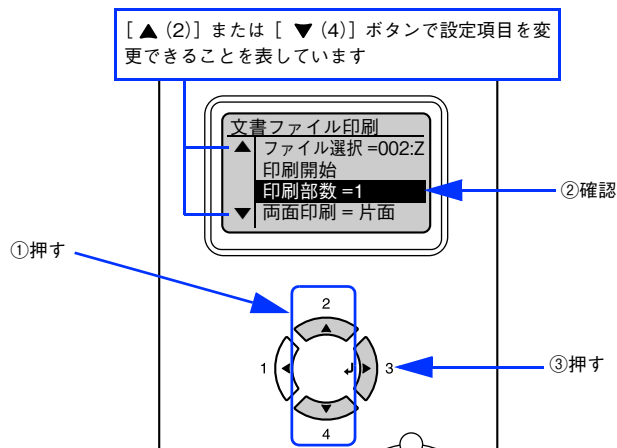
③ ［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定値（印刷ジョブファイル名）の表示を切り替えます。

④ ［ ↲▶(3)］ボタンを押します。
設定値が有効になり、設定項目の階層へ戻ります。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	ファイル選択	プリンタに接続したUSBメモリに保存されているEPNファイルを選択します。EPNファイルは、新しいファイルから作成された順に表示されます。
設定値	「ファイル名」	ファイル名は最大3行で最大半角58文字/全角28文字まで表示されます。それ以上の場合は「・・・」と省略表示されます。［▲(2)］または［▼(4)］ボタンでファイル名を選択して［ ↲▶(3)］ボタンを押します。

4 印刷に必要な設定項目（印刷部数、両面印刷）の設定値を選択します。

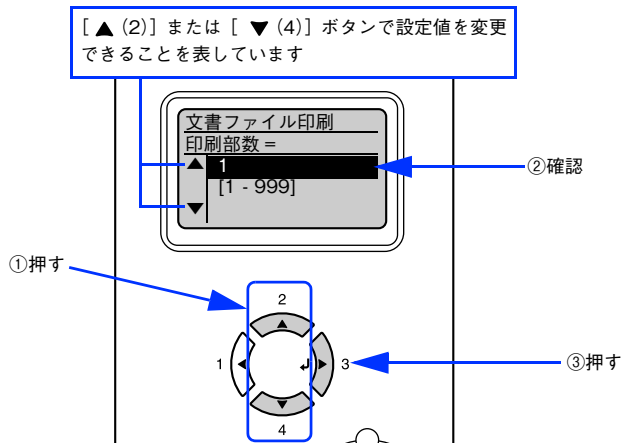
設定項目の選択

① ［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して設定項目の表示を切り替えます。

② ［ ↲▶（3）］ボタンを押します。
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

設定値を選択します。

③ ［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して設定値の表示を切り替えます。

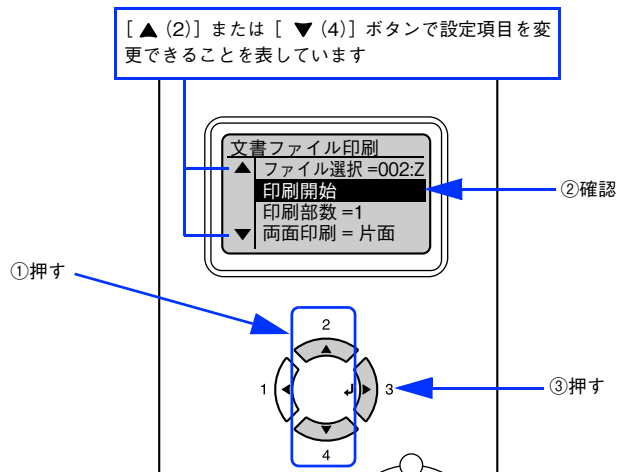
④ ［ ↲▶（3）］ボタンを押します。
設定値が有効になり、設定項目の階層へ戻ります。

［ ↲▶（3）］ボタンを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。

下表を参照して、［印刷部数］、［両面印刷］を設定します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	印刷部数	文書ファイル印刷時の印刷部数を設定します。
設定値	1 ～ 999（初期設定：1）	

設定項目	両面印刷	文書ファイル印刷時に両面印刷するかどうかを設定します。
設定値	片面（初期設定）	片面印刷します。
	両面長辺とじ	長辺をとじるように両面印刷します。
	両面短辺とじ	短辺をとじるように両面印刷します。

5 ［印刷開始］を選択します。

①［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して設定項目の表示を切り替えます。

②［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	印刷開始	選択したファイルを印刷します。
設定値	－	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して印刷します。

印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。印刷が終了すると、［印刷できます］の状態に戻ります。

！注意 ［印刷開始］を実行後は、印刷が終了するまで、本機から USB メモリを取り外さないでください。

6 印刷が終了したら、USB メモリを本機から取り外します。

USB メモリを本機から取り外してもいい状態なのかの判断は、USB メモリのランプ状態などを取扱説明書で確認してください。

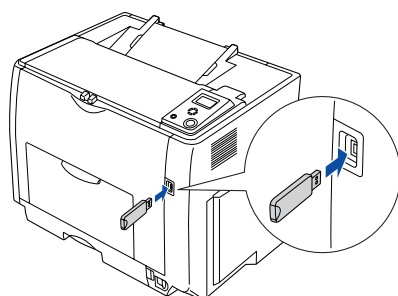
参考 印刷する必要のなくなったファイルは、USB メモリから削除してください。
☞ 本書 297 ページ「コンピュータから USB メモリへ画像ファイルをコピー / 削除する」

画像ファイル印刷

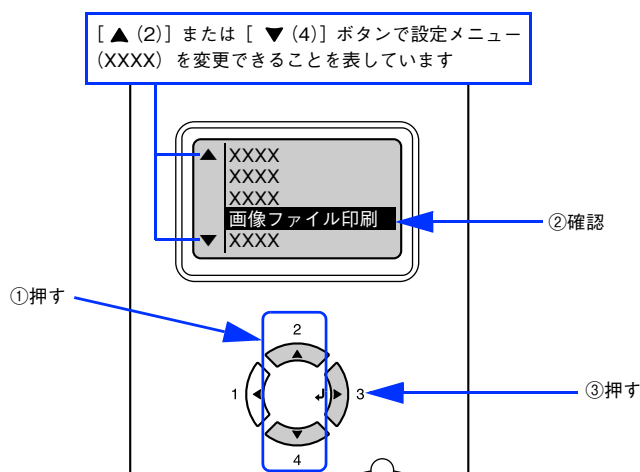
プリンタに接続した USB メモリに保存してある画像ファイル（JPEG、TIFF ファイル）が印刷できます。操作パネルに［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態から、次の手順で［画像ファイル印刷］メニューから印刷してください。

1 画像ファイル（JPEG または TIFF ファイル）を保存した USB メモリを、本機前面の USB デバイスコネクタに接続します。

USB メモリへのファイルの保存方法は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 297 ページ「コンピュータから USB メモリへ画像ファイルをコピー / 削除する」
☞ 本書 298 ページ「Windows での文書ファイルの作成と保存」

プリンタが USB メモリを認識すると印刷できるファイルを確認しますので、操作パネルの表示が［USB メモリファイル確認中 xx 個］から［インデックス印刷］メニューが表示されるまで待ちます。

!注意 操作パネルに［USB メモリファイル確認中 xx 個］と表示している最中に、本機から USB メモリを取り外さないでください。

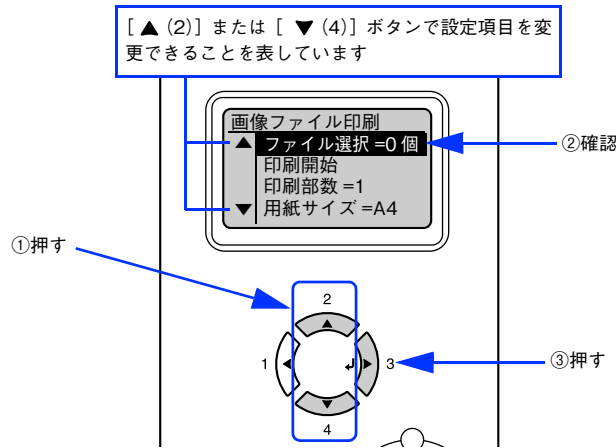
2 ［画像ファイル印刷］メニューを選択します。

① ［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して設定メニューのハイライト表示を切り替えます。
② ［↲▶（3）］ボタンを押します。

- ［印刷可］ボタンを押すと、設定の途中でも［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態へ戻ることができます。
- ［◀（1）］ボタンを押すと、1 つ前の階層へ戻ります。

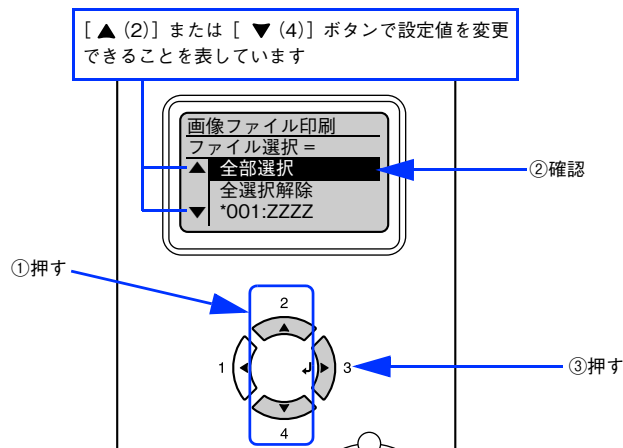
3 印刷するファイルを選択します。

設定項目の選択

① ［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定項目の表示を［ファイル選択］に切り替えます。

② ［ ↲▶(3)］ボタンを押します。
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

設定値を選択します。

③ ［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定値（［全部選択］、［全選択解除］、［###（ファイル番号）:ZZZZZ（ファイル名）］）の表示を切り替えます。

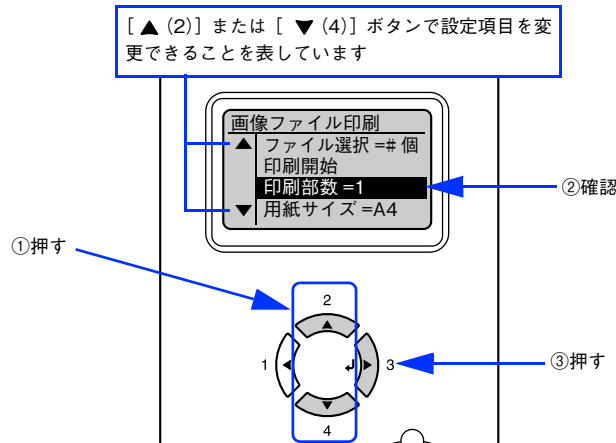
④ ［ ↲▶(3)］ボタンを押します。
［全選択］：すべてのファイルが選択されます。
［全選択解除］：すべてのファイルに対して、選択状態を解除します。
［###（ファイル番号）:ZZZZZ（ファイル名）］：個々のファイルに対して選択・非選択を切り替えます。選択されているファイルは、表示の先頭に「*」印が付きます（選択されていないファイルに「*」印は付きません）。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	ファイル選択	プリンタに接続した USB メモリに保存されている JPEG または TIFF ファイルを選択します。
設定値	全部選択	すべてのファイルを選択します。
	全選択解除	すべてのファイルの選択状態を解除します。
	「ファイル名」	［▲(2)］または［▼(4)］ボタンでファイル名を選択して［ ↲▶(3)］ボタンを押します。個々のファイルに対して選択・非選択を切り替えます。選択されているファイルは、表示の先頭に「*」印が付きます（選択されていないファイルに「*」印は付きません）。

4 ［◀(1)］ボタンを押して設定項目の階層へ戻ります。

5 印刷に必要な設定項目（印刷部数、用紙サイズ、割り付け設定、両面印刷、ファイル名印刷）の設定値を選択します。

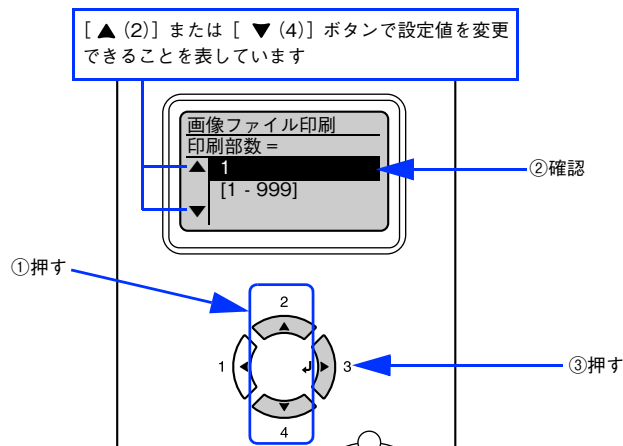
設定項目の選択

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定項目の表示を切り替えます。

②［↲▶(3)］ボタンを押します。
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

設定値を選択します。

③［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定値の表示を切り替えます。

④［↲▶(3)］ボタンを押します。
設定値が有効になり、設定項目の階層へ戻ります。

［↲▶(3)］ボタンを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。

下表を参照して、［印刷部数］、［用紙サイズ］、［割り付け設定］、［両面印刷］、［ファイル名印刷］を設定します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	印刷部数	画像ファイル印刷時の印刷部数を設定します。
設定値	1 ～ 999（初期設定：1）	

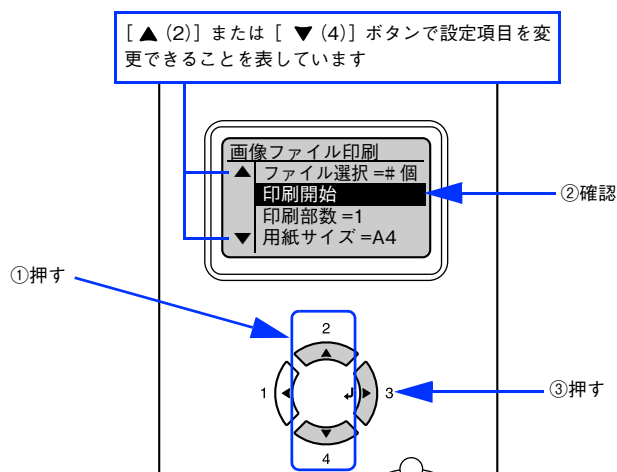
設定項目	用紙サイズ	画像ファイル印刷時の用紙サイズを設定します。
設定値	A4（初期設定）、A3、B4、B5	選択した用紙サイズに合わせて印刷します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	割り付け設定	画像ファイル印刷時に割り付け印刷するかどうかを設定します。
設定値	なし（初期設定）	割り付け印刷しません。
	2 面	1 ページに 2 面割り付け印刷します。
	4 面	1 ページに 4 面割り付け印刷します。
	8 面	1 ページに 8 面割り付け印刷します。

設定項目	両面印刷	画像ファイル印刷時に両面印刷するかどうかを設定します。
設定値	片面（初期設定）	片面印刷します。
	両面長辺とじ	長辺をとじるように両面印刷します。
	両面短辺とじ	短辺をとじるように両面印刷します。

設定項目	ファイル名印刷	画像ファイル印刷時にファイル名を印刷するかどうかを設定します。
設定値	する（初期設定）	ファイル名を印刷します。
	しない	ファイル名を印刷しません。

6 ［印刷開始］を選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定項目の表示を切り替えます。
②［↲▶(3)］ボタンを押します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	印刷開始	選択したファイルを印刷します。
設定値	−	設定値はありません。［↲▶(3)］ボタンを押して印刷します。

印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。印刷が終了すると、［印刷できます］の状態に戻ります。

! 注意 ［印刷開始］を実行後は、印刷が終了するまで、本機から USB メモリを取り外さないでください。

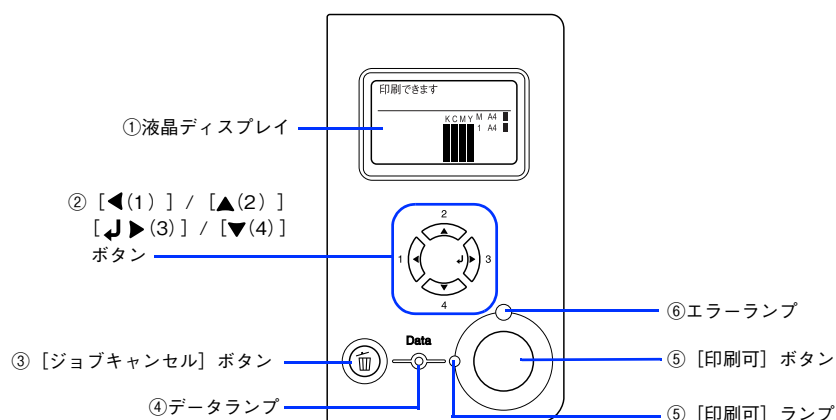
7 印刷が終了したら、USB メモリを本機から取り外します。

USB メモリを本機から取り外してもいい状態なのかの判断は、USB メモリのランプ状態などを取扱説明書で確認してください。

印刷する必要のなくなったファイルは、USB メモリから削除してください。
☞ 本書 297 ページ「コンピュータから USB メモリへ画像ファイルをコピー / 削除する」

5 操作パネルからの設定

操作パネルから設定する場合の説明と、メッセージの内容やボタン操作によって実行できる機能の説明をしています。

操作パネルの概要

①液晶ディスプレイ

プリンタの状態や、機能の設定値を表示します。KCMY トナーの残量（目安）を液晶ディスプレイ上に表示し、その右側に給紙装置ごとの用紙残量を表示します。また、エラーが発生した場合は、対処方法を表示します。

②[◀(1)]/[▲(2)]/[↲▶(3)]/[▼(4)]ボタン

- 設定モードで、プリンタの設定を変更したり、機能を実行するときに使用するボタンです。詳細は、以下のページを参照してください。
  本書 318 ページ「操作パネルによる設定」
- 液晶ディスプレイの左側に［◀でヘルプを見る］と表示される場合があります。［◀(1)］ボタンを押すとヘルプモードに入り、ヘルプ（対処方法）が表示されます。ヘルプ画面が複数ページあるときは、［▲(2)］/［▼(4)］ボタンを押して、前 / 次のヘルプ画面を表示させ、説明に従って対処してください。ヘルプ表示中に［◀(1)］ボタンまたは［ジョブキャンセル］ボタンを押すと、ヘルプモードから抜けて元の状態に戻ります。

参考　エラーまたはワーニング状態が解除されると、自動的にヘルプモードから抜けます。

③[ジョブキャンセル]ボタン

押し方	処理
1 回押す	処理中の印刷データ（ジョブ単位）をキャンセルします。
約 2 秒以上押す	処理中の印刷データをすべて削除します。

④データランプ

印刷データが残っているときや処理中に点灯または点滅します。

⑤［印刷可］ボタン / ランプ

ランプは、印刷できる状態のときに点灯します。ボタンは、プリンタの状態によって処理が異なります。

ランプの状態	プリンタの状態	［印刷可］ボタンの機能
［印刷可］ランプ点灯	印刷可状態	印刷可 / 印刷不可状態を切り替えます。
［印刷可］ランプ消灯、データランプ点灯	印刷不可状態	約 2 秒以上押すと、受信している印刷データの最初のページのみ印刷して排紙します。
エラーランプ点滅	自動復帰できるエラーが発生	エラーを解除して印刷可状態へ自動的に復帰します。
エラーランプ点灯	自動復帰できないエラーが発生	適切な処置を行ってエラー状態を解消すると、自動的に印刷可能状態に復帰します。［印刷可］ボタンを押す必要はありません。

⑥エラーランプ

エラーが発生したときに点滅または点灯します。

操作パネルによる設定

ここでは、操作パネルでの設定変更の方法と設定モードの詳細を説明します。通常の印刷に必要な設定はプリンタドライバで設定できますので、基本的に操作パネルで設定する必要はありません。また、操作パネルとプリンタドライバの双方で設定できる項目は、基本的にプリンタドライバの設定が優先されます。ただし、一部の設定項目は、どちらの設定を優先するかをプリンタドライバで選択することができます。

Windows：本書 76 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 183 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 275 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

操作パネルの設定には、一部の項目および設定値はそれに関するオプションが装着されているときのみ表示されるものがあります。

設定項目の内容をご覧いただき、必要な場合のみ操作パネルで設定してください。ただし、以下の項目は通常の印刷であっても設定する必要があります。

- MP トレイから給紙する場合
  →セットした用紙のサイズを設定してください。
  本書 386 ページ「MP トレイへの用紙のセット」
- 用紙タイプの選択機能を使用する場合
  →各給紙装置の用紙タイプを設定してください。
  本書 411 ページ「用紙タイプ選択機能」

操作パネルで設定を変更する際の注意事項

操作パネルで設定を変更する場合は、次の点に注意してください。

- 下記のメニューはプリンタの持つ特性を実行するためのものです。設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
プリンタ情報	ステータスシート印刷 画像確認シート印刷 ネットワーク情報印刷 I/F カード情報印刷 *1 USB 外部機器情報印刷 *2 ROM モジュール A 情報 *3
インデックス印刷	印刷開始 *4
文書ファイル印刷	印刷開始 *4
画像ファイル印刷	印刷開始 *4
パスワード印刷	データ消去 *5
プリンタリセット	ワーニングクリア 全ワーニングクリア リセット リセットオール 設定初期化

設定メニュー	設定項目
USB I/F 設定	USB 外部機器初期化 *2
I/F カード設定	I/F カード初期化 *1

*1 オプションのインターフェイスカード装着時で、[I/F カード設定] メニューの [I/F カード] が [使う] に設定されていると表示されます。
*2 EPSON 製無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G2) 装着時で、[USB I/F 設定] メニューの [USB I/F] が [使う] に設定されていると表示されます。
*3 オプションの ROM モジュール（型番：LPFOLR4M2）が装着され、ROM モジュール内に情報があると表示されます。
*4 プリンタに接続した USB デバイスに所定のファイルが見つかると表示されます。
*5 パスワード印刷ジョブが登録されていると表示されます。

- 下記のメニューはプリンタの状態を表示するのみで、設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
プリンタ情報	C トナー残量 *1 M トナー残量 *1 Y トナー残量 *1 K トナー残量 感光体ライフ 延べ印刷枚数 カラー印刷枚数 *1 B/W 印刷枚数 *1
給紙装置設定	カセット 1 サイズ カセット 2 サイズ *2 カセット 3 サイズ *2 カセット 4 サイズ *2

*1 カラーモデルの場合のみ表示されます。
*2 オプションの増設カセットユニット（型番：LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2）装着時に表示されます。

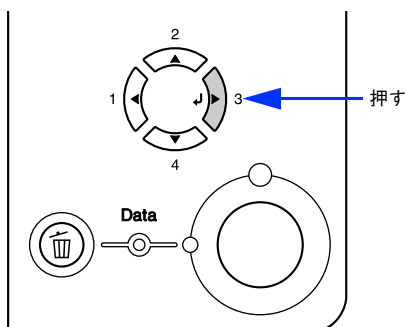
操作手順の概要

操作パネルでプリンタの設定を変更するには、操作パネルに［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 **以下のページを参照して、変更または実行したい設定メニュー、設定項目、設定値を確認します。**

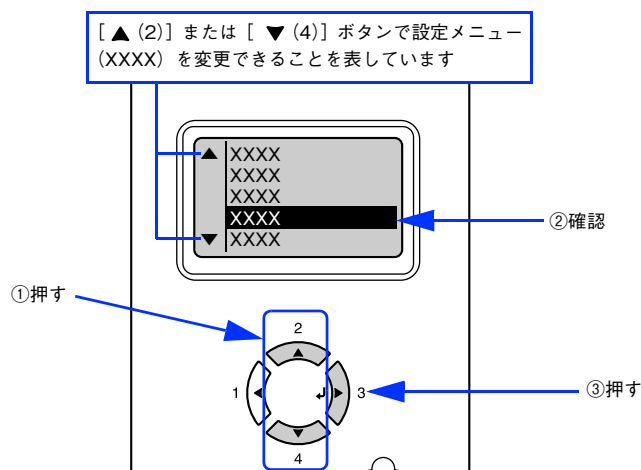
本書 323 ページ「設定項目の説明」

2 **操作パネルの［ ↲▶（3）］ボタンを押して、設定モードに入ります。**

設定モードに入ると、操作パネルに［プリンタ情報］などの設定メニューが表示されます。

3 **設定メニューを選択します。**

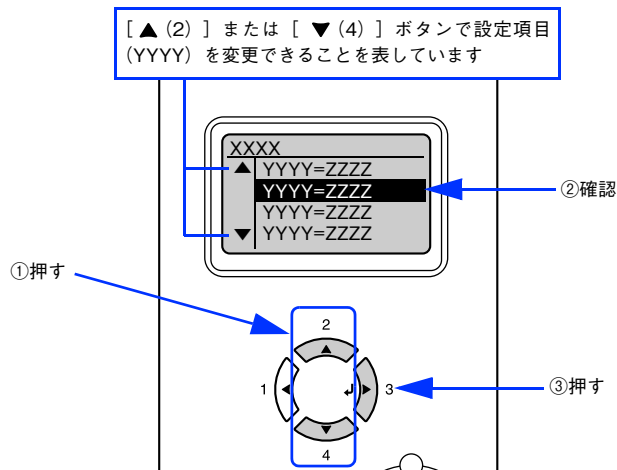
①［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して設定メニューのハイライト表示を切り替えます。

② 1 で確認した設定メニューが表示されていることを確認します。

③［ ↲▶（3）］ボタンを押します。
次の手順（設定項目の階層）へ進みます。

4 設定項目を選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定項目（YYYY）の表示を切り替えます。

② 1 で確認した設定項目が表示されていることを確認します。

③ 設定値を変更する設定項目では［ ↲▶(3)］ボタンを押します。

設定項目や設定値には以下の区別があります。

- 設定項目（YYYY）の設定値（ZZZZ）を変更する。
- 設定値（ZZZZ）を表示して確認する。
- 設定項目（YYYY）の機能を実行する（機能実行後に、自動的に設定モードを抜けて通常の操作モードへ戻ります）。

詳細は、以下に説明する各設定値の説明を参照してください。

☞ 本書 323 ページ「設定項目の説明」

5 設定値を選択します。

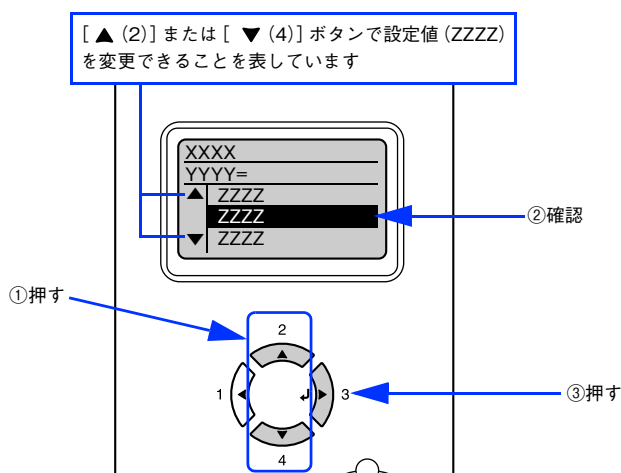
①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して設定値（ZZZZ）の表示を切り替えます。

② 1 で確認した設定値が表示されていることを確認します。

③［ ↲▶(3)］ボタンを押します。
設定値が有効になり、設定項目の階層へ戻ります。

［▲(2)］または［▼(4)］ボタンで設定値（ZZZZ）を変更できることを表しています

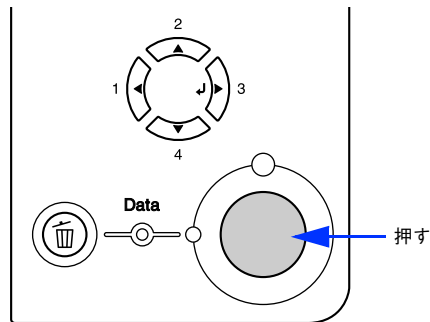
XXXX
YYYY=
ZZZZ
ZZZZ
ZZZZ

②確認
①押す
③押す

- ［ ↲▶(3)］ボタンを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。
- 一部の設定は、プリンタの電源を一旦オフにして、再度オンにしてから有効になります。詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 323 ページ「設定項目の説明」

6 **さらに設定を変更する場合は、［ ◀（1）］または［▼（4）］を押して、3 または 4 から操作を繰り返します。**

設定を終了する場合は、7 へ進みます。

7 **［印刷可］ボタンを押して、設定モードを終了します。**

- ［印刷可］ボタンを押すと、設定の途中でも［印刷できます］または［節電中］と表示されている状態へ戻ることができます。
- ［ ◀（1）］ボタンを押すと、1 つ前の階層へ戻ります。
  設定モードが終了し、［印刷できます］または［節電中］状態に戻ります。

設定項目の説明

本機は、用途に合わせてさまざまな設定ができます。ここでは、設定モードで変更できる設定メニューや設定項目、および設定値の説明をします。

- 次の一覧表で設定値の欄に「–」と記載している設定項目には、変更する設定値がありません。[↲▶ (3)] ボタンを押すと、各項目の設定を表示または印刷したり、機能を実行します。
- プリンタに取り付けていないオプション用の設定は表示されません。

で表示された項目は、プリンタドライバで設定可能な項目です。この項目の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。ただし、プリンタドライバの［拡張設定］ダイアログで［プリンタの設定を使用する］を選択すると、［用紙サイズフリー］は操作パネルの設定が優先されます。

☞ Windows：本書 76 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 183 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 275 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

設定メニュー	設定項目	設定値	ページ
プリンタ情報	ステータスシート印刷	–	329
	画像確認シート印刷 *1	–	329
	ネットワーク情報印刷	–	329
	I/F カード情報印刷 *2	–	329
	USB外部機器情報印刷*3	–	329
	ROM モジュール A 情報 *4	–	329
	C トナー残量 *1	–	329
	M トナー残量 *1	–	329
	Y トナー残量 *1	–	329
	K トナー残量	–	329
	感光体ライフ	–	329
	延べ印刷枚数	–	329
	カラー印刷枚数 *1	–	330
	B/W 印刷枚数 *1	–	330
インデックス印刷*5	印刷開始	–	331
	用紙サイズ	A4（初期設定）、A3、B4、B5	331
	両面印刷	片面（初期設定）、両面長辺とじ、両面短辺とじ	331
文書ファイル印刷*5	ファイル選択	「プリンタが認識したファイル名」	332
	印刷開始	–	332
	印刷部数	1（初期設定）～ 999	332
	両面印刷	片面（初期設定）、両面長辺とじ、両面短辺とじ	332

設定メニュー	設定項目	設定値	ページ
画像ファイル印刷 *5	ファイル選択	全部選択、全選択解除、「プリンタが画像ファイルとして認識したファイル名」	333
	印刷開始	−	333
	印刷部数	1（初期設定）～ 999	333
	用紙サイズ	A4（初期設定）、A3、B4、B5	333
	割り付け設定	なし（初期設定）、2 面、4 面、8 面	333
	両面印刷	片面（初期設定）、両面長辺とじ、両面短辺とじ	333
	ファイル名印刷	する（初期設定）、しない	333
パスワード印刷 *6	ユーザー名	「パスワード印刷時に設定したユーザー名」	334
	パスワード入力	「ユーザーが設定したパスワード」	334
	ジョブ名	「パスワードと一致するジョブ名」	334
	印刷部数	1（初期設定）～ 999	334
	データ消去	−	334
給紙装置設定	MP トレイサイズ	A4（初期設定）、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、LT（Letter）、HLT（Half Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、洋形 0 号、長形 3 号	335
	カセット 1 サイズ *7	A4、A3、B4、B5、LT（Letter）、LGL（Legal）、B（Ledger）	335
	カセット 2 サイズ *8	A4、A3、B4、B5、LT（Letter）、LGL（Legal）、B（Ledger）	335
	カセット 3 サイズ *8	A4、A3、B4、B5、LT（Letter）、LGL（Legal）、B（Ledger）	335
	カセット 4 サイズ *8	A4、A3、B4、B5、LT（Letter）、LGL（Legal）、B（Ledger）	335
	MP トレイタイプ	普通紙（初期設定）、レターヘッド、再生紙、色つき、OHP シート、ラベル	335
	カセット 1 タイプ	普通紙（初期設定）、レターヘッド、再生紙、色つき	335
	カセット 2 タイプ *9	普通紙（初期設定）、レターヘッド、再生紙、色つき	335
	カセット 3 タイプ *9	普通紙（初期設定）、レターヘッド、再生紙、色つき	335
	カセット 4 タイプ *9	普通紙（初期設定）、レターヘッド、再生紙、色つき	335
プリンタモード	パラレル	自動（初期設定）、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page	336
	USB	自動（初期設定）、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page	336
	ネットワーク	自動（初期設定）、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page	336
	I/F カード *2	自動（初期設定）、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page	336

設定メニュー	設定項目	設定値	ページ
印刷書式設定	ページサイズ	自動（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、LT（Letter）、HLT（Half Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、洋形0号、長形3号	337
	用紙方向	縦（初期設定）、横	337
	解像度	速い（初期設定）、きれい	337
	RIT	On（初期設定）、Off	337
	トナーセーブ	しない（初期設定）、する	337
	縮小	Off（初期設定）、80%	337
	イメージ補正	1（初期設定）、2	338
	上オフセット *10	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）	338
	左オフセット *10	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）	338
	上オフセット B*10	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）	338
	左オフセット B*10	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）	338
プリンタ設定	表示言語	日本語（初期設定）、English	339
	節電時間	5分、15分、30分（初期設定）、60分、120分、180分	339
	I/F タイムアウト	20 ～ 600 （初期設定 60）	339
	給紙口	自動（初期設定）、MP トレイ、カセット 1、カセット 2、カセット 3、カセット 4	339
	MP トレイ優先	しない（初期設定）、する	340
	コピー枚数	1 ～ 999（初期設定 1）	340
	両面印刷	Off（初期設定）、On	340
	綴じ方向	ロングエッジ（初期設定）、ショートエッジ	340
	紙種	普通（初期設定）、厚紙、OHP シート	340
	紙面	表（初期設定）、裏	340
	白紙節約	する（初期設定）、しない	340
	自動排紙	する（初期設定）、しない	341
	用紙サイズフリー	Off（初期設定）、On	341
	自動エラー解除	しない（初期設定）、する	341
	ページエラー回避	Off（初期設定）、On	341
	LCD コントラスト	0 ～ 15（初期設定 7）	341

設定メニュー	設定項目	設定値	ページ
プリンタリセット	ワーニングクリア	–	342
	全ワーニングクリア	–	342
	リセット	–	342
	リセットオール	–	342
	設定初期化	–	342
パラレルI/F設定*11	パラレル I/F	使う（初期設定）、使わない	343
	ACK 幅	短い（初期設定）、標準	343
	双方向	ECP（初期設定）、Off、ニブル	343
	受信バッファ	標準（初期設定）、最大、最小	343
USB I/F 設定 *11	USB I/F	使う（初期設定）、使わない	344
	USB SPEED	HS（初期設定）、FS	344
	IP アドレス設定 *12	パネル、自動、PING	344
	IP*12	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 *13	344
	SM*12	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	344
	GW*12	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	344
	AppleTalk*12	On、Off	345
	MS Network*12	On、Off	345
	Rendezvous*12	On、Off	345
	USB 外部機器初期化 *12	–	345
	受信バッファ	標準（初期設定）、最大、最小	345
ネットワーク設定	ネットワーク I/F*11	使う（初期設定）、使わない	346
	IP アドレス設定 *11 *14	パネル（初期設定）、自動、PING	346
	IP*11 *14	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 （初期設定：192.168.192.168）*15	346
	SM*11 *14	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 （初期設定：255.255.255.0）	346
	GW*11 *14	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 （初期設定：255.255.255.255）	346
	AppleTalk*11 *14	On（初期設定）、Off	346
	MS Network*11 *14	On（初期設定）、Off	347
	Rendezvous*11 *14	Off（初期設定）、On	347
	Link Speed*11 *14	自動（初期設定）、100 Full、100 Half、10 Full、10 Half	347
	受信バッファ *11	標準（初期設定）、最大、最小	347

設定メニュー	設定項目	設定値	ページ
I/Fカード設定*16	I/F カード *11	使う（初期設定）、使わない	348
	IP アドレス設定 *17	パネル、自動、PING	348
	IP*17 *18	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	348
	SM*17	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	348
	GW*17	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	348
	AppleTalk*17	On、Off	348
	MS Network*17 *18	On、Off	349
	Rendezvous*17 *18 *19	On、Off	349
	I/F カード初期化 *17	−	349
	受信バッファ *11	標準（初期設定）、最大、最小	349
USB ホスト設定	USB ホスト	使う（初期設定）、使わない	350
ESC/PS 環境設定	連続紙	OFF(初期設定)、F15 → B4 横、F15 → A4 横、F10 → A4 縦	351
	文字コード	カタカナ（初期設定）、グラフィック	351
	給紙位置	8.5mm（初期設定）、22mm	351
	各国文字	日本(初期設定)、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン	351
	ゼロ	0（初期設定）、0	352
	用紙位置	左（初期設定）、中央、中央 -5、中央 +5	352
	右マージン	用紙幅（初期設定）、136 桁	352
	漢字書体	明朝（初期設定）、ゴシック	352
ESC/Page 環境設定	復帰改行	する（初期設定）、しない	353
	改ページ	する（初期設定）、しない	353
	CR	CR のみ（初期設定）、CR+LF	353
	LF	CR+LF（初期設定）、LF のみ	353
	FF	CR+FF（初期設定）、FF のみ	353
	エラーコード	Off（初期設定）、On（初期設定）	353
	フォントタイプ	1（初期設定）、2、3	353
	フォーム実行 *20	Off（初期設定）、On	354
	フォーム番号 *20	1 ～ 512（初期設定 1）	354
パスワード設定	パスワード設定	「ユーザーが設定したパスワード」	355
	制限範囲	制限しない(初期設定)、I/F 項目のみ、選択項目のみ、全項目	355

*1 カラーモデルの場合のみ表示されます。

*2 オプションのインターフェイスカード装着時で、[I/F カード設定] メニューの [I/F カード] が [使う] に設定されていると表示されます。

*3 オプションの EPSON 製無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G2）装着時で、［USB I/F 設定］メニューの［USB I/F］が［使う］に設定されていると表示されます。

*4 オプションの ROM モジュール（型番：LPFOLR4M2）が装着され、ROM モジュール内に情報があると表示されます。

*5 プリンタに接続した USB メモリに所定（EPN、JPEG、TIFF など）のファイルが保存されていると表示されます。なお、［USB ホスト設定］メニューの［USB ホスト］が［使わない］に設定されていると表示されません。

*6 プリンタに装着したハードディスクユニットにパスワード印刷ジョブが保存されていると表示されます。

*7 ［用紙サイズ設定］ダイヤルの設定が優先されます。表示のみで変更はできません。

*8 オプションの増設カセットユニット（型番：LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2）装着時のみ表示され、［用紙サイズ設定］ダイヤルで設定した用紙サイズが表示されます。表示のみで変更はできません。

*9 オプションの増設カセットユニット（型番：LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2）装着時のみ表示されます。

*10印刷保証領域外への印刷はできません。印刷保証領域いっぱいに描かれた画像に対してオフセットの値を変更すると、用紙端の画像は印刷されないので注意してください。
☞ 本書 556 ページ「印刷保証領域」

*11設定を変更したら、プリンタの電源を一旦オフにして、再度オンにする必要があります（電源を再度オンにした後に、設定が有効となります）。

*12オプションの EPSON 製無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G2）が装着され、［パスワード設定］メニューで設定変更を制限していないときは、設定が表示されて変更できるようになります。（初期設定値はオプションの無線プリントアダプタ側で保持しており、［USB 外部機器初期化］を実行すると元の初期設定値に戻ります）。

*13［USB I/F 設定］メニューの［IP アドレス設定］を［自動］に設定すると、DHCP サーバから取得した IP アドレスが表示されて設定を変更できません。また、［IP アドレス設定］を［パネル］または［PING］に設定した際の IP アドレスは記憶されますので、［IP アドレス設定］を［自動］から［パネル］または［PING］に戻したときはその記憶した設定値を表示します。

*14［パスワード設定］メニューで設定変更を制限していないときは、設定が表示されて変更できるようになります。

*15［ネットワーク設定］メニューの［IP アドレス設定］を［自動］に設定すると、DHCP サーバから取得した IP アドレスが表示されて設定を変更できません（ステータスシートには IP アドレスを記載しません）。また、［IP アドレス設定］を［パネル］または［PING］に設定した際の IP アドレスは記憶されますので、［IP アドレス設定］を［自動］から［パネル］または［PING］に戻したときはその記憶した設定値を表示します（［192.168.192.168］は、操作パネルで設定を行っていないときの初期設定値です）。

*16設定が可能なインターフェイスカードの装着時のみ表示されます。

*17設定が可能なインターフェイスカードが装着され、［パスワード設定］メニューで設定変更を制限していないときは、設定が表示されて変更できるようになります。

*18［I/F カード設定］メニューの［IP アドレス設定］を［自動］に設定すると表示されません。

*19Rendezvous/Bonjour をサポートしたインターフェイスカードの装着時のみ表示されます。

*20オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュール（型番：LPFOLR4M2）装着時、フォームデータが登録されている場合のみ表示されます。

［プリンタ情報］メニュー

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	ステータスシート印刷	現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
設定値	－	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して印刷します。

設定項目	画像確認シート印刷	エコ印刷モード中に、カートリッジ内のトナーが無くなってかすれが発生していないか、感光体の寿命ですじが発生していないか、などの確認ができます。 * カラーモデルの場合のみ表示されます。 ☞本書 538 ページ「エコ印刷モードのご紹介」
設定値	－	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して印刷します。

設定項目	ネットワーク情報印刷	標準のインターフェイスカードに関する情報を印刷します。
設定値	－	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して印刷します。

設定項目	I/F カード情報印刷	オプションのインターフェイスカードを装着したときだけ表示されます。オプションインターフェイスカードに関する情報を印刷します。
設定値	－	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して印刷します。

設定項目	USB 外部機器情報印刷	オプションの無線プリントアダプタが接続され、［USB I/F 設定］メニューの［USB I/F］を［使う」に設定してプリンタを起動したときのみ表示されます。接続したオプションの無線プリントアダプタに関する情報を印刷します。
設定値	－	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して印刷します。

設定項目	ROM モジュール A 情報	ROM モジュールソケットに装着されているオプションのROM モジュールに、ROM モジュール情報が存在するときだけ表示します。
設定値	－	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して印刷します。

設定項目	C トナー残量	C（シアン）*、M（マゼンタ）*、Y（イエロー）*、K（ブラック）それぞれのトナーカートリッジ内のトナーの残量を 7 段階で表示します。 * カラーモデルの場合のみ表示されます。
	M トナー残量	
	Y トナー残量	
	K トナー残量	
設定値	－	表示のみで変更はできません。［印刷可 ］ボタンを押して終了します。

設定項目	感光体ライフ	感光体ユニットの寿命を 7 段階で表示します。
設定値	－	表示のみで変更はできません。［印刷可］ボタンを押して終了します。

設定項目	延べ印刷枚数	プリンタを購入してから現在までに印刷した累計枚数を表示します。
設定値	－	表示のみで変更はできません。［印刷可］ボタンを押して終了します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	カラー印刷枚数	カラーモデルの場合のみ表示されます。プリンタが現在までにカラー印刷した枚数を表示します。
設定値	−	表示のみで変更はできません。［印刷可］ボタンを押して終了します。
設定項目	B/W 印刷枚数	カラーモデルの場合のみ表示されます。プリンタが現在までにモノクロ印刷した枚数を表示します。
設定値	−	表示のみで変更はできません。［印刷可］ボタンを押して終了します。

［インデックス印刷］メニュー

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	印刷開始	プリンタに接続した USB デバイスに保存されている EPN、JPEG、TIFF ファイルの一覧（インデックスシート）を印刷します。
設定値	－	設定値はありません。［↵▶（3）］ボタンを押して印刷します。

設定項目	用紙サイズ	インデックス印刷時の用紙サイズを設定します。
設定値	A4（初期設定）、A3、B4、B5	

設定項目	両面印刷	インデックス印刷時に両面印刷するかどうかを設定します。
設定値	片面（初期設定）	片面印刷します。
	両面長辺とじ	長辺をとじるように両面印刷します。
	両面短辺とじ	短辺をとじるように両面印刷します。

[文書ファイル印刷] メニュー

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	ファイル選択	プリンタに接続した USB メモリに保存されている EPN ファイルを選択します。EPN ファイルは、新しいファイルから作成された順に表示されます。
設定値	「ファイル名」	ファイル名は最大 3 行で最大半角 58 文字 / 全角 28 文字まで表示されます。それ以上の場合は「・・・」と省略表示されます。[▲ (2)] または [▼ (4)] ボタンでファイル名を選択して [↲ ▶ (3)] ボタンを押します。

設定項目	印刷開始	選択したファイルを印刷します。
設定値	−	設定値はありません。[↲ ▶ (3)] ボタンを押して印刷します。

設定項目	印刷部数	文書ファイル印刷時の印刷部数を設定します。
設定値	1 ～ 999（初期設定：1）	

設定項目	両面印刷	文書ファイル印刷時に両面印刷するかどうかを設定します。
設定値	片面（初期設定）	片面印刷します。
	両面長辺とじ	長辺をとじるように両面印刷します。
	両面短辺とじ	短辺をとじるように両面印刷します。

■ [画像ファイル印刷]メニュー

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	ファイル選択	プリンタに接続した USB デバイスに保存されている JPEG または TIFF ファイルを選択します。選択中の個数は、「0個、1個、･･･」と表示されます。
設定値	全部選択	すべてのファイルを選択します。
	全選択解除	すべてのファイルの選択状態を解除します。
	「ファイル名」	[▲(2)] または [▼(4)] ボタンでファイル名を選択して [↲▶(3)] ボタンを押します。個々のファイルに対して選択・非選択を切り替えます。選択されているファイルは、表示の先頭に「*」印が付きます(選択されていないファイルに「*」印は付きません)。

設定項目	印刷開始	選択したファイルを印刷します。
設定値	−	設定値はありません。[↲▶(3)] ボタンを押して印刷します。

設定項目	印刷部数	画像ファイル印刷時の印刷部数を設定します。
設定値	1 〜 999(初期設定:1)	

設定項目	用紙サイズ	画像ファイル印刷時の用紙サイズを設定します。
設定値	A4(初期設定)、A3、B4、B5	選択した用紙サイズに合わせて印刷します。

設定項目	割り付け設定	画像ファイル印刷時に割り付け印刷するかどうかを設定します。
設定値	なし(初期設定)	割り付け印刷しません。
	2 面	1 ページに 2 面割り付け印刷します。
	4 面	1 ページに 4 面割り付け印刷します。
	8 面	1 ページに 8 面割り付け印刷します。

設定項目	両面印刷	画像ファイル印刷時に両面印刷するかどうかを設定します。
設定値	片面(初期設定)	片面印刷します。
	両面長辺とじ	長辺をとじるように両面印刷します。
	両面短辺とじ	短辺をとじるように両面印刷します。

設定項目	ファイル名印刷	画像ファイル印刷時にファイル名を印刷するかどうかを設定します。
設定値	する(初期設定)	ファイル名を印刷します。
	しない	ファイル名を印刷しません。

[パスワード印刷]メニュー

装着したオプションのハードディスクユニットに保存されたパスワード印刷ジョブを印刷するための設定項目です。そう差手順は以下のページを参照してください。

☞ Windows：本書 55 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷手順」
☞ Mac OS 9：本書 174 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷手順」
☞ Mac OS X：本書 271 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷手順」

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	ユーザー名	パスワード印刷ジョブを保存したユーザーの名前が表示されます。
設定値	「ユーザー名」	[▲(2)] または [▼(4)] ボタンでユーザー名を選択して [↲▶(3)] ボタンを押します。

設定項目	パスワード入力	選択したユーザーが保存したファイルのパスワード（0 ～ 9 の半角数字 4 桁）を入力します。
設定値	「xxxx」	[▲(2)] または [▼(4)] ボタンで各桁の数字を選択し、[↲▶(3)] ボタンで確定して次の桁に移動します。最後の 4 桁目で [↲▶(3)] ボタンを押して、入力したパスワードと一致する印刷ジョブがあると [ジョブ名] の選択へ進みます。入力したパスワードと一致する印刷ジョブがないと、「パスワードが違います」を表示して設定モードから通常の印刷モードに抜け出します。

設定項目	ジョブ名	パスワードと一致する印刷ジョブ名を表示します。
設定値	「ジョブ名」	[▲(2)] または [▼(4)] ボタンで印刷ジョブ名を選択して [↲▶(3)] ボタンを押します。

設定項目	印刷部数	パスワード印刷時の印刷部数を設定します。
設定値	1 ～ 999（初期設定：1）	[▲(2)] または [▼(4)] ボタンで印刷部数を選択し、[↲▶(3)] ボタンを押して印刷を実行します。

設定項目	データ消去	選択したパスワード印刷ジョブを消去します。
設定値	－	設定値はありません。[↲▶(3)] ボタンを押して消去します。

[給紙装置設定]メニュー

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	MP トレイサイズ	MP トレイにセットした用紙サイズを設定します。
設定値	A4(初期設定)、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、LT(Letter)、HLT(Half Letter)、LGL(Legal)、GLT(Government Letter)、GLG(Government Legal)、B(Ledger)、EXE(Executive)、F4、洋形0号、長形3号	

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	カセット1サイズ	標準の用紙カセット1の[用紙サイズ設定]ダイヤルで設定した用紙サイズを表示します。
設定値	A4、A3、B4、B5、LT(Letter)、LGL(Legal)、B(Ledger) 表示のみで変更できません。	

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	カセット2サイズ	オプションの増設カセットユニット(型番:LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2)装着時のみ表示され、[用紙サイズ設定]ダイヤルで設定した用紙サイズを表示します。
	カセット3サイズ	
	カセット4サイズ	
設定値	A4、A3、B4、B5、LT(Letter)、LGL(Legal)、B(Ledger) 表示のみで変更できません。	

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	MP トレイタイプ	MP トレイにセットした用紙タイプを設定します。同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	普通紙(初期設定)、レターヘッド、再生紙、色つき、OHP シート、ラベル	

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	カセット1タイプ	標準の用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	普通紙(初期設定)、レターヘッド、再生紙、色つき	

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	カセット2タイプ	オプションの増設カセットユニット(型番:LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2)装着時のみ表示され、用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定してください。同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
	カセット3タイプ	
	カセット4タイプ	
設定値	普通紙(初期設定)、レターヘッド、再生紙、色つき	

■ [プリンタモード]メニュー

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル	プリンタが動作するモードをインターフェイスごとに設定します。ただし、[I/F カード]はオプションのインターフェイスカードを装着したときに表示されます。
	USB	
	ネットワーク	
	I/F カード	
設定値	自動(初期設定)	受信したデータに合わせて、自動的にプリンタモードを設定します。通常はこの設定で使用してください。
	ESC/PS	ESC/P スーパーモードになります。 DOS アプリケーションソフトを使用する場合は、コンピュータから送られてきたコマンド(コントロールコード)が ESC/P であるか、PC-PR201H であるかを自動判別します。ほとんどの DOS アプリケーションソフトでは、ESC/Page モードへの移行がサポートされていますので、この設定で使用できます。
	ESC/P	ESC/P(LP-1000)エミュレーションモードになります。 海外版 DOS アプリケーションソフトを使用する場合や、国内版 DOS アプリケーションソフトで、画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Page モードになります。 通常は設定する必要がありません。

[印刷書式設定] メニュー

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ページサイズ	アプリケーションソフトで作成した書類（これから印刷する書類）の用紙のサイズを設定します。
設定値	自動（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、LT（Letter）、HLT（Half Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、洋形 0 号、長形 3 号	

設定項目	用紙方向	用紙方向を選択します。
設定値	縦（初期設定）	用紙の長辺を縦方向として印刷し、印刷結果が縦長（ポートレート）になります。
	横	用紙の長辺を横方向として印刷し、印刷結果が横長（ランドスケープ）になります。

設定項目	解像度	印刷の解像度の選択をします。
設定値	速い（初期設定）	300dpi で印刷します。
	きれい	600dpi で印刷します。

[解像度] を [きれい]（600dpi）にした場合、印刷するデータの容量が大きいと、メモリ不足で印刷ができない場合があります。このような場合は、[速い]（300dpi）で印刷してください。[きれい]（600dpi）で印刷するには、プリンタのメモリを増設する必要があります。

設定項目	RIT	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能（Resolution Improvement Technology）を設定します。
設定値	On（初期設定）	輪郭を補正します。
	Off	輪郭を補正しません。

設定項目	トナーセーブ	カラー印刷時 * は、色の表現力を低く抑えて印刷し、トナーの消費を約 30% 節約します。モノクロ印刷時は、輪郭部分のみを濃く印刷しトナーの消費を約 50% 節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。 * カラー印刷はカラーモデルの場合のみ。
設定値	しない（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
	する	トナーセーブ機能を使用します。

設定項目	縮小	印刷データを約 80% に縮小して印刷します。
設定値	Off（初期設定）	100% 原寸のまま印刷します。
	80%	80% 縮小して印刷します。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	イメージ補正	イメージデータの補正方式を選択します。
設定値	1（初期設定）	標準の補正方式です。通常はこの設定で使用してください。
	2	• ESC/P または ESC/PS モードのとき： 罫線が正しく印刷されないときに設定します。 • ESC/Page モードのとき： 本機に対応していないドライバを使用していて、複雑な図の印刷に問題があるときに設定します。

設定項目	上オフセット	用紙の上端に対して、印刷開始位置の上下オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（上方向）から 30.0mm（下方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

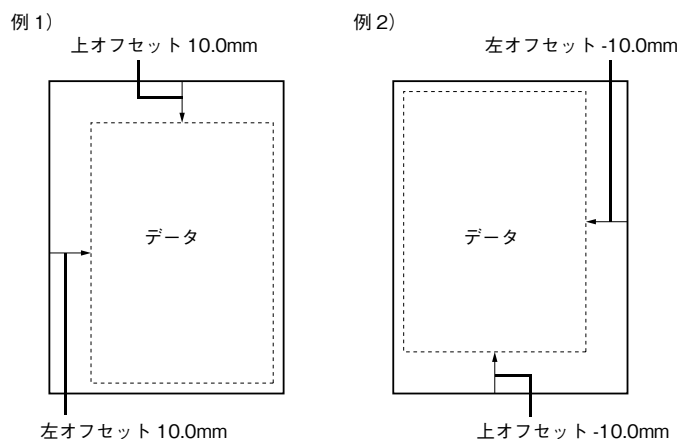
設定項目	左オフセット	用紙の左端に対して、印刷開始位置の左右オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（左方向）から 30.0mm（右方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

設定項目	上オフセット B	用紙裏面の上端に対して、印刷開始位置の上下オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（上方向）から 30.0mm（下方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

設定項目	左オフセット B	用紙裏面の左端に対して、印刷開始位置の左右オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（左方向）から 30.0mm（右方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

印刷保証領域外への印刷はできません。印刷保証領域いっぱいに描かれた画像に対して［上 / 左オフセット］や［上 / 左オフセット B］の値を変更すると、用紙端の画像は印刷されないので注意してください。
本書 383 ページ「印刷できる領域」

参考

- オフセット値によっては、印刷結果がアプリケーション側のマージン設定に対してずれることがあります。
- 上下左右のオフセット値は、以下のように設定します。

[プリンタ設定] メニュー

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	表示言語	操作パネルの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
設定値	日本語（初期設定）	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	節電時間	印刷待機時の消費電力を節約できます。最後の印刷が終了してから、設定した時間が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。
設定値	5 分	節電状態になるまでの時間を 5 分に設定します。
	15 分	節電状態になるまでの時間を 15 分に設定します。
	30 分（初期設定）	節電状態になるまでの時間を 30 分に設定します。
	60 分	節電状態になるまでの時間を 60 分に設定します。
	120 分	節電状態になるまでの時間を 120 分に設定します。
	180 分	節電状態になるまでの時間を 180 分に設定します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、設定されているタイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、印刷中のデータの受信が途切れてしまったページは、その時点で排紙されます。
設定値	20 ～ 600 （初期設定 60）	1 秒単位で設定できます。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	給紙口	［プリンタ設定］メニューの［紙種］が［普通］の場合の給紙方法を選択します。［紙種］が［厚紙］や［OHP シート］の場合は、常に MP トレイから給紙します。
設定値	自動（初期設定）	印刷時に指定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置を自動的に検出し、その給紙装置から給紙します。
	MP トレイ	MP トレイから給紙します。
	カセット 1	標準の用紙カセット 1 から給紙します。
	カセット 2	オプションの増設カセットユニットを装着しているときに表示され、用紙カセット 2（増設 1 段目）から給紙します。
	カセット 3	オプションの増設カセットユニットを装着しているときに表示され、用紙カセット 3（増設 2 段目）から給紙します。
	カセット 4	オプションの増設カセットユニットを装着しているときに表示され、用紙カセット 4（増設 3 段目）から給紙します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	MP トレイ優先	［給紙装置］の設定が［自動選択］、かつ MP トレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされているときに、MP トレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。
設定値	しない（初期設定）	用紙カセットからの給紙を優先します。
	する	MP カセットからの給紙を優先します。

設定項目	コピー枚数	印刷するデータが何ページもある場合、印刷する枚数を設定します。ここで設定した枚数を印刷した後、次ページのデータを印刷します。
設定値	1 ～ 999（初期設定：1）	設定した枚数分コピーして印刷します。

設定項目	両面印刷	両面印刷するかしないかを設定します。
設定値	Off（初期設定）	両面印刷しません。
	On	両面印刷します。

［両面印刷］の設定を［ON］でご使用いただくことにより、用紙使用量の削減と森林資源の有効活用が可能になります。

設定項目	綴じ方向	両面印刷の際に、用紙を綴じる位置を選択します。綴じしろは、［印刷書式設定］メニューの各オフセットで設定します。
設定値	ロングエッジ（初期設定）	用紙の長辺側を綴じる位置にします。
	ショートエッジ	用紙の短辺側を綴じる位置にします。

設定項目	紙種	紙の種類を選択します。
設定値	普通（初期設定）	普通紙、再生紙などを使用するときに選択します。
	厚紙	紙厚が 91 ～ 163g/m^2 の厚紙やハガキ、封筒などの特殊紙を使用する場合は［厚紙］を選択してください。なお、用紙サイズをはがき、往復はがき、または封筒サイズにした場合は、自動的に厚紙対応モードに切り替わります（表示は変わりません）。
	OHP シート	専用 OHP シートを使用するときに選択します。

設定項目	紙面	両面印刷をするときに、用紙の表裏のどちらを印刷するかを設定します。
設定値	表（初期設定）	表面を印刷します。
	裏	裏面を印刷します。一度印刷した用紙の裏面に印刷するときに選択します。

設定項目	白紙節約	印刷するデータがないまま排紙コマンド（FF=0CH 等）が送られたときに、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
設定値	する（初期設定）	白紙ページを印刷しません。
	しない	そのまま白紙ページを印刷（排紙）します。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	自動排紙	印刷データによっては最後に排紙コマンドを送らない場合があります。そのようなときに、プリンタ内に残ったデータを自動的に印刷して排紙できます。
設定値	する（初期設定）	［プリンタ設定］メニューの［I/F タイムアウト］で設定した時間経過後、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
	しない	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。

設定項目	用紙サイズフリー	［用紙を交換してください xxxxx yyyy］のエラーを表示するかしないかを設定します。
設定値	Off（初期設定）	上記のエラー状態を検出すると、エラーメッセージを表示します。
	On	上記のエラーメッセージを表示しません。

設定項目	自動エラー解除	［オーバーランエラー］、［用紙を交換してください xxxxx yyyy］、［メモリ不足で印刷できません］、［指定された用紙は両面印刷できません］、［メモリ不足で両面印刷できませんでした］、［指定と違うサイズの用紙に印刷しました］のエラーが発生したときに、自動的にエラーを解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
設定値	しない（初期設定）	上記のエラーが発生すると、プリンタの動作を一時停止します。［印刷可］ボタンまたは［ジョブキャンセル］ボタンを押すと、印刷を再開します。
	する	上記のエラーが発生すると、メッセージを約 5 秒間表示した後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

設定項目	ページエラー回避	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追い付かないためにページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、ときによっては印刷時間が長くなりますので、通常は［Off］に設定し、ページエラーが発生するときだけ［On］に設定します。
設定値	Off（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。
	On	ページエラー回避機能を使用します。

使用するインターフェイスの［パラレル I/F 設定］、［USB I/F 設定］、［ネットワーク設定］、［I/F カード設定］メニューで［受信バッファ］を［最小］にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります。

設定項目	LCD コントラスト	操作パネルに表示される文字の濃度を設定します。
設定値	0 ～ 15 （初期設定 7）	数字が小さいほど薄く、大きいほど濃く表示されます。

[プリンタリセット]メニュー

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	ワーニングクリア	操作パネルに表示されているすべてのワーニングメッセージ（消耗品など交換部品に関するもの以外）を消します。
設定値	―	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して実行します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	全ワーニングクリア	操作パネルに表示されているすべてのワーニングメッセージを消します。
設定値	―	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して実行します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	リセット	プリンタをリセットします。操作パネルに「リセットシテクダサイ」と表示されたときに行ってください。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄します。
設定値	―	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して実行します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	リセットオール	プリンタをリセットオールします。電源をオンにした直後の状態までプリンタを初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。また、印刷されていないパスワード印刷ジョブもハードディスクから削除されます。
設定値	―	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して実行します。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	設定初期化	プリンタのパネル設定値（インターフェイスの設定は除く *）をすべて初期化します（工場出荷時の設定に戻します）。
設定値	―	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して実行します。

* インターフェイスの設定を含めたすべてのパネル設定値を初期化するには、［ジョブキャンセル］ボタンを押したまま本機の電源をオンにします。

[パラレル I/F 設定] メニュー

パラレルインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、必ず設定後にリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル I/F	パラレルインターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	使う（初期設定）	パラレルインターフェイスを使用します。
	使わない	パラレルインターフェイスを使用しません。

設定項目	ACK 幅	パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。
設定値	短い（初期設定）	約 1μS に設定します。
	標準	約 10μS に設定します。

設定項目	双方向	パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284 準拠）のモード設定を行います。
設定値	ECP（初期設定）	双方向通信は、ECP モードに対応します。
	Off	双方向通信を行いません。
	ニブル	双方向通信は、ニブルモードに対応します。

- ［ニブル］と［ECP］は、どちらも双方向通信のモードです。
- ［ECP］で使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトが ECP モードに対応している必要があります。
- コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合は［ニブル］に設定してください。

設定項目	受信バッファ	受信バッファを設定します。
設定値	標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

[USB I/F 設定] メニュー

USB インターフェイスおよび USB インターフェイスに装着したオプションの無線プリントアダプタに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	USB I/F	USB インターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	使う（初期設定）	USB インターフェイスを使用します。
	使わない	USB インターフェイスを使用しません。

設定項目	USB SPEED	USB インターフェイスの動作モードを選択します。お使いの機器に対応したモードを選択してください。詳細は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
設定値	HS（初期設定）	すべての USB 接続機器に対応しています。通常は、この設定で使用します。
	FS	［HS］で正しく動作しないときに、この設定で使用します。

設定項目	IP アドレス設定	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。
設定値	パネル	IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。
	自動	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。

操作パネルから IP アドレスを設定する方法は、以下のページを参考にしてください。

本書 360 ページ「オプションの無線プリントアダプタの場合」

設定項目	IP*	TCP/IP の IP アドレスを設定します。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

＊ ［USB I/F 設定］メニューの［IP アドレス設定］を［自動］に設定すると表示されません。

設定項目	SM	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	GW	TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	AppleTalk	オプションの無線プリントアダプタを装着した本機が AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
設定値	On	AppleTalk ネットワークで使用できます。
	Off	AppleTalk ネットワークで使用できません。
設定項目	MS Network	オプションの無線プリントアダプタを装着した本機が MS Network を使用できるかどうかを選択します。
設定値	On	MS Network を使用できます。
	Off	MS Network を使用できません。
設定項目	Rendezvous	オプションの無線プリントアダプタを装着した本機が Rendezvous を使用できるかどうかを選択します。
設定値	On	Rendezvous を使用できます。
	Off	Rendezvous を使用できません。
設定項目	USB 外部機器初期化	オプションの無線プリントアダプタの設定を初期化します。
設定値	－	設定値はありません。［ ↲▶（3）］ボタンを押して実行します。
設定項目	受信バッファ	受信バッファを設定します。
設定値	標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

［ネットワーク設定］メニュー

本機の標準ネットワークインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	ネットワーク I/F	標準のネットワークインターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	使う（初期設定）	標準のネットワークインターフェイスを使用します。
	使わない	標準のネットワークインターフェイスを使用しません。

設定項目	IP アドレス設定	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。
設定値	パネル（初期設定）	IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。
	自動	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。

- 操作パネルから IP アドレスを設定する方法は、以下のページを参照してください。
  本書 358 ページ「標準ネットワークインターフェイスの場合」
- ARP コマンド /PING コマンドからの IP アドレスを設定する方法は、同梱の「ネットワーク設定ガイド」（PDF）をご覧ください。

設定項目	IP*	TCP/IP の IP アドレスを設定します。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

* ［I/F カード設定］メニューの［IP アドレス設定］を［自動］に設定すると表示されません。

設定項目	SM	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	GW	TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	AppleTalk	標準のネットワークインターフェイスが AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
設定値	On（初期設定）	AppleTalk ネットワークで使用できます。
	Off	AppleTalk ネットワークで使用できません。

ボタン	操作パネルの表示	説明
設定項目	MS Network	標準のネットワークインターフェイスがMS Networkを使用できるかどうかを選択します。
設定値	On（初期設定）	MS Network を使用できます。
	Off	MS Network を使用できません。

設定項目	Rendezvous	標準のネットワークインターフェイスがRendezvousを使用できるかどうかを選択します。
設定値	Off（初期設定）	Rendezvous を使用できません。
	On	Rendezvous を使用できます。

設定項目	Link Speed	標準のネットワークインターフェイスのデータ転送速度 / 通信方式を設定します。
設定値	自動（初期設定）	データ転送速度 / 通信方式を自動判別します。
	100 Full	100BASE-TX 全二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	100 Half	100BASE-TX 半二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	10 Full	10BASE-T 全二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	10 Half	10BASE-T 半二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。

設定項目	受信バッファ	受信バッファを設定します。
設定値	標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

[I/F カード設定] メニュー

本機に装着したオプションのインターフェイスカードに対する設定項目です。装着したインターフェイスによって設定できる項目は異なります（設定する必要のない項目は表示されません）。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F カード	オプションのインターフェイスカードを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	使う（初期設定）	オプションのインターフェイスカードを使用します。
	使わない	オプションのインターフェイスカードを使用しません。

設定項目	IP アドレス設定	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。
設定値	パネル	IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。
	自動	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。

- 操作パネルから IP アドレスを設定する方法は、以下のページを参考に設定してください。
  本書 362 ページ「オプションのネットワークインターフェイスカードの場合」
- ARP コマンド /PING コマンドからの IP アドレスを設定する方法は、オプションのネットワークインターフェイスカードの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	IP	TCP/IP の IP アドレスを設定します。なお、[I/F カード設定] メニューの [IP アドレス設定] を [自動] に設定すると表示されません。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	SM	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	GW	TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	AppleTalk	インターフェイスカードを装着したプリンタが AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
設定値	On	AppleTalk ネットワークで使用できます。
	Off	AppleTalk ネットワークで使用できません。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	MS Network	インターフェイスカードを装着したプリンタがMS Networkを使用できるかどうかを選択します。
設定値	On	MS Network を使用できます。
	Off	MS Network を使用できません。
設定項目	Rendezvous	インターフェイスカードを装着したプリンタがRendezvousを使用できるかどうかを選択します。
設定値	On	Rendezvous を使用できます。
	Off	Rendezvous を使用できません。
設定項目	I/F カード初期化	インターフェイスカードの設定を初期化します。
設定値	ー	設定値はありません。［↲▶（3）］ボタンを押して実行します。
設定項目	受信バッファ	受信バッファを設定します。
設定値	標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

[USB ホスト設定] メニュー

本機の USB ポートに USB メモリ（USB フラッシュメモリなどのデバイス）を接続して以下の直接印刷機能を使用するかどうかの設定項目です。

☞ 本書 331 ページ「[インデックス印刷] メニュー」
☞ 本書 332 ページ「[文書ファイル印刷] メニュー」
☞ 本書 333 ページ「[画像ファイル印刷] メニュー」

変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	USB ホスト	USB ポートを使用するかどうかを設定します。
設定値	使う（初期設定）	USB ポートを使用します。
	使わない	USB ポートを使用しません。

[ESC/PS 環境設定] メニュー

ESC/PS または ESC/P モードに対する設定項目です。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	連続紙	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 連続紙用の印刷データを、単票用紙（カット紙）に縮小して印刷するかどうかを選択します。
設定値	OFF（初期設定）	縮小しません。
	F15 → B4 横	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙へのデータを B4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F15 → A4 横	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙へのデータを A4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F10 → A4 縦	254 × 279.4mm（10 × 11 インチ）の連続紙へのデータを A4 縦長の用紙に縮小して印刷します。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	文字コード	• ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コードを切り替えます。コード表は、別売のリファレンスマニュアルを参照してください。
設定値	カタカナ（初期設定）	カタカナコード表を選択します。
	グラフィック	拡張グラフィックスコード表を選択します。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	給紙位置	• ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 用紙の印刷開始位置を選択します。
設定値	8.5mm（初期設定）	8.5mm にします。
	22mm	22mm にします。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	各国文字	• ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
設定値	日本（初期設定）、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン	

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ゼロ	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 英数カナ文字コードの「 0 」の書体を選択します。
設定値	0（初期設定）	「 0 」を選択します。
	Ø	「 Ø 」を選択します。

設定項目	用紙位置	• ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 横方向の印字範囲（136 桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定で PC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、「中央」を選択してください。 なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
設定値	左（初期設定）	左合わせに設定します。
	中央	中央合わせに設定します。
	中央 -5	中央合わせで、オフセット量を -5mm にします。
	中央 +5	中央合わせで、オフセット量を +5mm にします。

設定項目	右マージン	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 右マージンを選択します。
設定値	用紙幅（初期設定）	使用する用紙の印刷可能領域いっぱいにします。
	136 桁	用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6 インチ）にします。136 桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷可能領域を超える部分を切り捨てます。

設定項目	漢字書体	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 漢字に使用する書体を選択します。
設定値	明朝（初期設定）	明朝体を選択します。
	ゴシック	角ゴシック体を選択します。

[ESC/Page 環境設定] メニュー

ESC/Page モードに対する設定項目です。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	復帰改行	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
設定値	する（初期設定）	自動復帰改行動作をします。
	しない	自動復帰改行動作をしません。

設定項目	改ページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷するかを選択します。
設定値	する（初期設定）	自動改ページ動作をします。
	しない	自動改ページ動作をしません。

設定項目	CR	CR（復帰）の動作を選択します。
設定値	CR のみ（初期設定）	CR（復帰）動作のみを行います。
	CR+LF	CR（復帰）と同時に LF（改行）動作も行います。

設定項目	LF	LF（改行）の動作を選択します。
設定値	CR+LF（初期設定）	LF（改行）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	LF のみ	LF（改行）動作のみを行います。

設定項目	FF	FF（改ページ）の動作を選択します。
設定値	CR+FF（初期設定）	FF（改ページ）と同時に CR （復帰）動作も行います
	FF のみ	FF（改ページ）動作のみを行います。

設定項目	エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
設定値	Off（初期設定）	無視します。
	On	スペースに置き換えます。

設定項目	フォントタイプ	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
設定値	1（初期設定）	15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	全角フォントを優先して印刷します。
	3	半角フォントを優先して印刷します。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フォーム実行	フォームオーバーレイ＊印刷を実行するかしないかを選択します。フォームデータが書き込まれたオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが本機に装着されているときに表示されます。
設定値	Off（初期設定）	フォームオーバーレイ印刷を実行しません。
	On	フォームオーバーレイ印刷を実行します。ここで設定すると、ESC/P モードでも実行できます。

設定項目	フォーム番号	実行するフォームオーバーレイの番号 ＊ を選択します。フォームデータが書き込まれたオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが本機に装着されているときに表示されます。
設定値	1 ～ 512 （初期設定：1）	オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールに登録したフォームオーバーレイ番号を選択します。

＊ フォームデータの作成または使用方法、フォームオーバーレイ ROM モジュールへの登録方法の詳細は、オプションの「フォームオーバーレイユーティリティ（EPSON Form!4）」に添付の取扱説明書を参照してください。

[パスワード設定] メニュー

操作パネルの設定変更を制限できます。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パスワード設定	［制限範囲］に対するパスワードを、半角英数（大文字・小文字の区別あり）を 20 文字（桁）以内で設定します。
設定値	「xxxx」	旧パスワード、新パスワード、新パスワード確認と 3 回入力します。 ①[旧パスワード =] と表示されたら、旧パスワードを入力します。 なお、工場出荷時のパスワードは何も設定されてませんので。［A］と表示されたらすぐに［▲(2)］を 1 回押して［🔒］を表示させ、［↵▶(3)］ボタンを押して次に進みます。 すでにパスワードが設定されているときは、［▲(2)］または［▼(4)］ボタンで各桁の半角英数字を選択し、［↵▶(3)］ボタンで確定して次の桁に移動します。［↵▶(3)］ボタンでパスワード最終桁の入力が終わったら、［▲(2)］を 1 回押して［🔒］を表示させ［↵▶(3)］ボタンを押してパスワードの入力を終了します。 ②［新パスワード =］と表示されたら、同様の手順で新しいパスワードを入力します。 ③[新パスワード確認 =］と表示されたら、パスワードを確認するため、もう一度同様の手順で新パスワードを入力します。 「パスワードを変更しました」と表示されたら終了です。

ボタン	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	制限範囲	操作パネルから設定を変更したり機能を実行する際に、権限のある（パスワードを知っている）ユーザーしか操作できない範囲を指定します。［パスワード設定］で設定したパスワード（半角英数 20 文字以内、大文字・小文字を区別する）が必要です。 ①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンで各桁を選択し、［↵▶(3)］ボタンで確定して次の桁に移動します。 ②［↵▶(3)］ボタンでパスワード最終桁の入力が終わったら［▲(2)］を 1 回押して［🔒］を表示させ［↵▶(3)］ボタンを押してパスワードの入力を終了します。 パスワードが正しいと、設定が変更できるようになります。設定を変更したら［印刷可］または［ジョブキャンセル］ボタンを押して設定モードから抜け出します。なお、パスワードがわからないときも、［印刷可］または［ジョブキャンセル］ボタンを押して操作を終了します。
設定値	制限しない（初期設定）	操作パネルからの設定変更や機能実行時に、パスワードの入力は必要ありません。制限なく設定を確認・変更したり、機能を実行できます。
	I/F 項目のみ	［パラレル I/F 設定］、［USB I/F 設定］、［ネットワーク設定］、［I/F カード設定］、および［USB ホスト設定］メニューで設定値を変更するときに、パスワードを入力する必要があります。ただし、パスワードがなくても設定値を確認することはできます。
	選択項目のみ	各設定項目の設定値を変更するときに、パスワードを入力する必要があります。ただし、パスワードがなくても設定値の確認や機能の実行はできます。
	全項目	各設定項目の設定値を変更するときや機能を実行するときに、パスワードを入力する必要があります。ただし、パスワードがなくても設定値の確認はできます。

- ［ ◀（1）］ボタンを押しても、確定した桁へは戻れません。
- 確定した桁は表示が＊に変わります。
- パスワードの入力を途中で間違えたら、［印刷可］または［ジョブキャンセル］ボタンを押して一旦設定モードから抜け出して最初からやり直してください。
- 入力したパスワードに誤りがあると［パスワードが違います］と表示されますので、操作をやり直します。
- ［パスワード設定］メニューで使用するパスワードは、EpsonNet Config で設定するパスワードと共通になります。
- パスワードを忘れてしまったときは､､エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表に記載されています。

発生しているワーニングを確認するには

現在発生しているワーニングを操作パネルで確認することができます。

上段のプリンタステータス表示部分の右端に"▲"または"▼"が表示されているときは、複数のワーニングが発生しています。このようなときは、［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押すことで複数のワーニングメッセージを確認することができます。

☞ 本書 367 ページ「ワーニングメッセージ」

IP アドレスを操作パネルから設定するには

ネットワークインターフェイスの IP アドレスなど、TCP/IP の設定はプリンタの操作パネルから変更できます。ここでは、IP アドレスを操作パネルから設定する方法を説明します。

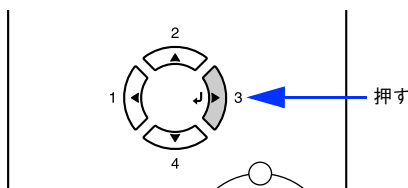
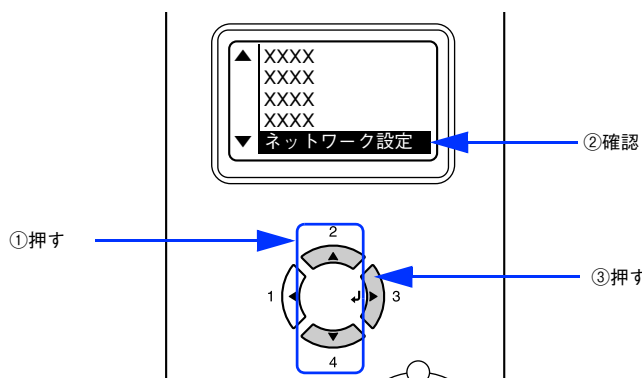
- 操作パネル以外の設定方法は、同梱の「ネットワーク設定ガイド」（PDF）をご覧ください。
- IP アドレスの取得方法には［パネル］［自動］［PING］のいずれかを選択できますが、操作パネルから IP アドレスの設定を行う場合は、［パネル（初期設定）］を選択してください。

標準ネットワークインターフェイス、オプションの無線プリントアダプタ、またはオプションのネットワークインターフェイスカードによって、IP アドレスの設定手順が多少異なります。

標準ネットワークインターフェイスの場合

本機の標準ネットワークインターフェイスの設定は以下の手順に従ってください。

1 操作パネルの［ ↲▶（3）］ボタンを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、操作パネルに［プリンタ情報］などの設定メニューが表示されます。

2 ［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して［ネットワーク設定］をハイライト表示させ、［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

3 操作パネルに［ネットワーク I/F ＝使う］と表示されていることを確認します。

［ネットワーク I/F ＝使わない］になっている場合は、次の操作を行います。

①［ ↲▶（3）］ボタンを押して設定値の階層に進みます。

②［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して、［ネットワーク I/F ＝使う］にします。

③［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

4 ［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して［IP アドレス設定＝パネル］になっていることを確認します。

［IP アドレス設定＝自動］または［IP アドレス設定＝ PING］になっている場合は、次の操作を行います。

①［ ↲▶ (3)］ボタンを押して設定値の階層に進みます。

②［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して、［IP アドレス設定＝パネル］にします。

③［ ↲▶ (3)］ボタンを押します。

5 各アドレスを設定します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して、設定するアドレスを選択します。

設定項目	意味
IP	IP アドレスを設定します。（初期設定：192.168.192.168）
SM	サブネットマスクを設定します。（初期設定：255.255.255.0）
GW	ゲートウェイアドレスを設定します。（初期設定：255.255.255.255）

②［ ↲▶ (3)］ボタンを押して設定値の階層に進みます。

③［ ◀(1)］または［ ↲▶ (3)］ボタンを押して 1/2/3/4 バイト目を選択し、［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して希望の数値を選択します。

④［ ↲▶ (3)］ボタンを押します。

6 各アドレスの設定が終了したら、［印刷可］ボタンを押します。

設定モードを終了して［印刷できます］と表示されますが、ネットワークインターフェイスの初期化が終了するまでしばらくお待ちください。

設定直後は、ネットワークインターフェイスの初期化（ネットワークインターフェイスのランプが赤色に点灯）が行われるため、プリンタの電源をオフにしたり、プリンタをリセットまたはリセットオールしたり、［ネットワーク情報印刷］を実行したりしないでください。

7 ネットワーク設定を有効にします。

プリンタの電源をオフ（○）にして再度電源をオン（｜）にするか、設定モードの［プリンタリセット］メニューから［リセットオール］を実行します。

参考

IP アドレスが正しく登録されたか確認するには、ネットワークインターフェイスの初期化が終了してから、［プリンタ情報］メニューの［ネットワーク情報印刷］を実行してください。

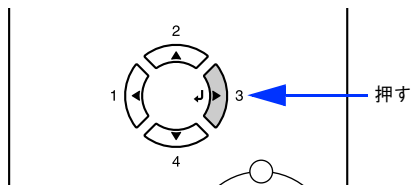
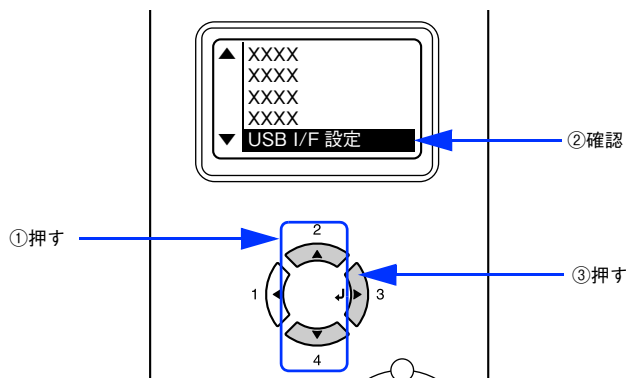
本書 329 ページ「［プリンタ情報］メニュー」

以上でネットワークインターフェイスの IP アドレスなどの設定は終了です。

オプションの無線プリントアダプタの場合

オプションの無線プリントアダプタの設定は以下の手順に従ってください。

1 操作パネルの［ ↲▶（3）］ボタンを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、操作パネルに［プリンタ情報］などの設定メニューが表示されます。

2 ［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して［USB I/F 設定］をハイライト表示させ、［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

3 操作パネルに［USB I/F ＝使う］と表示されていることを確認します。

［USB I/F ＝使わない］になっている場合は、次の操作を行います。

①［ ↲▶（3）］ボタンを押して設定値の階層に進みます。

②［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して、［USB I/F ＝使う］にします。

③［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

4 ［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して［IP アドレス設定＝パネル］になっていることを確認します。

［IP アドレス設定＝自動］または［IP アドレス設定＝ PING］になっている場合は、次の操作を行います。

①［ ↲▶（3）］ボタンを押して設定値の階層に進みます。

②［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して、［IP アドレス設定＝パネル］にします。

③［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

5 各アドレスを設定します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して、設定するアドレスを選択します。

設定項目	意味
IP	IP アドレスを設定します。
SM	サブネットマスクを設定します。
GW	ゲートウェイアドレスを設定します。

②［ ↲▶(3)］ボタンを押して設定値の階層に進みます。

③［ ◀(1)］または［ ↲▶(3)］ボタンを押して 1/2/3/4 バイト目を選択し、［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して希望の数値を選択します。

④［ ↲▶(3)］ボタンを押します。

6 各アドレスの設定が終了したら、［印刷可］ボタンを押します。

設定モードを終了して［印刷できます］と表示されますが、無線プリントアダプタの初期化が終了するまでしばらくお待ちください。

7 ステータスシートを印刷して、設定が有効になっていることを確認します。

ステータスシートを印刷するには、オプションの無線プリントアダプタの初期化状態が終了してから、［プリンタ情報］メニューの［USB 外部機器情報印刷］を実行してください。

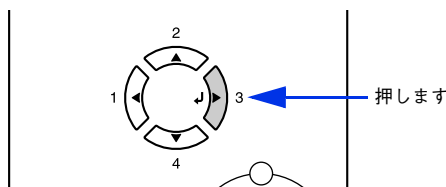
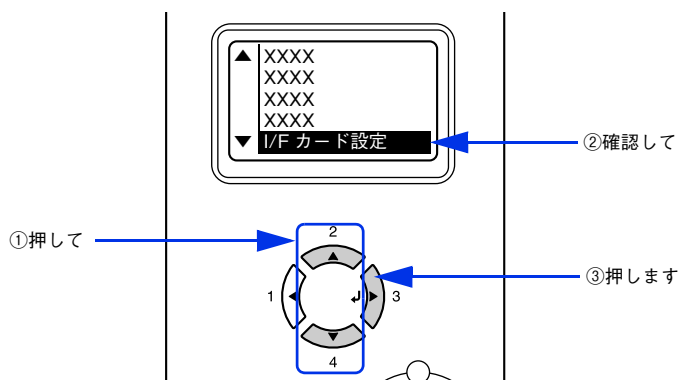
☞ 本書 329 ページ「［プリンタ情報］メニュー」

以上でオプションの無線プリントアダプタの IP アドレスなどの設定は終了です。

オプションのネットワークインターフェイスカードの場合

オプションのネットワークインターフェイスカードの設定は以下の手順に従ってください。

1　液晶ディスプレイ下の［ ↲▶（3）］ボタンを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、液晶ディスプレイに［プリンタ情報］などの設定メニューが表示されます。

2　［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して［I/F カード設定］をハイライト表示させ、［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

3　液晶ディスプレイに［I/F カード＝使う］と表示されていることを確認します。

［I/F カード＝使わない］になっている場合は、次の操作を行います。

①［ ↲▶（3）］ボタンを押して設定値の階層に進みます。

②［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して、［I/F カード＝使う］にします。

③［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

4　［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して［IP アドレス設定＝パネル］になっていることを確認します。

［IP アドレス設定＝自動］または［IP アドレス設定＝ PING］になっている場合は、次の操作を行います。

①［ ↲▶（3）］ボタンを押して設定値の階層に進みます。

②［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して、［IP アドレス設定＝パネル］にします。

③［ ↲▶（3）］ボタンを押します。

5 各アドレスを設定します。

①［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して、設定するアドレスを選択します。

設定項目	意味
IP	IP アドレスを設定します。
SM	サブネットマスクを設定します。
GW	ゲートウェイアドレスを設定します。

②［↲▶(3)］ボタンを押して設定値の階層に進みます。

③［◀(1)］または［↲▶(3)］ボタンを押して 1/2/3/4 バイト目を選択し、［▲(2)］または［▼(4)］ボタンを押して希望の数値を選択します。

④［↲▶(3)］ボタンを押します。

6 各アドレスの設定が終了したら、［印刷可］ボタンを押します。

設定モードを終了して［印刷できます］と表示されますが、オプションのネットワークインターフェイスカードの初期化が終了するまでしばらくお待ちください。

設定直後は、オプションのネットワークインターフェイスカードの初期化が行われるため、プリンタの電源をオフにしたり、プリンタをリセットまたはリセットオールしたり、［ネットワーク情報印刷］を実行したりしないでください。ランプの点灯状態の詳細は、オプションの取扱説明書を参照してください。

参考

IP アドレスが正しく登録されたか確認するには、ネットワークインターフェイスの初期化が終了してから、［プリンタ情報］メニューの［ネットワーク情報印刷］を実行してください。

☞ 本書 329 ページ「［プリンタ情報］メニュー」

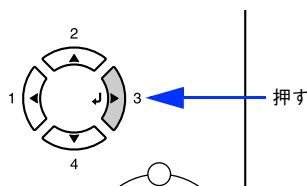
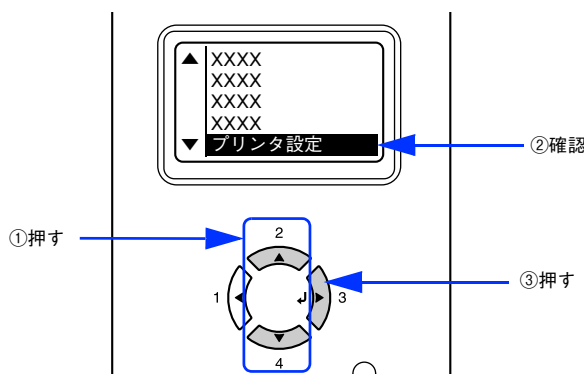
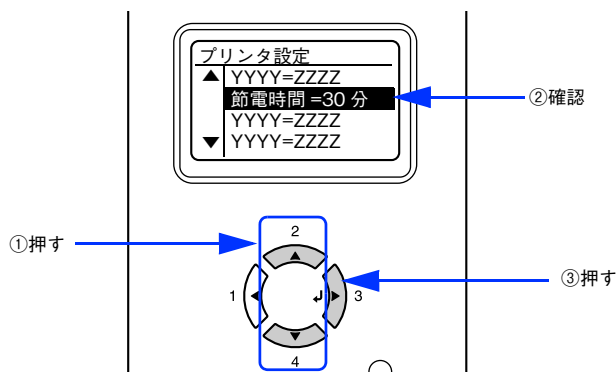
以上でオプションのネットワークインターフェイスカードの IP アドレスなどの設定は終了です。

印刷待機時の消費電力を効率よく節約するには

節電機能とは、印刷待機時の消費電力を節約する機能です。設定時間（初期設定は 30 分）が経過すると節電状態になります。使用状況に応じて設定時間を変更することにより、効率的に消費電力を節約できます。ここでは、操作パネルから節電状態に入るまでの時間を設定する方法を説明します。

- 変更した設定は、すべてのインターフェイスに対して有効です。
- 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始まで数分かかる場合があります。

1　操作パネルの［↲▶（3）］ボタンを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、操作パネルに［プリンタ情報］などの設定メニューが表示されます。

2　［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して［プリンタ設定］をハイライト表示させ、［↲▶（3）］ボタンを押します。

3　［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して［節電時間＝（現在の設定値）］をハイライト表示させ、［↲▶（3）］ボタンを押します。

4　［▲（2）］または［▼（4）］ボタンを押して節電モードに入るまでの時間を変更し、［↲▶（3）］ボタンを押します。

変更した設定値（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分）が有効となり、設定項目の階層へ戻ります。

5　［印刷可］ボタンを 1 回押すか、［◀（1）］ボタンを 2 回押して、設定モードを終了します。

設定モードが終了し、操作パネルに［印刷できます］または［節電中］と表示されます。

以上で節電状態に入るまでの時間の設定は終了です。

プリンタの状態や設定値を印刷するには

プリンタの現在の状態や設定値を印刷したものをステータスシートといいます。ステータスシートを印刷すると、プリンタの現在の情報を確認できます。次のようなときに、ステータスシートを印刷してください。

- プリンタの動作に異常がないかを確認したい
- プリンタの現在の設定を確認したい
- プリンタにオプションを取り付けたとき（取り付けたオプションが正しく認識されると、ステータスシートの印刷内容にそのオプションが追加されます）

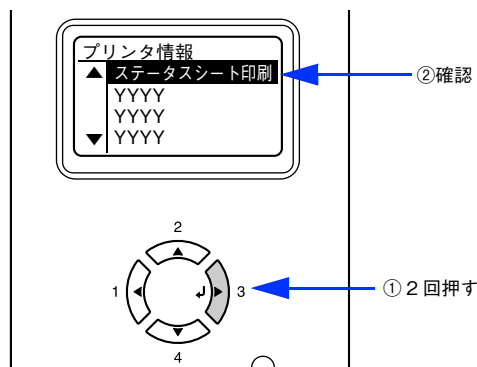
> **参考**
> ステータスシートはプリンタドライバからも印刷できます。ただし、Mac OS X からステータスシートは印刷できません。
> ☞ Windows：本書 73 ページ「[環境設定］ダイアログ」
> ☞ Mac OS 9：本書 192 ページ「[プリンタセットアップ］ダイアログ」

1 **MP トレイまたは用紙カセット 1 に A4 サイズの用紙をセットします。**

☞ 本書 386 ページ「MP トレイへの用紙のセット」
☞ 本書 389 ページ「用紙カセット 1（標準カセット）への用紙のセット」

2 **プリンタの［電源］スイッチをオンにし、操作パネルに［印刷できます］と表示されていることを確認します。**

3 **［ ↲▶（3)］ボタンを 2 回押します。**

操作パネルの［ステータスシート印刷］がハイライト表示されます。

4 **再度［ ↲▶（3)］ボタンを押して、ステータスシートを印刷します。**

- 操作パネルの［ステータスシート］表示とデータランプが点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒時間がかかります)。
- 印刷が終了すると印刷可ランプが点灯し、操作パネルに［印刷できます］と表示されます。

> **参考**
> ステータスシートが印刷できないときは、以下のページを参照してください。
> ☞ 本書 489 ページ「困ったときは」

以上でステータスシートの印刷は終了です。

リセットの仕方

リセット

リセットは、操作パネルに［リセットしてください］と表示されたときに行います。リセットすると、現在使用中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄し、エラーを解除します。以下のページを参照して、操作パネルでリセットします。

本書 342 ページ「リセット」

!注意

- ［リセットしてください］と表示されたときは、リセットオールを行わないように注意してください。リセットオールを行うと、メモリに保存された印刷データがすべて破棄され、電源をオンにした直後の状態まで初期化されます。
- プリンタが印刷データの処理をしているときにパネル設定を変更すると、［リセットしてください］と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。

リセットオール

リセットオールを行うと、印刷中の印刷データの処理を中止します。また、電源をオンにした直後の状態まで初期化され、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。印刷されずにハードディスクに残っているパスワード印刷ジョブは、ハードディスクから削除されます。リセットオールは、操作パネルの設定モードで行います。以下のページを参照してください。

本書 342 ページ「リセットオール」

操作パネルの表示メッセージについて

操作パネルには、メッセージが表示されます。表示されるメッセージには、ワーニングメッセージ、エラーメッセージ、ステータスメッセージの 3 種類があります。

ワーニングメッセージ

プリンタに何らかの問題が発生すると、注意を促すワーニングメッセージを表示します。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。

操作パネルに表示されるワーニングメッセージは、操作パネルの［リセットメニュー］から［ワーニングクリア］または［全ワーニングクリア］を実行して消すことができます。

- ［ワーニングクリア］は、消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。
  本書 342 ページ「ワーニングクリア」
- ［全ワーニングクリア］は、すべてのワーニングメッセージを消します。
  本書 342 ページ「全ワーニングクリア」

表示・説明	処置
＊＊＊＊トナーが交換時期（エコ印刷モード） 「＊＊＊＊トナーを交換してください」とエラーメッセージが表示されてエラーランプが点滅しているときに［印刷可］ボタンを押すと、一時的にエラーを解除され、このワーニングメッセージが表示されます。	この状態でも印刷できますが、画質は保証できません。品質を確認しながら使用してください。また、できるだけ速やかにトナーカートリッジを交換してください。
＊＊＊＊トナーの交換時期が近付きました 「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジのトナー残量が少なくなりました。	• このままの状態でも印刷可能です。新しいトナーカートリッジを用意してください。 • 「＊＊＊＊トナーを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。 本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」
Hard Disk full ハードディスクユニットの容量が限界値に達しました。	オプションのハードディスク容量がいっぱいになりました。データの処理が終了するまでお待ちください。
ROM A に有効なデータが書き込まれていません 書き込み可能で未フォーマットの ROM モジュールがソケットに装着されています。	初めて書き込む ROM モジュールであれば問題ありません。［印刷可］ボタンを押して操作パネル表示を消し、再度書き込みを行います。再度このメッセージが表示された場合は、ROM モジュールが損傷している可能性があります。プリンタの電源をオフにした後、ROM モジュールを取り外してください。

表示・説明	処置
印刷できないデータを受信しました 印刷データに問題があるため、印刷できませんでした。	• ［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行すると、このワーニングメッセージは消えます。 本書 342 ページ「ワーニングクリア」 • モノクロモデルでカラー印刷を行いました。モノクロモデルの場合は、モノクロ印刷を行ってください。 • 本機で使用できないプリンタドライバから印刷を行いました。使用したプリンタドライバを確認して、正しいプリンタドライバをインストールし直して、正しいプリンタドライバから印刷してください。 • USB メモリのファイルを印刷する場合は､USB メモリの接続や保存ファイルを確認してください。
解像度を落として印刷しました メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。	• 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、［ジョブキャンセル］ボタンを押します。 • 印刷後に操作パネル表示を消すには、［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行します。 本書 342 ページ「ワーニングクリア」 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。 ②アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 ③使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。 ④プリンタのメモリを増設する。
該当箇所の清掃をしてくださいA クリーニングテープの交換時期です。	良好な印刷品質を保つために、A カバーを開けてクリーニングテープを取り外してください。さらに、［プリンタリセット］メニューから［全ワーニングクリア］を実行して清掃時期を管理するカウンタをリセットしてください。 本書 485 ページ「クリーニングテープの取り外し」 本書 342 ページ「全ワーニングクリア」
該当箇所の清掃をしてくださいD 帯電ワイヤの清掃をしてください。	良好な印刷品質を保つために、D カバーを開けてクリーニングノブ A で帯電ワイヤの清掃をしてください。清掃後、D カバーを閉じるとワーニング状態が解除されます。ただし、清掃中はトナーカートリッジの交換設定ボタンを押さないでください（清掃時期を管理するカウンタがリセットされません)。 本書 483 ページ「帯電ワイヤの清掃」
感光体ユニットが交換時期（エコ印刷モード） 「感光体ユニットを交換してください」とエラーメッセージが表示されてエラーランプが点滅しているときに［印刷可］ボタンを押すと一時的にエラーを解除され、このワーニングメッセージが表示されます。	この状態でも印刷できますが、画質は保証できません。品質を確認しながら使用してください。また、できるだけ速やかに感光体ユニットを交換してください（寿命が切れると印刷できなくなります)。

表示・説明	処置
感光体ユニットの交換時期が近付きました 感光体ユニットの寿命が近付きました。	• このままの状態でも印刷可能です。新しい感光体ユニットを用意してください。 • 「感光体ユニットを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しい感光体ユニットと交換してください。 ☞本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」
指定と違うサイズの用紙に印刷しました 給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。	• ［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行します。 ☞本書 341 ページ「自動エラー解除」 ☞本書 342 ページ「ワーニングクリア」 • ［プリンタ設定］メニューの［用紙サイズフリー］を［On］に設定すると、このワーニングメッセージは表示されなくなります。 ☞本書 341 ページ「用紙サイズフリー」
指定と違うタイプの用紙に印刷しました 印刷時に設定したサイズとタイプ（種類）の用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。	• ［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 ☞本書 342 ページ「ワーニングクリア」 • 各給紙装置にセットしている用紙のタイプと、操作パネルの［給紙装置設定］メニューで設定した用紙タイプを確認してください。 ☞本書 335 ページ「［給紙装置設定］メニュー」 ☞本書 411 ページ「用紙タイプ選択機能」
定着ユニットの交換時期が近付きました 定着ユニットの寿命が近付きました。	このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。 ☞本書 553 ページ「定期交換部品」
転写ユニットの交換時期が近付きました 転写ベルトの寿命が近付きました。	このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。 ☞本書 553 ページ「定期交換部品」
廃トナーボックスの交換時期が近付きました 廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。	• このままの状態でも印刷可能です。新しい廃トナーボックスを用意してください。 • 「廃トナーボックスを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しい廃トナーボックスと交換してください。 ☞本書 475 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」
パスワード印刷の登録に失敗しました パスワード印刷ジョブを登録できませんでした。	• 印刷していないパスワード印刷ジョブがすでに64ファイルある状態で、さらにパスワード印刷ジョブを登録しようとしました。印刷していないパスワード印刷ジョブを印刷するか消去してから、再度登録してください。 • ハードディスクユニットが装着されていないとパスワード印刷ジョブは登録できません。ハードディスクユニットを取り付けてください。
非サポート USB デバイス 接続した USB デバイスは本機で使用できません。	USB メモリ（USB フラッシュメモリなどのデバイス）を取り外すか、［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。本機で使用できる USB メモリ（USB フラッシュメモリなどのデバイス）を接続してください。 ☞本書 342 ページ「ワーニングクリア」

表示・説明	処置
非純正品トナーカートリッジ 非純正品のトナーカートリッジが取り付けられています。	このまま使用すると、純正品とは異なる印刷品質やトナー残量表示となる場合があります。純正トナーカートリッジとの交換をお勧めします。
部数印刷できませんでした 指定した部数の印刷データを扱うためのメモリまたはハードディスクの容量が足りないため、1 部だけ印刷します。	表示するデータ量を少なくしてください。または、メモリを増設してください。
メモリ不足のため印刷に時間がかかりました 印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、［リセット］または［リセットオール］を行います。操作パネル表示を消すには、［ワーニングクリア］を実行します。メモリを増設してください。

エラーメッセージ

トラブルが発生したときに、エラーメッセージを表示して印刷を停止します。印刷を再開するには、以下の説明を参照して、エラーの解除に必要な処置を行ってください。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。

- 用紙が詰まったときの対処方法は、以下のページを参照してください。
  本書 503 ページ「用紙が詰まったときは」
- 消耗品の交換方法は、以下のページを参照してください。
  本書 462 ページ「プリンタのメンテナンス」

表示・説明	処置
＊＊＊＊カバーを閉じてください 「＊＊＊＊」に表示されるカバーが開いています。または確実に閉じていません。	「＊＊＊＊」には開いているカバー A、D、E が表示されます。 A：カバー A（本体前側） D：カバー D（本体左側） E：カバー E（カバー D の内側） 表示されているカバーを閉じると、エラーが解除されます。
＊＊＊＊トナーカートリッジが故障です 「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジが故障しています。	「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、故障しているトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック 表示された色のトナーカートリッジを正常なものに交換してください。交換後に電源を入れ直してください。 本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」
＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください 「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジがなくなりました。	• 「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、交換が必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック • エラーランプが点灯している場合は、表示される色のトナーカートリッジの交換を行います。取り付けた後、D カバーを閉じるとエラーが解除されます。 本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」 • エラーランプが点滅している場合は、［印刷可］ボタンを押すと一時的にエラーを解除できます（［＊＊＊＊トナーが交換時期（エコ印刷モード）］とワーニングメッセージに変わります）。この状態でも 100 枚程度印刷できますが、できるだけ速やかにトナーカートリッジを交換してください。
＊＊＊＊トナーカートリッジを取り付けてください 「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジがセットされていません。	「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、取り付けが必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック 表示される色のトナーカートリッジを取り付けます。取り付けた後、D カバーを閉じるとエラーが解除されます。 本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」

表示・説明	処置
＊＊＊＊非純正品トナー 「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジは純正品ではありません。	「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、取り付けが必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック 表示される色の本機純正トナーカートリッジの取り付けを行います。取り付けた後、D カバーを閉じるとエラーが解除されます。 本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」
HDD エラー オプションのハードディスクユニットにエラーが発生しました。	プリンタの電源をオフにした後、ハードディスクユニットが正しく装着されているか確認します。操作パネル表示が消えない場合は、お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
I/F カードエラー 本機では使用できないインターフェイスカードが装着されています。	本プリンタで使用できない I/F カードが取り付けられているため認識できません。一旦電源をオフにし、本プリンタで使用可能な I/F カードを取り付けてください。 本書 439 ページ「インターフェイスカード」
Optional RAM Error メモリを認識できません。	本プリンタで使用できないメモリが取り付けられているため認識できません。一旦電源をオフにし、本プリンタで使用可能なメモリを取り付けてください。 本書 441 ページ「増設メモリ」
ROM A ライトエラー 書き込み不可の ROM モジュールに書き込もうとしたか、書き込みが正常に終了しませんでした。または、ソケットに ROM モジュールが装着されていません。	プリンタの電源をオフにした後、オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールを確認してください。
ROM A リードエラー 本機では利用できない ROM モジュールがソケットに装着されています。	プリンタの電源をオフにした後、オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールを取り外します。本機で使用可能なフォームオーバーレイ ROM モジュールかどうか型番などで確認してください。
Service Req **＊＊＊＊＊** サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
オーバーランエラー 印刷の途中でプリンタドライバのスプールファイルを削除して、次に別の印刷を実行しました。または、通信エラーで受信したデータに異常があります。	プリンタドライバからスプールファイルを削除してから、プリンタの［ジョブキャンセル］ボタンを押してプリンタに残っているデータを削除してください。

表示・説明	処置
カセット＊に用紙を横長に入れてください 標準またはオプションの用紙カセットから給紙するときに、給紙方向に対して横長の状態でセットすべき用紙が縦長にセットされています。 A4、B5、Letter（LT）サイズの用紙は横長にセットする必要があります。	「＊」の部分に表示されている番号の用紙カセットに対して、以下のいずれかの処置を行ってください。 1：標準カセットユニット 1（プリンタ下部） 2：増設カセットユニット 2（増設 1 段目） 3：増設カセットユニット 3（増設 2 段目） 4：増設カセットユニット 4（増設 3 段目） ①プリンタドライバで指定した用紙サイズが正しい場合は、用紙カセットから用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定したサイズの用紙を給紙方向に対して横長の状態でセットすると、エラーが解除されて印刷を再開します。 ②用紙カセットにセットしてある用紙サイズが正しい場合は、印刷を中止して、プリンタドライバで正しい用紙サイズを指定し直して印刷します。
紙をセットしてください **xxxxx yyyy** 以下のようなときに表示されます。 ①印刷のために給紙しようとした給紙装置「xxxxx」に、用紙がセットされていません。 ②すべての給紙装置に用紙がセットされていません。	①の場合： 給紙装置「xxxxx」にサイズ「yyyy」の用紙をセットすると、エラーが解除されて印刷されます。 本書 384 ページ「給紙装置と用紙のセット方法」 ②の場合： いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラーが解除されて印刷されます。
紙を取り除いてください **＊＊＊＊** 「＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、「＊＊＊＊＊」の部分には操作パネルに表示可能な範囲まで表示されます。	以下のページを参照して、「＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。 MP：MP トレイ 本書 509 ページ「MP トレイの確認」 C1：標準カセットユニット 1 本書 512 ページ「用紙カセット C1（標準カセット）の確認」 C2：増設カセットユニット 2 C3：増設カセットユニット 3 C4：増設カセットユニット 4 本書514ページ「用紙カセットC2～C4（オプション）の確認」 A：プリンタ内部（A カバー） 本書 505 ページ「プリンタ内部（A カバー）で用紙が詰まった場合は」 B：排紙口（B カバー） 本書507ページ「排紙口（Bカバー）で用紙が詰まった場合は」 詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラーが解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。
感光体ユニットを交換してください 感光体ユニットの寿命です。	• エラーランプが点灯している場合は、感光体ユニットの交換を行います。取り付け後、D カバーを閉じるとエラーが解除されます。 本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」 • エラーランプが点滅している場合は、［印刷可］ボタンを押すと一時的にエラーを解除できます（［感光体ユニットが交換時期（エコ印刷モード）］とワーニングメッセージに変わります）。この状態でも印刷できますが、できるだけ速やかに感光体ユニットを交換してください（寿命になると、印刷できなくなります）。

表示・説明	処置
感光体ユニットを取り付けてください 感光体ユニットがセットされていません。または正しくセットされていません。	感光体ユニットを取り付けます。取り付け後、D カバーを閉じるとエラーが解除されます。 本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」
サービスへ連絡ください ＊＊＊＊ サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
指定された用紙は両面印刷できません 両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能なため、両面印刷の実行を中止します。	• ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。 ①［印刷可］ボタンを押すと、セットされている用紙に片面印刷します。 ②印刷を中止する場合は、［ジョブキャンセル］ボタンを押します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、セットされている用紙に片面印刷します。
定着ユニットを交換してください 定着ユニットの寿命です。	本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。 本書 553 ページ「定期交換部品」
データに異常があるため印刷できません 印刷データの異常です。	• ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。 ①［印刷可］ボタンを押すと、エラーが発生したページを印刷しないで次の印刷を行います。 ②印刷を中止する場合は、［ジョブキャンセル］ボタンを押します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、エラーが発生したページを印刷しないで次の印刷を行います。
転写ユニットを交換してください 転写ベルトの寿命です。	本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。 本書 553 ページ「定期交換部品」
廃トナーボックスを交換してください 廃トナーボックスの空き容量がなくなりました。	廃トナーボックスを交換してください。取り付け後、D カバーを閉じるとエラーが解除されます。 本書 475 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」 操作パネル表示が消えない場合は、お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
廃トナーボックスを取り付けてください 廃トナーボックスがセットされていません。または正しくセットされていません。	廃トナーボックスを正しく取り付けてください。取り付け後、D カバーを閉じるとエラーが解除されます。 本書 475 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」 操作パネル表示が消えない場合は、お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。

表示・説明	処置
プリンタ調整用センサを清掃してください センサおよび露光窓が汚れているため、プリンタ調整を中止しました。	D カバーを開けて、センサおよび露光窓の清掃をしてください。清掃後、D カバーを閉じるとエラーが解除され、プリンタの調整が行われます。 本書 484 ページ「センサと露光窓の清掃」
メモリ不足で印刷できません 処理中にメモリ不足、メモリに対する不正な処理が発生し、動作が続行できなくなりました。	• ［ジョブキャンセル］ボタンを押すと、印刷が中止されます。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、［印刷可］ボタンを押すと印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは不完全な印刷結果になります。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは不完全な印刷結果になります。 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。 ②アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 ③プリンタのメモリを増設する。 ④使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メモリ不足で両面印刷できませんでした 両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため、裏面が印刷できません。この場合、表面のみ印刷して排紙します。	• 以下のいずれかの操作を行ってください。 ①表面側のみ印刷された用紙を裏返してもう一度セットし、［印刷可］ボタンを押すと片面印刷で印刷を再開します。 ②［ジョブキャンセル］ボタンを押して、印刷を中止します。 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。 ②アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 ③プリンタのメモリを増設する。 ④使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
用紙カセット＊をセットしてください 標準またはオプションの用紙カセットがセットされていません。	「＊」の部分に表示される以下の番号の用紙カセットをセットしてください。 1：標準カセットユニット 1（プリンタ下部） 2：増設カセットユニット 2（増設 1 段目） 3：増設カセットユニット 3（増設 2 段目） 4：増設カセットユニット 4（増設 3 段目） 表示されている番号の用紙カセットをセットするとエラーは解除されます。

表示・説明	処置
用紙サイズ設定エラー 紙を取り除いてください 印刷時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされたため、用紙詰まりが発生しました。	以下のページを参照して、詰まった用紙を取り除いてください。 ☞本書 503 ページ「用紙が詰まったときは」 正しいサイズの用紙をセットし、カバーを閉じるとエラーが解除され、印刷を再開します。
用紙を交換してください xxxxx yyyy 給紙をしようとした給紙装置「xxxxx」にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ「yyyy」が異なっています。	• ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。 ①給紙装置「xxxxx」にサイズ「yyyy」の用紙をセットし、［印刷可］ボタンを押して印刷します。 ☞本書 384 ページ「給紙装置と用紙のセット方法」 ②用紙を交換しないで［印刷可］ボタンを押します。セットされている用紙に印刷します。 ③印刷を中止する場合は、［ジョブキャンセル］ボタンを押します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、セットされている用紙に印刷します。
用紙を横長にセットして ください MP トレイから給紙するときに、給紙方向に対して横長の状態でセットすべき用紙が縦長にセットされています。 A4、B5、Letter（LT）、Government Letter（GLT）、Executive（EXE）サイズの用紙は横長にセットする必要があります。	以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで指定した用紙サイズが正しい場合は、MP トレイから用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定したサイズの用紙を給紙方向に対して横長の状態でセットすると、エラーが解除されて印刷を再開します。 ②MP トレイにセットしてある用紙サイズが正しい場合は、印刷を中止して、プリンタドライバで正しい用紙サイズを指定し直して印刷します。

ステータスメッセージ

プリンタが正常に動作している場合は、ステータスメッセージ（現在の状態）を表示します。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。

表示	説明
Formatting HDD	オプションのハードディスクユニットを初期化中です。
HDD CHECK	オプションのハードディスクユニットを確認中です。
RAM CHECK	プリンタの RAM を確認中です。
ROM A 書き込み中 お待ちください	オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールにデータを書き込み中です。
ROM CHECK	プリンタの ROM を確認中です。
SELF TEST	自己診断と、初期化を行っています。
USB メモリファイル確認中　＊＊＊個	USB メモリに保存されている印刷可能なファイル（＊＊＊個）を確認中です。しばらくお待ちください。
印刷可能なファイルがありません	USB メモリには印刷できるファイルがありません。USB メモリを取り外すか、しばらくすると通常のステータスに戻ります。
印刷できます	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォーミングアップ しばらくお待ちください	ウォーミングアップ中です。
エラーの原因が解消されていません	エラーを解除できません。
オフライン 印刷を停止します	印刷データの作成やデータ受信は行いますが、印刷動作を開始しない状態です。［印刷可］ボタンを押すと、現在の状態を表示します。
しばらく待って印刷実行してください	USB メモリから印刷しようとして、直前の印刷を処理中です。しばらく待ってから印刷を再度実行してください。
ジョブキャンセル中 お待ちください	• 何らかの警告が表示されたときに、リセットなどの操作によって印刷中の処理を中止しました。 • コンピュータ側のプリンタドライバによって印刷中の処理を中止しました。
節電中	操作パネルで指定した時間が経過し、節電状態になっています。データの受信、またはリセットで解除されます。
全ジョブキャンセル中 お待ちください	何らかの警告が表示されたときに、リセットなどの操作によって印刷処理をすべて中止しました。
ファイルを選択してください	USB メモリに保存されている印刷対象ファイルを選択しないまま、文書ファイル印刷または画像ファイル印刷を実行しました。しばらく（約 3 秒）待ってから、ファイルを選択して印刷を実行してください。

表示	説明
プリンタ調整中 しばらくお待ちください	良好な印刷品質を保つために、プリンタが印刷機能の自動調整を行っています。しばらくお待ちください。なお、印刷実行中にこのメッセージが表示されると、印刷処理を一時中断します。自動調整が完了すると操作パネル表示が消え、自動的に印刷を再開します。
プリンタ冷却中 しばらくお待ちください	定着器の温度を下げるために、印刷を中止している状態です。定着器が既定温度まで下がると印刷を再開します。
用紙排紙中	プリンタ内に残っている印刷データを、［印刷可］ボタンによって印刷・排紙中です。
リセット	現在使用中のインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄し、エラーを解除中です。
リセット オール	印刷を中止後、プリンタの電源をオンにした直後の状態まで初期化し、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。
リセットしてください	印刷実行中にパネル設定を変更しました。以下のいずれかの操作を行ってください。 ①操作パネルの［プリンタリセット］メニューから［リセット］または［リセットオール］を実行します。直後に変更が反映されますが、印刷データはすべて削除されます。 本書 366 ページ「リセットの仕方」 ②［印刷可］ボタンを押します。印刷実行後に変更が反映されます。

6 使用可能な用紙と給紙 / 排紙

ここでは、印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などの説明をしています。

用紙について

印刷できる用紙の種類

EPSON 製の用紙

次の EPSON 製用紙が使用できます。

使用可能な用紙		型番（サイズ）	説明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA3（A3） LPCPPA4（A4） LPCPPB4（B4）	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。MP トレイ、用紙カセット（標準 / オプション）のどちらからでも給紙できます。
特殊紙	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	LPCOHPS1（A4）	EPSONカラーレーザープリンタ専用のOHPシートです。MPトレイからのみ給紙できます。 本書 408 ページ「OHP シートへの印刷」

上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

参考

EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙の両面に印刷する場合は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。

一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照してください。

☞ 本書 400 ページ「特殊紙への印刷」

使用可能な一般の用紙		説明
普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	紙厚は 64 ～ 90g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 *1	紙厚は 64 ～ 90g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	郵便ハガキ *2	郵便ハガキが使用可能です。往復郵便ハガキの場合は、中央に折り跡のないものをお使いください。 ☞本書 400 ページ「ハガキへの印刷」
	封筒 *3	使用できる定形サイズの封筒は洋形 0 号、長形 3 号です。紙厚が 75 ～ 90g/m^2 の範囲内のものをお使いください。 ☞本書 403 ページ「封筒への印刷」
	厚紙 *4	紙厚が 91 ～ 163g/m^2 の範囲内の用紙（ケント紙を含む）をお使いください。 ☞本書 406 ページ「厚紙への印刷」
	ラベル紙	レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。 ☞本書 407 ページ「ラベル紙への印刷」
	不定形紙	用紙幅が 98.5 ～ 297.0mm、用紙長が 148.0 ～ 431.9mm、紙厚が 64 ～ 163g/m^2 の範囲内のものをお使いください。 ☞本書 409 ページ「不定形紙への印刷」

*1 再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。また、4 連郵便ハガキは使用できません。
☞ 本書 481 ページ「給紙ローラの清掃」

*3 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

*4 厚紙の紙厚は 90g/m^2 を超えて 163g/m^2 以下のものを指しますが、本書では「91 ～ 163g/m^2」という記載をしています。

- 用紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

印刷できない用紙

■ プリンタ（給紙ローラ、感光体、定着器）の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙：スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、郵便ハガキ（インクジェット紙）など
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- 他のカラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

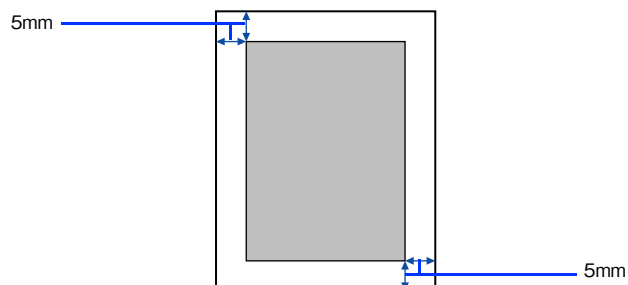
■ 給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（63g/m^2 以下）、厚すぎる用紙（郵便ハガキ以外で 164g/m^2 以上）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している

■ 耐熱温度最高約 200 度で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

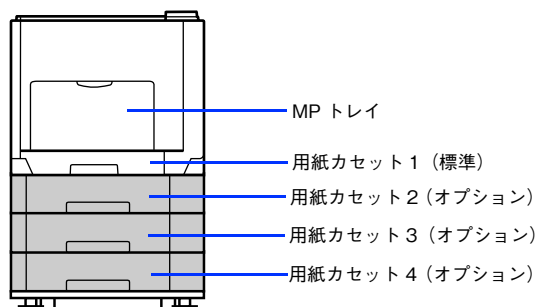
印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。

アプリケーションソフトによっては印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

本機には、標準装備されている MP トレイと用紙カセットのほかにオプションの増設カセットユニットを 3 段まで装着することができます。

各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量

本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。特殊紙を使用する場合は、必ず MP トレイにセットしてください。また、特殊紙は用紙別にセット方法や注意事項が異なりますので以下のページを参照してください。

☞ 本書 400 ページ「特殊紙への印刷」

給紙方法		用紙種類		用紙サイズ（ ）内は操作パネルの上での表記です。	紙厚	容量 *1
標準装備の給紙装置	MP トレイ	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4	64 ～ 90g/m2	150 枚 *2
		特殊紙	郵便ハガキ	100 × 148mm（はがき）	190g/m2	50 枚 *2
			往復郵便ハガキ	148 × 200mm（往復はがき）		
			封筒 *3	洋形 0 号、長形 3 号	75 ～ 90g/m2	15 枚 *2
			ラベル紙	A4	91 ～ 163g/m2	50 枚 *2
			厚紙	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4	91 ～ 163g/m2	75 枚 *2
			不定形紙	幅：98.5 ～ 297.0mm 長さ：148.0 ～ 431.9mm	64 ～ 90 g/m2	150 枚 *2
					91 ～ 163g/m2	75 枚 *2
			EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	A4	100g/m2	60 枚 *2
	用紙カセット	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）	64 ～ 90g/m2	250 枚 *4
オプション	増設カセットユニット（LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2）	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）	64 ～ 90g/m2	500 枚 *5

*1 セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大枚数表示までです。最大枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*2 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 17mm までセット可能です。

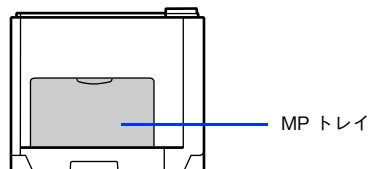
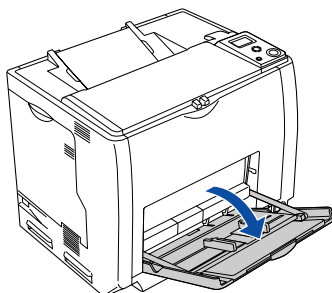
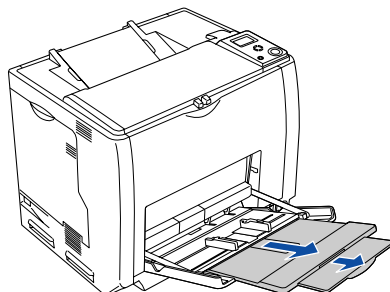
*3 ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

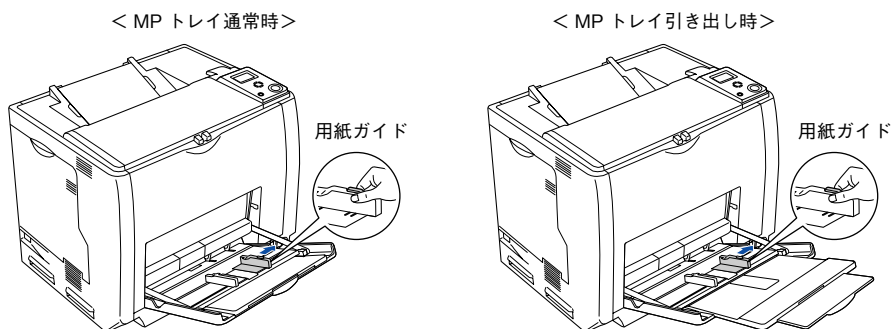
*4 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 27mm までセット可能です。

*5 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 53mm までセット可能です。

MP トレイへの用紙のセット

本機に標準装備されているトレイは、本機で印刷可能なすべての用紙をセットできる MP トレイ（マルチパーパストレイ）です。セットできる用紙の種類や容量の詳細は、以下のページを参照してください。

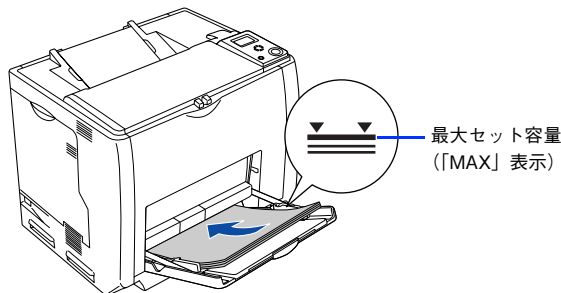
☞ 本書 385 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

1 **MP トレイを開きます。**

2 **A3、B4、B（Ledger）、LGL（Legal）サイズの用紙をセットする場合は、MP トレイの先端を引き延ばします。**

3 用紙ガイドのツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイドを、用紙がセットできるように移動します。

	MP トレイ通常時	MP トレイ引き出し時
給紙方向に対して横長にセット	A4、B5、Letter、Executive、Goverment Letter、封筒（洋形 0 号）	ー（この組み合わせはありません）
給紙方向に対して縦長にセット	A5、Half-Letter、Government Legal、F4、郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、封筒（長形 3 号）	A3、B4、Legal、Ledger

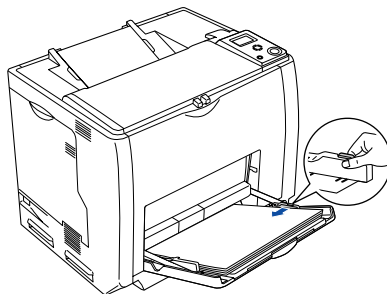
！注意 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりを引き起こす可能性があります。

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にして用紙をセットします。

- セットする方向は 3 の表を参照してください。
- 用紙は最大 150 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。用紙ガイド内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。
- 特殊紙をセットするときは、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 400 ページ「特殊紙への印刷」
- 自動両面印刷をする場合は、１ページ目を印刷する面を下にしてください。

＜例：MP トレイ通常時 / 横長セット時＞

⚠注意 用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

5 用紙ガイドのツマミをつまんで用紙の端に合わせます。

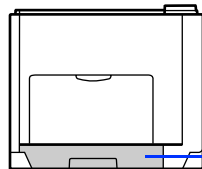
<例：MP トレイ通常時 / 横長セット時>

!注意 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、用紙関連のエラーが発生する場合があります。

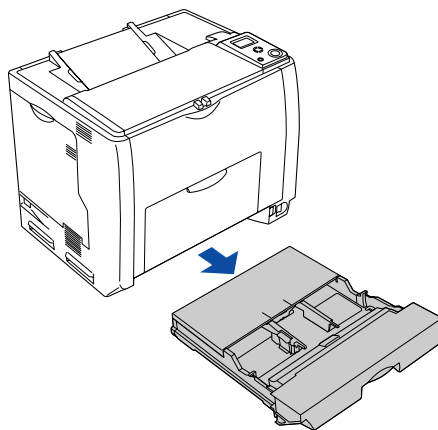
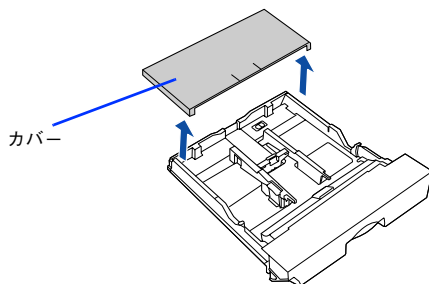
以上で MP トレイへの用紙のセットは終了です。

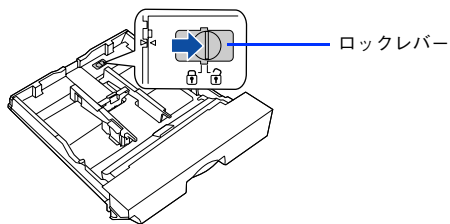
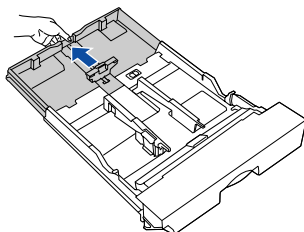
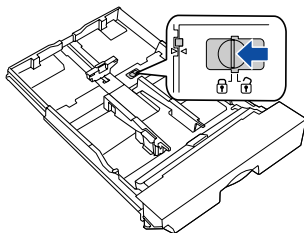
セットした用紙サイズは操作パネルで設定します。
☞ 本書 335 ページ「[給紙装置設定] メニュー」

!注意 セットした用紙サイズは、操作パネルで正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。

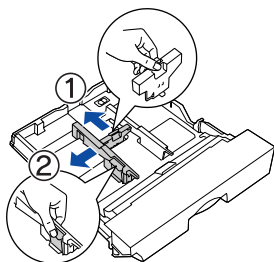
用紙カセット 1（標準カセット）への用紙のセット

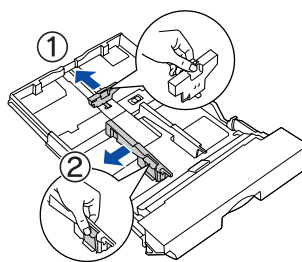
本機に標準装備されている用紙カセットにセットできる用紙の種類や容量の詳細は、以下のページを参照してください。
本書 385 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

- プリンタドライバには［用紙カセット 1］、操作パネルには［カセット 1］として表示されます。
- 用紙カセットの代わりにオプションの用紙カセット（LPA3CYC3）をセットすることができます（LPA3CYC2 はセットできません）。

1 用紙カセットをプリンタから引き出します。

2 用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。

3 A3、B4、Ledger（B）、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。

① 用紙カセットのロックレバーを図の位置まで移動し、ロックを解除します。

② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出します。

③ ロックレバーを図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。

！注意 ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦）/（横）を用紙がセットできるように移動します。

① 用紙ガイド（縦）のツマミをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。
② 用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

<用紙カセット通常時>

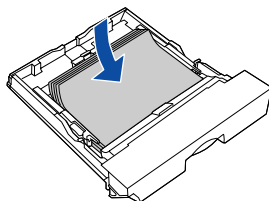
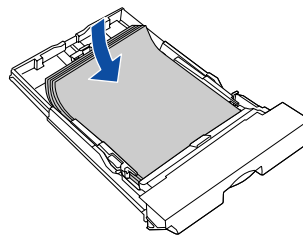
<用紙カセット引き出し時>

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるように移動します。

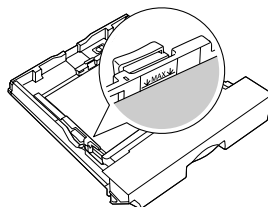
	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
給紙方向に対して横長にセット	A4、B5、Letter	ー（この組み合わせはありません）
給紙方向に対して縦長にセット	ー（この組み合わせはありません）	A3、B4、Legal、Ledger

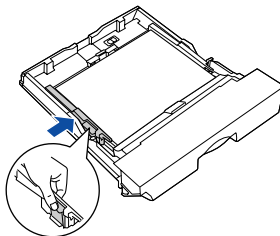
！注意 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりを引き起こす可能性があります。

5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

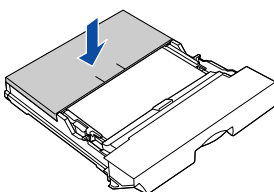
セットする方向は 4 の表を参照してください。

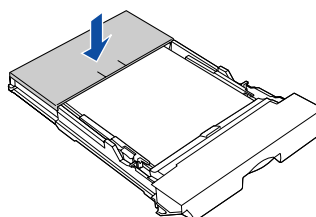
<用紙カセット通常時>

<用紙カセット引き出し時>

⚠注意	用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

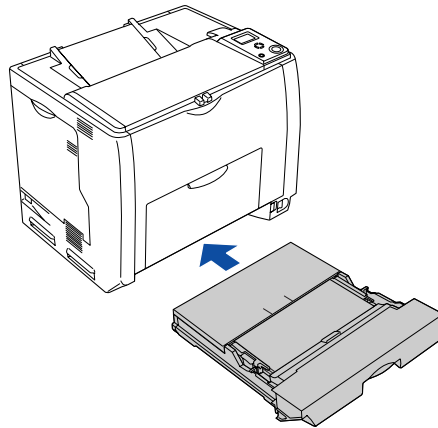
!注意 用紙は最大 250 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。

<例：用紙カセット通常時>

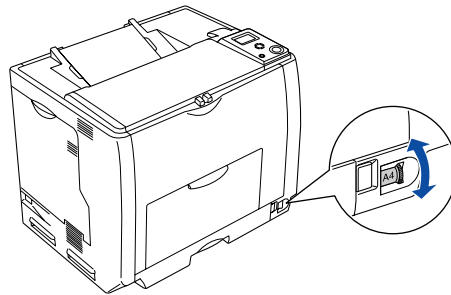
!注意 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、用紙関連のエラーが発生する場合があります。

7 用紙カセットのカバーを取り付けます。

<用紙カセット通常時>

<用紙カセット引き出し時>

8 用紙カセットをプリンタにセットします。

<例：用紙カセット通常時>

9 ［用紙サイズ設定］ダイヤルを、セットした用紙サイズに設定します。

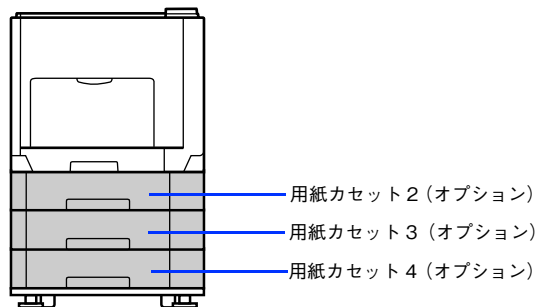
設定できる用紙サイズは、A3、A4、B4、B5、Legal（LG 14"）、Letter（LT）、Ledger（LD17"）です。

！注意

- 印刷中は［用紙サイズ設定］ダイヤルを操作しないでください。
- ［用紙サイズ設定］ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。

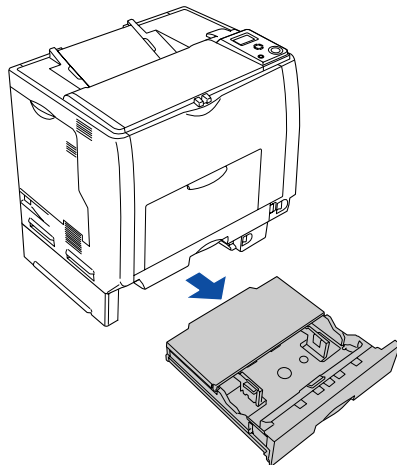
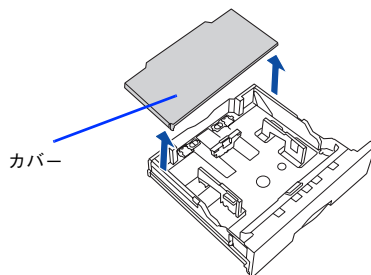
以上で標準用紙カセット 1 への用紙のセットは終了です。

用紙カセット 2 ～ 4(オプション)への用紙のセット

本機には標準装備されている用紙カセット 1 のほかに用紙カセットを 3 段まで増設できます。オプションの増設カセットユニットを 3 段増設している場合は、上から［用紙カセット 2］［用紙カセット 3］［用紙カセット 4］としてご利用いただけます。セットできる用紙の種類や容量の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 385 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

- オプションの増設カセットユニット装着時は、プリンタドライバには［用紙カセット 2］［用紙カセット 3］［用紙カセット 4］、操作パネルには［カセット 2］［カセット 3］［カセット 4］として表示されます。
- オプションの増設カセットユニットには、オプションの用紙カセット（LPA3CYC2）をセットすることができます（LPA3CYC3 はセットできません）。

ここでは、プリンタのすぐ下に装着した増設カセットユニット（用紙カセット 2）を図示して説明していますが、用紙カセット 3 ～ 4 も同様の手順で用紙をセットすることができます。

1 用紙カセットを増設カセットユニットから引き出します。

2 用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。

3 A3、B4、Ledger（B）、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。

① 用紙カセットのロックレバー（2 箇所）を図の位置まで移動し、ロックを解除します。

② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出します。

③ ロックレバー（2 箇所）を図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。

！注意 ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦）/（横）を用紙がセットできるように移動します。

① 用紙ガイド（縦）のツマミをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。
② 用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

<用紙カセット通常時>

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるように移動します。

	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
給紙方向に対して横長にセット	A4、B5、Letter	ー（この組み合わせはありません）
給紙方向に対して縦長にセット	ー（この組み合わせはありません）	A3、B4、Legal、Ledger

！注意 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりを引き起こす可能性があります。

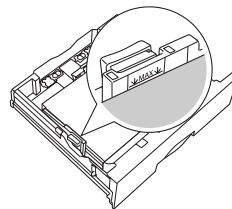
5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

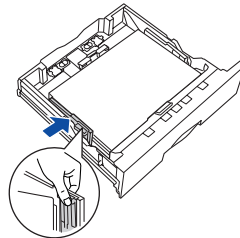
セットする方向は 4 の表を参照してください。

<用紙カセット通常時>

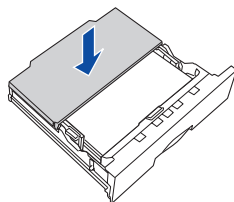
<用紙カセット引き出し時>

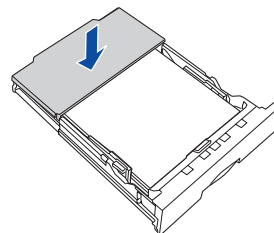
⚠注意 用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

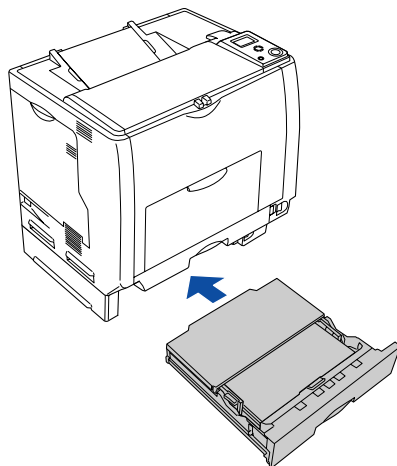
！注意 用紙は最大 500 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。

<例：用紙カセット通常時>

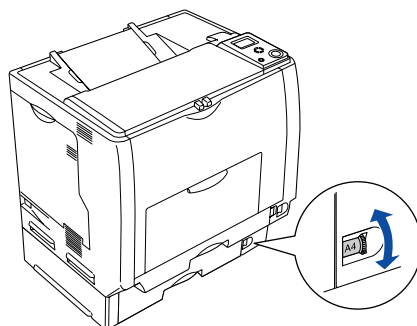
！注意 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、用紙関連のエラーが発生する場合があります。

7 用紙カセットのカバーを取り付けます。

<用紙カセット通常時>

<用紙カセット引き出し時>

8 用紙カセットを増設カセットユニットにセットします。

<例：用紙カセット通常時>

9 ［用紙サイズ設定］ダイヤルを、セットした用紙サイズに設定します。

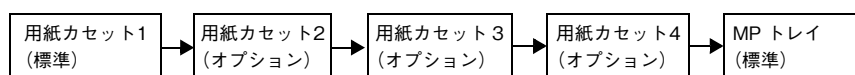
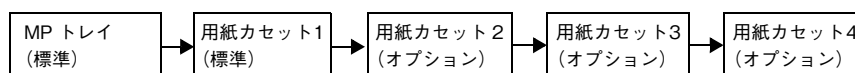
設定できる用紙サイズは、A3、A4、B4、B5、Legal（LG 14"）、Letter（LT）、Ledger（LD17"）です。

！注意

- 印刷中は［用紙サイズ設定］ダイヤルを操作しないでください。
- ［用紙サイズ設定］ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。

以上で用紙カセット 2 ～ 4 への用紙のセットは終了です。

給紙装置の優先順位

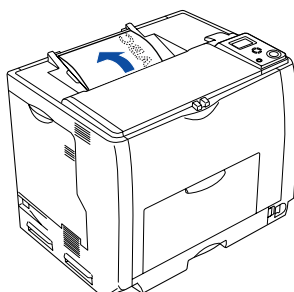
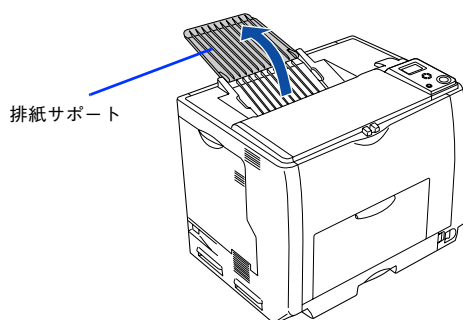
プリンタドライバや操作パネルの設定で、給紙装置を［自動］に設定すると、印刷実行時にプリンタが各給紙装置の用紙サイズを次の順番で調べ、プリンタドライバで設定した用紙サイズと一致するサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。初めに見つけた給紙装置の用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている、次の給紙装置に自動的に切り替えて給紙します。

- 操作パネルの［プリンタ設定メニュー］で［MP トレイ優先］を［しない］（初期設定）に設定したときの優先順位は以下の通りです。

- 操作パネルの［プリンタ設定メニュー］で［MP トレイ優先］を［する］に設定したときの優先順位は以下の通りです。

［MP トレイ優先］は操作パネルの［プリンタ設定メニュー］で設定します。
☞ 本書 339 ページ「［プリンタ設定］メニュー」

普通紙の場合、給紙装置を組み合わせることで以下の枚数を連続して給紙できます。

給紙装置の組み合わせ	セット枚数	合計セット枚数
標準 MP トレイ	150 枚	150 枚
標準用紙カセットユニット 1（1 段）	250 枚	400 枚
オプションの増設カセットユニット 2（2 段）装着時	500 枚	900 枚
オプションの増設カセットユニット 3（3 段）装着時	500 枚	1,400 枚
オプションの増設カセットユニット 4（4 段）装着時	500 枚	1,900 枚

排紙方法について

本機は印刷面を下（フェイスダウン）にしてプリンタ上部の排紙トレイに排紙します。普通紙（紙厚 64g/m^2 の場合）の場合で 250 枚まで排紙できます。

A3 などの大きいサイズの用紙に印刷する場合は、図のように排紙サポートを起こしてください。

両面印刷について

本機は自動で用紙の両面に印刷できる機能を標準搭載しているため、以下の用紙に自動両面印刷することができます。

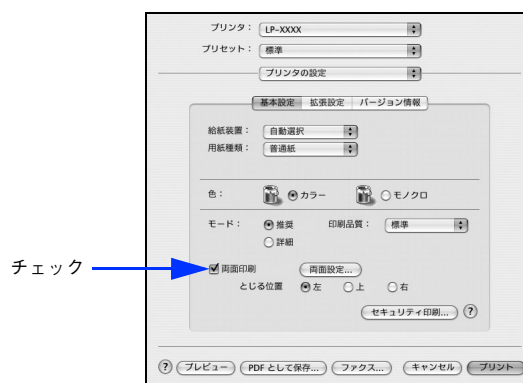
用紙サイズ	A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4
用紙種類	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき

自動両面印刷を行うには、プリンタドライバで以下の設定を行います。

- Windows：［基本設定］ダイアログを開いて、［両面印刷］をチェックします。
  ☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
- Mac OS 9：［レイアウト］ダイアログを開いて、［両面印刷］をチェックします。
  ☞ Mac OS 9：本書 185 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
- Mac OS X：［基本設定］ダイアログを開いて、［両面設定］をチェックします。
  ☞ Mac OS X：本書 255 ページ「［両面設定］ダイアログ」

Windows の場合

Mac OS 9 の場合

Mac OS X の場合

両面印刷時の注意事項

- 用紙の表側に印刷するデータと用紙の裏側に印刷するデータで用紙サイズの設定が異なると、自動両面印刷できません。このようなときは、両方とも用紙の表側に印刷して出力します。
- A5、Half Letter（HLT）、不定形サイズの用紙および特殊紙には両面印刷できません。

自動両面印刷時に用紙詰まりが発生したら、給紙方向の用紙の余白を 10mm 以上に設定してください。

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキなど特殊紙への印刷方法を説明します。特殊紙は、MP トレイにセットしてください。標準用紙カセット 1 や増設用紙カセットユニット（オプション）からの特殊紙の印刷はできません。

!注意 特殊紙への印刷は、以下の設定、操作説明を必ず守ってください。印刷不良の原因となります。

- 特殊紙に印刷すると、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度の調整を行っているためです。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する際に、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

ハガキへの印刷

郵便ハガキまたは往復郵便ハガキ（折り跡のないもの）を使用できます。

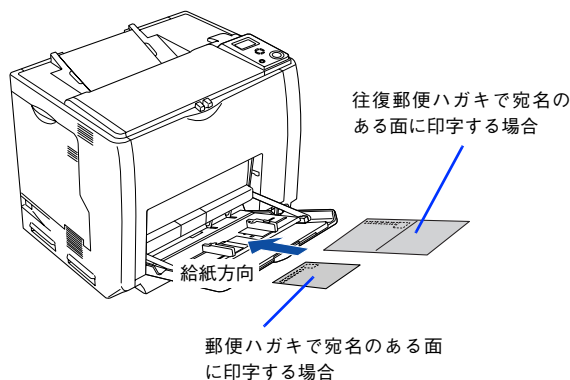
!注意 以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後のハガキ
- 中央に折り跡のあるハガキ
- 4 連郵便ハガキ、私製ハガキ、絵ハガキなどの厚い（164g/m^2 以上）ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 他のプリンタや複写機で一度印刷したハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください。）
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があります。

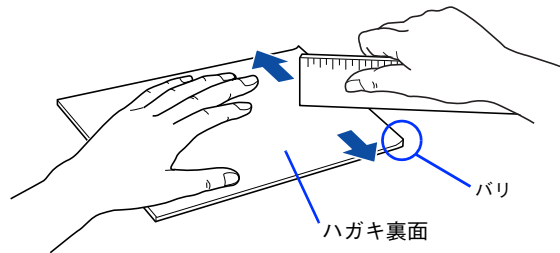
両面に印刷する場合は、良好な印刷結果を得るために、宛名面を印刷してから、通信面を印刷してください。

1 **MP トレイにハガキをセットします。**

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	50 枚または総厚 17mm（MP トレイのみ）
印刷面	下
セット方向	縦長

- 印刷する前に、同サイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかったときは、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 裏面（または表面）に印刷したハガキの反対面に印刷するときは、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。
- 印刷する面を下に向けてセットしてください。宛名印字をするときは、宛名面を下にしてセットします。

ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」（裁断時のかえり）が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」があるときは以下の方法に従って除去してください。ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に1～2回こすり、「バリ」を除去します。

!注意 「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。

2 操作パネルで、印刷するハガキのサイズを設定します。

［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］で、［はがき］または［往復はがき］を選択してください。

☞ 本書318ページ「操作パネルによる設定」

3 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

☞ Windows：本書12ページ「印刷の手順」
☞ Mac OS 9：本書139ページ「印刷の手順」
☞ Mac OS X：本書224ページ「印刷の手順」

プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
郵便ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	［ハガキ 100 × 148mm］
			給紙装置	［MP トレイ］
			用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］*
	Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［ハガキ］
		プリント	給紙装置	［MP トレイ］
			用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］*
	Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［ハガキ］
		印刷設定	給紙装置	［MP トレイ］
			用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］*

プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
往復郵便ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	［往復ハガキ 148 × 200mm］
			給紙装置	［MP トレイ］
			用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］＊
	Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［往復ハガキ］
		プリント	給紙装置	［MP トレイ］
			用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］＊
	Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［往復ハガキ］
		印刷設定	給紙装置	［MP トレイ］
			用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］＊

＊　片面印刷後さらにもう一方の面に印刷するときは、［用紙種類］を［ハガキ（裏面）］に設定してください。

封筒への印刷

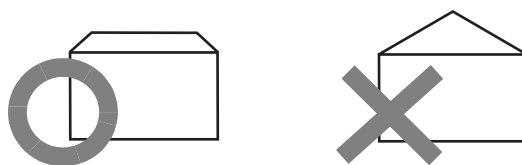
本機で使用可能な封筒のサイズは、洋形０号、長形３号のみです。紙厚は 75g/m^2 ～ 90g/m^2 のものをお勧めします。封筒の品質は、製造メーカー * によって異なります。また、封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

* ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

！注意

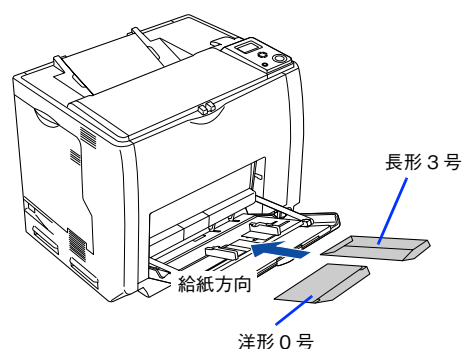
以下の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。特に糊付け加工が施されている封筒は、致命的な故障の原因になる場合がありますので絶対に使用しないでください。

- 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 他のプリンタや複写機で一度印刷した封筒
- 二重封筒
- 窓付きの封筒
- 耐熱温度最高約 200 度で変質する可能性のあるインクで印刷された封筒
- フラップが開いた状態で 148mm 以下の封筒
- フラップの形状が三角の封筒

フラップの形状が三角の封筒は、正常な給紙や排紙ができません。フラップの形状が台形の封筒をお使いください。また、フラップを折り曲げない状態で用紙長が 148mm より長い封筒を使用してください（例：洋形０号の封筒は、フラップを折り曲げた状態で 120mm のため、28mm より長いフラップが必要です）。ただし、フラップ長が 45mm 以下の封筒を使用してください。

奥までしっかりセットしても給紙されなかったときは、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。

1 MP トレイに封筒をセットします。

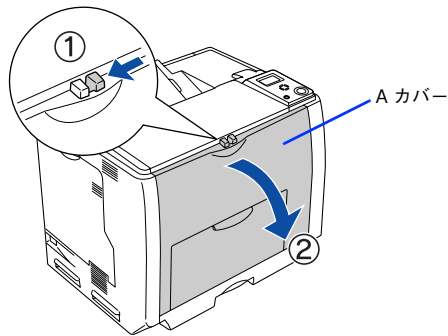
セット方法は、下表と図を参照してください。

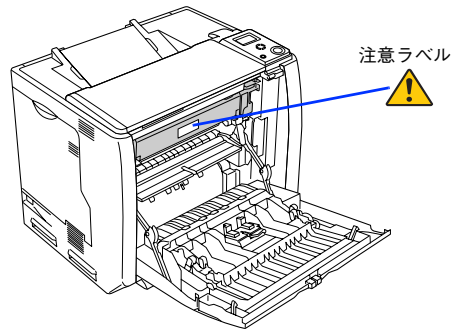
セット枚数	15 枚または総厚 17mm（MP トレイのみ）
印刷面	下（封筒裏面を上 *） * 裏面には印刷できません。
セット方向	洋形０号： フラップ部を開いたまま、フラップ部が給紙方向に対して後方になるように横長にセット
	長形３号： フラップ部を開いたまま、フラップ部が給紙方向に対して後方になるように縦長にセット

2 操作パネルで、印刷する封筒のサイズを設定します。

［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］で、［洋形０号］または［長形３号］を選択してください。

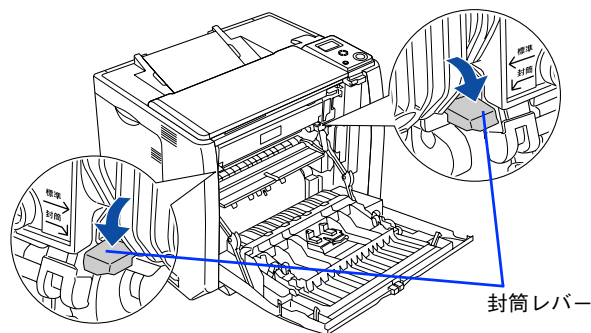
本書 318 ページ「操作パネルによる設定」

3 ツマミをつまんで A カバーを図のように開けます。

MP トレイに用紙がセットされているときは、用紙を取り除いて MP トレイを閉めてから A カバーを開けてください。

⚠注意

- A カバーを開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（最高約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。

- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

! 注意　プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

4 封筒レバー（左右）を［封筒］に合わせます。

5 A カバーを閉じます。

6 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

☞ Windows：本書 12 ページ「印刷の手順」
☞ Mac OS 9：本書 139 ページ「印刷の手順」
☞ Mac OS X：本書 224 ページ「印刷の手順」

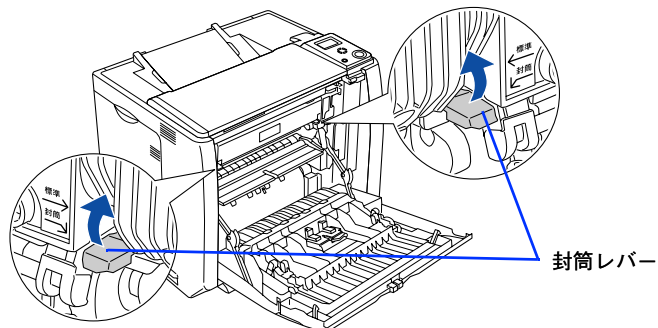
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［洋形 0 号 120 × 235mm］、 ［長形 3 号 120 × 235mm］
		給紙装置	［MP トレイ］
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［洋形 0 号］、［長形 3 号］
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［洋形 0 号］、［長形 3 号］
	印刷設定	給紙装置	［MP トレイ］

思い通りの方向に印刷できないときは、［180 度回転］（Windows）/［180 度回転印刷］（Mac OS 9*）をご利用ください。

* Mac OS 9.x でのみ設定できます。Mac OS X v10.2 以降では設定できません。

☞ Windows：本書 59 ページ「［応用設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 152 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

！注意

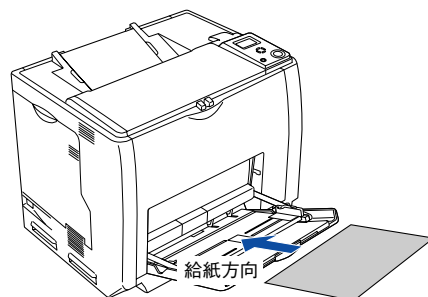
封筒以外の用紙に印刷する場合は、封筒レバーを必ず元の位置（［標準］）に戻してください。封筒レバーが正しく設定されていないと、正しく給紙できなかったり、印刷品質が低下することがあります。

厚紙への印刷

本機では、厚紙は厚さ 91 ～ 163g/m^2 の用紙に印刷することができます。厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

参考	厚紙の裏面へ印刷する場合は、反りを十分直してからセットしてください。

1 MP トレイに厚紙をセットします。

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	75 枚または総厚 17mm（MP トレイのみ）
印刷面	下
セット方向	横長または縦長（用紙サイズにより異なる） 本書 386 ページ「MP トレイへの用紙のセット」

2 操作パネルで、印刷する厚紙のサイズと紙種を設定します。

- ［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］で、用紙サイズを選択してください。
- ［プリンタ設定］－［紙種］で［厚紙］を選択してください。
  本書 318 ページ「操作パネルによる設定」

3 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

Windows：本書 12 ページ「印刷の手順」
Mac OS 9：本書 139 ページ「印刷の手順」
Mac OS X：本書 224 ページ「印刷の手順」

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［厚紙］、［厚紙（裏面）］*
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［厚紙］、［厚紙（裏面）］*
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	印刷設定	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［厚紙］、［厚紙（裏面）］*

* 片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷するときは、［用紙種類］を［厚紙（裏面）］に設定してください。

ラベル紙への印刷

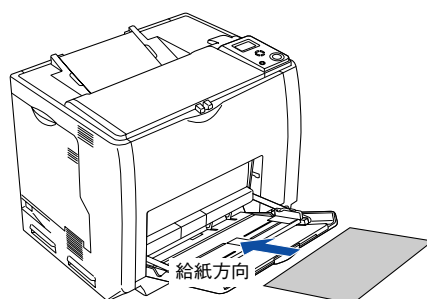
本機では、A4 サイズのラベル紙（レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙）のみ印刷することができます。ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

！注意

以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていない（台紙がむき出しになっている）ラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙

1 MP トレイにラベル紙をセットします。

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	50 枚または総厚 17mm（MP トレイのみ）
印刷面	ラベルが貼ってある面を下
セット方向	横長

2 操作パネルで、印刷するラベル紙のサイズとタイプを設定します。

- ［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］で、［A4］を選択してください。
- ［給紙装置設定］－［MP トレイタイプ］で、［ラベル］を選択してください。
☞ 本書 318 ページ「操作パネルによる設定」

3 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

☞ Windows：本書 12 ページ「印刷の手順」
☞ Mac OS 9：本書 139 ページ「印刷の手順」
☞ Mac OS X：本書 224 ページ「印刷の手順」

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［A4 210 × 297mm］
		給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［ラベル］
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［A4］
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［ラベル］
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［A4］
	印刷設定	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［ラベル］

OHP シートへの印刷

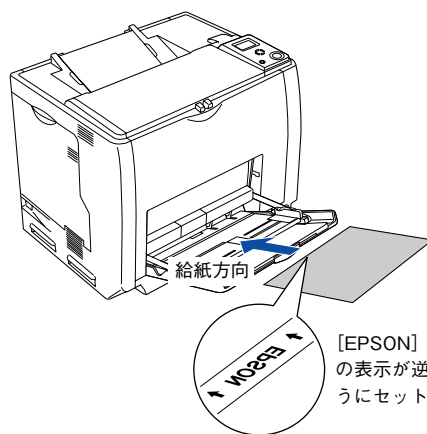
本機では、EPSON カラーレーザープリンタ専用 OHP シート（型番：LPCOHPS1/ サイズ：A4）を使用してください（以下「専用 OHP シート」と記載）。

! 注意
- 専用 OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の専用 OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。
- 専用 OHP シートには裏表がありますので、下図を参考に表面を上に向けてセットしてください。

1 MP トレイに専用 OHP シートをセットします。

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	60 枚または総厚 17mm（MP トレイのみ）
印刷面	下（右図参照）
セット方向	横長

参考
ヒサゴ社製保護フィルム（型番：A4HODX）を使用すると、専用 OHP シートの光の透過性が向上し、よりきれいに投影することができます。

2 操作パネルで、印刷する専用 OHP シートのサイズとタイプを設定します。

- ［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］で、［A4］を選択してください。
- ［給紙装置設定］－［MP トレイタイプ］で、［OHP シート］を選択してください。

☞ 本書 318 ページ「操作パネルによる設定」

3 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

☞ Windows：本書 12 ページ「印刷の手順」
☞ Mac OS 9：本書 139 ページ「印刷の手順」
☞ Mac OS X：本書 224 ページ「印刷の手順」

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［A4 210 × 297mm］
		給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［OHP シート］
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［A4］
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［OHP シート］
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［A4］
	印刷設定	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［OHP シート］

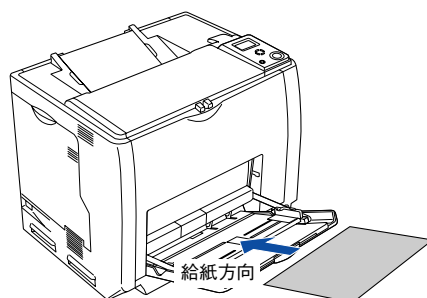
不定形紙への印刷

本機で使用できる不定形紙のサイズは、用紙幅 98.5 ～ 297.0mm、用紙長 148.0 ～ 431.9mm です。大量の不定形紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態をご確認ください。アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

!注意 不定形紙へいの印刷は、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Mac OS）で用紙サイズを指定してください。用紙サイズの異なる定形紙などを選択して印刷し続けると、プリンタ内部の定着器が損傷することがあります。

1 MP トレイに不定形紙をセットします。

セット方法は、下表と図を参照してください。操作パネルで、用紙サイズの設定をする必要はありません。

セット枚数	紙厚によって異なる（MP トレイのみ）： 紙厚 64 ～ 90g/m^2：150 枚 * 紙厚 91 ～ 163g/m^2：75 枚 * * または総厚 17mm まで
印刷面	下
セット方向	横長または縦長 （用紙サイズにより異なる） 本書 386 ページ「MP トレイへの用紙のセット」

2 下表を参照して、プリンタドライバの設定をします。

Windows：本書 12 ページ「印刷の手順」
Mac OS 9：本書 139 ページ「印刷の手順」
Mac OS X：本書 224 ページ「印刷の手順」

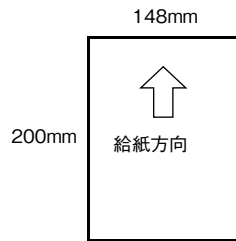
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［ユーザー定義サイズ］で設定
		給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定 *
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［カスタム用紙］で設定
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定 *
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［カスタム用紙サイズ］で設定
	印刷設定	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定 *

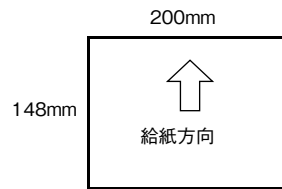
* ［厚紙］に設定して片面印刷した後にさらにもう一方の面に印刷するときは、［用紙種類］を［厚紙（裏面）］に設定してください。

3 印刷する不定形紙の用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙サイズ］としてあらかじめプリンタドライバの［用紙サイズ］に登録します。

Windows：本書 34 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
Mac OS 9：本書 153 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
Mac OS X：本書 238 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

4 ［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙（サイズ）］で設定した用紙方向に合わせて、MP トレイに用紙をセットします。

＜例＞ユーザー定義サイズを「用紙幅 148mm × 用紙長 200mm」に設定した場合

＜例＞ユーザー定義サイズを「用紙幅 200mm × 用紙長 148mm」に設定した場合

200mm
148mm
給紙方向

5 印刷データで設定している用紙サイズと同じ用紙サイズを、3 で登録した［用紙サイズ］リストの中から選択して、印刷を実行します。

用紙タイプ選択機能

用紙タイプ選択機能を用いると、印刷実行時に各給紙装置の用紙サイズとタイプを調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプ（種類）の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぐことができます。用紙タイプ選択機能を使用するには、以下の手順に従ってください。

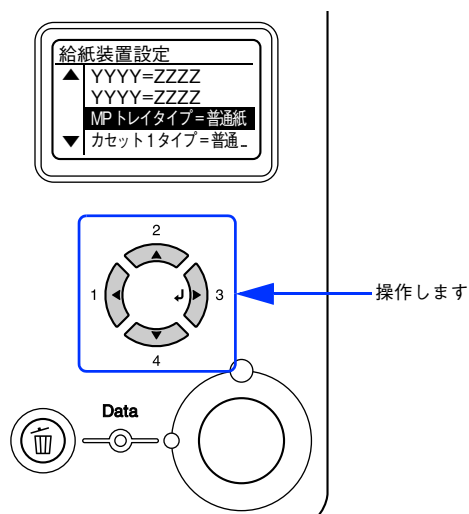
1 各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定します。

操作パネルで設定モードに入り、［給紙装置設定］メニューで［MP トレイタイプ］、［カセット 1 ～ 4 タイプ］から使用する給紙装置の用紙タイプを設定します。

☞ 本書 335 ページ「［給紙装置設定］メニュー」

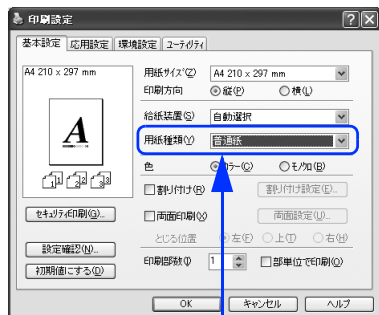
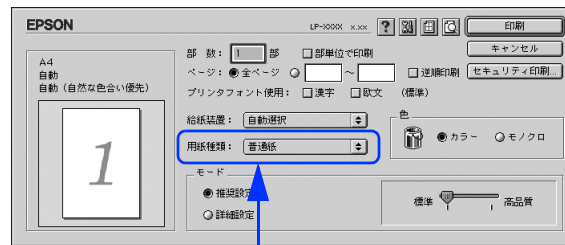
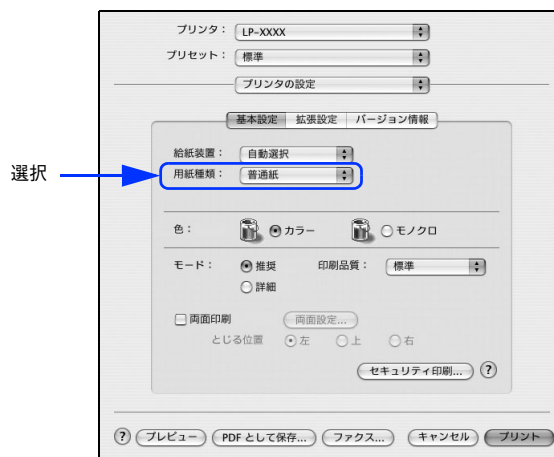
設定値：普通紙 / レターヘッド / 再生紙 / 色つき /OHP シート */ ラベル *

*［給紙装置］メニューで［MP トレイタイプ］を選択した場合のみ設定可能です。

＜例＞

2 印刷実行時に、使用する用紙のタイプをプリンタドライバの［用紙種類］から選択します。

印刷を実行すると、指定した用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」

Windows の場合

Mac OS 9 の場合

Mac OS X の場合

［用紙種類］を選択すると［給紙装置］が自動的に選択されるので、［給紙装置］を選択する必要はありません。

7 添付されているフォントについて

本製品の CD-ROM に収録されているバーコードフォント（Windows のみ）の使い方と、TrueType フォントのインストール方法を説明しています。

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B* フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。EPSON バーコードフォントは、これらのバーコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを簡単に作成、印刷することができるフォントです。

＊　OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット＊	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128 のバーコードを作成します。
Interleaved	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
2of5	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット*	備考
EAN128	EPSON EAN128	あり	あり	EAN128 のバーコードを作成します。 サポートＯＳ： Windows 2000/XP/Server 2003 のみ
標準料金代理収納	EPSON EAN128_AI91	あり	あり	標準料金代理収納用バーコードを作成します。 サポートＯＳ： Windows 2000/XP/Server 2003 のみ

＊　チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

注意事項

トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

ダイアログ	項目	設定値
基本設定	割り付け	チェックなし（OFF）
応用設定	拡大 / 縮小	チェックなし（OFF）
応用設定（応用設定－詳細設定）	印刷品質	高品質（600dpi）
応用設定－詳細設定	トナーセーブ	チェックなし（OFF）

文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、90 度、180 度、270 度以外指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
（例＜＝＞ ⇨ ⇔）

入力時の注意について

- バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードの概要」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  本書 421 ページ「各バーコードの概要」

システム条件

EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、Windows でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。
本書 549 ページ「Windows システム条件」
ハードディスク：15 ～ 30KB の空き容量（書体ごとに異なります）

バーコードフォントのインストール

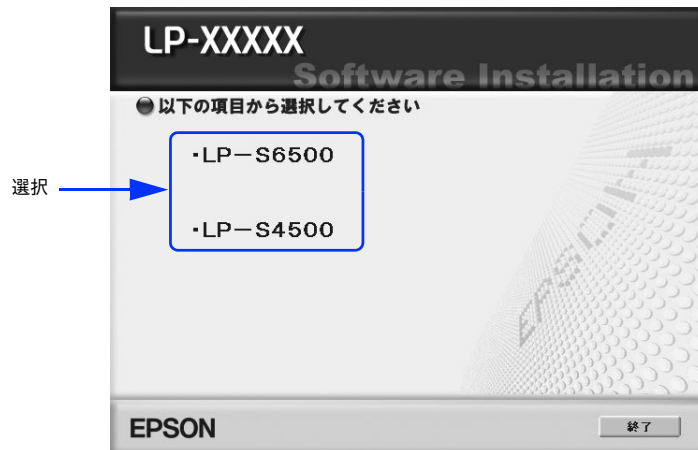
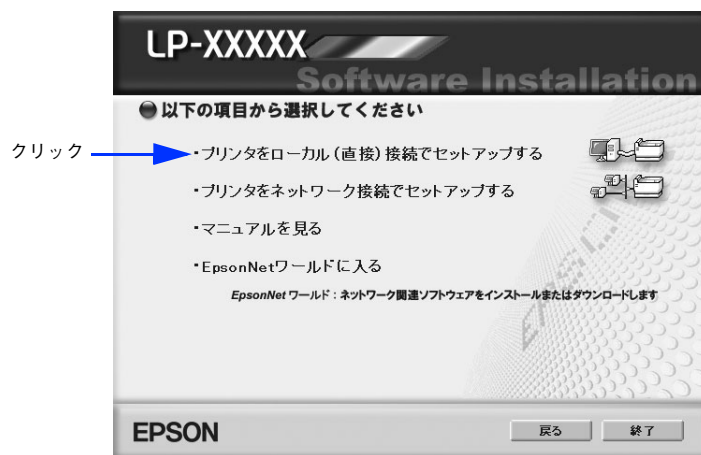
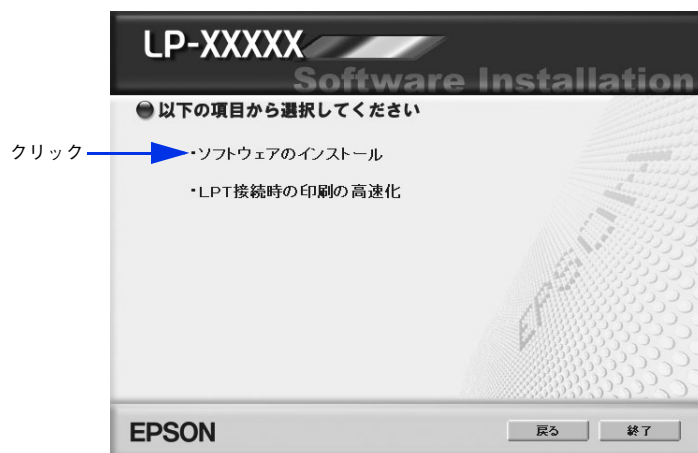
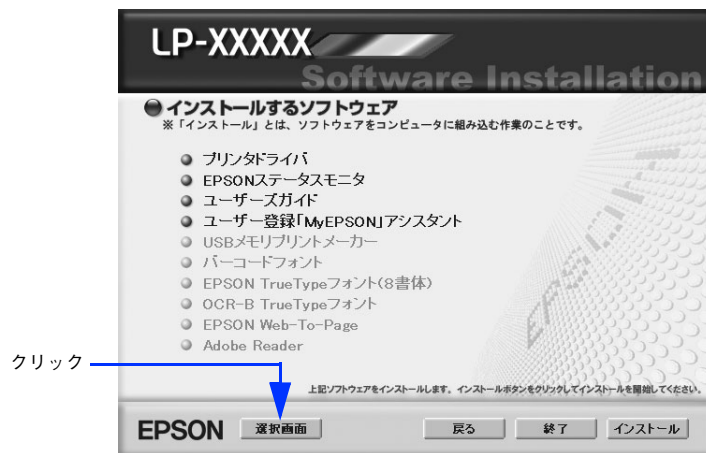
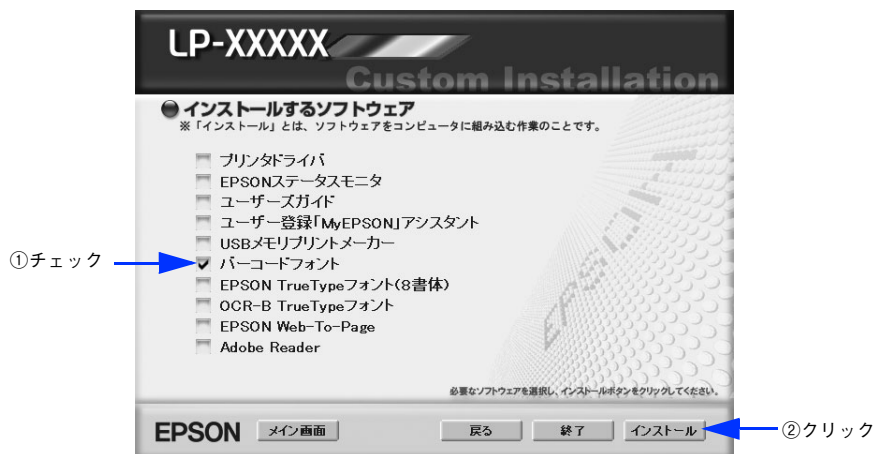
1 **Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。**

2 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

ウィルスチェックプログラムを起動している場合は、［インストール中止］をクリックし、ウィルスチェックプログラムを終了して 1 からやり直します。

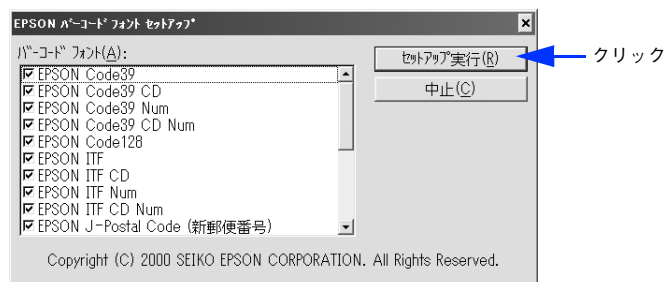
上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［EPSETUP.EXE］をダブルクリックしてください。

3 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

4 プリンタの機種名を選択します。

5 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］を選択して次に進みます。

6 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

7 ［選択画面］をクリックします。

8 以下の画面が表示されたら、［バーコードフォント］にチェックを付けて［インストール］をクリックします。

その他の項目（プリンタドライバや EPSON ステータスモニタなど）がインストールされているとき、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

9 EPSON バーコードフォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

10 インストールするバーコードフォントをチェックして［セットアップ実行］をクリックします。

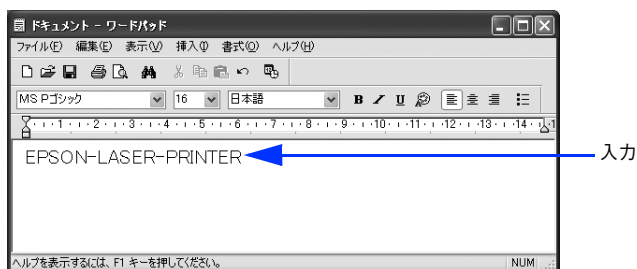
使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックを外してください。インストールされません。

11 インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。

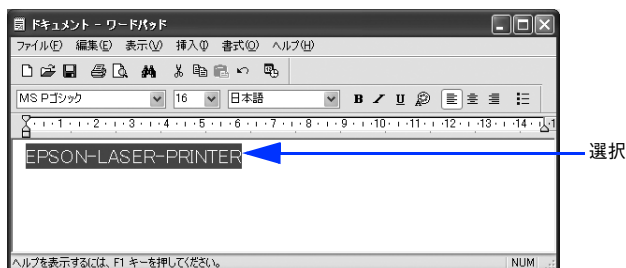
12 インストーラの終了画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

以上で EPSON バーコードフォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

バーコードの作成

ここでは Windows XP に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

1 ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字をすべて半角（1Byte）で入力します。

2 入力した文字をマウスでドラッグして選択します。

選択した範囲が反転表示になります。

3 ［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。

4 ［フォント］の一覧から印刷したい EPSON バーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］をクリックします。

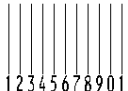
- 推奨または使用可能なフォント（キャラクタ）サイズは、バーコードフォントの種類と OS のバージョンによって異なります。
  本書 421 ページ「各バーコードの概要」
- アプリケーションソフトによっては、フォントの選択肢をそのフォント自身で表示する場合があり、バーコードフォントが正常に表示されないことがあります。

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。

6 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードの概要

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などの説明は、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8（JAN 短縮バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。
• EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">7 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">52 ～ 130pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt</td></tr>
<tr><td>入力不要</td><td colspan="3">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン
• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ
• OCR-B
• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 Short は JAN-8 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-8 と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">7 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">36 ～ 90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td>入力不要</td><td colspan="3">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン
• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ
• OCR-B
• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

JAN-13（標準バージョン）	
• JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。 • EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。	
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）
入力するキャラクタの桁数	12 桁
キャラクタのサイズ	60 ～ 150pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt
入力不要	次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックキャラクタ • OCR-B • センターバー

印刷例	入力時	EPSON JAN-13 に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）	
• JAN-13 Short は JAN-13 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-13 と同じ仕様です。 • バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 • 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。	
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）
入力するキャラクタの桁数	12 桁
キャラクタのサイズ	36 ～ 90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt
入力不要	次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックキャラクタ • OCR-B • センターバー

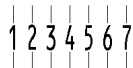
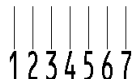
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 Short に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-A</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）
• Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">11 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td>入力不要</td><td colspan="3">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン
• レフト / ライトガードバー
• チェックデジット
• OCR-B
• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-A に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>12345678901</td><td>12345678901</td><td>1 23456 78901 2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-E</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">6 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td>入力不要</td><td colspan="3">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン
• レフト / ライトガードバー
• OCR-B
• チェックデジット
• ナンバーシステム「0」のみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-E に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456</td><td>123456</td><td>0 123456 5</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
- EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code39 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- スペースを“__”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したいときは、“__”（アンダーライン）を入力してください。
- 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">英数字（A ～ Z、0 ～ 9）
記号（－　.　スペース　$　/　+　%）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td>入力不要</td><td colspan="3">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート / ストップキャラクタ
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
• 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">26 ～ 104pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td>入力不要</td><td colspan="3">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート / ストップキャラクタ
• コードセットの変更キャラクタ
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字が入っているようなときは、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td>入力不要</td><td colspan="3">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート / ストップキャラクタ
• チェックデジット
• 文字列先頭への 0 の挿入（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="4">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字が入っているようなときは、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSON バーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
• スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、記号（－ ＄ ： ／ ． ＋）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td>入力不要</td><td colspan="3">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="5">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="4">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細は、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）－新郵便番号（4 桁）－住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たないときは、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、英文字（A ～ Z）、記号（－）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし。ただし住所表示番号は、バーコードに変換後 13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">8 ～ 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td>入力不要</td><td colspan="3">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時の－（ハイフン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>123−4567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">EAN128</th></tr>
<tr><td colspan="3">
・EAN128 は、Code128 を流通アプリケーション用シンボルとして規格化されたものです。
・EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
・入力するデータの属性を示すアプリケーション識別子 (AI) は、以下の４種類をサポートします。
０１：GTIN(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾄﾚｰﾄﾞｱｲﾃﾑﾅﾝﾊﾞｰ)
１０：バッチ / ロットナンバー
１７：保証期限日
３０：数量
・入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode128の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字が入っているようなときは、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
・アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
・１行に２つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。EAN128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）、英文字（A ～ Z）
括弧 () は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します
英文字は大文字のみサポートします。但しキー入力は小文字で行います</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">アプリケーション識別子 (AI) により桁数が異なります。
０１：4 桁「(01)」+ 13 桁「数字」
規格は 14 桁「数字」ですが、末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 13 桁です。
１７：4 桁「(17)」+ 6 桁「数字」
１０：4 桁「(10)」+ 最大 20 桁「英数字」
３０：4 桁「(30)」+ 最大 8 桁「数字」</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt</td></tr>
<tr><td>入力不要</td><td colspan="2">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
・左 / 右クワイエットゾーン
・スタート / ストップキャラクタ
・FNC1 キャラクタ
Code128 との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのために挿入します
・コードセットの変更キャラクタ
・チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">印刷例</td><td>入力時</td><td>(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc</td></tr>
<tr><td>EPSON EAN128 に変換</td><td>(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)ABC</td></tr>
<tr><td>印刷</td><td>(01)14912345678901(17)990101(30)12(10)ABC</td></tr>
</table>

標準料金代理収納		
・EAN128 標準料金代理収納は、コンビニエンスストア等で扱う請求書用シンボルとして規格化されたものです。 ・アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。 ・1 行に 2 つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。EAN128_AI91 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。		
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）、記号（－） 括弧 () は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。 ハイフンは、入力する数字間のセパレータとして使用します。	
入力するキャラクタの桁数	4 桁「(91)」+46 桁（数字間の「-」を含む）	
キャラクタのサイズ	48pt 以上 保証サイズは 48pt	
入力不要	次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・左 / 右クワイエットゾーン ・スタート / ストップキャラクタ ・FNC1 キャラクタ Code128 との識別のために挿入します。 ・チェックデジット	
印刷例	入力時	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	EPSON EAN128_AI91 に変換	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	印刷	(91)912345-0123456789012345678901 010331-0-123000-3

TrueType フォントのインストール方法

ここでは、本製品に添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。本製品に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM には EPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。

CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。また、OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

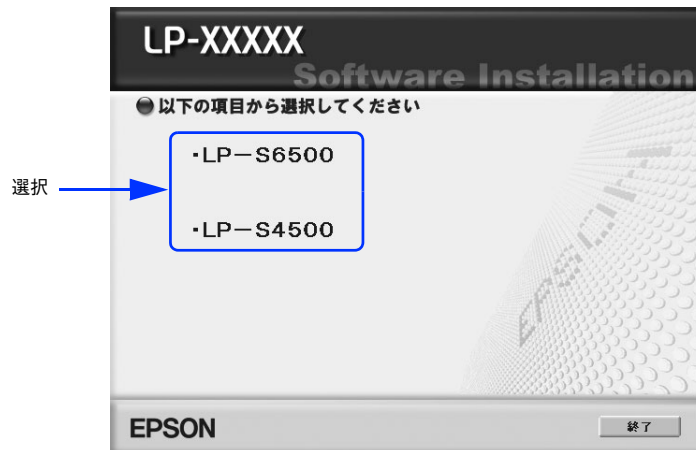
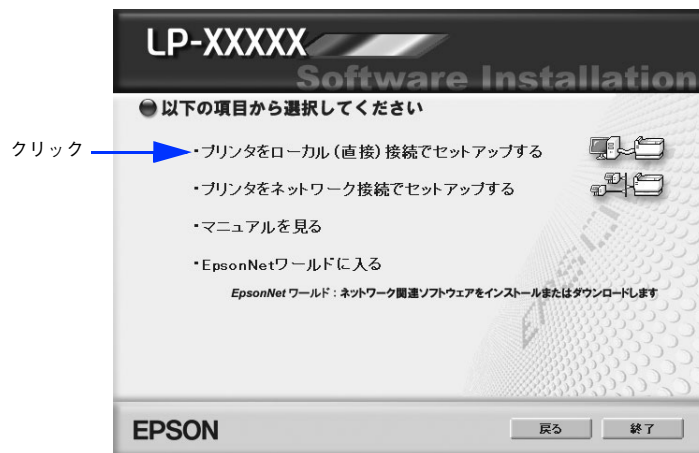
Windows でのインストール

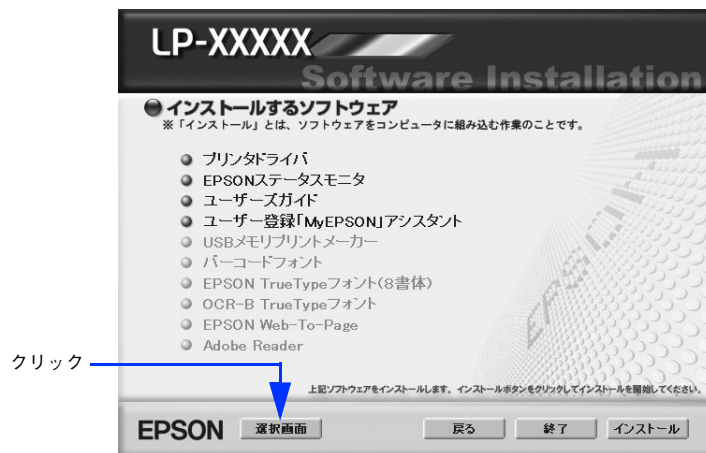
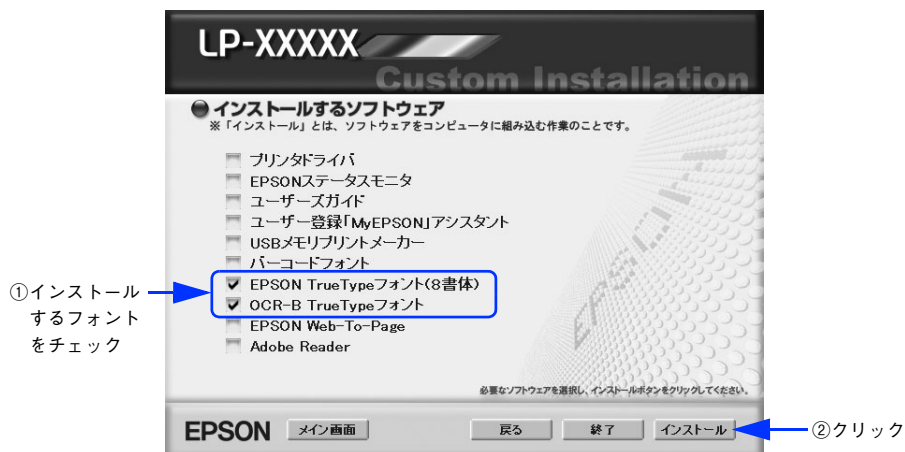
1. **Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。**

2. **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**
ウィルスチェックプログラムを起動している場合は、［インストール中止］をクリックし、ウィルスチェックプログラムを終了して 1 からやり直します。

上記の画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［EPSETUP.EXE］をダブルクリックしてください。

3. **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

4 プリンタの機種名を選択します。

5 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックして次に進みます。

6 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

7 ［選択画面］をクリックします。

8 以下の画面が表示されたら、インストールするフォントにチェックを付けて［インストール］をクリックします。

参考 その他の項目（プリンタドライバや EPSON ステータスモニタなど）がインストールされているときは、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

9 フォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

フォントのインストールが始まります。

10 インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。

参考 ［EPSON TrueType フォント（8 書体）］と［OCR-B TrueType フォント］の両方を 7 で選択した場合は、続けて 8 と 9 を 2 度繰り返します。

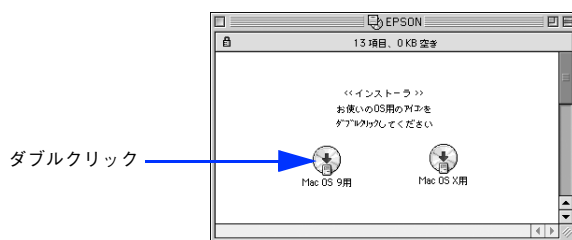
11 インストーラの終了画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

以上で TrueType フォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

Mac OS でのインストール

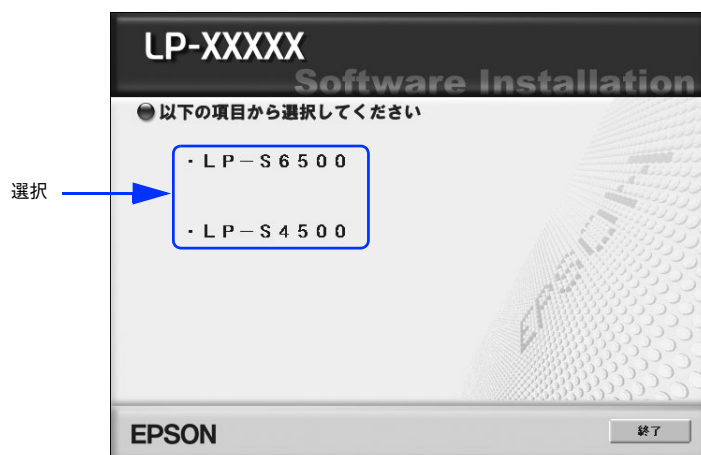
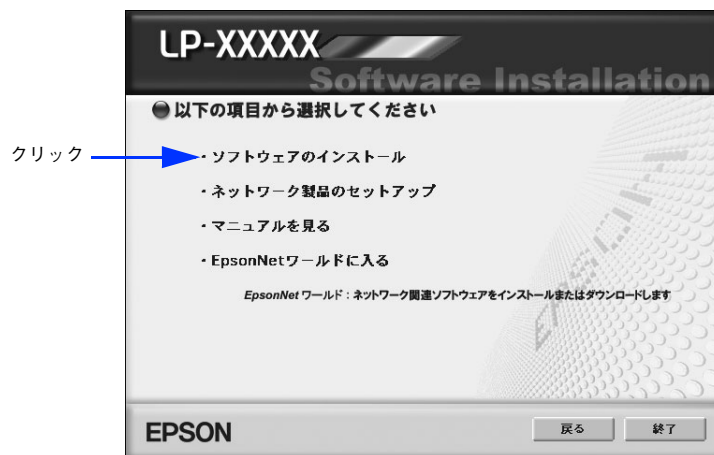
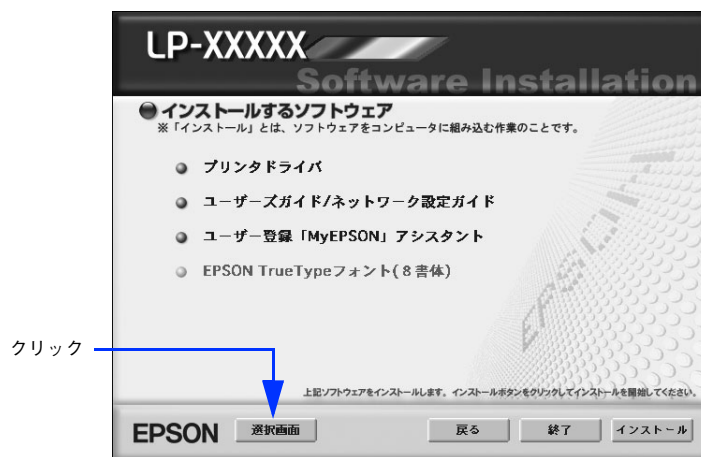
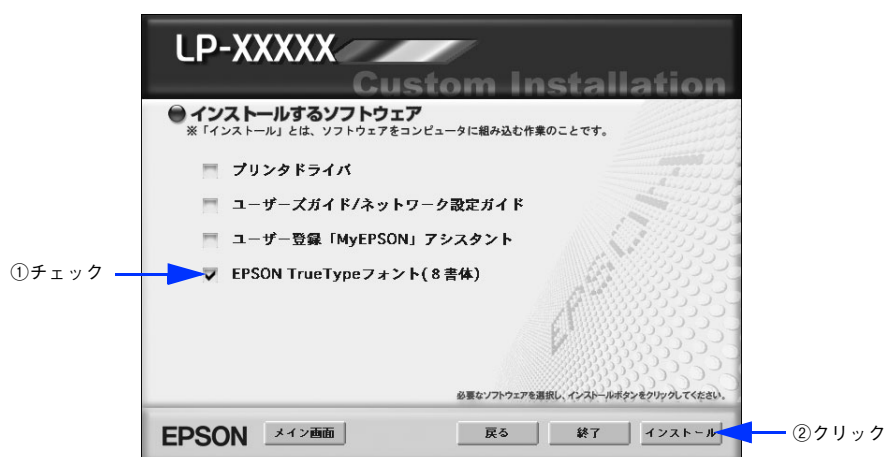
Mac OS 8.9-9.x には以下の手順で EPSON TrueType フォントがインストールできます。なお、Mac OS X へのインストールはできません。

1 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2 **［Mac OS 9 用］インストーラをダブルクリックします。**

3 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

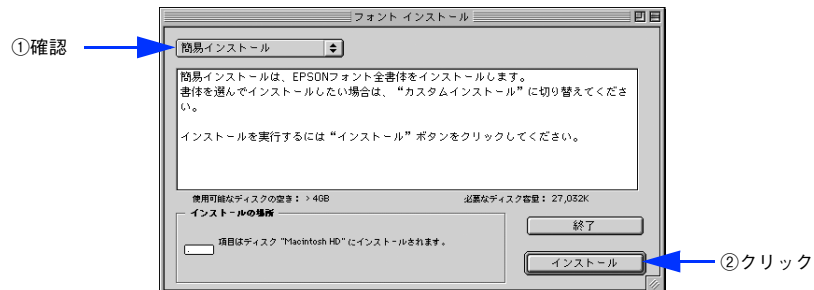
ウィルスチェックプログラムを起動している場合は、［インストール中止］をクリックし、ウィルスチェックプログラムを終了して 2 からやり直します。

4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

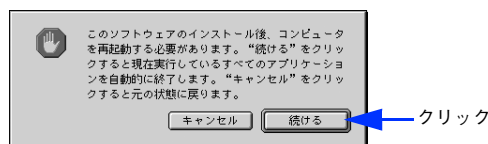
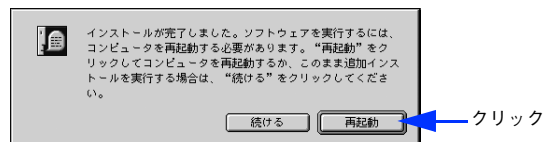
5 **プリンタの機種名を選択します。**

6 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

7 ［選択画面］をクリックします。

8 次の画面が表示されたら、［EPSON TrueType フォント（8 書体）］にチェックを付けて［インストール］をクリックします。

参考 その他の項目（プリンタドライバなど）がインストールされているときは、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

9 フォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、[同意します] をクリックします。

10 [簡易インストール] が選択されていることを確認して、[インストール] をクリックします。

フォントのインストールが始まります。

参考

[カスタムインストール] を選択すると、フォントを選択してインストールできます。使用するフォントにチェックを付けてください。チェックの付かないフォントはインストールされません。

11 次の画面が表示されたら、[続ける] をクリックします。

12 次の画面が表示されたら、[再起動] をクリックします。

以上でフォントのインストールは終了です。

8 オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品の紹介と装着方法を説明します。

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は 2005 年 11 月現在のものです。

パラレルインターフェイスケーブル

本機のパラレルインターフェイスに接続するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

型番	機種	メーカー
PRCB4N	DOS/V 仕様機	EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社
	PC-98NX シリーズ	NEC

- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータと本機の間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECP モード対応コンピュータを ECP モードで接続する場合、PRCB4N をご使用ください。

接続方法は「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照してください。

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のケーブルを使用してください。

型番	商品名
USBCB2	EPSON USB ケーブル

USB ハブ（複数の USB 機器を接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのようなときはコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法は「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照してください。

LAN ケーブル

本機のネットワークインターフェイスを使用する場合は、市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したいときや、インターフェイスを増設したいときに使用します。設定方法などの詳細は、それぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

型番	商品名	備考
PRIFNW7	100BASE-TX/10BASE-T マルチプロトコル Ethernet I/F カード	IPX/SPX 、TCP/IP 、AppleTalk 、NetBEUI に対応しています。本機を LAN 接続するためには、以下のいずれかのケーブルが必要です。 • Ethernet 100BASE-TX シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上） • Ethernet 10BASE-T ツイストペアケーブル

取り付け方法は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 455 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

無線プリントアダプタ

プリンタの USB インターフェイスポートに接続して、さらにネットワークに接続するための無線プリントアダプタです。

型番	商品名	備考
PA-W11G2	802.11g 対応無線プリントアダプタ	IEEE802.11b および IEEE802.11g に準拠した無線プリントアダプタです。WEP および WPA-PSK（TKIP/AES）の暗号化技術に対応しています。

取り付け方法はオプション製品に添付の取扱説明書を参照してください。機器の設定は、「セットアップガイド」（紙マニュアル）または以下のページを参照してください。
☞ 本書本書 344 ページ「[USB I/F 設定] メニュー」

増設カセットユニット

用紙カセットが 1 段装備されたユニットです。本機の下に最大 3 段まで増設することができます。これにより、標準搭載されている用紙カセットを含めて最大で 4 段にすることができます。

型番	商品名	備考
LPA3CZ1CU2	増設 1 段カセットユニット （用紙カセット（容量 500 枚）1 段）	使用できる用紙サイズ： A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger
LPA3CZ1CT2	増設 1 段カセットユニット転倒防止付 [*1] （用紙カセット（容量 500 枚）1 段）	
LPA3CZ1CC2	増設 1 段カセットユニットキャスター付 / 最下段用 [*2] （用紙カセット（容量 500 枚）1 段）	

*1　1 段目または 2 段目（最下段のみ）に 1 台しか取り付けることができません。
*2　1 ～ 3 段目の最下段に 1 台しか取り付けることができません。

増設カセットユニットを増設する際の組み合わせは以下の通りです。

増設段数	1 段			2 段		3 段
1 段目	LPA3CZ1CU2	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2		LPA3CZ1CU2
2 段目	−	−	−	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2
3 段目	−	−	−	−	−	LPA3CZ1CC2

取り付け方法は、以下のページを参照してください。
本書 445 ページ「増設カセットユニットの取り付け」

用紙カセット

本体および増設カセットユニットにあらかじめセットされている用紙カセットと同等の用紙カセットです。

型番	商品名	備考
LPA3CYC3	本体用用紙カセット	使用できる用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger 容量：250 枚
LPA3CYC2	増設カセットユニット用 用紙カセット	使用できる用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger 容量：500 枚

用紙カセット 1 への用紙セット方法は、以下のページを参照してください。
本書 389 ページ「用紙カセット 1（標準カセット）への用紙のセット」

増設カセットユニット（用紙カセット 2 ～ 4）への用紙セット方法は、以下のページを参照してください。
本書 393 ページ「用紙カセット 2 ～ 4（オプション）への用紙のセット」

専用紙

本機では、以下の EPSON 製専用紙を使用できます。

型番（サイズ）	商品名	備考
LPCPPA3（A3）	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。MPトレイ、用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
LPCPPA4（A4）		
LPCPPB4（B4）		
LPCOHPS1（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。MP トレイからのみ給紙できます。 本書 408 ページ「OHP シートへの印刷」

！注意 上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙の両面に印刷する場合は、用紙の包装開封面（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。

増設メモリ

プリンタの内部メモリを最大 576MB（標準搭載メモリ容量 64MB）まで増設することができます。メモリを増設することにより、サイズの大きいデータや複雑なデータを高解像度で印刷できるようになります。使用できるメモリの詳細は、下記エプソンのホームページから本機のオプション情報をご覧ください。

http://www.i-love-epson.co.jp/

取り付け方法は、以下のページを参照してください。
本書 451 ページ「増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付け」

ハードディスクユニット

大量の部単位印刷を行ったり、コンピュータを早く印刷作業から解放することができます。また、パスワード印刷を行うときに必要です。

型番	商品名
LPHD4 または LPHD5	ハードディスクユニット

取り付け方法は、以下のページを参照してください。
本書 451 ページ「増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付け」

フォームオーバーレイユーティリティソフト(EPSON Form!4)

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを個々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷済みの用紙を用意しなくても帳票などを印刷できます。フォームオーバーレイユーティリティソフトは、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。作成したフォームデータを使用しての印刷は Windows プリンタドライバ上で行います。

型番	商品名
EPFORM4	EPSON Form!4（Windows 上で使用可能）

フォームオーバーレイ ROM モジュール

オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）で作成したフォームデータ（書式のデータ）を登録するための ROM モジュールです。フォームオーバーレイ ROM モジュールに登録したフォームデータは、Windows プリンタドライバ上および DOS アプリケーションソフト上で呼び出して使用できます。

型番	商品名
LPFOLR4M2	フォームオーバーレイ ROM モジュール（4MB）

取り付け方法は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 451 ページ「増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付け」

トナーカートリッジ

カラーモデル用トナー カートリッジは、トナーの色によって 4 種類あり、最大印刷可能枚数によって型番が異なります。本機で使用可能なトナー カートリッジは次の通りです。モノクロモデルの場合はトナーカートリッジ（ブラック）のみが使用可能です。

型番	商品名（色）	寿命
LPCA3ETC5K*	ET カートリッジ（ブラック）	各色約 6,000 ページ（A4、画占率 5%）
LPCA3ETC5C	ET カートリッジ（シアン）	
LPCA3ETC5M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA3ETC5Y	ET カートリッジ（イエロー）	
LPCA3ETC4C	ET カートリッジ（シアン）	各色約 2,000 ページ（A4、画占率 5%）
LPCA3ETC4M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA3ETC4Y	ET カートリッジ（イエロー）	

* LPCA3ETC5K の 2 本セット品（LPCA3ETC5P）もあります。

1 つのトナーカートリッジで 2,000 ページまたは 6,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *[1]）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *[2]）によりトナー消費量は異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなることがあります。お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になることもあります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。アプリケーションから 1 ページのドキュメントをコピー / 部単位機能を使用せずに複数回印刷を行うと、コピー / 部単位機能を使用した場合と比較してトナー消費量が異なります。

交換方法は以下のページを参照してください。
☞ 本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニット

感光体ユニットには、感光体ユニット（感光体、感光体クリーナ、帯電器）と廃トナーボックス、フィルタが同梱されています。

型番	商品名	感光体ユニットの寿命
LPCA3KUT5	感光体ユニット	モノクロ印刷 約 40,000 ページ カラー印刷 約 10,000 ページ

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *[1]）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *[2]）により異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなることがあります。また、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になることもあります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

交換方法は以下のページを参照してください。

本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」

廃トナーボックス

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。フィルタも同梱されています。

型番	商品名	寿命
LPCA3HTB3	廃トナーボックス	モノクロ印刷 約 40,000 ページ カラー印刷 約 10,000 ページ

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *[1]）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *[2]）により廃トナーの回収状況は異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなることがあります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

交換方法は以下のページを参照してください。

本書 475 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」

使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効利用と地球環境保全のために

エプソン純正トナーカートリッジは、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。

トナーカートリッジの回収について

トナーカートリッジの回収は、カートリッジの梱包箱と添付の「ご案内シート」をご確認ください。

使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法は、カートリッジの梱包箱をご覧ください。

回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。

回収方法の詳細は、エプソン純正トナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。また、エプソンのホームページ「I Love EPSON」でもご確認いただけます。

http://www.i-love-epson.co.jp/

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

使用済みトナーカートリッジ回収によるベルマーク運動

弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/）をご覧ください。

増設カセットユニットの取り付け

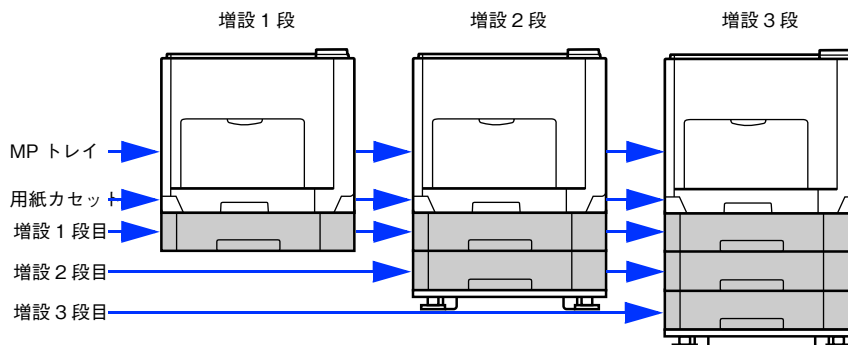
1 段目の増設カセットユニットを装着する手順を説明します。2、3 段目の増設カセットユニットも同様の手順で取り付けることができます。装着できる増設カセットユニットの詳細は、以下のページを参照してください。
本書 440 ページ「増設カセットユニット」

⚠警告	指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。

⚠注意

- オプションの取り付けは電源コードを取り外した状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。
- 本機を持ち上げる際は必ず 2 人以上で作業を行ってください。本機の質量は、約 45kg（標準用紙カセット 1 と消耗品のみを含む）です。プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ正面 / 背面にある持ち運び用ハンドルと左側下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。
本書 487 ページ「プリンタの輸送と移動」
- プリンタ本体を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの損傷の原因となります。
- プリンタに増設カセットユニットを 2 段増設する場合は、一番下に必ず増設 1 段カセットユニット転倒防止付（型番：LPA3CZ1CT2）または増設 1 段カセットユニットキャスター付 / 最下段用（型番：LPA3CZ1CC2）を取り付けてください。移動に便利であり、転倒防止機能が付いているので安全です。
本書 446 ページ「増設カセットの組み合わせ図」
- プリンタに増設カセットユニットを 3 段増設する場合は、一番下に必ず増設 1 段カセットユニットキャスター付 / 最下段用（型番：LPA3CZ1CC2）を取り付けてください。移動に便利であり、転倒防止機能が付いているので安全です。
本書 446 ページ「増設カセットの組み合わせ図」
- プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ本体を増設 1 段カセットユニットキャスター付 / 最下段用（型番：LPA3CZ1CC2）やキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがやプリンタの損傷の原因となります。

増設カセットの組み合わせ図

増設カセットユニットは以下の組み合わせで取り付けてください。

増設段数	1 段			2 段		3 段
1 段目	LPA3CZ1CU2	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2		LPA3CZ1CU2
2 段目	－	－	－	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2
3 段目	－	－	－	－	－	LPA3CZ1CC2

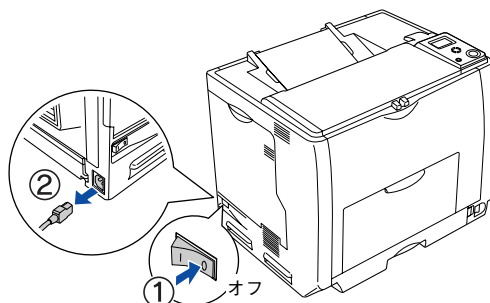
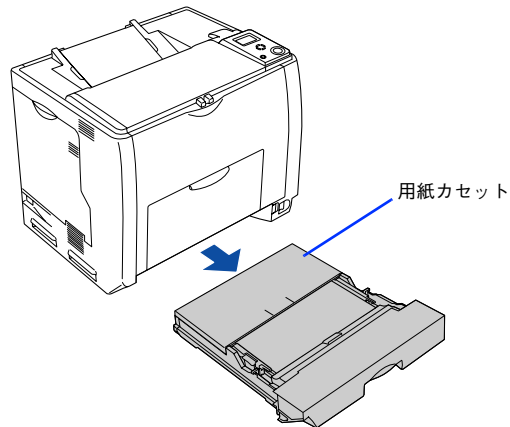
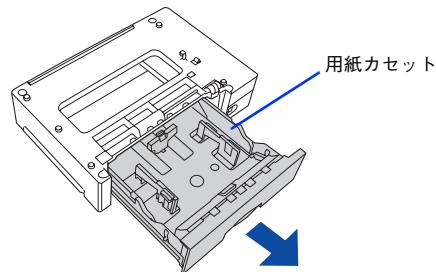
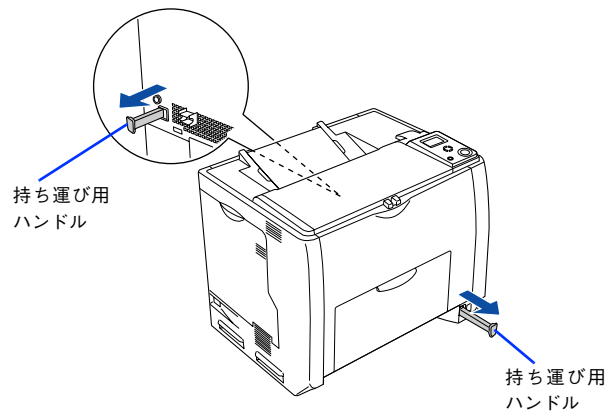
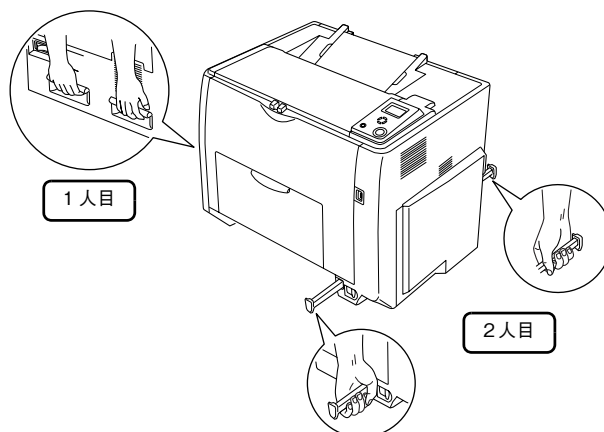
- 増設 1 段カセットユニット転倒防止付（型番：LPA3CZ1CT2）は上記の組み合わせで増設してください。
- 増設 1 段カセットユニットキャスター付 / 最下段用（型番：LPA3CZ1CC2）は最下段に 1 台しか装着できません。
- 増設 1 段カセットユニット転倒防止付(型番:LPA3CZ1CT2)と増設 1 段カセットユニットキャスター付 / 最下段用(型番：LPA3CZ1CC2）を組み合わせて装着することはできません。

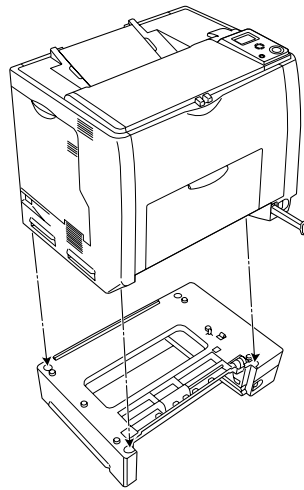
取り付けは以下の手順に従って行ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

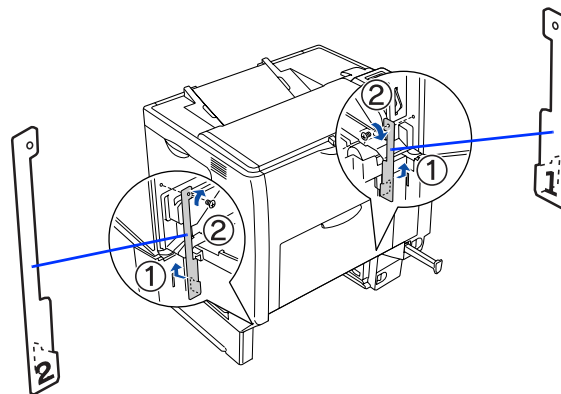
1 増設する増設カセットユニットを用意します。

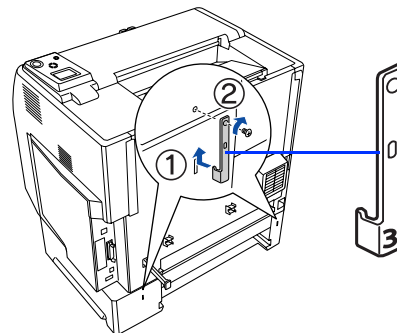
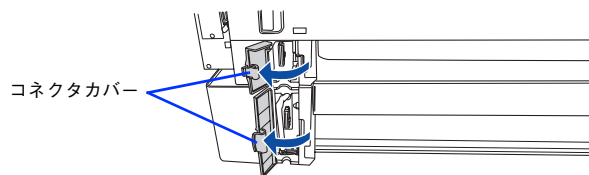
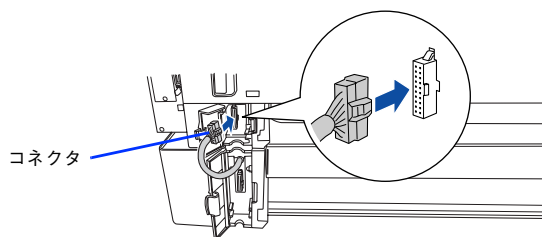
取り付け前に、増設カセットユニットに損傷のないことを確認してください。また、増設カセットユニットに添付の取扱説明書を参照して、同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

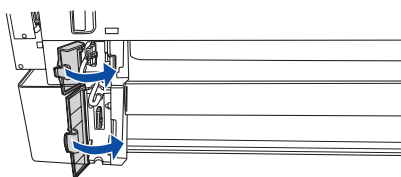
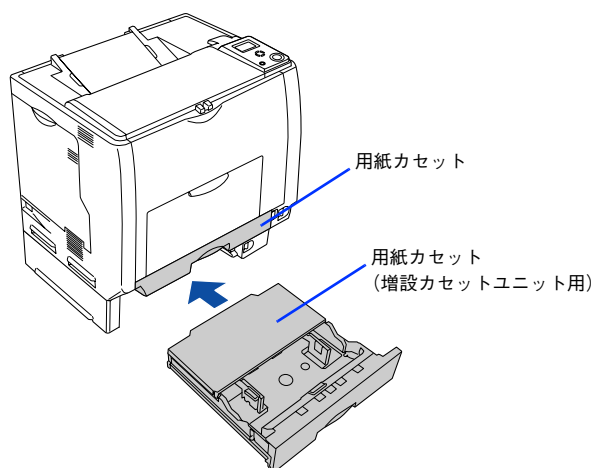
> **注意** 本作業は必ず電源コードを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

2 プリンタの電源をオフ（○）にし、電源コードを取り外します。

3 プリンタから用紙カセットを引き出して取り外します。

4 増設するカセットユニットを水平な場所に置き、用紙カセットを引き出して取り外します。

5 プリンタ前面と背面にある持ち運び用ハンドルを引き出します。

6 図のように２人で本機を持ち上げ、水平に保ちます。

7 増設カセットユニットの上にプリンタ本体を置きます。

プリンタ本体の前面と増設カセットユニットの前面を図のように合わせ、増設カセットユニットのピンとプリンタ底面の穴が合うようにします。

8 プリンタ本体（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの前面（2 箇所）を固定板とネジで固定します。

固定板を取り付けてネジ穴に合わせてから、ネジで固定します。前面（2 箇所）の固定板の形状が異なりますので、形状を確認してから取り付けてください。

9 プリンタ本体（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの背面（2 箇所）を固定板とネジで固定します。

固定板を取り付けてネジ穴に合わせてからネジで固定します。

10 プリンタ本体（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニット背面のコネクタカバーを開きます。

11 コネクタの向きを確認して、プリンタ本体（または一段上の増設カセットユニット）のソケットにしっかりと接続します。

! 注意	コネクタは奥までしっかり差し込んでください。奥まで差し込まないと正常に動作しません。

12 プリンタ本体（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの背面のコネクタカバーを閉じます。

13 取り外した用紙カセットをセットします。

14 **取り外した電源コードを元通りに取り付けて、プリンタの電源をオン（ | ）にします。**

15 **ステータスシートを印刷して、増設カセットユニットが正しく認識されていることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。正しく取り付けられているときは、［キュウシソウチ］または［給紙装置］の項目に［カセット 2, 3, 4］（2 段目、3 段目、4 段目）が印刷されます。

本書 461 ページ「ステータスシートでの確認」

16 **取り付けた増設カセットユニットをプリンタドライバで認識させます。**

- Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションの設定をする必要があります。なお、EPSON ステータスモニタがインストールされていてコンピュータとプリンタが双方向通信できる場合は自動的にオプション情報が取得できますので、設定の必要はありません。
  本書 458 ページ「Windows でのオプション設定」
- Mac OS をお使いの場合は、取り付けたオプションをプリンタドライバに認識させる必要があります。
  本書 460 ページ「Mac OS でのオプション設定」

以上で増設カセットユニットの取り付けは終了です。増設カセットユニットに用紙をセットする方法は、以下のページを参照してください。

本書 393 ページ「用紙カセット 2 ～ 4（オプション）への用紙のセット」

増設メモリ/ROMモジュール/HDDの取り付け

メモリ /ROM モジュール / ハードディスクユニット（HDD）の取り付けにはプラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。装着できる増設メモリ /ROM モジュール / ハードディスクユニットの詳細は、以下のページを参照してください。

本書 441 ページ「増設メモリ」
本書 442 ページ「フォームオーバーレイ ROM モジュール」
本書 441 ページ「ハードディスクユニット」

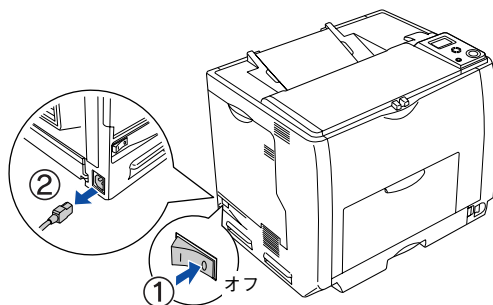
警告 指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。

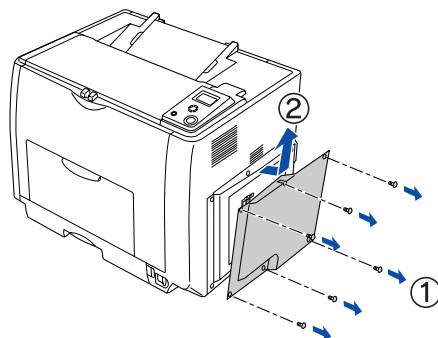
! 注意 メモリの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

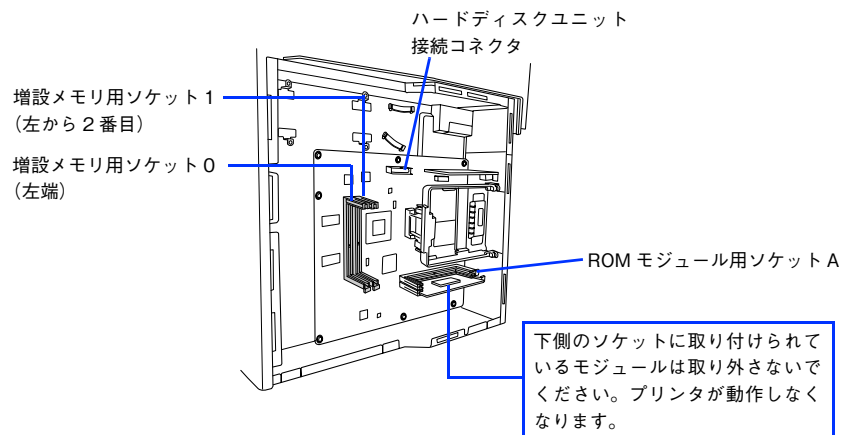
1 **取り付けるメモリを用意します。**

取り付け前に、メモリに損傷のないことを確認してください。また、オプションに添付の取扱説明書を参照して、同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

注意 本作業は必ず電源コードを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

2 **プリンタの電源をオフ（○）にし、電源コードを取り外します。**

3 **右カバーのネジ（6 本）を外して、右カバーを取り外します。**

① 右カバーのネジ（6 本）を外します。
② 右カバーの上部を少し手前に倒してから、上にずらして（右カバーの下部に付いているフックを外して）取り外します。

注意 作業に必要のない場所には触れないようにしてください。感電や火傷の原因となります。

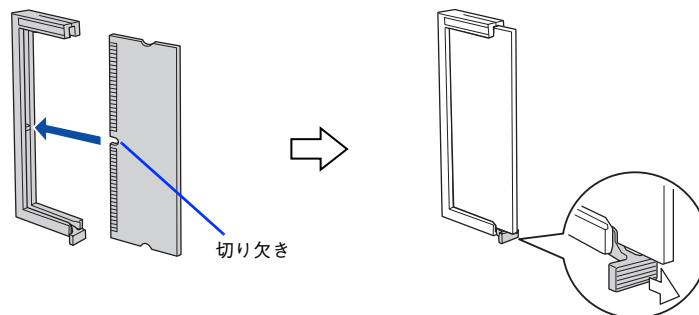
4 プリンタ本体内の装着位置を確認します。

5 次の手順で増設メモリ、ROM モジュール、ハードディスクユニットを取り付けます。

！注意
- 取り付ける際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。

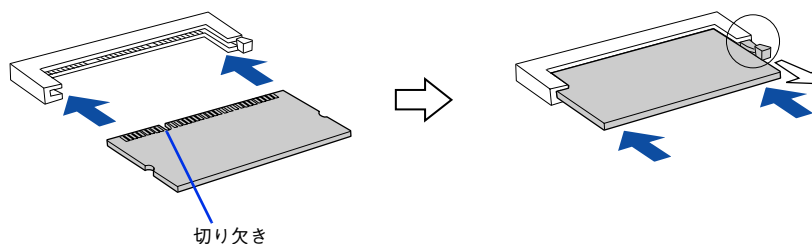
増設メモリを装着する場合

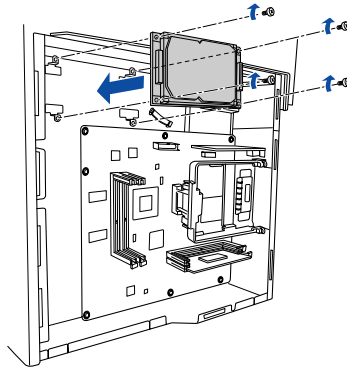
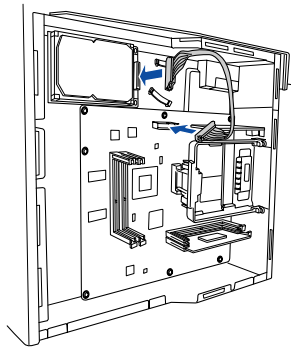
メモリを 1 枚取り付ける場合、ソケット 0、ソケット 1 のどちらに装着してもかまいません。

① メモリの下図の切り欠きがソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、ソケットの外枠にメモリを差し込みます。

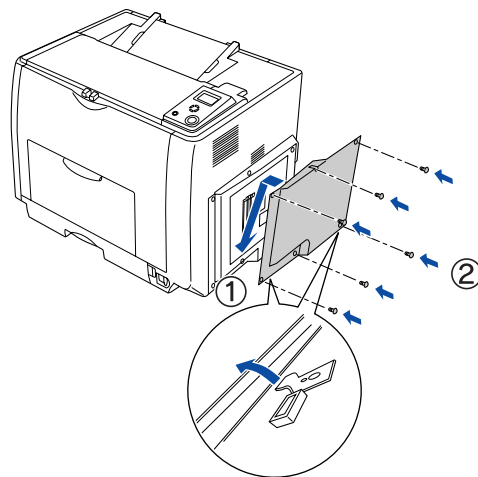
② ソケット下側のボタンが飛び出すまでメモリの上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。

ROM モジュールを装着する場合

① ROM モジュールの下図の切り欠きの位置をソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、ソケットの外枠にメモリを差し込みます。

② ソケット右側のボタンが飛び出すまで ROM モジュールの上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。

ハードディスクユニット(HDD)を装着する場合

① ハードディスクユニットに同梱されている 4 本のネジでハードディスクユニットを固定します。

② 接続ケーブルのコネクタを、ハードディスクユニット上のソケットと基板上のソケットに差し込みます。

6 右カバーをプリンタに取り付けてから、ネジ（6 本）で固定します。

① 右カバーの下部（内側 2 箇所）にあるフックをプリンタ側の枠にはめ込んでから、右カバーの上部を押さえ付けて取り付けます。

② 右カバーのネジ（6 本）を取り付けます。

7 **取り外した電源コードを元通りに取り付けて、プリンタの電源をオン（ | ）にします。**

8 **ステータスシートを印刷して、プリンタがメモリを正しく認識していることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。

本書 461 ページ「ステータスシートでの確認」

- 増設メモリが正しく取り付けられていると、[メモリ] の項目に標準搭載メモリ 64MB と増設したメモリ容量の合計値が印刷されます。
- フォームオーバーレイ ROM モジュールが正しく取り付けられていると、[オプション] の項目に [ソケット A] と印刷されます。
- ハードディスクユニットが正しく取り付けられていると、[オプション] の項目に [XXGB]（XX は取り付けたハードディスクの容量）と印刷されます。

本機は、メモリが効率的に使用されるような設定をプリンタのコントローラが自動的に行っていますので、キャッシュバッファや受信バッファの容量の設定は基本的に不要です。

9 **取り付けたメモリをプリンタドライバで認識させます。**

- Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションの設定をする必要があります。なお、EPSON ステータスモニタがインストールされていてコンピュータとプリンタが双方向通信できる場合は自動的にオプション情報が取得できますので、設定の必要はありません。
  本書 458 ページ「Windows でのオプション設定」
- Mac OS をお使いの場合は、取り付けたオプションをプリンタドライバに認識させる必要があります。
  本書 460 ページ「Mac OS でのオプション設定」

以上でメモリの取り付けは終了です。

インターフェイスカードの取り付け

インターフェイスカードの取り付け方を説明します。装着できるインターフェイスカードの詳細は、以下のページを参照してください。

本書 439 ページ「インターフェイスカード」

ネットワークインターフェイスカード使用時の制限事項について

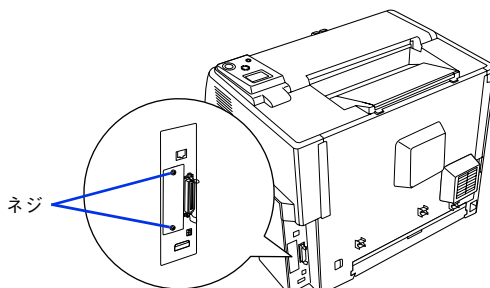
TCP/IP 接続（EpsonNet Direct Print、LPR）のセットアップ方法は、オプション I/F カード（PRIFNW7）添付の取扱説明書をご覧ください。AppleTalk 接続は、Macintosh 標準の接続方法です。特別なセットアップの必要はありません。

- IPP、NetBEUI などのプロトコルを使用する場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できません。
- ネットワークへは10BASE-T/100BASE-TXどちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の高速ネットワークを、ネットワーク負荷の軽い環境で使うことをお勧めします。
- 100BASE-TX 専用 HUB（ハブ）* を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。

  * HUB：複数のコンピュータをネットワーク環境へ接続するための中継機
- オプション I/F カード（PRIFNW7）は 10BASE-T/100BASE-TX 自動切り替えで動作します。
- ネットワークに接続するときはHUB をお使いください。HUBを使わずにクロスケーブルで接続することはできません。
- 一部スイッチング HUB では正常に動作しないことがあります。その場合はスイッチング HUB と本機の間に自動切り替えのない HUB を入れるなどの方法をお試しください。
- 解像度の高い画像データなどを印刷する場合は、印刷データが膨大となります。本機用のネットワークセグメント（ネットワーク環境内の同一グループ）を他のセグメントと合わせるなど、本機の使用頻度や印刷データの容量に合わせたネットワーク環境にしておいてください。

インターフェイスカードの取り付け手順

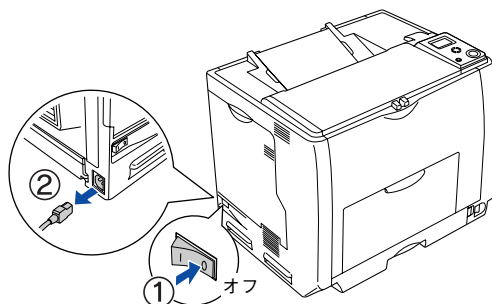
取り付けは以下の手順に従って行ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

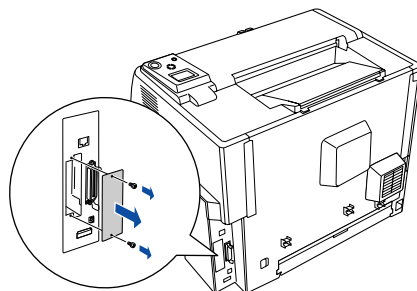
警告 指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。指示以外のネジは取り外さないでください。本作業で取り外すネジは以下の通りです。

注意 インターフェイスカードの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1 インターフェイスカードを用意します。

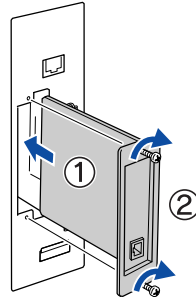
取り付け前に、インターフェイスカードに損傷のないことを確認してください。また、インターフェイスカードに添付の取扱説明書を参照して、同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

注意 本作業は必ず電源コードを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

2 プリンタの電源をオフ（○）にし、電源コードを取り外します。

3 プリンタ背面のコネクタカバーを取り外します。

コネクタカバーはネジ 2 個で固定されていますので、ネジを緩めて取り外します。取り外したコネクタカバーとネジは、インターフェイスカードを取り外した際に必要となりますので、大切に保管してください。

4 **インターフェイスカードをスロットに差し込み、インターフェイスカードに付属のネジ（2個）で固定します。**

① インターフェイスカードの上下両側をプリンタ内部の溝に合わせて差し込みます。

② インターフェイスカードのコネクタとプリンタ側のコネクタがしっかりかみ合うまで差し込んでから、ネジを締め付けて固定します。

5 **取り外した電源コードを元通りに取り付けて、プリンタの電源をオン（｜）にします。**

6 **ステータスシートを印刷して、インターフェイスカードが正しく装着されていることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。

本書 461 ページ「ステータスシートでの確認」

正しく取り付けられているときは、［インターフェイス］の項目に［I/F カード］と印刷されます。

以上でインターフェイスカードの取り付けは終了です。

オプション装着時の設定

Windows でのオプション設定

メモリや給紙装置などのオプションを装着した場合、プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。
Windows プリンタドライバのインストール後、以下の手順に従ってください。

Windows 2000/Server 2003 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

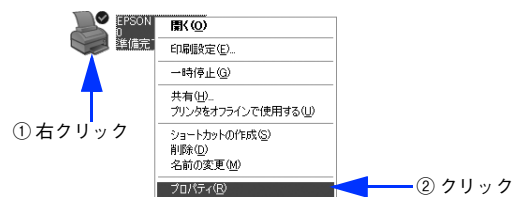
Windows XP/Server 2003 の場合

［スタート］－［プリンタと FAX］をクリックします。

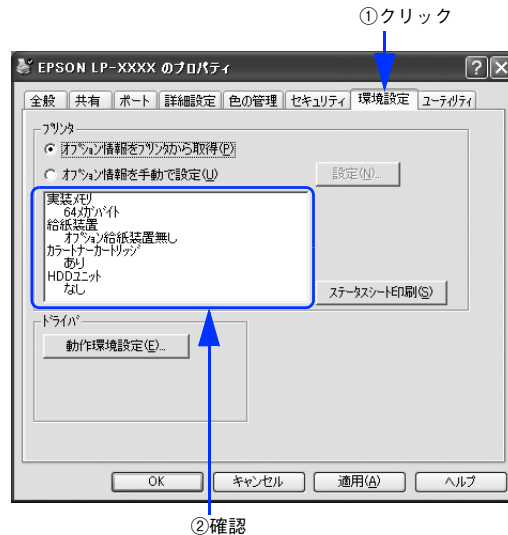
Windows 98/Me/2000 の場合

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

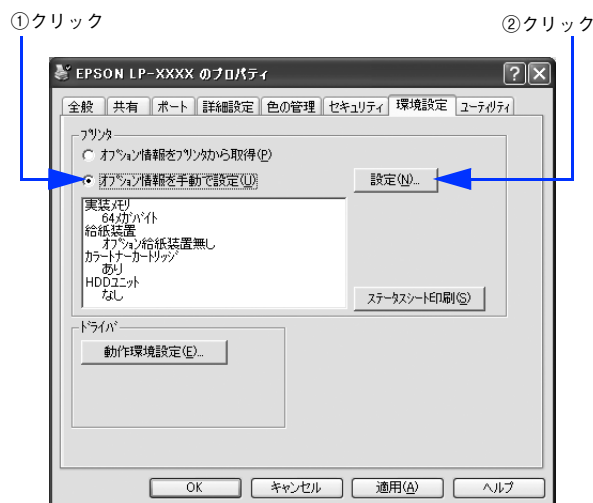
2 LP-S6500/LP-S4500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

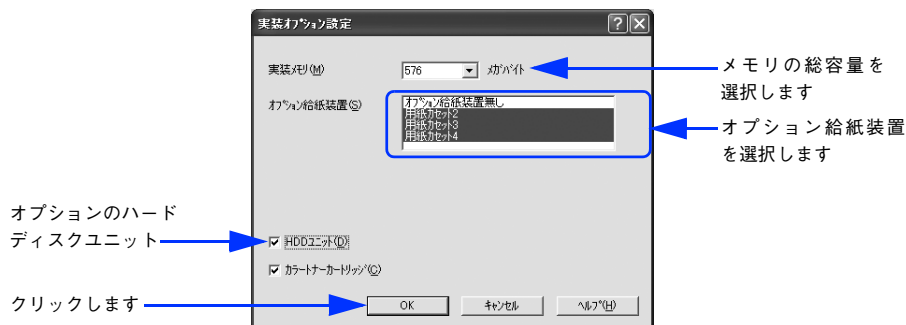
このときに、プリンタのオプション装着状況の確認を開始します。

通信エラーが発生した場合は、［OK］をクリックしてエラーダイアログを閉じてください。手動でオプション情報を設定できます。

3 ［環境設定］タブをクリックし、オプション情報リストを確認します。

- EPSON ステータスモニタがインストールされていると、［オプション情報をプリンタから取得］が有効になります。［オプション情報をプリンタから取得］が選択された状態で自動的にオプション情報が取得されると、装着したオプションをリストに表示します。6 へ進みます。

- 装着しているオプションがリストに表示されない場合は、手動でオプション情報を設定します。4 へ進みます。

4 ［オプション情報を手動で設定］をクリックして、［設定］をクリックします。

［実装オプション設定］ダイアログが開きます。

5 装着したオプションを選択して、［OK］をクリックします。

- ［実装メモリ］リストから、増設したメモリの容量を含めてプリンタの総メモリ容量を選択します。
- ［オプション給紙装置］リストで、装着したオプション給紙装置名をクリックして選択します。
- ［HDD ユニット］をクリックしてチェックマークを付けると、装着したオプションのハードディスクユニットが使用できます。
- ［カラートナーカートリッジ］にチェックを付けると、カラー印刷が可能なカラーモデルになりカラー印刷に関連する機能が利用できます（モノクロ印刷も可能です）。チェックを外すと、モノクロモデルとなりモノクロ印刷だけの機能が有効となります。カラー / モノクロモデルを切り替えるときに設定します。
☞ 本書 533 ページ「カラー / モノクロモデルの変更方法」

6 ［OK］をクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。

以上でオプションの設定は終了です。

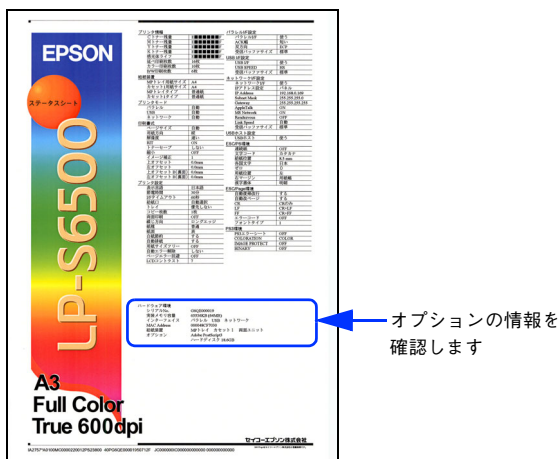
Mac OS でのオプション設定

給紙装置などのオプションを装着した場合、プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。Mac OS プリンタドライバのインストール後、以下の手順に従ってください。

- Mac OS 9 では、プリンタドライバを［セレクタ］で再選択してください。
☞ 本書 137 ページ「印刷を始める前に」
- Mac OS X では、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］にプリンタを追加し直してください。
☞ 本書 217 ページ「［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加」

ステータスシートでの確認

ステータスシートを印刷すると、カラー印刷例と現在のプリンタの状態や設定値、消耗品の情報、装着オプションの情報が印刷されます。プリンタや取り付けたオプションが正常に使用できるか確認できますので、オプションを取り付けたらステータスシートを印刷して確認してください。

＜例：ステータスシート（LP-S6500 でカラー印刷した場合）＞

ステータスシートはプリンタドライバまたは操作パネルから印刷できます（ただし、Mac OS X からステータスシートは印刷できません)。印刷手順の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ Windows：本書 73 ページ「［環境設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 192 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
☞ 操作パネル：本書 365 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

9 プリンタのメンテナンス

ここでは、メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項などを説明しています。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジについて

トナーカートリッジは印刷画像を用紙上に形成するトナーの入った装置です。カラーモデルは、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色を使用して印刷画像の色を再現します。モノクロモデルはブラックの 1 色を使用して印刷します。

型番	商品名（色）	寿命
LPCA3ETC5K*1	ET カートリッジ（ブラック）	各色約 6,000 ページ *2
LPCA3ETC5C	ET カートリッジ（シアン）	
LPCA3ETC5M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA3ETC5Y	ET カートリッジ（イエロー）	
LPCA3ETC4C	ET カートリッジ（シアン）	各色約 2,000 ページ *2
LPCA3ETC4M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA3ETC4Y	ET カートリッジ（イエロー）	

*1 LPCA3ETC5K の 2 本セット品（LPCA3ETC5P）もあります。

*2 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によってトナーの消費量は異なります。お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

！注意 本機は純正トナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。純正品以外のものをご使用したことにより発生した不具合は保証いたしませんのでご了承ください。

■ トナーカートリッジの交換時期

1 つのトナーカートリッジで 2,000 ページまたは 6,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *1）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

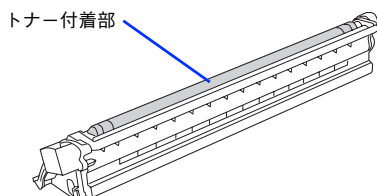
操作パネルの［プリンタ情報］メニューや EPSON ステータスモニタは、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。

☞ 操作パネル：本書 329 ページ「［プリンタ情報］メニュー」
☞ Windows：本書 81 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
☞ Mac OS 9：本書 200 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
☞ Mac OS X：本書 279 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」

トナーカートリッジ交換時の注意

⚠警告	トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

⚠注意	交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- トナーカートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できないなどの原因となるおそれがあります。
- トナーカートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のトナーカートリッジを装着してください。
- トナーのなくなったトナーカートリッジは再利用しないでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、トナーカートリッジを室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- トナーカートリッジのトナー付着部には絶対に手を触れないでください。

トナーカートリッジ保管上の注意

⚠注意	子供の手の届かないところに保管してください。

- トナーカートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 15 ～ 85% の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法は、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シートまたは以下のページを参照してください。

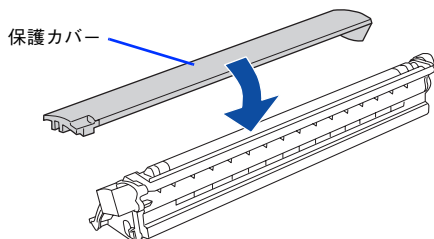
 本書 444 ページ「使用済みトナーカートリッジの回収について」

やむを得ず、使用済みトナーカートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

■ 使用済みトナーカートリッジ回収によるベルマーク運動

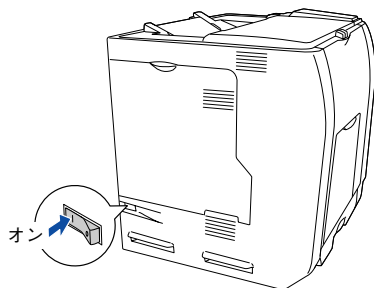
弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/）をご覧ください。

トナーカートリッジは、購入時に取り付けられていたカバーを取り付けて回収または廃棄してください。

トナーカートリッジの交換手順

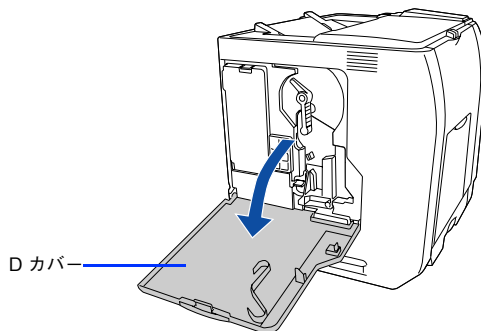
トナーのなくなったトナーカートリッジ（色）は、操作パネルに表示されるメッセージで確認できます。また、EPSON ステータスモニタでも交換を促すメッセージを表示します。

トナーカートリッジの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

本書 464 ページ「トナーカートリッジ交換時の注意」

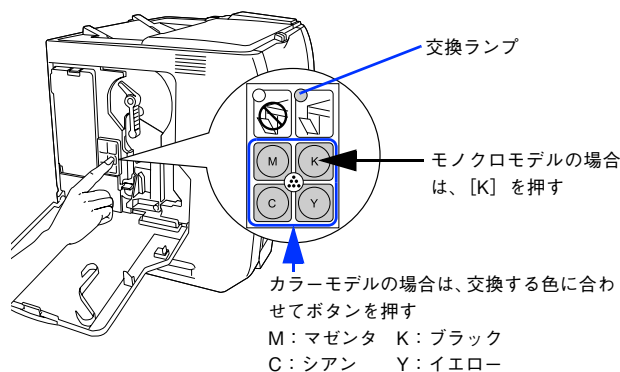
1 プリンタの電源がオフ（○）の場合はオン（|）にします。

2 操作パネルのメッセージを参照して、交換するトナーカートリッジの色を確認します。

- モノクロモデルの場合は、ブラック（K）の新しいカートリッジを取り付けます。
- カラーモデルの場合は、表示されている色（Y/M/C/K）の新しいカートリッジを取り付けます。

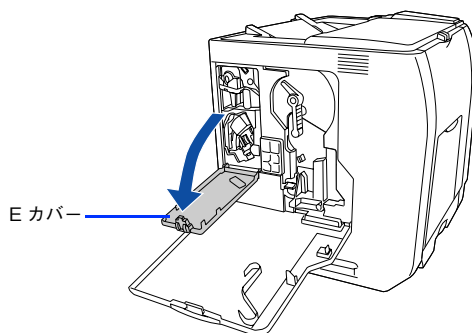
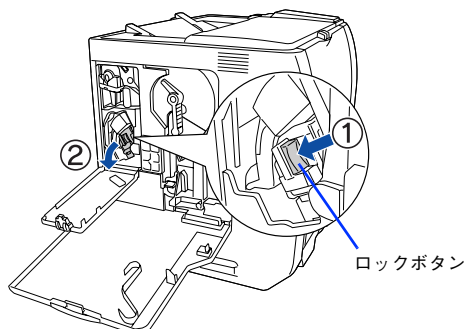
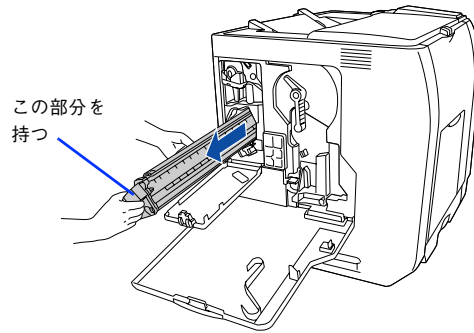
3 プリンタの D カバーを開けます。

！注意 電源をオン（|）にした直後は、プリンタが停止するまで D カバーを開けないでください。プリンタの内部機構が動作していないこと（動作音が聞こえないこと）を確認してから D カバーを開けてください。

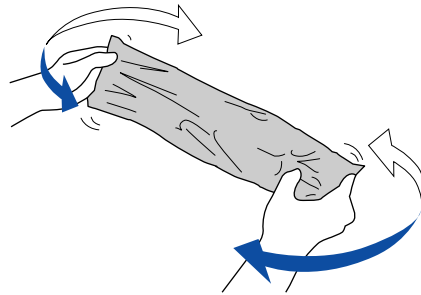
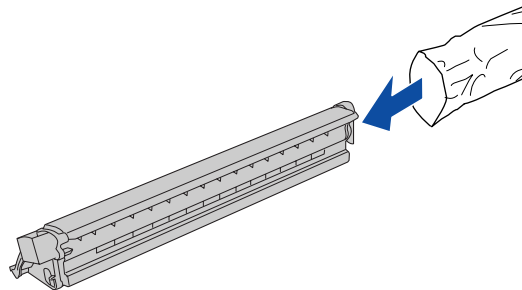
4 **交換するトナーカートリッジの色のボタンを押し、緑色の交換ランプが点灯するまで待ちます。**

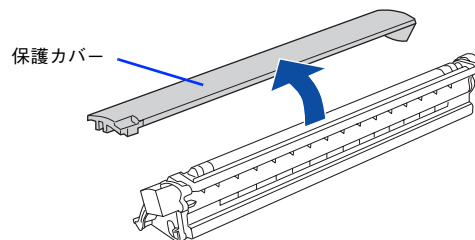
- モノクロモデルの場合は、［K］を押します。
- カラーモデルの場合は、交換するトナー色の［Y/M/C/K］を押します。

取り付ける色の装着口が移動します。

！注意
- 赤色の交換ランプが点滅している間は、E カバーを開けないでください。
- 赤色の交換ランプが点滅している間は、感光体ユニットを抜かないでください。

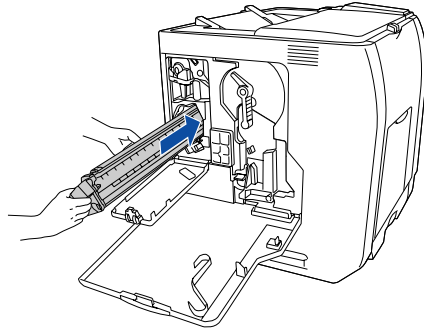
交換ランプが点灯しない場合は、電源がオン（|）になっているか、感光体ユニットが取り付けられているかを確認してください。

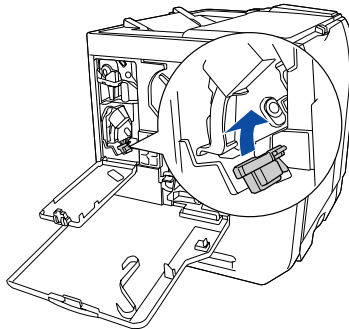
5 **プリンタの E カバーを開けます。**

6 **ロックボタン（灰色）をつまんで、トナーカートリッジのセットカバーを手前に開けます。**

7 トナーカートリッジ先端のつまみ部分を持って、手前にゆっくり引き抜きます。

8 新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出し、袋のまま図のように左右に傾けて7～8回振ります。

トナーカトリッジ内のトナーが均一な状態になります。

9 新しいトナーカートリッジを袋から取り出します。

参考	トナーカートリッジの入っていた梱包箱や袋は、使用済みのトナーカートリッジを回収する際に必要となります。梱包箱や袋は、次回の交換時まで大切に保管してください。

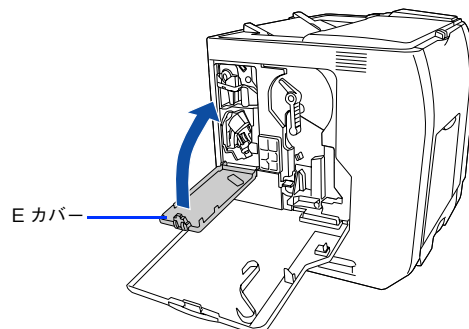
10 トナーカートリッジの保護カバーを取り外します。

参考	取り外したカバーは、トナーカートリッジを回収する際に取り付けますので捨てないでください。

11 トナーカートリッジを図のように、装着口にまっすぐ差し込みます。

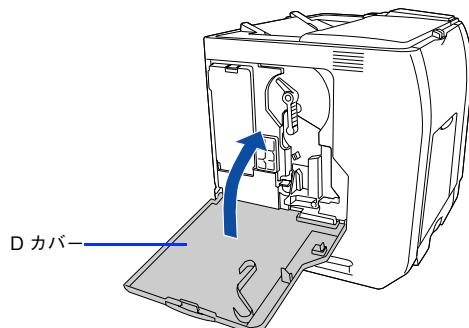
トナーカートリッジの先端を装着口に合わせて、ゆっくり奥まで差し込みます。

参考　トナーカートリッジの保護カバーが取り外されていることを確認してから、プリンタに取り付けてください。

12 トナーカートリッジのセットカバーを起こしてカチッと音がするまで閉じます。

!注意　トナーカートリッジのセットカバーはカチッと音がするまでしっかりと固定してください。正しく固定されていないと、プリンタの E カバーや D カバーが閉じないため、カバーオープンのワーニングが発生したり、トナー供給不足やトナー漏れが発生する原因となります。

13 プリンタの E カバーを閉じます。

トナーカートリッジをセットしたら、必ず E カバーを閉じてください。また、カラーモデルで続けて他の色のトナーカートリッジをセットする場合も、必ず E カバーを一旦閉じてください。

- カラーモデルの場合は、14 へ進みます。
- モノクロモデルの場合は、15 へ進みます。

14 カラーモデルで同時に他の色のトナーカートリッジを交換する場合は、4 から 13 の手順を繰り返します。

15 交換が終了したら、プリンタの D カバーを閉じます。

16 操作パネルに「印刷できます」と表示されるまで待機し、表示されたら電源をオフ（○）にします。

操作パネルに「紙をセットしてください xxxxx yyyy」と表示された場合は、用紙をセットしてから「印刷できます」と表示されることを確認し、電源をオフ（○）にしてください。

以上でトナーカートリッジの交換は終了です。

感光体ユニットの交換

ここでは、感光体ユニットの交換方法を説明しています。

感光体ユニットについて

感光体ユニットは、感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置です。感光体ユニットには、感光体ユニット（感光体、感光体クリーナ、帯電器）、廃トナーボックス、フィルタが同梱されています。

型番	商品名	感光体ユニットの寿命
LPCA3KUT5	感光体ユニット	モノクロ印刷 約 40,000 ページ * カラー印刷 約 10,000 ページ *

* 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によって感光体ライフ（寿命）は異なります。また、使用環境によっては印刷可能ページ数は半分以下になる場合があります。

! 注意 本機は純正感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

感光体ユニットの交換時期

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *1）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）により異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

操作パネルの［プリンタ情報］メニューや EPSON ステータスモニタは、感光体の寿命の目安を表示することができます。また、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。

操作パネル：本書 329 ページ「［プリンタ情報］メニュー」
Windows：本書 81 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
Mac OS 9：本書 200 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
Mac OS X：本書 279 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」

感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなりますが、トナーカートリッジの劣化やトナーの消耗などによっても同様に印刷品質が低下し、以下のような現象が発生します。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明になる。
- 周期的に汚れが発生する。
- 黒点または黒線が印刷される。

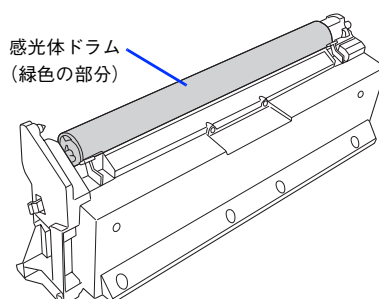
そのため、感光体ユニットを交換する前にまず以下の点をチェックし、その上で感光体ユニットを交換してください。

- トナーが十分残っているか確認してください。
  操作パネルの［プリンタ情報］メニューでトナーカートリッジのトナーが十分残っているか確認してください。
  本書 329 ページ「［プリンタ情報］メニュー」
  EPSON ステータスモニタがインストールされている場合は、EPSON ステータスモニタでもトナーカートリッジのトナー残量を確認できます。
  Windows：本書 81 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
  Mac OS 9：本書 200 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
  Mac OS X：本書 279 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
- 印刷が薄い場合は、［トナーセーブ］が設定されていないか確認してください。
  Windows：本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
  Mac OS 9：本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
  Mac OS X：本書 246 ページ「［プリンタの設定］ダイアログ」

感光体ユニット交換時の注意

⚠警告	感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

⚠注意	交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- 感光体ユニットの感光体（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。

- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移動した場合は、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタに装着せずに放置する場合は、保護カバーを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。
- 感光体ユニットを置く場合は、感光体の表面に傷が付かないよう、平らな机の上に置いてください。

保管上の注意

⚠注意	子供の手の届かないところに保管してください。

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 度
  湿度範囲：15 ～ 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

使用済み感光体ユニットについて

使用済み感光体ユニットを処分される場合は、ポリ袋などに入れて必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

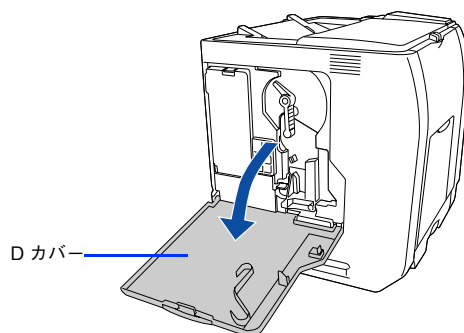
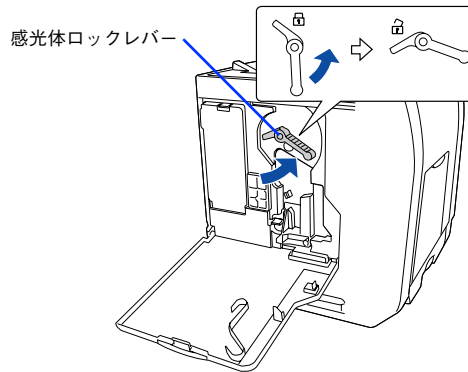
感光体ユニットの交換手順

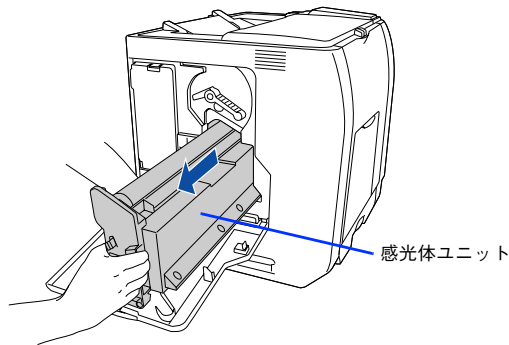
感光体ユニットの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

本書 471 ページ「感光体ユニット交換時の注意」

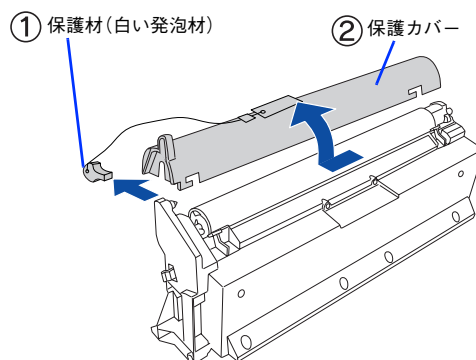
感光体ユニットを交換したら、廃トナーボックスとフィルタも交換してください。廃トナーボックスとフィルタの交換方法は、以下のページを参照してください。

本書 475 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」

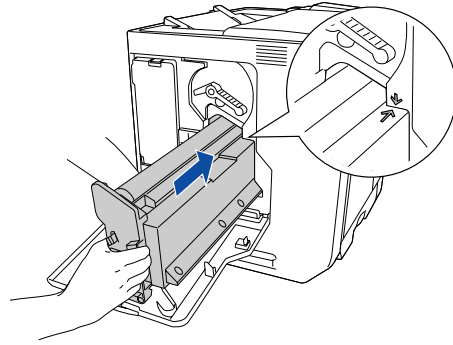
1 **プリンタの D カバーを開けます。**

2 感光体ロックレバーを図の位置まで回して、ロックを解除します。

3 感光体ユニットを手前に少し引き出してから、感光体ユニット下部に手を添え、ゆっくりと引き抜きます。

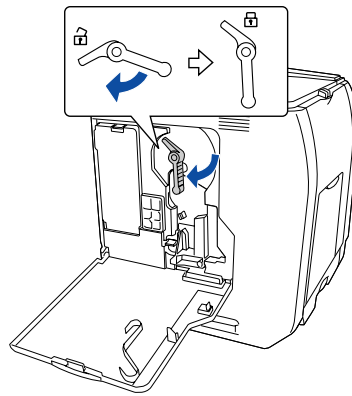
使用済みの感光体ユニットは水平に持ってください。逆さに持ったり振ったりすると、トナーがこぼれます。

4 新しい感光体ユニットを梱包箱から取り出し、保護材（白い発泡材）と保護カバーを取り外します。

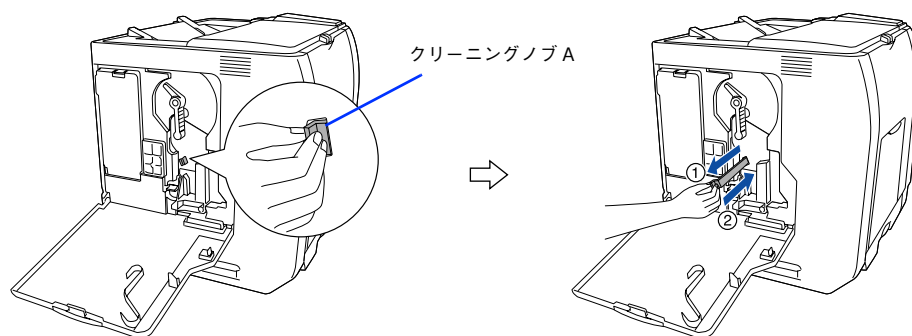
① 保護材（白い発泡材）を取り外します。

② 保護カバーを横にずらしてから上にゆっくり引き抜きます。

! 注意

- 感光体（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタに装着せずに放置する場合は、保護カバーを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。

5 **感光体ユニット下部に手を添え、感光体ユニット上の矢印をプリンタ内部の矢印と合わせて、カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。**

!注意 感光体（緑色の部分）を他の部品に接触させないよう注意してください。

6 **感光体ロックレバーを図の位置まで回して、固定します。**

!注意 ロックレバーが正しくロックされていることを確認してください。

7 **クリーニングノブ A を最後まで引き出して、ゆっくりと 2、3 回往復させてから元の位置に（カチッと音がするまで）戻します。**

以上で感光体ユニットの交換は終了です。続いて、廃トナーボックスとフィルタを交換してください。

本書 476 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換手順」

廃トナーボックスとフィルタの交換

廃トナーボックスとフィルタについて

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。廃トナーボックスの交換時は、フィルタも合わせて交換してください。フィルタは廃トナーボックスに同梱されています。

型番	商品名	寿命
LPCA3HTB3	廃トナーボックス	モノクロ印刷 約 40,000 ページ * カラー印刷 約 10,000 ページ *

* 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によって感光体ライフ（寿命）は異なります。

本製品は純正廃トナーボックス使用時に最良の状態で使用できるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

参考

廃トナーボックスとフィルタは、感光体ユニット（型番：LPCA3KUT5）にも同梱されています。感光体ユニット交換時に、同時に交換してください。

廃トナーボックスとフィルタの交換時期

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *1）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）により廃トナーの回収状況は異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

空き容量が残り少なくなると、操作パネルや EPSON ステータスモニタは交換を促すメッセージを表示します。すみやかに新しい廃トナーボックスと交換することをお勧めします。

Windows：本書 81 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
Mac OS 9：本書 200 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
Mac OS X：本書 279 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」

廃トナーボックスとフィルタの交換時の注意

警告

使用済みの廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

注意

交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- 使用済みの廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- 使用済みの廃トナーボックスは、回収した廃トナーがこぼれないように、キャップを確実に取り付けてください。
- トナーがこぼれないよう、注意して作業してください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

廃トナーボックスとフィルタの保管上の注意

- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 度
  湿度範囲：15 ～ 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済み廃トナーボックスとフィルタについて

使用済みの廃トナーボックスやフィルタを処分される場合は、ポリ袋などに入れ、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

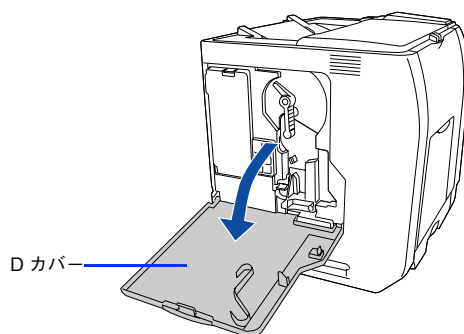
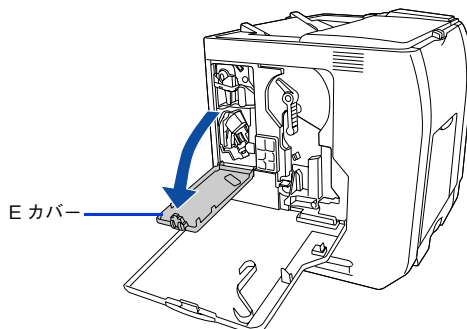
使用済みの廃トナーボックスやフィルタは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

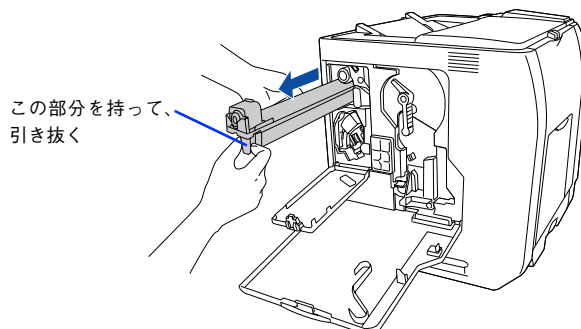
廃トナーボックスとフィルタの交換手順

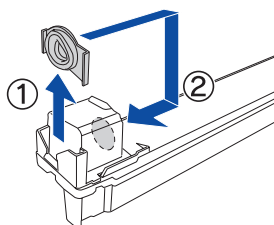
廃トナーボックスの交換時は、フィルタも合わせて交換します。なお、交換の前に必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

本書 475 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換時の注意」

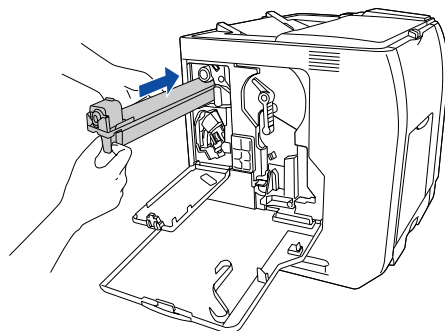
フィルタは、感光体ユニットと廃トナーボックスにそれぞれ同梱されています。

1 **プリンタの D カバーを開けます。**

2 **プリンタの E カバーを開けます。**

3 廃トナーボックスを、図のように手前に引き抜きます。

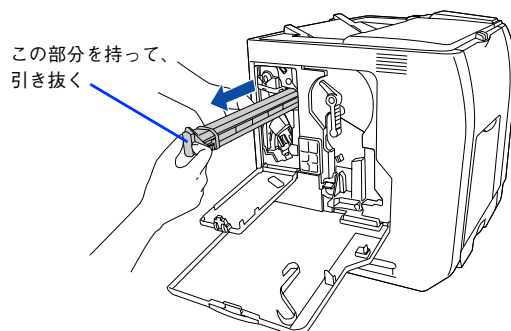
使用済みの廃トナーボックスは水平に持ってください。逆さに持ったり振ったりすると、トナーがこぼれます。

4 使用済みの廃トナーボックスにキャップを付けます。

廃トナーボックスにキャップを付けたら、キャップが確実に取り付けられていることを確認してください。

5 新しい廃トナーボックスを梱包箱から取り出します。

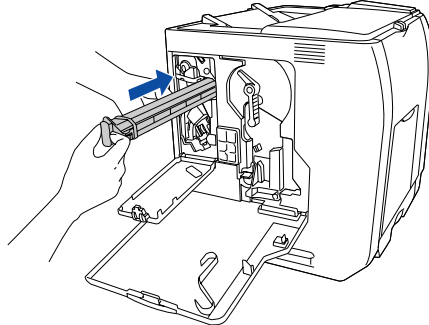
6 廃トナーボックスを図のように、装着口にまっすぐ差し込みます。

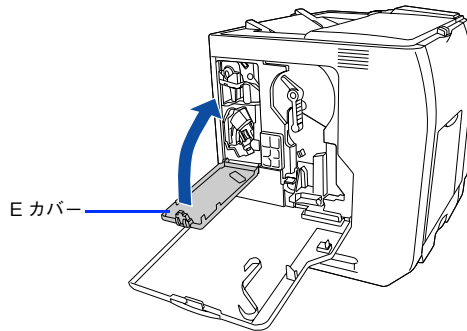
廃トナーボックスが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなるまで差し込みます。

続いてフィルタを交換します。

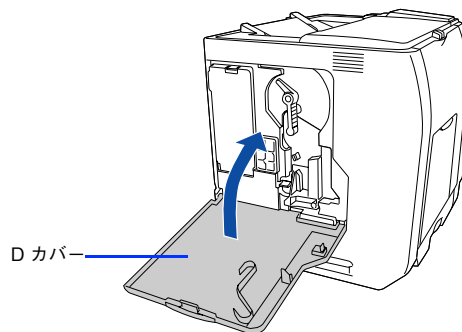
7 フィルタを図のように、手前に引き抜きます。

使用済みのフィルタは水平に持ってください。逆さに持ったり振ったりすると、トナーがこぼれます。

8 新しいフィルタを梱包箱から取り出します。

9 フィルタを図のように、装着口にまっすぐ差し込みます。

フィルタが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなるまで差し込みます。

10 プリンタの E カバーを閉じます。

フィルタが正しく装着されていないと E カバーを閉じることができません。正しく装着してください。

11 プリンタの D カバーを閉じます。

廃トナーボックスとフィルタを新しい物に交換し、D カバーを閉じると、自動的に印刷可能な状態に戻ります。

以上で廃トナーボックスとフィルタの交換は終了です。

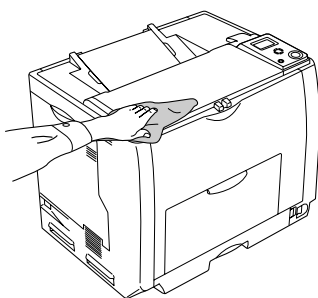
プリンタの清掃

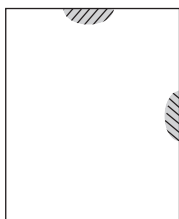
プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

プリンタの表面が汚れたら

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

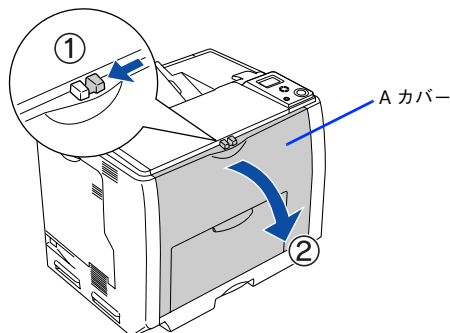
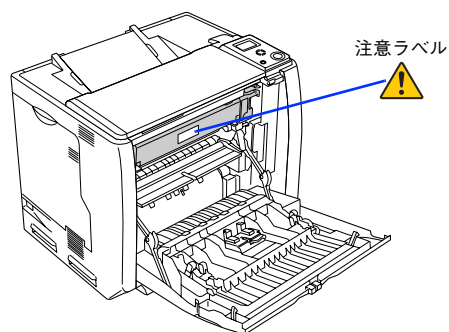
⚠注意　清掃作業は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

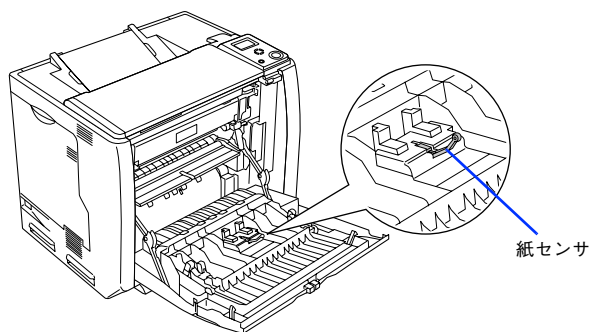
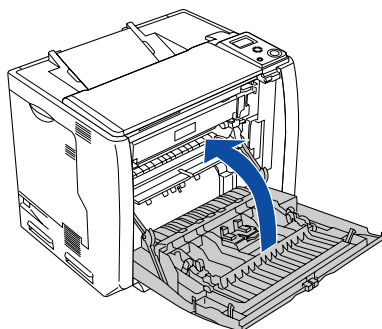
!注意
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

用紙の上または右横が汚れたら

用紙の以下の部分が汚れるときは、紙センサを清掃してください。

⚠注意　清掃作業は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

!注意
- プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。
- MPトレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いてMPトレイを閉めてからAカバーを開けてください。

1 ツマミをつまんで、A カバーを図のように開けます。

⚠注意

- A カバーを開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（最高約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。

- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

2 紙センサを乾いた布で拭きます。

3 A カバーを閉じます。

以上で紙センサの清掃は終了です。

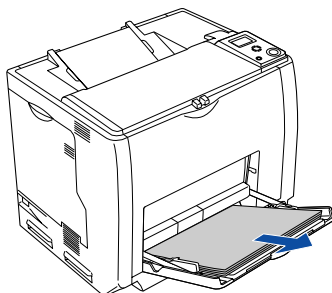
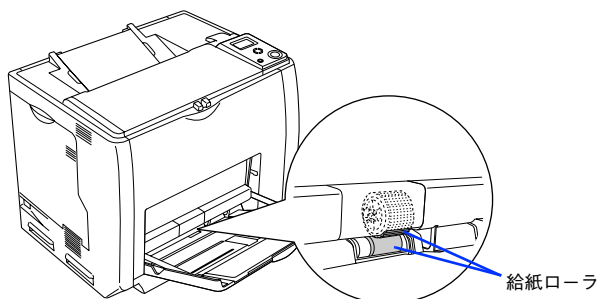
給紙ローラの清掃

用紙が頻繁に詰まったり正常に給紙できないときは、MP トレイおよび用紙カセットの給紙ローラをクリーニングしてください。

> ⚠注意
> - 作業中は、指示以外の部分に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。
> - 清掃作業は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

> !注意
> - 指示以外のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。
> - ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
> - プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
> - 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

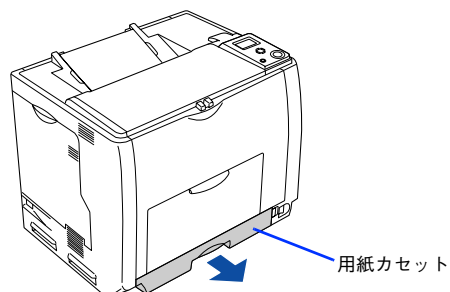
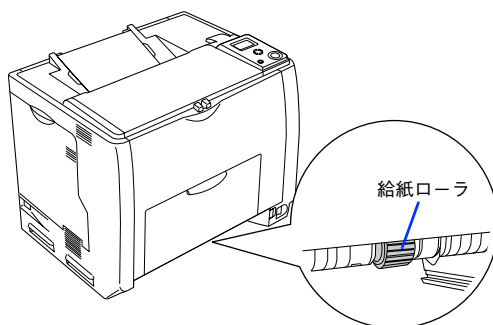
■ MP トレイの給紙ローラを清掃する

1　MP トレイにセットしてある用紙を取り除きます。

2　給紙ローラのゴム部分（2箇所）を、乾いた布でていねいに拭きます。

3　MP トレイに用紙をセットします。

以上で MP トレイの給紙ローラの清掃は終了です。

用紙カセットの給紙ローラを清掃する

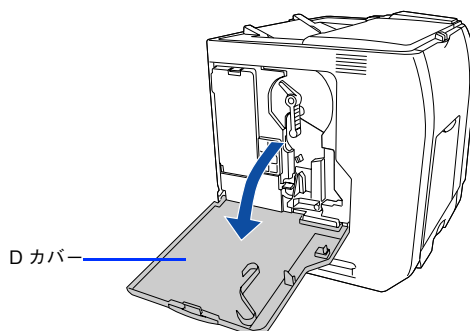
ここでは、標準用紙カセットの給紙ローラを例に説明します。オプションの増設カセットユニットも、同様の手順で清掃してください。

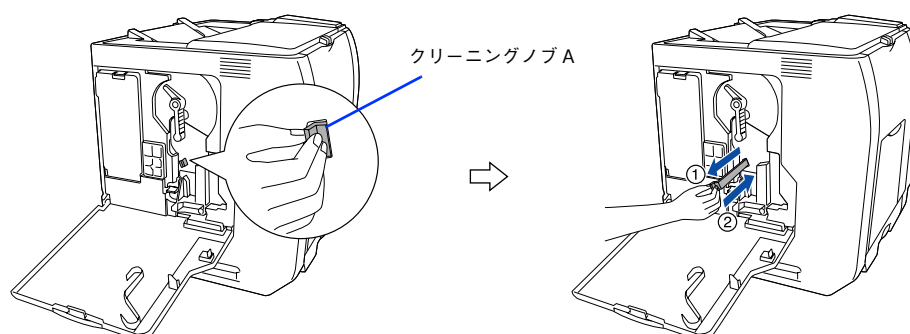
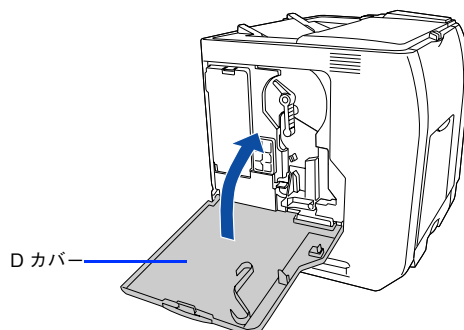
1 用紙カセットをプリンタから引き出します。

2 プリンタ本体（または増設カセットユニット）に付いている給紙ローラのゴム部分を、乾いた布でていねいに拭きます。

3 用紙カセットをプリンタにセットします。

以上で用紙カセットの給紙ローラの清掃は終了です。

帯電ワイヤの清掃

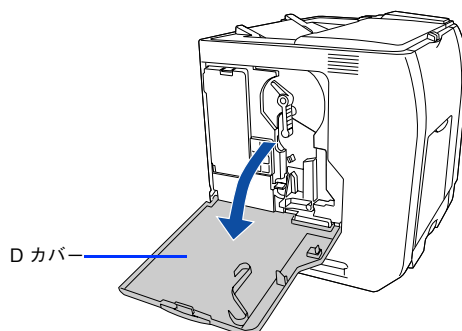
感光体ユニット内部の帯電ワイヤにトナーが落ちて付着していると、白く筋状に印刷が抜けたり、黒く筋状の線が印刷されて、きれいに印刷できないことがあります。操作パネルに「該当箇所の清掃をしてください D」と表示されたときは、帯電ワイヤの清掃をしてください。

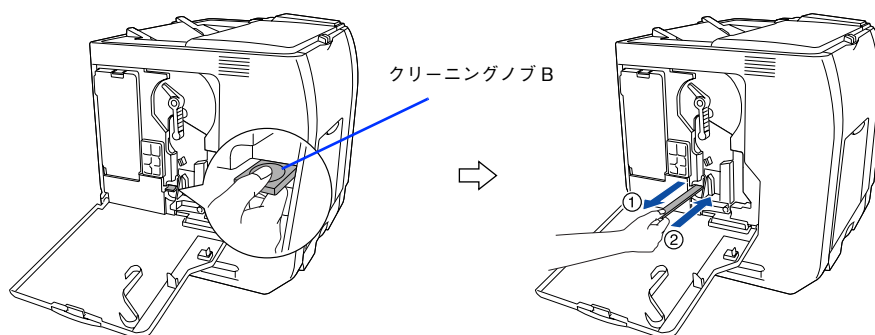
1 **D カバーを開けます。**

!注意 帯電ワイヤの清掃中は、トナーカートリッジ交換設定ボタンを押さないでください。帯電ワイヤの清掃時期を管理するカウンタが正しくリセットされません。

2 **クリーニングノブ A を最後まで引き出して、ゆっくりと 2、3 回往復させてから元の位置に（カチッと音がするまで）戻します。**

3 **D カバーを閉じます。**

以上で帯電ワイヤの清掃は終了です。

センサと露光窓の清掃

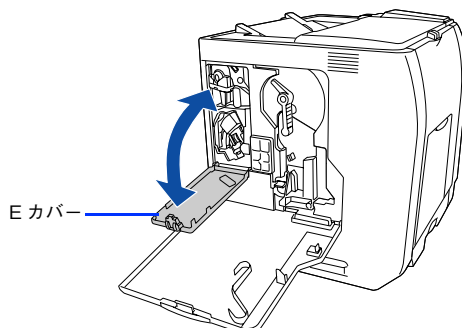
良好な印刷品質を保持するため、センサと露光窓の清掃をしてください。操作パネルに「プリンタ調整用センサを清掃してください」と表示されたときは、以下の手順で清掃をしてください。

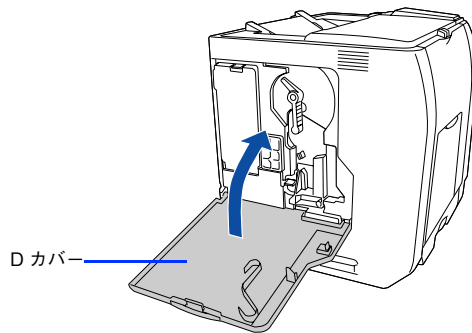
1 **D カバーを開けます。**

2 **クリーニングノブ B を、ゆっくりと 2、3 回前後に動かします。**

露光窓の清掃をします。

終了したらクリーニングノブ B を元の位置に戻します。

! 注意　クリーニングノブ B を押し込みすぎないように注意してください。

3 **E カバーをゆっくりと数回、開け閉めします。E カバーは確実に閉め切ってから開けてください。**

エンジン調整用センサの清掃をします。

! 注意　E カバーを開閉する際、一度確実に押し込んで閉めてから開けてください。最後までしっかりと閉めないで E カバーを上下に動かすだけでは、エンジン調整用センサは清掃されません。

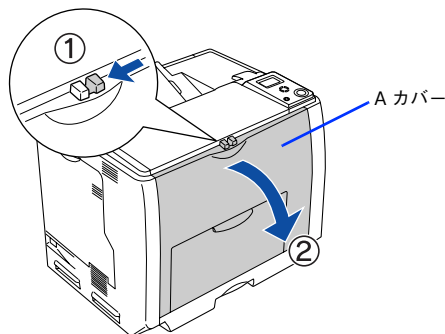
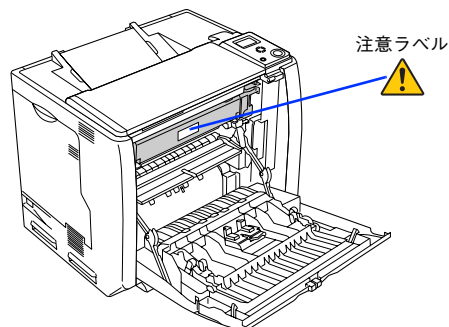
4 Dカバーを閉じます。

以上でセンサと露光窓の清掃は終了です。

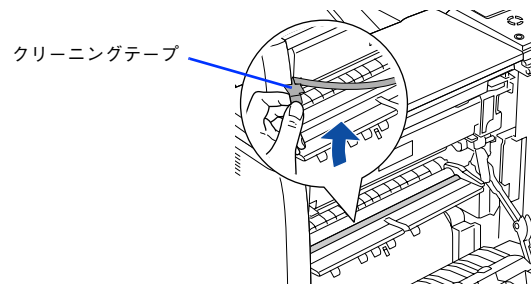
クリーニングテープの取り外し

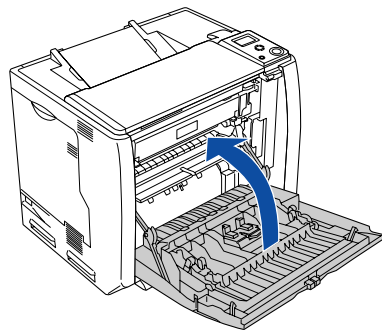
操作パネルに「該当箇所の清掃をしてください A」と表示されたときは、クリーニングテープを取り外してください。

> **！注意** MPトレイに用紙がセットされているときは、用紙を取り除いてMPトレイを閉めてからAカバーを開けてください。

1 ツマミをつまんで、Aカバーを図のように開けます。

> **⚠注意**
> - Aカバーを開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（最高約200度）になっているため、火傷のおそれがあります。
>
>
>
>
> - プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

> **！注意** プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

2 クリーニングテープをゆっくり 1 枚はがします。

！注 意	クリーニングテープは 2 枚貼付されています。上の 1 枚だけをゆっくりはがしてください。

3 A カバーを閉じます。

4 プリンタの操作パネルで［プリンタリセット］メニューの［全ワーニングクリア］を実行し、一旦プリンタの電源をオフ（○）にして、再度オン（ | ）にしてください。

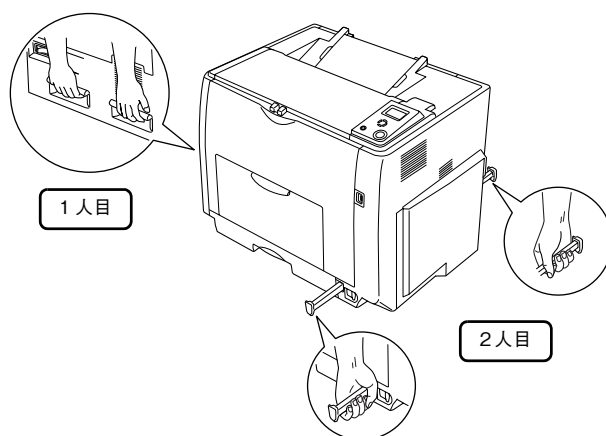
☞ 本書 342 ページ「全ワーニングクリア」

以上でクリーニングテープの取り外しは終了です。

プリンタの輸送と移動

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

⚠注意

- 本機を持ち上げる際は必ず2人以上で作業を行ってください。本機の質量は、LP-S6500約45.3kg、LP-S4500約42.5kg（標準用紙カセット1および消耗品を含み、オプションを除く）です。プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ正面 / 背面にある持ち運び用ハンドルと左側下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。

- プリンタ本体を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの損傷の原因となります。
- プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ本体を増設カセットユニットキャスター付き（型番：LPA3CZ1CC2）やキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがやプリンタの損傷の原因となります。

近くへの移動

本機の電源をオフ（○）にして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- MPトレイ内の用紙（必ずMPトレイを閉じてください。）
- 用紙カセット（標準 / オプション）内の用紙

■ 増設カセットユニットキャスター付きを装着している場合

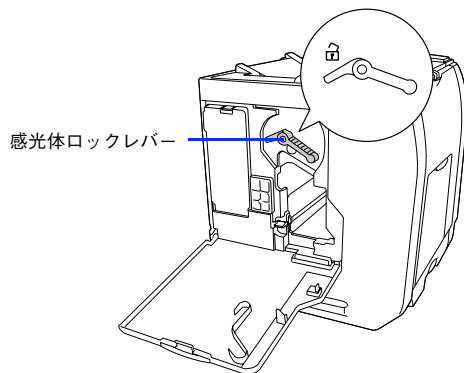
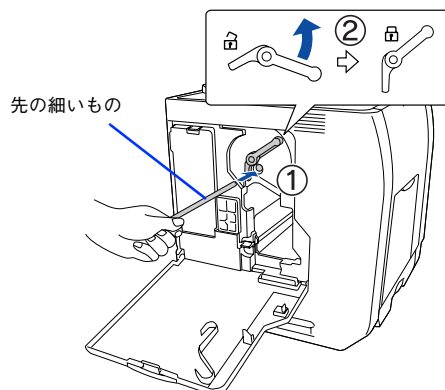
オプションの増設カセットユニットキャスター付き（型番：LPA3CZ1CC2）にはキャスターが付いているため、持ち上げずに移動することができます。ただし、プリンタに衝撃を与えないよう、段差のある場所などでは移動しないよう注意してください。また、移動する前に必ずキャスターの固定を解除してください。

運搬するときは

本機を輸送するときは、以下の準備をしてください。

1 **取り付けてあるすべての付属品（ただし廃トナーボックスとフィルタを除く）およびオプション品を取り外します。**

2 **感光体ロックレバーが図の位置にあることを確認します。**

図の位置にない場合は、感光体ロックレバーを図の位置まで回してください。

3 **図の位置を先の細いもので押したまま、感光体ロックレバーを図の位置まで回します。**

4 **保護材や梱包材を使用して梱包します。**

震動や衝撃からプリンタ本体を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。本機を輸送するときは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。

10 困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

印刷実行時のトラブル

プリンタの電源が入らない

電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？
電源コードをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？
コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？
コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

ブレーカが動作してしまう

ブレーカの定格は十分ですか？
ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機用に専用配線を用意してください。

印刷できない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。
本書 438 ページ「オプションと消耗品の紹介」

プリンタがデータを処理できません。
扱うデータ容量が大きすぎるなどの原因でプリンタ側でデータの処理ができません。プリンタにメモリを増設するか、印刷品質（解像度）を下げて印刷してください。

プリンタが印刷できない状態です。
プリンタの操作パネルの表示、またはランプの状態を確認します。以下のページを参照して、エラーを解除してから、［印刷可］ボタンを押します。
本書 367 ページ「操作パネルの表示メッセージについて」

コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。印刷品質（解像度）を下げて印刷するか、メモリを増設してください。

ネットワーク上の設定は正しいですか？

- ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。
- オプションの I/F カードの取扱説明書を参照して、ネットワークの設定を確認してください。

プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［高品質］になっていませんか？

［高品質］に設定されている場合は、解像度 600dpi で印刷します。この設定で印刷するとプリンタのメモリが足りなくなり、メモリ関連のエラーが発生する場合があります。［印刷品質］を［標準］（300dpi）にすると印刷できる場合があります。

☞ Windows：本書 59 ページ「［応用設定］ダイアログ」
☞ Windows：本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

お使いのプリンタのプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windows の場合

お使いのプリンタのプリンタドライバが、［コントロールパネル］の［プリンタと FAX］/［プリンタ］フォルダにアイコンとして登録されていますか ? また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選択されているか確認してください。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

- Windows XP の場合

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

- Windows Server 2003 の場合

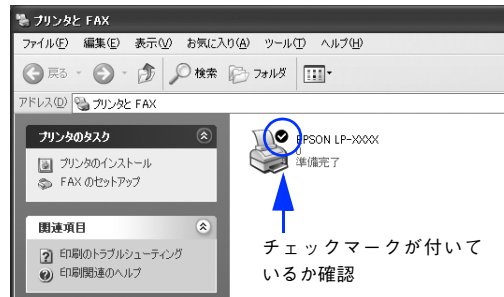
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

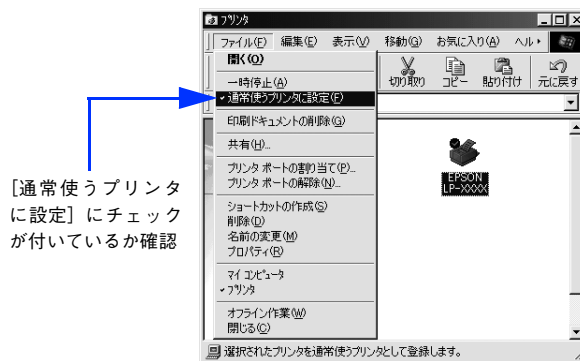
- Windows 98/Me/2000 の場合

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

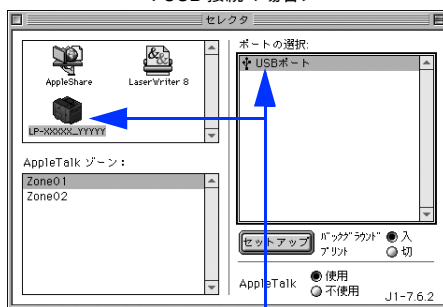
2 ［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。

Windows XP/Server 2003 の場合

［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。プリンタアイコンにチェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Windows 98/Me/2000 の場合

お使いのプリンタ名（LP-S6500/LP-S4500）を選択し、［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

Mac OS 9 の場合

お使いの機種のプリンタドライバが、［セレクタ］で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。

＜ USB 接続の場合＞

＜ネットワーク接続の場合＞

選択したプリンタドライバが正しいか確認

Mac OS X の場合

お使いのプリンタが［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［プリンタリスト］に追加されているか、また複数のプリンタが追加されている場合は通常使うデフォルトプリンタとして選択されているか（プリンタ名が太文字で表示されているか）確認してください。

Windows のプリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

プリンタフォルダから確認する場合

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows XP の場合

① ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。

［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows Server 2003 の場合

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

Windows 98/Me/2000 の場合

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 使用するプリンタ名をクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または［プリンタをオフラインにする］にチェックが付いている場合はクリックして外します。

プリントマネージャから確認する場合

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows XP の場合

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

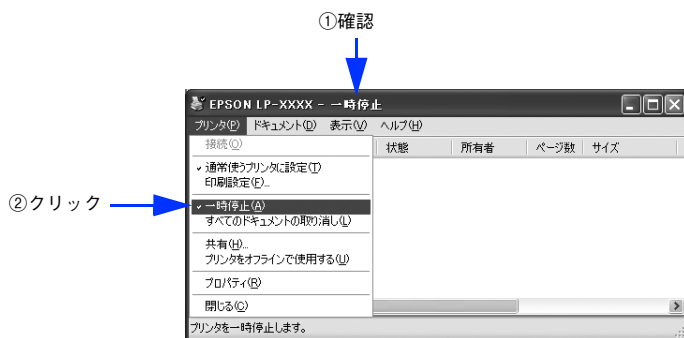
③［プリンタと FAX］をクリックします。

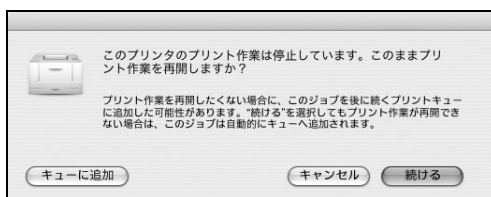
Windows Server 2003 の場合

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

Windows 98/Me/2000 の場合

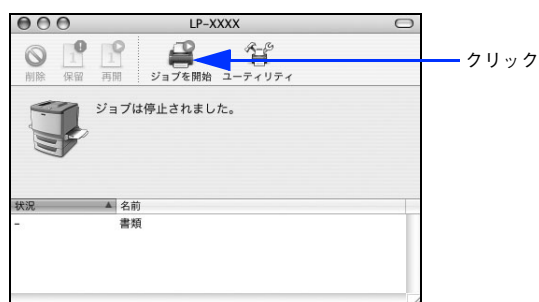
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 お使いのプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックしてチェックを外します。

Mac OS X でプリンタが一時停止になっていませんか？

Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］でプリンタが一時停止なっていると、印刷を実行してもメッセージが表示されてそのままでは印刷できません。

［続ける］をクリックすると、プリンタ作業が再開されます。［続ける］をクリックしても印刷が再開されない場合や、［キューに追加］をクリックした場合は、以下の手順に従ってください。

①［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開きます（印刷実行時は「Dock」から開けます）。

② プリンタ名（LP-S6500 または LP-S4500）をダブルクリックします。

③［ジョブを開始］をクリックします。

Windows プリンタドライバの［接続ポート］の設定が合っていません。

プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

☞ 本書 111 ページ「プリンタ接続先の変更」

Windows 上でお使いいただいている場合、中間スプールフォルダの設定を変更してみてください。

プリントサーバに Windows を使ってプリンタを共有する場合は、プリンタの中間スプールフォルダを以下のように設定してください。

① ハードディスクに十分な空き容量を確保して、任意のフォルダを作成します

② Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、そのフォルダをどのユーザーの印刷データでも処理できるようにします

③ そのフォルダを、中間スプールフォルダとして設定します

☞ 本書 78 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

これにより、クライアントから送られた印刷データをプリントサーバでスプール（一時的に保存）して共有プリンタで印刷できるようになります。

Windows 2000/XP/Server 2003で中間スプールフォルダをどのユーザーからでも処理できるように、フォルダの共有化が必要です。さらに、そのフォルダへのアクセス権はすべてのユーザー（Everyone）に設定し、フルコントロールを［許可］の状態にしてください。設定方法の詳細は、各 OS の取扱説明書をご覧ください。

装着したオプションが認識されない

プリンタドライバで設定されていますか？

Windows の場合

オプションを装着したときは、プリンタドライバでオプション情報を設定する必要があります。以下のページを参照して設定してください。

☞ 本書 458 ページ「Windows でのオプション設定」

MacOS 9 の場合

［セレクタ］でプリンタドライバを再選択してください。

☞ 本書 137 ページ「印刷を始める前に」

MacOSX の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］にプリンタを追加し直してください。

☞ 本書 217 ページ「［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加」

増設カセットユニットやハードディスクユニットのコネクタやケーブルがプリンタ本体に確実に接続されていますか？

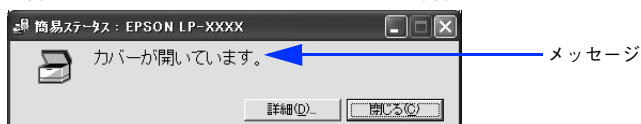
コネクタやケーブルが接続されていないと増設カセットユニットやハードディスクユニットが認識されません。下記を参照してコネクタやケーブルが確実に接続されていることを確認してください。

☞ 本書 445 ページ「増設カセットユニットの取り付け」
☞ 本書 451 ページ「増設メモリ /ROM モジュール /HDD の取り付け」

プリンタがエラー状態になっている

コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？

問題が発生すると、コンピュータの画面上に簡易ステータスが開き、ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されている場合は、その内容に従って必要な処理を行ってください。

<例> Windows の EPSON ステータスモニタの場合

操作パネルにワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？

ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていたら、以下のページを参照して適切な処置をしてください。

☞ 本書 367 ページ「ワーニングメッセージ」
☞ 本書 371 ページ「エラーメッセージ」

Mac OS でプリンタを選択していない

正しいプリンタドライバが選択されていますか？

Mac OS 9 の場合

［セレクタ］で本機のプリンタドライバと正しい接続ポートを選択してください。

☞ 本書 137 ページ「印刷を始める前に」

Mac OS X の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機のプリンタドライバをデフォルトプリンタとして選択するか、［プリント］ダイアログで本機を選択してください。

☞ 本書 217 ページ「［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加」
☞ 本書 240 ページ「［プリント］ダイアログ」

正しいゾーン、プリンタが選択されていますか？

Mac OS 9 の場合

AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を選択する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認して、［セレクタ］で正しい［AppleTalk ゾーン］と本機を選択してください。

☞ 本書 137 ページ「印刷を始める前に」

Mac OS X の場合

AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［EPSON AppleTalk］から追加する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認して、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で正しい［AppleTalk Zone］を選択して本機を追加してください。

☞ 本書 217 ページ「［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加」

Mac OS でプリンタが認識されない

QuickDraw GX を使用していませんか？

本プリンタドライバは、Mac OS 9 の QuickDraw GX に対応していません。QuickDraw GX を使用停止にしてください。

☞ 本書 551 ページ「Mac OS システム条件」

Mac OS X で AppleTalk が有効になっていますか？

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で［EPSON AppleTalk］を選択して本機を追加する場合は、AppleTalk がオン（使用可能）である必要があります。Mac OS X では AppleTalk はオフ（使用しない）に初期設定されています。AppleTalk が使用できない場合は、［システム環境設定］から［ネットワーク］を開き、［ApplTalk］タブで使用可能になっているか確認してください。

☞ 本書 217 ページ「［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加」

AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違いませんか？

Mac OS 9 の場合

AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を選択する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認の上、正しく選択してください。

☞ 本書 137 ページ「印刷を始める前に」

Mac OS X の場合

AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［EPSON AppleTalk］から追加する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認の上、正しく追加してください。

☞ 本書 217 ページ「［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加」

プリンタ名またはホスト名、IP アドレスを変更していませんか？

変更したプリンタ名またはホスト名、IP アドレスネットワークを管理者に確認して、正しいプリンタを選択または追加してください。

☞ Mac OS 9：本書 137 ページ「印刷を始める前に」
☞ Mac OSX：本書 217 ページ「［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加」

Mac OS X で EPSON ステータスモニタが起動しない

Rendezvous/Bonjour 接続していませんか？

本機を Rendezvous/Bonjour 接続している場合は、［プリンタリスト］画面の［ユーティリティ］をクリックしても、EPSON ステータスモニタは起動しません（Mac OS X の仕様により、WEB ブラウザが起動します）。Dock から EPSON ステータスモニタを起動してください。なお、Rendezvous/Bonjour 以外の接続では、［ユーティリティ］から EPSON ステータスモニタを起動できます。

エラーが発生する

印刷設定ダイアログの印刷モードの設定が［高品質］になっていませんか？

プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。印刷ダイアログの印刷モード設定を［標準］にすると印刷できる場合があります。それでも印刷できない場合は、次項目を参照してください。

プリンタのメモリ容量は十分ですか？

プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。以下のいずれかの方法でエラーを回避して印刷できる場合があります。

- カラー印刷では、データの保存（圧縮）形式を変える（例：JPEG 形式のような非可逆圧縮を使用し、データ容量を減らす）。
- プリンタドライバの［印刷品質］を［標準］に設定する。
  ☞ Windows：本書 59 ページ「［応用設定］ダイアログ」
  ☞ Windows：本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
  ☞ Mac OS 9：本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」
  ☞ Mac OS 9：本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
  ☞ Mac OS X：本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」
  ☞ Mac OS X：本書 250 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」
- 使用していないインターフェイスを［使わない］に設定する。
  ☞ 本書 344 ページ「USB I/F」
  ☞ 本書 346 ページ「ネットワーク I/F」

上記の方法でメモリエラーを回避できない場合は、プリンタへのメモリの増設をお勧めします。

Mac OS をお使いの場合、正しいバージョンの OS を使用していますか？

プリンタドライバの動作可能環境は、Mac OS 9（9.1 以降）または Mac OS X（v10.2 以降）です。
☞ 本書 551 ページ「Mac OS システム条件」

Mac OS 9 のシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Mac OS 9 用のプリンタドライバは、コンピュータ本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

給排紙されない

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？

プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？
プリンタの下にはさまれている物はありませんか？

設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙を使用してください。

☞ 本書 380 ページ「印刷できる用紙の種類」

両面印刷時に、両面印刷可能な用紙を使用していますか？

両面印刷で使用できる用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 399 ページ「両面印刷について」

セットする前に用紙をさばきましたか？

複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？

標準用紙カセットやオプション増設カセットユニットの用紙カセットを正しくセットしてください。

☞ 本書 389 ページ「用紙カセット 1（標準カセット）への用紙のセット」
☞ 本書 393 ページ「用紙カセット 2 ～ 4（オプション）への用紙のセット」

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートまたは操作パネルで、MP トレイ / 用紙カセットの用紙サイズを確認してください。Mac OS X の場合は、［ページ設定］ダイアログで確認してください。

☞ Windows：本書 73 ページ「［環境設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 192 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 237 ページ「［ページ設定］ダイアログ」
☞ 操作パネル：本書 335 ページ「［給紙装置設定］メニュー」
☞ 操作パネル：本書 365 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、その用紙サイズをプリンタドライバでの設定と一致させてください。

プリンタドライバで使用したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。

☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

給紙ローラが汚れていませんか？

給紙ローラを拭いてください。

☞ 本書 481 ページ「給紙ローラの清掃」

ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？

先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？

プリンタのカバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このようなときは無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついていませんか？

用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？

先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

本機に合った用紙を使用していますか？

用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。

☞ 本書 380 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙がカールする

正しい印刷面へ印刷していますか？

特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

定着部での用紙詰まりが連続して発生する

定着ローラが汚れている可能性があります。

以下の手順で定着ローラを清掃します。

① 詰まった用紙があれば、詰まった用紙を取り除きます。

②［ジョブキャンセル］ボタンを押して、印刷データをキャンセルします。

③ A4 サイズ 1 ページ分のデータを作成します。
　用紙の下半分に数文字程度のテキストが入っているモノクロのデータを作成してください。

④ プリンタに A4 サイズの用紙を 5 枚以上セットします。

⑤ プリンタドライバの設定を以下のようにします。
　用紙種類：［厚紙］を選択
　用紙サイズ：セットした用紙サイズを選択
　部単位印刷：［5］を指定

⑥ ③で作成したデータを印刷します。

参考　上記の作業を行ってもまだ汚れが残る場合は、同じ作業を繰り返し行ってください。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン（ | ）にします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください）。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？（ローカル接続時）

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

本書 438 ページ「USB インターフェイスケーブル」

インターフェイスが使用できますか？

操作パネルで特定のインターフェイスが使用できないように設定されていると、そのインターフェイスは使用できません。使用できるように設定してください。

本書 344 ページ「[USB I/F 設定］メニュー」
本書 346 ページ「[ネットワーク設定］メニュー」

他のインターフェイスから印刷していませんか？

印刷の終了後に再度印刷を実行してみてください。

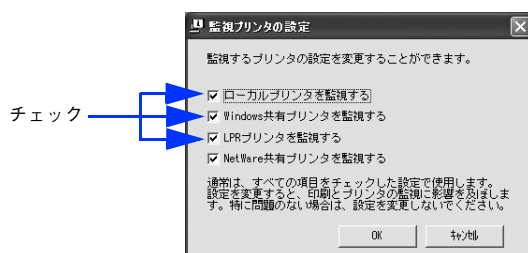
ネットワークプリンタとして本機をお使いのときに、印刷プロトコルとして Net BEUI、IPP を使用していませんか？

お使いのネットワーク環境（NetBEUI 接続時や EpsonNet Internet Print 使用時など）によっては、EPSON ステータスモニタがネットワークプリンタを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。このようなときは、［通知設定］ダイアログ内の［印刷中プリンタを監視する］のチェックを外してお使いください。

本書 90 ページ「[通知設定］ダイアログ」

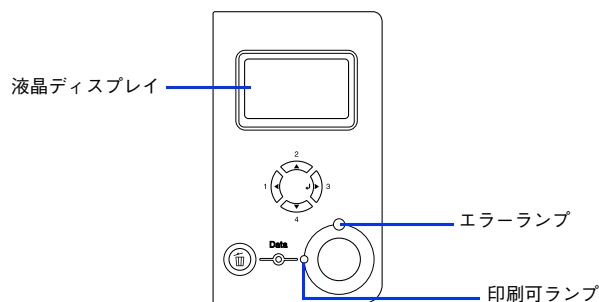
Windows の［監視プリンタの設定］ユーティリティで、プリンタを監視しない設定にしていませんか？

［監視プリンタの設定］ユーティリティで、［ローカルプリンタを監視する］、［Windows 共有プリンタを監視する］、［LPR プリンタを監視する］をチェックしないと、本機を監視することができず、正常に印刷できません。必ずチェックしてください。

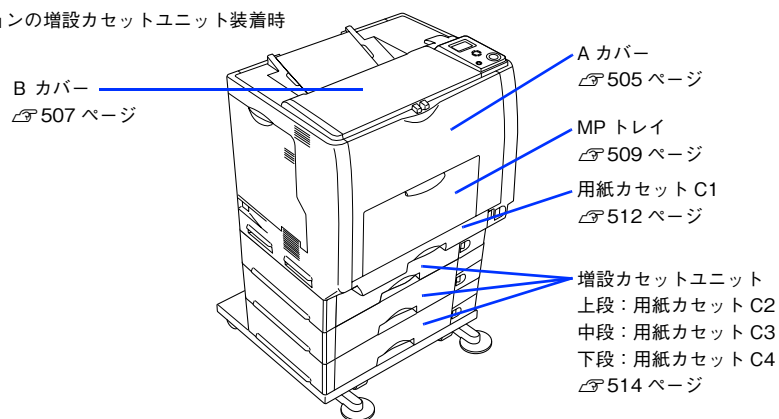
本書 93 ページ「監視プリンタの設定」

Windows XP のリモートデスクトップ機能で、リダイレクトプリントを実行していませんか？

Windows XP のリモートデスクトップ機能を利用している状態で、移動先のコンピュータからそのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

用紙が詰まったときは

紙詰まりが発生したときは、操作パネルの印刷可ランプが消灯し、エラーランプが点灯してお知らせします。操作パネルには、「紙を取り除いてください XXXXX」のようなメッセージが表示されます。「XXXXX」には、紙詰まりが発生した箇所が表示されます。本書の手順に従って用紙を取り除いてください。

また、EPSON ステータスモニタが紙詰まりをお知らせします。EPSON ステータスモニタでは、「用紙が詰まりました。」というメッセージと、紙詰まりが発生した箇所を示す説明が表示されます。

Windows：本書 81 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
Mac OS 9：本書 200 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」
Mac OS X：本書 279 ページ「プリンタの状態をコンピュータで監視するには」

詰まった用紙を取り除く箇所は、操作パネルのディスプレイ、または EPSON ステータスモニタの表示で確認できます。以下のいずれかの箇所から詰まった用紙を取り除きます。

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。

- プリンタが水平に設置されていない
- 用紙ガイドが正しい位置にセットされていない
- MP トレイまたは用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
  ☞ 本書 382 ページ「印刷できない用紙」
- 給紙ローラが汚れている
  ☞ 本書 481 ページ「給紙ローラの清掃」

！注意

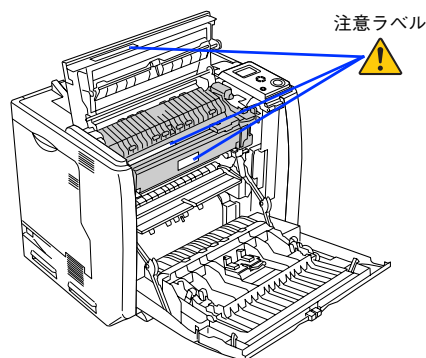
- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に用紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。
- 紙詰まりが頻繁に発生する場合は、用紙を 1 枚ずつセットして印刷を行ってください。

用紙を取り除く際の注意

詰まった用紙を取り除くときは、次の点に注意してください。

- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除くと、用紙がやぶれて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。

⚠注意

- プリンタ正面の A カバーや B カバーを開けたときは定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（最高約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。

- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

！注意

破れた用紙が取り除けない場合や、以降の説明箇所以外の場所に用紙が詰まって取り除けない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）、販売店、またはエプソン修理窓口へご相談ください。

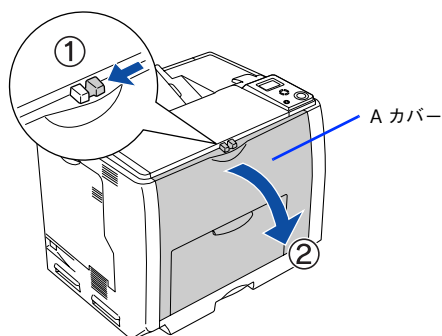
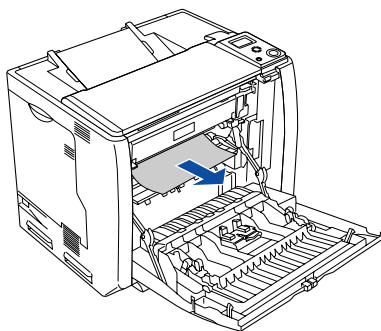
プリンタ内部（A カバー）で用紙が詰まった場合は

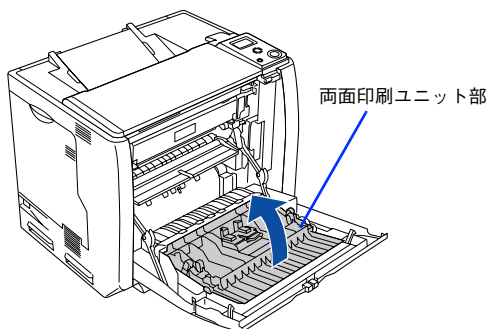
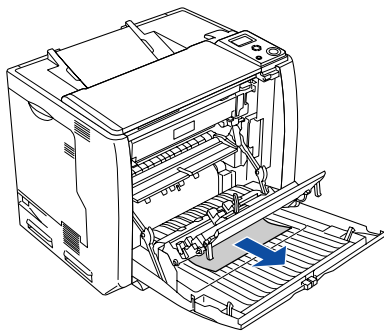
プリンタ内部で用紙が詰まると、以下のメッセージが表示されます。

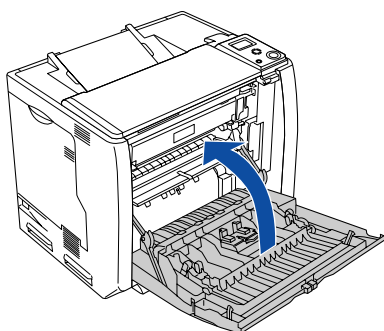
表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください A
EPSON ステータスモニタ	用紙が詰まりました。 次のカバーまたは給紙装置付近の用紙を取り除いてください。 A カバー

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

！注意 MP トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いて MP トレイを閉めてから A カバーを開けてください。

1 ツマミをつまんで、A カバーを図のように開けます。

2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

この段階で用紙が取り除けたら、5 へ進みます。

3 A カバーの両面印刷ユニット部を持ち上げます。

4 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

5 A カバーを閉じます。

A カバーを閉じると両面印刷ユニット部も元の位置に戻ります。

用紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じると解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれると、詰まったページから印刷を再開します。

A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

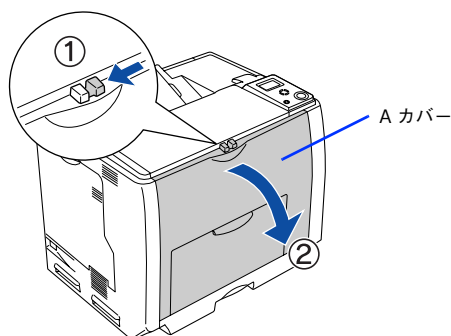
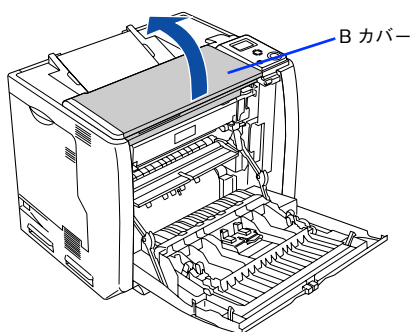
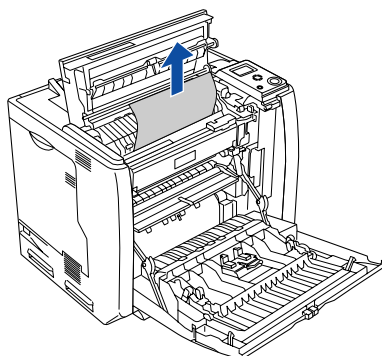
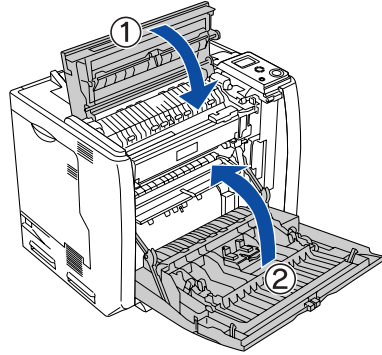
排紙口（B カバー）で用紙が詰まった場合は

プリンタの排紙口で用紙が詰まると、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください B
EPSON ステータスモニタ	用紙が詰まりました。 次のカバーまたは給紙装置付近の用紙を取り除いてください。 B カバー

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

! 注意 MP トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いて MP トレイを閉めてから A カバーを開けてください。

1 **ツマミをつまんで、A カバーを図のように開けます。**

2 **B カバーを図のように開けます。**

3 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

4 B カバーを閉じてから、A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、A/B カバーを閉じると解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれると、詰まったページから印刷を再開します。

A/B カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A/B カバーをしっかりと閉じてください。

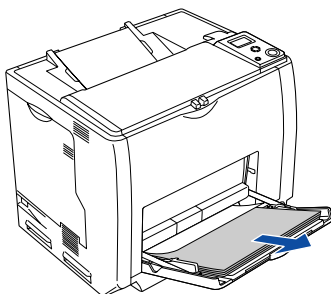
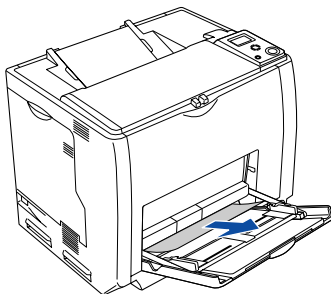
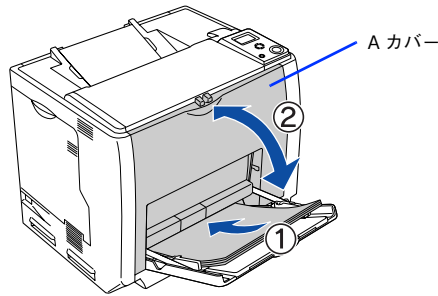
給紙口で用紙が詰まった場合は

プリンタの給紙口で用紙が詰まると、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください C1 C2 C3 C4 紙を取り除いてください MP
EPSON ステータスモニタ	用紙が詰まりました。 次のカバーまたは給紙装置付近の用紙を取り除いてください。 用紙カセット＊（＊には 1 ～ 4 のカセット番号が表示されます） MP トレイ

- 「紙を取り除いてください C1」の場合は、標準用紙カセット 1 から用紙を取り除いてください。
  ☞ 本書 512 ページ「用紙カセット C1（標準カセット）の確認」
- 増設カセットユニット（オプション）を装着して「紙を取り除いてください C2 ～ C4」の場合は、用紙カセットを確認します。
  ☞ 本書 514 ページ「用紙カセット C2 ～ C4（オプション）の確認」
- 「紙を取り除いてください MP」の場合は、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

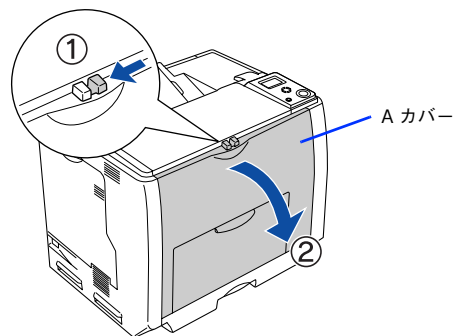
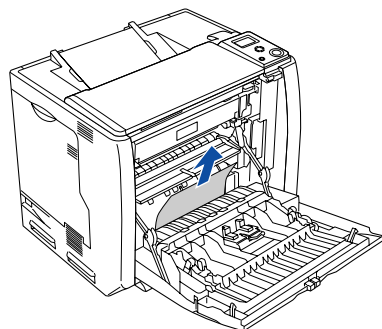
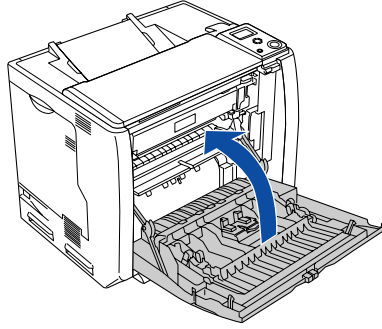
MP トレイの確認

1 **MP トレイにセットしてある用紙を取り除きます。**

2 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

3 用紙を正しくセットし直してから、A カバーを開閉します。

詰まった用紙を完全に取り除き、A カバーを開閉すると詰まったページから印刷を再開します。

> **! 注意** A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

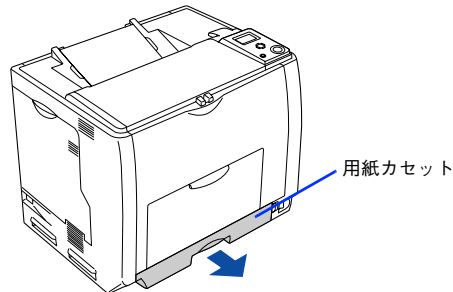
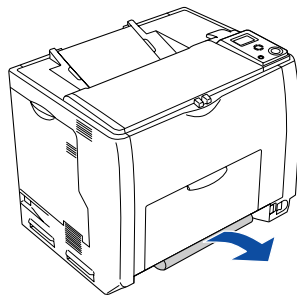
用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部で用紙が詰まっている可能性があります。以下の手順でプリンタ内部を確認してください。

4 用紙を取り除いて MP トレイを閉じます。

5 ツマミをつまんで、A カバーを図のように開けます。

6 プリンタの下部で詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

7 A カバーを閉じて、すぐに MP トレイに用紙をセットします。

用紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じると解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれると、詰まったページから印刷を再開します。

- 用紙カセットをプリンタにしっかりセットしていないと、操作パネルに「用紙カセット 1 ～ 4 をセットしてください」と表示されます。
- A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

■ 用紙カセット C1（標準カセット）の確認

1 プリンタから用紙カセットを取り外します。

2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

参考　エラーが解除されない場合は、用紙カセットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。

3 用紙を正しくセットし直してから用紙カセットをプリンタにセットし、A カバーを開閉します。

詰まった用紙を完全に取り除き、A カバーを開閉すると詰まったページから印刷を再開します。

！注意　MP トレイに用紙をセットしている場合は、A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部で用紙が詰まっている可能性があります。以下の手順でプリンタ内部を確認してください。

4 **ツマミをつまんで、A カバーを図のように開けます。**

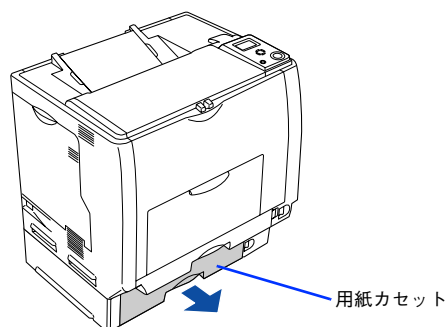
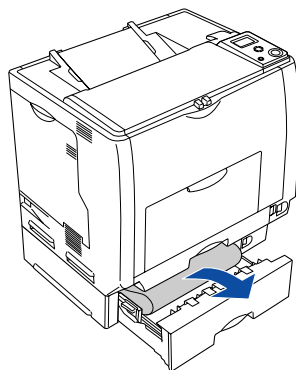
5 **プリンタの下部で詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

6 **A カバーを閉じます。**

用紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じると解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれると、詰まったページから印刷を再開します。

- 用紙カセットをプリンタにしっかりセットしていないと、操作パネルに「用紙カセット 1 ～ 4 をセットしてください」と表示されます。
- A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

用紙カセット C2 ～ C4（オプション）の確認

1 **増設カセットユニットから用紙カセットを取り外します。**

2 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

参考　エラーが解除されない場合は、用紙カセットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。

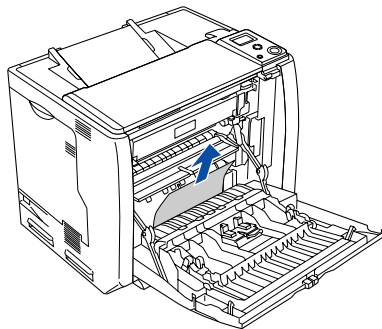
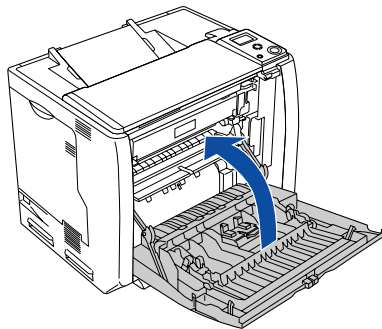
3 **用紙を正しくセットし直してから用紙カセットをプリンタにセットし、A カバーを開閉します。**

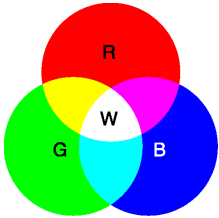
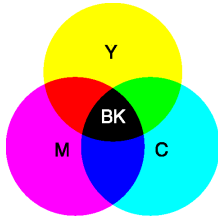
詰まった用紙を完全に取り除き、A カバーを開閉すると詰まったページから印刷を再開します。

!注意　MP トレイに用紙をセットしている場合は、A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部で用紙が詰まっている可能性があります。以下の手順でプリンタ内部を確認してください。

4 **ツマミをつまんで、A カバーを図のように開けます。**

5 **プリンタの下部で詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

6 **A カバーを閉じます。**

用紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

- 用紙カセットをプリンタにしっかりセットしていないと、操作パネルに「用紙カセット 1 ～ 4 をセットしてください」と表示されます。
- A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

カラー印刷に関するトラブル（カラーモデルのみ）

カラー印刷ができない

プリンタドライバの設定が、カラー印刷になっていますか？

プリンタドライバの［色］が［モノクロ］に設定されているとカラー印刷ができません。

☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Windows：本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていますか？

アプリケーションソフト上でカラーデータになっているか確認してください。

画面表示と色合いが異なる

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

R
W
G
B

ディスプレイで表示する場合	プリンタで印刷する場合
テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる 3 色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒（BK）、3 色全てが光っている状態が白（W）となります。	カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の“色の三原色”を組み合わせています。全く色を付けないのが白（W）で、3 色を均等に混ぜた状態が黒（BK）になります。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、完全に一致させることは難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM や ColorSync（Mac OS）です。

Mac OS でシステム特性の設定を行いましたか？（ColorSync）

ColorSync が正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションが ColorSync に対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

☞ Mac OS 9：本書 209 ページ「ColorSync について」
☞ Mac OS X：本書 287 ページ「ColorSync について」

プリンタドライバのオートフォトファイン !5 を有効にしていませんか？

オートフォトファイン !5 は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン !5 を有効にしてあると、表示画面と色合いが異なる場合があります。

☞ Windows：本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9*：本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

＊ Mac OS 9.x でのみ設定できます。Mac OS X（v10.2 以降）では設定できません。

普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。最良の印刷結果を得るには、「EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙」の使用をお勧めします。

中間調の文字や、細い線がかすれる

［階調優先］/［自動（階調優先）］に設定していませんか？

カラー印刷時に細い線や細かい模様などを再現するには、［スクリーン］を［自動（解像度優先）］または［解像度優先］に設定してください。

☞ Windows：本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

色むらが生じる

［解像度優先］/［自動（解像度優先）］に設定していませんか？

カラー印刷時に微妙な色合いを再現するには、［スクリーン］を［自動（階調優先）］または［階調優先］に設定してください。

☞ Windows：本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

印刷品質に関するトラブル

トナーカートリッジおよび感光体ユニットは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正トナーカートリッジおよび感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなどプリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。トナーカートリッジおよび感光体ユニットは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるトナーカートリッジおよび感光体ユニットの当社純正品は、以下のページを参照してください。

本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」
本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」

きれいに印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

Windows：本書 62 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Mac OS 9：本書 178 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Mac OS X：本書 250 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

[RIT] 機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したいときは [RIT] 機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータでは、[RIT] 機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

Windows：本書 62 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Mac OS 9：本書 178 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Mac OS X：本書 250 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

印刷品質（解像度）が [高品質]（600dpi）に設定されていますか？

印刷品質（解像度）を [標準]（300dpi）ではなく [高品質]（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データではメモリ不足で印刷できない場合があります。このようなときは、印刷品質（解像度）を [標準]（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

Windows：本書 59 ページ「[応用設定] ダイアログ」
Windows：本書 62 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Mac OS 9：本書 155 ページ「[プリント] ダイアログ」
Mac OS 9：本書 178 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Mac OS X：本書 247 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Mac OS X：本書 250 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

エコ印刷モードになっていませんか？

エコ印刷モードで印刷を行うと、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、白点が出るなど印刷品質が悪化する場合があります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。

本書 538 ページ「エコ印刷モードのご紹介」

トナーカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

新しいトナーカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」
本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」

プリンタの操作パネルに「解像度を落として印刷しました」というメッセージを表示しましたか？

印刷するのに十分なメモリをプリンタに増設してください。必要なメモリの目安は以下のページを参照してください。

☞ 本書 540 ページ「カラー印刷のポイント（カラーモデルのみ）」

センサが汚れている可能性があります。

センサの清掃を行ってください。

☞ 本書 484 ページ「センサと露光窓の清掃」

印刷の濃淡が思うように印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞ Windows：本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

プリンタドライバの［明度］の設定を確認してください。

［詳細設定］ダイアログで［明度］を調整してください。

☞ Windows：本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

印刷が薄いまたはかすれる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

トナーカートリッジにトナーが残っていますか？

トナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ Windows：本書 83 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS 9：本書 201 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS X：本書 280 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ 本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットは使用できますか？

感光体ユニットのライフ（寿命）を確認して、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ Windows：本書 83 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS 9：本書 201 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS X：本書 280 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ 本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞ Windows：本書 62 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 178 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

エコ印刷モードになっていませんか？

エコ印刷モードで印刷を行うと、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、白点が出るなど印刷品質が悪化する場合があります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。

☞ 本書 538 ページ「エコ印刷モードのご紹介」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（[普通紙] の設定で厚紙に印刷する場合など)、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

☞ Windows：本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 155 ページ「[プリント] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 247 ページ「[基本設定] ダイアログ」

センサが汚れている可能性があります。

センサの清掃を行ってください。

☞ 本書 484 ページ「センサと露光窓の清掃」

モノクロ印刷において低濃度部分が異常に薄い、またはかすれる

プリンタ本体のモードとプリンタドライバの設定が合っていますか？

プリンタ本体のモードとプリンタドライバの設定が合っていないと、最適な印刷結果が得られないことがあります。Windows でお使いの場合は、［実装オプション設定］ダイアログの［カラートナーカートリッジ］の設定を、プリンタ本体のモードに合わせてください。

☞ 本書 533 ページ「カラー / モノクロモデルの変更方法」

汚れ(点)が印刷される

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照し印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 380 ページ「印刷できる用紙の種類」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されないときは新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」

帯電ワイヤ、またはセンサと露光窓を清掃しましたか？

感光体ユニットの帯電ワイヤ、またはセンサと露光窓の清掃を行ってください。

☞ 本書 483 ページ「帯電ワイヤの清掃」
☞ 本書 484 ページ「センサと露光窓の清掃」

紙センサを清掃しましたか？

紙センサの清掃を行ってください。

☞ 本書 479 ページ「用紙の上または右横が汚れたら」

周期的に汚れがある

プリンタ内の定着器、または用紙経路が汚れていませんか？

用紙を数枚印刷してください。

感光体ユニットまたはトナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されないときは、新しい感光体ユニットまたはトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」
☞ 本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照して印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 380 ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバ［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」

塗りつぶし部分に白点がある

使用中の用紙は適切ですか？

「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 380 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。

MP トレイには表（印刷）面を下に向けてセットしてください。用紙カセットには表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが損傷している可能性があります。

新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」

新しい感光体ユニットに交換してもまだ白点が印刷されるときは、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご連絡ください。

用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎている可能性があります。
新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気をさけて保管してください。

エコ印刷モードになっていませんか？
エコ印刷モードで印刷を行うと、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、白点が出るなど印刷品質が悪化する場合があります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。
本書 538 ページ「エコ印刷モードのご紹介」

用紙全体が塗りつぶされてしまう

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」

縦線が印刷される

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」
新しい感光体ユニットに交換してもまだ縦線が印刷される場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご連絡ください。

帯電ワイヤ、またはエンジン調整用センサと露光窓を清掃しましたか？
感光体ユニットの帯電ワイヤ、またはエンジン調整用センサと露光窓の清掃を行ってください。
本書 483 ページ「帯電ワイヤの清掃」
本書 484 ページ「センサと露光窓の清掃」

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

トナーカートリッジにトナーが残っていますか？
トナーカートリッジのトナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。
Windows：本書 83 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Mac OS 9：本書 201 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Mac OS X：本書 280 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
本書 470 ページ「感光体ユニットの交換」

白抜けがおこる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？
適切な用紙を使用してください。
☞ 本書 380 ページ「印刷できる用紙の種類」

トナーセーブ機能を使用していませんか？
トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。
☞ Windows：本書 62 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 178 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？
セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。
☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 155 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 247 ページ「［基本設定］ダイアログ」

裏面が汚れる

用紙経路が汚れていませんか？
数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷されたら、まず印刷を中止してください。

☞ Windows：本書 14 ページ「印刷の中止」
☞ Ma OS 9：本書 141 ページ「印刷の中止」
☞ Mac OS X：本書 226 ページ「印刷の中止」

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生したら、次の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

ページの左右で切れて印刷される

印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が WEB サイトの横幅サイズと合っていないからです。より大きなサイズの用紙をプリンタにセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。

☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 152 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 237 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できるものがあります。余白が広く設定されていることが原因で、ページの左右で印刷が切れることが考えられます。例えば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）の場合は、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さく設定して印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

より大きなサイズの用紙が利用できないときは、プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。なお、Mac OS X では印刷の縮小率（%）を指定して印刷してください。

☞ Windows：本書 24 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ Mac OS 9：本書 146 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ Mac OS X：本書 237 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 152 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 237 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になるものがあります。
プリンタドライバで［オフセット］の調整をしてください。
☞ Windows：本書 76 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 183 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 275 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

罫線が切れたり文字の位置がずれる

アプリケーションソフトでお使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？
各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタをお使いのプリンタの機種名に設定してください。

画像が用紙端で切れる

オフセット値を変更しましたか？
印刷保証領域外への印刷はできません。印刷保証領域いっぱいに描かれた画像に対してオフセットの値を変更すると、用紙端の画像は印刷されません。
☞ 本書 383 ページ「印刷できる領域」

設定と異なる印刷をする

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？
印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、お使いの状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行うときは、各設定を確認してください。

USB 接続時のトラブル

インストールできない（Windows）

お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 プレインストールマシンまたは Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたマシンですか？

USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータの詳細は、コンピュータメーカーへご確認ください。

本書 549 ページ「Windows システム条件」

印刷できない（Windows）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows XP の場合

① ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

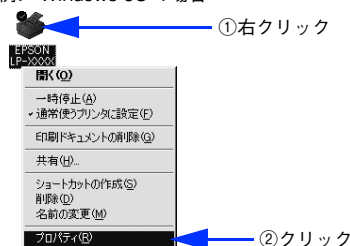
Windows Server 2003 の場合

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

Windows 98/Me/2000 の場合

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 LP-S6500/LP-S4500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

<例> Windows 98 の場合

3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして［印刷するポート］/［印刷先のポート］を確認します。

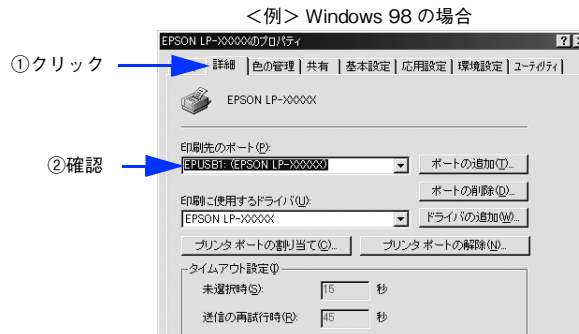
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

① ［ポート］タブをクリックします。

② ［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

Windows 98/Me の場合

① ［詳細］タブをクリックします。

② ［印刷先のポート］で［EPUSBx: (EPSON LP-S6500/LP-S4500)］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

＜例＞ Windows 98 の場合

Windows 98/Me で上記の表示がないときは、USB デバイスドライバがインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。プリンタソフトウェアを一旦削除してから再インストールしてください。

☞ 本書 122 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

Windows の場合

＜例＞ Windows 98 の場合

正しく表示されていない

EPSON LP-XXXXのプロパティ

全般 | 詳細 | 色の管理 | 共有 | 基本設定 | 応用設定 | 環境設定 | ユーティリティ

EPSON LP-XXXXX

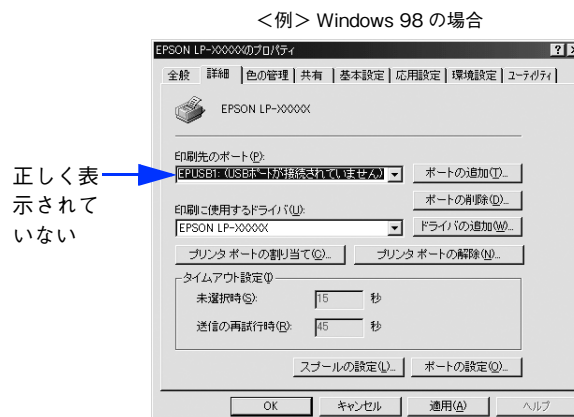
印刷先のポート(P): EPUSB1: (USBポートが接続されていません) ポートの追加(T)... ポートの削除(D)...

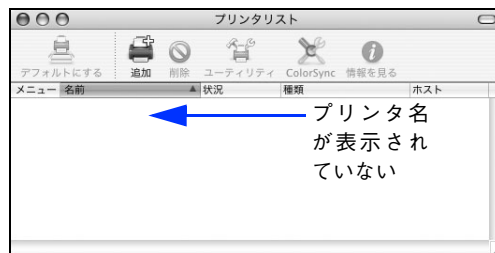
印刷に使用するドライバ(U): EPSON LP-XXXXX ドライバの追加(W)...

プリンタ ポートの割り当て(C)... プリンタ ポートの解除(N)...

タイムアウト設定(I) 未選択時(S): 15 秒 送信の再試行時(R): 45 秒

スプールの設定(L)... ポートの設定(O)...

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

Mac OS 9 の場合

Mac OS X の場合

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、1 段目の接続を推奨します。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しないときは、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

Windows が USB ハブを正しく認識していますか？

Windows の［デバイスマネージャ］の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。

参考

- 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
- USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

その他のトラブル

印刷に時間がかかる

節電モードになっていませんか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。

操作パネル上に「プリンタ調整中」と表示されていませんか？

良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンタが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。

Mac OS 9 をお使いの場合、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

Mac OS 9 をお使いの場合、バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？

ご利用のコンピュータによっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

☞ 本書 208 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

ファイルサイズの大きな画像データを印刷していませんか？

処理時間のかかる大きなサイズの画像データを印刷するときは、プリンタのメモリの増設をお勧めします。プリンタのメモリサイズが大きい方が、より効率よく印刷できる場合があります。

割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない

Windows アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定していませんか？

アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定すると、一部の Windows アプリケーションソフトは正しく部単位印刷ができない場合があります。プリンタドライバの［拡張設定］ダイアログで［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効（チェックなし）にして、アプリケーションソフトではなくプリンタドライバで部単位印刷を設定してください。

☞ 本書 76 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ 本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」

！注意　［アプリケーションの部単位印刷を優先］の設定を切り替えるには、［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 では［プリンタと FAX］フォルダ）のプリンタアイコンを右クリックして［印刷設定］－［拡張設定］ダイアログを開いてください。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて［拡張設定］ダイアログを開いて［アプリケーションの部単位印刷を優先］を変更しても有効になりません。

Windows 共有プリンタへ印刷すると通信エラーが発生する

プリントサーバの EPSON ステータスモニタの［通知設定］ダイアログで［共有プリンタを監視させる］にチェックが付いていますか？

プリントサーバにインストールされている本機の EPSON ステータスモニタの［通知設定］ダイアログで［共有プリンタを監視させる］にチェックが付いていないとクライアントからプリンタの状態を取得できないためエラーが発生します。

本書 90 ページ「［通知設定］ダイアログ」

周辺の電化製品やパソコン機器に異常が発生する

電源容量は、十分に確保されていますか？

電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、パソコンがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。蛍光灯、パソコンなどが接続されている電源ラインと本機を分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号 * などをご確認のうえ、ご連絡ください。

* 本機の製造番号は以下のページを参照してご確認ください。
本書 559 ページ「製造番号の表示位置」

また、EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、以下のアドレスにてインターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/

11 付録

カラー/モノクロモデルの変更方法

本機は電源をオンにしたときにセットされているトナーカートリッジをチェックして、モノクロモデルかカラーモデルかを判断します。

- シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのトナーカートリッジがすべてセットされている → カラーモデル
- ブラックのトナーカートリッジのみがセットされている → モノクロモデル

カラーモデルからモノクロモデルへの切り替え

カラーモデルからモノクロモデルへ切り替えるには、次の作業を行ってください。

1 MP トレイまたは用紙カセットに用紙をセットします。

本書 384 ページ「給紙装置と用紙のセット方法」

2 プリンタの電源をオンにして、シアン、マゼンタ、イエローのトナーカートリッジを取り外します。

本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」

3 操作パネルに「CMY トナーカートリッジを取り付けてください」と表示されていることを確認してから、プリンタの電源をオフにします。

4 プリンタの電源をオンにして、ステータスシートを印刷します。

本書 365 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

ステータスシートがモノクロで印刷されます。

5 プリンタドライバをモノクロモデル用に設定します。

操作手順の詳細は、各 OS の章を参照してください。

Windows の場合

本書 75 ページ「［実装オプション設定］ダイアログ」

- Windows に EPSON ステータスモニタがインストールされている場合

① Windows プリンタドライバの［プロパティ］から［環境設定］ダイアログを開きます。
② ［オプション情報をプリンタから取得］にチェックが付いて［カラートナーカートリッジ］が［なし］と表示されていることを確認します。
③ ［OK］をクリックして、ダイアログをすべて閉じます。

- Windows に EPSON ステータスモニタがインストールされていない場合

① Windows プリンタドライバの［プロパティ］から［環境設定］ダイアログを開きます。
② ［オプション情報を手動で設定］にチェックを付けて［設定］をクリックします。
③ ［カラートナーカートリッジ］のチェックを外します。
④ ［OK］をクリックして、ダイアログをすべて閉じます。

Mac OS 9 の場合

本書 137 ページ「印刷を始める前に」

① Apple メニューから［セレクタ］を開きます。
② ［LP-S6500_S4500］を選択します。
③ 接続ポートを選択して、［セレクタ］を閉じます。

Mac OS X の場合

☞ 本書 217 ページ「[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] へのプリンタの追加」

① [アプリケーション] フォルダから [ユーティリティ] フォルダを開いて、[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] を開きます。

② [追加] をクリックしてます。

③ 接続ポート([EPSON USB] / [USB]、[EPSON AppleTalk]、[EPSON TCP/IP] または [Rendezvous])を選択します。

④ [LP-S4500] を選択して [追加] をクリックします。

⑤ [プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] を閉じます。

モノクロモデルからカラーモデルへの切り替え

モノクロモデルからカラーモデルへ切り替えるには、次の作業を行ってください。

1 MP トレイまたは用紙カセットに用紙をセットします。

☞ 本書 384 ページ「給紙装置と用紙のセット方法」

2 プリンタの電源をオンにして、シアン、マゼンタ、イエローのトナーカートリッジを取り付けます。

☞ 本書 463 ページ「トナーカートリッジの交換」

3 プリンタのウォーミングアップ(約 5 分)が終了し、操作パネルに「印刷できます」と表示されたことを確認してからプリンタの電源をオフにします。

> **!注意** トナーカートリッジをセットして D カバーを閉じると「印刷できます」と約 5 秒表示されますが、このときに電源をオフにしないでください。ウォーミングアップ(約 5 分)が終了した後で表示される「印刷できます」の表示を確認してから電源をオフにしてください。

4 プリンタの電源をオンにして、ステータスシートを印刷します。

☞ 本書 365 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

ステータスシートがカラーで印刷されます。

5 プリンタドライバをカラーモデル用に設定します。

操作手順の詳細は、各 OS の章を参照してください。

Windows の場合

☞ 本書 75 ページ「[実装オプション設定] ダイアログ」

- Windows に EPSON ステータスモニタがインストールされている場合

① Windows プリンタドライバの [プロパティ] から [環境設定] ダイアログを開きます。

② [オプション情報をプリンタから取得] にチェックが付いて [カラートナーカートリッジ] が [あり] と表示されていることを確認します。

③ [OK] をクリックして、ダイアログをすべて閉じます。

④ Windows プリンタドライバの [印刷設定] (Windows XP/2000/Server 2003 の場合)/ [プロパティ] (Windows 98/Me の場合)から [基本設定] ダイアログを開き、[色] を [カラー] に設定します。

⑤ [OK] をクリックして、ダイアログを閉じます。

- Windows に EPSON ステータスモニタがインストールされていない場合

① Windows プリンタドライバの［プロパティ］から［環境設定］ダイアログを開きます。

②［オプション情報を手動で設定］にチェックを付けて［設定］をクリックします。

③［カラートナーカートリッジ］にチェックを付けます。

④［OK］をクリックして、ダイアログをすべて閉じます。

⑤ Windows プリンタドライバの［印刷設定］（Windows XP/2000/Server 2003 の場合 ）/［プロパティ］（Windows 98/Me の場合）から［基本設定］ダイアログを開き、［色］を［カラー］に設定します。

⑥［OK］をクリックして、ダイアログを閉じます。

Mac OS 9 の場合

本書 137 ページ「印刷を始める前に」

① Apple メニューから［セレクタ］を開きます。

②［LP-S6500_S4500］を選択します。

③ 接続ポートを選択して、［セレクタ］を閉じます。

Mac OS X の場合

本書 217 ページ「［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加」

①［アプリケーション］フォルダから［ユーティリティ］フォルダを開いて、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開きます。

②［追加］をクリックしてます。

③ 接続ポート（［EPSON USB］/［USB］、［EPSON AppleTalk］、［EPSON TCP/IP］または［Rendezvous］）を選択します。

④［LP-S6500］を選択して［追加］をクリックします。

⑤［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を閉じます。

DOS 環境でお使いのお客様へ

本機を DOS アプリケーションソフトで使用する場合、プリンタドライバをインストールする必要はありません。

プリンタ機種名の選択

DOS アプリケーションソフトの場合、お使いのアプリケーションソフト上でプリンタの機種名を選択することにより、そのプリンタが使用可能になります。設定項目の名称や設定方法は、お使いのアプリケーションソフトにより異なりますが、多くの場合［プリンタ名の選択・設定］、［プリンタ設定］などで機種名を選択するようになっています。詳しくはお使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

不適切なプリンタ機種名を選択した場合や、他のプリンタドライバで代用する場合は、本機の機能を100%利用できない場合があります。また、プリンタの初期設定（購入時の設定のまま）で正しく印刷されない場合、操作パネルの設定を変更することによって対応することが可能です。

国内版アプリケーションソフトを使用する場合

1 DOS アプリケーションソフトを起動します。

2 DOS アプリケーションソフトを操作して、プリンタの機種名を設定する画面を表示します。

お使いの DOS アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

3 お使いのプリンタの機種名を選択します。

お使いのプリンタの機種名がない場合は、次の優先順位で機種名を選択します。

	ESC/Page プリンタが選択できる場合		ESC/Page プリンタが選択できない場合
1	LP-9200/9200S/9200SX	1	ESC/P-24-J84＊1＊2
2	LP-8400/8300/8300S/8200	2	VP-1000/4800/3000＊1＊2
3	LP-9000	3	ESC/P-24-J83＊1＊2
4	LP-1800/1700/1700S	4	VP-135K/130K＊1＊2
5	LP-1600	5	上記プリンタが見つからない場合は、PC-PR201H などのプリンタを選択します。＊1＊3
6	LP-8500/8000/8000S/8000SE/8000SX		
7	ESC/Page		
8	LP-1500/1500S/2000/3000		
9	LP-7000/7000G		

思うように印刷できない場合は、操作パネルの設定モードで以下の設定を行ってください。設定方法の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 318 ページ「操作パネルによる設定」

＊1 1 行目の印刷位置が上すぎる場合は、［給紙位置］を［22mm］に設定してください。
半角の記号がカタカナになる場合は、［文字コード］を［グラフィックス］に設定してください。

＊2 画面とは違う文字を印刷するなど正しく印刷されないときは、［プリンタモード］を［ESC/P］に設定してください。

＊3 PC-PR201H を選択した場合、［プリンタモード］を［ESC/PS］に設定しないと印刷できません。

［プリンタモード］は基本的に［自動］（初期設定）に設定して使用してください。画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されない場合のみ設定を変更してください。

海外版アプリケーションソフトを使用する場合

海外版アプリケーションソフトを使用する場合は、次の優先順位で機種名を選択します。

1	LQ-850/1050
2	LQ-510/1010
3	LQ-800/1000
4	LQ-1500

以下のように正しく印刷できない場合は、操作パネルの設定モードで設定してください。設定方法の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 318 ページ「操作パネルによる設定」

- 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、［プリンタモード］を［ESC/P］に設定してください。
- 半角の記号がカタカナになる場合は、操作パネルで［文字コード］を［グラフィックス］に設定してください。
- 1 行目の印刷位置が上すぎる場合は、［給紙位置］を［22mm］に設定してください。

アプリケーションソフトに関するお問い合わせはアプリケーションソフトの販売元または開発元にお問い合わせください。

印刷の手順

1 レイアウトを指定して、文書を作成します。

文書を作成する前に、まず作成する文書のレイアウト（用紙サイズ、向きなど）をアプリケーションソフト上で指定します。アプリケーションソフトによって手順が異なりますので、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

2 印刷の設定をします。

印刷する用紙サイズや向き、給紙装置などを、アプリケーションソフト上で設定します。アプリケーションで設定できないときは、操作パネルの設定モードで設定します。設定方法の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 318 ページ「操作パネルによる設定」

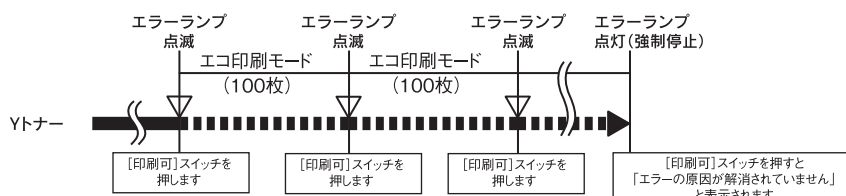
設定する項目	設定方法
印刷前に必ず設定する項目	給紙方法、用紙サイズ、用紙方向
必要に応じて設定する項目	コピー枚数、縮小、解像度

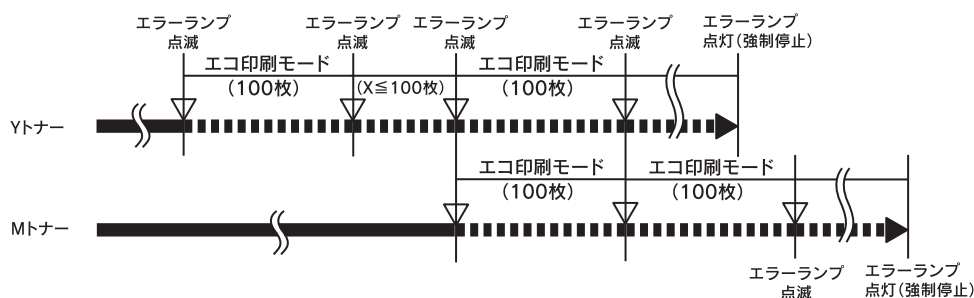
3 印刷を実行します。

アプリケーションソフトから印刷を実行します。

エコ印刷モードのご紹介

エコ印刷モードとは、消耗品の寿命を通知するメッセージが表示されたときに、その交換時期を先送りして印刷を継続することで、よりいっそう経済的にプリンタを運用することができるモードです。エコ印刷モードは以下のようなイメージで運用されます。

<例>Yトナーカートリッジの場合

カラーモデルで複数のトナーカートリッジの残量が少なくなった場合は、トナーカートリッジ交換のエラーメッセージ（エラーランプ点滅）が表示されて［印刷可］ボタンを押したところから印刷ページのカウントを始めます。

<例>Y･Mトナーカートリッジの場合

エコ印刷モードでの印刷にはお客様のご理解が必要です

エコ印刷モードは、消耗品の寿命を通知するエラーメッセージ表示時に設定することが可能です。ただし、以下の使用上の制限があり、お客様自身が印刷結果から消耗品の交換時期を判断することになりますので、この点を十分にご理解いただいた上で、消耗品の適切な交換を行ってください。

- エコ印刷モードで印刷を行うと、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、何も印刷されないなど印刷品質が悪化することがあります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。
- エコ印刷モードは、消耗品の交換時期を延長することが可能ですが、過度に延長することで製品が故障に至ることがないよう、印刷途中であっても強制的に停止することがあります。このようなときは、消耗品を交換してください。

エコ印刷モードで運用するときは、必ず新しい消耗品を準備した上で進めてください。

エコ印刷モードの使用方法

消耗品のエラーメッセージが表示されたときにエコ印刷モードへ移行できます。

1 エラーメッセージの表示（エラーランプ点滅）

<table>
<tr><td>＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください</td><td rowspan="2">最良の印刷品質が提供できなくなったときに、消耗品を交換していただくためのメッセージです。
・モノクロモデルの場合は「＊＊＊＊」にはトナーの色Kが表示されます。
・カラーモデルの場合は「＊＊＊＊」にはトナーの色Y/M/C/Kが表示されます。</td></tr>
<tr><td>感光体ユニットを交換してください</td></tr>
</table>

2 エコ印刷モードへの移行

エコ印刷モードに移行する	➡ ［印刷可］ボタンを押します。
エコ印刷モードに移行しない	➡ 最良の印刷品質を継続するために、消耗品を交換します。

3 エコ印刷モードで利用中

エコ印刷モードに移行するとパネル表示が変ります（ワーニングメッセージになります）。

＊＊＊＊トナーが交換時期 （エコ印刷モード）	最良の印刷品質が提供できなくなる前に、新しい消耗品を準備していただくためのメッセージです。 • モノクロモデルの場合は「＊＊＊＊」にはトナーの色 K が表示されます。 • カラーモデルの場合は「＊＊＊＊」にはトナーの色 Y/M/C/K が表示されます。
感光体ユニットが交換時期 （エコ印刷モード）	

「＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください」の状態からエコ印刷モードに移行したときは、続けて 100 ページ印刷できます（ただし、100 ページ分の印刷品質は保証できません）。

4 エコ印刷モードの継続

累計で 100 ページ分の印刷が終了すると、再び 1 の状態（エラーランプが点滅して「＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください」のメッセージが表示される）になって、プリンタが停止します。

エコ印刷モードでの印刷を継続する	➡ ［印刷可］ボタンを押します。
エコ印刷モードでの印刷を継続しない	➡ 交換指示が出されている消耗品を交換します。

5 プリンタの強制停止

- 製品の機能が満足できなくなる段階になると、印刷途中でもプリンタは強制的に停止します。
- パネルには「＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください」または「感光体ユニットを交換してください」と表示され、エラーランプが点灯し続けます（エコ印刷モードに移行が可能な状態では「点滅」しています）。この状態になると［印刷可］ボタンを押しても「エラーの原因が解消されていません」というメッセージを表示し、印刷を継続することができなくなります。この場合は、必ず消耗品の交換を行ってください。

- エコ印刷モードによる印刷を途中で止めたいときは、［印刷可］ボタンを押してから［ジョブキャンセル］ボタン（🗑）を押してください。
- エコ印刷モードはプリンタの電源をオフにすると解除されます。次に電源をオンにしたときには消耗品交換のエラーメッセージが表示されますので、エコ印刷モードの使用方法の手順に従ってください。
  ☞ 本書 538 ページ「エコ印刷モードの使用方法」
- カラーモデルの場合、エコ印刷モード中に画像確認シートを印刷することで、トナーカートリッジの印刷品質への影響状態を判断することができます。印刷された画像確認シートをご覧いただき、感光体ユニットの交換、または印刷品質が悪化している色のトナー カートリッジを交換することをお勧めします。

カラー印刷のポイント（カラーモデルのみ）

8 ～ 16 色程度のイラストの印刷では、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やパソコン環境の整備が必要です。

印刷解像度について

ディスプレイに表示される画像やプリンタで印刷される画像は、小さなドット（点）で構成されています。印刷解像度は、1 インチ（約 2.54cm）あたりにいくつの点があるかを dpi（dots per inch）という単位で表現し、この値が大きい方がきめの細かい印刷結果を得ることができます。

本機の印刷解像度は、300dpi または 600dpi のいずれかを選択することが可能です。［応用設定］ダイアログの［印刷品質］（Windows）／［プリント］ダイアログの［印刷品質］（Mac OS）で［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）を選択します。600dpi を選択すると、きめの細かいきれいな画像が印刷できますが、印刷時間は長くなります。また扱うデータ量が大きくなるため、メモリの増設が必要になる場合があります。印刷の目的に合わせて印刷解像度を選択してください。

イメージ図

● 300dpi

● 600dpi

スクリーン線数について（解像度優先 / 階調優先）

印刷される画像の色の濃淡は、用紙上のトナーの点の密度を変化させることで表現します。この点の密度をスクリーン線数と呼び、1 インチ（約 2.54cm）あたりの密度を lpi（lines per inch）という単位で表現し、この値が大きい方が精密な印刷結果を得ることができます。

- プリンタドライバ上で［解像度優先］を選択すると、スクリーン線数を高めに設定して細い線や細かい模様を正確に再現した印刷結果が得られます。
- ［階調優先］を選択すると、スクリーン線数をやや低めに設定して細い線や細かい模様などは正確に再現できない場合がありますが、色調の変化などをよりなめらかに表現した印刷結果が得られます。
- ［自動（解像度優先 / 階調優先）］を選択すると、印刷するデータに対して適したスクリーン線数を自動的に選択して印刷します。

イメージ図

●階調優先

●解像度優先

カラー画像の印刷と必要メモリの関係

カラー画像の印刷には多くのメモリを必要とします。印刷に必要なメモリの量は、画像データのサイズや印刷時の設定によって変わります。必要メモリの量に関係する印刷時の設定は、次の 2 つがあります。

- 印刷サイズ
- 解像度（[標準] 300dpi/［高品質］600dpi）

実際の印刷で必要となるプリンタのメモリの量は、印刷データやアプリケーションソフトにより異なりますが、通常使用における目安として下表を参考にしてください。また推奨のメモリサイズをプリンタに実装させることで、印刷速度の改善など、より効率的な印刷が可能になります。なお DTP 出力などで複雑な印刷にご使用の場合は、本機の最大メモリ容量まで増設することをお勧めします。

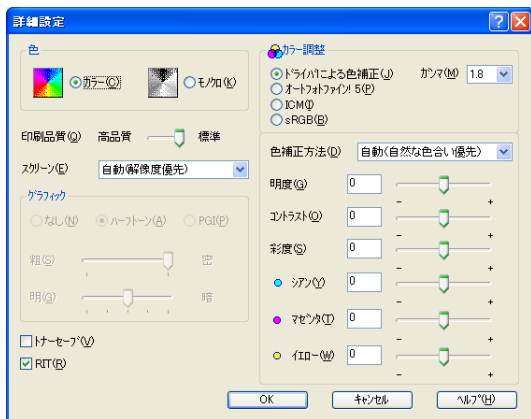
	印刷サイズ	解像度	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	標準	64MB	64MB
		高品質	64MB	64MB
	A3	標準	64MB	64MB
		高品質	64MB	96MB
両面	A4	標準	64MB	64MB
		高品質	64MB	64MB
	A3	標準	64MB	64MB
		高品質	64MB	128MB

また、カラー画像のデータサイズは、モノクロデータに比べ大きいものになるため、ご利用のコンピュータのハードディスクの空き領域を十分に確保する必要があります。主な入力装置でのカラー画像データサイズは、下表のようになります。

入力装置 / 品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量
デジタルカメラ	350,000 画素	−	640 × 480	900KB
	870,000 画素	−	1024 × 768	2.3MB
	1,300,000 画素	−	1290 × 960	3.52MB
	2,140,000 画素	−	1600 × 1200	5.5MB
フイルムスキャナ	1200dpi	−	1700 × 1100	5.4MB
フラットベッドスキャナ	300dpi	4' × 6'	1200 × 1800	6.2MB
		A4	2550 × 3600	26.3MB
	600dpi	4' × 6'	2400 × 3600	24.7MB
		A4	5100 × 7200	105.1MB
	1200dpi	4' × 6'	4800 × 7200	100MB
		A4	10200 × 14000	420MB
Photo CD	BASE	−	768 × 512	1.1MB
	4BASE	−	1536 × 1024	4.5MB
	16BASE	−	3072 × 2048	18.0MB

印刷時のポイント(オートフォトファイン !5)

プリンタドライバの設定モードは、通常［推奨設定］にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたいときは［詳細設定］で微調整（設定変更）を行ってください。

● Windows ドライバ

● Mac OS 9 ドライバ *

* Mac OS X にはオートフォトファイン !5 はありません。

オートフォトファイン !5

オートフォトファイン !5 とは、エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。

このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン !5」です（印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません）。この機能は、1 ページ内に複数の画像イメージが存在しても、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

- 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などには効果が薄くなります。
- 256 色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅い CPU を搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ICM」（Windows）/「ColorSync」（Mac OS）を使用して印刷してください。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !5 は使用しないでください。

オートフォトファイン !5 を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、そのオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGB カラーバランスの補正	色かぶりが補正されます。オブジェクトの RGB ごとのヒストグラムを分析し、RGB ごとにトーンカーブ補正を行います。
解像度の補正	低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。
明るさの補正	暗すぎる（露出不足）画像などが修正されます。オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。
コントラストの強調	中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。
彩度の強調	色あせた画像が鮮やかになります。画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン!5 での印刷は、1 ページに複数の画像がある場合でも個別に適切な補正を行います。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp/

通信販売（消耗品 / オプション品）

エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライの通信販売をご利用ください（2005 年 11 月現在）。

インターネットでのご注文	ホームページ	http://epson-supply.jp/
お電話でのご注文	電話番号	0120-251-528（フリーコール） ※電話番号をよくお確かめの上おかけください。
	受付時間	月〜金曜日　9:00 〜 18:15 土曜日　　9:00 〜 17:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

お届け方法、お支払方法など、詳細は、上記のホームページまたはお電話でご確認ください。

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設 * してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

* 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心 & 充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。
電話番号	「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。
所在地	「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。詳細はエプソンのホームページにてご確認ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp/

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、<u>エプソン製品ご購入販売店</u>にてお買い求めください。

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp/

最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp/
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。

各種ドライバの最新バージョンの情報は、エプソンのホームページにてご確認ください。ホームページの詳細は、「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。

ダウンロード･インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮 *1 ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍 *2 してからインストールしてください。

*1 圧縮：1 つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

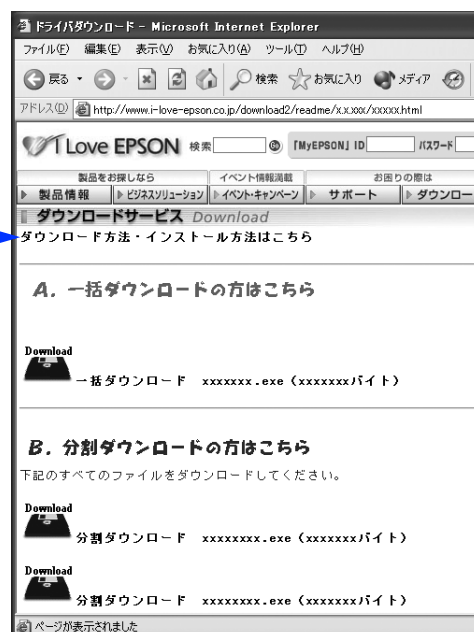
参考

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

Windows：本書 122 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
Mac OS 9：本書 210 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
Mac OS X：本書 289 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

1 **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

2 **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**

手順の詳細は、ホームページ上の［ダウンロード方法･インストール方法はこちら］をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソンのホームページへ接続した場合です。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受け付け窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター：「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。
  受付日時：月曜日～金曜日　（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代･部品代＊は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 ＊ 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料 ＋ 技術料＋部品代 修理完了後 そのつどお支払いください

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
  （年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。）
- 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

仕様

Windows システム条件

プリンタソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は下記の通りです（2005 年 11 月現在）。

<table>
<tr><td colspan="2">対象 OS</td><td>Windows 98/Me/2000/XP*1/Server 2003</td></tr>
<tr><td colspan="2">CPU*2</td><td>Pentium® 233MHz 以上（Celeron® 633MHz 以上を推奨）</td></tr>
<tr><td colspan="2">RAM*2</td><td>64MB（128MB 以上を推奨）</td></tr>
<tr><td colspan="2">空きハードディスク</td><td>500MB 以上</td></tr>
<tr><td rowspan="3">接続方法</td><td>USB 接続</td><td>下記オプションケーブルまたは USB 外部機器（プリントアダプタなど）をプリンタに取り付けて使用します。
• EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2）
• 無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G2）</td></tr>
<tr><td>パラレル接続</td><td>EPSON パラレルインターフェイスケーブル（型番：PRCB4N）を使用します。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク接続</td><td>市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。</td></tr>
</table>

*1 Windows XP Professional（32 ビット版）のみをサポートしています。Windows XP Professional x64 Edition（64 ビット版）はサポートしていません。最新のサポート OS 情報はエプソンのホームページで確認してください。

*2 各 OS の「必要システム」条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

本機を USB 接続で使用する場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ
- Windows 98/Me/2000/XP がプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでに Windows 98/Me/2000/XPがインストールされているコンピュータ）またはWindows 98がプレインストールされていてWindows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ

USB2.0 対応について

- USB2.0 としてご使用いただくためには、USB2.0 に対応したケーブルをお使いください。また、コンピュータ側も USB2.0 に対応している必要があります。USB2.0 非対応のコンピュータをお使いの場合は、USB1.1 として動作します（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります）。
- 動作確認済みのUSB2.0用インターフェイスボードまたはPCカードの情報は、エプソンのホームページでご確認いただくか、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。また、USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードによって増設したときは、マイクロソフト社製USB2.0ドライバが必要になります。マイクロソフト社製USB2.0ドライバの入手方法はマイクロソフト株式会社のホームページでご確認ください。
  ☞ USB2.0 対応 OS は Windows 2000/XP です。Windows 98/Me では、USB1.1 として動作します。

Windows XP のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/

EPSON ステータスモニタの Windows 動作環境（対象機種）

- DOS/V 仕様機（双方向通信機能＊のある機種）

＊ ローカル接続でご利用の場合は、お使いのコンピュータのインターフェイスが双方向通信機能に対応しているかをコンピュータメーカーにお問い合わせください。

！注意

- お使いのコンピュータの機種により、プリンタを接続するために使用するケーブルが異なりますのでご注意ください。
- NetBEUI を使用した直接印刷や IPP 印刷の場合は、ネットワークプリンタの監視はできません。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。

Mac OS システム条件

プリンタソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は下記の通りです（2005 年 11 月現在）。

コンピュータ		Power PC G3 搭載機種（G4 以上を推奨）
接続方法	USB 接続	下記オプションケーブルまたは USB 外部機器（プリントアダプタなど）をプリンタに取り付けて使用します。 • EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2） • 無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G2）
	AppleTalk 接続	市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。
システム *		• Mac OS 9.1 ～ 9.2.x QuickTime Ver. 3.0 以上 Open Transport Ver. 1.1.1 以上 ただし、QuickDraw GX には対応していません（下記注意を参照してください）。 • Mac OS X v10.2 ～ v10.4
印刷時の空きメモリ（RAM）容量		64MB 以上（128MB 以上推奨）
空きハードディスク		100MB 以上（200MB 以上を推奨）

＊　各 OS の「必要システム」条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

! 注意　Mac OS 9 の QuickDraw GX で本製品を使用することはできません。以下の手順で QuickDraw GX を使用停止にしてください。
① caps lock キーを解除しておきます。
② スペースキーを押したまま Mac OS を起動します（機能拡張マネージャが開きます）。
③ QuickDraw GX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします（チェックのない状態になります）。
④ 機能拡張マネージャを閉じます。

Mac OS X v10.2 以降でのご利用においては、OS またはプリンタドライバの制限事項により使用できない機能があります。制限事項の詳細は、以下のホームページにてご確認ください。
　アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support/

OS に登録するコンピュータ名は、次の点に注意して必ず設定してください。

- OS が禁止している文字をコンピュータ名に使用しないでください。
- プリンタを共有（またはネットワーク接続）している場合、固有のコンピュータ名にしてください。

本機を接続したコンピュータがネットワーク環境に接続されていれば、ネットワーク上のほかのコンピュータから本機を共有することができます。設定の詳細は以下のページを参照してください。
☞ Mac OS 9：本書 195 ページ「プリンタを共有するには」
☞ Mac OS X：本書 277 ページ「プリンタを共有するには」

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
　アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分電子写真方式
解像度	600dpi*1
プリント速度	600dpi　：40.0 ページ / 分（A4、モノクロ片面印刷時）*2 10.0 ページ / 分（A4、カラー片面印刷時）*2
ウォームアップ時間	85 秒（温度 23 度、湿度 55%、定格電圧にて）
ファーストプリント	モノクロ片面印刷　：13.3 秒（A4）/14.3 秒（A3） モノクロ両面印刷　：17.8 秒（A4）/20.3 秒（A3） カラー片面印刷　：19.3 秒（A4）/20.3 秒（A3）（カラーモデルの場合のみ） カラー両面印刷　：31.3 秒（A4）/32.3 秒（A3）（カラーモデルの場合のみ）
稼働音 （本体、標準条件）*3	待機時　：約 39dB（A） 稼働時　：約 56dB（A）
耐久性（製品寿命）	160,000 ページ（A4 連続時、カラー / モノクロの印刷比率は問わず） または 5 年のいずれか短い方

*1 dpi：25.4mm｛1 インチ｝あたりのドット数（Dots Per Inch）

*2 印刷中に、良好な画質を得るための画像調整（calibration）を自動的に行うことがあり、上記の印刷速度が出ない場合があります。また、用紙サイズによっては、定着器の安定性保持のために、印刷を一時停止することがあります。

*3 標準条件：MP トレイを閉めて、用紙カセットから普通紙を給紙したとき

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990 準拠	
書体	欧文	ローマン、サンセリフ Windows 対応 TrueType 互換 14 書体 DutchTM 801（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） SwissTM 721（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） Courier（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） Symbol More WingBats
	和文	明朝、ゴシック

環境基本仕様

消費電力	カラー印刷時	平均 371W（カラーモデルの場合のみ）
	モノクロ印刷時	平均 671W
	低電力モード時	平均 12W 以下（ヒーターオフ時）
	電源オフ時	0W
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。	
回収リサイクル体制	使用済みトナーカートリッジの回収 資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法の詳細は、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。	
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細は以下をご覧ください。 本書 548 ページ「保守サービスのご案内」	
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年	
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年	
適合環境ラベル	国際エネルギースタープログラム、エコマーク	

定期交換部品

- 製品寿命を全うするために定期交換部品の交換が必要になる場合があります。
- 製品が故障に至ることがないよう、印刷途中であっても想定交換時期に達した場合は動作を停止します。
- 定期交換部品の交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社サービスエンジニアが実施します。
- 交換時期が近づくと液晶パネルに警告表示されます。その際は早めに販売店、保守サービス実施店またはエプソンサービスコールセンターまでご連絡ください。
- 定期交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず有償となります。

定期交換部品	交換の目安 *1	交換メッセージ
定着ユニットおよびクリーニングテープ *2	約 80,000 ページ	定着ユニットを交換してください
転写ユニット	約 80,000 ページ	転写ユニットを交換してください

*1 A4 普通紙連続印刷時。印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。使用環境、用紙の種類、電源の頻繁な入切により印刷可能ページ数は半分以下になる場合があります。また、前記条件により、メッセージが出る前に交換が必要になる場合があります。

*2 定着ユニットと同時交換になります。

用紙関係

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

<table>
<tr><th colspan="2">給紙方法</th><th colspan="2">用紙種類</th><th>用紙サイズ
（　）内は操作パネルの上での表記です。</th><th>紙厚</th><th>容量 *1</th></tr>
<tr><td rowspan="10">標準装備の給紙装置</td><td rowspan="9">MP トレイ</td><td colspan="2">普通紙、
EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4</td><td>64 ～ 90g/m^2</td><td>150 枚 *2</td></tr>
<tr><td rowspan="8">特殊紙</td><td>郵便ハガキ</td><td>100 × 148mm（はがき）</td><td rowspan="2">190g/m^2</td><td rowspan="2">50 枚 *2</td></tr>
<tr><td>往復郵便ハガキ</td><td>148 × 200mm（往復はがき）</td></tr>
<tr><td>封筒 *3</td><td>洋形 0 号、長形 3 号</td><td>75 ～ 90g/m^2</td><td>15 枚 *2</td></tr>
<tr><td>ラベル紙</td><td>A4</td><td>91 ～ 163g/m^2</td><td>50 枚 *2</td></tr>
<tr><td>厚紙</td><td>A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4</td><td>91 ～ 163g/m^2</td><td>75 枚 *2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">不定形紙</td><td rowspan="2">幅：98.5 ～ 297.0mm
長さ：148.0 ～ 431.9mm</td><td>64 ～ 90 g/m^2</td><td>150 枚 *2</td></tr>
<tr><td>91 ～ 163g/m^2</td><td>75 枚 *2</td></tr>
<tr><td>EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート</td><td>A4</td><td>100g/m^2</td><td>60 枚 *2</td></tr>
<tr><td>用紙カセット</td><td colspan="2">普通紙、
EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）</td><td>64 ～ 90g/m^2</td><td>250 枚 *4</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td>増設カセットユニット（LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2）</td><td colspan="2">普通紙、
EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）</td><td>64 ～ 90g/m^2</td><td>500 枚 *5</td></tr>
</table>

*1 セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大枚数表示までです。最大枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*2 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 17mm までセット可能です。

*3 ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

*4 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 27mm までセット可能です。

*5 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 53mm までセット可能です。

排紙容量	最大 250 枚（普通紙 82g/m^2）

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ		MP トレイ（標準）	用紙カセット 1（標準）	用紙カセット *1（オプション）	両面印刷	用紙のセット方向
A3	297.0 × 420.0mm	○	○	○	○	縦長
A4	210.0 × 297.0mm	○	○	○	○	横長
A5	148.0 × 210.0mm	○	×	×	×	縦長
B4	257.0 × 364.0mm	○	○	○	○	縦長
B5	182.0 × 257.0mm	○	○	○	○	横長
Letter（LT）	8.5 × 11.0 インチ（215.9 × 279.4mm）	○	○	○	○	横長
Half-Letter（HLT）	5.5 × 8.5 インチ（139.7 × 215.9mm）	○	×	×	×	縦長
Legal（LGL）	8.5 × 14.0 インチ（215.9 × 355.6mm）	○	○	○	○	縦長
Executive（EXE）	7.3 × 10.5 インチ（184.2 × 266.7mm）	○	×	×	○	横長
Government Legal（GLG）	8.5 × 13.0 インチ（215.9 × 330.2mm）	○	×	×	○	縦長
Ledger（B）	11.0 × 17.0 インチ（297.4 × 431.8mm）	○	○	○	○	縦長
Government Letter（GLT）	8.0 × 10.5 インチ（203.2 × 266.7mm）	○	×	×	○	横長
F4	210.0 × 330.0mm	○	×	×	○	縦長
不定形紙	用紙幅 98.5 ～ 297.0mm 用紙長148.0～431.9mm	○ *2	×	×	×	登録した用紙サイズの向き *3
郵便ハガキ	100.0 × 148.0mm	○	×	×	×	縦長
往復郵便ハガキ	148.0 × 200.0mm	○	×	×	×	縦長
OHP シート	A4：210.0 × 297.0mm	○	×	×	×	横長
ラベル紙	A4：210.0 × 297.0mm	○	×	×	×	横長
封筒 *4 洋形 0 号	120.0 × 235.0mm	○	×	×	×	横長
封筒 *4 長形 3 号	120.0 × 235.0mm	○	×	×	×	縦長

○：使用可能　×：使用不可能

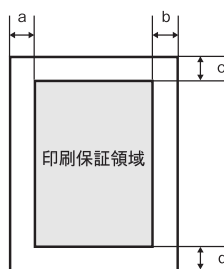
*1 オプションの増設カセットユニットに装着する用紙カセットから給紙できる用紙サイズを表します。

*2 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

*3 不定形紙の用紙のセット方向は、登録した用紙サイズ（用紙長 / 幅）によって異なります。
本書 409 ページ「不定形紙への印刷」

*4 ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm（a, b, c, d）を除く領域の印刷を保証します。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流 *	12A	
周波数	50/60Hz ± 3Hz	
消費電力	最大	： 1150W
	カラー印刷時	： 平均 371W（カラーモデルの場合のみ）
	モノクロ印刷時	： 平均 671W
	待機時	： 平均 117W（ヒーターオン時）
	低電力モード時	： 平均 12W 以下（ヒーターオフ時）

＊　オプションカセット含まず

環境使用条件

動作時	温度	： 10 ～ 35 度
	湿度	： 15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	： 76.0kpa（2500m 以下）
	水平度	： 傾き 1 度以下
	照度	： 3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	： 上方 300mm、左側方 650mm、右側方 200mm、 前方 830mm、後方 220mm、
保存・輸送時	温度	： 0 ～ 35 度
	湿度	： 15 ～ 85%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

制御コード体系	モード自動判別	： ESC/Page-Color（カラーモデルの場合のみ）、ESC/Page、ESC/P スーパー（ESC/P エミュレーション、PC-PR201H エミュレーション）
RAM	標準	： 64MB
	オプション増設時	： 最大 576MB（2 ソケット）
インターフェイス	標準	： パラレル IEEE1284 準拠双方向 （コンパチブル、ニブルモード、ECP モード） USB（Rev. 1.1 および 2.0 対応） 10Base-T/100Base-TX
	オプション	： Type B I/F（1 スロット）

プリンタ外形寸法 / 質量

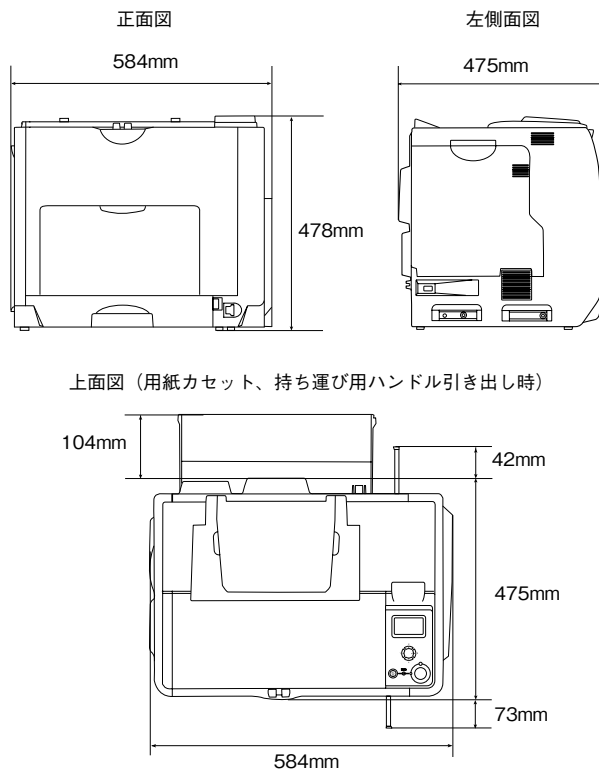
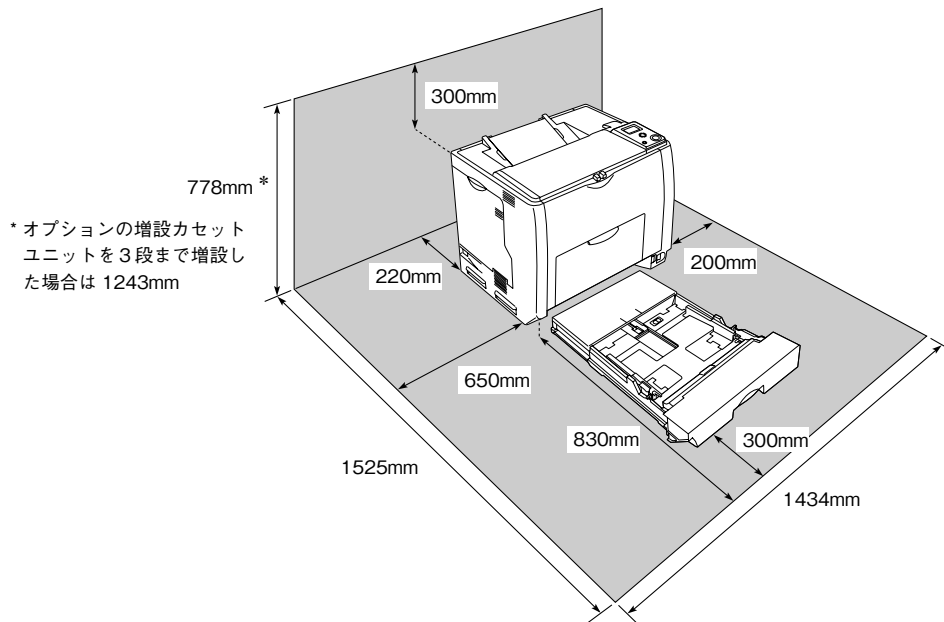
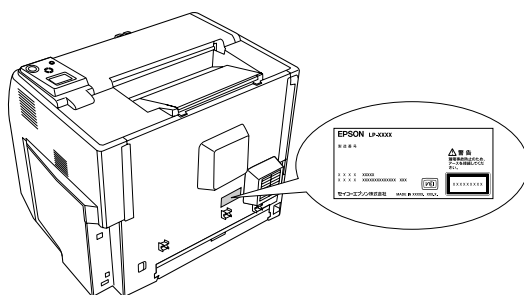
外形寸法	幅 584mm ×奥行き 475mm ×高さ 478mm（小数点以下四捨五入）
質量	LP-S6500 ： 約 45.3kg LP-S4500 ： 約 42.5kg （標準用紙カセット 1 と消耗品のみを含む）

オプションの増設カセットユニット外形寸法 / 質量

外形寸法 （小数点以下四捨五入）	LPA3CZ1CU2：幅 569mm ×奥行き 378mm ×高さ 129mm LPA3CZ1CT2*[1]：幅 569mm ×奥行き 466mm ×高さ 142mm LPA3CZ1CC2*[2]：幅 569mm ×奥行き 578mm ×高さ 219mm
質量	LPA3CZ1CU2：約 6.0kg LPA3CZ1CT2*[1]：約 6.4kg LPA3CZ1CC2*[2]：約 10.5kg

*1　脚付き　　*2　キャスター付き

寸法図（小数点以下四捨五入）

上面図（用紙カセット、持ち運び用ハンドル引き出し時）

設置スペース

製造番号の表示位置

保守サービスなどのお問い合わせの際に製造番号が必要になる場合があります。上図のラベル内容をご確認ください。

索引

数字

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

う

え

お

か

き

く

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

む

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

ろ

わ